H31-35 国営アルプスあづみの公園
運営維持管理業務

別紙資料（案）

平成 31 年〇月

国土交通省関東地方整備局

実施要項に関する別紙･様式

【国営アルプスあづみの公園】

分類	資料 No.	資料名	頁番号
業務の内容を示す書類	別紙－1	主要公園施設一覧	別紙 P1
	別紙－2	主要建築物一覧	別紙 P2
	別紙－3	収益施設一覧	別紙 P3
	別紙－4	H31-35 国営アルプスあづみの公園運営維持管理基本方針	別紙 P5
	別紙－5	H31-35 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務 共通仕様書	別紙 P17
	別紙－6	H31-35 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務 個別仕様書【本業務全体のマネジメント及び企画立案業務】	別紙 P50
	別紙－7	H31-35 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務 個別仕様書【施設･設備維持管理業務】	別紙 P84
	別紙－8	H31-35 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務 個別仕様書【植物管理業務】	別紙 P108
	別紙－9	H31-35 国営アルプスあづみの公園 収益施設等管理運営規定書	別紙 P127
従来の実施状況に関する情報の開示資料	別紙－10	従来の実施状況に関する情報の開示	別紙 P171
	別紙－11	精算報告書	別紙 P178
	別紙－12	公園利用者数および公園利用者数カウント方法	別紙 P184
	別紙－13	入園券セット等提携先	別紙 P195
	別紙－14	公園利用者アンケート	別紙 P196
	別紙－15	イベント一覧	別紙 P201
	別紙－16	体験プログラム一覧	別紙 P237
	別紙－17	市民参加活動一覧	別紙 P257
	別紙－18	広報･報道実績	別紙 P259
	別紙－19	レンタルサーバー維持管理実績	別紙 P261
	別紙－20	開園時間延伸状況	別紙 P262
	別紙－21	混雑時の状況	別紙 P264
	別紙－22	提供施設一覧（建築物）	別紙 P265
	別紙－23	提供物品一覧（機械器具等）	別紙 P267
	別紙－24	リース物品一覧	別紙 P274
	別紙－25	残存物品一覧	別紙 P275
	別紙－26	貸与車両の使用状況･維持管理状況	別紙 P277
	別紙－27	リース車両の使用状況･維持管理状況	別紙 P308
	別紙－28	危機管理対応実績･報告①〈事故対応等〉	別紙 P311
	別紙－29	危機管理対応実績･報告②〈自然災害、火災〉	別紙 P317
	別紙－30	危機管理対応実績･報告③〈野生動物対応等〉	別紙 P318
	別紙－31	職員･臨時職員･アルバイト等の園内配置	別紙 P321
	別紙－32	統括責任者による外部会議への出席	別紙 P324
	別紙－33	苦情、要望等対応処理	別紙 P327
	別紙－34	紙媒体（種類、発行部数）	別紙 P358

分類	資料 No.	資料名	頁番号
従来の実施状況に関する情報の開示資料	別紙－35	記者投げ込み実績	別紙 P361
	別紙－36	公園利用者に無償で貸与している物品一覧	別紙 P366
	別紙－37	巡視計画書	別紙 P367
	別紙－38	建物･工作物に係る修繕履歴（修繕箇所、費用等）	別紙 P387
	別紙－39	清掃場所、箇所、内容、方法及び頻度等	別紙 P400
	別紙－40	産業廃棄物（排出量、経費）	別紙 P423
	別紙－41	除雪出動実施実績（日時、日数）	別紙 P425
	別紙－42	肥料、土壌改良材リスト	別紙 P426
	別紙－43	農薬散布（位置、数量、時期、頻度等）	別紙 P428
	別紙－44	樹幹注入	別紙 P430
	別紙－45	植物性廃棄物の取扱（発生･処理･活用量等）	別紙 P431
	別紙－46	収益施設利用者数、売り上げ等	別紙 P434
	別紙－47	臨時物販施設等一覧	別紙 P448
	別紙－48	公衆電話	別紙 P450
その他	別紙-49	業務評定	別紙 P451
様式	様式 1-1	参加表明書	別紙 P452
	様式 1-2	企業の業務実績	別紙 P453
	様式 1-3	業務責任者の業務実績	別紙 P454
	様式 1-4	守秘性に関する要件	別紙 P455
	様式 1-5	業務実施体制	別紙 P456
	様式 1-6	実施方針	別紙 P461
	様式 1-7	再委託または下請負の予定	別紙 P463
	様式 1-8	業務経験証明書	別紙 P465
	様式 1-9	収益施設運営実績書	別紙 P466
	様式 1-10	入札参加事業者等確認書	別紙 P470
	様式 2-1	表紙（企画書）	別紙 P482
	様式 2-2-1～11	企画提案	別紙 P483
	様式 2-2-12	改善提案	別紙 P495
	様式 2-2-13	ワーク･ライフバランス等の推進に関する指針について適合状況	別紙 P496
	様式 3	収益施設運営計画･自主事業施設運営計画書	別紙 P499

別紙－1

主要公園施設一覧

【堀金・穂高地区】

ゾーン名	面積(ha)	名　　称	主　　要　　施　　設
田園文化ゾーン	44	中央口	ガイドセンター（情報コーナー、売店）、レストラン、公園管理センター、第１駐車場、第２駐車場
		あづみの学校	映像施設、理科教室、社会科教室、芸術教室、多目的ホール
		須砂渡口（通常閉鎖）	須砂渡口
		段々花畑	段々花畑、烏川展望デッキ、矢原沢の小径
		池	展望テラス、水辺の休憩所、池
		段々原っぱ	野の休憩所、芝生広場
		野原	野原
		河畔の広場	マシュマロドーム
		烏川沿い	烏川吊橋、渓流連絡橋、吊橋下前広場、渓流広場、竜の広場、ドッグラン、バーベキューコーナー
		穂高口	穂高口、第３駐車場、第４駐車場、臨時駐車場、見晴らしの丘、古墳の森、こどもの森、冒険の森、疎林広場、円形ステージ
里山文化ゾーン	56	懐かしの風景エリア	岩原口、懐かしの風景園、ビオトープ、農家風四阿、水車小屋
		棚田エリア	棚田、芝生広場、展望広場
		里山文化再生エリア	堀金口、体験学習農園、サンクチュアリ、臨時駐車場、第５駐車場
		里山の森づくりエリア	里山の森
計	100		

【大町・松川地区】

ゾーン名	面積(ha)	名　　称	主　　要　　施　　設
センターゾーン	32	入口広場	インフォメーションセンター（管理センター、展示施設、売店）、入口広場、休憩棟レストラン、駐車場
		デイキャンプ場	レンタル棟、デイキャンプ場、炊事棟
		あづみの苑地	流れ、池、ウッドデッキ
林間レクリエーションゾーン	22	そまびとの森	森の体験舎、そまびとの家、空中回廊、くもの巣遊具
		アルプス大草原	大草原の家（多目的ホール、ネット遊具）、れき原の花畑、空中回路
		アルプス広場周辺	アルプス広場、彩りの森、林間アスレチック
保全ゾーン	36	いきものの森	森のゲート
渓流レクリエーションゾーン	14	渓流ピクニック広場	渓流ピクニック広場、散策路、横溝堰
		河畔広場	河畔広場、散策路
自然体験ゾーン	149	河畔探勝エリア	河畔探勝の森、避難小屋
		スポーツと遊びの森エリア	MTB センター、テクニカルトレイルコース、フロートトレイルコース、ポタリングコース、スキルアップコース
		川遊び・乳川河原エリア	乳川ヤード
		ﾘﾌﾚｯｼｭの森・渓流ｴﾘｱ	リフレッシュの森、清流の森、臨時駐車場、避難小屋
		みんなの森づくりｴﾘｱ	みんなの森
計	253		

※下線は利用料金を徴収する施設や飲食・物販施設（以下「収益施設」という。）を示す。

※このほかに自動販売機を設置する。

主要建築物一覧

【堀金・穂高地区】

種類	数	設置場所
管理事務所	2	公園管理センター、里山文化ゾーン
ゲート	3	ガイドセンター、須砂渡口、穂高口、里山文化ゾーン南口、北口
レストハウス・休憩所	4	展望テラス、水辺の休憩所、野の休憩所 烏川展望デッキ
四阿	6	池、野原、烏川展望デッキ、吊橋前広場、竜の広場、里山文化ゾーン
体験学習施設	1	あづみの学校
便所	12	ガイドセンター、レストラン、あづみの学校、須砂渡口ゲート、展望テラス、水辺の休憩所、野の休憩所、親水広場、疎林広場、穂高口、里山文化ゾーン
その他	9	車庫、倉庫

【大町・松川地区】

種類	数	設置場所
管理事務所	2	インフォメーションセンター、スポーツと遊びの森エリア
ゲート	2	インフォメーションセンター、森のゲート
レストハウス・休憩所	4	レンタル棟、休憩棟レストラン、森の体験舎、 そまびとの家
四阿	4	河畔広場、あづみの苑地、渓流ピクニック広場、スポーツと遊びの森
便所	12	インフォメーションセンター、休憩棟レストラン、森の体験舎、森のゲート、入口広場、彩りの森、渓流ピクニック広場、大草原の家、第一駐車場、炊事棟、スポーツと遊びの森
その他	19	車庫、倉庫

収益施設一覧

【堀金・穂高地区】

公園施設の名称	運営施設名称等	面積等	
飲食施設	ガイドセンター（レストラン）	木造	278.3 ㎡
売店	ガイドセンター（売店）	木造	63.98 ㎡
自動販売機	管理センター	1 台	1.53 ㎡
	ガイドセンター外	2 台	3.06 ㎡
	あづみの学校	3 台 （冬期間 1 台休止）	4.59 ㎡
	展望テラス	1 台	1.53 ㎡
	水辺の休憩所	3 台 （冬期間 1 台休止）	3.06 ㎡
	野の休憩所	1 台	3.06 ㎡
	マシュマロドーム	2 台 （冬期間休止）	1.53 ㎡
	穂高口	2 台	3.06 ㎡
	堀金口	1 台 （冬期間休止）	3.06 ㎡

【大町・松川地区】

公園施設の名称	運営施設名称等	面積等	
飲食施設	休憩棟（レストラン）	木造＋RC 造	217.3 ㎡
売店	インフォメーションセンター（売店） ※冬期間 休憩棟（レストラン）に機能移設	木造＋RC 造	50 ㎡
自動販売機	駐車場トイレ	2 台	3.06 ㎡
	入口広場トイレ	1 台 （冬期間休止）	1.53 ㎡
	大草原の家	3 台	4.59 ㎡
	森の体験舎	2 台	3.06 ㎡
	レンタル棟	1 台 （冬期間休止）	1.53 ㎡
	スポーツと遊びの森エリア管理棟	1 台 （冬期間休止）	1.53 ㎡

別紙－4

H30-35 国営アルプスあづみの公園
運営維持管理基本方針

平成 31 年〇月

目　　次

１．運営維持管理基本方針の目的・位置づけ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
１．１　公園建設の基本理念及び基本方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

１．運営維持管理基本方針の目的・位置づけ

１．１ 公園建設の基本理念及び基本方針

国営アルプスあづみの公園（以下「本公園」という。）は、長野県をはじめ首都圏、中京圏等に居住する人々の多様な観光・レクリエーション需要に対応するとともに、北アルプス山麓の自然的環境や景観を保全・活用するために国が設置・管理している国営公園である。

本公園は長野県北西部の安曇野市に位置する「堀金・穂高地区」と、大町市及び松川村に位置する「大町・松川地区」の 2 地区からなり、日本でも有数の北アルプスの自然環境・山岳景観を背景とし、人里と奥山の中間に位置している。

【国営アルプスあづみの公園の基本理念】

本公園は、「自然と文化に抱かれた豊かな自由時間活動の実現」を基本理念としている。

当該基本理念に基づき、「堀金・穂高地区」は、失われつつある安曇野の田園風景を保全・復元するとともに、安曇野地域の自然・文化を短時間で体験することができる、安曇野地域の玄関口としての公園として計画されている。一方、「大町・松川地区」は北アルプスの山岳景観につながる良好な自然環境を保全しながら、時間をかけてその自然環境を学び、体験できる公園として計画されている。

【国営アルプスあづみの公園の基本方針】

本公園は、以下の６つの基本方針に基づき、整備及び運営維持管理を実施しているところである。

① 自然環境の保全：生物多様性に富んだ自然環境との共存を目指した保全活動や啓発活動の推進

② 広域レクリエーション：日本を代表する自然環境の中で、安らぎ創出や健康づくりにつながる楽しみを各種体験・学習プログラムを通じて提供

③ 景･文化の保全と創出：第一級の山岳景観と雄大な田園景観が一体となった安曇野地域の景観及びこれをはぐくむ豊かな風土･文化の保全と創出への貢献

④ 交流･地域活性化：公園が地域滞在型観光の拠点となるとともに、園内資源を活用し、地域と連携した地域活性化への貢献

⑤ 情報発信：安曇野地域を舞台にして、豊かな自然のなかで育まれてきた風土・文化とこれからの暮らし方についての新たな発見を導く情報を発信

⑥ 参加：公園の整備・管理運営において、地域、企業、利用者など、様々な立場、多様な世代からの参加を促進

１．２ 運営維持管理基本方針の策定の背景・目的

国営アルプスあづみの公園は、長野県北西部の安曇野地域に位置し、堀金・穂高地区と大町・松川地区の２地区からなる国営公園で、平成 29 年度は約 43 万人が来園している。

国営アルプスあづみの公園は、平成 16 年 7 月に堀金・穂高地区の一部約 27ha を第一期開園して以来、順次供用区域を広げ、平成 28 年 6 月には計画面積 353ha を全園開園している。平成 23 年度に策定した「国営アルプスあづみの公園基本計画」や平成 29 年に公表した「国営アルプスあづみの公園整備・管理運営プログラム」に基づき、整備・維持管理を進めているところである。

以上のような背景を踏まえ、今後の国営アルプスあづみの公園における運営維持管理の基本的な考え方を示す「運営維持管理基本方針」を策定した。

１．３ 運営維持管理基本方針の位置づけ

この運営維持管理基本方針は、長野県をはじめ首都圏、中京圏等に居住する人々の多様かつ広域的な観光・レクリエーション需要に対応するとともに、北アルプス山麓の自然的環境や景観の保全・活用、公園を拠点とした地域活性化への貢献等を目的とした本公園が、その使命や役割を果たしていくための運営維持管理のあり方を示したものであり、以下の内容で構成している。

① 運営維持管理の基本方針
② 運営維持管理の重点事項

１．４ 運営維持管理基本方針の対象

基本方針は、既に供用している全園を対象としたものである。

今後の運営維持管理においては、本公園内に設置されている収益施設（飲食・物販施設）とも互いに連携・調整を図りながら効果的・効率的な業務の執行に努めるものとする。

２．運営維持管理の基本方針

２．１ 国営アルプスあづみの公園の公園づくりの基本理念

本公園では、これまで、上述した基本理念・基本方針に基づく公園づくりを進めてきた。今後も、社会情勢の変化などを考慮しつつ引き続き整備及び運営維持管理を進めていくこととなるが、基本理念・基本方針については共通した考え方として今後も継承していく。

２．２ 今後の運営維持管理の基本方針

本公園は、公園内及び周辺地域に存在する、良好な自然的条件を有効利用し、多様かつ広域的な観光・レクリエーションの需要に対応するとともに、自然的環境の保全活用の場及び地域活性化の拠点としての役割を担うものであり、本業務を通じて本公園の存在価値、利用価値を高めていく必要がある。

公園の存在価値とは、社会資本である公園が公共の福祉の増進等に貢献する機能や施設を有していることであり、公園の存在自体に価値があることである。この存在価値は、市場原理になじみにくく、持続的に維持しなければならない根元的なものである。

一方、利用価値とは、存在価値を維持した上で、公園施設や機能を活用した様々な活動が豊かに展開される公園の利用環境を意味している。この利用価値は、多様な主体の知恵や工夫を活用して、安全、安心、快適な公園環境を創出していかなければならないものである。

この存在価値や利用価値を高めていくためには、本公園を運営維持管理又は利用する多様な主体（国、事業者、地元自治体、公園ボランティア、公園利用者等）が、今後の本公園のあるべき目標・将来像を共有し、本公園のさらなる魅力向上に向けた取組を推進していく必要がある。

そのため、今後の本公園における運営維持管理の基本的な方針として、以下に示す６つの基本方針を設定した。

基本方針１）多様な体験･交流と美しい風景による魅力創出と効果的な発信

・常に新たな発見、驚きの体験を提供できる公園となるための多様なプログラム、魅力的な自然景観及び自然スケールを活かす風景づくり

・公園及び周辺環境・景観地域・文化を活かし、広域的な誘客が期待できる行催事や体験プログラムの提供

【国営アルプスあづみの公園の実績】

○花修景の魅力向上と効果的な発信

堀金･穂高地区での周辺の風景と調和した花の景色の創出とSNS等での効果的な発信。

里山文化ゾーンの花修景

田園文化ゾーンの花修景

○川遊び・マウンテンバイク・ツリーイング等、多様なアウトドアアクテビティの充実

自然の川、豊かな森の広がる大町・松川地区での自然体験メニュー、マウンテンバイクのコースを活かしたイベント･講習の充実、運営体制の強化。

川遊び（シャワーピクニック）

マウンテンバイクコース

○地域文化、自然環境を活かした体験プログラムの提供による地域貢献

地域の多彩な自然・文化を学習、体験できるプログラムを提供し安曇野の自然と文化の伝承・普及にも貢献。

○季節ごと･地区ごとの特色の発信

約100mの標高の違いによる開花期の違い、里山と奥山などの環境の違いによるみどころの多様さを活かし、四季折々に両地区を訪れたくなるような情報発信に努め、再来訪を促す取り組みを展開。

○北アルプス山麓の豊かな彩りのある空間づくり

スケールメリットを活かした花修景、北アルプス山並みと花の美しさで惹きつける風景などを効果的に情報発信し、その価値を向上させる取り組みを展開。

基本方針２）　地域の歴史・文化と生物多様性の保全に配慮した維持管理

・里山を守り育てる文化・技術の継承につながる運営維持管理

・生物多様性の保全に配慮した維持管理と利用者の安全確保のための対策

【国営アルプスあづみの公園の実績】

○技能や技術が継承できる参加体験型プログラム

公園資源や地域の歳時に関する体験プログラム（さとやま楽校など）を通して、里地里山の文化・技能の継承や景観の保全を推進。

田んぼの教室(田植え体験)

園内の森林を利用した間伐体験

馬耕の再現

○自然のなかでの安全管理

ツキノワグマの行動に関するモニタリング調査を継続するとともに、園内巡視作業の一環としてツキノワグマの行動を把握。屋外体験プログラムや河畔等ではスタッフの指導や安全管理体制を充実。

ツキノワグマの行動把握

自然のなかでの安全対策･監視体制強化
（つり体験における安全監視と指導）

○郷土種保全の取り組み

開園以来、昆虫類、植物、猛禽類、大型哺乳類の貴重生物のモニタリングと調査研究を継続し、貴重生物種の保全を推進。

●モニタリング
- 昆虫類（H9 年～H21 年）
- 植物（H9 年～H21 年）
- 猛禽類（H8～H22 年）
- 大型哺乳類（H9 年～H27 年）

園内に生息･生育する貴重種	環境省 レッドリスト	長野県 レッドリスト	安曇野市 レッドデータブック
植物	11 種	26 種	15 種
昆虫類	18 種	30 種	26 種
猛禽類	9 種	11 種	6 種

開園以来の貴重生物のモニタリング調査の状況

基本方針３）公園施設長寿命計画等に基づく確実な改善

・施設の安全確保と公園施設長命化計画等に基づく施設の修繕・更新

・利用者ニーズや評価の継続的な把握と運営管理へのフィードバック

・ユニバーサルデザインの観点から施設や案内サービスの充実

【国営アルプスあづみの公園の実績】

○施設の経年劣化等への対応

公園施設長寿命化の観点から健全度調査を行い、劣化施設の補修等を順次、計画的に実施中。

空中回廊の点検作業

劣化の進む木製柵

○各種利用者サービスの充実

満足度調査等で要望の多い遊具、遊び場、補助交通･食提供などのサービス、イルミネーション等の継続型の催事･行事は、随時改善策を検討し対応中。

繁忙期における仮設施設による遊び場の増強

施設案内誘導の補強

イルミネーション時の花火や記念撮影サービスの実施

地元産食材の販売等

基本方針４）多様な主体との連携と効率的な運営

・多様な立場や世代からの参加を幅広く取り入れた運営維持管理体制の充実

・広大な環境管理等の面での企業等との連携協力（とくに植樹、花修景等）の模索

【国営アルプスあづみの公園の実績】

○民間ボランティアとの協働等による公園の魅力アップ

本公園が地域の自然・歴史・文化の継承を担い、また安曇野に住む人・訪れる人へのリピートを目指し、民間ボランティアとの協働による体験プログラムの企画・運営により、地域らしさの演出・拡大を展開中。

夏休みの自由研究の教室

社会科教室での生業学習

森の自然散策体験

○地域の市民団体等の取り組みとの連携

堀金･穂高地区では地域の保護団体と連携して、貴重種であるオオルリシジミの自然発生を阻害するメアカタマゴバチの駆除のために春期の「野焼き」を実施。安曇野市内の市民団体等との協働により、さとやま楽校、ガイドツアー運営も実施。

大町･松川地区では、伝統文化（和太鼓）の育成、芸術祭や美術作品の展示のため会場として活用。

オオルリシジミ、野焼き

里山文化ゾーンガイドツアー

写真インスタレーション展示

○記念行事、企業や団体との連携による多様なサービスの実施

山の日制定にあわせて、山岳をテーマにした催事･行事の展開、地元に生産拠点をもつ種苗事業者との連携により水辺の花修景をすすめる等の取り組みを通じて利用者へのサービスを展開。

山岳フェスティバルでの山ごはん
クッキング教室（2015 年）

地元に生産拠点をおく種苗生産
事業者との連携による水上花壇

基本方針５）地域活性化をもたらす体験交流の取り組みの強化

・周辺地域への回遊・滞在を誘発する取り組みを通じた地域活性化への貢献

・地域周遊につながる効果的な情報発信･場の提供

【国営アルプスあづみの公園の実績】

○回遊・宿泊を誘致する取り組み

「農家民泊」の取り組みと本公園利用との連携を展開しており、「食育」や「グリーンツーリズム」が注目される中、大都市圏の学校に対して農家に泊まり農業を学び、安曇野を知る機会を提供中。

大町・松川地区では、北アルプス山麓の景色を空から楽しむことができる熱気球係留飛行搭乗体験を実施。熱気球搭乗券と公園周辺の宿泊施設への宿泊をセットにした旅行企画の開催を各旅行エージェント通じ実施中。

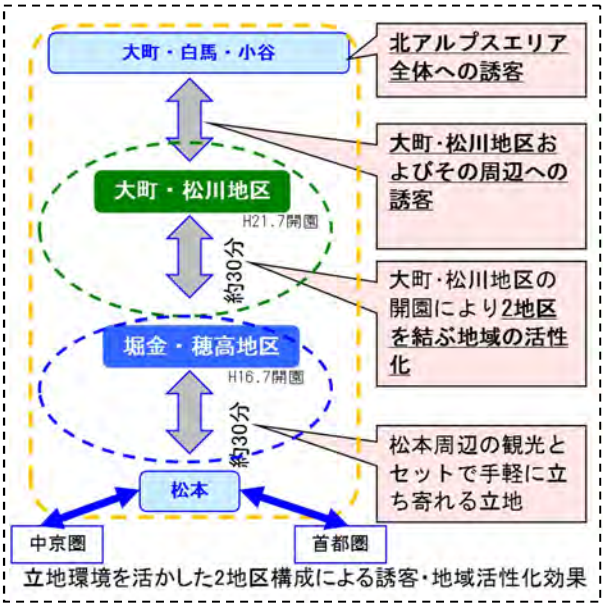
○地域交流拠点としての期待

地方公共団体や地域の団体等との連携により、早春賦音楽祭や北アルプスフェア等の催事･行事を開催し地域交流拠点としての充実を推進中。

○２地区及び周辺環境施設との相乗効果による地域活性化

本公園は、北アルプスエリアと松本や首都圏を結ぶルートに位置することから、周辺観光施設との相乗効果により、①北アルプスエリアへの誘客、②公園及び周辺への誘客、③松本周辺の観光施設とのセットでの誘客による地域活性化が可能。

相乗効果を発揮するため、２地区を活用した「アルプスあづみのセンチュリーライド（サイクリングイベント）」などの広域催事･行事を継続して毎年開催。



●２地区を活用した広域イベントの開催

【広域イベントの例】
アルプスあづみのセンチュリーライド（サイクリングイベント）

・地元住民と協力し、園内で地元食材等の補給地点を運営
・参加者は、安曇野～白馬地域（往復約160km）まで広く地域の魅力を体感。H28年度は､1,519人が参加

２地区及び周辺環境施設との相乗効果

３．運営維持管理の重点事項

２．で定めた運営維持管理の基本方針と併せ本公園の運営維持管理にあたり重点的に取り組む事項を整理した。

（１）全域開園のタイミングを活かした広域観光需要への対応

- 全園開園を契機に新たなマウンテンバイクコース、河畔のアクティビティ、地域固有の花修景による演出、耕作跡地を利用した各種体験プログラム等を加え、連休期間等の利用の選択肢を増やし、広域的な圏域からの観光需要も取り込み利用促進を図ります。
- 四季折々の花修景、イルミネーション等の創意工夫と全園開園を契機にした情報発信と体験参加型のプログラムにより、地元来園者や県外来園者の増加を図ります。
- 健康長寿への関心が高まるなか、美しい景色や豊かな自然の中での散策、アクティビティなど多様な体験を活かし、ヘルスケアとしての効果を発揮するプログラムに力を入れ、子育て世代の家族連れや団塊世代の夫婦やグループの来園促進を図ります。
- これらの取り組みを通じ、堀金･穂高地区での田園・里山風景の体験学習、大町・松川地区での自然を活かしたアクティビティなど多様なプログラムの実施により、来訪者を引きつける魅力を発信しながら２地区それぞれの特色の強化を図ります。

（２）生物多様性の保全と利用者の安全・安心の確保

- 平成 28 年度の全園開園に伴い管理エリアが広がったことを踏まえ、生物多様性に富んだ自然的環境の保全と体験利用とのバランスを図りながらオオルリシジミなど希少な動植物の保護育成、生育生息場所の維持、管理を推進します。
- 公園を含む北アルプス山麓はツキノワグマ等大型野生動物の生息環境でもあることから、これらとの適切なすみわけを図るための環境管理と自然の中での過ごし方に対する理解促進、利用者の安全・安心に配慮した運営に努めます。

（３）利用者サービスの質の継続的な改善

- 開園後の経年劣化や施設の陳腐化等の課題解決に取り組み、国営公園としてあるべき基本的なサービス水準を確保しつつ、利用者のニーズ等もふまえた柔軟な視点も組み入れ、施設と運営の両面から利用者へのサービスの質の継続的な改善を進め、利用者満足度の向上を図ります。
- 災害時における適切な避難誘導等はもちろん、平常時からの安全・安心な利用機会の確保に努め、有事の際にも復旧活動の拠点としての機能を担ってまいります。

（4）地域の人材やノウハウを活用した特色ある「魅力」づくり

～地域の人材確保と文化や技能の継承～

- 多様化するニーズに対応しながら利用促進を図るため、安曇野地域の四季・風土を学び、水田耕作等の里山の文化や技能を体験するプログラムや河畔探勝、歩くスキー、シャワーピクニックなど一定の技量を必要とするアクティビティの運営に力を入れます。
- これらを展開できる地域の諸団体や関係者との連携を強化しながら、有用な地域資源や多様な視点からの人材活用に取り組みます。

（5）地域活性化への貢献

- 2 地区を活用した催事･行事等の開催､滞在型観光の振興策との連携実績を活かしながら、地元自治体等と協働した安曇野地域のブランド形成や情報発信を積極的に行い、地域滞在型観光の促進に貢献します。
- 大町市での平成 29 年実施の北アルプス国際芸術祭､中信地域での平成 31 年度の全国都市緑化信州フェア等、地域の大型催事･行事との連携も図り、緑豊かなスペースを活かした地域活性化につなげます。

別紙－５

H31-35 国営アルプスあづみの公園
運営維持管理業務
共通仕様書（案）

平成 31 年〇月

国土交通省

関東地方整備局

第１章　総則

第１条 目的

１．国営アルプスあづみの公園（以下「本公園」という。）は、長野県をはじめ首都圏、中京圏等に居住する人々の多様な観光・レクリエーション需要に対応するとともに、北アルプス山麓の自然的環境や景観の保全・活用、公園を拠点とした地域活性化を目的に、国が設置・管理している国営公園である。

２．本公園は長野県北西部の安曇野市に位置する「堀金・穂高地区」と、大町市及び松川村に位置する「大町・松川地区」の２地区からなり、日本でも有数の北アルプスの自然環境・山岳景観を背景とし、人里と奥山の中間に位置している公園である。（別添－１「国営アルプスあづみの公園平面図」参照）

３．「堀金・穂高地区」は、失われつつある安曇野の田園風景を保全・復元するとともに、安曇野地域の自然・文化を短時間で体験することができる、安曇野地域の玄関口としての公園として計画されている。一方、「大町・松川地区」は北アルプスの山岳景観につながる良好な自然環境を保全しながら、時間をかけてその自然環境を学び、体験できる公園として計画されている。

４．本公園は、「自然と文化に抱かれた豊かな自由時間活動の実現－自然の中で感性を育む遊・創・空間－」を基本理念とし、以下の６つの基本方針の下に総合的に整備、管理・運営を進めている。（別紙－４「H31-35 国営アルプスあづみの公園運営維持管理基本方針」参照）

１）自然環境の保全：生物多様性に富んだ自然環境との共存を目指した保全活動や啓発活動の推進

２）広域レクリエーション：日本を代表する自然環境の中で、安らぎ創出や健康づくりにつながる楽しみを各種体験・学習プログラムを通じて提供

３）景･文化の保全と創出：第一級の山岳景観と雄大な田園景観が一体となった安曇野地域の景観及びこれをはぐくむ豊かな風土･文化の保全と創出への貢献

４）交流・地域活性化：公園が地域滞在型観光の拠点となるとともに、園内資源を活用し、地域と連携した地域活性化への貢献

５）情報発信：安曇野地域を舞台にして、豊かな自然のなかで育まれてきた風土・文化とこれからの暮らし方についての新たな発見を導く情報を発信

６）参加：公園の整備・管理運営において、地域、企業、利用者等、様々な立場、多様な世代からの参加を促進

５．本公園では、基本理念と基本方針の下、運営維持管理の基本的な考え方として、以下の６つの管理方針を設定している。（別紙－４「H31-35 国営アルプスあづみの公園運営維持管理基本方針」参照）

１）公園及び周辺の環境を踏まえ、生物多様性の保全に配慮した維持管理を行うともに、自然的環境に関する普及啓発を推進する。

２）公園及び周辺が有する環境や景観、文化を活用し、広域的な誘客が期待できる行催事や体験プログラムの構築と提供を行う。

３）昔ながらの里山を守り育てる文化・技術を継承する場として、各種体験プログラムの提供とともに、適切な植生管理等を通じ周辺地域と一体となった良好な景観の形成を図る。

４）地域と連携した各種行催事の展開等、周辺地域への回遊・滞在を誘発するような取り組みを通じ、地域活性化に貢献する。

５）地域の観光情報発信拠点としての役割を果たすとともに、地域の自然や文化、暮らし等に関す

る情報発信に努める。

6）多様な立場や世代からの知見や参加を、公園周辺地域を中心に幅広く取り入れ、運営維持管理体制の充実を図る。

6．本公園の利用状況は、平成 16 年７月の開園時から平成 29 年３月までの入園者数累計は、約 515 万人（堀金・穂高地区約 374 万人、大町・松川地区約 140 万人）であり、平成 29 年度の入園者数は約 43 万人（堀金・穂高地区：約 27 万人、大町・松川地区：約 16 万人）である。

7．事業に当たっては、上記の基本方針と管理方針を踏まえ、広域的な圏域からの誘客、来園者に対するサービス向上、地域活性化への貢献、自然環境の保全と活用を目指し、一元的に運営維持管理を進めるものである。

8．H31-35 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務（以下「本業務」という。）は、本公園において、国の組織である国土交通省関東地方整備局長野国道事務所公園課との調整の下で、北アルプス山麓の豊かな自然環境と良好な景観と一体となった公園として、より多くの公園利用者が安全で快適に公園を利用できるよう、公園利用者サービスや利用指導を図るとともに、公園の質的水準を維持、向上させ、本公園全般にわたり、公園資産を保全、増進させることを目的とする。

第２条 適用及び用語の定義

本仕様書は、本業務のうち、「本業務全体のマネジメント及び企画立案業務」、「施設・設備維持管理業務」及び「植物管理業務」に適用する。

なお、本仕様書及び各業務の個別仕様書に用いる用語の定義は、次の各号に掲げるとおりである。

1．「関東地方整備局」とは、本公園の公園管理者であり、本業務の発注者のこと。

2．「調査職員」とは、契約図書に定められた範囲内において、事業者又は事業者の指定する職員に対する指示、承諾又は協議等の職務を行う委託者の指定する職員で、総括調査員、主任調査員及び調査員の総称のこと。

3．「検査担当者」とは、事業者の指定する本業務に関する作業完了の確認を行う職員のこと。

4．「事業者」とは、本公園の運営維持管理者として、本業務を受注した者のこと。

5．「公園利用者」とは、有料区域・無料区域を問わず、本公園を利用する者のこと。

6．「自主事業」とは、公園の利便性や魅力をより一層高めるため、関東地方整備局と事前に協議し、都市公園法（昭和 31 年法律第 79 号）第５条、第６条又は第 12 条に基づく許可を得た上で、事業者の提案により土地使用料又は建物使用料を納めて独立採算により繁忙期における臨時の飲食・物販施設の運営、通年での飲食物販施設等の設置運営、指定する既存施設の改修運営や行催事を行う事業のこと。

7．「収益施設」とは、公園利用者サービスの向上を図るため、事業者が独立採算により運営管理を行う施設であり、その使用に当たっては、都市公園法施行令（昭和 31 年政令第 290 号）第 20 条に基づき、施設使用料又は建物使用料及び土地使用料を納めることが必要となる場合がある。

8．「入園料」とは、都市公園法施行令（昭和 31 年政令第 290 号）第 20 条第２項及び都市公園法施行規則（昭和 31 年建設省令第 30 号）第 11 条第２項に基づき、有料区域を利用する者から徴収する料金のこと。

9．「利用料金」とは、収益施設等の使用やそれに伴うサービスの対価として、収益施設等を利用する者から徴収する料金のこと。

10．「施設使用料」とは、都市公園法施行令（昭和 31 年政令第 290 号）第 20 条に基づき、施設運営

者が関東地方整備局に納める公園の土地又は建物の使用にかかる料金のこと。

11.「建物使用料及び土地使用料」とは、本公園の土地又は建物を使用して臨時的な飲食・物販施設等を設置する場合に、「行政財産を使用又は収益させる場合の取り扱いの基準について」（昭和33年蔵管第１号）に基づき関東地方整備局から金額を通知し、事業者が関東地方整備局に納める料金のこと。

12.「業務責任者」とは、本仕様書の第13条に示す業務内容である「本業務全体のマネジメント及び企画立案」、「施設・設備維持管理」及び「植物管理」の個別業務の責任者をいう。

13.「総括責任者」とは、複数の業務分野について全体的に総括する立場の者であり、業務責任者のうち、本業務全体の計画立案及びマネジメントの業務責任者をもってそれにあてること。

14.「スタッフ」とは、事業者が本業務を履行するための職員、アルバイト、その他関係従事者のこと。

15.「管理物件」とは、別添－１「国営アルプスあづみの公園平面図」に示す敷地及び附属設備のこと。なお、同敷地内であっても、第三者が持込、又は、管理許可を受け、若しくは占用している設備・機器、工作物等については、その対象から除外する。

16.「国事務所」とは、国土交通省関東地方整備局長野国道事務所公園課のこと。

17.「管理事務所」とは、別添－３「管理事務所図」に示す建築物のこと。

18.「管理センター」とは、管理事務所を拠点として本業務を遂行する組織のこと。

19.「修繕」とは、施設の劣化した部分又は部材について、性能又は機能を原状あるいは事実上支障のない状態まで回復させること。

20.「改修」とは、性能又は機能を従前より向上させる措置を行うこと。

21.「保守」とは、機器等の必要とする性能又は機能を維持する目的で行う消耗品又は材料の取り替え、注油、汚れ等の除去及び部品の調整等の軽微な作業を行うこと。

22.「点検」とは、施設の機能及び劣化の状態を一つ一つ調べること。機能に異常又は劣化がある場合、必要に応じて対応処置を判断する事を含む。

23.「指示」とは、関東地方整備局又は調査職員が事業者に対し、業務の遂行上必要な事項について書面をもって示し、実施させること。また、関東地方整備局が事業者に対し、業務の適切かつ確実な実施を確保するために必要があると認めるときには、競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成18年法律第51号。以下「公共サービス改革法」という。）第27条第１項に基づき、必要な措置をとらせることをいう。

24.「通知」とは、関東地方整備局又は調査職員が事業者に対し、若しくは事業者が関東地方整備局又は調査職員に対し、業務に関わる事項について、書面をもって知らせること。

25.「報告」とは、事業者が調査職員に対し、業務の遂行に係わる事項について、書面をもって知らせること。

26.「承諾」とは、事業者が調査職員に対し、書面で申し出た業務の遂行上必要な事項について、調査職員が書面により業務上の行為に同意すること。

27.「協議」とは、書面により契約図書の協議事項について、関東地方整備局又は調査職員と事業者が対等の立場で合議すること。

28.「提出」とは、事業者が調査職員に対し、業務に係わる事項について書面又はその他の資料を説明し、差し出すこと。

29.「書面」とは、手書き、印刷等の伝達物をいい、発行年月日を記録し、署名又は捺印したものを

有効とする。ただし、緊急を要する場合は、ファクシミリ又は電子メールにより伝達できるものとするが、後日有効な書面と差し替えるものとする。

30.「検査」とは、既済検査あるいは完了検査のこと。

31.「勧告」とは、関東地方整備局長が事業者に対し、業務等に関する事項について、書面をもって、改善等の行動をとるように説きすすめること。

32.「命令」とは、関東地方整備局長が事業者に対し、業務等に関する事項について、書面をもって、改善等の一定の義務を課する具体的な処分のこと。

第３条 総則

１．本仕様書は、本業務を遂行するために必要な事項を定め、もって本公園の適正な運営維持管理を期するものである。

２．本業務の実施は、H31-35 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務委託契約書（以下「契約書」という。）によるほか、本仕様書によるものとする。

第４条 準拠規定

本業務の遂行に当たっては、次の各号に掲げる基準等に準拠すること。

１．都市計画法

２．都市公園法

３．道路交通法

４．景観法、屋外広告物

５．建築物における衛生的環境の確保に関する法律
建築物環境衛生管理基準（厚生労働省）

６．消防法（消防庁）

７．建築基準法

８．労働基準法、労働安全衛生法

９．下水道法

10. 水道法

11. 水質汚濁防止法

12. 浄化槽法

13. 食品衛生法

14. 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

15. 大気汚染防止法

16. 騒音規制法

17. 振動規制法

18. 個人情報の保護に関する法律

19. 高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律

20. 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律

21. 電気事業法及びこれに基づく政令等

22. 電気設備に関する技術基準を定める省令

23. 建築保全業務共通仕様書 （国土交通省大臣官房官庁営繕部）

24. 建築保全業務報告書作成の手引き（国土交通省大臣官房官庁営繕部）
25. 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）
（国土交通省大臣官房官庁営繕部）
26. 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）
（国土交通省大臣官房官庁営繕部）
27. 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）
（国土交通省大臣官房官庁営繕部）
28. 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）
（国土交通省大臣官房官庁営繕部）
29. 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）
（国土交通省大臣官房官庁営繕部）
30. 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）
（国土交通省大臣官房官庁営繕部）
35. 移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める省令
36. 移動等円滑化の促進に関する基本方針（国家公安委員会、総務省、国土交通省）
37. 都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン（国土交通省）
38. 公園のユニバーサルデザインマニュアル
（財団法人　都市緑化技術開発機構　公園緑地バリアフリー共同研究会編）
39. 都市公園における遊具の安全確保に関する指針（改訂版）
（国土交通省都市・地域整備局公園緑地・景観課）
40. 国土交通本省委託契約取扱要領（別添－２）
41. 第４次レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）
（環境省自然環境局）
42. 長野県レッドデータブック
43. 安曇野市版レッドデータブック
44. 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律
45. 特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律
46. 猛禽類保護の進め方（改訂版）（環境庁自然保護局野生生物課編）
47. 長野県希少野生動植物保護条例
48. 国営アルプスあづみの公園における行為の禁止等に関する取扱要領（別添－４）
49. 国営アルプスあづみの公園における猛禽類保護のための配慮指針（抄）（別添－43）
50. 土木工事共通仕様書
51. 土木工事施工管理基準
52. 土木工事写真管理基準
53. 電気通信設備工事共通仕様書
54. 河川法
55. 土地改良法
56. 建設業法
57. 建設工事に係る資材の再資源化に関する法律
58. 国有財産法、会計法、会計検査院法、国の債権管理等に関する法律

59. 遺失物法
60. 容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律
61. 原状回復をめぐるトラブルとガイドライン（改訂版）
（国土交通省住宅局住宅総合整備課）
62. 著作権法
63. 農薬取締法
64. 長野県暴力団排除条例
65. 警備業法
66. 都市公園の樹木の点検・診断に関する指針（案）
67. その他、関係諸法令等

第５条 事業者の義務

１. 事業者は、本業務について善良なる管理者の注意をもって実施する義務を負わなければならない。

２. 本公園の設置の意義を踏まえて、その効用を最大限発揮させるよう、努力しなければならない。

３. 本業務全般について計画立案を行い、目標及び業務計画を策定し、その一元的管理方針の下で、第２章に示す多岐にわたる業務を総合的な調整の下、相互連携を保ち、適切に進捗管理を行いつつ実施しなければならない。

４. 事業者は、本公園の管理について創意工夫のある企画や効率的な運営等により、公園利用者の多様なニーズに応え、質の高いサービスの提供を図り、効果的・効率的な管理運営を目指さなければならない。

５. 事業者は、本業務の実施に当たって、関東地方整備局又は調査職員と常に密接な連絡をとり、本業務の目的の達成を図るものとし、その実施状況を記録しておかなければならない。

第６条 関東地方整備局と事業者の責任分担

本業務を実施するに当たり、関東地方整備局と事業者の責任分担を下表「関東地方整備局と事業者の責任分担一覧」（以下「責任分担一覧」という）のとおりとする。ただし、責任分担一覧に定める事項に疑義が生じた場合、又は、責任分担一覧に定めのない事項については、関東地方整備局と事業者の間で十分に協議の上、決定するものとする。

関東地方整備局と事業者の責任分担一覧

項目		関東地方整備局	事業者
	内容		
料金徴収業務	入園料（収益施設運営に係るものを除く）の徴収業務（徴収料金は、関東地方整備局に納付）		○
公園施設の管理	公園施設の管理（都市公園法第５条に基づき設置・管理している施設を除く。）		○
物品の管理	関東地方整備局より提供のあった物品の管理		○
	本業務において取得した物品及び消耗品の管理		○
苦情・要望対応	施設管理、運営業務内容に対する住民及び公園利用者からの苦情、訴訟、要望への対応		○
	上記以外の場合	○	
事故・災害時対応	本仕様書等に記載された業務内容による対応		○
	上記以外の場合	○	
物価変動	人件費、物品費等物価変動に伴う経費の増		○
	ただし、30/1000 以上の物価変動が見込まれる場合	○	
金利変動	金利の変動に伴う経費の増		○
運営日時の変更	開園日時の変更（事業者による提案）に伴う経費の増減		○
許認可	都市公園法に基づく許認可	○	
	公園利用者の受付及び書類交付手続きの補助		○
施設・物品等の修繕	事業者の責めに帰すべき事由による場合（事業者による管理が不適切なために修繕が必要になった場合も含む。）（以下この表において「①」という。）		◎
	修繕にかかる費用が１件当たり 100 万円を超えない場合かつ年間修繕費用 300 万円（税抜き）【平成 31 年度分】、1,800 万円（税抜き）【平成 32～34 年度】、1,300 万円【平成 35 年度分】※を超えない場合（上記①を除く。）。		○
	上記２項目以外の場合 ※予算の状況により施設の使用中止又は臨時閉園とする場合には、年間業務計画の変更を協議するものとする。	○	
不可抗力	大規模な自然災害等（災害対策部運営計画に基づく警戒体制以上の体制をとるような事態）の不可抗力（以下この表において「②」という。）により公園施設に著しい損害を受けた場合に、公園を一時閉園する等して行わなければならない施設、設備等の復旧等※上記②により施設の使用中止又は臨時閉園とする場合には、対応を協議するものとする。	○	
公園利用者への損害	事業者の責めに帰すべき事由により、公園利用者に損害を与えた場合（事業者の不適切な運営又は、施設管理による公園利用者の怪我等）		◎
	共通仕様書第 27 条の保険の付保及び事故の補償に係る場合		○
	上記２項目以外の場合	○	
第三者への損害	事業者の責めに帰すべき事由により、第三者に損害を与えた場合		◎
	上記以外の場合	○	

※年間修繕費用は、軽微な維持管理修繕（点検を除く）に要した費用の平成 27～29 年度実績と現在の状況を踏まえた額であり、本業務において事業者によるこれと同程度の修繕を見込んでいる。実績は、別紙－38 建物・工作物に係る修繕履歴（修繕箇所、費用等）」を参照のこと。

※事業者の責任分担中、◎の項目については、委託費を充当することができない。また、それ以外についても事業者の責めに帰すべき事由により損害等が発生した場合も同様である。

第７条 競争の導入による公共サービスの改革に関する法律 27 条第１項に基づく指示

関東地方整備局長は、事業者による業務の適切かつ確実な実施を確保するために必要があると認めるときは、公共サービス改革法第 27 条第１項に基づき、事業者に対し、必要な措置をとるべきことを指示できる。

第８条 契約の解除

関東地方整備局は、事業者が次のいずれかに該当するときは、契約を解除することができる。

１．公共サービス改革法第 22 条第１項第１号イからチ又は同項第２号に該当するとき。

２．繰り返し法令違反を行ったとき。

３．暴力団員を業務を統括する者又は従業員として雇用していることが明らかになったとき。

４．暴力団又は暴力団関係者との社会的に非難されるべき関係を有していることが明らかになったとき。

第２章 業務内容

第９条 運営維持管理基本方針

事業者は、国有財産としての適正な管理を保持しつつ、創意工夫やノウハウを積極的に発揮し、以下の運営維持管理の重点事項に則り、本業務の遂行に努めること。

１．広域的な観光需要に対応した来園者の確保に資する運営維持管理
２．国営公園に相応しいサービス水準の確保と先導的な取り組み
３．安曇野地域の季節・風土・文化を活かした管理運営
４．安曇野地域の景観に配慮した管理運営
５．地域活性化に資する管理運営
６．環境の質の確保に資する管理運営
７．安全・安心に配慮した管理運営

第１０条　業務実施の基本的事項

１．事業者は、本業務の実施に当たっては、各業務間の総合調整を十分に図り、次に掲げる項目に留意するものとし、本共通仕様書第１条４．の６つの基本方針に沿った管理運営を行うこと。

１）生物多様性に富んだ自然環境に配慮した運営維持管理の実施及び環境をはじめとする各種体験プログラムの積極的な実施を行うこと。
２）広域的な誘客を図るため、長野県内をはじめ首都圏、中京圏等、広域的な広報展開を図ること。
３）安全で快適な利用がされるように利用指導及び利用者サービスを適切に行うとともに、利用者数の確保を図るために公園利用者ニーズに的確に対応した利用促進策を展開すること。
４）多様な体験プログラム等の充実を図るため、園内のボランティア活動への支援・指導に努めること。
５）乳幼児連れの公園利用者、障害者、高齢者等への適切な対応等を図ること。
６）地元自治体、地域の団体、企業、市民等との連携を積極的に図り、本公園の運営維持管理を通じた地域活性化に寄与すること。
７）様々な管理技術の駆使や、効率的な運営管理等を通じて、常に経費の削減に配慮しながら高品質な維持管理を実施すること。
８）災害や事故等における危機管理を徹底するとともに、発災時には避難地又は、災害復旧活動拠点としても機能するよう、適切な対応を行うこと。
９）有機性廃棄物の堆肥化等、園内での資源の有効活用に配慮すること。
10）良好な景観の形成に努めた維持管理を実施すること。
11）利用状況に応じ、適正に本業務を行い、利用に支障をきたさないように配慮すること。

第１１条 履行場所及び履行期限

１．履行場所

施設名称	国営アルプスあづみの公園	
所在地	(堀金・穂高地区)	長野県安曇野市堀金烏川 33-４
	(大町・松川地区)	長野県大町市常盤 7791-４
敷地面積	(堀金・穂高地区)	約 100ha　注)
	(大町・松川地区)	約 253ha　注)

合計　約 353ha

注）本業務の対象敷地は国営アルプスあづみの公園（以下「本公園」という。）の供用区域である。
※　別添－１「国営アルプスあづみの公園平面図」を参照すること。
※　兼用工作物については別添－11「兼用工作物について」を参照すること。

２．履行期限

平成 31 年２月１日から平成 35 年１月 31 日までとする。

事業者は、本業務が適正かつ円滑に実施できるよう過年度事業者から契約日以降業務開始日までに必要な引き継ぎを受け、本業務の開始に備えること。

第１２条 開園日時等

本業務の履行期間における本公園の開園日、開園時間、入園料については原則として官報告示に従う。

開園期間及び時間

エリア	開園期間	開園時間
供用区域	３月　１日～　６月　30 日	９:30～17:00
	７月　１日～　８月　31 日	９:30～18:00
	９月　１日～　10 月　31 日	９:30～17:00
	11 月　１日～　２月　末日	９:30～16:00

※休園日は 12 月 31 日、１月１日及び毎週月曜日（月曜日が休日の場合は直後の平日）とする。ただし、月曜日のうち、４月 27 日から５月６日及び７月 20 日から８月 31 日の各期間、休日の場合並びに日曜日と休日にはさまれている場合は開園日とする。
※繁忙期、イベント開催時等においては、本業務の受託者（以下、「事業者」という。）が関東地方整備局と協議し、同意を得た上で、開園時間の変更を行うことができる。
※開園期間においても、定期点検等の実施により休園が必要な場合は、事業者が関東地方整備局と協議し、同意を得た上で休園とする。

なお、以下のとおり無料入園日を設けることとし、当該年度の日付は１ヶ月前までに通知する。

・春の都市緑化推進運動　：　４月１日～６月 30 日【期間中１日】
・都市緑化月間　：　10 月１日～10 月 31 日【期間中２日】
・みどりの日　：　５月４日【１日】
・敬老の日　：　９月第３月曜日【１日】
※満 65 歳以上の者のみ無料

第１３条 業務内容及び業務対象

事業者は、本公園の供用区域内に位置する都市公園法第２条第２項で規定された各公園施設を対象として、個別仕様書に記載された管理水準及び業務内容を踏まえ、以下の各業務を行うこと。（別紙－１「主要公園施設一覧」、別紙－２「主要建築物一覧」参照）

＜業務内容＞

公園運営維持管理業務（委託費により行う業務）

１．本業務全体のマネジメント及び企画立案業務

本業務全体の計画立案及びマネジメント

入園料等徴収、臨機の措置、その他本業務が円滑に行われるための諸業務　等

企画広報（行催事企画運営、広報、公園ボランティア活動の支援・調整）

公園利用者への利用指導、公園利用者へのサービス、園内巡視　等

２．施設・設備維持管理業務

維持修繕・保守点検等（建物、建物設備、園路広場、遊具、電気設備、汚水・排水施設、給水施設、水景施設、その他設備）

清掃（園内清掃、園内建物清掃）　等

３．植物管理業務

高木管理、中低木管理、林地管理、草花管理等（草刈り、施肥、灌水、剪定等）

１．本業務全体のマネジメント及び企画立案業務

１）マネジメント

本公園の運営維持管理全般について、目標及び業務計画を策定し、その一元的管理方針の下で、企画運営管理業務、施設・設備維持管理業務、植物管理業務等、多岐にわたる業務について総合的な調整の下相互連携を保ち、適切な進捗管理を行うとともに、入園料の徴収事務、関東地方整備局の実施する整備・修繕工事における実施方針の検討等の助言・調整、臨機の措置、その他本業務が円滑に行われるための諸業務を行う。また、本業務に付随して実施する収益施設等管理運営業務について、本業務との連携を図り、効率的な事業展開を図るための調整を行うこと。（別紙－６「個別仕様書（企画立案）」参照）

２）企画運営管理

利用促進のための行催事（材料代等実費を公園利用者から徴収するもの等を含む）や広報宣伝の企画・立案・実施・参加者受付及び公園ボランティアに対する支援・調整を行う業務である。また、公園利用者の安心・安全を確保し、円滑に利用してもらうために、利用指導及び利用案内等の公園利用者に対するサービスの提供、園内巡視、本業務に関わる自動車維持等を行う。さらに、本公園及び周辺地域に生息する野生動物の動向の把握に努め、公園利用者の安全確保を図る。（別紙－６「個別仕様書（企画立案）」参照）

２．施設・設備維持管理業務

１）維持修繕・保守点検

建物、園路広場、遊具、電気設備、汚水・排水施設等について、所要の目的が果たされるよう、日常、適宜巡回点検・保守点検し、常に安全で良好な状態にあるよう、利用の状況に応じて破損個所の軽微な補修又は補充を適切に行う。また、給水施設や電気設備の使用量を計測し記録

を確実に行うとともに、水景施設に関しては、衛生面の安全を確保するよう、水質管理を確実に行う。（別紙－７「個別仕様書（施設・設備）」参照）

２）清掃

公園利用の動向、塵芥及び汚水等の発生量に即応して適切な措置をとり、園内や建物の清掃を行い、常時公園内を清潔にする。また、園内に塵芥が散乱した場合は、速やかに園内の清掃を行い、利用に支障が生じないよう適切な措置をとる。なお、塵芥は種類ごとに定められた処理方法に従って、適切に処理する。さらに、積雪時には除雪を行う。（別紙－７「個別仕様書（施設・設備）」参照）

３．植物管理業務

来園者が当地域の自然環境の豊かさを実感できる四季折々の景観形成を図るため、利用状況、景観等に応じた除草、外来種の除去、芝刈り、施肥、潅水、樹木の剪定等を行うことにより、園内の植物が常に良好な状態にあるように植物管理を行うとともに、公園利用者に怪我等がないよう適切な管理を行う。さらに、公園内及び周辺に生息する大型哺乳類、猛禽類及び昆虫類の生息環境保全に配慮した植物管理に努める。（別紙－８「個別仕様書（植物）」参照）

第１４条 業務実施体制

１．国営公園の設置目的を達成し、公園利用者の安全・快適な利用サービスを提供するため、下記の資格要件を備えている職員を配置する等本業務を実現する業務実施体制を構築すること。なお、資格証明書の写しを調査職員に提出すること。

＜事業者が保有する必要がある資格＞

・１級造園施工管理技士

２．日常管理業務に加え、公園利用者の案内や苦情・要望、事故・災害等非常時における緊急対応が適切に行われるよう、一元的な管理体制を構築すること。

３．本業務全体のマネジメント及び企画立案、施設・設備維持管理、植物管理について業務別に業務責任者を配置することとする。なお、本業務全体のマネジメント及び企画立案の業務責任者を総括責任者とし、業務責任者による他業務責任者及び担当者の兼務を妨げない。

ただし、収益施設等設置管理運営業務への委託費の支出は認めない。収益施設等設置管理運営業務責任者と兼務する場合、収益施設等設置管理運営業務とそれ以外の業務との従事割合等を明確に区分しなければならない。

４．本業務全体のマネジメント及び企画立案の業務責任者を総括責任者とし、総括責任者は本業務の全体を監理すること。

５．業務責任者による他の業務責任者及び担当者の兼務を妨げない。ただし、収益施設等設置管理運営業務への委託費の支出は認めないので、収益施設等設置管理運営業務の業務責任者がそれ以外の業務責任者を兼務する場合、収益施設等設置管理運営業務とそれ以外の業務との従事割合等を明確に区別すること。

６．開園期間中は、総括責任者が勤務する体制、又は本共通仕様書第 13 条２）～３）の業務責任者及び収益施設等設置管理運営業務の業務責任者のうち、少なくとも２名以上が勤務する体制とすること。さらに業務責任者が勤務していない業務については、当該業務に精通した者を勤務させるものとし、緊急対応を含め本共通仕様書第 13 条１）～３）が円滑かつ迅速に行われる勤務体制をとること。なお主な業務従事（勤務）場所は、管理事務所（別添－３「管理事務所図」）を

想定している。

7．この他、国庫に納入する入園料等の徴収業務を担当する経理担当者、及び救急対応を担当する者を配置するものとするが、経理担当者は、刑法（明治 40 年法律第 45 号）、その他の罰則の適用については、法令により公務に従事する職員とみなす。

8．関東地方整備局から業務実施体制について点検を求められたときは、これを受けることを拒んではならない。なお、点検員は調査職員とする。

第１５条 業務計画書

１．事業者は、契約締結日の 14 日前までに、企画書にもとづく積算根拠となる詳細な工種、数量、月次の工程計画、体制を記載した「業務計画書」を関東地方整備局に提出し、協議の上、承諾を得ること。

２．「業務計画書」の策定に当たっては、運営維持管理の実務を通じた経験や知見、公園利用者からの意見・苦情・要望を踏まえた業務計画の変更の経緯、記録が確実に残る仕組みを構築し、「業務計画書」に記載すること。

３．運営維持管理の実務を通じた経験や知見、公園利用者からの意見・苦情・要望に基づく対応について、年度内での変更が求められる場合は、「業務計画書」を随時修正すること。
変更業務計画書の提出の必要の有無は内容に応じて調査職員と協議すること。なお、次年度以降の実施内容に変更がある場合は、次年度の業務開始 14 日前までに変更業務計画書を提出し、承諾を得るものとする。ただし、軽微な変更の場合はこの限りではない。

４．四半期別必要経費内訳書には、「業務計画書」の変更がある場合は、その結果を反映した上で、数量、単価を記載し、積算根拠を明確にすること。

＜業務計画書に記載が必要な項目＞
・ 年間管理運営計画（月別）
・ 年間行事計画書（月別）
・ 年間広報計画（月別）
・ 企画提案された実施方針(月別)　（別紙様式 1－6「実施方針」参照）
・ 業務実施体制（資格証明書の写しを含む）　（別紙様式 1－5「業務実施体制」により作成）
・ 業務実施のための管理機構及び職務分担
・ 実施計画（別添－2「国土交通本省委託契約取扱要領」参照）
・ 四半期別必要経費内訳書（別添－2「国土交通本省委託契約取扱要領」参照）
・ 再委託承諾申請書（別添－2「国土交通本省委託契約取扱要領」参照）
・ 施設管理作業（建物管理、工作物管理、清掃、除雪）
・ 植物管理作業
・ 収益施設運営計画（別紙様式－3「収益施設運営計画」参照）
・ 公園内巡視作業
・ 入園料徴収及び公園利用者への利用指導
・ 安全管理、安全確保、救急救護、防災計画、消防計画、災害時・異常時対策
・ 公園利用促進への取り組み（広報、行催事等の開催）
・ 市民参加による公園運営（公園ボランティア）
・ 地域連携方針
・ 環境への配慮

第１６条 業務報告書

１．事業者は、関東地方整備局が運営維持管理の実施状況と包括的な質や管理水準等の達成状況のモニタリング調査が確実に行えるよう、報告書を調査職員に毎月又は、四半期ごとに定期的に提出すること。

２．事業者は、各年度の業務を完了した時は、遅滞なく、当該年度の完了報告書、精算報告書及び委託費経費内訳報告書、残存物件報告書（以上、各正本１通、副本１通）に成果物（年度内に実施した運営維持管理実績を示す実績状況等の記録書一式）を添えて調査職員に提出すること。

３．経理状況に関する帳簿類は常に整理し、関東地方整備局からこれらに関する報告や実施調査を求められた場合には、速やかに調査職員の指示に従い、誠実に対応すること。

４．本業務は電子納品（試行）対象業務とする。電子納品とは、上記業務報告書の最終成果のうち調査職員が指示するものを電子データで納品すること。

＜毎月提出が必要な項目＞
１）「管理運営月報（勤務実績簿を含む）」（提出期限は翌月の 10 日 別添様式 1）
２）「管理運営月報総括表」（翌月の 10 日 別添様式 2）
３）「定例会報告書」（翌月の定例会まで）※定例会は第 26 条参照
４）公園内全施設の電気メーター検針表及び算定表（毎月初め）
５）公園内全施設の水道メーター検針表及び算定表（毎月初め）
６）公園内全施設のガスメーター検針表及び算定表（毎月初め）
７）貸与車両の稼動実績、燃料使用実績報告（翌月の 10 日）
８）上記以外の発注者で指定した報告事項（適宜）

＜四半期ごとに提出が必要な項目＞
１）「管理四半期報」（提出期限は四半期翌月の 15 日 別添様式 3）

＜当該年度の完了報告で提出が必要な項目＞
１）「完了報告書」 （別添－2「国土交通本省委託契約取扱要領」参照）
２）「精算報告書」 （別添－2「国土交通本省委託契約取扱要領」参照）
３）「委託費経費内訳報告書」 （別添－2「国土交通本省委託契約取扱要領」参照）
４）「残存物件報告書」 （別添－2「国土交通本省委託契約取扱要領」参照）
５）「実施状況等の記録書」

＜実施状況等の記録書に添付が必要な項目＞
１）作業日誌
２）保守点検の記録
３）作業実施数量の記録
４）作業記録写真
５）安全衛生点検の記録
６）修繕等の記録
７）事業者における検査担当者が作業の完了を確認した記録
８）その他関東地方整備局が指定した報告事項の記録

＜電子納品＞
１）電子データとは、「電子納品等運用ガイドライン」、「現場における電子納品に関する事前協議ガイドライン（案）」（以下「ガイドライン」）及び関東地方整備局の「電子納品に関する手引き（案）」に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。
２）最終年度の業務を完了した時には、別に定める様式（電子媒体納品書）に署名・捺印の上、「ガイドライン」に基づいて作成した電子データを CD-R で２部提出する。なお、書面における署名又は押印の取扱いについては、別途調査職員と協議するものとする。
３）受発注者相互に CD-R の内容を確認した上で CD-R の受領を行うものとする。
４）「ガイドライン」で特に記載がない項目については、原則として成果を電子化して提出する義務はないが、調査職員と協議の上、電子化の是非を決定する。
５）上記によりがたい場合は、調査職員と協議するものとする。

第１７条 記録の保存

報告書及び経理状況に関する帳簿類は、関東地方整備局等の求めに応じて常に提出できるよう、事業者において、業務終了後から５年間保存すること。また、契約期間終了時には調査職員へ引き継ぐこと。

なお、本業務の記録類については以下を最低限とすること。

・作業日誌
・保守点検の記録
・作業実施数量の記録
・作業記録写真
・安全衛生点検の記録
・修繕等の記録
・事業者における検査担当者が作業の完了を確認した記録
・その他関東地方整備局が指定した報告事項の記録

第１８条 モニタリング業務

１．事業者は、公園利用者からの意見要望を積極的に把握、評価し、業務に反映させるため、以下に掲げる調査を行うことができる。調査を行った場合、その結果について関東地方整備局に報告すること。

１）利用実態調査

本公園において提供するサービスに対する公園利用者の評価について、アンケート等を実施する等事業者の工夫により、確実に把握すること。また、事業者は、利用実態調査を行う場合、その方法について、あらかじめ関東地方整備局に提出した上で、調査を実施し、その結果は、即地的にも確認できるよう記録、集計・分析を実施すること。

第１９条 関東地方整備局が行うモニタリング調査

１．関東地方整備局は、事業者で実施するモニタリング業務（本共通仕様書第 18 条）とは別に、本業務の実績を評価する調査を実施する。（別紙－14「公園利用者アンケート」参照）

２．事業者は、本業務等の実施内容の評価が確実に実施されるよう、前項の調査に協力すること。

第３章 委託費の支払い

第２０条 委託費代金の支払い

１．事業者は、提出した業務計画書に基づいて、本業務を実施することにより、達成すべき包括的な質（「H31-35 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務民間競争入札実施要項（案）」（以下、「実施要項」という。）１．３．１参照）の確保に努めるとともに、個別業務の質（実施要項１．３．２参照）の最低水準を確保すること。

２．関東地方整備局は、上記の履行内容を確認し、検査したうえで、会計年度（４月１日から翌年３月 31 日まで）を基準とし、委託費を支払うものとし、その支払いは適正な請求書を受理した日から起算して 30 日以内とする。ただし、検査の結果、包括的な質及び個別業務の質の最低水準が確保されていない場合は、風水害による長期閉園、その他の事業者の責に帰すことができない事由によると関東地方整備局が判断したものを除き、関東地方整備局は適切に業務を行うよう改善指示（業務の履行中を含む。）を行うこととする。事業者は要因分析を行い、関東地方整備局に業務改善計画書を提出し、その承諾を得ない限り、委託費の請求はできないものとする。

（注）事業者の運営維持管理の責任に拠らない場合とは、以下の場合である。

・震災等大規模な自然災害の影響が認められる場合

・募集時には計画のなかった主要施設の一定期間使用中止があった場合

・その他、事業者の責任に拠らない事由が発生し、関東地方整備局が認めた場合

３．各年度の契約金額の確定額は、業務に要した経費の実支出額と各年度の契約金額の支払の限度額のいずれか低い額とする。

４．会計法第 22 条、予算決算及び会計令第 58 条に基づく協議が整った場合において、事業者は委託費の使用状況について調査職員の確認を受けた上で、業務計画書及び各年度四半期別必要経費内訳書に基づいて、各年度四半期における所要額として委託費の概算払いを四半期毎に請求できる。ただし、業務の改善指示があった場合には、事業者は要因分析を行い、関東地方整備局に業務改善計画書を作成して提出し、その承諾を得ない限り、次の四半期の概算払いに係る委託費の請求はできないものとする。

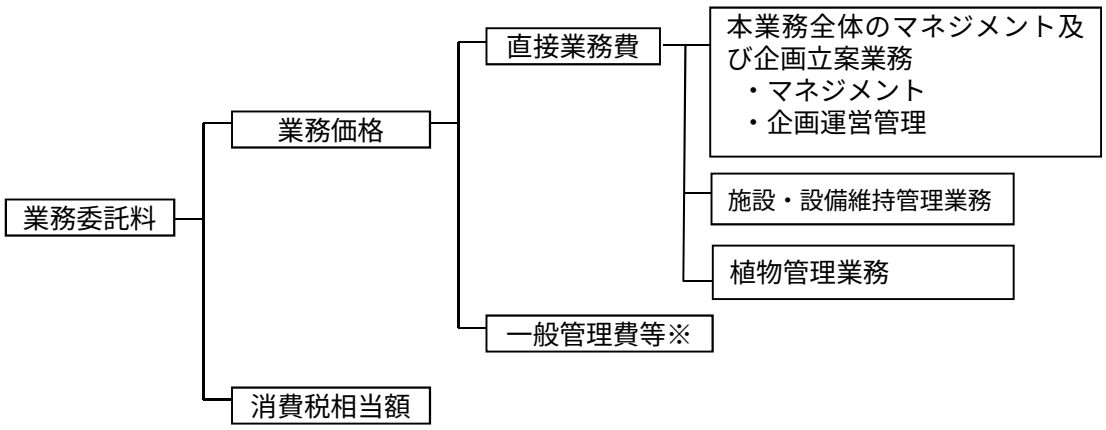
ただし、事業者の運営維持管理の責任に拠らない場合は改善計画書は不要とする。

５．事業者の運営維持管理の責任に拠らない事由により、業務実施前に事業者が作成した業務計画書をもとに設定した包括的な質及び個別業務の質の最低水準が未達成の場合には、委託費の減額は行わない。

６．本業務の準備期間における経費は、委託費(一般管理費を含む)にて支出することはできない。

７．各業務の積算体系は、以下のとおりである。

＜積算体系＞



※本社人件費（職員基本給、職員諸手当、退職手当等）、本社旅費（職員旅費）、本社庁費（職員厚生経費、備品費、消耗品費、通信運搬費、光熱水費、燃料費、印刷製本費、賃料及び損料、保険料、雑役務費等）、付加利益（法人税、地方税、株主配当金、役員賞与金、内部保留金、支払利息及び割引料、支払保証料その他営業外費用等）

第４章 公園内の安全管理

第２１条 安全管理

１．本公園における公園利用者の安全確保並びに快適な利用を図るため、本業務の履行に当たり、常に公園利用者の迷惑とならないよう十分注意するとともに、本公園の利用に関し必要な事項について、適切な措置・対応を行う等、事業者の責任において常に善良なる管理を行うこと。なお、関東地方整備局が定める別添－４「行為の禁止等に関する取扱要領」に則った対応を図ること。

２．新型インフルエンザや鳥インフルエンザのように、重症化する恐れのある感染症等の蔓延の恐れがある場合については、調査職員と協議の上、消毒液を設置する等、適切な措置・対応を行うこと。また、園内での緊急時に備え、調査職員と協議の上、自動体外式除細動器（AED）等を設置すること。

３．事業者は、本業務の履行に当たっては消防法に準拠するとともに、関東地方整備局が定める安全管理マニュアル等を遵守すること。

４．事業者は、関東地方整備局と協力し、火災・その他災害による物的・人的被害を軽減することを目的に、別途消防計画を作成すること。なお、消防計画には、防火管理者等の担当者を明記すること。作成した消防計画は調査職員へ提出し、承諾を得ること。（別添－15「建物に係る消防計画」参照）

５．事業者は、施設を運営している期間中は毎月１回、施設の消防用設備等の自主検査を実施し、調査職員に報告すること。

６．事業者は、異常を確認した場合、速やかに調査職員に報告する。安全管理には十分注意し本業務を履行すること。

第２２条 安全確保

１．本業務の実施に当たっては、常に整理整頓を行い、危険な場所には必要な安全措置を講じ、事故の発生の防止に努めること。

２．本業務を行う場所若しくは、その周辺に第三者が存する場合又は立ち入る恐れがある場合には、危険防止に必要な措置を講じた後、調査職員に報告すること。

３．設備に異常を認めた時は、危険防止に必要な措置を調査職員に報告の上、当該措置を講ずること。

４．万一、設備、機器等に事故その他、異常が発生したときは、必要に応じてその部分の運転を一時停止又は運転制限をする等の措置をした上、直ちに調査職員に報告し、臨時に検査を行い、その原因を究明し、機能復旧に努めると共に、再発防止のための必要な措置をとること。

５．その他事故等が発生したとき、又はその恐れがあるときは、関東地方整備局が定める管理マニュアル等に則り、速やかに必要な措置を取り、事業者が作成した緊急連絡体制に基づき、次の各号に掲げる事項について、遅滞なく、事故報告書様式（別添－６「危機管理マニュアル」参照）等により調査職員に報告すること。

１）事故発生日時

２）事故発生場所（図示）

３）事故発生の概要（受傷者の氏名・連絡先・受傷状況・事故原因等）

４）事故の程度

５）人身事故の場合は、医師の診断結果

６）事故処理の概略

7）再発防止策等

第２３条 救急対応

1．事業者は、救急活動及びその報告に関するマニュアルを作成し、調査職員に提出すること。
2．事業者は、調査職員が指定する箇所に救急施設を配置し、救急担当職員を配置する。そのうちの主たる箇所に開園中は看護師又は普通救命講習修了者（Ⅰ、Ⅱ）の資格を有した救急担当職員を配属し、救急活動に当たること。救急担当職員については、応急救護講習等の研修を受けた者を配置すること。
3．救急担当職員は、救急活動を要する事態を認めたときは、公園利用者の急病や負傷には応急処置をとるとともに、怪我等の状態によっては救急車両による搬送手配を行う等、最も適切と思われる措置をとること。
4．事業者は、前項の措置をとった場合は、その原因となる事項や処置内容等を正確に記録するとともに、その経過及び結果を速やかに調査職員に報告すること。ただし、軽微なものについては、後日報告とすることができる。様式については別途協議するものとする。
5．重大事故については直ちに調査職員に電話等にて第一報を入れるとともに、対応を協議し、その指示に従うこと。また、その後の経過についても逐次書面等により調査職員に報告を行うこと。なお、重大事故とは公園管理又は公園施設に起因するか若しくはその恐れのある事故が起こった場合、又は 30 日以上の治療を要する重傷者若しくは死者の発生する事故が起こった場合、さらに人的被害が発生しなくても、公園施設に起因する 30 日以上の治療を要する重傷者又は死者が発生する恐れがあった事故が起こった場合とする。
6．傷病者の発生に備え、日頃から研修・訓練等を行うこと。

第２４条 災害時、異常時等の対応

1．事業者は、災害防止等のために必要があると認められるときは、公園利用者の安全を確保し、迅速かつ的確に避難誘導を行う等臨機の措置をとること。この場合において、「閉園判断基準」（別添－５）等に基づき、閉園等の必要があると認めるときは、事業者はあらかじめ関東地方整備局と協議しなければならない。ただし、緊急上やむを得ない事情があるときは、この限りではない。なお、災害防止には、陸上自衛隊が災害派遣活動拠点として本公園を使用する場合を含む。
2．前項の場合において、事業者は、そのとった措置の内容を調査職員に速やかに報告すること。
3．台風、豪雨等の災害発生が予想される場合には、現場の状況に応じ事前に土のうの設置、雨水桝の詰まり防止のための落ち葉除去等必要な措置を講じ、被害の軽減に努めること。
4．台風、豪雨等の災害発生時に調査職員の指示した箇所の巡回を行うとともに、現場の状況に応じて、土のう等の設置等必要な措置を講じること。
5．事業者は、夜間及び休園日において、異常を発見した場合は、必要に応じて警察、消防等の関係機関等に通報し、適切な措置を講ずるとともに、調査職員に速やかに報告すること。
6．調査職員は、災害防止や本業務の履行上特に必要と認めるときは、事業者に対して、臨機の措置をとることを指示することができる。
7．調査職員の指示により、災害時、異常時等の緊急を要する場合は、事業者は、関東地方整備局が定める安全管理マニュアルに則り、迅速に必要な人員を確保し、適切な措置・対応を行うこと。
8．事業者は、事故や災害発生時等への対応のため、事業者の役割・行動・体制等をとりまとめた危

機管理マニュアルを作成し、調査職員に提出し、承諾を得るものとする。

9．事業者は、事故や地震等の災害発生時等には、前項において作成したマニュアルに基づき、公園の開園日、開園時間に関わらず速やかに参集し、適切な措置・対応を行うこと。

10. 災害時、異常時等は、園内の臨時巡視・点検を速やかに行い、安全を確認し、調査職員に報告する。異常を確認した場合は、前項に基づき適切な措置・対応を行うこと。

第２５条 園内の車両走行

1．園内における業務用車両（バイク、自転車を含む）の運行については、別添－13「公園園内車両運行要領」に従い、公園利用者の安全と快適な利用を妨げないような運転・走行・駐停車・作業態度等に努めること。

第５章 協議・調整等

第２６条 関東地方整備局の要請への協力

１．調査職員から本公園に関する調査、又は作業の指示等があった場合には、迅速、誠実かつ積極的な対応を行うこと。

２．その他、関東地方整備局が実施又は要請する事業（例：緊急安全点検、防災訓練、安全パトロール、消防訓練、行催事、要人案内、公園に関する会議、監査・検査、視察、式典等）への参加・協力・実施を、積極的かつ主体的に行うこと。

３．事業者（総括責任者、各業務責任者又は総括責任者が指名する者）は、関東地方整備局が開催する国営アルプスあづみの公園定例会（以下、「定例会」という。月１回開催）及び週間工程会議（週１回開催）に参加すること。定例会では、前月分の運営維持管理状況、当該月以降の運営維持管理方針及び公園利用者からの意見要望等について報告すること。また、週間工程会議では、本公園の国事務所発注の工事工程等について協議する。なお、定例会及び週間工程会議で事業者が作成した書類は、電子データとして、調査職員へ提出すること。

４．事業者は、管理業務を円滑に実施するため、必要に応じ調査職員及び管理運営に関係する者との情報交換や業務の調整を図る連絡会議を、定期又は不定期に開催するものとする。なお、連絡会議には、第三者を参加させることができるものとする。

５．関係機関の立会検査又は調査がある場合は、事業者は関東地方整備局の指示により立会等に協力すること。

６．本業務の実務を通じた経験や知見、公園利用者からの意見・苦情・要望は、即地的にも確認できるよう記録、集計・分析した結果と本業務に反映させるよう努めた事項について、調査職員に報告するよう努めること。

第２７条 別途工事等との調整

１．国事務所の発注する工事又は業務（法定点検業務等）がある場合には、事業者は必要に応じて当該工事又は業務内容及び計画（変更を含む）に対して、本業務に関連する助言並びに公園利用及び動植物の保護育成に関する調整を行うこと。

２．国事務所が発注する施設保全業務等の実施に当たり、事業者は、点検等の実施時期の調整に協力すること。電気設備の点検に伴う計画停電のときには、その対応については、調査職員と調整すること。

第２８条 関東地方整備局との協議等

１．事業者は、本仕様書又は個別仕様書等において、関東地方整備局又は調査職員との協議が必要とされている事項については、十分な時間的余裕を持って協議を行うこと。協議に必要と思われる時間が確保されていない場合、協議を受け付けないことがある。

２．本仕様書に明記されていない事項又は本仕様書の内容について疑義を生じた場合は、調査職員と協議すること。

３．業務責任者又は業務担当者は、本業務の実施方法等について必要がある場合は、調査職員の指示を求めることができる。

４．施設の運営維持管理に係る各種規程・要項を作成する場合や、追加開園等により契約期間中に業務内容が変更する場合、さらには、その他新業務への対応が必要な場合は、関東地方整備局と事

業者の間で協議を行うこと。

５．不測の事態又は疑問等が生じた場合は、速やかに調査職員と協議すること。

第２９条 その他の協議・報告等

事業者は、本公園の管理・運営等で必要な以下の調整を適切に行い、結果等については、必要に応じて報告する。

１．地元自治体、マスコミ等関係機関等との協議

２．持込みイベント等の利用調整

第３０条 官公署への連絡、届出

事業者は、官公署への連絡、届出手続きは関東地方整備局に協力し、遅滞なくこれを処理すること。また、事業者による作業等の実施に当たり官公署への連絡、届出が必要となるときは事業者において行うこと。

第６章 雑則

第３１条 本業務の再委託

事業者は、本業務の実施に当たり、その全部を一括して、又は本業務における主たる部分を再委託することはできない。本業務における主たる部分とは、次のとおりとする。

＜本業務における主たる部分＞

１．総合的計画立案

２．業務遂行管理

３．入園料の徴収及び納入

４．救急・災害時の統括管理

５．各業務手法の決定

６．本業務履行者としての最終的な意志決定を行うための技術的判断等

１）事業者は業務の一部を第三者に委託しようとする場合は、あらかじめ再委託の相手方の住所、氏名、再委託を行う業務の範囲、再委託の必要性及び契約金額等について記載した書面を調査職員に提出し、承諾を得なければならない。なお、再委託の内容を変更しようとするときも同様とする。（別紙様式１－７「再委託又は下請負の予定」参照）

２）事業者が関東地方整備局に対して負う義務を適切に履行するため、事業者は再委託の相手方に対し、「H28-31 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務 民間競争入札実施要項」８．４．及び８．６．に規定する事項その他の事項について必要な措置を講じさせるとともに、再委託先から必要な報告を徴収することとする。

３）事業者が再委託の相手方に業務を実施させる場合は、すべて事業者の責任において行うものとし、再委託の相手方の責めに帰すべき事由については、事業者の責めに帰すべき事由とみなして、事業者が責任を負うものとする。

４）再委託等の承諾を行った際は、必要に応じて当該部分（再委託）に該当する経費についての領収書、明細書の写しの提出を求める場合がある。

５）契約書第３条第４項で規定する「軽微な業務」とは、コピー、ワープロ、印刷、製本、トレース、資料整理、計算処理、模型製作、和訳、参考書籍・文献購入、消耗品購入、会場借上等及び小規模な業務をいうものとする。なお、小規模な業務とは、原則として契約金 100 万円未満のものをいう。

６）なお、再委託の相手方は入札書の受領期限の日から開札の時までの期間に、国土交通省関東地方整備局長から指名停止を受けていないこと。

７）暴力団又は暴力団関係者と社会的に非難されるべき関係を有している者に再委託してはならない。

８）再委託に当たっては、複数者から見積もりを徴収する等により適正価格での契約に努めるほか、長野県内に本支店営業所を有する企業の活用に配慮することが望ましい。

第３２条 保険の付保及び事故の補償

１．事業者は、雇用保険法、労働者災害補償保険法及び健康保険法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。

２．事業者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適切な補償をしなければならない。

３．事業者は、自動車任意保険、施設賠償責任保険、動産総合保険の他、必要に応じて各種保険に加入すること。

第３３条 建築物及び機械器具等の無償貸与等

１．建築物及び機械器具等の無償貸与

本業務の遂行に必要な、関東地方整備局が保有する国の施設等を建築物及び機械器具等に限り、事業者に無償で貸与する。提供施設については事業者にて適正に管理すること。なお、その取扱いについて、別添－９「提供施設等の取扱いについて」による。

２．物品の管理及び修繕の取扱

本業務の遂行に必要な物品については適正に管理を行うこととし、損傷・盗難・亡失等が発生した場合は調査職員に報告すること。また、無償貸与された物品、備品（取得価格（消費税込み）が５万円以上のもの）及び運営維持管理業務委託費で取得した備品の取扱については、別添－10「取得した備品の取扱いについて」による。

３．残存する備品の取扱い

１）事業者は、本業務完了の際、残存する備品は全て関東地方整備局に引き渡すこと。ただし、翌年度において当該業務に継続して使用されるものはこの限りではない。

２）残存する備品とは、関東地方整備局が貸与したあるいは本業務において管理上必要となり委託費で取得した機械器具、その他の物品のうち、原状のまま比較的長期の使用に耐え、取得価格（消費税込み）が５万円以上のものをいう。また、関東地方整備局より貸与された又は委託費で取得した５万円以下の物品等については残数を報告すること。

３）その他、残存する備品の取扱いについては、別添－10「取得した備品の取扱いについて」による。

４．事業者は、国事務所の事務・事業に支障を来たさない範囲において、管理事務所内の施設の管理運営業務の実施に必要な機器・設備等を持ち込むことができる。

５．事業者が持ち込んだ機器・設備等については、国事務所の事務・事業に支障をきたすことのないよう適切な管理を行うこと。

６．事業者は、管理事務所内に機器・設備等を持ち込む際、電気工事等の措置が必要な場合は、調査職員と協議の上、承認を得た上で実施することができる。なお、必要な措置をした場合、施設の使用を終了又は中止をした後、直ちに原状回復を行い、調査職員の確認を得ること。

７．機器・設備等を持ち込む費用、電気工事等の措置等に必要な経費及び持ち込んだ設備・機器等から生じる経費（電気代、コピー代、電話代等）、原状回復に必要な経費は、事業者の負担とする。

８．施設等運営者が機器・設備等を持ち込む場合は、事前にリストを調査職員に提出するとともに、物品表示票を作成し持ち込む全ての機器・設備等に貼付し、常に管理すること。

第３４条 本業務の引継

１．事業者は、契約が完了する場合、又は解除になる場合には、調査職員の立会の下、調査職員が指示する者に対し、誠意をもって、円滑に事務の引き継ぎを行わなければならない。引き継ぎに当たっては、下記に示す必要な資料の作成及び提出を行い、必要な説明等を行うこと。ただし、契約が引き続き締結され、業務を継続する場合はこの限りではない。

１）運営・利用者サービスに関する事項

年間パスポートの登録情報、利用予約の受付、繁忙期対応、救護日誌、利用者の安全確保のための措置事項 等

2）施設・設備維持管理に関する事項

施設・設備の点検情報、設備・機器等の各種マニュアル、施設・設備の使用において留意が必要な事項、清掃記録 等

3）動植物管理に関する事項

芝生、草地等の管理区分図、希少種の生育場所、病虫害防除、老木、記念樹等の記録 等

4）収益施設運営に関する事項

運営に必要な物品等の引き継ぎ、その他運営上の課題事項 等

5）広報宣伝に関する事項

マスコミ等の連絡方法及び連絡先・取材記録、ホームページデータ及び更新方法 等

6）イベントに関する事項

主催、共催イベント、体験プログラム等の実施状況、持込イベントの状況、継続的な地域連携イベント等における主催者や関係団体との連携、協力すべき事項

7）協働活動者、関係機関との連携に関する事項

ボランティアの登録情報、連絡方法及び連絡先、活動記録、ボランティア団体と連携して管理を行う箇所や指導を受けている有識者の情報 等

8）国への提出資料に関する事項

都市公園法第５条、６条、12 条に基づく申請及び許可の記録 等

9）ホームページに係る全てのデータ及びドメインに関する事項

ホームページに掲載されている情報の元データ、ホームページの運営、サーバー保守及びドメイン管理に関する関係情報一式と、個別仕様書（本業務全体のマネジメント及び企画立案）第 33 条に記載している「関東地方整備局に承継すること」と定めている本業務の成果及び本業務の実施の過程において、派生的に生じた著作権、特許権及び実用新案権の無体財産権等

10）その他

救急活動に関するマニュアル、近隣住民への配慮必要事項、苦情処理記録 等

2．不可抗力その他、関東地方整備局や事業者の責めに帰することができない事由により管理の継続が困難となった場合は、関東地方整備局と事業者は管理の継続の可否について協議すること。

3．事業者は、本業務の履行期限（継続して、契約した場合は除く）又は、契約が解除されるまでは、本公園の運営維持管理が円滑に実施されるよう業務実施体制（本共通仕様書第 14 条記載）を維持すること。

4．履行期限後において補償すべき事態が発覚し、その原因が事業者の履行期間内の瑕疵等であることが明らかな場合は、その費用は事業者が負担すること。

5．新たな事業者に対し、平成 28 年１月から３月まで準備室（別添－３「管理事務所図」の引継期間貸与部分参照）を貸与する。準備室では、本業務に関する準備を行うものとし、準備室における光熱水費は関東地方整備局が負担する。

第３５条 情報公開

事業者は、文書の開示等の情報公開については、行政機関の保有する情報の公開に関する法律（平成 21 年７月１日法律第 66 号）の規定に準じて取り扱うものとする。この場合、調査職員と協議すること。

第３６条 調査等への対応

事業者は、関東地方整備局が実施する事業者に対する立ち入り検査、指示等監督・検査に対して、誠意を持って対応すること。

第３７条 会計検査への対応

事業者は、会計検査院法第 22 条に該当するとき、又は同法第 23 条第１項第７号に規定する「事務若しくは業務の受注者」に該当し、会計検査院が必要と認めるときには、同法第 25 条及び第 26 条により、会計検査院の実施検査を受けたり、同院から直接又は関東地方整備局を通じて、資料・報告書等の提出を求められたり質問を受けたりすることがある。

第３８条 愛称の使用

共同体で本事業を実施する場合、園内看板やチラシ等において、共同体の愛称を設定の上使用することができる。

第３９条 名札の着用

事業者は、役職及び氏名を記載した名札を作成するとともに、スタッフ全員が常時着用することとする。また、本業務に係る作業関係者等については業務入園証を作成し、配布すること。

第４０条 スタッフの服装

事業者は、スタッフの服装及び園内で使用する作業用機械、器具、車両等については、本公園の運営維持管理業務を遂行するに相応しいものとし、イメージアップに心掛けること。

第４１条 節電等

事業者は、園内での照明、冷暖房等の適正使用に常に心掛け、節電等に配慮した業務の実施に努めること。また、各種機材の更新、修繕に当たっては、省エネルギーに配慮した製品の導入に努めること。

第７章 コンプライアンス

第４２条 守秘

１．事業者は、業務上知りえた秘密については、第三者へ漏らしてはならない。

２．「国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務」における情報のセキュリティについて第８章の規定に沿って、情報管理を適切に行うこと。

３．事業者、又はその職員その他の本業務に従事している者又は従事していた者は、業務上知り得た秘密を漏らし、又は盗用してはならない。これらの者が秘密を漏らし、又は盗用した場合には、公共サービス改革法第 54 条により罰則の適用がある。

第８章 個人情報の取扱いについて

第４３条 基本的事項

事業者は、個人情報の保護の重要性を認識し、本業務における事務を処理するための個人情報の取扱いに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律（平成 15 年５月 30 日法律第 58 号）第６条第２項の規定に基づき、個人情報の漏えい、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

第４４条 秘密の保持

事業者は、本業務における事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

第４５条 取得の制限

事業者は、本業務における事務を処理するために個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示しなければならない。また、当該利用目的の達成に必要な範囲内で、適正かつ公正な手段で個人情報を取得しなければならない。

第４６条 利用及び提供の制限

事業者は、調査職員の指示又は承諾があるときを除き、本業務における事務を処理するための利用目的以外の目的のために個人情報を自ら利用し、又は提供してはならない。

第４７条 複写等の禁止

事業者は、調査職員の指示又は承諾があるときを除き、本業務における事務を処理するために発注者から提供を受けた個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

第４８条 再委託の禁止

事業者は、調査職員の指示又は承諾があるときを除き、本業務における事務を処理するための個人情報については自ら取り扱うものとし、第三者にその取扱いを伴う事務を再委託してはならない。

第４９条 事案発生時における報告

事業者は、個人情報の漏えい等の事案が発生し、又は発生するおそれがあることを知ったときは、速やかに調査職員に報告し、調査職員の指示に従うこと。本業務にかかる契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

第５０条 資料等の返却等

事業者は、本業務における事務を処理するために発注者から貸与され、又は事業者が収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等を、本業務にかかる契約の終了後又は解除後速やかに発注者に返却し、又は引き渡さなければならない。ただし、関東地方整備局又は調査職員が、廃棄又は消去等別の方法を指示したときは、当該指示に従うこと。

第５１条 管理の確認等

関東地方整備局は、事業者における個人情報の管理の状況について適時確認することができる。また、関東地方整備局が必要と認めるときは、事業者に対し個人情報の取扱い状況について報告を求め、又は検査することができる。

第５２条 管理体制の整備

事業者は、本業務における事務に係る個人情報の管理に関する責任者を特定する等管理体制を定めなければならない。

第５３条 従事者への周知

事業者は、従事者に対し、在職中及び退職後においても本業務における事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならないこと等、個人情報の保護に関して必要な事項を周知しなければならない。

第５４条 罰則

事業者は、正当な理由無く、又は、不正な利益を図る目的で個人情報を提供したり、盗用したりした場合は、法律に基づき罰則が科せられる。

別紙－６

H31-35 国営アルプスあづみの公園
運営維持管理業務
個別仕様書（案）

【本業務全体のマネジメント及び企画立案業務】

平成 31 年〇月

第１編 総則

第１条 適用

本仕様書は、H31-35 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務（以下「本業務」という。）のうち、本業務全体のマネジメント及び企画立案業務に適用する。

第２条 基本事項

１．本業務は、マネジメント及び企画立案を総括する業務責任者の責任の下実施すること。

２．事業者は、本仕様書によるほか、関係法令を遵守し、公園利用者への快適なサービスに努めるとともに、公共性に配慮し、都市公園の効用に資するよう適切に運営維持管理を行うこと。なお、本仕様書に記載のない事項又は本仕様書に疑義が生じたときは、その都度、調査職員と協議すること。

３．事業者は、本公園内を常に良好な状態に保つとともに、他の業務と相互連携を保ち、適切に業務の進捗管理を行い、本業務を適切に実施すること。

４．取材、行催事運営、ボランティア活動、作業、納品等、一般の公園利用と異なる目的で入園する者に対し、公園利用者の安全と快適な利用を確保するよう促すとともに、事故を未然に防止し公園施設の保全を図るように努めること。

５．本業務の円滑な実施及び本公園の機能の効果的な発揮に当たっては、地域（地元自治体、民間団体、地域住民等）との密接な連携が不可欠であることから、総括責任者はそれらとの良好な関係の構築に努めること。

６．事業者は、入園料等の徴収に係る事務について、円滑かつ確実に行うこと。

７．本公園の基本方針等に鑑み、広域的な誘客に努めることとし、その実現に有効な行催事の開催、広報展開を図ること。

第３条 その他

この仕様書によるもののほか、本業務全体のマネジメント及び企画立案業務の実施に当たり必要な事項は、調査職員と協議の上定めること。

第２編 業務のマネジメント及び企画立案業務

第４条 管理水準

本公園の運営維持管理全般について、目標及び業務計画を策定し、その一元的管理方針の下で、施設・設備維持管理業務、植物管理業務等について総合的な調整の下相互連携を保ちつつ、適切な進捗管理を行うとともに、入園料等の徴収事務、関東地方整備局の実施する整備・修繕工事における実施方針の検討等の助言・調整、臨機の措置、その他本業務が円滑に行われるための諸業務を行う。

また、公園の入園料は、国の収入となることに留意し、事業者は、これらの徴収事務を別に定める手続き等に沿って責任を持って適切に行うこと。

第５条 業務の計画立案

本公園の業務全般について、公園利用者に対するサービス向上を目指し、多岐にわたる各業務を円滑かつ効率的に実施するため、総合的な視点から運営維持管理全般の目標を定めるとともに計画立案を行うこと。

第６条 マネジメント業務

1．別紙－４「H31-35 国営アルプスあづみの公園運営維持管理基本方針」を踏まえ、統一的な方針の下、公園利用者に対するサービス水準を維持向上するため、多岐にわたる各業務について業務全般を俯瞰的に監理すること。
業務全般の監理に当たっては、各業務における総合的な連携調整をはじめ、実施方法の決定、及び各業務の適切な進捗管理等、総合的な視点から本公園の運営維持管理全般のマネジメントを行い、本公園の基本理念及び管理方針等の実現に寄与すること。

2．現在までに培われた周辺自治体や学校、地域住民等関係機関や関係者との連携体制・協力体制の継承及び新たな構築に向けて、積極的かつ主体的に取り組むこと。

3．関東地方整備局が実施又は要請する事業（例：緊急安全点検、防災訓練、安全パトロール、消防訓練、行催事、要人案内、公園に関する会議、監査・検査、視察、式典等）への参加・協力・実施を、積極的かつ主体的に行うこと。

4．本業務が、収益施設等設置管理運営業務が、他の維持管理業務と連携しながら創意工夫やノウハウを発揮し、質の高いサービスの提供が行えるよう調整を行うこと。

5．別紙－12「公園利用者数及び公園利用者数のカウント方法」に基づき、毎日、公園利用者数を計測し、調査職員に報告すること。

第７条 入園料の徴収

1．事業者は、堀金・穂高地区の田園文化ゾーン中央口、田園文化ゾーン穂高口、里山文化ゾーン堀金口、里山文化ゾーン岩原口、大町・松川地区のセンターゾーン入口、スポーツと遊びの森入口及びその他調査職員の指定する場所（以下、「ゲート等」という。）において、自動販売に係る入園券の作成及び販売並びに入園券の手売り、改札を行い、所定の入園料を徴収すること。その際、つり銭、両替金を準備し、補充すること。入園券の発行に必要となる券売機の管理及び必要な消耗品の調達は事業者において行うこと。

2．事業者は、別添―27「パスポート発行」に基づき、ゲート等において、年間パスポートの作成及び販売を行い、所定の料金を徴収すること。また、発行に時間を要する場合は、引換券を渡す等、

適切な措置を講じること。なお、入園券を購入した公園利用者に対して、年間パスポートの販売を入園当日に行う場合は、ゲート等において差額販売（パスポート料金から当日の入園料を差し引いた額での販売）を行うこと。

3．年間パスポートの作成に当たっては、購入者の氏名、生年月日、性別、連絡先を確認したうえで発行すること。また、年間パスポート本体には、購入者の氏名を記載し、顔写真を貼付すること。

4．年間パスポート購入者の登録情報は、関係法令及び別紙―５「共通仕様書」第８章に定める「個人情報の取扱いについて」に基づき、適切に管理すること。

5．年間パスポート購入者が、年間パスポートを携帯していない場合は、別途入園料の徴収は行わず、氏名等を登録情報と照合し、本人であることを確認した上で入園させる等、適切な措置を講じること。

6．シルバー券の利用者に対しては年齢を確認した上で入園させる等、適切な措置を講じること。

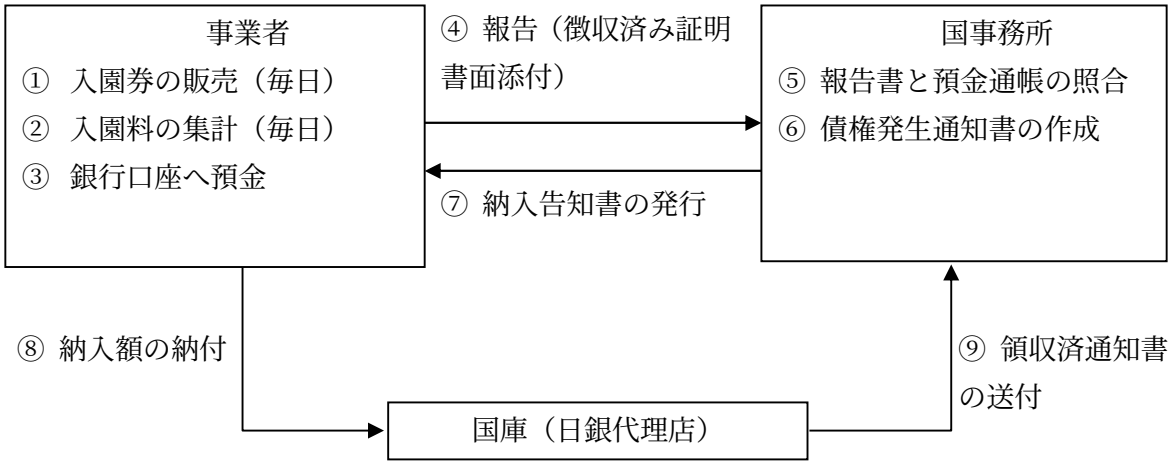
7．身障者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を提示された方とその付添の方１名は無料入園ができるので、必要な書類の確認を行う等、適切な措置を講じること。

8．事業者は、手売り入園券を作成する場合は、関東地方整備局長の承諾を得て作成し、関東地方整備局長の確認を得た上でこれを販売するまでの間厳正に保管すること。

9．事業者は、毎月 15 日及び月末日までの徴収済みの入園料を集計し、徴収済みであることを証する書類を添えて、15 日及び末日からそれぞれ１週間以内に関東地方整備局長に書面により報告するとともに、関東地方整備局の所属歳入徴収官の発行する納入告知書により国庫に納入すること。

10. 国庫に納入する入園料は、事業者の他の口座とは別の口座（入園料を管理する専用口座）で管理を行うこととし、事業者は当該口座の開設手続きを行うこと。

11. 日々、公園利用者数、売り上げた入園券及び入園料を集計及び集金し、他の経理区分と分けて帳簿等に記入し、厳正に管理すること。なお、入園料を徴収した後、国庫に納入するまでの間の管理責任は事業者にあるものとする。



※事業者の銀行口座で発生する利息については、年２回（8 月、2 月）事業者から国に報告し、⑤～⑨の手続きを行う。（第７条を参照）

第８条 その他国庫に納入する収入

総括責任者は、前条の入園料の徴収に付随して発生する収入が発生したときに、その内容を証する書類を添えて調査職員に書面により報告するとともに、関東地方整備局の所属歳入徴収官の発行する納入

告知書により国庫に納入すること。なお、その他の収入が発生した後、国庫に納入するまでの間の管理責任は事業者にあるものとする。

第９条 保険の加入

万一の事故に備えて、動産総合保険（園内における保管・輸送を対象）に加入すること。

第１０条 繁忙日対応

１．繁忙日において、クレーム等の発生がなく、利用者が安全、快適に利用できるよう、事前準備を十分に行い、適切な運営体制や臨時施設等の準備・管理を行うこと。

２．行催事の実施計画や過年度の利用者数の状況を把握し、事前に繁忙日や利用者数を予想し、繁忙日対応のための、調査職員等や関係者との協議・調整も含めた事前準備を行うこと。

３．繁忙日が予想される場合は、巡視・警備や案内・誘導、入園料徴収等が円滑に行われるよう、利用者数を想定し、適切に人員配置を行うこと。

１）入園ゲート周辺及び駐車場の巡回、公園利用者（車輌等含む）への案内・誘導・整理及び利用指導を行う巡視・警備員や入園料徴収等の人材を配置すること。

２）利用者の安全確保に向けて、利用者間のトラブル、迷子等の対応、園内案内放送等に適切かつ迅速に対処するための情報伝達、対応方針決定手続き等の流れを作成し、その体制を整えること。

４．繁忙日が予想される場合には、不足が予想される駐車場等の設置及びその適正運用、清掃等を行う。

１）利用者数等を想定し、既設の駐車場の不足が見込まれる場合、臨時駐車場の開設準備を行うとともに、車両整理、案内・誘導員を増員、配置すること。

２）必要に応じトイレ等の臨時設置を行うとともに、常に美観を保ち、利用者が快適に使えるよう、利用状況に応じて清掃等適切な管理を行うこと。

第３編 企画広報

第１章 行催事企画運営

第１１条 目的

１．事業者は、公園利用の増進に加え、公共施設としての公園の目的・機能を発揮するために行われる行催事（イベント・体験プログラム・展示等）について、企画立案、開催・運営等の一連の作業をノウハウや創意工夫を発揮して行うこと。ただし、本公園の設置趣旨を踏まえ、本公園の行催事として相応しいものであるとともに、公共性が高く、利用者全体に係わるもので、社会通念上理解の得られる範囲での必要な経費に限り、委託費の支出を認めるものとする。

２．行催事は、公園の施設を活用し、公園利用者に対するサービス水準の向上の一環として通年的に提供されるサービス（例：あづみの学校や森の体験舎等における体験プログラム）と、公園の周知や利用促進のため、公園利用者の利用のきっかけを提供する定期及び不定期のサービスがあり、両者の連携により、より一層のサービスの向上や公園利用促進を図ること。

３．本仕様書が対象とする行催事は関東地方整備局が主催又は共催により行うものである。このほか、関東地方整備局長の許可を受けて独立採算により開催する行催事については自主事業として取り扱う（別紙－９「管理運営規定書」参照）。

第１２条 管理水準

事業者は、別紙－15「イベント一覧」、別紙－16「体験プログラム一覧」を考慮の上、企画書において提案した行催事等を適切に実施し、公園の設置趣旨の達成及び利用の促進に寄与すること。

第１３条 年間行事計画の作成

事業者は、現地及び企画内容を十分に検討し、年間行事計画を作成する（別紙－５「共通仕様書」第15 条参照）。年間行事計画は、調査職員に提出の上、承諾を得るものとする。また、年間行事計画の作成に当たっては必要に応じ地元自治体、関係団体等とも日程等の調整を図ること。

第１４条 行催事等の企画立案

１．行催事を円滑に実施するために、開催目的、手順、内容、工程、実施体制、開催効果、予算書等について企画立案し、その内容について調査職員と密接に連絡調整の上、提出するものとする。（別添－19「行催事実施計画書例」参照）

２．本公園が堀金・穂高地区及び大町・松川地区の２地区に分散している設置目的を踏まえ、２地区の役割分担及び２地区の連携について考慮しつつ、行催事の企画立案を行うよう努めること。

３．本公園の基本方針として交流・地域活性化を掲げていることを踏まえ、行催事の開催が地域の活性化に寄与するよう、地元の自治体及び NPO 等の団体等とも十分調整の上、地域と連携した行催事の企画立案に努めること。

４．行催事には、「あづみの公園早春賦音楽祭」（堀金・穂高地区）、「北アルプスフェア」（大町・松川地区）、「イルミネーションイベント」（堀金・穂高地区、大町・松川地区）の実施を含めること。

５．企画立案を行う上では、別添－17「継続必要性の高いイベント対応」を考慮すること。

６．地域と連携した農家民泊及び教育旅行誘致の取り組みを行うこと。

第１５条 行催事の開催・運営

１．行催事の開催・運営は、その目的に沿って、その効果が十分に発揮されるよう、入念な事前準備を行った上で、公園利用者のサービスや満足度の向上に寄与するよう行うこと。

２．行催事の開催に当たっては、次の各号に掲げる事項に留意すること。

１）官公署への連絡、届出

行催事の主催時には、必要に応じ、警察・消防等行政機関との調整のほか、許認可の必要な事項について手続きが欠落しないよう注意すること。

２）事故防止対策

別紙－５「共通仕様書」第４章各条に掲げる園内の安全管理に留意するほか、参加者の誘導整理、救護、緊急連絡等、事故防止対策には特に注意すること。また、大型の行催事の主催時には、必要に応じて、物的措置及び専門の警備員の配置も含めた人的措置を講じ、安全確保に努めること。なお、病傷人等が発生した場合は、適切に対処し、調査職員に速やかに報告すること。

３）災害発生時の対応

台風、豪雨、雷等の災害発生時は、迅速に必要な人員を確保し、行催事の開催の可否の判断を行うとともに、行催事の参加者を安全な場所に誘導する等、適切な措置・対応を行うこと。

４）保険の付保及び事故の補償

参加者の不慮の事故に備え、必要な場合には損害保険に加入すること。

５）地域連携の継承及び構築

別添－17「継続必要性の高いイベント対応」に示す大型イベント、地域連携イベント等について、地方公共団体等との地域連携を継承するものとする。

第１６条 提出書類

事業者は、調査職員が指定する主要な行催事について、第 18 条の手続きフローに掲げる書類、その他指示する図書について、開園時間の延長を伴うものは２ヶ月前、伴わないものは１ヶ月前を目安に関係者と調整を行い、準備作業開始の１週間前までに調査職員に提出すること。

１．詳細な実施計画書

２．予算書（支出項目内訳）

第１７条 その他

１．行催事開催の前に、公園施設や樹木等に損傷や支障を与えないように必要に応じて養生を行うこと。また、行催事終了後は、養生材や工具の撤去、床、壁、機器、開催場所周辺を清掃すること。

２．行催事の実施に際しては、園内の施設工作物及び樹木等を損傷しないように注意すること。また、行催事の実施中、スタッフ及びイベント関係者は服装、言動等に注意し、公園利用者に不快感を与えないよう留意すること。

３．行催事の実施場所については、公園利用者の安全誘導、公園の美観確保の観点から、他の公園利用者の活動を阻害する恐れのある場所での実施を原則として認めない。

４．常に他の公園利用者の迷惑とならないよう十分注意するとともに、事業者の責任において常に公園の観察を行い、善良なる管理を行うこと。なお、異常を確認した場合、速やかに調査職員に報告しその対処について報告する。

5．行催事の実施に必要な仮設物の準備、撤去等に当たっては、安全管理に十分注意し施工することとし、可能な限り開園時間外に作業を行うこと。
6．行催事開催中は、公園利用者に対する案内及び緊急の対応等のサービスに努めること。
7．行催事を開催する関係者については、アルバイト等を含め、当該行催事の関係者であることが明らかになるような措置を講じること。
8．本仕様書に定める行催事の実施に当たり、必要な原材料費等に相当する程度の参加費を参加者より徴収することは妨げない。ただし、実施に当たっては、調査職員に事前に了解を得た上で、実施するものとし、その徴収額と経費については、本業務の会計とは別に帳簿等を取りまとめ、記録し保存する（別添－18「行催事について」参照）。

第２章　行為の許可申請の調整等

第１８条 行為の許可申請の調整等

１．主催・共催以外で、都市公園法第 12 条に基づき第三者が本公園内で実施を希望する行催事等（競技会、集会、ロケーション、展示会、その他。以下、「持込イベント」という。）の開催に際しては、別紙－５「共通仕様書」第 29 条に示す調整を行う等、調査職員の指示に従い、必要な調整を行うこと。

１）事業者は、持込イベントの相談窓口として、日時、規模、内容、繁忙日対策、建物使用料及び土地使用料が発生するかどうか等を確認・調整するものとするとともに、その概要を調査職員に報告すること。（別添－４「行為の禁止等に関する取扱要領」参照）

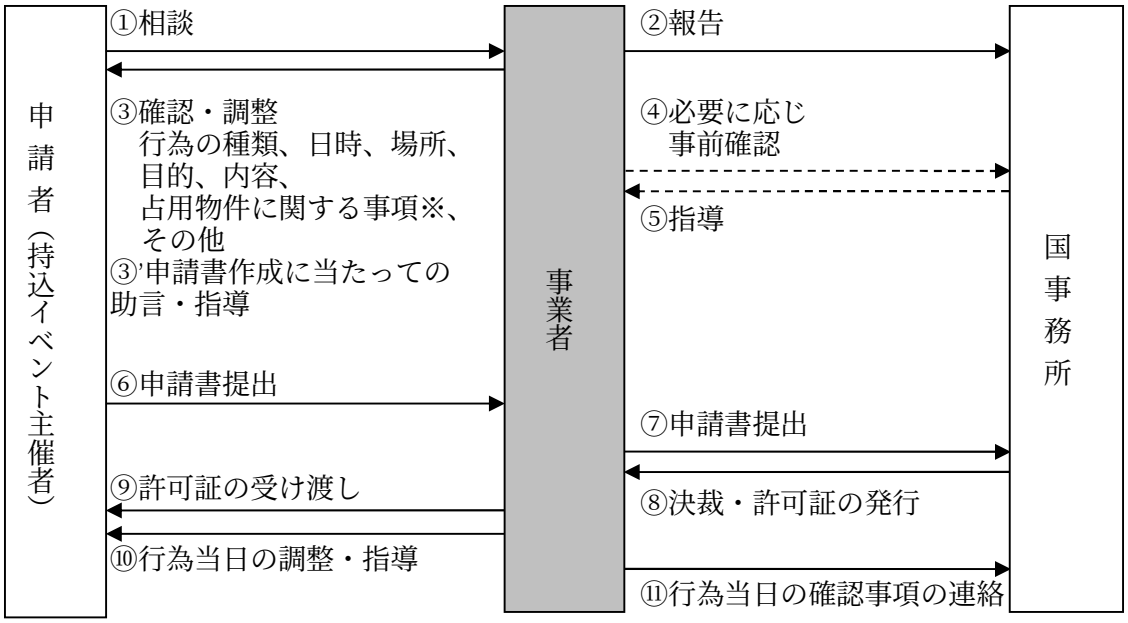
２）他の利用形態等との調整を経て、持込イベントについて事業者と関東地方整備局間で確認・調整するものとする。なお、必要に応じて、国事務所も含めた体制で持込イベント主催者と調整を行うこと。

３）事業者は、持込イベント主催者側から提出があった申請書類（都市公園法第 12 条等関係）について国事務所へ提出すること。また、持込イベント主催者の申請書類作成に当たっては、必要に応じその作成支援を行うこと。

４）国事務所において都市公園法に基づく許認可と、建物使用料及び土地使用料の徴収等を行う。

５）事業者は、持込イベントが申請に基づく開催内容だったどうかを確認し、調査職員に連絡するものとする。

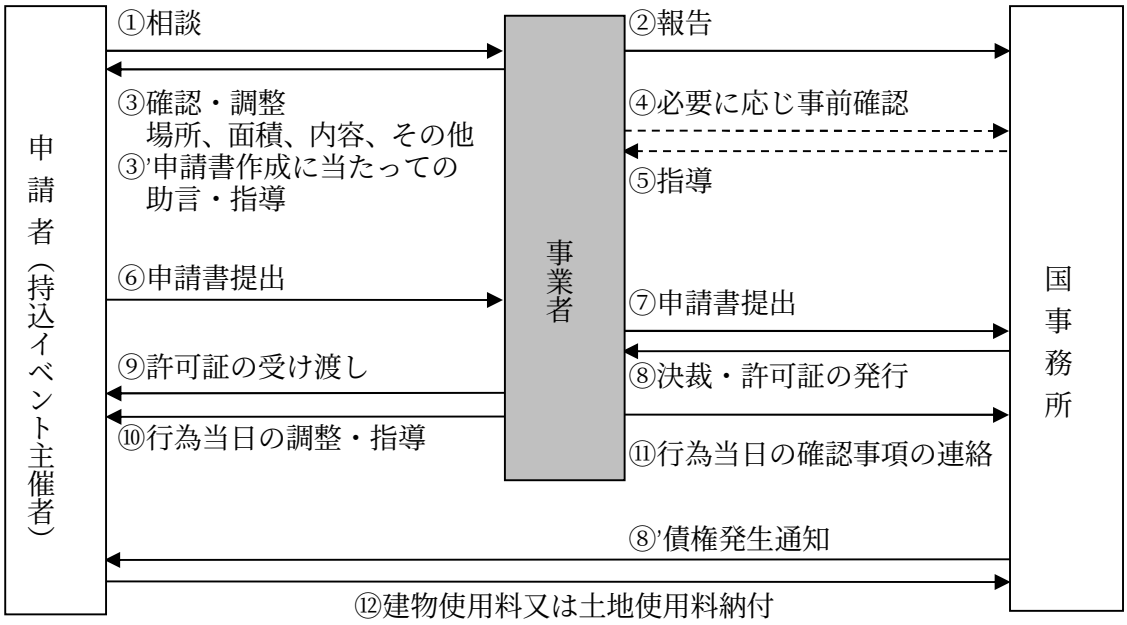
＜都市公園法第 12 条に基づく行為の許可に関する手続きフロー＞



※占用物件がある場合は、別途都市公園法第 6 条に基づく申請が必要となる。

2．持込イベントにおいて、仮設工作物等の占用物件が発生する場合は、都市公園法第６条に基づく関東地方整備局長の許可が必要であるため、事業者は、下記に示す手続きフローに従い、適切に対応すること。なお、その際に発生する建物使用料及び土地使用料の徴収については、国事務所で行う。

＜都市公園法第６条に基づく占用の許可に関する手続きフロー＞



※原則として都市公園法第 12 条に基づく行為に関する許可を前提とする（例外あり）

第３章 公園ボランティア活動の支援・調整

第１９条 管理水準

地域住民の本公園内における公園ボランティア活動を促進するため、「専門指導員登録制度設置運営要綱」（別添－20「ボランティア活動（規約、活動内容）」参照）に基づき、公園ボランティア活動の支援及び調整を行っているところである。

本公園の特徴を活かした利用サービス等の運営管理を進めるに当たり、公園ボランティアとの協働による運営が不可欠である。このため、従来から協働関係にある公園ボランティアが引き続き円滑に活動できるよう、公園ボランティアとの連携及び信頼関係の構築を図り、事業者と公園ボランティアの役割分担を明確にした上で、それらの活動の支援、調整、拡大を図ること。また、ボランティアの知識の向上等を目的とした、講習会の開催や活動日調整等、ボランティアの育成管理を行うとともに年１回以上総会を開催し、ボランティア活動の推進を図ること。

第２０条 公園ボランティア活動の内容

「協働活動者登録制度設置運営要綱」に基づく公園ボランティアの活動の内容は以下の表の通りである。（別添－20「ボランティア活動（規約、活動内容）」参照）

公園ボランティア名	活動内容	活動地区	登録者数
公園パートナーの会	活動分野 ① 社会：地域語り部、歴史ガイド、展示等 ② 理科：理科ガイド、環境学習等 ③ 芸術：芸術クラフト等 ④ そばグループ：そば打ち体験等	堀金・穂高地区	34 名
ステンドグラス同好会	活動分野 ① ステンドグラス作り体験	堀金・穂高地区	５名
みのむしの会	活動分野 藁細工体験	堀金・穂高地区	６名-
クラフトゲート匠の杜	活動分野 ① 天蚕工芸人材育成 ② 木工芸人材育成	堀金・穂高地区	12 名
岩原の自然と文化を守り育てる会	活動分野 田んぼの体験	堀金・穂高地区	―
公園サポーターの会	活動分野 ① クラフトグループ：クラフト体験等 ② 山の恵み・食グループ：食体験等 ③ 自然環境学習グループ：自然観察ガイド等 ④ 炭グループ：炭作り体験	大町・松川地区	33 名
安曇野の自然と文化を考える会	①茶道の実演	堀金・穂高地区	―

※平成 31 年４月１日現在

第２１条 新たな公園ボランティア活動の実施に関わる規約案の作成

「協働活動者登録制度設置運営要綱」以外のルールにより新たに公園ボランティア活動を受け入れる場合には、事業者は、本公園において活動を希望する個人又は団体を対象とした公園ボランティア規約案を作成し、調査職員と協議すること。（別添―20「ボランティア活動（規約、活動内容）」参照）

第２２条 調査職員への報告

事業者は、調査職員に対し、年度当初に公園ボランティアの登録状況、個人情報の管理手法、年間活動計画を、また、年度末に当該年度の公園ボランティア活動結果を報告すること。年間活動計画については、業務計画書として作成して提出し、承諾を得るものとする。

第２３条 ボランティア登録の抹消

関東地方整備局は、次の各号に該当する事実が発生した場合は、登録を抹消することができる。その際、事業者は、ボランティア登録の抹消に関する窓口業務や連絡、調整等を行うものとする。

１．登録者より登録取消しの申出があったとき

２．登録者の所在が不明となり、連絡不能となったとき

３．登録者がボランティアとして不適格であると認められるとき

第２４条 関東地方整備局の支援内容

関東地方整備局は、公園ボランティア活動に対し、次に掲げる支援を行うことができる。

１．入園料の免除

２．その他、ボランティア活動の実施に必要であると考えられる支援

第４章 広報

第２５条 管理水準

公園の利用促進や適正な利用の確保のため、ホームページの維持・更新、園内マップの作成及び行催事のポスター・チラシ等の作成・配布、地域の情報紙の活用により各種広報宣伝を適切に行うこと。ホームページの更新及び園内マップ作成等に当たっては、公園利用者の目線に立ち、魅力的でわかりやすい内容とするよう努めること。

第２６条 年間広報計画の作成

事業者は、ポスター、チラシ、パンフレット、園内マップ等の作成配布、マスコミへの情報提供等、広報の展開に関する年間広報計画を調査職員と密接に連絡調整した上で策定、提出し、承諾を得ることとする。

第２７条 ポスター、チラシ等作成と配布

事業者は、年間広報計画に基づき、ポスター、チラシ、パンフレット、園内マップ等を作成し、配布や掲示等を行うこと。配布等に当たっては、誘客圏域を考慮の上、効果的な集約が得られるよう努めること。広報資料の作成及び配布実績は、調査職員に毎月報告し、一般を対象とした広報媒体の場合は、原稿作成時に調査職員に提出すること。

第２８条 情報提供

１．事業者は、本公園の行催事や自然環境（開花・紅葉等）等の情報について、ダイレクトメールによる広報活動や、テレビ、ラジオ、雑誌、新聞等の各種媒体や記者クラブへの情報提供を積極的に行うこと。特に、地元のマスコミ関係者に対しては、綿密な情報提供に努めること。

２．事業者は、観光協会等を活用して、広報に関する情報提供に努めること。（別添－21「参加している協議会等」参照）

第２９条 広報に係る素材等

１．事業者は、広報媒体を作成する際、本公園のロゴ（名称）及びホームページアドレス等を使用することができる。使用の際は本公園のロゴ（名称）等は、別添－22「グラフィックマニュアル（抄）」に従って使用するものとする。なお、本業務の成果及び本業務の実施の過程において、派生的に生じた著作権、特許権及び実用新案権の無体財産権については、関東地方整備局が承継すること。

２．事業者は、関東地方整備局が提供したパンフレット等の電子媒体について修正等を行う場合は、事前に調査職員に提出する。また、契約の終了後又は解除後、速やかに修正した電子媒体を調査職員に提出すること。

第３０条 取材・視察等への対応

マスコミ等からの取材等及び行政機関等からの視察については、積極的に対応・協力を行うものとし、その内容を調査職員に報告するものとする。（別添－23「マスコミ取材報告様式」参照）なお、行政機関等からの視察の申込みについては、調査職員に報告するものとする。

第３１条 団体利用の促進

1．本公園は、安曇野地域の自然、文化等に係る各種体験学習ができる施設が整備されていることから、学校等の団体利用の促進につながる広報を実施し、公園施設や行催事の効果的な活用を図ること。
2．本公園は、基本方針の一つとして「交流・地域活性化」を掲げていることから、首都圏等の大都市圏からの誘客及び地域への滞在の誘導につながる広報に努めること。特にツアー（団体旅行）は地域の周遊性が高まることが期待されることから、大都市圏等からのツアー客の誘致にも努めること。

第３２条 ホームページによる情報発信

1．事業者が本公園ホームページにより情報発信する場合は、公園の公的名称を使用し、事業者が所有・管理するサーバー又はレンタルサーバーに格納して公開することとし、レンタルサーバー管理会社にサーバー維持管理費及びホームページのドメイン（http://www.azumino-koen.jp）維持管理費の支払いを行うこと。
2．ホームページが支障なく機能するよう、サーバー、ドメイン契約の名義変更及び契約更新時に必要な手続きを遅延無く実施すること。
3．事業者は、本公園ホームページ上で発信する情報について別紙－5「共通仕様書」第８章に定める「個人情報の取扱いについて」及び関東地方整備局が定めるプライバシーポリシーに基づいた適正な内容であることを事前に確認することとする。
4．事業者は、情報（掲載する文書、図画、写真及び音楽等）における著作権等の知的所有権に配慮すること。
5．他人の著作物を本公園ホームページに掲載する場合には、事前に著作権者の許諾を得ること。
6．自主事業で作成したホームページは本公園ホームページよりアクセスできるようリンクをはること。ただし、それによりがたい場合は、別途調査職員等と協議すること。
7．セキュリティレベルを確保するため、ホームページの作成・更新等に用いるパソコンや、データを保存するサーバー等のセキュリティ対策について、業務開始前に受発注者間で協議するとともに、年度末に実施状況を報告するものとする。

第３３条 ホームページ掲載情報の更新・修正・訂正

1．事業者は、本公園ホームページについて、施設情報や行催事・草花等、随時更新される公園情報についてホームページデータを作成し、サーバーデータの更新を行うこと。なお、本業務の成果及び本業務の実施の過程において、派生的に生じた著作権、特許権及び実用新案権の無体財産権については、関東地方整備局が承継すること。
2．事業者は、個人に関する掲載情報について、本人又は保護者から内容の訂正又は削除の要請を受け、必要と認めた場合には、訂正等の措置をとること。
3．事業者は、本公園ホームページであるとの誤解を与える内容の他のホームページを発見した場合には、他のホームページ作成者に対し訂正等必要な措置を求めること。

第３４条 アクセス解析

事業者は、月１回アクセス解析を行い、その結果を調査職員に報告すること。

第３５条 その他

１．事業者やその関係者が私的に作成・開設するホームページ（ブログ、プロフ、SNS、ツイッター等を含む）は、本公園ホームページであるとの誤解を与えないよう配慮するとともに、職務上知り得た情報を掲載しないこと。

２．本仕様書によるもののほか、本公園ホームページの運用に関し必要な事項又は疑義が生じた事項は、事業者が調査職員と協議の上定めること。

第４編 利用サービス等

第１章 公園利用者への利用指導

第３６条 管理水準

事業者は、健全な公園利用の増進を図るとともに、安全快適な利用のため、利用上の注意等の公園利用者への利用指導、また電話対応、園内放送、障害者・高齢者等の公園利用者の補助、各種掲示物の管理、見学者等の対応等、公園利用者への利用サービスに関する業務全般を行うこと。

第３７条 一般事項

１．公園利用者に受付であることが容易に理解されるよう必要な表示や案内を行うこと。

２．事業者は、公園利用者への利用指導及び利用サービスのために必要な人員数を各所に適宜配置すること。

３．遊具が正しく利用されているか、監視及び遊具周辺の巡視を行うこと。

４．マシュマロドーム及び大草原の家内のネット遊具等において、多くの利用者数が予想される場合は、監視員を配置して利用指導を行う等、利用者の安全を確保するとともに、事故を未然に防止するように努めること。

５．別添－４「行為の禁止等に関する取扱要領」を参照し、公園利用規則から逸脱している者、他の公園利用者に著しく迷惑をかける者等については、総括責任者（総括責任者が不在の場合は、それに準ずる総括責任者）が退園を命じることができる。

６．本公園へのペットの同伴は認めているが、ペット同伴者のマナー遵守の促進や他の公園利用者とのトラブル防止のため、ペット同伴者に対してペット同伴に関する注意事項をビラや掲示により周知すること（別添－24「ペット対応」）。ペットは原則として建物内への同伴は不可とし、建物入り口付近にドッグパーキングを設置すること。また、エチケットウォーターを用意し、ペットの糞尿処理に利用してもらうよう努めること。

７．喫煙者に対しては、園内に設置している喫煙コーナーにおいて喫煙をするよう誘導すること。

８．空中回廊は、通常時の耐荷重としては６人程度／㎡を限度としているが、地震時を考慮し３人程度／㎡の利用状況が保たれるよう、混雑時には利用制限を行う等、事故を未然に防止するように努めること。また、積雪・凍結時等は必要に応じて利用を制限する等の措置を講じること。

９．野生生物については、巡視等を通じその生息状況等を把握するとともに、確認時については公園利用者の安全の確保及び野生生物の生息の観点から適切な措置を講じること。

第２章 公園利用者等へのサービス業務

第３８条 管理水準

1．公園利用者等に直接接する業務であり、公園利用者が安心して快適･安全に楽しめるよう心掛け、不快と感じさせるような行動、言動、身なりをしないこと。

2．業務遂行に当たっては、常に公平なサービスの提供に努め、特定の個人や団体に有利あるいは不利な扱いとならないようにすること。

3．公園利用者から寄せられた意見等に対しては、本業務の実施上有効であると判断される事項については適切な措置を講じること。

第３９条 公園利用者等への利用案内

1．園内の概要、見頃の花及び開催中のイベント・プログラム等の基本情報について、ゲート等において公園利用者の問い合わせに適切に対応すること。また、電話及びメール等での問い合わせに対しても適切に対応すること。

2．公園利用者及び外部からの問い合わせに対して適切な対応を図るため、日頃から各担当業務間の情報交換、情報共有を密にしておくこと。

3．公園利用者等の苦情及び要望事項については、誠意を持って適切かつ迅速に対応し記録すること。

4．園内での迷子、呼び出し、イベント告知等の園内放送を適宜行うこと。

5．園内案内マップは公園利用者の視線に立ってわかりやすいものを作成するとともに、希望する公園利用者等に配布すること。

6．園内掲示板、掲示物を適切に管理すること。

7．障害者及び高齢者等の補助を行うこと。

8．公園利用者の利便性向上のために車椅子、ベビーカー、手押し車(シルバーカー)、杖、傘、老眼鏡の貸出を行うこと。

9．園内に大型野生動物（特にクマ）の侵入が確認された場合は、別添－６「危機管理マニュアル」に基づき、必要に応じ公園利用者を安全な建物内に避難させ、立ち入り制限区域を設ける等の措置を講じるとともに、速やかに調査職員等に連絡を行うこと。大型野生動物が園内から出たことを確認した上で、利用制限措置を解くこと。

10. 園内及び公園周辺に大型野生動物の出没が見受けられる場合は、園内にその旨を記載した看板を掲出する等、公園利用者への情報提供に努めること。

第４０条 団体利用調整

1．団体での公園利用者の誘導、バス等車両の停車場所への誘導を行うこと。（別添－25「団体利用の手引き」参照）

2．団体での広場使用について、調整を行うこと。

3．雨天時には、団体利用の適切な誘導や集合、休憩場所の確保、利用内容やスケジュールの変更への助言等支援を行うこと。

第４１条 拾得物、残置物の処理

1．事業者は、公園内で遺失物を発見した場合は、遺失物法に従い適正に処理すること。

2．事業者が契約した者及び従業員等が、公園内において他人の紛失した物件を拾得した時は、速や

かに事業者に届けるように指導すること。

3．事業者が契約した者及び従業員等が、遺失物法に規定する報労金は受け取る権利及び一切の権利を放棄すること。

4．拾得物に当たらない残置物を発見した場合には、その処分方法等について調査職員と協議すること。

第４２条　ご意見箱の設置

1．事業者は、公園利用者の意見、要望、苦情、感想等を収集し、本業務の改善に反映させるため、本公園内にご意見箱を設置すること。記載用紙の様式は任意とする。

2．設置箇所は、原則として以下のとおりとする。
堀金・穂高地区：ガイドセンター、展望テラス、水辺の休憩所、穂高口、里山文化ゾーン堀金口、里山文化ゾーン穂高口
大町・松川地区：インフォメーションセンター、休憩棟、森の体験舎、大草原の家、スポーツと遊びの森入口

3．ご意見箱に寄せられた意見等は、とりまとめの上、毎月開催される国営アルプスあづみの公園定例会の場で調査職員に報告すること。

4．ご意見箱に寄せられた意見等及び公園利用者からの意見等については、改善が必要と思われるものについては、必要に応じ調査職員等とも協議を行い、できるだけ速やかに必要な措置を講じることとし、その結果については調査職員等に報告すること。

第３章 園内巡視

第４３条 管理水準

公園利用者の安全利用の確保、公園利用者への利用サービス及び公園施設の点検確認を行うため定期的に園内巡視を実施すること。また、災害事故等不慮の事態に備え、緊急の処置を取ること。

第４４条 巡視業務の実施

１．適正な巡視業務を実施するため、事業者は巡視計画書を作成し、調査職員等の承諾を受けること。（別紙－37「巡視計画書」参照）

２．巡視業務には、通常巡視、繁忙日巡視、異常時巡視、囲障巡視があり、それぞれを適切に実施すること。

３．巡視員は、巡視計画書及び次の各号に掲げる要領にて巡視業務を行うこと。

１）巡視ルートは、別添－28「巡視ルート図」を基本として実施計画書に計画し、これに従って原則１日２回巡視すること。なお、天候、利用状況、園内での作業、野生動物の発生状況等その他状況に応じ、柔軟に園内を巡視すること。

２）巡視員は、公園利用者に対して不快感等を与えないよう常に親切丁寧に接すること。

３）巡視員は、小規模な修理用具を携帯し、必要に応じて処置すること。

４）巡視員は、都市公園法第 11 条、第 12 条に国営アルプスあづみの公園行為の禁止等に関する取扱要領に定める違反行為、迷惑行為を発見した場合には適切な指導をすること。

第４５条 園内巡視

１．通常期

園内巡視は、繁忙期及び異常時以外の状態において、次の各号に掲げる事項について、点検確認、利用指導及び作業を行うこと。

１）公園の開園、閉園時における建物及びトイレ等施設の解錠又は施錠。

２）園内における公園利用者（車輌等含む）への案内・誘導・整理及び利用指導。

３）公園利用者の危険箇所への立入り及び危険な行為に対する制止及び安全指導。

４）迷子、負傷者、病人等の発見又は連絡を受けた場合の緊急連絡体制に基づく速やかかつ適切な処置と報告。

５）事件、事故又は災害等が発生した場合の適切な処置と報告。（別添－６「危機管理マニュアル」参照）

６）園内不審物の有無の確認。

７）拾得物を発見した場合の速やかな報告、及び遺失物法に基づく適切な管理。

８）植物、施設及び清掃状況等の点検及び異常発見時の報告。

① 樹木、芝生、草花等の生育状況及び流水等の修景施設の異常の有無。

② 園路、路側、及びこれらの側溝、法面、排水桝、橋梁、階段、建物その他構造物等の異常の有無。

③ 門、案内標識、ベンチ等休憩施設、便所、灰皿、水のみ場、遊具施設等の異常の有無。

④ 電気、放送、給排水設備、塵芥処理施設等の異常の有無。

⑤ 清掃の状況。

⑥ 災害・事故・野生動物の発生等不測の事態発生の有無。

⑦ 蛇、蜂等公園利用者に危険性、不快感を与える動物の駆除

９）緊急車両の誘導（救急車、消防車、パトカー等）。

10）迷子や近隣の行方不明者等に関する警察からの協力要請があった場合、その要請に対応した園内巡視と報告及び、関係者への連絡。

11）大型野生動物（クマ・サル）の出没が予想されることから、テレメーターを用いる等して、公園内及び公園周辺における生息状況について確認を行うこと。特に、出没の可能性が高くなる７～９月については重点的に実施すること。（別添－７「クマ対策マニュアル（抄）」参照）

12）猛禽類については、公園境界に近い樹林地での繁殖が例年確認されていることから、営巣時期等においてその傾向が見られるか否か、確認を行うこと。（別添－43「国営アルプスあづみの公園における猛禽類保護のための配慮指針(抄)」参照）

２．繁忙期

繁忙日巡視は、行催事の実施計画や過年度の利用者数の状況から事前に多くの公園利用者が予想される日において、適切な人員配置を行い、公園利用者（車両等含む）への案内・誘導・整理及び利用指導等の巡視を行うこと。

第４６条 異常時巡視

異常時巡視は、園内で災害が発生した又はその恐れがある場合、大型野生動物の侵入情報があった場合の園内の異常及び利用障害等に対して適切な措置を講じるため、次の各号に掲げる事項について、巡視を行うこと。

１．園内の被害状況

２．利用障害等の状況

３．大型野生動物の動向

第４７条 囲障巡視

囲障巡視は、公園外周柵の点検を、原則月１回、電気柵の点検を原則週１回以上行うものとする。

第４８条 管理事務所内警備

１．警備対象施設は、公園管理センター(堀金・穂高地区)、ガイドセンター(堀金・穂高地区)、あづみの学校(堀金・穂高地区)、インフォメーションセンター(大町・松川地区)とする。

２．事業者は、警備装置が常に正常な機能を維持しているか確認すること。また、機械警備の異常を発見した場合には、調査職員に報告すること。なお、警備対象施設の保守契約についても、事業者が行うこと。

３．事業者は、警備装置が異常を感知した場合は、該当場所の異常の有無を確認し、異常を発見したときは、調査職員に報告すること。

第４９条 報告等

巡視員は巡視実施後、巡視の結果を毎日巡視業務日報（写真帳含む）及び巡回報告書（写真帳含む）に記録すること。総括責任者は、巡視時に異常が認められた場合は調査職員に報告すること。事業者は記録を保存するものとする。

また、重大な事件・事故又は災害等が発生した場合には、遅滞なく調査職員に報告し指示を受けるも

のとする。（別添－６「危機管理マニュアル」参照）

第４章 ガイドセンター（堀金・穂高地区）の運営管理

第５０条 管理水準

ガイドセンターにおいては、有料区域への改札機能に加え、安曇野地域を中心とする観光情報の拠点としての役割を担っていることから、特に県外からの公園利用者を対象にその要望に応じた観光情報等の提供に係る各種業務を適切に行うこと。

第５１条 各種観光情報の収集

安曇野地域を中心とする長野県内の観光情報（パンフレット、ポスター、チラシ等）を収集し、ガイドセンター内の観光情報コーナーで公園利用者への提供を行うこと。

第５章 あづみの学校（堀金・穂高地区）の運営管理

第５２条 管理水準

あづみの学校においては、安曇野地域の自然、地形、歴史、文化等を紹介することを目的に、公園利用者に手軽にそれらを体験し、実感してもらうための各種業務を適切に行うこと。

第５３条 エントランス

１．安曇野地域のジオラマ施設を活用して、当該地域の地形、自然についての解説を行うこと。
２．映像室では、安曇野地域を紹介する映像を定期的に放映するとともに、公園利用者の映像室の出入り誘導を行うこと。

第５４条 理科教室

１．水槽での魚類・は虫類等の生体展示、パネル、模型、剥製等の展示について、適切に管理を行うとともに、必要に応じて、公園利用者に対して展示物の解説を行うこと。
２．実習室では、安曇野地域に生息する動植物等を題材にした実習・講習会等を開催すること。

第５５条 社会科教室

１．古民家を模した展示物を題材に、安曇野地域の風習・文化についての紹介を行うこと。
２．そば打ち、お小昼等の食文化について、それらを体験してもらうプログラムを実施すること。

第５６条 芸術教室

１．木の枝、枯れ葉等の自然素材を用いたクラフト体験を実施すること。
２．季節に応じた各種の作品製作ができる体験プログラムを実施すること。

第５７条 多目的ホール

１．コンサート、展示会等の各種催し物を企画・開催すること。
２．冬季等の閑散期においては、室内遊具を設置する等、利用促進を目的とした活用を行うこと。

第５８条 ガイドツアー

１．あづみの学校を中心として園内全体を活用し、動植物の解説を行うガイドツアーを開催すること。
２．ガイドツアーは、スタッフ等により行うほか、セルフガイド方式も導入すること。

第５９条 公園ボランティアとの協働

各教室等における体験プログラムや解説の実施に当たっては、公園ボランティアと協働して、各種プログラム等の充実を図ること。

第６０条 団体利用への対応

学校の遠足等の団体利用を積極的に推進するとともに、各教室での体験プログラムや解説等のローテーションにより効率的な施設利用を図ること。また、雨天時の団体利用にも配慮すること。

第６章 穂高口（堀金・穂高地区）の運営管理

第６１条 管理水準

穂高口においては、有料区域への改札機能に加え、安曇野地域を中心とする観光情報の拠点としての役割を担っていることから、特に県外からの公園利用者を対象にその要望に応じた観光情報等の提供に係る各種業務を適切に行うこと。

第６２条 各種観光情報の収集

安曇野地域を中心とする長野県内の観光情報（パンフレット、ポスター、チラシ等）を収集し、公園利用者への提供を行うこと。

第７章 里山文化ゾーン堀金口管理棟(堀金・穂高地区)の運営管理

第６３条 管理水準

里山文化ゾーン堀金口管理棟においては、有料区域への改札機能に加え、安曇野らしい農の体験学習拠点として、公園利用者に手軽にそれらを体験し、実感してもらうための各種業務を適切に行うこと。

第６４条 屋外スペース

屋外スペースを活用し、安曇野の里山で育まれた農業の技能・技術や文化が体験できるプログラムを行うこと。

第８章 里山文化ゾーン穂高口 (堀金・穂高地区)の運営管理

第６５条 管理水準

里山文化ゾーン穂高口ゲートにおいては、有料区域への改札機能として、利用者への対応、案内等の各種業務を適切に行うこと。

第６６条 園内情報の提供

公園利用者に対し、パンフレットやイベントのチラシ、注意事項等の園内情報の提供を行うこと。

第９章 インフォメーションセンター（大町・松川地区）の運営管理

第６７条 管理水準

インフォメーションセンターにおいては、有料区域への改札機能に加え、安曇野地域を中心とする観光情報の拠点としての役割を担っていることから、特に県外からの公園利用者を対象にその要望に応じた観光情報等の提供に係る各種業務を適切に行うこと。

第６８条 各種観光情報の収集

安曇野地域を中心とする長野県内の観光情報（パンフレット、ポスター、チラシ等）を収集し、公園利用者への提供を行うこと。

第６９条 企画展示

展示室を活用し、地域の自然文化や歴史文化等を紹介する企画展示を実施すること。

第１０章 レンタル棟（大町・松川地区）の運営管理

第７０条 管理水準

レンタル棟においては、企画展示や、歩くスキー、スノーシューの貸出業務等を適切に行うこと。

第７１条 貸出機材の管理

歩くスキーやスノーシューの貸出を行うこと。なお、歩くスキーやスノーシューの貸出期間は、積雪の状況により判断すること。また、貸出器材の点検・整備を行うこと。

第７２条 冬季の情報提供

歩くスキーコース、スノーシューエリア等の紹介や、冬季限定の体験プログラムの情報提供等、冬季の利用促進に繋がる情報提供を行うこと。

第１１章 デイキャンプ場（大町・松川地区）の運営管理

第７３条 管理水準

デイキャンプ場においては、施設利用者が快適に支障なく利用できるよう利用予約・調整等、各種業務を適切に行うこと。

第７４条 デイキャンプ場の運営期間

デイキャンプ場の運営は、４月中旬～11 月中旬までとする。なお、デイキャンプ場の閉鎖、再開時期については。積雪状況等を考慮し判断すること。

第７５条 予約受付

デイキャンプ場の利用予約や申し込み受け付け・調整等を行うこと。利用予約に関しては、ネット予約システムの運用も行うこと。

第７６条 貸出機材の管理

バーベキューセット等の貸出機材を予約のあったサイトに設置を行うこと。また、貸出器材の点検・整備を行うこと。

第１２章 森の体験舎（大町・松川地区）の運営管理

第７７条 管理水準

森の体験舎においては、北アルプスの山麓の里山という条件の下、公園利用者に自然観察、食、クラフト等の各種体験プログラムを通じて、総合的に里地里山の暮らしや恵みを実感してもらうための各種業務を適切に行うこと。

第７８条 工房

１．本公園内で採取できる木の枝や枯れ葉を用いた木工系工芸の体験プログラムを実施すること。
２．本公園内での遺跡から出土した石器にちなんだ勾玉づくり等を体験するプログラムを実施すること。

第７９条 食体験工房

１．安曇野地域に伝わる伝統的な食文化を体験する各種プログラムを用意し、実施すること。
２．木炭等を活用したアウトドア料理を体験する各種プログラムを用意し、実施すること。
３．園内で採取可能な山菜等を有効に活用し、自然の恵みを実感できる各種プログラムを用意し、実施すること。

第８０条 公園ボランティアとの協働

１．各種体験プログラム等の実施に当たっては、公園ボランティアと協働して、各種プログラム等の充実を図ること。
２．樹林地管理は、公園ボランティアの知見を活かし実施すること。

第８１条 団体利用への対応

学校の修学旅行等の団体利用を積極的に推進するとともに、各種体験プログラムやガイドツアー等のローテーションにより効率的な施設利用を図ること。また、雨天時の団体利用にも配慮すること。

第１３章 大草原の家（大町・松川地区）の運営管理

第８２条 管理水準

大草原の家においては、ホールを利用した企画展示や、雨天時の室内遊具の利用の促進、冬季のソリの貸出等、公園利用者が快適に過ごせるよう、各種業務を行うこと。

第８３条 企画展示

ホールを活用し、地域の自然文化等を紹介する企画展示を実施すること。

第８４条 貸出機材の管理

冬季にソリやスノーチューブ等の貸出を行うこと。貸出期間は、積雪の状況により判断すること。また、貸出機材の点検・整備を行うこと。

第１４章 森のゲート（大町・松川地区）の運営管理

第８５条 管理水準

森のゲートにおいては、いきものの森への入り口としての機能に加え、いきものの森に生育している生き物の紹介を目的として、公園利用者にそれらを手軽に体験し、実感してもらうための各種業務を適切に行うこと。

第８６条 自然観察会での利用

いきものの森において自然観察を開催する際には、必要に応じ森のゲートの展示物を題材とし、いきものの森に生育している生き物の解説を行うこと。

第８７条 展示物の管理

パネル、模型、映像、剥製等の展示について、適切に管理を行うこと。

第１５章 園内交通施設（ロードトレイン）（大町・松川地区）の運営管理

第８８条 管理水準

園内交通施設においては、高齢者や身体の不自由な方等の園内移動の円滑化と散策エリアの拡大を目的とし、施設利用者への快適なサービスの提供及び安全確保に努めるものとする。

第８９条 園内交通施設の運営

１．園内交通施設の運営は、積雪期間を除いた春季、夏季、秋季で実施すること

２．運行ルートは下記に示すルートを基本とするが、公園利用者の動向を踏まえ調整すること。

【運行ルート】インフォメーションセンター～あづみの苑地入口～森の体験舎～大草原の家～森の体験舎～あづみの苑地入口～レストラン前～インフォメーションセンター

３．園内交通施設の運行時間は、９:45（始発）～閉園の１時間前（終便）を原則とするが、終便については、利用者の動向を踏まえ調整すること。運行ダイヤについても、利用者の動向を踏まえ設定すること。

４．大雨、強風等の警報発令時、積雪時、落雷の恐れがある時、事故又は、故障等により運行不能の時等には運行を中止すること。

第９０条 園内交通施設の安全管理

１．園内交通施設の走行速度は 10㎞/h 以下とすること。

２．発車の合図は、安全を確認してから行うこと。

３．運転中は、常に利用者の動作に注意を払うこと。

４．園内交通施設には、救急箱を常備すること。

５．運転中事故が発生し、又は発生するおそれがある時は、直ちに必要な応急措置を講ずること。

第９１条 園内交通施設の点検・検査

点検は、毎日点検、月次点検、年次点検、臨時点検を行うこと。なお、点検・検査の記録は年度毎に整理を行い、５年間保存すること。以下に各点検内容を示す。

１．毎日点検は、運行日の運行前に試運転及び異常の有無の確認を行い、必要に応じて措置を行うこと。

２．月次点検は、毎月１回異常の有無の確認を確認し、必要に応じて措置を行うこと。

３．年次点検は、毎年１回専門業者に依頼して、点検を行うこと。

４．臨時点検は、一次利用を中止した時、災害その他運転事故が生じたとき、重要な改造又は修理をした時、その他必要がある時に行うこと。

第９２条 利用指導

園内交通施設のスタッフは、全ての利用者が快適に利用できるよう、利用者に迷惑を及ぼす恐れのある利用者の乗車や、園内交通施設スタッフの安全指示に従わない利用者の乗車等には指導すること。

第９３条 スタッフ研修

園内交通施設スタッフを対象に、毎年１回(各年度の運行開始前)に、研修を行うこと。

第１６章 マウンテンバイクパーク (大町・松川地区)の運営管理

第９４条 管理水準

マウンテンバイクパークにおいては、施設利用者が快適に支障なく利用できるよう、コースの安全管理、貸し出し業務、団体利用対応等の各種業務を適切に行うこと。

第９５条 マウンテンバイクパークの運営期間

マウンテンバイクパークは、４月 27 日～11 月中旬までの土日祝日に開園すること。ただし、４月 29 日～５月６日、７月 20 日～８月 31 日の期間は、平日も開園すること。また、団体による予約利用の場合には、４月 27 日～11 月中旬までの平日も利用可能とすること。

第９６条 スポーツと遊びの森管理棟

１．スポーツと遊びの森管理棟においては、有料区域への改札機能に加え、マウンテンバイクパークの利用拠点として、団体利用対応、マウンテンバイクの貸し出し、整備点検等の各種業務を適切に行うこと。

２．スポーツと遊びの森管理棟において、利用者に案内用紙の配布や簡単な口頭説明を行い、誓約書へ記入していただくこと。

第９７条 コース（ポタリングコース、テクニカルコース、フロートレイルコース）及びスキルアップエリア）の点検

１．開園時間内に巡視を１日２回以上行うこと。

２．巡視の際には、コースの点検も行うこと。コースの異常を確認した場合には、補修を行うこと。

第９８条 団体利用対応

１．団体利用時の一般来園者の利用制限については、団体利用人数により一部開放・貸切等の調整を行うこと。

第９９条 利用指導

１．利用時はヘルメットの着用を必須とし、必要であれば被り方をチェックし指導を行うこと。

２．サンダル類の着用や裸足での利用は禁止とし、長袖長ズボンを推奨すること。

３．利用中に危険行為と判断される行為が利用者にあった場合は、退場措置をとり、特に悪質な行為を繰り返した場合は今後の利用についても禁止とすること。

別紙－７

H31-35 国営アルプスあづみの公園
運営維持管理業務
個別仕様書（案）

【施設・設備維持管理業務】

平成 31 年〇月

第１編　総則

第１条 適用

本個別仕様書は、H31-35 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務のうち、施設・設備維持管理業務に適用する。

第２条 事業者の責務

事業者は、施設・設備維持管理に当たって、運営管理業務の特性を踏まえ、共通仕様書（別紙－５参照)、本公園の設計図書及び現地の気象条件等環境条件を十分に把握の上、管理効果が上がるよう配慮し、管理水準を達成すべく、業務にあたること。

第３条 事前協議等

事業者は、共通仕様書（別紙－５参照)、国営アルプスあづみの公園の設計図書及び現地の気象条件等環境条件を十分に照査し、明示無きもの又は疑義の生じた場合は、関東地方整備局の指定する調査職員と事前に協議する。

第４条 業務実施体制

事業者は、業務実施体制に係る書類を作成し、業務着手までに調査職員に提出し、承諾を得なければならない。また、業務実施体制に変更が生じた場合は、その都度、提出しなければならない。

第５条 業務実施体制の点検

事業者は「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」（平成 12 年 11 月 27 日法律第 127 号）第 13 条５により関東地方整備局から業務実施体制について点検を求められたときは、これを受けることを拒んではならない。なお、点検員は当該業務の調査職員とする。

第６条 基本事項

１．本業務は、施設・設備維持管理を総括する業務責任者の責任の下実施すること。

２．業務責任者は、本個別仕様書によるほか、関係法令を遵守し、公園利用者への快適なサービスに努めるとともに、公共性に配慮し、都市公園の効用に資するよう適切に管理運営を行うこと。なお、本個別仕様書に記載のない事項又は本個別仕様書に疑義が生じたときは、その都度、調査職員と協議すること。

３．業務責任者は、国営アルプスあづみの公園（以下「本公園」という。）内を常に良好な状態に保つとともに、収益施設等設置管理運営業務を含めた各業務間の相互連携調整を図り、適切に業務の進捗管理を行い、本業務を適切に実施すること。

４．管理体制人員は、円滑な運営維持管理を行うため、弾力的に配置すること。

５．事業者に貸与した提供物品類の修理等は調査職員に報告の上、事業者が行うこと。（別紙－22「提供施設一覧（建築物)」、別紙－23「提供物品一覧（機械器具等)」、別添－９「提供施設等の取扱いについて」参照）

６．設備及び提供物品は事業者の注意義務で管理すること。

７．業務効率化に向けた設備及び物品を事業者が導入する場合は、事前に調査職員と協議し、承諾を受けた上で、事業者の負担にて行うこと。

８．作業従事者の身分保障、健康管理、服務規律は事業者の責任において行うこと。
９．事業者は、管理する施設、設備及び備品等について、日々稼働状況を把握し、異常が発生したとき又は異常を発見したときは直ちに調査職員に報告すること。
10. 作業の前に周囲の床、壁、機器等に損傷を与えないように養生を行うこと。
11. 作業終了後は、養生材や工具類を撤去し、周囲の清掃を行うこと。

第７条 安全管理等

１．常に公園利用者の安全確保並びに快適な利用を図るため、利用の迷惑とならないよう十分注意するとともに、事業者の責任において常に公園の観察を行い、善良なる管理を行うものとする。
２．作業中は、必要に応じ作業区域をセーフティーコーン、コーンバー、バリケード等で明示する等安全管理を徹底し、公園利用者の安全を十分確保するとともに、利用者の利用にできるだけ支障を与えないよう配慮するものとする。
３．作業中は園内の施設工作物及び樹木等を破損しないように注意すること。
４．業務責任者は、管理する施設、設備及び備品等について、日々稼働状況を把握し、異常が発生したとき又は異常を発見したときは直ちに調査職員に報告すること。

第８条 作業時間

作業時間は、可能な限り休園日に行う等、公園利用者の迷惑とならないように配慮し、業務責任者の判断により決定すること。なお、開園時間内に作業を行う場合には、必要に応じて公園利用調整を行うこと。また、閉園時間を過ぎて作業を行う場合には、あらかじめ調査職員に作業時間を提出することとする。

第９条 事業者の過失による管理を許可した施設等の事故、破損等

管理を許可した施設等に関して、事業者の過失による事故、破損等が生じた場合には、事業者の責任において処理するものとする。なお、事故・器物の破損等が発生した場合には、速やかに調査職員に報告すること。

第１０条 大規模な修繕等

大規模な修繕等は関東地方整備局において行うので、詳細は調査職員との協議によるものとする。

第２編 建物維持修繕等

第１１条 管理水準

事業者は、公園内を常に良好な状態とし、公園利用者への快適・安全なサービスに努めること。

常に公園利用者の迷惑とならないよう十分注意するとともに、事業者の責任において常に公園内の観察を行い、善良なる管理を行うこと。

第１２条 作成書類

１．作業計画書

事業者は、調査職員が指示する主要な建築物、建物設備、工作物、設備の修繕等については、別紙－５「共通仕様書」第 15 条で示す書類のほか、作業計画書（工程表含む）を作業前に作成して調査職員に提出すること。

２．事業者は、調査職員が指示する主要な建築物、建物設備、工作物、設備の修繕等について、次の各号に掲げる書類を作成すること。

１）作業打合簿－－－－－－－－－－－－ 打合せ毎に終了後、速やかに作成

２）作業図書－－－－－－－－－－－－－ 作業後、速やかに作成

３）作業記録写真－－－－－－－－－－－ 作業後、速やかに作成

４）その他調査職員が指示する書類－－ 適宜作成

第１３条 管理事務所等修繕

堀金・穂高地区の公園センター、ガイドセンター、あづみの学校、展望テラス、須砂渡口ゲート、穂高口ゲート、里山文化ゾーン管理棟、大町・松川地区のインフォメーションセンター、レンタル棟、炊事棟、森の体験舎、大草原の家、森のゲート、そまびとの家、休憩棟（収益施設対象外の区域）について、日常、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うとともに、次の各号に掲げる修繕及び点検を行うこと。ただし、関係法令等に基づいて実施する法定点検は、国事務所が行う。（別添－８「園内施設（設備等）位置図」参照）

１．外観については、美観の維持に努め、塗装面等の防腐、防錆等の点検を行うこと。

２．自動ドアについては、原則年２回保守点検を実施すること。

３．冬期は、凍結防止措置（水抜き）を実施すること。

第１４条 休憩所等修繕

堀金・穂高地区の水辺の休憩所、野の休憩所、四阿、大町・松川地区の四阿等について、公園利用者が直接かかわる施設であることに留意し、日常、適宜目視、触診、打診等による巡回点検を実施し、破損箇所については小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。ただし、関係法令等に基づいて実施する法定点検は、国事務所が行う。（別添－８「園内施設（設備等）位置図」参照）

第１５条 車庫・倉庫等修繕

車庫、作業棟、倉庫、予備水槽室、受水槽室、プロパン庫、シェルター（駐輪場等）について、日常、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。ただし、関係法令等に基づいて実施する法定点検は、国事務所が行う。（別添－８「園内施設（設備等）位置図」参照）

第１６条 便所修繕

園内の便所について、日常、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。また、冬季は、凍結防止措置を実施し、配管・衛生器具の機能維持に努めること。ただし、関係法令等に基づいて実施する法定点検は、国事務所が行う。（別添－８「園内施設（設備等）位置図」参照）

第１７条 その他修繕

建物の維持修繕において、本個別仕様書第 12 条から第 15 条までに該当しない項目については、必要に応じて、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。

第３編 建物設備維持修繕

第１８条 管理水準

空調設備及び昇降機の機能を常に安全かつ良好に維持するため軽微な修繕及び点検を行うこと。

第１９条 空調設備維持修繕等

園内の建物内に設置されている空調設備について、日常、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。また、夏前及び冬前の年２回、専門技術者による点検を行うこと。ただし、関係法令等に基づいて実施する法定点検は、国事務所が行う。（別添－８「園内施設（設備等）位置図」参照）

第２０条 昇降機等設備保守点検等

園内の建物内に設置されている昇降機等設備について、国土交通省が定めた「建築保全業務共通仕様書」に基づき点検を行い、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。ただし、関係法令等に基づいて実施する法定点検は、国事務所が別途行う。

第２１条 消防設備維持修繕等

園内の建物内に設置されている消防設備について、日常、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。（別添－８「園内施設（設備等）位置図」参照）

第２２条 建物設備その他修繕

建物設備の維持管理において、本個別仕様書 18 条から 20 条までに該当しない項目については、日常、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。

第４編 園路広場維持修繕工

第２３条 管理水準

事業者は、公園内を常に良好な状態とし、公園利用者への快適・安全なサービスに努めること。

常に公園利用者の迷惑とならないよう十分注意するとともに、事業者の責任において常に公園内の観察を行い、善良なる管理を行うこと。

第２４条 園路・広場維持修繕等

園路・階段、舗装、サイン、手摺・柵、ベンチ等について、日常、適宜巡回点検し、腐敗・破損箇所の小規模な修繕を適切に行うこと。

第５編 遊具維持修繕工、その他修繕

第１章 遊具維持修繕工

第２５条 管理水準

遊具について、劣化や(社)日本公園施設業協会が定めた「遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S:2014」の不適合によるハザードを早期に発見し、遊具による事故を予防するとともに、適切な運営維持管理業務につなげるよう点検を行うこと。

点検業務の実施に当たり、適用を受ける関係法令等を遵守し、業務の円滑な遂行を図ること。

なお、遊具の点検は幼児や児童が遊具の利用者であることから、次の各号に掲げる事項に配慮して行うこと。

１．安全性の確保

２．機能の保持

３．美観に配慮した形姿の維持

第２６条 用語の定義

１．「点検責任者」は、(社)日本公園施設業協会が認定した「公園施設製品安全管理士」あるいは、調査職員が同等と認めたものとする。なお、「点検責任者」は、「点検担当者」以上の経験、知識及び技能を有するものであること。

２．「点検担当者」は、(社)日本公園施設業協会が認定した「公園施設製品整備技士」あるいは、調査職員が同等と認めたものとする。

３．「同等と認めた者」とは、(社)日本公園施設業協会が認定した「公園施設製品安全管理士」「公園施設製品整備技士」と比較して同等の学歴、経歴、実務経験、講習会の受講実績等から同等の知識と技術、管理能力等があると調査職員が認めた者をいう。

４．「作業」とは、遊具の点検をいう。

５．「劣化」とは、物理的、化学的、生物的要因によりその物の強度及び機能が、低下することをいう。(ただし、地震、火災等の災害によるものを除く。)

６．「日常点検」とは、目視診断、触手診断、聴音診断等により、遊具の異常、劣化等の有無を調べるために日常的に行う点検をいう。

７．「定期点検」とは、公園施設製品安全管理士及び公園施設製品整備技士等が一定期間ごとに摩耗状況や変形並びに経年変化等について点検する「劣化診断」と、「遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S:2014」に基づき遊具の形状や安全領域等の規準に対する妥当性を評価する「規準診断」をいう。

８．「SP 表示認定企業」とは、(社)日本公園施設業協会が定めた「遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S:2014」等に基づき製品の設計、製造、販売、施工、点検、修繕を行い、かつ、(社)日本公園施設業協会が定めた規格「S：2008QMS－SP 表示認定規格」を満たすマネジメントシステムを構築していると(社)日本公園施設業協会に認定された企業をいう。

９．「SP 点検済シール」とは、「SP マーク」を付された「点検済シール」で点検、修繕した遊具が、「遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S:2014」に合致したと認められた時に、安全性の確保が維持されていることを示すために、SP 表示認定企業が貼付することができるシールをいう。

第２７条 点検の範囲

点検とは、遊具の形状を調査し、「遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S:2014」に基づく規準診断等を行い、報告書を作成するまでの一連の行為をいう。

第２８条 事業者の負担

点検業務に必要な工具、測定機器等は事業者の負担とする。

第２９条 点検の種類

点検には、「日常点検」と「定期点検」がある。

事業者は各点検の内容とその必要性を正しく理解した上で共通仕様書第15条の業務計画書を立案し、調査職員に承諾を受けてから点検を実施しなければならない。

第３０条 診断の方法

遊具の点検は、点検表を作成し、診断することで安全性を確認すること。

診断方法は、次の各号に掲げるとおりとする。

１．目視診断
　遊具の外観・形状を観てその劣化状態を診断する方法

２．触手診断
　遊具を素手で触ってその劣化状態を診断する方法

３．聴音診断
　遊具の可動部を動かし、発生する音、ガタツキの状態の有無を判断し、劣化状態を診断する方法

４．打音診断
　遊具を点検ハンマー等で軽打し、異音の有無を判断し、その劣化状態、亀裂、ボルトの緩み等を診断する方法

５．揺動診断
　遊具本体を揺り動かし、仕様に対応できるかを診断する方法（複合系遊具の場合は単体ごとに行う）

６．JPFA 検査器具による判定
　JPFA が開発した器具で遊具の規準（JPFA-SP-S:2014）に適合しているかを調べる

７．ノギスによる測定（JIS 認定商品を使用する）

８．メジャーによる測定（JIS 認定商品を使用する）

９．傾斜計による測定

第３１条 作成書類

１．作業計画書
　業務計画書に基づき作業実施日、作業内容、作業手順、作業範囲、点検責任者名、点検担当者名、安全管理者等を具体的に定めた定期点検に関する作業計画書を作業前に作成して調査職員に提出すること。作業計画書には、点検の作業中に利用を中止した方が良いと判断された遊具の取扱と処置方法、連絡手順について記載すること。

２．事業者は、次の各号に掲げる書類を作成すること。また、業務完了時には、実施状況等の記録書

として添付すること。

1）定期・精密点検記録簿

点検実施後、(社)日本公園施設業協会が定めた「遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S:2014」に記載する「定期点検総括表」「定期点検表」「特別定期点検表」に基づき速やかに作成すること。

2）写真帳

客観的な判断材料として、必要に応じて遊具施設の劣化や破損状況を写真に記録すること。写真は、着手前、作業状況(規準点検状況・劣化点検状況)からなり、点検表と照合できるよう、点検実施後、速やかに写真帳に整理すること。

3）その他調査職員が指示する書類－－ 適宜作成

第３２条 遊具日常点検等

1．日常点検を行う者は、遊具の外観を目視し、必要に応じて触診により部材の腐食、亀裂、変形、ボルトの脱落等の施設の変形や異常の有無を調べる。また、併せて設置面や植栽等を含めた遊具周辺の確認も行うこと。

2．点検頻度は、遊具毎に日１回以上実施する。また、遊具維持修繕の担当職員による月１回点検を実施すること。

3．点検対象遊具は、以下の通りとする。（別添－８「園内施設（設備等）位置図」参照）

名称 (堀金･穂高地区)
マシュマロドーム
こどもの森遊具
冒険の森遊具

名称 (大町･松川地区)
大草原の家ネット遊具
空中回廊の付設遊具
林間アスレチック

4．公園内巡視時に日常点検を行う者は、点検箇所や点検方法をよく理解したうえで、日常点検を実施すること。なお、冒険の森遊具は、別添-31「遊具日常点検表（冒険の森遊具)」により日常点検を実施すること。

5．事業者は、対象となる遊具の経年変化に伴う劣化状況を把握するため、日常点検記録簿を精査したうえ、保管しておくこと。

6．点検履歴については、遊具履歴書を作成、追記、修正をすること。

7．台風や豪雨等の異常気象時や震度５以上の地震発生により、遊具に異常箇所が生じるおそれのある場合に、遊具及び遊具の周辺状況について、必要に応じて臨時的に点検を行うこと。また、遊具の利用者が怪我をした場合や、他公園において類似遊具等で事故があった場合も点検を行うこと。

第３３条 遊具定期点検

1．定期点検を完了させるために、管理体制を確立し、品質、工程、安全、法令遵守等の業務管理を行うこと。

2．事業者は、点検責任者を定め調査職員に事前に提出することとする。また、点検責任者を変更した場合も同様とすること。

3．点検を行う月日及び時間等は、作業計画書により実行すること。
4．点検対象遊具は、日常点検に準ずること。
5．遊具の点検内容は、(社)日本公園施設業協会が規定する「定期点検総括表」「定期点検表」「特別定期点検表」に基づいて実施し、その結果について定期点検記録簿としてとりまとめ報告すること。
6．点検作業の中で測定を行う必要がある場合は、定められた測定機器又は(社)日本公園施設業協会認定の、JPFA 検査器具、JPFA 肉厚測定器、JPFA 落下衝撃測定器等を使用して行うこと。
7．点検作業と点検表に基づく判定は別の者がそれぞれ担当し、職務を兼ねることはできない。
8．点検責任者は、「劣化診断」による劣化判定と「基準診断」によるハザードレベルを組み併せて総合的な機能判定を行うこと。その判定基準については、必要に応じ事前に調査職員と協議をしておくこと。
9．定期点検は、年１回実施すること。
10．点検終了後、「合格」と判断された遊具について、「SP 点検済みシール」を貼付出来る遊具には調査職員に報告し、点検実施時期を明記して添付すること。

第３４条 その他遊具日常点検

1．日常点検を行う者は、遊具の外観を目視し、必要に応じて触診により部材の腐食、亀裂、変形、ボルトの脱落等の施設の変形や異常の有無を調べる。また、併せて設置面や植栽等を含めた遊具周辺の確認も行うこと。
2．点検頻度は、遊具毎に日１回以上実施する。
3．点検対象遊具は、以下の通りとする。

名称 (堀金･穂高地区)
サイバーホイール
大　玉
ディスクゴルフ
ハンモック
ミニサッカー
ボールプール（あづみの学校）
ソリ
スノーチューブ

名称 (大町･松川地区)
サイバーホイール
ポッカール
ソリ
スノーチューブ
スノーシュー
スノーレーサー
スノーリュージュ
歩くスキー
スノーストライダー

4．公園内巡視時に日常点検を行う者は、点検箇所や点検方法をよく理解した上で、日常点検を実施すること。
5．事業者は、対象となる遊具の経年変化に伴う劣化状況を把握するため、日常点検記録簿を精査した上、保管しておくこと。
6．点検履歴については、遊具履歴書を作成、追記、修正をすること。
7．遊具の利用者が怪我をした場合や、他公園において類似遊具等で事故があった場合も点検を行う

こと。

第３５条 遊具維持修繕等

点検により確認された破損箇所については、小規模な修繕等を適切に行うこと。

第３６条 その他

１．点検作業においては、安全管理を徹底し、作業中であることを掲示して、公園利用者の遊具利用への影響が無いように十分な安全対策を講ずること。

２．定期点検等で不良と判断された場合は、速やかに調査職員へ報告すること。

３．点検で異常が発見された場合、若しくは、異常の可能性がある場合は、使用禁止が妥当と判断される遊具について、業務計画書等で事前に調査職員と打合せた手順に従い、ロープやネット等で使用できないように処置するとともに、使用禁止表示を行い、公園利用者に事故が起きないように安全対策を実施すること。併せて、調査職員に速やかに報告すること。

４．点検作業は、作業に適した服装にて作業を実施し、「公園施設製品安全管理士」「公園施設製品整備技士」の携帯用認定証等がある場合は携帯して作業に従事すること。

５．本仕様書に記載されていない事項については、(社)日本公園施設業協会の「遊具の安全に関する基準 JPFA-SP-S:2014」を参考にすること。

第２章 その他修繕

第３７条 管理水準

事業者は、公園内を常に良好な状態とし、公園利用者への快適・安全なサービスに努めること。

常に公園利用者の迷惑とならないよう十分注意するとともに、事業者の責任において常に公園内の観察を行い、善良なる管理を行うものとすること。

第３８条 その他修繕等

園路広場及び遊具以外の工作物について、必要に応じて、適宜巡回点検し、破損箇所については、小規模な修繕等を適切に行うこと。

第６編 電気設備維持修繕

第３９条 管理水準

使用電力量を計測するとともに、別添－８「園内施設（設備等）位置図」に示す電気設備（受変電設備、自家発電設備、照明設備、監視カメラ設備等）ついて、関係法令を遵守し、機能を常に安全かつ良好に維持するため点検を行うものとする。破損箇所については、小規模な修繕を適切に行うものとする。

第４０条 電気設備維持修繕等

１．事業者は、月１回、調査職員が指示する日に各電気メーターの確認を行うこと。調査職員の指示による負担金割合の算定方法に従い、電気メーター検針結果の集計表及び負担金額割合を算定した算定表を作成し、翌月の月初めに速やかに作成し調査職員に報告提出すること。

２．分電盤・配電盤等について、計器による設備の運転状況の把握や目視、触手、聴音による点検を行うこと。なお、分電盤については、年１回絶縁測定を行う。

３．点検の結果に応じ、清掃、調整、消耗部品の交換及び補充、軽微な修繕等を適切に行うこと。ただし、関係法令等に基づいて実施する法定点検は、国事務所が別途行う。

４．落雷があった場合には、翌日の開園までに電気設備の巡回点検を行うこと。

５．休園日に電気設備において異常が発生した場合は、国事務所が契約した法定点検の受託者と連携して、適切な措置を講じること。

第７編 汚水・排水施設維持修繕

第４１条 管理水準

園内の汚水・排水施設について、施設の機能を常に安全かつ良好に維持するため点検及び小規模修繕を行うものとする。（別添－８「園内施設（設備等）位置図」参照）

第４２条 汚水・排水施設維持修繕

１．日常、適宜巡回点検し、分電盤のブザー音の確認等を行い、異常があれば小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。ただし、関係法令等に基づいて実施する法定点検は、国事務所が別途行う。

２．台風や大雨が予想される場合は、巡回点検を行うとともに、適切な対策を講じること。

３．事業者は、繁忙期においては、汚水・排水施設の稼動状況を確認するとともに、国事務所が契約した法定点検の受託者と連携し、汚水・排水施設の処理能力に沿った調整を行うこととする。

４．事業者は、降雨時等に雨水ます等の状況及び土砂の堆積の有無を目視により確認し、必要に応じて堆積物の除去等を行う。

５．雨水枡のうち、砕石を詰めている箇所については、ヘビ（特にマムシ）が生息していることがあることから、必要に応じ砂による目地詰めを行う等の措置を講じること。

第８編 給水施設維持修繕

第４３条 管理水準

本公園の全施設の使用水量を計測するとともに、別添－８「園内施設（設備等）位置図」に示す給水施設について、関係法令を遵守し、常に安全かつ良好に維持するため点検及び小規模な修繕を行うこと。

第４４条 給水施設維持修繕等

１．日常、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。ただし、関係法令等に基づいて実施する法定点検は、国事務所が別途行う。

２．事業者は、１日２回（開園前１回、閉園後１回）、水道メーターの確認を行うこと。調査職員の指示による負担金割合の算定方法に従い、水道メーター検針結果の集計表及び負担金額割合を算定した算定表を作成し、翌月の月初めまでに調査職員に提出すること。

３．受水槽については、常に安全かつ良好に維持するため、適宜点検及び水質検査を実施すること。

４．滅菌装置について、逆流止め玉弁及びサイホンブレーカーの動作や薬剤残量等の確認を行うこと。

５．点検の結果に応じ、清掃、調整、消耗部品の交換及び補充、軽微な修繕等を行う。

６．冬季の園内給水施設凍結による断水及び器具の破損を防止するため、水抜き等の凍結防止作業や一部の水飲み・手洗いの閉栓作業を行うものとする。（別添－30「建物・工作物に係る冬季対応（積雪・氷結対応等）」参照）

７．繁忙期は、配水管の水圧が低下しないよう、適切な措置を講じること。

８．夏季及び冬季においては、使用水量を調整する等の適切な措置を講じ、機能の維持に努めること。

第９編 水景施設管理

第４５条 管理水準

１．堀金・穂高地区の水景施設（池、流れ、水槽）は、国事務所と烏川土地改良区との申し合わせにより、農業用水を一時的に分流しているものであるので、原則的には取水した量を農業用水に戻す必要があることに留意すること。

２．夏季等に池の一部を公園利用者の用に供する場合は、衛生上の問題が生じないよう、関係法令を遵守するとともに、「水浴場水質判定基準」（環境省）に基づき、使用期間中は湖沼として下表の「水質 A」以上を保つよう管理を行うこと。毎年１回以上、水質検査を実施すること。

項目区分		ふん便性大腸菌群数	油膜の有無	COD	透明度
適	水質 AA	不検出（検出限界2個/100mℓ）	油膜が認められない	2mg/ℓ以下（湖沼は3mg/ℓ以下）	全透（1m以上）
	水質 A	100 個/100mℓ 以下	油膜が認められない	2mg/ℓ以下（湖沼は3mg/ℓ以下）	全透（1m以上）
可	水質 B	400 個/100mℓ 以下	常時は油膜が認められない	5mg/ℓ以下	1m未満～50cm 以上
	水質 C	1,000 個/100mℓ 以下	常時は油膜が認められない	8mg/ℓ以下	1m未満～50cm 以上
不適		1,000 個/100mℓ を超えるもの	常時油膜が認められる	8mg/ℓ 超	50cm 未満

３．大町・松川地区渓流レクリエーションゾーンの横溝堰については、横溝堰利水組合の管理とし、また、下流で水道水の代わりに当該堰の水を利用する民家があることから、堰への立ち入り及び公園管理に起因する水質汚濁がないよう留意すること。

第４６条 水景施設点検等

１．点検結果は、点検報告書として取りまとめ、調査職員に報告すること。

２．長野県松本保健所、大町保健所の水質検査等が実施されるときは、協力すること。

３．堀金・穂高地区の池は、夏期を除いては原則的には水遊びの用に供しないこととし、その旨を明示しておくこと。

４．第 43 条１の観点から、堀金・穂高地区の池、流れ等において漏水が生じている場合は、適宜補修すること。なお、大規模な修繕は、国事務所において行うので、調査職員と協議すること。

第１０編 その他設備維持修繕等

第４７条 管理水準

本公園の水循環設備、放送設備、電話設備等について、関係法令を遵守し、機能を常に安全かつ良好に維持するため点検及び修繕を行うこと。

第４８条 水循環設備維持修繕等

日常、園内の循環水ポンプ場、循環水配管等について、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。なお、法定点検は国事務所において行うので詳細は調査職員と協議すること。（別添－８「園内施設（設備等）位置図」参照）

第４９条 魚類飼育設備維持修繕等

堀金・穂高地区のあづみの学校内に設置されている水槽については、水漏れ、空気ポンプ及び水循環装置の点検を行い、餌や水温の管理をして、魚類のための良好な成育環境を維持する。

第５０条 放送設備保守点検等

日常、園内の放送設備、スピーカー、配線等について、計器による設備の運転状況の把握や目視、触手、聴音による点検を年１回行い、破損箇所の小規模な修繕等を適切に行うこと。（別添－８「園内施設（設備等）位置図」参照）

第５１条 電話設備維持修繕等

日常、園内の電話設備、配線等について、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕等を適切に行うこと。（別添－８「園内施設（設備等）位置図」参照）

第５２条 公衆電話設備管理

公衆電話の基本料金の支払いを月１回行うこと。（別紙－48「公衆電話」参照）

第１１編 園内清掃、公園内建物清掃

第１章 基本事項

第５３条 管理水準

公園施設については、常に清潔を保ち、快適な環境を保持する必要があり、本公園の利用状況に適切に対応するため、事業者は、作業内容、作業場所等について十分に検討するとともに、周辺地域に配慮した実施時期の調整を行うこと。

第５４条 消耗品

本清掃作業に必要な消耗品については、事業者で調達すること。

第２章 清掃

第５５条 休憩所等清掃

１．日常清掃

１）清掃箇所は、別紙－39「清掃場所、箇所、内容、方法及び頻度等」を参照すること。

２）壁、床、扉、窓、柱、ベンチ、机、イス、黒板等は、掃き掃除、拭き掃除を行い、公園利用者に不快感を与えないよう清潔に保ち、必要に応じて薬液類を使用し洗浄するものとする。

３）くもの巣、ハチの巣、ガムのかす等がある場合は、速やかに取り除くものとする。また、ハチの巣が確認できないも関わらずハチの生息が確認される場合はその旨を掲示し、公園利用者への周知を図る。

４）天井、照明器具、展示物等は、必要に応じ清掃するものとする。

５）清掃箇所及び実施頻度は原則として下表の通りとし、各施設の汚れ具合等により適宜清掃回数を設定するものとする。

【堀金・穂高地区】

ゾーン	清掃箇所	実施頻度
田園文化ゾーン	ガイドセンター、あづみの学校、展望テラス、水辺の休憩所、野の休憩所、穂高口、四阿、烏川休憩所	1回以上/日
里山文化ゾーン	管理棟、四阿	

【大町・松川地区】

ゾーン	清掃箇所	実施頻度
センターゾーン	インフォメーション棟、レストラン棟、レンタル棟	1回以上/日
林間レクリエーションゾーン	森の体験舎、大草原の家、トイレ棟、森のゲート	
渓流レクリエーションゾーン	四阿	
自然体験ゾーン	管理棟（スポーツと遊びの森エリア）、四阿	

２．定期清掃

１）床面シートの清掃（ポリッシャー又はスチーム洗浄後のスクイージーによる汚水除去、水モップによる拭き上げ、ワックス塗布、拭き上げ等）のほか、タイルやジュータン、窓、網戸等を対象とした室内清掃を行うこと。

２）屋根及び雨樋に堆積した落ち葉、枯れ枝、藻等による汚れ、夾雑物を除去すること。

３）建物の周りに堆積した落ち葉、枯れ枝を除去すること。

４）外壁、軒下、扉、窓等の汚れを除去すること。

５）清掃箇所及び実施頻度は下表の通りとする。（別紙－39「清掃場所、箇所、内容、方法及び頻度等」参照）

【堀金・穂高地区】

ゾーン	清掃箇所	実施頻度
田園文化ゾーン	ガイドセンター、あづみの学校、穂高口	1回/年
里山文化ゾーン	管理棟	1回/年

【大町・松川地区】

ゾーン	清掃箇所	実施頻度
センターゾーン	インフォメーションセンター、休憩棟、レンタル棟	1回/年
林間レクリエーションゾーン	森の体験舎、大草原の家、森のゲート	
自然体験ゾーン	管理棟（スポーツと遊びの森エリア）	

第５６条 便所清掃

１．日常清掃

１）清掃箇所は、別紙－39「清掃場所、箇所、内容、方法及び頻度等」を参照すること。

２）清掃中は、便所の利用者の利便性に配慮すること。

３）衛生器具(便器、手洗い器等)、壁、天井、床、ブース、扉、窓、その他建具、鏡、照明器具等を適切な方法で清掃し、清潔に保つとともに、詰まり等はすぐに処置する。

４）トイレットペーパー及び石鹸水が常時あるように補充すること。

５）汚物入れの清掃等を行うこと。

６）実施頻度は原則として下表の通りとし、各便所の汚れ具合等により適宜回数を設定するものとする。

【堀金・穂高地区】

ゾーン	清掃箇所	実施頻度
田園文化ゾーン	管理センター、ガイドセンター、あづみの学校、須砂渡口、展望テラス、水辺の休憩所、野の休憩所、河畔広場、穂高口、烏川休憩所の各トイレ	1回以上/日
里山文化ゾーン	管理棟、懐かしの風景エリアの各トイレ	

【大町・松川地区】

ゾーン	清掃箇所	実施頻度
センターゾーン	インフォメーション棟、駐車場、センターゾーン西側、休憩棟、レンタル棟、デイキャンプ場の各トイレ	１回以上/日
林間レクリエーションゾーン	森の体験舎、大草原の家、トイレ棟、森のゲートの各トイレ	
渓流レクリエーションゾーン	渓流ピクニック広場のトイレ	
自然体験ゾーン	スポーツと遊びの森エリアのトイレ	

２．定期清掃

１）屋根及び雨樋に堆積した落ち葉、枯れ枝、藻等による汚れ、夾雑物を除去すること。

２）建物の周りに堆積した落ち葉、枯れ枝を除去すること。

3）衛生器具(便器、手洗い器等)、壁、軒下、天井、床、ブース、扉、窓、鏡、照明器具等の汚れを除去すること。

4）清掃箇所は、別紙－39「清掃場所、箇所、内容、方法及び頻度等」を参照すること。実施頻度等は原則年１回とし、各便所の汚れ具合等により適宜回数を設定するものとする。

3．大規模な行催事の開催等により、塵芥の発生量の増加が見込まれる際には必要に応じて当該箇所を清掃するものとする。

第５７条 工作物清掃

1．日常清掃

1）対象区域は全園を区域とする。ただし、別紙－９「管理運営規定書」の対象である収益施設は除く。

2）拾い清掃による紙くず、空き缶等の除去や掃き掃除による土ぼこり、落ち葉等の除去により、工作物をきれいな状態に保つこと。

3）園路、広場、排水枡、排水溝の土砂等を除去すること。

4）公園利用者が直接触れるベンチやテーブル等は、汚れやコケ、鳥の糞が無いよう水拭き等の清掃を行い、同時にささくれ、がたつき等による危険箇所の確認を行うこと。

5）喫煙場所の吸殻等の清掃を随時行うこと。

6）池等の水面のごみや落ち葉等を網等で随時除去すること。

7）照明、時計や温度計、駐車場管制、監視カメラ等の設備について、汚れがひどい場合には清掃を行うこと。

8）大規模な行催事の開催等により、塵芥の発生量の増加が見込まれる際に業務責任者の判断により当該箇所を清掃するものとする。

9）清掃箇所、実施頻度は、下表の通りとする。

【堀金・穂高地区】

清掃箇所	実施頻度
駐車場･主要幹線園路･細園路の路面･排水溝等、池、主要幹線園路及び細園路･デッキ等	適宜
遊具、ベンチ	１回/日

【大町・松川地区】

清掃箇所	実施頻度
主要幹線園路・細園路の排水溝等、主要幹線園路及び細園路・デッキ等	適宜
遊具、ベンチ	１回/日

2．定期清掃（池・流れ等の洗浄）

1）展望テラス周辺の水景施設及び公園利用者の利用を想定する区域については、必要により、池の排水を行った後、ごみ類や夾雑物、汚泥の除去及び池底の洗浄等を行うこと。

2）池、流れ等に堆積した落ち葉等については適宜除去すること。

3）清掃箇所、実施頻度は下表の通りとする。

【堀金・穂高地区】

清掃箇所	実施頻度
展望テラス周辺	2回／年
親水池	9回／年

【大町・松川地区】

清掃箇所	実施頻度
あづみの苑地	2回／年

３．定期清掃（園路・広場の舗装部等の清掃）

１）園路、広場、排水桝、排水溝の土砂等を適宜除去すること。

２）腐食・破損したテーブル、ベンチ等を撤去すること。

４．臨時清掃

大規模な行催事の開催等により、塵芥の発生量の増加が見込まれる際には必要に応じて当該箇所の清掃するものとする。

第５８条 魚類飼育設備清掃

１．魚類の飼育環境を維持するため、水が汚れた場合水換えを行うとともに、水槽の壁面はコケや藻により汚れるので、魚が観察できるように定期的に水槽壁面を清掃し、ガラスの透視性を確保すること。

２．清掃箇所、実施頻度は、原則として下表のとおりとする。

清掃箇所	実施頻度
あづみの学校	4月～12月：1回／月
	1月～2月：実施しない
	3月：1回／月

第５９条 ごみ回収運搬工

１．本公園では、野生動物の誘因となることから、園内にゴミ箱は設置していないので、ゴミ箱の回収の必要性はないが、各施設で発生するごみについては所定の集積箇所に運搬するものとし、ごみは、所在自治体の分別区分に従って分別を行うこと。なお、自動販売機に設置されている回収ボックス内の空き缶等の回収については収益施設等運営者が行うこと。

２．ここでいうごみとは園路上の落ち葉、枯れ枝も含む。

３．ごみ集積箇所については、別途調査職員が指定する。

第６０条 除雪等

１．積雪時に、本公園の機能を確保するために、出入口周り、園路等必要な範囲において、機械及び人力による除雪を行うこと。（別添－30「建物・工作物に係る冬季対応（積雪・氷結対応等）」参照）なお、優先して除雪する場所は、調査職員と協議すること。

２．事業者は、除雪作業を円滑に実施できるよう無積雪時の状態を確実に把握し、路面や縁石等各工作物に損傷を与えないようにすること。

第６１条 産業廃棄物処理

事業者は、排出される産業廃棄物を「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（昭和 45 年 12 月 25 日法律第 137 号）及び関係法令に従って、適正に処理すること。（別紙－40「産業廃棄物（排出量、経費）」参照）

別紙－８

H31-35 国営アルプスあづみの公園
運営維持管理業務
個別仕様書（案）

【植物管理業務】

平成 31 年〇月

第１章　総則

第１条 適用

本仕様書は、H31-35 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務のうち、植物管理業務に適用する。

第２条 事業者の責務

事業者は、植物管理に当たって、公園管理業務の特性を踏まえ、共通仕様書（別紙－５）、国営アルプスあづみの公園（以下「本公園」という。）の設計図書及び現地の気象条件、土壌条件等環境条件を十分に把握の上、管理効果が上がるよう配慮し、目標とする管理水準を達成すべく、業務にあたること。

第３条 事前協議等

事業者は、共通仕様書（別紙－５）、国営アルプスあづみの公園の設計図書及び現地の気象条件、土壌条件等環境条件を十分に照査し、次の各号に掲げる事項のほか明示無きもの又は疑義の生じた場合は、関東地方整備局の指定する調査職員と事前に協議するものとする。

また、管理年度内にあっても、管理実態に合わせて、効率化に向けた管理施工上の工夫が可能な場合は、調査職員に提案し、協議の上、変更理由を明記の上、業務計画書の変更を行うことも可能である。

１．植物について補植を要する事態が生じたとき。

２．既存木の移植（又は伐採）を行う必要が生じたとき。

３．公園利用者サービスに供するために新規植栽の必要が生じたとき。

第４条 業務実施体制の点検

事業者は「公共業務の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」（平成 12 年 11 月 27 日法律第 127 号）第 13 条２項により関東地方整備局から業務実施体制について点検を求められたときは、これを受けることを拒んではならない。なお、点検員は当該業務の調査職員とする。

第５条 歩掛実態調査及び諸経費動向調査

本業務は、歩掛実態調査及び諸経費動向調査の試行業務であり、調査職員より指示のあった場合、別途通知される調査要領等に基づき調査票の作成を行うこと。

調査票は、業務終了後速やかに調査職員に提出すること。又、調査票の聞き取り調査等を実施する場合にはこれに協力するものとし、調査票の根拠となった契約書等を提示すること。

第６条 基本事項

１．本業務は、植物管理業務を総括する業務責任者の責任の下実施すること。

２．業務責任者は、本個別仕様書によるほか、関係法令を遵守し、公園利用者への快適なサービスに努めるとともに、公共性に配慮し、都市公園の効用に資するよう適切に管理運営を行うものとする。なお、次号に掲げる事項の他、本個別仕様書に記載のない事項又は本個別仕様書に疑義が生じたときは、その都度、調査職員と協議するものとする。

１）補植を要する事態が生じたとき。

２）既存木の移植又は伐採を行う必要が生じたとき。

３）公園利用者サービスに供するために新規植栽の必要が生じたとき。

３．業務責任者は、国営アルプスあづみの公園内の植物を常に良好な状態に保つとともに、総括業務

責任者は、収益施設等設置管理運営業務を含めた各業務間の相互連携調整を図り、適切に業務の進捗管理を行い、本業務を適切に実施すること。

4．園内に生息・生育する貴重種（別添－42「貴重種一覧」参照）に影響を与えないように十分に留意して実施するとともに、貴重種の生息・生育に適した環境を保全するものとする。

5．本公園内では、原則として除草剤、薬剤等の散布を行わないこと。ただし、植物の状況により、使用することが妥当と判断される場合は、調査職員に協議すること。

6．管理体制人員は、円滑な運営維持管理を行うため、弾力的に配置すること。

7．事業者に貸与した提供物品類（別紙－23「提供物品一覧（機械器具等）」参照）の物品類の修理等は調査職員に報告の上、事業者が行うこと。

8．設備及び提供物品は事業者の注意義務で管理すること。

9．植生状況等に基づく業務効率化に向けた設備及び物品を事業者が導入する場合は、事前に調査職員と協議の上、承諾を受けた上で、事業者の負担にて行うこと。

10. 作業従事者の身分保障、健康管理、服務規律は、事業者の責任において行うこと。

11. 植物管理と一体となった行催事では、企画運営管理及び施設・設備維持管理等と総合的な調整の下、相互連携を保ち、公園利用者の安全確保に努めるものとする。

第７条 安全管理等

1．常に公園利用者の安全確保並びに快適な利用を図るため、利用の迷惑とならないよう十分注意するとともに、事業者の責任において常に公園の観察を行い、善良なる管理を行うものとする。

2．危険防止のため、枯損木や枯枝の早期発見と枯枝の除去、及び、全ての作業実施時に作業エリアをバリケード等で囲い作業中であることを明示すること等、施工中は安全管理を徹底し、公園利用者の安全を十分確保すること。

3．作業中は安全管理を徹底し、公園利用者の安全を十分に確保するとともに、園内の施設工作物及び樹木等を破損しないように注意すること。

第８条 作業時間

作業時間は、可能な限り休園日に行う等、公園利用者の迷惑とならないように配慮し、決定すること。なお、開園時間内に作業を行う場合には、必要に応じて公園利用調整を行うこと。

第９条 利用サービス

1．作業時間は、公園利用者の迷惑とならないように配慮し、決定すること。なお、開園時間内に作業を行う場合は、必要に応じて公園利用調整を行うこと。

2．公園利用者に対する案内及び緊急対応等のサービスに努めること。

3．公園利用者に対して、管理作業内容の情報を提供する必要が生じた場合には、作業場所において適切な説明看板類を掲示すること。

第２章 芝生管理

第１０条 管理水準

以下に示す管理水準を満たす芝生管理を行うこと。（別添－33「芝生管理区域図」参照）

ランク		A	B
管理目標		【広場として管理する芝生地】 広場や施設まわり等のうち、芝生の縁が一景観構成要素となるため良好に管理すべき芝生地。	【その他の芝生地】 単一草種を維持する最低限の管理を行う芝生地。
管理水準	刈込高さ	３ｃm程度	３ｃm程度
	雑草混入度	一部混入容認	混入容認
標準年間実施回数	芝刈	５～３回	３回
対象地	堀金・穂高地区	【田園文化ゾーン】 段々原っぱ、野原、見晴らしの丘、吊橋前広場、竜の広場周辺 【里山文化ゾーン】 芝生広場、展望広場	左記以外の区域の芝生地
	大町・松川地区	【林間レクリエーションゾーン】 アルプス大草原、アルプス広場、あづみの苑地	左記以外の区域の芝生地

※芝刈工以外の項目については、必要に応じて業務責任者が判断し、適宜行うものとする。

第１１条 芝刈工

1．芝生地内にある石、空き缶等障害物はあらかじめ取り除くこと。
2．芝生地内にある樹木、草花、施設等を損傷しないように注意し、刈むら、刈残しのないよう均一に刈込むこと。
3．刈込み高は管理水準を目安とするが、大幅に変更する場合は、調査職員と協議すること。
4．縁切りは、寄せ植え、施設等にほふく茎が侵入しないよう、寄植類にあたっては、樹冠の垂直投影線より 10㎝ 程度外側で垂直に切り込み、せん除すること。
5．刈り取った芝は、調査職員の指示する場所に運搬・堆積するとともに、刈り跡はきれいに清掃すること。
6．芝刈り回数及び頻度については、芝草の生育状況を確認した上で適切かつ効率的な数量を設定し、作業にあたること。

第１２条 芝生地除草工

1．芝生をいためないよう、除草器具等を用いて、根より丁寧に抜き取ること。
2．抜き取った雑草は収集し、調査職員の指示する箇所に運搬・堆積するとともに、除草跡はきれいに清掃すること。
3．除根後に穴を生じた場合は、必要に応じて目土（目砂）の充填を行うこと。

第１３条 芝生施肥工

1．施肥量を芝生面にむらのないよう均一に散布すること。施肥量については過去の実績を踏まえ業務責任者が判断して行うこと。
2．施肥を施す場合は、原則として降雨直後等で葉面がぬれているときは行わないこと。
3．施肥の時期及び回数については、芝草の生育状況を確認すると共に、芝生の利用状況予測を考慮して適切かつ効率的な時期を設定し、作業にあたること。

第１４条 芝生目土掛工

1．目土は植物の根、ガレキ等がなく必要に応じて、ふるい分けした目土用土又は砂材を用いること。土壌改良剤及び肥料を混入する場合は、過去の実績を踏まえ、業務責任者が適切と判断した混入率となるよう入念に混合すること。
2．目土は、過去の実績を踏まえ、業務責任者が適切と判断した量をとんぼ等を用いて、むらなく均一に敷きならし、十分すり込むこと。なお、芝生面に不陸がある場合は不陸整正を勘案しながら行うこと。
3．芝草の生育適期を選んで施工し、併せて芝草の生育促進、芝生地表面の不陸整正の効果を最大限に発揮できるよう施工すること。

第１５条 芝生エアレーション工

1．芝生土壌の硬化を防止するため、エアレーション器具又は機械により土壌が膨軟となるよう効果的に行うこと。
2．施工区域の設定、穴及びカッティングの深さ、間隔等は業務責任者の判断によること。

第１６条 芝生雑工・芝生巡回工

1．芝生雑工は、通常の作業とは異なる雑作業。サッチ等除去、工作物及び花壇設置に伴う芝剥作業、部分的なエアレーション作業等を実施するものとすること。
2．芝生巡回工は、芝生地を巡回し、軽徹な除草及び灌水、小石等の除去、擦り切れ箇所の養生、くぼみや穴、モグラ塚の除去等の軽微な補修等の管理を行うこと。
3．芝生補植の場合は、張替え箇所を大きめに形を整えて切り取り、深さ 15㎝ 程度まで床土を交換又は耕耘したうえ、沈下防止のためよく転圧し、表面排水できるよう不陸整正を行うものとする。
4．張芝は、周縁と同じ高さとなるよう調整し、転圧し、目土を施し、必要に応じて適宜施肥、灌水するものとする。
5．播種は、施工箇所を刈取・集草し、土壌改良材を散布の後、種子を散布の後、種子を均等に播き付けるものとする。その後、目土散布を行ったのち、速やかに灌水を行う。

第３章 中低木管理

第１７条 管理水準

以下に示す管理水準を満たす中低木管理を行うこと。（別添－34「中低木管理区域図」参照）

ランク		鑑賞	遮へい・境界
管理目標		【花や実を観賞する低木】 公園利用者の鑑賞の対象となる花や実を付ける樹木で、景観構成要素となっている中低木。	【境界植栽（花や実を鑑賞しないもの）】 他の植栽を補完する目的で植えられた中間植栽としての役割や、園路や広場等の境界植栽としての役割を持つ中低木。
管理水準		樹木の良好な生育を維持し、周辺と調和した景観形成のために整姿剪定を行う。	枝の張り出し防止のため、年間の伸張を考慮して剪定を行う。枯損枝、支障枝は除去する。
標準年間実施回数	刈込・人力	１回 （花芽の形成時期に留意する。）	１～０回

※中低木剪定工以外の項目については、必要に応じて業務責任者が判断し、適宜行うものとする。

第１８条 中低木剪定工

１．一般事項

１）枝の密生した箇所は中すかしを行い、刈地原形を十分考慮しつつ、樹冠局縁の小枝を輪郭線を作りながら刈込むこと。

２）裾枝の重要なものは、上枝を強く、下枝を弱く刈込むこと。

３）花木類を刈込む場合は、花芽の分化時期と養生位置に注意し、次期開花に影響を与えないこと。

４）数年の期間をおいて刈込みを実施する場合は、第１回の刈込みの際に一度に刈込まず、数回の刈込みを通して徐々に刈地原形に仕立てていくこと。

５）刈り取った枝葉は収集し、調査職員の指示する場所に運搬・堆積するとともに、枝葉が樹冠内に残らないようにきれいに取り去り、刈込んだ樹木、寄植等の周辺はきれいに清掃すること。

６）剪定にあたっては、樹木単体だけでなく、公園として望ましい植栽景観づくりを視野に入れて、望ましい樹形の確保に努めること。

７）公園の景観維持及び樹木の生育等に支障があり、剪定だけでなく伐採の必要が生じた場合には、調査職員に報告すること。

２．寄植剪定

１）各樹種の生育状態に応じ、刈地原形を十分考慮しつつ刈込むこと。

２）刈り取った枝葉が樹冠内等に残らないよう速やかに処理するとともに、寄植の周辺をきれいに清掃すること。

３．生垣剪定(機械・人力)

１）枯枝、徒長枝等を剪定し、枝の整理を行った後、一定の幅を定めて、両面を刈込み、天端をそろえること。

２）枝葉の空いた部分には、必要に応じて、枝葉の疎密をなくすよう、枝の誘引を行うこと。枝の結束には、しゅろ縄を用いること。

第１９条 中低木地除草工

１．抜根除草

１）既存植物をいためないよう除草器具等を用いて根ごと取り除くこと。

２）抜き取った雑草は、収集し、調査職員の指定する箇所に運搬・堆積するとともに、除草跡はきれいに清掃すること。

２．人力除草

１）既存植物をいためないよう鎌等を用いて根際より刈り取ること。

２）抜き取った雑草は、収集し、調査職員の指示する箇所に運搬・堆積するとともに、除草跡はきれいに清掃する。

第２０条 中低木施肥工

１．一般事項

１）肥料の種類、施肥の方法（寒肥、追肥等）及び各樹木の特性に応じて、もっとも効果が期待できるよう、施肥量については過去の実績を踏まえて業務責任者が判断して行うこと。（別紙―42「肥料、土壌改良材リスト」参照）

２）溝及び縦穴の掘削に際しては、樹根に損傷を与えないよう注意すること。

２．生垣の場合、寒肥は縦穴、追肥は溝を掘り、肥料を入れ覆土すること。

３．１本立ち及び小規模な寄植えの場合、輪肥・壺肥を主体とすること。

第２１条 中低木雑工・中低木巡回工

１．中低木雑工は通常の作業とは異なる雑作業（ロープ柵設置、撤去作業、生垣補修等）を行うものとする。

２．低木植栽地を観察し、軽微な除草及び潅水。花がら取り、害虫の捕殺駆除作業、支障・枯れ枝等の除去を行うこと。

３．実のなる木については、野生動物（クマ、サル）を誘引する可能性があることから、巡回時に野生動物の形跡を確認するとともに、近づいている形跡が認められる場合は、実を駆除する等の対策を講じること。

４．剪定防除

１）アメリカシロヒトリ、チャドクガ等の幼令期に枝葉に集団で生活している虫の場合は、この部分の枝葉を幼虫が落下しないよう注意深く切り取り、調査職員の指定する場所に集め、速やかに焼却処分あるいは土中に埋める。

２）剪定方法は、中低木剪定工に準ずる。

５．薬剤散布

１）病虫害が発生した場合には、誘殺・塗布等散布以外の方法を検討し、やむを得ず散布する場合であっても、農薬取締法等の農薬関連法規や都道府県の定める農薬安全使用指導指針等、及びメーカー等で定めている使用安全基準、使用方法を遵守し、人や生き物の安全確保及び対象樹木の薬害に十分注意し、最小限の区域における農薬散布に留める。

２）病虫害の発生に備え、予防的な散布を要すると判断した場合についても速やかに調査職員と協議の上、適切な処置を講ずる。

３）散布方法は、調査職員と協議の上、それぞれの病害虫の特性に応じてもっとも効果的な方法で

行う。

4）散布日は、調査職員と協議の上、風、日照、降雨等の天候条件を考慮し実施するが、開園時間内には、散布は実施しない。

5）散布量は指定の濃度に正確に希釈混合したものを、病虫被害部分部を中心にむらなく散布する。

6）散布に際しては、風上に背を向けて風下から散布する。また、公園利用者をはじめ周囲の対象植物以外のものにかからないよう、十分注意して行う。

7）散布作業は、人体への影響を十分配慮し、ゴム手袋、マスク、帽子、メガネ、被服等完全なものを着用する。

8）事業者は、履行期間中に行う可能性がある薬剤散布について、事前に1）～7）の事項を調査職員と協議することができる。調査職員が承諾した範囲内で薬剤散布を行う場合は、2）～4）中の「調査職員と協議」は「調査職員に事前に提出」に読み替えるものとする。

6．中低木マルチング工

マルチング材積込はトラクタショベル及びダンプトラックを使用し、敷き均しは人力にてマルチング厚5㎝を標準に行うものとすること。

7．中低木移植工

1）樹種特性を把握し、適期に適当な鉢の大きさで掘取りをすること。

2）根が乾燥しないように養生し、枝葉を痛めないように植栽場所まで運搬すること。

3）十分な植穴を掘削し、植付けること。

4）土が根に密着するように、水極めを行い、整地すること。

8．中低木補植工

1）植え穴は樹木の根鉢に応じて余裕のある大きさに掘り、不良土等生育に有害なものを取り除くこと。

2）埋め戻し土には、土壌改良材を施用し、よく攪拌して行うものとすること。

3）土が根に密着するように、水極めを行い、整地すること。

9．ハギ刈り

ハギの刈取りを行う際は、樹木、株物、柵等を損傷しないよう注意し、刈残しのないようにし、刈りくずは収集し、必要に応じて指定の箇所に運搬・堆積する。

第４章 高木管理

第２２条 管理水準

以下に示す管理水準を満たす高木管理を行うこと。（別添－35「高木管理区域図」参照）

ランク		鑑賞	遮へい・境界
管理目標		【修景要素の高い高木】 配植や樹種、樹形等から修景要素が高く、景観構成要素となっている高木。	【境界植栽（修景要素の低い高木）】 園路や広場、敷地の境界、遮へいとなる植栽としての役割を持つ高木。
管理水準		抑制管理を中心とし、きめ細かい管理を実施する。	自然成長を前提としつつ、枯損枝、支障枝は除去する保護的な管理を実施する。
標準年間実施回数	弱剪定	適宜	適宜
	強剪定	適宜	適宜

※高木管理については、必要に応じて業務責任者が判断し、適宜行うものとする。

第２３条 高木剪定工

１．一般事項

１）樹形の骨格づくり、樹形の整形、混み過ぎによる病害虫及び枯損枝の発生防止等を目的として、枝おろし、枝すかし、ふところすかし、切詰め、枝抜き、切返し、枝はさみ、枝うち、枝かき等の剪定方法を、樹種、形状及び選定の種類に応じてもっとも適切な方法により行うこと。

２）樹姿及び樹形の仕立て方は、特に修景上、規格形にする必要がある場合を除き、自然形に仕立てること。

３）剪定に当たっては、下枝の枯死を防ぐために原則として上方を強く、下方は弱く、また、南側等の樹勢の強い部分は強く、北側等樹勢の弱い部分は弱く剪定すること。

４）不定芽の発生原因となる「ぶつ切り」は原則として行わないこと。

５）花木は花芽の分化時期と養生位置に注意して剪定し、次期開花に影響を及ばさないこと。

６）剪定した枝葉は収集し、調査職員の指示する場所に運搬・堆積するとともに樹木周辺をきれいに清掃すること。

７）剪定にあたっては、樹木単体だけでなく、公園として望ましい植栽景観づくりを視野に入れて、望ましい樹形の確保に努めること。

８）公園の景観維持及び樹木の生育等に支障があり、剪定だけでなく伐採の必要が生じた場合には、調査職員に報告すること。

９）園路沿い等の公園利用者の動線上の高木については、支障枝・枯枝等を適切に除去し、落ち枝等によるけが等ないよう努めること。

10）調査職員の指示する景観上重要な樹木については、樹形の維持及び眺望の確保に努めること。

２．弱剪定

１）弱剪定とは枯枝、平行枝、徒長枝等樹木の生育上好ましくないものを樹木本来の形、枝張りのバランス等を考慮しつつ切除することをいう。

２）主として剪定すべき枝は、①枯枝、②成長の止まった弱小の枝、③著しく病害虫におかされている枝、④通風、採光、架線、人車の通行等の障害となる枝、⑤折損によって危険をきたす恐れのある枝、⑥樹冠、樹形及び生育上不必要な枝、である

３）病害虫枝、障害枝は全体の樹形を考慮しつつ剪定すること。

4）枝、弱小枝等はその枝の付け根から少し距離をおいて切りとること。
5）園路沿い等の並木については特に高さ、葉張り、下枝高さ等の樹形の統一を図りつつ剪定すること。

3．強剪定

1）強剪定とは弱剪定に加えて、樹形の整姿を目的として主枝及び主枝に準ずる枝の切除を行うことをいう。
2）芯は原則として止めない。やむを得ず摘芯する場合は、これに代わる別の芯を仕立てる。
3）古枝の先端部が大きなこぶとなっているもの、また割れ、腐れ等がある場合は、古枝の途中に良い方向の新生枝を見つけ、その部分から先端部を切り取り、若い枝と切返すものとする。

第２４条 ヤゴ取り工

ヤゴ取りは、やご（ひこばえ)、幹ぶき（胴ぶき）を剪定鋏、鋸等で剪定すること。

第２５条 高木施肥工

1．輪肥、車肥、壺肥を中心とし、肥料の種類、施肥の方法（寒肥、追肥等）及び各樹木の特性に応じて、もっとも効果が期待できるよう、施肥量については過去の実績を踏まえて業務責任者が判断して行うこと。（別紙－42「肥料、土壌改良材リスト」参照）
2．溝及び縦穴の掘削に際しては、樹根に損傷を与えないよう注意すること。

第２６条 高木支柱工

1．樹木の生育状況を常に観察し、樹木への食い込みや、支柱の劣化状況を判断し、ゆるみのないよう適切に作業を行うこと。
2．再結束の際に発生した古い杉皮やしゅろ縄等は、指定箇所にそれぞれ運搬・集積すること。
3．活着の状態が良く、支柱を外すことが可能と判断される場合は、調査職員に協議の上、作業を行う。取りはずした支柱材料については、指定箇所に運搬・集積すること。

第２７条 高木枯損木処理工

1．公園内の景観維持や倒木等による不測の事態から公園利用者に対する安全を確保するため、公園内を観察し、枯損木を発見し処分を行うこと。
2．伐採した樹木の幹及び枝葉は指定箇所に運搬・集積すること。

第２８条 高木補植工

1．植穴は樹木の鉢径に応じて余裕のある大きさに掘り、不良土、がれき等生育に有害なものを取り除いて行うこと。
2．埋め戻し土には、土壌改良材を施用し、よく攪拌して行うこと。
3．土が根に密着するように、水極めを行い、整地すること。
4．植栽後の養生として、必要に応じ支柱材の設置を行うこと。

第２９条 高木雑工・高木巡回工

1．高木雑工は、通常の作業とは異なる雑作業（倒木復旧、倒木撤去、枯枝・支障枝撤去、樹勢回復、

土壌改良等）を行うこと。

2．高木巡回工は、高木植栽地を巡回し、軽微な灌水、クズ・カズラ等の除去、害虫の捕殺駆除、軽微な枯枝支障枝除去等の管理作業を行うこと。

3．実のなる木については、野生動物（クマ、サル）を誘引する可能性があることから、巡回時に野生動物の形跡を確認するとともに、近づいている形跡が認められる場合は、実を駆除する等の対策を講じること。

第５章 林地管理

第３０条 管理水準

以下に示す管理水準を満たす樹林地管理を行うこと。（別添－36「林地管理区域図」参照）

<table>
<tr><th colspan="2">ランク</th><th>利用林地(重点)</th><th>利用林地</th><th>保全林地</th></tr>
<tr><td colspan="2">管理目標</td><td>植栽木や流れとともに景観を演出し、林内利用が出来る明るい樹林</td><td>植栽木や流れとともに景観を演出し、林内利用が出来る明るい樹林</td><td>【保全を主とする林地】
野生生物の生息生育環境の保全に配慮し、必要最小限の管理を行う樹林</td></tr>
<tr><td colspan="2">管理水準</td><td colspan="3">園路の周辺等の利用範囲に限って、下草刈り、枯損木・支障木の伐採等の管理を行う。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">標準年間
実施回数</td><td>下草刈り</td><td>１回/年</td><td>１回/３年</td><td>適宜</td></tr>
<tr><td>間伐</td><td colspan="3">適宜
（中長期的な視点から、施工区域を分割してローテーションにより実施する。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">対象地</td><td>堀金・穂高地区</td><td>【田園文化ゾーン】
吊橋下広場、吊橋前広場、疎林広場、竜の広場、古墳の森、矢原沢の小径周辺
【電気柵の周囲】</td><td>【田園文化ゾーン】
こどもの森、冒険の森、調整池周辺、第１駐車場周辺、第２駐車場周辺
【里山文化ゾーン】
里山の森づくりエリア、里山文化再生エリア、懐かしの風景エリア</td><td>【田園文化ゾーン】
公園管理センター周辺、レストラン周辺、須砂渡口周辺</td></tr>
<tr><td>大町・松川地区</td><td>【センターゾーン】
【林間レクリエーションゾーン】
【電気柵の周囲】</td><td>【センターゾーン】
【林間レクリエーションゾーン】</td><td>【渓流レクリエーションゾーン】
全域
【保全ゾーン】
全域
【自然体験ゾーン】
全域</td></tr>
</table>

※ 下草刈りについては、必要に応じて業務責任者が判断し、適宜行うものとする。

第３１条 林地除草工

１．林地内にあるごみ、空き缶等障害物はあらかじめ取り除くこと。

２．樹木、株物、柵等を損傷しないよう注意し、刈むら、刈残しのないよう刈り取ること。

３．樹木、株物、柵等の周辺も刈残しのないよう仕上げること。また、それにからんでいるつる性の雑草もきれいに除去すること。

４．案内板、消火栓等の施設が公園利用者によく見えるよう特に注意して刈り取ること。

５．調査職員が残すよう指示した樹木、草花類は刈り取らないよう注意して作業すること。

６．刈草は、調査職員の指示する箇所に運搬集積し、速やかに処理するとともに、刈跡はきれいに清掃すること。

７．見通しの悪い林地は、野生動物（特にクマ）の行動圏となることが予想されることから、過去の出没事例を参考に、特に公園利用者が近づく可能性のある区域については、明るい林地の形成に努めるとともに、段階的な間伐、下草刈りにより、常に人の手が入っている状況を作り出すように努めること。

第３２条 林地病虫害防除工

１．本公園内でマツ類の枯れが確認された場合は、調査職員に報告し、対応を協議すること。（別紙－44「樹幹注入」参照）

第３３条 林地間伐工

１．樹林地の健全な更新等を目的とし、生育不良木等の伐採対象木については、伐採を行うこと。作業実施の際は、周囲の安全性やその他の樹木を傷つけないように細心の注意を払い、原則として地際より切除すること。

２．伐採した樹木は、枝払いし、一定の長さに切断し、指定箇所に運搬処分を行うこと。

第３４条 林地枯損木処分工

１．公園内の景観維持や倒木等による不測の事態から公園利用者に対する安全を確保するため、常に公園内を観察し、枯損木を発見し処置を行うこと。

２．修景的な影響、危険度の低い枯木に関しては、一様に伐採対象とせず多様な自然環境を創出すること。

３．伐採した樹木の幹及び枝葉については、指定箇所に運搬処分を行うものとすること。

４．降雪の後は、林内及び林縁部で倒木及び倒木の恐れのある樹木が発生することが予想されることから、巡視により公園利用者の安全に影響する可能性がある樹木については、調査職員に協議の上、速やかの伐採を行うこと。

第３５条 林地雑工・林地巡回工

１．林地雑工は、通常の作業とは異なる雑作業、枝おろし、ロープ柵設置、支障枝撤去、倒木撤去、小規模伐開等を行うこと。

２．既存樹林地を観察し、クズ、カズラ等の除去、枯枝拾い・除去、小規模な人力草刈等の管理作業を行うこと。

３．猛禽類の営巣・繁殖時期においては、その状況に注意しながら巡回を行うともに、その形跡が確認された場合は、別添－43「国営アルプスあづみの公園における猛禽類保護のための配慮指針（抄)」を参照し、営巣地周辺での間伐等の作業を控えること。

第３６条 大規模な修繕工等

自然災害等で発生した大規模な処分工（100 万円以上）は関東地方整備局が行うので、詳細は調査職員との協議によるものとする。

第６章 草地管理

第３７条 管理水準

堀金・穂高地区里山文化ゾーンの草地環境を対象に、マニュアルに基づき、適切に管理を行うこと。（別添－38「草地管理区域図」、別添－40「国営アルプスあづみの公園 堀金・穂高地区 第３期地区野草育成管理マニュアル（抄）」参照）

第３８条 草地除草工

１．草地内にあるゴミ、空き缶等障害物はあらかじめ取り除くこと。
２．別添－42「貴重種一覧」に記載した種は刈り取らないこと。
３．貴重種保全を主とする草地では、あらかじめ貴重種の分布を確認し把握すると共に、刈り取りの際にも個体がないか注意をすること。
４．貴重種の確認された付近は、手刈りによる除草を行うこと。
５．刈草は収集し、調査職員の指定する場所に運搬・堆積するとともに、刈り跡はきれいに清掃すること。

第３９条 草地耕耘工

１．古株雑草等は根より掘り起こし、土を払った後、指定箇所に運搬処理すること。
２．床面をトラクター等の機械により 30㎝ 程度まで掘り起こし、よく反転した後、大きいゴロ土やゴミを取り除き、凹凸のないよう一様にならすこと。

第４０条 草地火入れ工

１．堀金・穂高地区里山文化ゾーンに生息する希少種オオルリシジミ保護のため、サンクチュアリにおいて野焼きを実施すること。
２．野焼きを実施する際は、防火体制を整え、実施日時、実施範囲及び実施体制を記載した作業計画を調査職員に提出し、作業時は延焼防止に努めること。

第７章 草花管理

第４１条 管理水準

１．以下に示す管理水準を満たす草花管理を行うこと。（別添－37「草花管理区域図（花畑管理・草花管理・花壇管理）」参照） なお、草花管理においては、行催事の開催時期等に十分留意すること。

区分	対象エリア名称		目的・目標	管理水準
花畑	堀金・穂高地区	【里山文化ゾーン】 ・棚田エリア ・懐かしの風景エリア	田園景観と調和する花畑の景観を創出する。	旧耕作地を活用し、耕耘、播種、除草を効率的に行い、適期に開花期間を維持する。
	大町・松川地区	【林間ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝｿﾞｰﾝ】 ・ﾚｷ原の花畑（ｱﾙﾌﾟｽ大草原）	季節に応じた良好な開花ローテーションを持続する。	除草や施肥、補植等の管理作業を実施し、常に良好な状態を維持する。
草花	堀金・穂高地区	【田園文化ゾーン】 野原・段々原っぱ、池・流れ周辺、段々花畑	当地域の季節の花々が見られるよう、常に良好な状態を維持する。	入口付近において常に美しい花が観賞できるよう維持する。
	大町・松川地区	【林間ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝｿﾞｰﾝ】 あづみの苑地		
花壇	堀金・穂高地区	【田園文化ゾーン】 ガイドセンター周辺（コンテナ花壇）、見晴らしの丘	草花の特性を熟知した上で、管理履歴を集積しながら、補植、株分け等を実施	定期的な植替えはもとより、除草、消毒、花がら摘み等、きめ細やかな管理を行う。
	大町・松川地区	【センターゾーン】 入り口広場		

２．主な施設（エリア）における草花材料の選定の基本的考え方は以下のとおりとすること。

１）堀金・穂高地区

① 段々花畑

常念岳を背景に安曇野の景色を彩る四季折々の美しい草花が楽しめるよう、地域在来の草花を用いた修景を行う。

② 野原・段々原っぱ

園路周辺、芝生法面等を活用し、比較的大規模な花修景を、春（ゴールデンウィーク前後）及び秋（９～10 月）に見頃を迎える草花を用いた修景を行う。園芸種を用いることも可とするが、周辺地域での比較的大規模な花修景事例を踏まえて種類を選定することとし、１～２種類とすることが望ましい。

③ 池・流れ周辺

水辺を好む在来の草花の選定に努めること。また、現在、オオルリシジミの食草であるクララが池周辺に植栽されており、その保全・増殖に努めること。

④ 見晴らしの丘

比較的大規模な花修景を、春（ゴールデンウィーク前後）及び秋（９～10 月）に見頃を迎える草花を用いた修景を行う。まとまった面積での修景が可能であり、本公園及び地域の特色が醸し出される草花の選定を行うよう努めること。

⑤ 棚田エリア

棚田（旧耕作地）を活用し、田園景観との調和に配慮しつつ比較的大規模な花修景を春～秋に行うこととし、田園景観と調和するレンゲ、ナノハナ、ヒマワリ、ソバ、コスモス等を選

定し、植栽すること。

⑥ 懐かしの風景エリア

旧耕作地を活用し、安曇野の田園景観の維持、再現の観点から、レンゲ、ナノハナ、ヒマワリ、コスモス等当地域の田園景観に調和する種類による花修景を春～秋にかけて行うこと。また、当該地域には貴重種が多数存在することから、それらの保護・育成拡大に努める。（別添－42「貴重種一覧」参照）

2）大町・松川地区

① あづみの苑地

高山性の草花を含めた当地域に生息する草花を選定する。

② レキ原の花畑

比較的大規模な花修景を、春～秋に見頃を迎える草花を用いた修景を行う。まとまった面積での修景が可能であり、本公園及び地域の特色が醸し出される草花の選定を行うよう努めること。

第４２条 草花材料一般

1．花苗は発育良好で病害虫に侵されていないものとし、あらかじめ植え出しに耐えるよう栽培され、細根の多く発生している徒長していない均一な型姿のものを使用すること。

2．球根はよく充実し、傷がなく、病害虫に侵されていないものとすること。

第４３条 草花耕耘工

1．古株雑草等は根より掘り起こし、土を払った後、指定場所に運搬処理すること。

2．草花面は床土をシャベル等により 20～30㎝ 程度まで掘り起こし、よく反転した後、大きいゴロ土やゴミを取り除き、凸凹のないよう一様にならすこと。

第４４条 草花植栽工

1．前花の撤去は根に付着した土を除き、抜根除去を行うこと。

2．抜き取った草花は、指示箇所に運搬、処分を行うこと。

3．植付け前には、地拵え（簡易な土壌改良、元肥、耕耘等）、花苗配植を行い植えつけること。

4．植付け後は十分な潅水をすること。

第４５条 草花除草工

1．人力による抜根除草とする。

2．抜き取った雑草は収集し、調査職員の指示する場所に運搬・堆積するとともに、除草後はきれいに清掃する。

3．根に付着した土を除いた後収集し、調査職員の指示する場所に運搬・堆積するものとする。

第４６条 草花刈払工

1．肩掛け式刈払機により、地上高さ３㎝程度に刈り取りを行うものとし、刈り取った茎葉は、指定箇所に運搬処分を行うこと。

2．既存の草花に留意して選択的に刈払うこと。

第４７条 草花施肥工

１．元肥は、過去の実績を踏まえ、業務責任者が適切と判断した施肥量を均一にまき、くわ、シャベル等により床上の中によくすき込むこと。

２．追肥は肥料の種類及び植物の生育状況に応じ、業務責任者の判断により、もっとも効果的な方法により行うこと。（別紙－42「肥料、土壌改良材リスト」参照）

第４８条 草花防除工

草花病虫害防除工は、中低木防除工（薬剤散布）に準ずる。

第４９条 草花雑工・草花巡回工

１．草花雑工は、通常の作業とは異なる雑作業（チップ敷き均し、耕耘、育苗、堀上げ、スプリンクラー設置・撤去プランター設置・撤去・移動、株分け、マルチング等）を行うこと。

２．草花巡回工は、草花植栽地を巡回し、軽微な潅水、花がら摘み、ピンチ、摘心、誘引、採種、育苗等の管理をきめ細やかに管理作業を行うこと。

第８章 特殊管理

第５０条 対象

本章は、耕作地管理工、特殊庭園工について、適用する。（別添－39「特殊管理区域図」参照）

また、耕作地内では、レンゲ、ナノハナ等の栽培も行うこと。

第５１条 耕作地管理工

１．管理水準

堀金・穂高地区里山文化ゾーンの旧耕作地を対象に、以下に示す管理水準を満たす耕作地管理を行うこと。なお、耕作地管理においては、行催事の開催時期等に十分留意すること。

２．畑

１）農作物材料一般

① 播種栽培に用いる種は病害虫に侵されていない、有効期限内のものとすること。

② 苗は発育良好で病害虫に侵されていないものとし、あらかじめ植え出しに耐えるよう育苗された苗を使用すること。

２）畑地耕耘工

① 播種前に土壌の団粒化・乾土効果の促進、雑草防除のため、よく耕耘を行うこと。

３）畑地作付け工

① 収穫後の撤去は根に付着した土を除き、抜根除去を行うこと。

② 抜き取った作物は、指示箇所に運搬、処分を行うこと。

③ 植付け前には、地拵え（簡易な土壌改良、元肥、耕耘等）を行い植えつけること。

④ 植付け後は十分な潅水をすること。

４）畑地施肥工

① 元肥は、作物の播種前に行うこと。

② 追肥は肥料の種類及び植物の生育状況に応じ、業務責任者の判断により行うこと。

５）畑地水管理

① 排水溝設置：耕作及び整地後、ほ場が過湿による根腐れを起こし、生育と収量に影響を及ぶことを防ぐため、降雨後の場合においても速やかに表層水を排水できるように明渠を掘ること。

② 排水溝補修：明渠が埋まり、排水状況が悪い場合は、再度明渠を掘りなおし、生育環境を維持すること。

６）病害虫防除工

① 病害虫が発生した場合、業務責任者の判断により必要があれば、薬剤を散布すること。

② 連作障害を避けるため、輪作等の対策を適宜行うこと。

７）収穫

刈り取り後は、速やかに乾燥させること。また、体験プログラム等で利用すること。

８）畑地雑工・畑地巡回工

① 畑地雑工は、通常の作業とは異なる雑作業（チップ敷き均し、耕耘、育苗、堀上げ、スプリンクラー設置・撤去プランター設置・撤去・移動、株分け、マルチング等）を行うこと。

② 畑地巡回工は、農園を巡回し、軽微な潅水、花がら摘み、ピンチ、摘心、誘引、採種、育苗、野生動物による食害対策等の管理をきめ細やかに行うこと。

３．水田

１）農作物材料一般

① 育苗に用いる種籾は病害虫に侵されていないものとすること。

② 苗は発育良好で病害虫に侵されていないものとし、あらかじめ植え出しに耐えるよう育苗された苗を使用すること。

２）水田耕耘工

① 土壌の団粒化の促進や乾土効果を促すため、田起こしを行うこと。

② 苗の作付前に、水田に水を入れて代かきを行うこと。

③ 収穫が終わったあと、土壌の団粒化の促進や乾土効果を促すため、荒起こしを行うこと。

３）水田作付け工

① 作付は、作物の特性に応じた方法、密度により行うこと。

４）水田除草工

① イネの生育に支障がないように、水田内の雑草の除草を行うこと。

５）水田施肥工

① 元肥、追肥、穂肥は肥料の種類及び植物の生育状況に応じて、業務責任者の判断により、もっとも効果的な方法により行うこと。

６）水田水管理

① 田植え後、大雨による増水や、渇水による減水に対して、苗の成長に適した水位を保つこと。

② 根からの酸素補給や過剰な茎数分げつの抑制を行うため、田植えから１カ月程度後に、田んぼに溝を切り、田んぼの水を抜いて、中干を行うこと。

③ 水管理に伴う水利組合との調整を図ること。

④ 園内に存在するため池の水利用を行うこと。

７）病害虫防除工

害虫駆除を行うため、適宜畦草刈りを行うこと。

８） 収穫

① 刈取した稲は、脱穀し、乾燥調製させ、籾すりにより玄米として、品質劣化を防ぐため、適切な温度の下貯蔵すること。また、体験プログラム等で利用すること。

② 刈った藁は、次年度の水田の堆肥として使用するため、所定の場所に積置きすること。

９）水田雑工・水田巡回工

① 野生動物による食害対策等の管理を行うこと。

第５２条 特殊庭園工

１．管理水準

あづみの学校周りの植栽について、教育的目的及び自生動植物の適切な保全・利用が可能な品質を確保すること。

２．管理内容

１）あづみの学校周りにおける、理科教室展示植栽、社会科教室展示植栽、森の庭流れ等において現況の植栽景観を維持する管理作業を行うこと。（別添－39「特殊管理区域図」参照）

２）理科教室展示植栽、社会科教室展示植栽、森の庭流れ等の簡易な巡回作業を行うこと。

別紙－９

H31-35 国営アルプスあづみの公園
収益施設等設置管理運営規定書
（案）

平成 31 年 7 月

目次

はじめに

第１編　国営アルプスあづみの公園収益施設等設置管理運営共通規定書

第１章　総則 …… 1

第２章　マネジメント（運営管理） …… 15

第３章　ホスピタリティ（施設利用者対応） …… 20

第４章　安全衛生管理 …… 22

第５章　施設管理 …… 28

第６章　財産管理 …… 30

第２編　国営アルプスあづみの公園収益施設等設置管理運営個別規定書

第１章　飲食・物販施設 …… 32

第２章　自動販売機 …… 37

第３章　自主事業における行催事等 …… 40

はじめに

本規定書は、国営アルプスあづみの公園（以下、「本公園」という。）の一元的な運営維持管理を進めるに当たり必要な公園利用者サービス向上のための収益施設である飲食・物販施設、自動販売機の設置管理運営業務及び自主事業において、遵守すべき法令類や規範等の基本事項を取り纏めたものである。

本公園の運営維持管理業務を実施する事業者が独立採算で行う収益施設等設置管理運営業務の指針として、また許可申請時における管理運営要領の作成に際して、本規定書を参考にされたい。

第１編　国営アルプスあづみの公園収益施設等設置管理運営共通規定書

第１章 総則

第１条 履行場所及び履行期限

１．履行場所

施設名称　　国営アルプスあづみの公園

所在地　　(堀金・穂高地区)　長野県安曇野市堀金烏川 33-４

(大町・松川地区)　長野県大町市常盤 7791-４

供用面積　(堀金・穂高地区)　　約 100ha

(大町・松川地区)　　約 253ha

合計　約 353ha

注）本業務の対象敷地は国営アルプスあづみの公園（以下「本公園」という。）の供用区域である。

※別添－45「収益施設管理運営対象区域図」を参照すること。

うち収益施設許可面積　609.58㎡（自動販売機を除く）

■対象となる収益施設

地区	区分	施設名称	運営施設規模	施設構造
堀金･穂高地区	飲食施設	レストラン	管理運営面積：　278.3 ㎡	木造
	物販施設	ガイドセンター売店	管理運営面積：　63.98 ㎡	木造
	自動販売機	自動販売機（注）	台数：　16 台 設置面積：　24.48 ㎡	
大町･松川地区	飲食施設	レストラン	管理運営面積：　217.3 ㎡	木造
	物販施設	インフォメーションセンター売店	延床面積：　50 ㎡	木造
	自動販売機	自動販売機（注）	台数：　10 台 設置面積：　15.3 ㎡	

※飲食･物販施設については全て裁量施設とし、本公園の開園日時内で運営日時等を設定できる。ただし、当該施設の運営を行わない期間においても、第 14 条に定める当該施設に係る施設使用料を納める必要がある。

※自動販売機については全て裁量施設とする。自動販売機の台数及び設置面積は、平成 30 年度末現在のものであり、レストラン及び売店内（都市公園法第５条の設置管理許可区域内）の設置台数は含まれない。平成 31 年度～平成 35 年度（平成 35 年１月まで）の期間における設置台数については、調査職員と協議の上決定する。

２．履行期限

管理運営期間は、平成 31 年２月１日から平成 35 年１月 31 日までとするが、収益施設の現任施設等運営者あるいは収益施設の次期施設等運営者への引継ぎに際し、期間を変更することがある。ただし、期間の変更により発生する売上額の減少等損失について、関東地方整備局は補償しない。また、利用者の利便性の確保及び公園全体のマネジメントの観点から、期間変更時に収益施設の現任施設等運営者あるいは収益施設の次期現任施設等運営者の指示を受けることがある。

施設等運営者は、収益施設等設置管理運営業務（以下「本業務」という。）が適正かつ円滑に実施できるよう収益施設の現任施設等運営者から業務開始日までに必要な引継ぎを受け、開業に備えなければならない。

第２条 基本事項

本公園の一元的な運営維持管理を進めるに当たり必要な公園利用者サービス向上のための収益施設である飲食・物販施設（自動販売機を含む）の管理運営業務及び自主事業（独立採算により実施する繁忙期における臨時の飲食・物販施設、通年での飲食・物販施設及び行催事）からなる本業務は、都市公園法第５条、第６条又は第 12 条の手続きを行った上で実施しなければならない。

第３条 本業務の目的

１．本業務は、本公園内に設定された許可区域内の収益施設の管理運営を行うこと、また、公園の利便性や魅力をより一層高めるため、独立採算により行う行催事や繁忙期における臨時物販施設、通年での飲食・物販施設等の自主事業を行うことを目的とする。なお、本業務の実施に際して施設等運営者は、以下に掲げる本公園の設置目的や基本テーマ、運営維持管理基本方針、本公園全体のゾーン構成を十分に理解した上で、本公園内で実施される他の維持管理業務と連携しながら、創意工夫やノウハウを積極的に発揮し、公園利用者及び施設利用者が求める多様なニーズに対して質の高いサービスの提供で応えることで、本業務の遂行に努めなければならない。

本公園の設置目的、基本テーマ、基本方針、公園全体のゾーン構成

１）基本理念

「自然と文化に抱かれた豊かな自由時間活動の実現－自然の中で感性を育む遊・創・空間－」

２）運営維持管理基本方針

① 多様な体験・交流と美しい風景による魅力創出と効果的な発信
② 地域の歴史・文化と生物多様性の保全に配慮した維持管理
③ 公園施設長寿命化計画等に基づく確実な改善
④ 多様な主体との連携と効率的な運営
⑤ 地域活性化をもたらす体験交流の取り組みの強化

第４条 用語の定義

本規定書にて使用する用語の定義は、次の各号に定めるところによる。

１.「関東地方整備局」とは、国営公園の公園管理者であり、H31-35 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務の発注者のこと。

２.「収益施設」とは、公園利用者サービスの向上を図るため、事業者が実施する独立採算により管理運営を行う施設であり、その使用に当たっては、都市公園法施行令（昭和 31 年政令第 290 号）第 20 条に基づき、施設使用料又は建物使用料及び土地使用料を納めることが必要となる場合がある。

３.「自主事業」とは、公園の利便性や魅力をより一層高めるため、関東地方整備局と事前に協議し、都市公園法（昭和 31 年法律第 79 号）第５条、第６条又は第 12 条に基づく許可を受けた上で、事業者の提案により土地使用料等を納めて独立採算により繁忙期における臨時の飲食・物販施設、通年での飲食・物販施設の設置運営、関東地方整備局が指定する既存収益施設の改修運営や行催事（広報を含む）を行う事業のこと。なお、利用者サービスの向上のため本公園の基本計画等との整合が図られ、かつ優良な投資を伴う提案に限っては、本業務の実施期間を超えて 10 年間を限度として、飲食物販施設を新設、又は指定する施設を改修し、管理運営することができる。この場合、実施期間終了後（継続して契約した場合は除く）は自主事業ではなくなるが、都市公園法第５条の許可に基づき実施できるものであり、公園管理者が承認した場合は、許可期間終了後の許可の更新も可能である。

４.「施設等運営者」とは、収益施設の管理運営及び自主事業に関する許可を受けた事業者のこと。

５.「調査職員」とは、本規定書に定められた範囲内において、施設等運営者に対する指示、承諾又は協議等の職務を行う委託者が指定する職員で、総括調査員、主任調査員及び調査員の総称のこと。

６.「維持管理業務受託者」とは、H31-35 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務を受託した事業者のこと。

７.「収益施設等設置管理運営業務責任者」とは、施設等運営者として本規定書第２編国営アルプスあづみの公園収益施設等設置管理運営個別規定書に記載されている本業務全体を監理する者のこと。

８.「施設担当責任者」とは、施設等運営者として各収益施設を個別に監理する者であり、主に各収益施設の利用指導や事故報告等を担当する業務従事者のこと。

９.「公園利用者」とは、有料区域・無料区域を問わず、公園を利用する者のこと。

10.「施設利用者」とは、収益施設を利用する者のこと。

11.「許可区域」とは、本業務の管理運営を許可された範囲内のこと。

12.「管理施設」とは、許可区域内にある建築躯体及び建築設備等施設のこと。

13.「裁量施設」とは、公園の開園日時内で運営日時を事業者が設定し営業する施設のこと。

14.「管理備品」とは、本業務の実施に必要な機器備品類で、あらかじめ許可区域内若しくは建築施設内に設置されているもののこと。

15.「特定備品」とは、本業務の実施に必要な厨房器具、什器及び運営に必要な設備等機器備品類で、施設等運営者が持ち込んだもののこと。

16.「指示」とは、本規定書の定めに基づき、関東地方整備局が施設等運営者に対し、本業務の実施上必要な事項について書面をもって示し、実施させること。また、関東地方整備局長が維持管理業務受託者に対し、業務の適切かつ確実な実施を確保するために必要があると認められるときに、競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成 18 年法律第 51 号）第 27 条第 1 項に基づき、必要な措置をとらせること。
17.「承諾」とは、施設等運営者が関東地方整備局に対し、書面で申し出た業務の遂行上必要な事項について、関東地方整備局が書面により同意すること。
18.「協議」とは、本規定書の協議事項及び関東地方整備局が指示する事項について、関東地方整備局と施設等運営者が対等の立場で合議すること。
19.「確認」とは、本規定書に示された事項について、臨場若しくは関係資料によりその内容について本規定書との適合を判断すること。
20.「提出」とは、施設等運営者が関東地方整備局に対し、業務に係わる事項について書面又はその他の資料を説明し、差し出すこと。
21.「報告」とは、施設等運営者が関東地方整備局に対し、業務の遂行に係わる事項について、書面をもって知らせること。
22.「書面」とは、手書き、印刷物等の伝達物のこと。発行年月日を記録し、署名又は捺印したものを有効とする。ただし、緊急を要する場合は、ファクシミリ又は電子メールにより伝達できるものとするが、後日有効な書面と差し替えるものとする。電子納品を行う場合は、別途調査職員と協議するものとする。
23.「利用料金」とは、収益施設の使用やそれに伴うサービスの対価として、施設利用者から徴収する料金のこと。
24.「施設使用料」とは、都市公園法施行令（昭和 31 年政令第 290 号）第 20 条に基づき、施設等運営者が関東地方整備局に納める公園の土地又は建物の使用にかかる料金のこと。
25.「建物使用料及び土地使用料」とは、本公園の土地又は建物を使用して臨時的な飲食・物販施設等を設置する場合及び自主事業として開催する行催事に必要な仮設工作物を設置する場合に、「行政財産を使用又は収益させる場合の取り扱いの基準について」（昭和 33 年蔵管第 1 号）に基づき関東地方整備局から金額を通知し、施設等運営者が関東地方整備局に納める料金のこと。
26.「修繕」とは、施設若しくは設備又は備品等の劣化した部分又は部材について、性能又は機能を原状あるいは事実上支障のない状態まで回復させること。
27.「軽微な修繕」とは、電球等の交換や壁紙の一部補修等、市販の交換品や補修材を使用して専門の業者に委託することなく対応可能な修繕行為のこと。
28.「改修」とは、施設の性能又は機能を従前より向上させる措置を行うこと。
29.「保守」とは、施設設備又は備品等の必要とする性能又は機能を維持する目的で行う消耗品又は材料の取り替え、注油、汚れ等の除去及び部品の調整等の軽微な作業を行うこと。
30.「点検」とは、施設若しくは設備又は備品等の機能及び劣化の状態を一つ一つ調べること。機能に異常又は劣化がある場合、必要に応じて対応処置を判断する事を含む。

第５条 許認可申請等

１．施設等運営者は、関東地方整備局に都市公園法第５条、第６条又は 12 条に基づく許可申請を行うものとする。基本的には、「H31-35 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務民間競争入札実施要項　４．入札に参加する者の募集に関する事項」に基づき提案される様式－３「収益施設運営計画」及び本規程書に記載されている条件によるものとする。ただし、申請された事業内容が本公園の利用にふさわしくない場合等、その実施を許可しない場合がある。その場合でも本業務が適切に実施できるよう指定された期日までに修正した上で申請すること

なお、臨時売店については、「本規定書第２編第１章第 55 条 繁忙期の対応」による設置場所、設置期間に限り、営業を許可するものとする。（別紙－47「臨時物販施設等一覧」参照）

２．間取りの変更や増築等面積の変更、建物躯体に影響を及ぼす造作等大規模な改修等、許可の変更を要する場合は、関東地方整備局と協議の上、管理許可の変更申請を行う。さらに、業務を完了する場合は廃止に係る手続きを行うものとする。

３．施設等運営者は、実施する事業に係る許認可等各種法令で必要な許可の取得や届出については、所定の期日までに施設等運営者の責任で行うものとする。また、業務を完了する場合は、廃止に係る手続きを行うものとする。

第６条 法令等の遵守

施設等運営者は、業務の履行に当たり本規定書及び関東地方整備局の指示に従うほか、法令の規定を遵守しなければならない。

第７条 準拠規定

本業務の遂行に当たっては、次の各号に掲げる基準等に準拠する。

１．都市公園法
２．建築基準法
３．景観法、屋外広告物法
４．消防法、（消防庁）
５．建築物における衛生的環境の確保に関する法律
　建築物環境衛生管理基準（厚生労働省）
６．水道法
７．電気事業法
８．高圧ガス保安法
９．ボイラー及び圧力容器安全規則
10．食品衛生法
11．官公法
12．下水道法
13．浄化槽法
14．環境基本法
15．大気汚染防止法

16. 水質汚濁防止法
17. 騒音規制法
18. 振動規制法
19. 悪臭防止法
20. 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
21. 地球温暖化対策の推進に関する法律
22. リサイクル法（容器包装リサイクル法、建設リサイクル法、食品リサイクル法）
23. エネルギー使用の合理化に関する法律
24. 建設業法
25. 労働基準法、労働安全衛生法
26. 高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律
27. 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律
28. 移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める省令
29. 移動等円滑化の促進に関する基本方針
30. 都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン
31. 公園のユニバーサルデザインマニュアル
32. 原状回復をめぐるトラブルとガイドライン（改訂版）
33. 建築保全業務共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部）
34. 個人情報の保護に関する法律
35. 遺失物法
36. 国有財産法、会計法、会計検査院法、国の債権管理等に関する法律
37. 都市公園における遊具の安全確保に関する指針（改訂版）
38. 著作権法
39. 長野県暴力団排除条例
40. 都市公園の樹木の点検・診断に関する指針（案）
41. その他、関係諸法令等

第８条 施設等運営者の義務

１．施設等運営者は、常に公園利用者及び施設利用者の安全に配慮するとともに、施設等運営者の責任において常に施設を含む周囲の観察を行い、本業務について善良なる管理者の注意をもって実施する義務を負うものとする。なお、異常を確認した場合、速やかに関東地方整備局に報告しその指示に従うものとする。

２．施設等運営者は、施設が国営公園内にあることに鑑み、その公共性に十分配慮するとともに、本公園の設置目的を踏まえて行動すること。

３．収益施設の適正な管理を保持しつつ、施設の管理運営に際して創意工夫やノウハウを積極的に発揮し、本業務の遂行に努めること。

４．施設等運営者は、関東地方整備局が行う「国営アルプスあづみの公園定例会」（月１回）に出席し、収益施設の運営状況の報告を行うこと。

５．施設等運営者は、関東地方整備局が行う安全管理行為（例：緊急安全点検、防災訓練、安

全パトロール、消防訓練等）への参加・協力・実施等、関東地方整備局の求めに応じて、積極的に協力することとする。

6．施設等運営者は、関東地方整備局が行う事業（例：公園に関する会議、監査・検査、視察、式典等）への参加・協力、行催事開催時における営業時間の変更、要人案内等、関東地方整備局や維持管理業務受託者の求めに応じて、積極的に協力することとする。

7．施設等運営者は、関東地方整備局から本公園に関する調査、又は作業の指示等があった場合には、誠実かつ積極的な対応を行うこととする。

8．管理運営要領の策定及び管理運営に際して、維持管理業務受託者と相互連携を保ち、適切に進捗管理を行いつつ実施することとする。

9．自主事業の企画・運営に当たっては、別添－４「行為の禁止等に関する取扱要領」を参考にすることとする。

10．施設等運営者は、本業務の実施に当たって、常に関東地方整備局と密接な連絡をとり、本業務の目的の達成を図るものとし、その実施状況を記録しておくこととする。

第９条 景観への配慮

施設等運営者は、収益施設の運営、特に飲食・物販施設の運営においては、施設周辺の景観を阻害することのないよう、景観への配慮に努めなければならない。

第１０条 関東地方整備局と施設等運営者の責任分担

本業務を実施するに当たり、関東地方整備局と施設等運営者の責任分担を下表「責任分担一覧」のとおりとする。ただし、「責任分担一覧」に定める事項に疑義が生じた場合、又は、「責任分担一覧」に定めのない事項については、関東地方整備局と施設等運営者の間で十分に協議の上決定するものとする。

関東地方整備局と施設等運営者の責任分担一覧

項目	内容	関東地方整備局	施設等運営者
収益業務管理	収益行為全般		○
収益施設等設置管理	供用区域内の設置管理施設、管理備品の管理		○
苦情・要望対応	施設管理運営業務内容に対する施設利用者からの苦情、訴訟、要望への対応		○
	上記以外の場合	○	
事故・災害時対応	管理運営要領に記載された業務内容による対応		○
	施設等運営者の責めに帰する事由により発生した事故責任とその対応	○※1	○
	上記２項目以外の場合	○	
運営日時の変更	施設の運営日時の変更に伴う経費の増減		○
施設・物品等の修繕	施設等運営者の責めに帰すべき事由による場合（施設等運営者による管理が不適切なために修繕が必要になった場合も含む。）		○
	収益施設の建物及び国所有園内交通施設の構造に関わる部分を除く修繕にかかる費用		○
	上記２項目以外の場合	○	
不可抗力	大規模な自然災害等の不可抗力により著しい損害を受けた場合に、施設を一時休止する等して行わなければならない施設、設備等の復旧等	○	○※2
	大規模な自然災害等に起因して施設の営業を一時休止する場合に発生する営業損失		○
公園利用者及び施設利用者への損害	施設等運営者の責めに帰すべき事由により、公園利用者及び施設利用者に損害を与えた場合（施設等運営者の不適切な施設管理による公園利用者及び施設利用者の怪我等）		○
	本規定書第 23 条の保険の付保に係る場合		○
	上記以外の場合	○	
関東地方整備局又は第三者への損害	施設等運営者の責めに帰すべき事由により、関東地方整備局又は第三者に損害を与えた場合		○
	上記以外の場合	○	
第三者との紛争	施設等運営者と第三者との間で生じた紛争の解決		○
	上記以外の場合	○	

※１　事故の処理に当たり、必要のあるときは、関東地方整備局は施設等運営者に協力する。

※２　収益施設に関する備品を対象とする。

第１１条 公租公課

１．施設等運営者は、厨房器具及び運営に必要な設備等を管理施設に新たに設置等により賦課される不動産取得税、固定資産税、都市計画税、償却資産税その他の公租公課について全て施設等運営者の負担とする。

２．施設等運営者は、地方税法第 73 条第７項（不動産取得税の納税義務者等）に定める手続き等、施設等運営者の賦課資産に係る公租公課の分離手続について関東地方整備局に協力するものとする。

第１２条 運営日時等

１．収益施設の運営日時に関しては、表２の開園期間及び時間内において、個別施設の各章で定める運営日時とすることを原則とするが、施設の特性に応じ、開園期間及び時間内において適宜設定することとし、関東地方整備局との協議の上決定するものとする。（下記を参照）。

表２　開園期間及び時間

エリア	開園期間	開園時間
供用区域	３月　１日～　６月　30 日	９:30～17:00
	７月　１日～　８月　31 日	９:30～18:00
	９月　１日～　10 月　31 日	９:30～17:00
	11 月　１日～　２月　末日	９:30～16:00

※休園日は 12 月 31 日、１月１日及び毎週月曜日（月曜日が休日の場合は直後の平日）とする。ただし、月曜日のうち、４月 27 日から５月６日、７月 20 日から８月 31 日の各期間、休日の場合及び日曜日と休日にはさまれている場合は開園日とする。

※開園日はイベント等により変更する場合がある。(別紙-20「開園時間延伸状況」参照)

※施設等運営者は、関東地方整備局からの臨時休園・時間短縮延長の通知に従うこと。

なお、以下のとおり無料入園日を設けることとし、当該年度の日付は１ヶ月前までに通知する。

・春の都市緑化推進運動　：　４月１日～６月 30 日【期間中１日】
・秋の都市緑化月間　：　10 月１日～10 月 31 日【期間中２日】
・みどりの日　：　５月４日【１日】
・敬老の日　：　９月第３月曜日【１日】
※満 65 歳以上の者のみ無料

２．関東地方整備局が、天変地異、社会的状況の著しい変化及び公園管理上の理由その他やむを得ない事由により、施設等運営者に対し一時休業若しくは営業廃止又は営業時間の変更を指示したときは、施設等運営者は異議を申し立てることはできないものとする。

３．関東地方整備局は、前項の規定により施設等運営者が一時休業若しくは営業廃止又は営業時間の変更を行ったことによる損害について、その補填の責任は負わないものとする。

４．施設等運営者の都合により施設を運営する日時等を変更する場合は、あらかじめ関東地方整備局と協議を行った上で、協議の結果を記載した文書にて関東地方整備局に申請しなければならない。

第１３条 提供品目及び利用料金

１．収益施設において提供・販売しようとする品目を定めるに当たっては公園利用者の要望等を配慮して定めること。

２．施設等運営者が、本規定書に基づき収益施設の管理運営を行うに当たっては、販売料金を施設利用者の見やすいところに表示すること。ただし、販売料金が既に販売商品等に表示

されていて、その価格が一般的に知られているものについては、この表示を省略することができる。

第１４条 国有財産の施設使用料

１．施設使用料の定めがある施設について

毎月の施設使用料については、歳入徴収官関東地方整備局総務部長が発行する納入告知書により、当月分を指定期日までに納入しなければならない。

指定期日までに施設使用料を支払わないときは、その翌日から納入の日までの日数に応じ、年５％の割合で計算した金額を延滞金として支払わなければならない。

関東地方整備局長は、経済情勢の変動その他の事情の変更に基づいて特に必要があると認める場合には、施設使用料を改定することができる。

■施設使用料（平成 30 年度参考値）

公園施設の名称	税抜き施設使用料
国営アルプスあづみの公園収益施設　1式	約 158 万円

※面積等条件の変更により金額は増減する可能性がある。

【個別施設毎の施設使用料】（平成 30 年度参考値）

地区	区分	施設名称	税抜き施設使用料
堀金･穂高地区	飲食施設	レストラン	57,000 円/月
	物販施設	ガイドセンター売店	13,000 円/月
	自動販売機	自動販売機	4,500 円/月
大町･松川地区	飲食施設	休憩棟内レストラン	44,000 円/月
	物販施設	インフォメーションセンター売店	20,500 円/月
	自動販売機	自動販売機	3,000 円/月

※施設使用料は「行政財産を使用又は収益させる場合の取扱いの基準について」（S33.１.７蔵管１号）に基づき算定し、毎年４月１日に前年次使用料との調整を行い改定する予定である。

※自動販売機は、レストラン及び売店の区域内に設置する台数を除く。

※施設使用料全体額と個別施設毎の施設使用料合計額が合致しないのは、端数調整によるものである。

※施設等運営者の企画提案等により収益施設の運営日時を変更した場合でも、施設使用料の減額は行わない

２．許可申請毎に納入すべき施設

施設等運営者は、施設使用料の定めのない土地又は建物を使用する場合は、許可申請毎に占用面積及び期間に応じ告知する建物使用料又は土地使用料を歳入徴収官関東地方整備局総務部長が発行する納入告知書により、納入告知の日から 20 日以内に納入しなければならない。期日までに建物使用料又は土地使用料を支払わないときは、その翌日から納入の日までの日数に応じ、年５％の割合で計算した金額を延滞金として支払わなければならない。

関東地方整備局長は、経済情勢の変動その他の事情の変更に基づいて特に必要のあると認める場合には、建物使用料及び土地使用料を改定することができる。

【参考：個別施設毎の建物使用料及び土地使用料について】（平成 30 年度参考値）

	公園施設	税抜き施設使用料（円／回）
1	臨時売店	（都度告知）

※平成 30 年の土地使用料は最大 7 円／年・m２、建物使用料は最大 2,439 円／年・m２であった。

※［建物の占用］及び［土地の占用で占用期間が１ヶ月を超えない場合］は、別途消費税が課される。

※建物使用料及び土地使用料は、「行政財産を使用又は収益させる場合の取扱いの基準について」（S33.１.７蔵管第１号）に基づき算定し、平成 31 年４月１日に前年次使用料との調整を行い改定する予定である。

第１５条 経費等の負担

１．施設等運営者の負担範囲

１）本業務に関わる一切の費用（営業に際し必要な許認可に関わる経費、光熱水費等）、運営に関する備品等（建物除く）の費用、許可区域に関る建物管理費（清掃費、消耗品の購入、施設の点検整備、軽微な修繕、管理備品類の修理等）及び各種保険料、さらには施設等運営者自らが設置した工作物、設備等に係る補修又は改造等に係る経費は、施設等運営者の負担とする。なお、委託費で購入した設備、備品及び消耗品等を本業務に使用することはできない。

２）施設等運営者が管理する収益施設に係る法定点検については原則施設等運営者が点検を行うものとし、国事務所が実施する法定点検との役割分担について協議の上、実施時期を国事務所に報告すること。点検結果については遅滞なく国事務所に書面により報告すること。

３）上記以外に定めのない費用については、関東地方整備局と協議を行い、協議録を保管するとともに書面をもって負担等を定めるものとする。

２．光熱水費納付

１）基本料金

基本料金については、サービス拠点施設全体の従量料金に対する収益施設の従量料金の割合により関東地方整備局が負担金額計算を行い、それに基づき施設等運営者が負担すること。

２）従量料金

水道及び電気料金については、個別にメーターを設置する等、各施設の使用料が切り分けられるようにし、その計量により負担すること。ガス、その他メーターが設置できない場合は関東地方整備局と協議すること。なお、負担金額の計算方法については変更する場合がある。メーターの検針については、毎月、調査職員が指定する日に確認を行い、調査職員に報告すること。

３．ごみ処分費用

ごみは、施設等運営者が自ら処分すること。

４．費用分担における確認

光熱水費やごみ処分、さらにはこれら以外に関東地方整備局又は維持管理業務受託者と施設等運営者との間で費用分担を行う場合にあっては、関東地方整備局と費用分担ルール及び費用分担結果の関東地方整備局との確認方法、並びに支払方法について協議すること。また、協議結果を書面にして残すこと。

第１６条 コンプライアンス

１．守秘義務

１）施設等運営者、若しくはその職員その他の本業務に従事している者又は従事していた者は、業務上知り得た秘密を漏らし、又は盗用してはならない。これらの者が秘密を漏らし、又は盗用した場合には、公共サービス改革法第 54 条により罰則の適用がある。

２）別紙－５「共通仕様書」第８章に基づき、情報管理を適切に行うこと。

２．個人情報保護

１）施設等運営者は、個人情報の保護の重要性を認識し、本業務における事務を処理するための個人情報の取扱いに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律（平成 15 年５月 30 日法律第 58 号）第６条第２項の規定に基づき、個人情報の漏えい、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

２）施設等運営者は、本業務における事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

第１７条 業務の再委託の禁止

１．施設等運営者は、業務を他の者に再委託してはならない。ただし、業務の一部を他の者に再委託する場合、あらかじめ書面により関東地方整備局の承諾を得たときは、この限りではない。（様式１－７「再委託又は下請負の予定」参照）

２．再委託を行う場合、書面により施設等運営者との契約関係を明確にしておくとともに、施設等運営者に対し、業務の実施について適切な指導、管理の下に業務を実施しなければならない。

３．再委託を受けた業務受託者は、入札書の受領期限の日から開札の時までの期間に、関東地方整備局長から指名停止を受けていないこととする。

４．暴力団又は暴力団関係者と社会的に非難されるべき関係を有している者を、再委託を行う業務受託者としてはならない。

５．施設等運営者は、前項の規定により関東地方整備局が承諾した業務受託者が、その責めにより関東地方整備局に損害を及ぼしたときは、関東地方整備局に対して、その損害を賠償するものとする。

６．施設等運営者は、前項の規定により関東地方整備局が承諾した業務受託者が、その責めにより第三者に損害を及ぼしたときは、速やかに関東地方整備局に報告するとともに、第三者に対して、その損害を賠償するものとする。また、その結果については、書面により関

東地方整備局に報告するものとする。

第１８条 許可した目的以外の利用及び施設の転貸等の禁止

１．収益施設を運営するに当たっては、許可した目的以外の利用は禁止する。

２．施設利用者及び公園利用者に対する安全確保に反する行為をしてはならない。

３．施設等運営者は、施設の全部若しくは一部を第三者に貸与し、又は担保に供してはならない。ただし、関東地方整備局に書面により承諾を得たときは、この限りではない。

４．施設等運営者は、本業務によって生じる一切の権利義務を他の者に譲渡し、又は継承させてはならない。

第１９条 業務の履行

１．管理許可条件に定める運営時間内での運用を休止させてはならない。ただし、関東地方整備局の書面による承諾を得た場合はこの限りではない。

２．施設等運営者は、業務の履行期限（継続して、契約した場合は除く）又は、契約が解除されるまでは、施設利用者に利便性を図るために本規定書及び管理運営要領を維持することとする。

第２０条 業務の解除

施設等運営者の責めに帰すべき事由により適正な収益施設の管理運営が困難となった場合又はその恐れが生じた場合は、関東地方整備局は施設等運営者に対して改善勧告を行い、期間を定めて、改善策の提出及び実施を求めることができる。

この場合において、施設等運営者が当該期間内に改善することができなかったときには、関東地方整備局は都市公園法第５条第２項の許可を取り消すことがある。

第２１条 業務の完了・引継、原状回復等

１．施設等運営者は、施設等運営者の責めに帰すべき事由により、施設を汚損・破損若しくは滅失したとき、又は関東地方整備局に無断で施設の原状を変更したときは、直ちにこれを原状に回復しなければならない。

２．施設等運営者は、業務が完了する場合（継続して契約した場合は除く）又は、契約が解除された場合は、関東地方整備局又は新たな施設等運営者と十分に協議の上、書面をもって下記事項について事務引き継ぎを行い、公園の管理に支障が生じないようにする。この際、施設等運営者が設置した特定備品を撤去し速やかに管理物件を原状に回復して、関東地方整備局に引き渡すこと。ただし、原状回復することが不可能若しくは不適当若しくは関東地方整備局が特定物品の残置を希望した場合、施設等運営者及び関東地方整備局間で事前に協議を行った上で、関東地方整備局の書面による承認を得て原状回復せずに引き渡すことができる。

１）建物や関連設備の鍵の場所等、建物の管理に関する事項。

２）設備等設置における建物躯体や構造物への影響等に関して留意が必要な事項。

３）建物や設備等の老朽化等により、それら使用において、維持修繕上、留意が必要な事項。

4）継続的な地域連携イベント等において、運営日時の調整や臨時売店の設置、販売品目の変更、提供等を行う等、主催者と連携、協力すべき事項。

3．前項ただし書きの適用がない場合において、施設等運営者が前項本文の原状回復を履行しないときは、関東地方整備局は施設等運営者が自ら整備した内装・設備等を放棄したものとみなし、現状を維持するか又は施設等運営者の費用をもって原状回復を行うことができる。

4．不可抗力その他、関東地方整備局や施設等運営者の責めに帰することが出来ない事由により管理の継続が困難となった場合は、関東地方整備局と施設等運営者は管理の継続の可否について協議し、関東地方整備局が書面により指示することとする。

第２２条 立退料等の不請求

施設等運営者は、業務が完了する場合（継続して契約した場合は除く）又は、契約が解除された場合、又は不可抗力の場合は、関東地方整備局に対し施設等運営者の施設の買取又は立退料等の請求若しくは施設等運営者が支出した有益費等を請求することができない。

第２３条 保険の付保及び事故の補償

1．施設等運営者は、雇用保険法、労働者災害補償保険法及び健康保険法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。

2．施設等運営者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適切な補償をしなければならない。

3．施設等運営者は、火災保険、自動車任意保険、施設賠償責任保険（貸し自転車の運営に関するものも含む)、動産総合保険、生産物賠償責任保険の他、必要に応じて各種保険に加入するものとする。

4．１～３項に規定する保険料、補償費は、施設等運営者の負担とする。

第２４条 情報公開

1．施設等運営者は、文書の開示等の情報公開については、「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」（平成 15 年５月 30 日法律第 58 号）の規定に準じて取り扱うものとする。この場合、関東地方整備局の書面による指示に従うこと。

2．施設等運営者は、関東地方整備局が会計法令に基づき実施する維持管理業務受託者に対する立ち入り検査、指示等監督・検査に対して、誠意を持って対応すること。

第２５条 その他留意事項

本規定書に定めていない事項又は疑義を生じた事項に関しては、必要に応じて、関東地方整備局と協議の上、決定することとする。

第２章 マネジメント（運営管理）

第２６条 基本事項

１．提出書類

１）収益施設等設置管理運営者は許可を受けた後に、関東地方整備局が指定した様式による関係書類を関東地方整備局に遅滞なく提出しなければならない。

２）施設等運営者が関東地方整備局に提出する書類で様式が定められていないものは、様式を作成後関東地方整備局に了解を得て提出するものとする。

３）報告書及び経理状況に関する帳簿類等の提出した書類は、関東地方整備局の求めに応じて常に提出できるよう、許可を受けた施設ごとに整理・保管し、業務成果として施設等運営者において業務完了後５年間保存する。

２．連絡、協議

１）収益施設等設置管理運営業務責任者は、必要に応じて関東地方整備局と連絡、協議等を行うこと。またその結果について、書面に記録し相互に確認しなければならない。

２）関東地方整備局長と収益施設等設置管理運営業務責任者は業務の方針及び条件等の疑義を正すものとし、その内容については相互に確認しなければならない。

３）施設の運営維持管理に係る各種規定・要領を作成する場合や、追加開園等により契約期間中に管理運営内容が変更する場合、さらにはその他新業務への対応が必要な場合は、関東地方整備局と施設等運営者の間で書面により調整又は協議を行う。

４）不測の事態又は疑問等が生じた場合は、速やかに関東地方整備局と協議する。

３．報告事項

施設等運営者は、次の各号に掲げる事項について、関東地方整備局に書面により報告するものとする。

１） 管理運営要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・許可日より 14 日以内に提出

２） 管理運営報告書（月毎の売上高、施設利用者数等）・・翌月の 10 日迄に提出

３） 業務打合せ簿 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・打合せ毎に終了後速やかに提出

４） 施設保守定期点検等の実施結果報告 ・・・・・・・・点検後速やかに提出

５） その他関東地方整備局が指示する書類 ・・・・・・・適宜提出

第２７条 業務実施体制

１．施設利用者に対して、安全・快適な利用サービスを提供するために、必要な資格等専門技術・知識を有する職員を配置する等本業務を実現する業務実施体制を構築しなければならない。

２．本業務に加え、施設利用者の案内や苦情・要望、事故・災害等非常時における緊急対応が適切に行われるよう、管理体制を構築しなければならない。

３．本業務の計画立案及びマネジメントを担当する収益施設等設置管理運営業務責任者を配置しなければならない。

４．収益施設等設置管理運営業務責任者は、維持管理業務受託者が配置する総括責任者と兼務する場合、収益施設等設置管理運営業務とそれ以外の業務との従事割合等を明確に区分し、収益施設等設置管理運営業務への委託費の支出は認めない。

5．開園期間中は、総括責任者が勤務する体制か、総括責任者を除く維持管理業務の業務責任者及び収益施設等設置管理運営業務責任者のうち、少なくとも２名以上が勤務する体制とすること。さらに収益施設等設置管理運営業務責任者が勤務しない場合については、本業務に精通した者を勤務させるものとし、緊急対応を含め本業務が円滑かつ迅速に行われる勤務体制をとること。

6．収益施設等設置管理運営業務責任者は、維持管理業務受託者と常に調整し、業務を遂行する。

1）収益施設等設置管理運営業務責任者について

① 収益施設等設置管理運営業務責任者は、本業務について業務従事者が適切に管理運営を行うよう、指揮監督しなければならない。

2）適切な業務従事者の配置について

① 施設等運営者は、業務における収益施設等設置管理運営業務責任者を定め、関東地方整備局に通知するものとする。

② 収益施設等設置管理運営業務責任者は、施設担当責任者及び業務従事者の手持ちの業務量が適切となるよう配慮すること。

③ 関東地方整備局は、必要に応じて収益施設等設置管理運営業務責任者、施設担当責任者及び業務従事者の経歴・職歴に関する事項について書面により報告を求めることができる。

第２８条 許可、承諾等を要する事項

1．管理運営要領

1）施設等運営者は、別に定めがある場合を除き、許可日より 14 日以内に収益施設運営計画に基づく下記の項目を記載した管理運営要領を関東地方整備局に提出し、承諾を得るものとする。その際、管理運営要領は許可を受ける施設ごとに作成すること。

① 業務内容（商品、価格及びサービス内容、イベント企画等）

② 業務の実施方針（「再委託に関すること」を含む。）

③ 業務の実施工程（業務の順序及び手順）

④ 業務の実施体制

⑤ 連絡体制(緊急時含む)

⑥ その他（業務実施上必要と思われる事項）

2）管理運営要領の策定に当たっては、管理運営の実務に通じた経験や知見、施設利用者からの意見・苦情・要望を踏まえた収益施設運営計画の変更の経緯、記録が確実に残る仕組みについて記載すること。

3）施設等運営者は、収益施設等の維持管理運営業務を通じた経験や知見、施設利用者からの意見・苦情・要望に基づく対応による修正が必要と判断した場合は、関東地方整備局と協議の上関東地方整備局に変更した管理運営要領を提出し、許可を得ること。

2．管理運営報告書

1）施設等運営者は、毎年度決算終了後、速やかに、関東地方整備局に決算に関する報告書を提出すること。

2）施設等運営者は、毎月の売上その他の営業に関する状況を翌月 10 日までに書面により関東地方整備局に報告すること。（別紙－46「収益施設利用者数、売り上げ等」参照）

3）経理状況に関する帳簿類は常に整理し、関東地方整備局からこれらに関する報告や実施調査を求められた場合には、速やかに関東地方整備局の指示に従い、誠実に対応すること。

4）関東地方整備局は、実施調査の結果、必要と認める場合には、施設等運営者に対し改善を求めることができる。

3．施設の修繕等

1）施設等運営者が、収益施設の修繕等を実施する場合は、その内容、時期等の情報について事前に関東地方整備局に書面により報告するものとする。ただし、施設利用者の安全確保等の観点から緊急を要する修繕については、この限りではない。

2）施設等運営者が、必要に応じて管理施設の建築構造躯体に対して穿孔、開口、留め付け等を伴う設備工事や電気を使用するもの等を実施する場合は、事前に関東地方整備局と書面により協議し、承諾を得なければならない。変更の際も同様である。

3）施設等運営者が、施設の管理運営上必要に応じて厨房器具及び運営に必要な設備等を管理施設に新たに設置する場合には、関東地方整備局と事前に書面により協議し、承諾を得なければならない。

4）施設等運営者は、厨房器具及び運営に必要な設備等を管理施設に新たに設置することに伴い関東地方整備局又は第三者に及ぼした損害を賠償しなければならない。

5）施設等運営者は、関東地方整備局の承諾を得て施設に付加した機械等の設備、間仕切り、建具その他の造作等について、買取請求を行わないものとする。

4．価格・サービス内容の決定・変更

施設等運営者は、管理運営要領にて定めたサービス及びその価格に関して変更を希望する場合は、事前に関東地方整備局と協議を行い、その結果に基づき変更した管理運営要領を関東地方整備局に提出し、承諾を得なければならない。

5．施設等運営者の変更

1）新たな施設等運営者の追加等による管理運営要領の変更を行う場合、書面により同施設等運営者との契約関係を明確にしておくとともに、同施設等運営者に対し業務の実施について適切な指導、管理の下に業務を実施しなければならない。

6．広告物の掲出

施設等運営者は、広告物を掲出しようとするときは、広告物の内容についてあらかじめ関東地方整備局に提示し書面により承諾を得るものとし、掲出物については許可区域内とする。

なお、施設等運営者が、許可区域外への広告物の掲出を希望する場合は、関東地方整備局と書面により協議を行うこと。

1）収益施設の運営に関して、通常業務の運営や店舗位置への案内誘導、企画商品等の販売促進を目的とする張り紙、張り札、広告旗、立看板、広告幕等を設置する場合は、公園の美観を損なわず、また他の本公園に関する看板類等に比して目立ちすぎないよう、その形状・大きさ、色彩において十分留意すること。併せて、本公園の施設であることを明示すること。

なお、企画商品等の企画名称等に本公園の名称及びロゴ等を使用する場合は事前に関東地方整備局の許可を得るものとする。（別添－22「グラフィックマニュアル（抄）」参照）

２）収益施設の運営に関して、協賛企業から協賛金を募って企画商品の販売や協賛での行催事等を実施する際、その販売促進を目的とする協賛企業の名称等を張り紙、張り札、広告旗、立看板、広告幕等に表示することはできるが、前項同様、公園の美観を損なわず、また本公園に関する広報物に比して目立ちすぎないよう、その形状・大きさ、色彩において十分留意すること。

３）施設等運営者は、事前に関東地方整備局の承諾を得た上で、協賛企業に自己の協賛内容を広報宣伝させることができるが、本公園に関する広報物はもちろんのこと、協賛する企画商品や協賛での行催事等の広告物より目立ちすぎないよう、その形状・大きさ、色彩において十分留意すること。

４）施設等運営者は、事前に関東地方整備局の承諾を得た上で、自らが作成する企画商品や協賛での行催事等に関するポスター、パンフレット、スタッフジャンパー等に、協賛企業の名称等を表示することができる。

７．施設等運営者のその他提出義務

施設等運営者は、下記の項目の一に該当するときは、直ちにその旨を関東地方整備局に書面により提出しなければならない。

１）施設等運営者が、主たる事務所の所在地又は名称を変更したとき。

２）施設が損傷、破損又は滅失したとき。

３）施設内で事故等が発生したとき又はそのおそれがあるとき。

４）施設等運営者が、強制執行・仮差押え・仮処分若しくは競売の申立てを受けたとき。

５）施設等運営者に対して破産の申立て、又は更生手続き開始の申立て若しくは民事再生手続き開始の申立てがあったとき。

第２９条 その他の協議・報告等

施設等運営者は、公園の管理運営等で必要な次の協議を適切に行い、結果等については、遅滞なく書面により報告しなければなければならない。

１．関係機関等との協議。

２．その他施設の運営者との協議。

第３０条 官公署への連絡、届出

施設等運営者は、官公署への連絡、届出手続きは関東地方整備局に協力し、遅滞なくこれを処理する。また、施設等運営者による工事等によって官公署への連絡、届出が必要となるときは施設等運営者において行う。

第３１条 別途工事等との調整

国が別途発注する工事又は別途業務（法定点検業務等）の実施に当たり、施設等運営者は、調整等に協力する。また計画停電を伴う工事や点検を実施する際には、その対応については、関東地方整備局と調整すること。

第３２条 記録の保存

報告書及び経理状況に関する帳簿類は、関東地方整備局の求めに応じて常に提出できるよう、許可を受ける収益施設ごとに整理・保管し、施設等運営者において業務完了後５年間保存する。

第３３条 再調査等の依頼

関東地方整備局は、施設等運営者からの報告等に疑義を生じた場合、再調査を依頼しより詳細な報告等を求めることができる。

第３章 ホスピタリティ（施設利用者対応）

第３４条 基本事項

１．本業務は、施設利用者に直接接する業務であり、施設利用者が快適に楽しめるよう心掛け、不快と感じさせるような身だしなみ、行動、言動とならないよう心掛けるものとする。

２．業務遂行に当たっては、常に公平なサービスの提供に努め、特定の個人や団体に有利あるいは不利な扱いとならないようにすること。

３．業務従事者の服装、作業用機械、器具、車両等については、本公園に相応しいものとし、イメージアップに心掛けるものとする。

４．全ての業務従事者について、名札を作成し着用すること。

５．作業にかかる車両や商品納入車両の乗り入れは最小限にとどめ、また開園時間の中の乗り入れも最小限に留めること。車両の運転については、公園利用者及び施設利用者の安全確保を第一として必要に応じ誘導員を配置するとともに、公園利用者及び施設利用者の迷惑とならない場所へ速やかに移動するものとする。（別添－13「国営アルプスあづみの公園園内車両運行要領」参照）

第３５条 施設利用者対応

１．園内の概要や開催するイベント等の基本情報を収集し、公園利用者及び施設利用者の問い合わせに対応すること。問い合わせの内容に関して必要に応じて維持管理業務受託者等に確認又は引き継ぐこと。

２．公園利用者及び施設利用者の苦情については、誠意を持って適切かつ迅速に対応し記録するとともに書面をもって報告すること。

３．園内掲示板、掲示物を適切に管理すること。

４．障害者及び高齢者等から施設利用上の援助を求められた場合には、適切に対処すること。

５．団体での施設利用者の誘導、バス等車両の停車場所への誘導を行うものとする。

第３６条 拾得物、残置物の処理

施設等運営者が、施設内で遺失物を発見した場合は、速やかに維持管理業務受託者へ届け出ること。

第３７条 広報・広聴

１．施設等運営者は、収益施設において提供する商品やサービスに対する施設利用者の評価や注文書等の意見等の聴取や記録に取り組むこと。

２．施設等運営者は、聴取や記録した施設利用者の評価や要望等の意見を集約し、関東地方整備局に書面により報告すること。

３．施設等運営者は、施設の利用促進を目的としたホームページやポスター、チラシ等の広報の展開に関する計画を、媒体毎に策定し、事前に関東地方整備局の承諾を得た上で広報活動を行うこと。

４．施設等運営者がホームページによる情報発信を行う際、維持管理業務受託者が管理する本公園のホームページに、設置管理許可書で許可を受けた運営業務の運営日時、基本提供サ

ービス等基本的な運営業務内容について掲載することは可能である。ただし、その他企画商品や行催事等販売促進に係る内容については、ホームページとは別に設置することとし、そのホームページを維持管理業務受託者が管理する本公園のホームページにリンクすることは可能である。なお、データを収納するサーバ及びリンクする他のホームページについて、事前に関東地方整備局と協議を行うこと。

5．維持管理業務受託者は、本公園ホームページ上で発信する情報について、別紙－５「共通仕様書」第８章に定める「個人情報の取扱いについて」及び関東地方整備局が定めるプライバシーポリシーに基づいた適正な内容であることを事前に確認すること。また、ホームページアクセシビリティについても留意して作成する。

6．施設等運営者に所属する情報ネットワークのシステム管理者は、情報（掲載する文書、図画、写真及び音楽等）における著作権等の知的所有権に配慮すること。

7．施設に関するリンク先のホームページは原則として一つとすること。ただし、それによりがたい場合は、別途協議すること。

8．セキュリティレベルを確保するため、ホームページの作成・更新等に用いるパソコンや、データを保存するサーバ等のセキュリティ対策について、業務開始前に関東地方整備局と協議するとともに、年度末に実施状況を報告するものとする。

第３８条 掲載情報の更新・修正・訂正

1．施設のホームページやポスター、チラシ等の広報の掲載情報については、常に新しい情報を掲載し更新に努めること。

2．施設等運営者に所属する情報ネットワークのシステム管理者は、個人に関する掲載情報について、本人又は保護者から内容の訂正又は削除の要請を受け、必要と認めた場合には、訂正等の措置をとること。

3．施設等運営者は、施設のホームページであるとの誤解を与える内容を記載した他のホームページを発見した場合には、関東地方整備局に報告をした上で、当該ホームページ管理者に対し訂正等必要な措置を求めること。

第４章 安全衛生管理

第３９条 基本事項

１．安全管理

１）施設等運営者は、収益施設における施設利用者の安全確保並びに快適な利用を図ること。

２）本業務の履行に当たり、適切な措置・対応を行う等、施設等運営者の責任において常に善良なる管理を行うこと。なお、関東地方整備局が定める公園利用規則等がある場合は、それに則った対応を図ること。

３）施設等運営者は、消防法等関係法令に準拠するほか、関東地方整備局が別途定める計画・規定等を遵守すること。

４）施設等運営者は、施設を運営している期間中は毎月１回、施設の消防用設備等の自主検査を実施し、関東地方整備局に報告すること。

５）異常を確認した場合、速やかに関東地方整備局に報告しその指示に従うこと。また、安全管理には十分注意し本業務を履行すること。

６）施設等運営者は、修繕の実施に際して、事前に関東地方整備局と協議を行い、必要に応じて業務実施体制に係る書類を作成し、作業着手までに関東地方整備局に提出すること。また、業務実施体制に変更が生じた場合の対応についても同様とする。

７）修繕等の作業中は、作業員は服装及び言動に注意し、公園利用者及び施設利用者に不快感を与えないよう留意すること。

２．安全確保

１）本業務の実施に当たっては、常に整理整頓を行い、危険な場所には必要な安全措置を講じ、事故を防止しなければならない。

２）施設若しくは許可区域内において、公園利用者及び施設利用者に危険が及ぶ恐れのある障害が発生した場合は、危険防止に必要な措置を関東地方整備局に書面により報告の上、当該措置を講じ、事故の発生を防止しなければならない。

３）業務用車両の運行については、別添－13「国営アルプスあづみの公園園内車両運行要領」に従い、公園利用者の安全と快適な利用を妨げないような運転・走行・駐停車・作業態度等に努めること。

４）公園利用者や施設利用者に対する安全確保上必要があると判断される場合は、作業実施時に作業エリアをバリケード等で囲い作業中であることを明示する等、作業実施中は安全管理を徹底し、公園利用者及び施設利用者の安全を十分確保すること。

５）作業実施中は園内の施設工作物及び樹木等を破損しないように注意すること。

３．救急救護

１）施設等運営者は、管理運営要領の「救急救護」において救急時の対応方法を定めること。

２）施設等運営者は、施設利用者に傷病者が発生した場合等は、救急活動に当たらなければならない。

３）施設等運営者は、救急活動を要する事態を認めたときは、施設利用者の急病や負傷には応急処置をとり、事故や怪我等の状態により、消防車や救急車を要請する等、最も適切と思われる措置をとらなければならない。

４）施設等運営者は、前項の措置をとった場合は、その原因となる事項や処置内容等を正確

に記録するとともに、その経過及び結果を速やかに関東地方整備局に報告すること。

5）傷病者の発生に備え、日頃から研修・訓練等を行うこと。

4．災害時、異常時等の対応

1）施設等運営者は、災害防止等のために必要があると認められるときは、施設利用者の安全を確保し、迅速かつ的確に避難誘導を行う等臨機の措置をとらなければならない。この場合において、施設休止等の必要があると認めるときは、施設等運営者はあらかじめ関東地方整備局の書面による承諾を得なければならない。ただし、緊急上やむを得ない事情があるときは、この限りではない。

2）前項の場合においては、施設等運営者は、そのとった措置の内容を関東地方整備局に速やかに書面により報告すること。

3）台風、豪雨等の災害発生が予想される場合には、事前に土のう設置、雨水桝の詰まり防止のための落ち葉除去等を実施し、被害の軽減に努めなければならない。

4）台風、豪雨等の災害発生時に関東地方整備局の指示した箇所の巡回、土のう等の設置等を行うこと。

5）関東地方整備局は、災害防止上特に必要と認めるときは、施設等運営者に対して、臨機の措置をとることを指示することができる。

6）関東地方整備局の指示により、災害時、異常時等の緊急を要する場合は、施設等運営者は、迅速に必要な人員を確保し、適切な措置・対応を行うこと。なお、関東地方整備局が策定した災害発生等への対応計画、規定等がある場合は、それに則った対応を図ること。

7）災害時、異常時等の発生後は、園内の臨時巡視・点検を速やかに行い、安全を確認し、関東地方整備局に書面により報告すること。異常を確認した場合は、前項に基づき適切な措置・対応を行うこと。

8）施設等運営者は、天変地異等により、運営を一時中止・変更、又は休止したときは、運営再開の前に施設の点検を行い、異常のないことを確認しなければならない。異常を確認した場合は、国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務共通仕様書第 22 条の「維持管理業務受託者」を「施設等運営者」と読み替え適切な措置・対応を行うこと。

9）関係機関の立会検査又は調査がある場合は、施設等運営者は関東地方整備局の指示により立会等に協力すること。

第４０条 点検等

1．安全衛生管理計画

1）施設等運営者は、食品衛生法、消防法等の関係諸法令及び規則に基づき設定した点検計画を記載した安全衛生管理計画書を関東地方整備局に提出の上、書面により承認を受けること。

2）安全衛生管理計画書に記載した、点検については、特段の事情がない限り予め設定したスケジュールに沿って実施すること。

3）上記点検等の結果については、遅滞なく関東地方整備局に書面により報告すること。

2．定期点検

1）施設等運営者は、施設利用者が快適に利用できるよう、常に清潔かつ快適な状態に維持することに努めること。

2）施設の定期点検を実施するに当たり、国事務所と施設等運営者の責任分担を下記表のとおりとする。ただし、下表に定める事項に疑義が生じた場合、又は、下表に定めのない事項については、国事務所と施設等運営者の間で十分に協議の上決定するものとする。

3）法定点検項目以外の定期点検は、施設等運営者が自ら設定すること。

■施設の定期点検項目

中項目	小項目	法定点検	点検実施者	留意事項
電灯・動力設備	分電盤・開閉器箱	○	国事務所	
	制御盤	○	国事務所	
	幹線	○	国事務所	
受変電設備	配電盤等（内部機器を除く。）	○	国事務所	
	変圧器	○	国事務所	
	交流遮断機	○	国事務所	
	断路器	○	国事務所	
	計器用変成器	○	国事務所	
	避雷器	○	国事務所	
	高圧負荷開閉器	○	国事務所	
	高圧カットアウト	○	国事務所	
	高圧電磁接触器	○	国事務所	
	力率改善装置	○	国事務所	
	指示計器・保護継電器	○	国事務所	
	低圧開閉器類	○	国事務所	
	その他の特別高圧関連機器	○	国事務所	
通信・情報設備	構内情報通信網設備	○	国事務所	
給排水衛生機器	受水タンク･高置タンク（高架タンク）の清掃	○	国事務所	
水質管理	飲料水（給水設備）	○	国事務所	
消防用設備等	機器点検	○	国事務所	６ヶ月に１回実施 ※ただし、消火器の点検、取替は施設等管理者が実施
ねずみ･昆虫等の防除	防除品の点検と取替	○	施設等運営者	毎月実施（堀金・穂高地区、大町・松川地区）

3．自主点検

1）自主点検は、下記の表に掲げる項目のうち該当するものについて、施設等運営者が建築保全業務共通仕様書に準じて行う。

■施設の自主点検項目

大項目	中項目	小項目
建築	建築	建築
電気設備	電灯・動力設備	電灯・動力設備
	受変電設備	受変電設備
	自家発電設備	自家発電設備
	直流電源設備	直流電源設備
	交流無停電電源設備	交流無停電電源設備
機械設備	温熱源機器	運転・監視記録
		鋳鉄製ボイラー・鋼製ボイラー
		真空式温水発生機・無圧式温水発生機
		温風暖房機
	冷熱源機器	運転・監視記録
		冷熱源機器
	空気調和等関連機器	空気調和等関連機器
	給排水衛生機器	給排水衛生機器
		循環ろ過装置
監視制御設備	中央監視制御設備	中央監視制御装置

4．日常点検

1）施設等運営者は始業点検、終業点検、巡回パトロール等を実施し、適切な管理を行うこと。

2）施設等運営者は建築物等について、目視等の簡易な方法により劣化及び不具合の状況を把握し、保守のための軽微な修繕を行い、事故・故障等の未然の防止に資するよう管理すること。

3）施設等運営者は、施設、設備等が損傷、破損又は滅失したとき及びそれを発見したときは、直ちに関東地方整備局に報告すること。

5．スタッフ管理・研修

1）日常管理業務に加え、施設利用者の案内や苦情・要望、事故・災害時非常時における緊急対応が適切に行われるよう、一元的な管理体制を構築すること。

2）運営体制人員は、円滑な管理運営を行うため、施設利用者数の動向に基づき弾力的に配置すること。

3）施設等運営者は、関東地方整備局が実施又は要請するスタッフ管理・研修、公園全体での調整連携等への参加・協力・実施を、積極的かつ主体的に行うこと。

4）施設等運営者は、施設が有する機能を最大限に活用するとともに、施設利用者が安全かつ快適に施設を使用できるよう、安全面、衛生面、機能面及び景観に留意して適切な管理を行うこと。

5）建築物の衛生的環境の確保、美観の維持、劣化の抑制を図るため、除塵、拭き、清浄、ごみの収集等の作業により汚れを除去することによって、快適な環境を整備するとともに、建築物の各部材、設備等の更新時期の延伸に資するよう管理すること。

6）車両の運転については、公園利用者及び施設利用者の迷惑とならないよう必要に応じ誘導員を配置するとともに維持管理業務受託者発行の許可証を前面に提示すること。（別添－13「国営アルプスあづみの公園園内車両運行要領」参照）

第４１条 危機管理

1．事故・災害対応

1）緊急時連絡体制構築

施設等運営者は、緊急時連絡体制表を作成し、関東地方整備局に提出すること。また、施設内に掲示をすること。

2）予防対策

① 施設等運営者は、施設を運営している期間中毎月１回、施設の消防設備等の自主点検を実施し、異常を発見した場合は関東地方整備局に書面により報告すること。

② 本業務を行う場所若しくは、その周辺に第三者が存する場合又は立ち入る恐れがある場合には、危険防止に必要な措置を講じ事故の発生を防止すること。この場合、その旨を関東地方整備局に報告すること。

3）初期対応

① 施設等運営者は、緊急時には関東地方整備局の指示に従い、公園利用者及び施設利用者に対する案内及び緊急の対応等のサービスに努めること。

② 万一、設備、機器等に事故その他、異常が発生したときは、必要に応じてその部分の運転を一時停止又は運転制限をする等の措置をした上、直ちに関東地方整備局に報告し、臨時に精密検査を行い、その原因を究明し、機能復旧に努めるとともに、再発防止のための必要な措置をとること。

③ その他事故等が発生したとき、又はその恐れがあるときは、速やかに必要な措置を取り、施設等運営者が作成した緊急連絡体制に基づき関係機関へ連絡し、次の各号に掲げる事項について、遅滞なく、書面等により関東地方整備局に報告すること。なお、関東地方整備局が策定した事故等への対応計画、規定等がある場合は、それに則った対応を図ること。

一 事故発生日時。

二 事故発生場所。

三 事故発生の原因。

四 事故の程度。

五 人身事故の場合は、医師の診断結果。

六 事故処理の概略。

七 再発防止等改善策等。

④ 重大事故についてはただちに関東地方整備局に報告し、その指示に従うこと。

2．異常事態対策

1）施設等運営者は、関東地方整備局が実施又は要請する異常事態対策への参加・協力・実施を、積極的かつ主体的に行うこと。

2）施設等運営者は、異常な事態が発生した場合、その内容・初期対応状況等を、速やかに関東地方整備局へ報告するとともに、警察、消防署等関連部局に連絡すること。

第５章 施設管理

第４２条 基本事項

１．施設等運営者は、消耗品交換・修繕の実施に際して、許可を受けた施設内及びその周辺の環境を良好に維持することを心掛けなければならない。

２．施設等運営者は、収益施設内及び許可範囲内を常に良好な状態で維持し、公園内で実施されている他業務と相互連携を保ち、適切に進捗管理を行い、実施すること。

３．設備及び管理備品は施設等運営者の注意義務で管理すること。

第４３条 清掃等

１．施設等運営者は、許可を受けた範囲内並びにその周辺の環境について、常に清潔かつ快適な環境を保持するために、計画的な清掃管理を実施すること。

２．施設等運営者が、清掃を実施する際には、施設利用者並びに公園利用者の安全確保に十分注意すること。

３．施設等運営者は、自らが実施する清掃と維持管理業務受託者が実施する清掃について、その清掃範囲及び夾雑物が混合しないように注意すること。

４．積雪時、必要な場合には除雪を行う。

第４４条 工事等

１．施設等運営者は、消耗品の交換や施設等運営者が自ら実施する修繕工事の実施に際して、事前に関東地方整備局と協議を行い、必要に応じて業務実施体制に係る書類を作成し、業務着手までに関東地方整備局に提出すること。また業務実施体制に変更が生じた場合の対応についても同様とする。

２．施設等運営者が、消耗品の交換や施設等運営者が自ら実施する修繕工事を実施する際には、施設利用者並びに公園利用者の安全確保に十分注意するとともに、施設等運営者の責任において常に公園の観察を行い、善良なる管理を行うこと。

３．施設等運営者は、自らが実施する修繕工事について、その工事実施範囲及び構造物が、許可を受けた範囲及び許可を受けた構造物であることに注意すること。

第４５条 安全管理

１．施設等運営者は、消耗品交換・修繕の実施に際して、事前に関東地方整備局と協議を行い、必要に応じて業務実施体制に係る書類を作成し、作業着手までに関東地方整備局に提出すること。また、業務実施体制に変更が生じた場合の対応についても同様とする。

２．常に施設利用者の安全確保に十分注意するとともに、施設等運営者の責任において常に公園の観察を行い、善良なる管理を行うこと。

３．業務用車両の運行については、別添－13「国営アルプスあづみの公園園内車両運行要領」に従い、公園利用者の安全と快適な利用を妨げないような運転・走行・駐停車・作業態度等に努めること。

４．施設利用者や公園利用者に対する安全確保上必要があると判断される場合は、作業実施時に作業エリアをバリケード等で囲い作業中であることを明示する等、作業中は安全管理を

徹底し、公園利用者及び施設利用者の安全を十分確保すること。

5．作業中は園内の施設工作物及び樹木等を破損しないように注意するものとする。

6．作業中は服装及び言動に注意し、公園利用者及び施設利用者に不快感を与えないよう留意すること。

第６章 財産管理

第４６条 台帳管理

１．施設等運営者が施工した固定資産（償却資産）については、「固定資産税における家屋と償却資産の分離申出書」を所轄の税務事務所に提出すること。

２．運営に関する備品等（建物除く）の費用、管理区域に関る建物管理費（消耗品の購入、貸与した備品類の修理等）は、施設等運営者の負担とすること。

第４７条 備品の取り扱い

１．管理備品の取扱い

許可を受けた収益施設の運営に必要な備品は、施設等運営者が全て準備すること。ただし、業務開始時に関東地方整備局が費用を負担した備品の貸与を受けた場合は、施設等運営者は、本業務完了の際、残存する備品を関東地方整備局に引き渡すこと。ただし、当該契約が引き続き締結され、当該業務に継続して使用されるものはこの限りではない。

残存する備品とは、本業務において管理上必要となった機械器具、その他の物品の内、原状のまま比較的長期の使用に耐え、取得価格（消費税込み）が５万円以上のものをいう。

なお、その取扱いについては、関東地方整備局が定める規定等による。

２．特定備品の取扱い

施設等運営者は、施設の管理・運営に必要な機器・設備等を持ち込むことができる。

ただし、「本規定書　第 21 条 業務の完了・引継、原状回復等」の記載のとおり、施設等運営者は、業務が完了する場合（継続して契約した場合は除く）又は、契約が解除された場合、速やかに管理物件を原状に回復して、関東地方整備局に引き渡すこととなること、さらには、原状回復する際に残存価値が残される場合であっても、「本規定書　第 22 条 立退料等の不請求」のとおり、関東地方整備局に対し施設等運営者の施設の買取等を請求することを禁じていることを踏まえ、施設等運営者の一切の責任の下で機器・設備等を持ち込むこと。

３．機器・設備等を持ち込む費用、電気工事等の措置等に必要な経費及び持ち込んだ設備・機器等から生じる経費（電気代、コピー代、電話代等）、原状回復に必要な経費は、施設等運営者の負担とする。

第４８条 本業務の引継

１．施設等運営者は、業務の履行が満了するとき（継続して契約した場合は除く）又は、契約が解除された場合は、関東地方整備局又は新たな施設等運営者と十分に事務引き継ぎを行い、施設の管理運営に支障が生じないようにすること。この際、速やかに施設を原状に回復して、関東地方整備局に引き渡すこと。ただし、原状回復することが不可能若しくは不適当である場合、関東地方整備局の承認を得て原状回復せずに引き渡すことができる。

２．不可抗力その他、関東地方整備局や施設等運営者の責めに帰することができない事由により管理の継続が困難となった場合は、関東地方整備局と施設等運営者は管理の継続の可否について協議すること。

３．施設等運営者は、本業務の履行期限（継続して、契約した場合は除く）又は、契約が解除

されるまでは、施設の管理運営が円滑に実施されるよう業務実施体制（本規定書第 27 条記載）を維持すること。

４．履行期限後において補償すべき事態が発覚し、その原因が履行期間内の瑕疵等が明らかな場合は、その費用は施設等運営者が負担すること。

第２編 国営アルプスあづみの公園収益施設等管理運営個別規定書

第１章 飲食・物販施設

第４９条 総則

施設等運営者は、飲食・物販施設の管理運営に際して、関係法令等を遵守し、施設利用者への快適なサービスの提供及び安全確保に努めること。なお、本規定書に記載のない事項又は本規定書に疑義が生じたときは、その都度、施設等運営者は関東地方整備局と協議すること。

第５０条 施設の管理目的

飲食・物販施設は、本公園において飲食及び物販に関するサービスを提供することを、施設の管理目的とする。

第５１条 運営対象施設

運営対象施設は次のとおりとする。

■運営対象施設一覧

＜飲食施設＞

施設名称	地区	営業場所
レストラン	堀金・穂高地区	ガイドセンター内
レストラン	大町・松川地区	休憩棟内

飲食施設については全て裁量施設とし、公園の開園時間内で、運営時間を設定できるものとする。

＜物販施設＞

施設名称	地区	営業場所
ガイドセンター売店	堀金・穂高地区	ガイドセンター内
インフォメーションセンター売店	大町・松川地区	インフォメーションセンター内

物販施設については全て裁量施設とし、公園の開園日時内で運営日時等を設定できるものとする。

第５２条 責任者の選任

施設等運営者は、施設担当責任者、防火管理者、食品衛生責任者等、管理運営上法的に必要な資格を保持する者を選任した上で、飲食施設及び物販施設の管理運営にあたらせること。

第５３条 運営日時

１．施設等運営者は、原則として本公園の開園日を営業日とし、定休日は以下を原則とする。

■飲食施設の定休日一覧

施設名称	定休日
堀金・穂高地区：レストラン	休園日（原則毎週月曜日）
大町・松川地区：レストラン	休園日（原則毎週月曜日）

■物販施設の定休日一覧

施設名称	定休日
堀金・穂高地区：ガイドセンター売店	休園日（原則毎週月曜日）
大町・松川地区：インフォメーションセンター売店	休園日（原則毎週月曜日）

2．裁量施設のうち、物販施設は、施設等運営者の裁量により公園の利用状況を勘案し、定休日以外に休業日をもうけることができるが、休業日の設定に当たっては、施設等運営者は関東地方整備局と事前に協議を行うこと。

3．営業時間は以下を原則とすること。ただし、裁量施設であることから施設等管理者の裁量により営業時間を設定することができるが、以下の営業時間の変更に当たっては、施設等管理者はあらかじめ関東地方整備局と協議すること。なお、行催事の開催等により、公園利用者の利便を確保する上で必要が認められるときは、関東地方整備局より営業時間の延長又は短縮の指示を行うことがある。

■営業時間

＜飲食施設＞

４月下旬～10 月は、開園時間に準ずる。

11 月～４月中旬は、11：00～15：00 とする。

ただし、行催事の開催に伴う営業時間延長の場合は、飲食施設毎に協議するものとする。

＜物販施設＞

開園時間に準ずる。

ただし、行催事の開催に伴う営業時間延長の場合は、物販施設毎に協議するものとする。

第５４条 利用料金

1．施設利用者へ提供する商品は提案された内容とするが、販売価格は関東地方整備局と協議の上、周辺類似事例に基づき、収益施設全体の収支のバランスを鑑みながら、市場価格に準じて定める。なお、販売品目等は施設利用者のニーズを把握し、その見直しを図る等、施設利用者の満足度の向上に努めること。見直しを行う際は、関東地方整備局と事前に協議すること。

■サービス内容等一覧

＜飲食施設＞　参考：平成 30 年度実績

施設名称	現行販売品目（参考）
堀金・穂高地区レストラン	そば類、うどん類、ラーメン類、パスタ類、カレー、丼類、デザート類、飲料
大町・松川地区レストラン	ラーメン類、そば類、うどん類、パスタ類、カレー類、トースト類、飲料

＜物販施設＞　参考：平成 30 年度実績

施設名称	現行販売品目（参考）
ガイドセンター売店	飲料、冷菓、雑貨（繁忙期のみ）、おやき（イルミネーション期間のみ）
インフォメーションセンター売店（５～11 月の土日祝実施）	地元果物、野菜、加工食品、米、飲料

第５５条 繁忙期の対応

繁忙期の管理運営に当たっては、飲食施設の供給機能を補完し施設利用者へのサービス提供を強化するため、公園利用者のニーズを勘案し、適宜臨時売店（飲食・物販）の開設を関東地方整備局の許可を受けた上で開設することができる。

＜臨時飲食・物販施設＞　参考：平成 30 年度実績

堀金・穂高地区

設置時期	営業場所	売店数
春	野原、水辺の休憩所、穂高口、中央口	8
夏	水辺の休憩所、中央口	4
秋	野原、水辺の休憩所	4
冬	水辺の休憩所、展望テラス、中央口	5

大町・松川地区

設置時期	営業場所	売店数
春	アルプス大草原、インフォメーションセンター前	4
夏	アルプス大草原、インフォメーションセンター前、河畔広場	4
秋	アルプス大草原、入口広場	5
冬	森の体験舎、インフォメーションセンター前	2

第５６条 業務の内容

１．施設等運営者は、次の各号に掲げる業務を行うこと。

１）飲食・物販施設の運営に関すること。

２）飲食・物販施設の維持管理に関すること。

３）飲食・物販施設利用に伴う苦情処理に関すること。

４）前各号に掲げる業務に付随するもの。

第５７条 施設・設備の維持管理

施設等運営者は、施設利用者が快適に施設を利用できるよう、常に清潔かつ快適な状態に維持することに努めるものとし、日常管理として、以下の各号に掲げる業務を行うこと。

１.施設に係る清掃及び塵芥処理。

２.施設の点検整備及び軽微な補修又は故障の修理。

３.その他利用によって消耗する施設の修繕、消耗品の購入等。

第５８条 安全衛生管理

１．衛生管理及び安全管理は、施設等運営者において全責任を負うものとする。

２．食品衛生法、消防法等の関係諸法令及び規則に基づき、安全衛生管理計画書及び緊急時連絡体制を定めて、関東地方整備局に提出すること。また、安全衛生管理計画書作成に当たっては、以下に示す項目のほか、十分な衛生管理及び安全管理等を行うとともに事故防止

に努めること。

1）運営に当たる全職員を対象として、年１回の健康診断を実施し、検査の結果、異常ある者は、完全に回復したとの医師の診断が得られるまで職場復帰は認めないこと。
その他、下痢を起こしている等体調不良者は出勤させてはならない。

2）消防法に基づき、消火器点検を年２回実施し、不備なものは随時取り替えること。

3）消防法に基づき、避難訓練、消火器訓練等を年２回実施すること。

3．上記法定点検等の結果については、遅滞なく関東地方整備局に報告すること。

4．飲食施設は、施設利用者に満足していただけるよう、商品管理の徹底、消防設備の点検、身だしなみ等、常に清潔、快適かつ安全な状態に維持するものとする。そのため、以下の管理を実施すること。

1）始業及び終業時には、ガス、電気等を使う火災につながる器具の点検を行うとともに、清掃状態や施設の不具合についても点検を行うこと。

2）毎日の始業時に、服装、髪型、アクセサリー、爪、健康状態、頭髪について点検を行い、安全衛生や施設利用者の利用満足度の向上に努めること。

3）毎日、害虫の発生状況を点検し、必要に応じ適切な害虫駆除を行うこと。

4）清掃点検項目を定めた上で、これに基づき清掃を行い、テーブルや厨房内、カウンター、排水溝、厨房機器、ごみ箱の点検を行うこと。

5）毎日、売店商品の保管状況点検を行い、賞味期限切れ製品等を供することのないよう、賞味期限、腐敗、変色、異味、異臭等を確認すること。

6）毎日、冷蔵庫、冷凍庫等の温度点検を行うこと。

7）緊急時には、緊急連絡事項の取り扱いに関する規約と緊急連絡体制に基づいて、関東地方整備局、維持管理業務受託者をはじめ、関係機関に対し迅速に連絡・対応すること。

8）納品を行う業者に対して、書面及び日常的な安全運転の指導を行うこと。

9）運営に当たる全職員を対象として、腸内細菌検査のための検便検査を年２回実施し、検査の結果、異常がある者は、二次検査で異常の有無を確認し正常であることが確認されない限り、就業を認めないこととする等、二次感染の防止に努めること。

5．食中毒等の事故が発生したとき、又はその恐れがあるときは、速やかに必要な措置を取り、緊急時連絡体制に基づき、次の各号に掲げる事項について、遅滞なく、書面等により関東地方整備局に報告するものとする。なお、食中毒等社会的な影響や人的影響等を伴うときは、関東地方整備局がマスコミ対応等を行うが、その際、関東地方整備局の求めに応じ施設等運営者は迅速かつ適切に協力しなければならない。また、関東地方整備局が策定した事故等への対応計画、規定等がある場合は、それに則った対応を図ること。

6．食中毒等により、施設利用者に対して、人的損害を及ぼした場合は、施設等運営者の責任において、その賠償を行うこと。

第５９条 費用負担

1．飲食施設運営に関わる一切の費用（営業に際し必要な許認可に関わる経費、光熱水費等）、運営に関する備品等（建物除く）の費用、管理区域に関る建物管理費（清掃費、消耗品の購入、施設の点検整備、軽微な修繕、貸与した備品類の修理等）及び各種保険料、さらに

は施設等運営者自らが設置した工作物、設備等に係る補修又は改造等に係る経費は、施設等運営者の負担とする。

2．その他、本業務を実施するに必要な備品等についても、施設等運営者の負担で準備すること。ただし、施設等運営者は、業務が完了する場合（継続して契約した場合は除く）又は、契約が解除された場合、速やかに管理物件を原状に回復して、関東地方整備局に引き渡すこと。

3．施設利用者の不適切な使用により、関連施設・設備、備品等を破損又は紛失した場合は、原則施設利用者責任として、当該施設利用者から修理費又は施設運営者が定める損害料を徴収すること。

第６０条 責任の範囲

1．次の各号に該当する場合は、関東地方整備局及び施設等運営者は、賠償責任を負わないものとし、その旨を施設利用者が分かるように看板等の掲示を行うこと。

1）天変地異、その他不可抗力による事故、及び管理上の責に帰することのできない事由によって生じた施設利用者の損害。

2）施設等運営者の過失に依らない損害。

2．前号及び善良な管理者としての注意を怠らなかったことを証明する場合を除き、施設等運営者はその損害を賠償すること。

3．施設等運営者の過失等が原因で、施設を損傷し又は滅失した場合、施設等運営者がその損害を賠償すること。ただし、施設利用者の責めに帰すべき理由がある場合には、施設利用者に損害の賠償を求めること。

第６１条 施設利用上の注意

1．次の各号に該当する場合は、原則として施設の利用を禁止すること。

1）危険物を持ち込み、その他、秩序を乱し、風紀を害する恐れがある者。

2）公園で定める制限事項に違反する者。

3）ペット等の動物。ただし、身体障害者補助犬となる盲導犬、介助犬、聴導犬については除く。

4）その他施設利用者及び公園利用者の安全、快適を妨げる者。

第２章 自動販売機

第６２条 設置箇所、販売内容・料金等

１．自動販売機での販売は、缶、ペットボトル、又は紙パックの飲料品（乳飲料を含む）、アイスクリーム等を想定している。

２．自動販売機で酒類及びたばこ類の販売は行わないこと。

３．自動販売機の大きさについては、指定の範囲内に設置できるものであること。

４．施設等運営者は、施設利用者が安全かつ快適に施設を使用できるよう、安全面、衛生面、機能面及び景観に留意して適切な管理を行うこと。

５．自動販売機の設置箇所、設置台数及び種類は以下のとおりである。具体的な設置場所等については、関東地方整備局と協議の上決定するが、現在（平成 30 年度末）の実績を考慮し、適切な配置に努めること。

■設置箇所一覧　参考：平成 30 年度実績

設置箇所		設置台数	販売機の種別	備考
堀金・穂高地区	管理センター	1	飲料	
	ガイドセンター	2	〃	
	あづみの学校	3	〃	冬期間１台休止
	展望テラス	1	〃	
	水辺の休憩所	3	〃	冬期間１台休止
	野の休憩所	1	〃	冬期間１台休止
	マシュマロドーム	2	〃	冬期間休止
	穂高口ゲート	2	〃	
	堀金口ゲート	1	〃	冬期間休止
大町・松川地区	駐車場トイレ	2	〃	
	入口広場トイレ	1	〃	冬期間休止
	レンタル棟	1	〃	冬期間休止
	森の体験舎	2	〃	
	スポーツと遊びの森エリア管理棟	1	〃	冬期間休止
	大草原の家	3	飲料２,食品(パン)１	
合計		26		

※冬期間とは、おおむね 12 月～３月末とし、イベント開催等利用動向により臨機に期間を設定

第６３条 費用負担

１．自動販売機運営に関わる一切の費用（営業に際し必要な許認可に関わる経費、光熱水費、清掃費、消耗品の購入、施設の点検整備、軽微な修繕、貸与した備品類の修理等）、自動販売機の購入、設置、機械の交換、撤去並びに保守・故障対応等に要する費用、自動販売機に装着する漏電・漏水等安全対策に要する費用、その他運営に関する備品等（建物除く）の費用及び各種保険料、さらには施設等運営者自らが設置した工作物、設備等に係る補修又は改造等に係る経費は、施設等運営者の負担とする。

２．自動販売機の商品の補充、売上金回収等に要する経費、自動販売機周辺に設置する回収ボ

ックスの設置及び空き容器回収に要する費用は、施設等運営者の負担とする。
その他園内のごみ箱についても、空き容器等の発生量に応じて、維持管理業務受託者との間で、応分の費用負担を行うこと。その際、事前に関東地方整備局と協議の上、費用分担ルール及び費用分担結果の関東地方整備局との確認方法について協議し、決定すること。なお、費用分担の確認方法に基づき、関東地方整備局及び維持管理業務受託者と確認を行った上で、費用分担を行うこと。

3．自動販売機の設置に伴う電気・排水工事の追加工事を必要とする場合はそれに要する経費は、施設等運営者の負担とする。

4．その他、本業務を実施するに必要な備品等についても、施設等運営者の負担で準備すること。ただし、施設等運営者は、業務が完了する場合（継続して契約した場合は除く）又は、契約が解除された場合、速やかに管理物件を原状に回復して、関東地方整備局に引き渡すこととなること、さらには、原状回復する際に残存価値が残される場合であっても、関東地方整備局に対し施設等運営者の施設の買い取り等を請求することを禁じていることを踏まえ、施設等運営者の一切の責任の下で機器・設備等を持ち込むこと。

5．施設利用者の不適切な使用により、関連施設・設備、備品等を破損又は紛失した場合は、原則施設利用者責任として、当該施設利用者から修理費又は施設等運営者が定める損害料を徴収すること。

第６４条 自動販売機の維持管理

1．商品管理、売上金回収・つり銭補充等の金銭管理等、自動販売機の維持管理については、施設等運営者が行うこと。また、常に商品の賞味（あるいは消費）期限に注意するとともに、売り切れ商品がないよう努めること。

2．自動販売機に併設して、原則として自動販売機１台に１個の割合で、回収ボックスを設置するとともに、施設等運営者の責任で適切に空き容器を回収・処分すること。なお、本公園では、野生動物による被害防止のため園内にゴミ箱を設置していないが、空き缶等散乱防止の観点から回収ボックスは設置するものとする。ただし、自動販売機の販売品目以外のゴミが捨てられないよう、公園利用者に対して周知するとともに、巡視時に適宜確認を行うこと。

3．自動販売機の清掃を実施するとともに、衛生管理及び感染症対策については、関係法令を遵守するとともに徹底を図ること。

4．自動販売機を設置するに当たっては、転倒等しないよう据付面を十分に確認したうえで「安全設置」すること。

第６５条 責任者の選任

施設等運営者は、担当責任者を選任した上で、自動販売機の管理運営にあたらせるものとする。

第６６条 その他留意事項

1．自動販売機の設置に関する必要な手続きは、施設等運営者が行うこと。

2．自動販売機の設置に当たっては、事前に関東地方整備局と協議し、必要な手続きを実施し

た上で設置すること。

3．自動販売機を第三者に譲渡又は貸与してはならないこと。

4．販売品の搬入・廃棄物の搬出は、可能な限り休園日に行う等、公園利用を阻害しないよう配慮することとし、時間及び経路については、関東地方整備局の指示に従うこと。

第３章 自主事業における行催事等

第６７条 自主事業における行催事及び広報

１．維持管理業務受託者は、公園の利便性や魅力をより一層高めるため、独立採算により、自主事業（広報宣伝を含む）を行うことが出来る。

２．行催事を開催する場合は、本公園の利用増につながる各種行催事の主催、共催も可能とする。

３．維持管理業務受託者は、本公園の利用促進等のために自主事業の実施についてあらかじめ関東地方整備局と協議すること。なお、自主事業の内容が本公園利用に相応しくない場合、その実施を認めない場合がある。

４．維持管理業務受託者は、自主事業による公園施設の利用が他の公園利用者の利用や安全に支障が生じないよう、十分に調整を図って対応すること。

５．維持管理業務受託者は、自主事業の実施に当たり、都市公園法（昭和 31 年法律第 79 号）第５条、第６条又は第 12 条に基づく許可を得る必要がある場合、開園時間の延長に伴うものは２ヶ月前、伴わないものは１ヶ月前を目安に関係者と調整を行い、準備作業開始の１週間前までには申請書を関東地方整備局に提出して許可を受けなければならない。

６．維持管理業務受託者は、自主事業の実施に当たり、仮設工作物等都市公園法第６条に規定される占用物件が生じる場合、都市公園法施行令（昭和 31 年政令第 290 号）第 20 条に基づき、建物使用料又は土地使用料を納めることが必要となる場合がある。

７．維持管理業務受託者は、自主事業の実施に当たり、都市公園法施行令第 20 条に基づく都市公園法第５条又は第６条の許可を受けた範囲の維持管理にかかる費用（水道、電気料金を含む）を負担するものとする。

８．維持管理業務受託者は、自主事業の実施に当たり、協賛企業から協賛金を募り、実施費用に当てることができる。また、事前に関東地方整備局の承諾を得た上で、以下のことができる。

１）自主事業の実施場所等に協賛企業の名称等の表示（はり紙、はり札等、広告旗、立看板、広告幕及びアドバルーン等への協賛企業名の表示）等を行うことができる。この場合、長野県の屋外広告物に関する規制等、関係法令等を遵守すること。

２）協賛企業に自己の協賛内容を広報宣伝させることができる。

３）自らが作成する自主事業に関するポスター・パンフレット・スタッフジャンパー等に、協賛企業の名称等を表示させることができる。

９．維持管理業務受託者は、調査職員が自主事業に関する収支状況等の報告を求めた場合にはそれに応じなければならない。

第６８条 自主事業における飲食・物販施設等の設置運営及び既存施設の改修運営

１．施設等運営者は、利用者サービスの向上のため本公園の基本計画等との整合が図られ、かつ優良な投資を伴う提案に基づき施設を新設（別添 46「自主事業における飲食・物販施設等の設置管理運営可能範囲」に定める範囲に限る）、又は指定する既存施設（別添 47「収益施設及び指定する既存施設一覧」に定める施設）を改修し管理運営することができる。

２．新設又は改修によって管理運営する場合は、本業務の実施期間を超えて 10 年間を限度とし

て実施することができる。この場合、実施期間終了後は自主事業ではなくなるが、都市公園法第５条の許可に基づき実施できるものであり、公園管理者が承認した場合は、許可期間終了後の許可の更新（共同体の場合は構成員単独への承継）も可能である。なお、指定する既存施設を改修して自主事業を行う場合、改修工事にあたっては、閑散期における改修工事や、代替の仮設施設によるサービス提要など、公園利用者へのサービス水準の維持に努めることとする。

３．実施期間終了時又は許可期間終了時（更新が行われた場合は除く）は、自己の負担において原状回復しなければならないが、公園管理者が特別に承認した場合はこの限りではない。

４．新設又は改修による飲食・物販施設において管理運営する場合についても、本規定書第１編及び本章第 49 条から第 61 条までの規定に準じて実施すること。

別紙－10

従来の実施状況に関する情報の開示

1　従来の実施に要した経費

（単位：千円）

			28年度	29年度	30年度
	人件費	常勤職員			
		非常勤職員			
	物件費				
	委託費等	委託費定額部分	405,895	688,184	
		成果報酬等			
		旅費その他			
計(a)					
参考値(b)	減価償却費				
	退職給付費用				
	間接部門費				
(a)＋(b)					

（注記事項）
・委託費定額部分の内訳は以下のとおりである。
・平成28年6月に堀金・穂高地区49ha、大町・松川地区142haを追加供用し全園開園。

運営維持管理業務（収益施設等管理運営業務にかかる費用を除く）

（単位：千円）

	28年度	29年度	30年度
植物管理	119,549,284	175,849,809	
建 物 管 理	5,619,340	11,671,079	
工作物管理	34,773,282	49,884,752	
清　　掃	17,683,428	30,710,846	
運営管理	105,546,039	184,884,423	
公園管理	56,011,471	126,278,470	
一般管理費等	36,646,042	57,927,938	
消費税	30,066,311	50,976,585	
計	405,895,197	688,183,902	

2．従来の実施に要した人員

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
常勤職員	0	0	0
非常勤職員	0	0	0

（平成31年度の業務従事者に求められる知識・経験等）

1．知識、経験に関する要件

同種又は類似業務の経験

2．技術力に関する要件

○植物管理業務責任者

・1級造園施工管理技士

（過去の業務従事者に求められる知識・経験等）

・入札の対象となる業務は全て外部委託として実施していた。業務実施の際、従事者に求められる知識・経験等は以下のとおりであった。（平成28年度）

1．知識、経験に関する要件

		①本業務全体のマネジメント及び企画立案業務の業務責任者(総括責任者)	②施設・設備維持管理業務の業務責任者	③植物管理業務の業務責任者	④収益施設等管理運営業務の業務責任者
業務の経験※1		下記に示す同種又は類似業務（平成 12 年度以降に完了した履行期間が概ね 12 ヶ月以上の業務に限る）の経験を有すること（申請書類提出時において実施中の業務にあっては、平成 28 年 3 月 31 日までに完了するもの）			
	同種業務の経験	下記の1)～2)のいずれかを対象とした業務全体のマネジメント及び企画立案業務（本実施要項1.2.1参照）の実績を有し、かつ、下記のｱ)～ｳ)のいずれかの経験を有すること	下記の1)～2)のいずれかを対象とした施設・設備維持管理業務（本実施要項1.2.2参照）に関する業務の実績を有し、かつ、施設・設備維持管理業務に関する下記のｴ)又はｵ)のいずれかの経験を有すること	下記の1)～2)のいずれかを対象とした植物管理業務（本実施要項1.2.3参照）に関する業務の実績を有し、かつ、植物管理業務に関する下記のｴ)又はｵ)のいずれかの経験を有すること	下記の1)～2)のいずれかを対象とした収益施設等管理運営業務（本実施要項1.2.4参照）に関する業務の実績（収益施設のうち、いずれか１種類以上の運営を行った実績）を有し、かつ、収益施設等管理運営業務に関する下記のｴ)又はｵ)のいずれかの経験を有すること
		1)都市公園の種別として、総合公園以上（総合公園、運動公園、広域公園及び国営公園） 2)レクリエーション施設※4 又は観光・商業施設※5 で、2ha以上の園地管理※6を行っている施設			
		ｱ)延べ２年以上の総括責任者※2の経験 ｲ)延べ３年以上の業務責任者※3の経験 ｳ)総括責任者※2または業務責任者※3の経験を有し、かつ技術士（建設部門：都市及び地方計画）または技術士（総合技術監理部門：建設）の資格を有する者	ｴ)延べ２年以上の業務責任者※3 の経験 ｵ)延べ３年以上の業務経験		
	類似業務の経験	下記の4)～5)のいずれかを対象とした業務全体のマネジメント及び企画立案業務（本実施要項1.2.1参照）の実績を有し、かつ、下記のｱ)～ｳ)のいずれかの経験を有すること 又は、下記の3)～5)のいずれかを対象としたマネジメント、企画運営管理、施設・設備維持管理業務、植物管理業務、収益施設等管理運営業務（本実施要項1.2.1(1)、(2)、1.2.2～1.2.4参照）のいずれかに関する業務の実績を有し、かつマネジメント、企画運営管理、施設・設備維持管理業務、植物管理業務、収益施設等管理運営業務のいずれかに関する下記のｲ)又はｳ)のいずれかの経験を有すること	下記の4)～5)のいずれかを対象とした施設・設備維持管理業務（本実施要項1.2.2参照）に関する業務の実績を有し、かつ、施設・設備維持管理業務に関する下記のｴ)又はｵ)のいずれかの経験を有すること	下記の4)～5)のいずれかを対象とした植物管理業務に関する業務（本実施要項1.2.3参照）の実績を有し、かつ、植物管理業務に関する下記のｴ)又はｵ)のいずれかの経験を有すること	下記の4)～5)のいずれかを対象とした収益施設等管理運営業務（本実施要項1.2.4参照）に関する業務の実績（収益施設のうち、いずれか１種類以上の運営を行った実績）を有し、かつ、収益施設等運営業務に関する下記のｴ)又はｵ)のいずれかの経験を有すること
		3)都市公園の種別として、総合公園以上（総合公園、運動公園、広域公園及び国営公園） 4)都市公園の種別として、地区公園又は特殊公園 5)レクリエーション施設※4 又は観光・商業施設※5 で、園地管理※6を行っている施設			
		ｱ)延べ３年以上の総括責任者※2の経験 ｲ)延べ４年以上の業務責任者※3の経験 ｳ)延べ１年以上の総括責任者※2または延べ２年以上の業務責任者※3の経験を有し、かつ技術士（建設部門：都市及び地方計画）または技術士（総合技術監理部門：建設）の資格を有する者	ｴ)延べ３年以上の業務責任者※3 の経験 ｵ)延べ４年以上の業務経験		
資格		－	－	１級造園施工管理技士	－

2．技術力に関する要件

1級造園施工管理技士 1名以上

（業務の繁閑の状況とその対応）

なし

（注記事項）

・運営維持管理業務の人員のみ（収益施設等管理運営業務に係る人員は除く。）。
・平成28年度、委託企業の職員20名、契約職員4名、臨時職員20名、契約アルバイト（パート）8名が従事していた。
・平成29年度、委託企業の職員21名、契約職員4名、臨時職員21名、契約アルバイト（パート）8名が従事していた。
・従事者に求める知識や技術は、平成28年時の資格要件である。

3　従来の実施に要した施設及び設備（委託事業者に対して供与した施設・設備）
・別紙－１「主要公園施設一覧」、別紙－２「主要建築物一覧」、別紙－２１「提供物品一覧（機械器具等）」及び別紙－３４「建物・工作物に係る修繕履歴（修繕箇所、費用等）」を参照
（注記事項） ・運営維持管理業務の施設・設備のみ（収益施設等管理運営業務に係る施設・設備はのぞく。）。

4　従来の実施における目的の達成の程度

■年間指標

			平成28年度		平成29年度		平成30年度	
			目標計画	実績	目標計画	実績	目標計画	実績
有料区域の公園利用者数※1		堀金･穂高地区	232,000 人	245,566 人	236,000 人	248,825 人	236,000 人	
		大町･松川地区	152,000 人	165,436 人	153,000 人	161,929 人	153,000 人	
公園の運営に関する「満足」の回答比率※2		堀金･穂高地区	64.0%	65.3%	64.0%	73.4%	64.0%	
		大町･松川地区	63.0%	67.9%	63.0%	72.5%	63.0%	
植物管理に関する「満足」の回答比率※3		堀金･穂高地区	67.0%	67.6%	67.0%	69.4%	67.0%	
		大町･松川地区	70.0%	72.2%	70.0%	72.2%	70.0%	
多様な利用プログラムの提供	体験プログラムの開催種数※4	堀金･穂高地区	88 種	157 種	95 種	137 種	95 種	
		大町･松川地区	89 種	105 種	90 種	112 種	90 種	
	体験プログラムの延べ参加人数※4	堀金･穂高地区	24,300 人	61,787 人	24,400 人	51,094 人	24,400 人	
		大町･松川地区	28,500 人	36,395 人	29,000 人	35,033 人	29,000 人	
情報受発信の充実	マスコミによる報道件数※5		1,494 件	2,661 件	1,494 件	3,106 件	1,494 件	
	ホームページの総アクセス件数		407,000 件	488,932 件	407,000 件	483,855 件	407,000 件	

■四半期指標

		平成28年度							
		4～6月		7～9月		10～12月		1～3月	
		目標計画	実績	目標計画	実績	目標計画	実績	目標計画	実績
有料区域の公園利用者数※1	堀金･穂高地区	96,000 人	77,628 人	114,000 人	68,589 人	128,000 人	73,579 人	45,000 人	25,770 人
	大町･松川地区		49,943 人		57,840 人		42,332 人		15,321 人
公園の運営に関する「満足」の回答比率※2	堀金･穂高地区	61.0%	66.1%	66.0%	68.2%	63.0%	60.4%	65.0%	65.4%
	大町･松川地区	62.0%	68.0%	64.0%	66.5%	69.0%	70.4%	56.0%	67.2%

		平成29年度							
		4～6月		7～9月		10～12月		1～3月	
		目標計画	実績	目標計画	実績	目標計画	実績	目標計画	実績
有料区域の公園利用者数※1	堀金･穂高地区	101,000 人	80,036 人	114,000 人	73,763 人	128,000 人	70,192 人	45,000 人	24,834 人
	大町･松川地区		52,472 人		54,725 人		38,255 人		16,477 人
公園の運営に関する「満足」の回答比率※2	堀金･穂高地区	61.0%	75.2%	66.0%	67.1%	63.0%	71.9%	65.0%	79.2%
	大町･松川地区	62.0%	74.2%	64.0%	70.5%	69.0%	69.1%	56.0%	76.2%

		平成30年度							
		4～6月		7～9月		10～12月		1～3月	
		目標計画	実績	目標計画	実績	目標計画	実績	目標計画	実績
有料区域の公園利用者数※1	堀金･穂高地区	101,000 人	96,940 人	114,000 人	72,955 人	128,000 人		45,000 人	
	大町･松川地区		51,331 人		58,355 人				
公園の運営に関する「満足」の回答比率※2	堀金･穂高地区	61.0%	77.2%	66.0%	70.0%	63.0%		65.0%	
	大町･松川地区	62.0%	70.5%	64.0%	72.5%	69.0%		56.0%	

(注記事項)

1．(指標の意義、選定根拠)

運営管理の基本方針に基づいた公園の管理運営による効果を客観的に評価するための指標。
運営管理の重点事項を選定している。

2．(目標値・計画値の設定根拠)

過年度実績をもとに設定。

3．(実績の計算・把握の方法)

実施要項1．3．4．モニタリング方法による。
管理者からの管理月報及び公園の利用に関するアンケート調査より。
平成28年6月に堀金・穂高地区49ha、大町・松川地区142haを追加供用し全園開園。

4．表中の注記は以下のとおり。

※1：公園利用者数の集計方法は別紙－12「公園利用者数および公園利用者数のカウント方法」による。
※2：年間及び四半期毎の「公園の利用に関するアンケート調査」(別紙－13)のQ6「公園には満足されましたか？」における「満足」の回答比率の平均値。
※3：春季、夏季、秋季の「公園利用者アンケート」(別紙－13)のQ7「②花や樹木の手入れの良さ」における「満足」の回答比率。
※4：体験プログラムとは、以下に示すプログラムとする。
①事業者職員又は公園ボランティアが直接運営するもの
　堀金・穂高地区：あづみの学校の「理科教室」「芸術教室」「社会科教室」で行うプログラム、里山文化ゾーンにおける農体験プログラム
　大町・松川地区：森の体験舎において食、工芸等の体験を行うプログラム及び園内の自然観察プログラム
②事業者職員又は公園ボランティアが地域の団体等と連携して運営するもの
　両地区共通：大北又は安曇野地域の自然、歴史、文化に関連したプログラム
※5：マスコミ報道件数の目標とは、以下のそれぞれの件数と合計件数。
委託費による有料広告等についてはカウントできないが、委託費によらない自主事業等による有料広告等はカウントできるものとする。
・テレビ(NHK・民放)・ラジオ(AM、FM)の放送件数で、1番組につき1カウントとする。
・一般社団法人日本新聞協会加盟の新聞・大糸タイムス、販売や配布エリアが安曇野市、大町市域を超える範囲の雑誌・情報誌への紙面掲載件数で、新聞については1紙／回につき1カウントとし、雑誌・情報誌については、1冊／回につき1カウントとする。但しホームページ等インターネット記事掲載は除く。

5　従来の実施方法等

従来の実施方法
・業務区分表参照

（事業の目的を達成する観点から重視している事項）
・地域特性を生かした植物管理、多様な利用プログラムの提供、情報の受発信の充実を一元的に検討し、利用者数および満足度を目標としている。

（注記事項）
・公園利用者数および公園利用者数のカウント方法(別紙－12)、公園利用者アンケート(別紙－13)、体験プログラム一覧(別紙－15)、広報・報道実績（別紙－16）

業務区分表

	業務内容	業務細目	現状			民間競争入札			備考
			国土交通省	A（主な受託者）	A以外の業者	国土交通省	B（主な受託者）	B以外の業者	（作業時期・頻度・条件等）
国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務	①本業務全体のマネジメント及び企画立案業務	マネジメント		○			○		通年
		企画運営管理		○			○		通年
	②施設・設備維持管理業務	維持修繕・保守点検		○			○		通年
		清掃		○			○		通年
	③植物管理業務	植物管理		○			○		通年
	④収益施設等管理運営業務	収益施設運営		○			○		通年
		自主事業		○			○		通年

別記様式第7

別紙－11

平成28年度

精　算　報　告　書

（国営アルプスあづみの公園）　【両地区合計】　（単位：円）

経　費　区　分	予定経費 (A)	支出額 (B)	過不足額 (A)－(B)	摘　要
植物管理	187,716,328	167,332,929	20,383,399	89.1%
芝生管理	25,192,076	23,763,240	1,428,836	
中低木管理	5,352,742	10,104,122	▲ 4,751,380	
高木管理	4,410,854	3,241,676	1,169,178	
林地管理	40,451,950	35,750,704	4,701,246	
草地管理	12,257,423	17,924,026	▲ 5,666,603	
花壇管理	8,531,322	15,525,243	▲ 6,993,921	
花畑管理	42,756,467	28,997,925	13,758,542	
草花管理	46,579,207	29,835,841	16,743,366	
特殊管理	332,682	695,521	▲ 362,839	
耕作地管理	1,851,605	1,494,631	356,974	
建 物 管 理	10,473,000	10,034,449	438,551	95.8%
建物維持修繕	3,589,000	3,085,855	503,145	
建物設備維持修繕	6,884,000	6,948,594	▲ 64,594	
工作物管理	47,116,000	56,491,649	▲ 9,375,649	119.9%
工作物維持修繕	11,467,000	13,716,100	▲ 2,249,100	
設備維持修繕	35,649,000	42,775,549	▲ 7,126,549	
清　　掃	30,138,000	31,331,041	▲ 1,193,041	104.0%
清掃工	30,138,000	31,331,041	▲ 1,193,041	
運営管理	172,326,250	188,327,663	▲ 16,001,413	109.3%
利用者指導	91,340,250	97,453,375	▲ 6,113,125	
自動車維持費	1,766,000	3,005,814	▲ 1,239,814	
広報宣伝費	79,220,000	87,868,474	▲ 8,648,474	
公園管理	128,009,000	122,260,847	5,748,153	95.5%
人件費	112,809,000	106,741,848	6,067,152	
旅費	1,000,000	735,607	264,393	
庁費	14,200,000	14,783,392	▲ 583,392	
業務原価	575,778,578	575,778,578	0	
一般管理費等	57,577,857	57,577,857	0	
業務価格	633,356,435	633,356,435	0	
消費税	50,668,515	50,668,515	0	
計	684,024,950	684,024,950	0	

別記様式第7

平成28年度

精　算　報　告　書

（国営アルプスあづみの公園）　【堀金・穂高地区】　（単位：円）

経　費　区　分	予定経費 (A)	支出額 (B)	過不足額 (A)-(B)	摘　要
植物管理	146,487,671	119,549,284	26,938,387	
芝生管理	13,602,582	11,938,596	1,663,986	
中低木管理	2,421,819	5,386,449	▲ 2,964,630	
高木管理	3,250,914	2,945,665	305,249	
林地管理	21,452,202	12,103,316	9,348,886	
草地管理	12,257,423	17,924,026	▲ 5,666,603	
花壇管理	7,858,489	12,773,653	▲ 4,915,164	
花畑管理	42,362,178	25,721,551	16,640,627	
草花管理	41,097,777	28,565,876	12,531,901	
特殊管理	332,682	695,521	▲ 362,839	
耕作地管理	1,851,605	1,494,631	356,974	
建 物 管 理	6,023,000	5,619,340	403,660	
建物維持修繕	1,193,000	969,254	223,746	
建物設備維持修繕	4,830,000	4,650,086	179,914	
工作物管理	25,194,000	34,773,282	▲ 9,579,282	
工作物維持修繕	7,460,000	7,936,714	▲ 476,714	
設備維持修繕	17,734,000	26,836,568	▲ 9,102,568	
清　　掃	18,516,000	17,683,428	832,572	
清掃工	18,516,000	17,683,428	832,572	
運営管理	97,276,750	105,546,039	▲ 8,269,289	
利用者指導	51,039,750	51,431,982	▲ 392,232	
自動車維持費	877,000	1,876,190	▲ 999,190	
広報宣伝費	45,360,000	52,237,867	▲ 6,877,867	
公園管理	72,963,000	56,011,471	16,951,529	
人件費	63,183,000	47,095,374	16,087,626	
旅費	550,000	150,514	399,486	
庁費	9,230,000	8,765,583	464,417	
業務原価	366,460,421	339,182,844	27,277,577	
一般管理費等	36,646,042	36,646,042	0	
業務価格	403,106,463	375,828,886	27,277,577	
消費税	32,248,517	30,066,311	2,182,206	
計	435,354,980	405,895,197	29,459,783	

別記様式第7

平成28年度

精　算　報　告　書

（国営アルプスあづみの公園）　【大町・松川地区】　（単位：円）

経　費　区　分	予定経費 (A)	支出額 (B)	過不足額 (A)-(B)	摘　要
植物管理	41,228,657	47,783,645	▲ 6,554,988	
芝生管理	11,589,494	11,824,644	▲ 235,150	
中低木管理	2,930,923	4,717,673	▲ 1,786,750	
高木管理	1,159,940	296,011	863,929	
林地管理	18,999,748	23,647,388	▲ 4,647,640	
草地管理	0	0	0	
花壇管理	672,833	2,751,590	▲ 2,078,757	
花畑管理	394,289	3,276,374	▲ 2,882,085	
草花管理	5,481,430	1,269,965	4,211,465	
特殊管理	0	0	0	
耕作地管理	0	0	0	
建 物 管 理	4,450,000	4,415,109	34,891	
建物維持修繕	2,396,000	2,116,601	279,399	
建物設備維持修繕	2,054,000	2,298,508	▲ 244,508	
工作物管理	21,922,000	21,718,367	203,633	
工作物維持修繕	4,007,000	5,779,386	▲ 1,772,386	
設備維持修繕	17,915,000	15,938,981	1,976,019	
清　　掃	11,622,000	13,647,613	▲ 2,025,613	
清掃工	11,622,000	13,647,613	▲ 2,025,613	
運営管理	75,049,500	82,781,624	▲ 7,732,124	
利用者指導	40,300,500	46,021,393	▲ 5,720,893	
自動車維持費	889,000	1,129,624	▲ 240,624	
広報宣伝費	33,860,000	35,630,607	▲ 1,770,607	
公園管理	55,046,000	66,249,376	▲ 11,203,376	
人件費	49,626,000	59,646,474	▲ 10,020,474	
旅費	450,000	585,093	▲ 135,093	
庁費	4,970,000	6,017,809	▲ 1,047,809	
業務原価	209,318,157	236,595,734	▲ 27,277,577	
一般管理費等	20,931,815	20,931,815	0	
業務価格	230,249,972	257,527,549	▲ 27,277,577	
消費税	18,419,998	20,602,204	▲ 2,182,206	
計	248,669,970	278,129,753	▲ 29,459,783	

別記様式第7

平成29年度

精　算　報　告　書

（国営アルプスあづみの公園）　【両地区合計】　（単位：円）

経　費　区　分	予定経費 (A)	支出見込額 (B)	過不足額 (A)-(B)	摘　要
植物管理	187,716,329	175,849,809	11,866,520	93.7%
芝生管理	25,192,076	18,438,001	6,754,075	
中低木管理	5,352,742	7,491,979	▲ 2,139,237	
高木管理	4,410,854	2,306,035	2,104,819	
林地管理	40,451,951	41,926,866	▲ 1,474,915	
草地管理	12,257,423	19,507,070	▲ 7,249,647	
花壇管理	8,531,322	17,094,725	▲ 8,563,403	
花畑管理	42,756,467	35,798,684	6,957,783	
草花管理	46,579,207	30,456,994	16,122,213	
特殊管理	332,682	258,510	74,172	
耕作地管理	1,851,605	2,570,945	▲ 719,340	
建 物 管 理	10,173,000	11,671,079	▲ 1,498,079	114.7%
建物維持修繕	3,289,000	3,881,893	▲ 592,893	
建物設備維持修繕	6,884,000	7,789,186	▲ 905,186	
工作物管理	47,116,000	49,884,752	▲ 2,768,752	105.9%
工作物維持修繕	11,467,000	13,720,567	▲ 2,253,567	
設備維持修繕	35,649,000	36,164,185	▲ 515,185	
清　　掃	30,769,000	30,710,846	58,154	99.8%
清掃工	30,769,000	30,710,846	58,154	
運営管理	173,237,050	184,884,423	▲ 11,647,373	106.7%
利用者指導	94,249,050	103,751,046	▲ 9,501,996	
自動車維持費	1,768,000	3,622,164	▲ 1,854,164	
広報宣伝費	77,220,000	77,511,213	▲ 291,213	
公園管理	130,268,000	126,278,470	3,989,530	96.9%
人件費	115,068,000	113,397,107	1,670,893	
旅費	1,000,000	630,355	369,645	
庁費	14,200,000	12,251,008	1,948,992	
業務原価	579,279,379	579,279,379	0	
一般管理費等	57,927,938	57,927,938	0	
業務価格	637,207,317	637,207,317	0	
消費税	50,976,585	50,976,585	0	
計	688,183,902	688,183,902	0	

別記様式第7

平成29年度

精　算　報　告　書

（国営アルプスあづみの公園）　【堀金・穂高地区】　（単位：円）

経　費　区　分	予定経費 (A)	支出見込額 (B)	過不足額 (A)-(B)	摘　要
植物管理	146,487,671	122,781,775	23,705,896	
芝生管理	13,602,582	10,586,573	3,016,009	
中低木管理	2,421,819	3,296,238	▲ 874,419	
高木管理	3,250,914	2,115,643	1,135,271	
林地管理	21,452,202	13,897,024	7,555,178	
草地管理	12,257,423	19,507,070	▲ 7,249,647	
花壇管理	7,858,489	13,575,038	▲ 5,716,549	
花畑管理	42,362,178	27,192,166	15,170,012	
草花管理	41,097,777	29,782,568	11,315,209	
特殊管理	332,682	258,510	74,172	
耕作地管理	1,851,605	2,570,945	▲ 719,340	
建 物 管 理	5,873,000	5,988,917	▲ 115,917	
建物維持修繕	1,043,000	735,309	307,691	
建物設備維持修繕	4,830,000	5,253,608	▲ 423,608	
工作物管理	25,194,000	30,733,317	▲ 5,539,317	
工作物維持修繕	7,460,000	8,595,919	▲ 1,135,919	
設備維持修繕	17,734,000	22,137,398	▲ 4,403,398	
清　　掃	18,531,000	17,702,447	828,553	
清掃工	18,531,000	17,702,447	828,553	
運営管理	98,781,550	99,507,097	▲ 725,547	
利用者指導	53,543,550	53,325,045	218,505	
自動車維持費	878,000	1,645,148	▲ 767,148	
広報宣伝費	44,360,000	44,536,904	▲ 176,904	
公園管理	74,363,000	55,595,699	18,767,301	
人件費	64,583,000	48,290,898	16,292,102	
旅費	550,000	85,078	464,922	
庁費	9,230,000	7,219,723	2,010,277	
業務原価	369,230,221	332,309,252	36,920,969	
一般管理費等	36,923,022	33,230,925	3,692,097	
業務価格	406,153,243	365,540,177	40,613,066	
消費税	32,492,259	29,243,214	3,249,045	
計	438,645,502	394,783,391	43,862,111	

別記様式第7

平成29年度

精　算　報　告　書

（国営アルプスあづみの公園）　【大町・松川地区】　（単位：円）

経　費　区　分	予定経費 (A)	支出見込額 (B)	過不足額 (A)-(B)	摘　要
植物管理	41,228,658	53,068,034	▲ 11,839,376	
芝生管理	11,589,494	7,851,428	3,738,066	
中低木管理	2,930,923	4,195,741	▲ 1,264,818	
高木管理	1,159,940	190,392	969,548	
林地管理	18,999,749	28,029,842	▲ 9,030,093	
草地管理	0	0	0	
花壇管理	672,833	3,519,687	▲ 2,846,854	
花畑管理	394,289	8,606,518	▲ 8,212,229	
草花管理	5,481,430	674,426	4,807,004	
特殊管理	0	0	0	
耕作地管理	0	0	0	
建 物 管 理	4,300,000	5,682,162	▲ 1,382,162	
建物維持修繕	2,246,000	3,146,584	▲ 900,584	
建物設備維持修繕	2,054,000	2,535,578	▲ 481,578	
工作物管理	21,922,000	19,151,435	2,770,565	
工作物維持修繕	4,007,000	5,124,648	▲ 1,117,648	
設備維持修繕	17,915,000	14,026,787	3,888,213	
清　　掃	12,238,000	13,008,399	▲ 770,399	
清掃工	12,238,000	13,008,399	▲ 770,399	
運営管理	74,455,500	85,377,326	▲ 10,921,826	
利用者指導	40,705,500	50,426,001	▲ 9,720,501	
自動車維持費	890,000	1,977,016	▲ 1,087,016	
広報宣伝費	32,860,000	32,974,309	▲ 114,309	
公園管理	55,905,000	70,682,771	▲ 14,777,771	
人件費	50,485,000	65,106,209	▲ 14,621,209	
旅費	450,000	545,277	▲ 95,277	
庁費	4,970,000	5,031,285	▲ 61,285	
業務原価	210,049,158	246,970,127	▲ 36,920,969	
一般管理費等	21,004,916	24,697,013	▲ 3,692,097	
業務価格	231,054,074	271,667,140	▲ 40,613,066	
消費税	18,484,326	21,733,371	▲ 3,249,045	
計	249,538,400	293,400,511	▲ 43,862,111	

公園利用者数および公園利用者数のカウント方法

平成28度　国営アルプスあづみの公園（ＨＨ地区）　利用状況総括表

	区　分			4月	5月	6　月	7　月	8　月	9　月	10　月	11　月	12　月	1　月	2　月	3　月	合計(12ヶ月)
入園者数（人）	入園者実績			17,400	53,047	14,486	17,304	47,381	11,892	17,303	17,016	45,036	16,015	5,183	8,109	270,172
	有料区域	有料	中央口ゲート	10,270	13,012	4,627	10,101	31,922	6,077	6,390	10,708	32,048	10,883	2,696	4,051	142,785
			穂高口ゲート	1,716	3,772	748	1,166	2,341	777	902	600	434	157	96	533	13,242
			堀金口ゲート	0	0	95	124	100	50	181	50	17	5	5	29	656
			岩原口ゲート	0	0	104	153	123	287	62	16	16	1	27	3	792
			計	11,986	16,784	5,574	11,544	34,486	7,191	7,535	11,374	32,515	11,046	2,824	4,616	157,475
		パスポート	大　人	254	234	244	281	303	218	203	268	292	225	166	238	2,926
			小　人	42	28	28	36	91	41	27	50	41	25	15	36	460
			シルバー	85	94	55	88	98	72	158	142	71	118	104	121	1,206
			計	381	356	327	405	492	331	388	460	404	368	285	395	4,592
		無料入園者		2,808	32,805	6,607	3,158	8,809	2,173	7,224	3,550	10,129	3,070	1,070	2,096	83,499
		小　計		15,175	49,945	12,508	15,107	43,787	9,695	15,147	15,384	43,048	14,484	4,179	7,107	245,566
	無料区域			2,225	3,102	1,978	2,197	3,594	2,197	2,156	1,632	1,988	1,531	1,004	1,002	24,606
	有料内訳（人）	一般大人		7,083	9,854	2,854	6,358	21,407	4,445	3,794	7,807	25,478	7,119	1,614	2,823	100,636
		一般小人		1,789	1,767	663	2,263	8,618	943	959	1,567	3,648	1,291	356	1,198	25,062
		シルバー		2,534	2,714	937	1,351	3,550	1,195	1,535	1,200	2,103	2,164	827	570	20,680
		団体大人		265	2,117	284	296	338	227	358	457	973	329	1	2	5,647
		団体小人		183	290	774	1,136	531	269	613	145	104	49	0	23	4,117
		団体シルバー		132	42	62	140	42	112	276	198	209	94	26	0	1,333
		パスポート発券数大人		25	36	17	25	10	6	15	14	4	10	5	15	182
		パスポート発券数小人		10	15	3	5	6	4	2	5	0	2	1	1	54
		パスポート発券数シルバー		9	12	3	18	5	3	4	3	1	13	4	6	81
入　園　料（円）				3,822,410	5,573,490	1,632,430	3,387,870	10,401,500	2,285,740	2,218,540	3,827,290	11,529,210	3,664,010	899,340	1,449,600	50,691,430
	障害者入園数			384	458	279	366	661	267	288	320	572	299	143	189	4,226
	ペット入園数			325	571	226	232	433	215	418	318	329	184	108	191	3,550
開　園　日　数（日）				26	27	26	29	31	26	26	26	29	26	24	27	323

※「有料区域・パスポート」は、パスポート購入者＋パスポート入園者

平成28年度　国営アルプスあづみの公園（ＯＭ地区）　利用状況総括表

	区　分			4月	5月	6　月	7　月	8　月	9　月	10　月	11　月	12　月	1　月	2　月	3　月	合計(12ヶ月)
入園者数（人）	入園者実績			7,005	33,506	9,432	15,288	35,203	7,349	18,662	8,262	15,408	6,366	5,295	3,660	165,436
	有料区域	有料	インフォメーション	4,602	9,282	3,504	10,558	25,782	4,897	5,906	4,798	9,125	3,734	3,050	2,095	87,333
			MTB	0	0	82	266	655	197	274	101	0	0	0	0	1,575
			計	4,602	9,282	3,586	10,824	26,437	5,094	6,180	4,899	9,125	3,734	3,050	2,095	88,908
		パスポート	大　人	147	252	172	293	289	168	183	193	195	167	143	114	2,316
			小　人	29	21	22	62	109	45	44	52	37	61	54	27	563
			シルバー	34	66	19	38	31	32	33	47	56	28	18	31	433
			計	210	339	213	393	429	245	260	292	288	256	215	172	3,312
		無料入園者		2,193	23,885	5,633	4,071	8,337	2,010	12,222	3,071	5,995	2,376	2,030	1,393	73,216
		小　計		7,005	33,506	9,432	15,288	35,203	7,349	18,662	8,262	15,408	6,366	5,295	3,660	165,436
	無料区域			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	有料内訳（人）	一般大人		2,671	5,648	1,868	4,862	13,098	2,457	2,884	3,053	6,747	2,514	1,980	1,141	48,923
		一般小人		1,287	1,417	647	2,094	6,870	929	1,050	973	1,463	785	770	668	18,953
		シルバー		470	917	389	852	2,024	431	597	472	591	243	222	212	7,420
		団体大人		131	788	440	880	2,171	684	1,247	196	231	63	57	21	6,909
		団体小人		36	493	196	1,910	1,784	513	353	192	58	121	20	51	5,727
		団体シルバー		7	19	46	226	490	80	49	13	35	8	1	2	976
		パスポート発券数大人		23	22	20	23	13	11	12	22	11	9	10	7	183
		パスポート発券数小人		12	4	4	12	12	3	3	0	3	2	1	2	58
		パスポート発券数シルバー		5	3	2	4	4	3	2	13	2	2	2	4	46
入　園　料（円）				1,452,430	2,978,470	1,135,790	2,850,320	7,237,810	1,466,810	1,837,180	1,615,360	3,136,360	1,213,270	983,760	613,530	26,521,090
	障害者入園数			114	290	214	215	439	201	135	134	201	104	79	100	2,226
	ペット入園数			186	427	107	129	257	92	174	125	96	70	33	44	1,740
開　園　日　数（日）				26	27	26	29	31	26	26	26	28	26	24	27	322

※「有料区域・パスポート」は、パスポート購入者＋パスポート入園者

平成28年度　国営アルプスあづみの公園（ＯＭ地区＋ＨＨ地区）　利用状況総括表

	区分			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(12ヶ月)
入園者数(人)	入園者実績			24,405	86,553	23,918	32,592	82,584	19,241	35,965	25,278	60,444	22,381	10,478	11,769	435,608
	有料区域	有料	中央口ゲート	10,270	13,012	4,627	10,101	31,922	6,077	6,390	10,708	32,048	10,883	2,696	4,051	142,785
			穂高口ゲート	1,716	3,772	748	1,166	2,341	777	902	600	434	157	96	533	13,242
			堀金口ゲート	0	0	95	124	100	50	181	50	17	5	5	29	656
			岩原口ゲート	0	0	104	153	123	287	62	16	16	1	27	3	792
			インフォメーション	4,602	9,282	3,504	10,558	25,782	4,897	5,906	4,798	9,125	3,734	3,050	2,095	87,333
			ＭＴＢ	0	0	82	266	655	197	274	101	0	0	0	0	1,575
			計	16,588	26,066	9,160	22,368	60,923	12,285	13,715	16,273	41,640	14,780	5,874	6,711	246,383
		パスポート	大　人	401	486	416	574	592	386	386	461	487	392	309	352	5,242
			小　人	71	49	50	98	200	86	71	102	78	86	69	63	1,023
			シルバー	119	160	74	126	129	104	191	189	127	146	122	152	1,639
			計	591	695	540	798	921	576	648	752	692	624	500	567	7,904
		無料入園者		5,001	56,690	12,240	7,229	17,146	4,183	19,446	6,621	16,124	5,446	3,100	3,489	156,715
		小　計		22,180	83,451	21,940	30,395	78,990	17,044	33,809	23,646	58,456	20,850	9,474	10,767	411,002
	無料区域			2,225	3,102	1,978	2,197	3,594	2,197	2,156	1,632	1,988	1,531	1,004	1,002	24,606
	有料内訳（人）	一般大人		9,754	15,502	4,722	11,220	34,505	6,902	6,678	10,860	32,225	9,633	3,594	3,964	149,559
		一般小人		3,076	3,184	1,310	4,357	15,488	1,872	2,009	2,540	5,111	2,076	1,126	1,866	44,015
		シルバー		3,004	3,631	1,326	2,203	5,574	1,626	2,132	1,672	2,694	2,407	1,049	782	28,100
		団体大人		396	2,905	724	1,176	2,509	911	1,605	653	1,204	392	58	23	12,556
		団体小人		219	783	970	3,046	2,315	782	966	337	162	170	20	74	9,844
		団体シルバー		139	61	108	366	532	192	325	211	244	102	27	2	2,309
		パスポート発券数大人		48	58	37	48	23	17	27	36	15	19	15	22	365
		パスポート発券数小人		22	19	7	17	18	7	5	5	3	4	2	3	112
		パスポート発券数シルバー		14	15	5	22	9	6	6	16	3	15	6	10	127
入園料（円）				5,274,840	8,551,960	2,768,220	6,238,190	17,639,310	3,752,550	4,055,720	5,442,650	14,665,570	4,877,280	1,883,100	2,063,130	77,212,520
	障害者入園数			498	748	493	581	1,100	468	423	454	773	403	222	289	6,452
	ペット入園数			511	998	333	361	690	307	592	443	425	254	141	235	5,290
開園日数（日）				26	27	26	29	31	26	26	26	29	26	24	27	323

※「有料区域・パスポート」は、パスポート購入者＋パスポート入園者

別紙P187

平成29度　国営アルプスあづみの公園（ＨＨ地区）　利用状況総括表

	区　分			4月	5月	6　月	7　月	8　月	9　月	10　月	11　月	12　月	1　月	2　月	3　月	合計(12ヶ月)
入園者数(人)	入園者実績(有料区域)			15,060	56,156	8,820	13,357	45,528	14,878	14,210	20,315	35,667	12,906	3,509	8,419	248,825
	有料区域	有料	中央口ゲート	10,433	17,154	5,124	8,998	31,637	6,517	6,439	14,490	28,518	9,599	2,083	4,649	145,641
			穂高口ゲート	1,228	3,436	980	810	2,996	1,190	1,115	630	273	113	67	769	13,607
			堀金口ゲート	51	298	43	48	193	76	80	28	7	9	0	68	901
			岩原口ゲート	98	560	22	55	605	558	34	24	12	13	16	14	2,011
			計	11,810	21,448	6,169	9,911	35,431	8,341	7,668	15,172	28,810	9,734	2,166	5,500	162,160
		パスポート	大　人	266	297	272	240	489	306	204	316	305	244	162	338	3,439
			小　人	74	62	35	62	142	41	26	71	46	35	29	66	689
			シルバー	151	175	127	92	141	157	138	174	205	178	182	196	1,916
			計	491	534	434	394	772	504	368	561	556	457	373	600	6,044
		無料入園者		2,759	34,174	2,217	3,052	9,325	6,033	6,174	4,582	6,301	2,715	970	2,319	80,621
		小　計		15,060	56,156	8,820	13,357	45,528	14,878	14,210	20,315	35,667	12,906	3,509	8,419	248,825
	無料区域			2,059	3,396	1,791	722	2,482	1,831	1,991	2,042	2,799	1,381	649	1,045	22,188
	合計（無料区域含む）			**17,119**	**59,552**	**10,611**	**14,079**	**48,010**	**16,709**	**16,201**	**22,357**	**38,466**	**14,287**	**4,158**	**9,464**	**271,013**
	有料内訳（人）	一般大人		6,252	13,017	3,705	5,175	22,409	5,130	4,115	10,946	22,814	6,378	1,293	3,218	104,452
		一般小人		1,312	1,517	861	1,962	8,510	1,040	1,073	1,884	3,096	1,188	274	1,347	24,064
		シルバー		2,469	4,434	1,099	1,022	3,713	1,715	1,790	1,443	1,655	1,766	599	818	22,523
		団体大人		1,571	1,938	111	362	358	212	255	554	850	303	0	43	6,557
		団体小人		138	436	318	1,363	417	192	297	104	91	64	0	26	3,446
		団体シルバー		68	106	75	27	24	52	138	241	304	35	0	48	1,118
		パスポート発券数大人		28	36	31	18	28	9	11	15	15	12	2	33	238
		パスポート発券数小人		11	9	8	10	10	3	1	1	0	0	0	0	53
		パスポート発券数シルバー		19	13	8	12	11	3	4	5	3	10	4	7	99
入　園　料（円）				3,827,040	7,177,650	2,032,860	2,779,130	10,923,830	2,674,250	2,320,970	5,230,880	10,331,660	3,249,500	694,440	1,772,770	53,014,980
	障害者入園数			404	658	302	402	794	469	336	430	465	348	139	260	5,007
	ペット入園数			436	997	290	266	716	538	454	458	401	201	140	344	5,241
開　園　日　数（日）				26	27	26	29	31	26	26	26	29	26	24	27	323

※「有料区域・パスポート」は、パスポート購入者＋パスポート入園者

平成29年度　国営アルプスあづみの公園（ＯＭ地区）　利用状況総括表

	区　分			4月	5月	6　月	7　月	8　月	9　月	10　月	11　月	12　月	1　月	2　月	3　月	合計(12ヶ月)
入園者数（人）	入園者実績			7,664	37,742	7,066	14,493	29,868	10,364	14,526	10,494	13,235	6,940	5,196	4,341	161,929
	有料区域	有料	インフォメーション	3,728	8,324	4,563	10,704	21,157	4,300	3,505	6,204	7,545	3,943	2,957	2,415	79,345
			MTB	60	377	176	240	1,081	223	281	187	0	59	0		2,684
			計	3,788	8,701	4,739	10,944	22,238	4,523	3,786	6,391	7,545	4,002	2,957	2,415	82,029
		パスポート	大　人	186	214	198	185	224	214	154	164	185	237	173	146	2,280
			小　人	63	53	63	48	62	54	20	41	45	41	40	36	566
			シルバー	29	51	39	50	36	46	36	59	23	31	16	41	457
			計	278	318	300	283	322	314	210	264	253	309	229	223	3,303
		無料入園者		3,598	28,723	2,027	3,266	7,308	5,527	10,530	3,839	5,437	2,629	2,010	1,703	76,597
		小　計		7,664	37,742	7,066	14,493	29,868	10,364	14,526	10,494	13,235	6,940	5,196	4,341	161,929
	無料区域			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	有料内訳（人）	一般大人		2,157	5,283	2,009	3,922	11,157	2,635	1,663	3,308	5,609	2,602	1,997	1,323	43,665
		一般小人		1,042	1,102	719	1,681	5,884	978	638	973	1,168	907	779	759	16,630
		シルバー		363	845	365	590	1,772	426	364	542	417	217	158	271	6,330
		団体大人		180	821	1,093	2,840	1,759	128	745	1,343	265	96	21	43	9,334
		団体小人		21	552	545	1,779	1,370	316	297	135	44	170	2	13	5,244
		団体シルバー		25	98	8	132	296	40	79	90	42	10	0	6	826
		パスポート発券数大人		15	10	19	13	14	19	8	7	11	9	12	23	160
		パスポート発券数小人		17	11	14	4	5	13	0	4	1	0	0	0	69
		パスポート発券数シルバー		4	3	2	1	3	1	4	3	2	1	0	3	27
入　園　料（円）				1,185,960	2,774,010	1,397,060	2,865,270	6,125,680	1,399,770	1,098,000	2,001,260	2,618,670	1,262,390	969,660	775,040	24,472,770
	障害者入園数			162	223	181	207	350	147	139	189	189	88	80	160	2,115
	ペット入園数			88	257	115	94	276	134	159	119	107	65	23	72	1,509
開　園　日　数（日）				26	27	26	29	31	26	26	26	28	26	24	27	322

※「有料区域・パスポート」は、パスポート購入者＋パスポート入園者

平成29年度　国営アルプスあづみの公園（ＯＭ地区＋ＨＨ地区）　利用状況総括表

	区　分			4月	5月	6　月	7　月	8　月	9　月	10月	11月	12月	1　月	2　月	3　月	合計(12ヶ月)
入園者数(人)	入園者実績(有料区域)			22,724	93,898	15,886	27,850	75,396	25,242	28,736	30,809	48,902	19,846	8,705	12,760	410,754
	有料区域	有料	中央口ゲート	10,433	17,154	5,124	8,998	31,637	6,517	6,439	14,490	28,518	9,599	2,083	4,649	145,641
			穂高口ゲート	1,228	3,436	980	810	2,996	1,190	1,115	630	273	113	67	769	13,607
			堀金口ゲート	51	298	43	48	193	76	80	28	7	9	0	68	901
			岩原口ゲート	98	560	22	55	605	558	34	24	12	13	16	14	2,011
			インフォメーション	3,728	8,324	4,563	10,704	21,157	4,300	3,505	6,204	7,545	3,943	2,957	2,415	79,345
			ＭＴＢ	60	377	176	240	1,081	223	281	187	0	59	0	0	2,684
			計	15,598	30,149	10,908	20,855	57,669	12,864	11,454	21,563	36,355	13,736	5,123	7,915	244,189
		パスポート	大　人	452	511	470	425	713	520	358	480	490	481	335	484	5,719
			小　人	137	115	98	110	204	95	46	112	91	76	69	102	1,255
			シルバー	180	226	166	142	177	203	174	233	228	209	198	237	2,373
			計	769	852	734	677	1,094	818	578	825	809	766	602	823	9,347
		無料入園者		6,357	62,897	4,244	6,318	16,633	11,560	16,704	8,421	11,738	5,344	2,980	4,022	157,218
		小　計		22,724	93,898	15,886	27,850	75,396	25,242	28,736	30,809	48,902	19,846	8,705	12,760	410,754
	無料区域			2,059	3,396	1,791	722	2,482	1,831	1,991	2,042	2,799	1,381	649	1,045	22,188
	総入園者数			**24,783**	**97,294**	**17,677**	**28,572**	**77,878**	**27,073**	**30,727**	**32,851**	**51,701**	**21,227**	**9,354**	**13,805**	**432,942**
	有料内訳（人）	一般大人		8,409	18,300	5,714	9,097	33,566	7,765	5,778	14,254	28,423	8,980	3,290	4,541	148,117
		一般小人		2,354	2,619	1,580	3,643	14,394	2,018	1,711	2,857	4,264	2,095	1,053	2,106	40,694
		シルバー		2,832	5,279	1,464	1,612	5,485	2,141	2,154	1,985	2,072	1,983	757	1,089	28,853
		団体大人		1,751	2,759	1,204	3,202	2,117	340	1,000	1,897	1,115	399	21	86	15,891
		団体小人		159	988	863	3,142	1,787	508	594	239	135	234	2	39	8,690
		団体シルバー		93	204	83	159	320	92	217	331	346	45	0	54	1,944
		パスポート発券数大人		43	46	50	31	42	28	19	22	26	21	14	56	398
		パスポート発券数小人		28	20	22	14	15	16	1	5	1	0	0	0	122
		パスポート発券数シルバー		23	16	10	13	14	4	8	8	5	11	4	10	126
入　園　料（円）				5,013,000	9,951,660	3,429,920	5,644,400	17,049,510	4,074,020	3,418,970	7,232,140	12,950,330	4,511,890	1,664,100	2,547,810	77,487,750
	障害者入園数			566	881	483	609	1,144	616	475	619	654	436	219	420	7,122
	ペット入園数			524	1,254	405	360	992	672	613	577	508	266	163	416	6,750
開　園　日　数（日）				26	27	26	29	31	26	26	26	29	26	24	27	323

※「有料区域・パスポート」は、パスポート購入者＋パスポート入園者

別紙P190

平成30年度　国営アルプスあづみの公園（ＨＨ地区）　利用状況総括表

※9/30現在

	区　分			4月	5月	6　月	7　月	8　月	9　月	10　月	11　月	12　月	1　月	2　月	3　月	合計(6ヶ月)
入園者数（人）	入園者実績(有料区域)			32,249	54,607	10,084	12,419	47,083	13,453							169,895
	有料区域	有料	中央口ゲート	19,433	13,517	4,615	6,114	23,567	5,473							72,719
			穂高口ゲート	2,474	2,634	674	480	1,616	1,215							9,093
			堀金口ゲート	314	425	42	51	207	57							1,096
			岩原口ゲート	1,090	2,279	18	142	1,540	339							5,408
			計	23,311	18,855	5,349	6,787	26,930	7,084							88,316
		パスポート	大　人	517	340	335	271	439	344							2,246
			シルバー	293	262	200	137	239	184							1,315
			計	810	602	535	408	678	528							3,561
		無料入園者		8,128	35,150	4,200	5,224	19,475	5,841							78,018
		小　計		32,249	54,607	10,084	12,419	47,083	13,453							169,895
	無料区域			4,264	4,956	1,117	1,522	4,811	1,987							18,657
	合計（無料区域含む）			**36,513**	**59,563**	**11,201**	**13,941**	**51,894**	**15,440**							**188,552**
	有料内訳（人）	一般大人		15,029	11,509	3,689	4,623	21,053	4,985							60,888
		シルバー		6,242	4,139	1,099	963	3,782	1,520							17,745
		2日券大人		116	63	41	142	705	65							1,132
		2日券シルバー		41	12	3	18	81	11							166
		団体大人		1,748	3,023	443	930	1,189	388							7,721
		団体シルバー		135	109	74	111	120	115							664
		2日券団体大人		0	0	0	0	0	0							0
		2日券団体シルバー		0	0	0	0	0	0							0
		パスポート発券数大人		58	33	22	17	18	7							155
		パスポート発券数シルバー		26	12	6	6	8	7							65
入　園　料（円）				8,992,990	7,156,000	2,167,700	2,740,190	11,108,630	2,780,570							34,946,080
	障害者入園数			915	672	315	241	761	380							3,284
	ペット入園数			927	1,129	316	276	774	549							3,971
開　園　日　数（日）				26	27	26	28	31	26							164

別紙P191

平成30年度　国営アルプスあづみの公園（ＯＭ地区）　利用状況総括表

※9/30現在

	区　分			4月	5月	6　月	7　月	8　月	9　月	10　月	11　月	12　月	1　月	2　月	3　月	合計(6ヶ月)
入園者数（人）	入園者実績			13,394	30,979	6,958	13,866	34,435	10,054							109,686
	有料区域	有料	インフォメーション	4,990	5,737	2,988	5,819	14,927	2,858							37,319
			MTB	236	227	115	144	755	109							1,586
			計	5,226	5,964	3,103	5,963	15,682	2,967							38,905
		パスポート	大　人	245	200	240	263	294	194							1,436
			シルバー	91	47	64	42	44	30							318
			計	336	247	304	305	338	224							1,754
		無料入園者		7,832	24,768	3,551	7,598	18,415	6,863							69,027
		小　計		13,394	30,979	6,958	13,866	34,435	10,054							109,686
	無料区域			0	0	0	0	0	0							0
	有料内訳（人）	一般大人		3,947	4,363	1,927	3,760	10,743	2,140							26,880
		シルバー		761	856	403	620	1,904	427							4,971
		2日券大人		76	18	10	142	410	33							689
		2日券シルバー		16	0	1	16	51	2							86
		団体大人		396	668	731	1,295	2,261	352							5,703
		団体シルバー		30	59	31	93	279	13							505
		2日券団体大人		0	0	0	37	34	0							71
		2日券団体シルバー		0	0	0	0	0	0							0
		パスポート発券数大人		14	15	27	23	20	7							106
		パスポート発券数シルバー		12	0	4	3	2	1							22
入　園　料（円）				2,187,300	2,425,720	1,305,430	2,415,030	6,272,320	1,208,080							15,813,880
	障害者入園数			245	207	206	329	518	170							1,675
	ペット入園数			195	231	68	125	278	121							1,018
開　園　日　数（日）				26	27	26	28	31	26							164

平成30年度　国営アルプスあづみの公園（ＯＭ地区＋ＨＨ地区）　利用状況総括表

※9/30現在

	区　分			4月	5月	6　月	7　月	8　月	9　月	10月	11月	12月	1　月	2　月	3　月	合計(6ヶ月)
入園者数(人)	入園者実績(有料区域)			45,643	85,586	17,042	26,285	81,518	23,507							279,581
	有料区域	有料	中央口ゲート	19,433	13,517	4,615	6,114	23,567	5,473							72,719
			穂高口ゲート	2,474	2,634	674	480	1,616	1,215							9,093
			堀金口ゲート	314	425	42	51	207	57							1,096
			岩原口ゲート	1,090	2,279	18	142	1,540	339							5,408
			インフォメーション	4,990	5,737	2,988	5,819	14,927	2,858							37,319
			ＭＴＢ	236	227	115	144	755	109							1,586
			計	28,537	24,819	8,452	12,750	42,612	10,051							127,221
		パスポート	大　人	762	540	575	534	733	538							3,682
			シルバー	384	309	264	179	283	214							1,633
			計	1,146	849	839	713	1,016	752							5,315
		無料入園者		15,960	59,918	7,751	12,822	37,890	12,704							147,045
		小　計		45,643	85,586	17,042	26,285	81,518	23,507							279,581
	無料区域			4,264	4,956	1,117	1,522	4,811	1,987							18,657
	総入園者数			**49,907**	**90,542**	**18,159**	**27,807**	**86,329**	**25,494**							**298,238**
	有料内訳（人）	一般大人		18,976	15,872	5,616	8,383	31,796	7,125							87,768
		シルバー		7,003	4,995	1,502	1,583	5,686	1,947							22,716
		2日券大人		192	81	51	284	1,115	98							1,821
		2日券シルバー		57	12	4	34	132	13							252
		団体大人		2,144	3,691	1,174	2,225	3,450	740							13,424
		団体シルバー		165	168	105	204	399	128							1,169
		2日券団体大人		0	0	0	37	34	0							71
		2日券団体シルバー		0	0	0	0	0	0							0
		パスポート発券数大人		72	48	49	40	38	14							261
		パスポート発券数シルバー		38	12	10	9	10	8							87
入　園　料（円）				11,180,290	9,581,720	3,473,130	5,155,220	17,380,950	3,988,650							50,759,960
	障害者入園数			1,160	879	521	570	1,279	550							4,959
	ペット入園数			1,122	1,360	384	401	1,052	670							4,989
開　園　日　数（日）				26	27	26	28	31	26							164

公園利用者数カウント方法

事業者は、下表に示す公園利用者数のカウント方法に基づき、毎日、公園利用者数を計測すること。

開園状況	対象者	カウント方法
通常開園日	有料入園者	・一般入園者は、自動改札機の券売数で集計 ・パスポート入園者は、発券数（初回）と改札口の係員によるカウンター（2 回目以降の利用）の合計で集計。 ・団体入園者は、改札口の係員がカウンターで集計。 ・団体入園者は、里山文化ゾーン改札口で田園文化ゾーンへの入園の有無を確認し、里山文化ゾーンのみ入園する場合は、改札口の係員がカウンターで集計。 ・堀金・穂高地区又は大町・松川地区の入園券でもう一方の地区を併せて利用する方については、改札口の係員がカウンターで集計。
	無料入園者	・未就学児・小中学生・身障者等の無料入園者は、改札口の係員がカウンターで集計。
入園無料日	全入園者	・改札口の係員が利用者別にカウンターで集計。
無料区域	全入園者	・調査職員等が別途指示する方法により集計。

入園券セット券等提携先

■提携先一覧（入園券付き宿泊プラン）　H30 年 10 月末時点

NO	ホテル名
1	（株）セラヴィリゾート泉郷
2	（株）ほりでーゆー
3	穂高ビューホテル（株）
4	（株）景水
5	黒部観光ホテル（株）

公園利用者アンケート

冬季調査ではQ7「②花や樹木の手入れの良さ」の問を除く

国営アルプスあづみの公園【堀金・穂高地区】
公園の利用についてのお客さまアンケート（春、夏、秋調査用）

Ｑ１．あなたの住所を教えて下さい。

1．安曇野市　2．松本市　3．長野市　4．大町市　5．塩尻市　6．池田町
7．松川村　8．白馬村　9．小谷村
10．その他の長野県内（市町村名　　）
11．東京都　12．愛知県　13．岐阜県
14．その他（道府県名　　）

Ｑ２．あなたの性別を教えて下さい。・・・・・ 男性 ・ 女性

Ｑ３．あなたの年齢を教えて下さい。

1．小学生　2．中学生　3．15～18 歳　4．19～29 歳
5．30～39 歳　6．40～49 歳　7．50～59 歳　8．60～64歳
9．65～69歳　10．70 歳以上

Ｑ４．本日はどなたといらっしゃいましたか？（1 つお答えください）

1．一人で　2．友人・知人と　3．カップルで　4．夫婦で
5．家族と　6．学校の団体　7．地域の団体　8．職場の団体
9．旅行団体　10．その他（　　）

Ｑ５．この公園にはたびたびいらっしゃいますか？

1．ほぼ毎日　2．週に１回以上　3．月に１回以上
4．年に数回　5．年に１回程度
6．数年に１回程度　7．今回が初めて

Ｑ６．公園には満足されましたか。（１つ選んで○をつけて下さい）

1．満足　2．まあまあ満足　3．普通　4．やや不満　5．不満

（その理由をお聞かせください：　　）

Ｑ７．公園を利用してみての感想を、①～⑦の各々の項目について、5 段階評価でお聞かせ下さい。（各々１つに○をつけて下さい）

	満足	まあまあ満足	普通	やや不満	不満
① 自然や緑の豊かさ、景色の良さ	5	4	3	2	1
② 花や樹木の手入れの良さ	5	4	3	2	1
③ 園内の清掃状況	5	4	3	2	1
④ 屋内・トイレの清掃状況	5	4	3	2	1
⑤ 体験メニュー	5	4	3	2	1
⑥ レストランの良さ	5	4	3	2	1
⑦ 売店の良さ	5	4	3	2	1
⑧ スタッフの対応の良さ	5	4	3	2	1

Ｑ８．その他お気づきの点があればお聞かせください

（　　）

ご協力ありがとうございました。
また来てくださいね！
国営アルプスあづみの公園事務所

そうた　もっこ

国営アルプスあづみの公園【大町・松川地区】
公園の利用についてのお客さまアンケート（春、夏、秋調査用）

Ｑ１．あなたの住所を教えて下さい。

１．安曇野市　２．松本市　３．長野市　４．大町市　５．塩尻市　６．池田町
７．松川村　８．白馬村　９．小谷村
１０．その他の長野県内（市町村名　　）
１１．東京都　１２．愛知県　１３．岐阜県
１４．その他（道府県名　　）

Ｑ２．あなたの性別を教えて下さい。・・・・・ 男性 ・ 女性

Ｑ３．あなたの年齢を教えて下さい。

１．小学生　２．中学生　３．15～18 歳　４．19～29 歳
５．30～39 歳　６．40～49 歳　７．50～59 歳　８．60～64歳
９．65～69歳　１０．70 歳以上

Ｑ４．本日はどなたといらっしゃいましたか？（1 つお答えください）

１．一人で　２．友人・知人と　３．カップルで　４．夫婦で
５．家族と　６．学校の団体　７．地域の団体　８．職場の団体
９．旅行団体　１０．その他（　　）

Ｑ５．この公園にはたびたびいらっしゃいますか？

１．ほぼ毎日　２．週に１回以上　３．月に１回以上
４．年に数回　５．年に１回程度
６．数年に１回程度　７．今回が初めて

Ｑ６．公園には満足されましたか。（１つ選んで○をつけて下さい）

１．満足　２．まあまあ満足　３．普通　４．やや不満　５．不満

（その理由をお聞かせください：　　）

Ｑ７．公園を利用してみての感想を、①～⑦の各々の項目について、5 段階評価でお聞かせ下さい。（各々１つに○をつけて下さい）

	満足	まあまあ満足	普通	やや不満	不満
① 自然や緑の豊かさ、景色の良さ	5	4	3	2	1
② 花や樹木の手入れの良さ	5	4	3	2	1
③ 園内の清掃状況	5	4	3	2	1
④ 屋内・トイレの清掃状況	5	4	3	2	1
⑤ 体験メニュー	5	4	3	2	1
⑥ レストランの良さ	5	4	3	2	1
⑦ 売店の良さ	5	4	3	2	1
⑧ スタッフの対応の良さ	5	4	3	2	1

Ｑ８．その他お気づきの点があればお聞かせください

（　　）

ご協力ありがとうございました。
また来てくださいね！
国営アルプスあづみの公園事務所

そうた　もっこ

国営アルプスあづみの公園【堀金・穂高地区】
公園の利用についてのお客さまアンケート（冬調査用）

Ｑ１．あなたの住所を教えて下さい。

1．安曇野市　2．松本市　3．長野市　4．大町市　5．塩尻市　6．池田町
7．松川村　8．白馬村　9．小谷村
10．その他の長野県内（市町村名　　）
11．東京都　12．愛知県　13．岐阜県
14．その他（道府県名　　）

Ｑ２．あなたの性別を教えて下さい。・・・・・ 男性 ・ 女性

Ｑ３．あなたの年齢を教えて下さい。

1．小学生　2．中学生　3．15～18 歳　4．19～29 歳
5．30～39 歳　6．40～49 歳　7．50～59 歳　8．60～64歳
9．65～69歳　10．70 歳以上

Ｑ４．本日はどなたといらっしゃいましたか？（1 つお答えください）

1．一人で　2．友人・知人と　3．カップルで　4．夫婦で
5．家族と　6．学校の団体　7．地域の団体　8．職場の団体
9．旅行団体　10．その他（　　）

Ｑ５．この公園にはたびたびいらっしゃいますか？

1．ほぼ毎日　2．週に１回以上　3．月に１回以上
4．年に数回　5．年に１回程度
6．数年に１回程度　7．今回が初めて

Ｑ６．公園には満足されましたか。（１つ選んで○をつけて下さい）

1．満足　2．まあまあ満足　3．普通　4．やや不満　5．不満

（その理由をお聞かせください：　　）

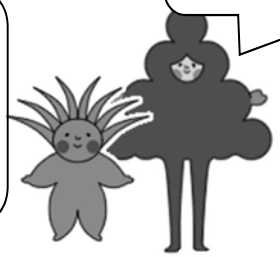
Ｑ７．公園を利用してみての感想を、①～⑦の各々の項目について、5 段階評価でお聞かせ下さい。（各々１つに○をつけて下さい）

	満足	まあまあ満足	普通	やや不満	不満
① 自然や緑の豊かさ、景色の良さ	5	4	3	2	1
② 園内の清掃状況	5	4	3	2	1
③ 屋内・トイレの清掃状況	5	4	3	2	1
④ 体験メニュー	5	4	3	2	1
⑤ レストランの良さ	5	4	3	2	1
⑥ 売店の良さ	5	4	3	2	1
⑦ スタッフの対応の良さ	5	4	3	2	1

Ｑ８．その他お気づきの点があればお聞かせください

（　　）

ご協力ありがとうございました。
また来てくださいね！
国営アルプスあづみの公園事務所



そうた　もっこ

国営アルプスあづみの公園【大町・松川地区】
公園の利用についてのお客さまアンケート（冬調査用）

Ｑ１．あなたの住所を教えて下さい。

１．安曇野市　２．松本市　３．長野市　４．大町市　５．塩尻市　６．池田町
７．松川村　８．白馬村　９．小谷村
１０．その他の長野県内（市町村名　　）
１１．東京都　１２．愛知県　１３．岐阜県
１４．その他（道府県名　　）

Ｑ２．あなたの性別を教えて下さい。・・・・・ 男性 ・ 女性

Ｑ３．あなたの年齢を教えて下さい。

１．小学生　２．中学生　３．15～18 歳　４．19～29 歳
５．30～39 歳　６．40～49 歳　７．50～59 歳　８．60～64歳
９．65～69歳　10．70 歳以上

Ｑ４．本日はどなたといらっしゃいましたか？（1 つお答えください）

１．一人で　２．友人・知人と　３．カップルで　４．夫婦で
５．家族と　６．学校の団体　７．地域の団体　８．職場の団体
９．旅行団体　10．その他（　　）

Ｑ５．この公園にはたびたびいらっしゃいますか？

１．ほぼ毎日　２．週に１回以上　３．月に１回以上
４．年に数回　５．年に１回程度
６．数年に１回程度　７．今回が初めて

Ｑ６．公園には満足されましたか。（１つ選んで○をつけて下さい）

１．満足　２．まあまあ満足　３．普通　４．やや不満　５．不満

（その理由をお聞かせください：　　）

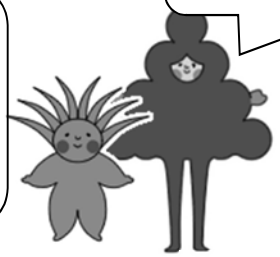
Ｑ７．公園を利用してみての感想を、①～⑦の各々の項目について、5 段階評価でお聞かせ下さい。（各々１つに○をつけて下さい）

	満足	まあまあ満足	普通	やや不満	不満
① 自然や緑の豊かさ、景色の良さ	5	4	3	2	1
② 園内の清掃状況	5	4	3	2	1
③ 屋内・トイレの清掃状況	5	4	3	2	1
④ 体験メニュー	5	4	3	2	1
⑤ レストランの良さ	5	4	3	2	1
⑥ 売店の良さ	5	4	3	2	1
⑦ スタッフの対応の良さ	5	4	3	2	1

Ｑ８．その他お気づきの点があればお聞かせください

（　　）

ご協力ありがとうございました。
また来てくださいね！
国営アルプスあづみの公園事務所



そうた　もっこ

別紙－15

イベント一覧

■イベント件数

	H28年度	H29年度	H30年度
堀金・穂高地区	118	137	83
大町・松川地区	127	107	75

※H30年度は8月末時点

■イベント参加者数

	H28年度	H29年度	H30年度
堀金・穂高地区	304,774	841,234	776,327
大町・松川地区	272,907	181,085	165,561

※H30年度は8月末時点

平成２８年度　国営アルプスあづみの公園（堀金・穂高地区）　イベント実施状況

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
4月				
マレットゴルフ体験	通年	4月：579人 (累計：579人)	1コース18ホールを設置し、道具等を無料で貸出し親子で楽しめるニュースポーツイベントを実施。	(H27年度4/18～130人)
キッズプレイパーク	2/6（土）～4/3（日）	期間中入園者 4月：2,112人 (累計：14,150人)	屋内にて、子供たちが思いっきり遊べる、ボールプールやクライミングウォール、絵本の広場などを設置したプレイパークを開催。	
キッズプレイパーク 「フォレストアドベンチャー」	2/6（土）～4/3（日）の土日祝日 ＊3/23～毎日	4月：105人 (累計：1,252人)	専用のハーネスを着用し、本格的な木製アスレチックが楽しめるフォレストアドベンチャーを実施。	昨年度：127人 (期間中：764人)
理科教室 「桜金魚」特別展示	3/19（土）～ 4/10（日）	4月：2,300人 (累計：4,700人)	春を呼ぶ桜色した金魚だちを一堂に集めて特別展示を開催。	
SPRINGFESTA2016 「桜色たい焼きづくり」	4/23（土）.24（日）	126人	春らしい桜餡をいれたピンク色のたい焼きづくりを開催。	
SPRINGFESTA2016 「フォレストアドベンチャー」	4/23（土）～ 5/15（日）	4月：263人	専用のハーネスを着用し、本格的な木製アスレチックが楽しめるフォレストアドベンチャーを実施。	昨年度：156人
SPRINGFESTA2016 「春の花畑ガイドツアー」	4/23（土）～ 5/1（日）の土日祝日	4月：62名	植物管理担当職員によるチューリップの花畑を中心に春の花畑ガイドツアーを開催。	
理科教室企画展 「春のメダカコレクション」	4/23（土）～ 5/15（日）	4月：5,600人	変わりメダカ（日本の改良品種）と世界の変わりメダカを展示。	
5月				
マレットゴルフ体験	通年	5月：1,099人 (累計：1,678人)	1コース18ホールを設置し、道具等を無料で貸出し親子で楽しめるニュースポーツイベントを実施。	昨年度累計：929人
第12回あづみの早春賦 音楽祭	5/4（水・祝）	(15,114人)	園内各所にステージを設け、地元をはじめとしたアーティストや団体による音楽イベントを開催。	昨年度：14,018人
SPRINGFESTA2016 「フォレストアドベンチャー」	4/23（土）～ 5/15（日）	5月：707人 (累計：970人)	専用のハーネスを着用し、本格的な木製アスレチックが楽しめるフォレストアドベンチャーを実施。	昨年度累計：702人
SPRINGFESTA2016 「カヤック・ラフティング体験」	4/29（金・祝）～ 5/8（日）の土日祝日	5月：1,004人 (累計：1,250人)	池を利用し本格的なカヤック・ラフティングのミニ体験を開催。	昨年度累計：926人
SPRINGFESTA2016 「春の花畑ガイドツアー」	4/23（土）～ 5/1（日）の土日祝日	5月：31人 (累計：93人)	植物管理担当職員によるチューリップの花畑を中心に春の花畑ガイドツアーを開催。	
SPRINGFESTA2016 「ワークショップ」	5/3（火・祝）～ 5/5（木・祝）	573人	ジェルキャンドルをはじめ5つのプログラムを、手軽に体験が楽しめるワークショップとして開催。	昨年度：1,208人（5日間）
SPRINGFESTA2016 「ふれあい動物園」	5/3（火・祝）～ 5/5（木・祝）	(32,182人)	ヒツジやミニホースをはじめとした約20種類の動物たちと触れ合えるイベントを開催。	
SPRINGFESTA2016 「ワイワイこども広場」	5/3（火・祝）～ 5/5（木・祝）	1,025人	ヨーヨーすくいや射的など、子供たちが楽しめる縁日を開催。	
SPRINGFESTA2016 「カイトイベント」	5/7（土）・8（日）	120人	スポーツカイト世界チャンピオンによるデモンストレーションやカイト教室・体験イベントを開催。	
SPRINGFESTA2016 「キッズラグビーパーク」	5/8（日）	80人	元日本代表2名と信州大学ラグビー部による子供を対象としたラグビー教室を開催。	
SPRINGFESTA2016 「キッズサッカーパーク」	5/14（土）	100人	J2チーム松本山雅ＦＣによる、子供たちを対象としたサッカーイベントを開催。	
SPRINGFESTA2016 「球根掘り取り体験」	5/15（日）	935人	花の見ごろを過ぎたチューリップの球根を掘り取る体験イベントを開催。	昨年度：1,072人
理科教室企画展 「春のメダカコレクション」	4/23（土）～ 5/15（日）	(5月：26,000人) 累計：31,600人	変わりメダカ（日本の改良品種）と世界の変わりメダカを展示。	
プレイベント「馬耕体験」	5/1（日）	36人	懐かしの風景エリアの田んぼと里山景観を背景に馬耕実演・解説、子どもによる鋤を持つ体験。	

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
プレイベント「田植え体験」	5/13(土).21(土)	37人	稲苗の手植え体験と昨年収穫したお米でカレーライスふるまいを実施。	
さとやま発展講座	5/28(土)	3人	サンクチャリでのオオルリシジミ観察及び里山と昆虫についての座学を実施。	
6月				
マレットゴルフ体験	通年	6月:190人 (累計:1,868人)	1コース18ホールを設置し、道具等を無料で貸出し親子で楽しめるニュースポーツイベントを実施。	昨年度累計:1,111人
キッズプレイパーク 「パペットシアター」	6/11(土)・12(日) 18(土)・19(日)	1,000人	4日間に渡り子供たちに人気の人形劇を開催。	
キッズプレイパーク 「フォレストアドベンチャー」	6/4(土)～ 7/10(日)	6月:239人	専用のハーネスを着用し、本格的な木製アスレチックが楽しめるフォレストアドベンチャーを実施。	
キッズプレイパーク 「ポン菓子の振る舞い」	6/18(土)・19(日) 25(土)・26(日)	850人	4日間に渡り子供たちを対象にポン菓子の振る舞いを実施。	
キッズプレイパーク 「フワフワ遊具」	6/18(土)・19(日)	3,200人	全園開園記念イベントと合わせて、スライダーとジャンピングの2種類のエア遊具を実施。	
全園開園記念イベント 「正調安曇節」	6/18(土)	1,588人(うち踊り参加10人) ＊里山文化ゾーン入園者数	穂高文化協会安曇節サークルによる踊り披露を実施。	
全園開園記念イベント 「昭和の農機具体験」	6/18(土)・19(日)	405人	安曇野市豊科郷土博物館の収蔵品(田植え機等)を展示し、同学芸員による解説を実施。唐箕など農機具を使った実演・体験も実施した。	
全園開園記念イベント 「そばの振る舞い」	6/18(土)	200人	ＮＰＯ法人信州そばアカデミーによる「信州ひそうそば」の振る舞いを実施。	
全園開園記念イベント 「お餅の振る舞い」	6/18(土)	200人	昨年園内で収穫したもち米で餅つきを行い、振る舞いを実施。希望の子供さんは餅つき体験にも参加いただいた。	
全園開園記念イベント 「シャボン玉配布」	6/18(日)	100人	岩原盛り上げ隊の協力で「シャボン玉」配布し、一部の参加者には記念式典に参加いただいた。	
全園開園記念イベント 「玉ねぎ味噌汁の振る舞い」	6/18(土)	50人	地元新玉ねぎを使った味噌汁ふるまいを実施。	19日途中より雨天中止
全園開園記念イベント 「農家にいた動物ふれあい」	6/18(土)・19(日)	1,694人 ＊里山文化ゾーン入園者数	家畜や小動物とのふれあい体験を実施。	
全園開園記念イベント 「田んぼで泥んこ体験 泥リンピック」	6/25(土)	24人	松本大学中島研究室の協力で、泥田で子供の遊びを実施。石ひろいゲーム、しっぽ取りゲームなど競技も交えたレクリエーションを実施。	
全園開園記念イベント 「地元農産物の振る舞い」	6/26(日)	40人	地元野菜を使った冷たいスープの振る舞いを実施。	
7月				
マレットゴルフ体験	通年	7月:347人 (累計:2,215人)	1コース18ホールを設置し、道具等を無料で貸出し親子で楽しめるニュースポーツイベントを実施。	昨年度累計:1,429人
夏のアルプス大冒険 「ウォーターアドベンチャー」	7/16(土)～8/28(日) 9/11(日)までの土日	7月:1,301人	段々に広がる池を使い、丸太などを用いた本格水上アスレチック体験を実施。	昨年度7月:1,513人
夏のアルプス大冒険 「ニジマスのつかみ取り」	7/16(土)～8/28(日) 8/10～16の平日	7月:667人	池に放流したニジマスを手づかみで捕まえる体験を実施。捕まえた魚は炭火焼で食していただく。	昨年度7月:558人
夏のアルプス大冒険 「デイキャンプイベント」	7/30(土)・31(日)	18組:72人	BBQ道具の使い方から、タープ等の設置方法、本格アウトドア料理が学べるデイキャンプイベントを開催。	
泥んこ体験「泥リンピック」	7/23(土)	12人	松本大学の学生と泥田で遊ぶレクリエーションを実施した。	
案山子づくり	7/31(日)	4人	かかしコンクールにエントリーいただく案山子づくりを実施した。8/1～21まで作品を展示しコンクール(人気投票)も実施。	
里山文化ゾーン団体ガイド	7/16(土)、17(日) 、20日(水)	141人	abn自然ガイド、里山文化ゾーンのガイド、ふるさと探訪公園ガイドを実施した。	
8月				
マレットゴルフ体験	通年	8月:1,072人 (累計:3,287人)	1コース18ホールを設置し、道具等を無料で貸出し親子で楽しめるニュースポーツイベントを実施	昨年度累計:2,748人

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
夏のアルプス大冒険 「ウォーターアドベンチャー」	9/11(日)迄の土日	8月:4,189人 (累計:5,490人)	段々に広がる池を使い、丸太などを用いた本格水上アスレチック体験を実施。	昨年度8月:3,720人 (累計:5,233人)
夏のアルプス大冒険 「ニジマスのつかみ取り」	7/16(土)～8/28(日) 8/10～16の平日	8月:2,171人 (累計:2,838人)	池に放流したニジマスを手つかみで捕まえる体験を実施。捕まえた魚は炭火焼で食していただく	昨年度8月:1,991人 (累計:2,549人)
サマーイルミネーション 「手作り望遠鏡教室」	8/12(金)～ 8/16(火)	203人	イルミネーションに合わせて、望遠鏡づくり教室を国立天文台より講師を招いて開催。	
サマーイルミネーション 「星空観察会」	8/12(金)～ 8/16(火)	プラネタリウム:888人 星空観察会:343人	イルミネーションに合わせて、星空観察会を国立展望台職員、双眼鏡メーカーのビクセンの協力で開催。なお、曇等の天候の場合は観覧室にてプラネタリウムを開催。	
案山子コンクール	8/1(月)～ 8/21(日)	かかし作り参加者数:4人 (人気投票数:53票)	公園パートナーと参加者による案山子作品の展示と来園者による人気投票を行った。	
9月				
マレットゴルフ体験	通年	9月:240人 (累計:3,527人)	1コース18ホールを設置し、道具等を無料で貸出し親子で楽しめるニュースポーツイベントを実施	昨年度累計:3,502人
夏のアルプス大冒険 「ウォーターアドベンチャー」	9/11(日)迄の土日	9月:233人 (累計:5,824人)	段々に広がる池を使い、丸太などを用いた本格水上アスレチック体験を実施。	昨年度9月:102人 (累計:5,335人)
秋・コスモスの花フェスタ	9/17(土)～ 10/16(日)	期間中:9,234人	里山文化ゾーンと田園文化ゾーンの2つの地区にまたがる235万本のコスモスの開花リレーに合わせて各種イベントを開催。	
シルバーウィークイベント キッズラグビーパーク	9/17(土)・18(日)	9/17(土):120人 ＊18(日)雨天中止	元日本代表2名と信州大学ラグビー部を招いて、はじめての子供でも楽しめるラグビーイベントを開催。	
シルバーウィークイベント キッズサッカーパーク	9/19(月・祝)	雨天中止	J2の松本山雅FCのコーチ等スタッフを招いて、ドリブルタイムアタックやスローイン飛距離競争、ミニゲームなど開催。	H27年度:240人
シルバーウィークイベント スポーツカイト＆大型カイトをあげよう！	9/17(土)～ 19(月・祝)	17日:42人 ＊18日・19日凧づくり12人	元スポーツカイト世界チャンピオンによるスポーツカイトのデモンストレーションや大型カイトをみんなであげよう等、カイトイベントを開催。	
シルバーウィークイベント 池まつり	9/22(木・祝)	52人 ＊雨天開催	池に1500匹のニジマス、銀鮭を放流し、網などを使って取り放題の池まつりを開催。	H27年度:179人
シルバーウィークイベント フォレストアドベンチャー	9/17(土)～ 10/16(日)の 土日祝日	9月:49人	専用のハーネスを装着して本格的なアスレチック体験が楽しめるイベントを開催。	
シルバーウィークイベント ふわふわ遊具大集合	9/22(木・祝)～ 25(日)	9/24.25:849人 ＊22.23中止	子供たちに人気のエア遊具を3種集め、フワフワ遊具大集合イベントを開催。	
シルバーウィークイベント クラフトワークショップ	9/17(土)～ 19(月・祝)	112人	デコルテミラーやフォトフレームづくり、クレヨンづくりにジェルキャンドル作りをワークショップイベントとして開催。	
里山文化ゾーン コスモスのクイズラリー	9/17(土)～ 25(日)	里山文化ゾーン 期間中:404人	コスモス花畑に設置したクイズポイントを回って楽しんでいただいた。参加者には特製缶バッジをプレゼントした。	
里山文化ゾーン 昭和のコスチュームで乗馬体験	9/17(土)～ 19(月・祝)	13人	昭和30年代の農作業帽を貸出ながら乗馬体験を実施した。(18日.19日は雨天のため中止)	
里山文化ゾーン 森カフェ・秋	9/24(土)	9人	森カフェ会場周辺で、シートを張り、お茶を飲みながら、周辺の林に出かけ、どんぐり拾い、クリ拾いを楽しんだ。	
10月				
マレットゴルフ体験	通年	10月:434人 (累計:3,961人)	1コース18ホールを設置し、道具等を無料で貸出し親子で楽しめるニュースポーツイベントを実施。	昨年度累計:4,106人
秋・コスモスの花フェスタ	9/17(土)～ 10/16(日)	期間中:12,599人 (9月合計:21,833人)	里山文化ゾーンと田園文化ゾーンの2つの地区にまたがる235万本のコスモスの開花リレーに合わせて各種イベントを開催。	
Outdoor Park part1	10/1(土)・2(日)	期間中:5,426人	アウトドアアクティビティをはじめ、BBQ教室、アウトレットマーケットなどを集めたアウトドア総合イベントを開催。	昨年度:8,990人
Outdoor Park part2	10/8(土)～ 10(月・祝)	期間中:2,945人	ツリークライミングをはじめ、クラフトワークショップなど、子供たちも一緒になって楽しめる木登りにまつわる様々なイベントを開催。	昨年度:4,153人
ポニーの乗馬体験	10/1(土)・2(日)	2日:117人 ＊10/1は中止	穂高口エリアを周遊するポニーの乗馬体験を開催。	
コスモスの摘みとり体験	10/15(土)・16(日)	277人	毎年人気のコスモスの摘みとり体験を開催。	249人

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
フォレストアドベンチャー	10/1(土)・2(日) ・8(土)～10(祝)	170人	専用のギアを装着し、本格的なアスレチック体験が楽しめるフォレストアドベンチャーを開催。	319人
里山　秋の収穫祭 新そばを使ったクレープ作り	10/1(土)・2(日) ・8(土)～10(祝)	73人	新そば粉のクレープをフライパンで作る体験を実施。	新規エリア
里山　秋の収穫祭 脱穀から精米までを体験しよう！	10/1(土)・2(日) ・8(土)～10(祝)	243人	足踏み脱穀機、唐箕などを使って、脱穀から精米までの作業の体験を実施。	新規エリア
里山　秋の収穫祭 稲わらを使った縄跳び作り	10/1(土)・2(日) ・8(土)～10(祝)	12人	わらなえ機を使って、藁縄を作る作業の体験を実施。参加者には縄跳び用に藁縄をプレゼント。	新規エリア
里山　秋の収穫祭 りんご積み上げ競争	10/1(土)・2(日)	141人	4段リンゴを積み上げに挑戦する体験を実施。JA大北協賛のリンゴをプレゼント。	新規エリア
里山　秋の収穫祭 ドングリコマ大会	10/1(土)	69人	自分で作ったどんぐりゴマでトーナメント形式のコマ回し大会を実施。優勝者ないは公園で収穫したお米をプレゼント。	新規エリア
里山　秋の収穫祭 新米を使った飯盒炊飯体験	10/8(土)～ 10(月・祝)	25人	公園で収穫した新米を使って飯ごうを焚いて食べていただく体験を実施。	新規エリア
里山　秋の収穫祭 ぬかくどデモンストレーション ＆ふるまい	10/8(土)～ 10(月・祝)	150人	公園で収穫した新米を使って、ぬかくどで炊いたおにぎりを振る舞った。	新規エリア
里山　秋の収穫祭 棚田米　つかみ取り	10/1(土)・2(日) ・8(土)～10(祝)	255人	公園で獲れたお米を掴んだピンポン玉の数に応じてプレゼント。	新規エリア
環境教育指導者養成講座 「グローイングアップWILD」	10/4(火)	6人	幼児向け環境教育プログラムの指導者養成講座を実施。	
11月				
マレットゴルフ体験	通年	11月:190人 (累計:4,151人)	1コース18ホールを設置し、道具等を無料で貸出し親子で楽しめるニュースポーツイベントを実施。	昨年度累計:4,384人
TWIN ILLUMINATION 光の森のページェント	11/19(土)～ 1/9(月・祝)	11月:9,773人 (夜間入園者数)	冬の風物詩ともなっているイルミネーションイベントを2地区同時開催。堀金・穂高地区は「春」・「夏」をテーマに、装飾を施す。	
オープニングコンサート	11/19(土)・20(日) 23(水・祝)	19日:300人 20日:250人 23日:150人	一流アーティストと地元老舗ビッグバンドを招きオープニングコンサートを開催。	
光と花火のショー	11/19(土)・20(日) 23(水・祝)・26(土) 27(日)	11月:2,200人	光の演出に加え、池の水面に広がる花火のショーを開催。	
トロピカルクリスマス	11/19(土)～ 1/9(月・祝)	11月:7,400人	理科教室においてデンキウナギを使ったイルミネーション点灯や、クリスマスにまつわる名前のついた魚の展示などを実施。	
安曇野アートライン展	11/19(土)～ 12/18(日)	11月:2,661人	アートライン推進協議会加盟の美術館・博物館より作品を集め展示イベントを開催。	
イルミネーション ワークショップ	11/22(火)～ 12/22(木)の平日	11月:44人	万華鏡作り、スノードームづくり、クリスマスキャンドル作りなどを開催。	
さとやま発展講座「子供の遊びと里山」	11/23(水・祝)	2人	子供の遊びと里山での自然体験について、講師の講義を聞き、同テーマのディスカッションをおこなった。	
12月				
マレットゴルフ体験	通年	12月:135人 (累計:4,286人)	1コース18ホールを設置し、道具等を無料で貸出し親子で楽しめるニュースポーツイベントを実施。	昨年度累計:4,503人
TWIN ILLUMINATION 光の森のページェント	11/19(土)～ 1/9(月・祝)	12月:39,354人 (夜間入園者数)	冬の風物詩ともなっているイルミネーションイベントを2地区同時開催。堀金・穂高地区は「春」・「夏」をテーマに、装飾を施す。	HH地区1月9日間延長
光と花火のショー	12/10(土)・17(土) 23日～25日	12月:9,000人	光の演出に加え、池の水面に広がる花火のショーを開催。	
トロピカルクリスマス	11/19(土)～ 1/9(月・祝)	12月:25,000人	理科教室においてデンキウナギを使ったイルミネーション点灯や、クリスマスにまつわる名前のついた魚の展示などを実施。	
安曇野アートライン展	11/19(土)～ 12/18(日)	12月:3,978人 (累計:6,639人)	アートライン推進協議会加盟の美術館・博物館より作品を集め展示イベントを開催。	
イルミネーション ワークショップ	11/22(火)～ 12/22(木)の平日	12月:89人	スノードームづくり、クリスマスキャンドル、レジン作りなどを開催。	

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
人形劇パペットシアター	12/23(金)～25(日)	750人	公園からのクリスマスプレゼントとして、子供たちに人気の人形劇を3夜連続開催。	
ポン菓子の振る舞い	12/23(金)～25(日)	900人	公園からのクリスマスプレゼントとして3日間各日先着300名にポン菓子をプレゼント。	
カウントダウンイベント	12/31(土)	695人	信州プロレスによる108つのプロレスチョップ、年またぎの地元松川響岳太鼓による演奏を実施。	昨年:679人
1月				
マレットゴルフ体験	通年	1月:89人 (累計:4,375人)	1コース18ホールを設置し、道具等を無料で貸出し親子で楽しめるニュースポーツイベントを実施。	昨年度累計:4,587人
TWIN ILLUMINATION 光の森のページェント	11/19(土)～ 1/29(日)	1月:8,087人 (夜間入園者数)	冬の風物詩ともなっているイルミネーションイベントを2地区同時開催。堀金・穂高地区は「春」・「夏」をテーマに、当初期間を延長し開催。	日出地区1月9日以降1/29までの金土日9日間 延長
トロピカルクリスマス	11/19(土)～ 1/29(日)	6,300人	理科教室においてデンキウナギを使ったイルミネーション点灯や、クリスマスにまつわる名前のついた魚の展示などを実施。	
理科教室新春展示	1/2(月)～ 1/29(日)	6,300人	フリソデエビや干支にちなんだ名前が付く生き物を水槽等を使い展示。	
理科教室企画展 「バレンタインデー＆ホワイトデー」	1/21(土)～ 3/12(日)	1,200人	キッシンググーラミィなどバレンタイン＆ホワイトデーにピッタリな熱帯魚を展示。	
インドアガーデン 「アイスチューリップの庭」	1/2(月)～ 1/22(日)	7,200人	春を先取りするインドアガーデンにおいて1万本のアイスチューリップを展示。	
インドアガーデン 「ナノハナの庭」	1/28(土)～ 2/19(日)	700人	春を先取りするインドアガーデンにおいて、アイスチューリップに引き続き1万本のナノハナを展示。	
キッズプレイパーク	1/11(火)～ 4/2(日)	2,300人	ボールプールをはじめクライミングウォール、フォレストアドベンチャーなどの屋内遊びを充実させたイベントを開催。	
2月				
マレットゴルフ体験	通年	2月:49人 (累計:4,454人)	1コース18ホールを設置し、道具等を無料で貸出し親子で楽しめるニュースポーツイベントを実施。	昨年度累計:4,601人
インドアガーデン 「ナノハナの庭」	1/28(土)～ 2/19(日)	2月:2,200人	春を先取りするインドアガーデンにおいて、アイスチューリップに引き続き1万本のナノハナを展示。	
理科教室企画展 「バレンタインデー＆ホワイトデー」	1/21(土)～ 3/12(日)	2月:2,500人	キッシンググーラミィなどバレンタイン＆ホワイトデーにピッタリな熱帯魚を展示。	
キッズプレイパーク	1/11(火)～ 4/2(日)	2月:2,500人	ボールプールをはじめクライミングウォール、フォレストアドベンチャーなどの屋内遊びを充実させたイベントを開催。	
ポップコーン振る舞い	2/5(日)～2/26(日)の日曜日	4日開催:800人	手作りポップコーンの振る舞いを各日先着200名を対象に実施。	
三九郎と繭玉体験	2/12(日)	70人	地元に伝わる方法で地域の方々と三九郎と繭玉焼き体験を実施した。	新規エリア
3月				
マレットゴルフ体験	通年	3月:327人 (累計:4,781人)	1コース18ホールを設置し、道具等を無料で貸出し親子で楽しめるニュースポーツイベントを実施。	昨年度:373人 累計:4,974人
キッズプレイパーク	1/11(火)～ 4/2(日)	期間中入園者数 3月:7,107人 (累計:14,076人)	ボールプールをはじめクライミングウォール、フォレストアドベンチャーなどの屋内遊びを充実させたイベントを開催。	昨年度:8,013人 累計:12,038人
絵本の広場 「人形劇」	3/11(土)・18(土)・25(土)	3日間:210人	3匹のコブタ・花咲じいさん・おだんごころころの3つのプログラムを実施。	
絵本の広場 「お話シアター」	3/5(日)・12(日)・19(日)・26(日)	4日間:280人	絵本の美術館森のおうち、安曇野ちひろ美術館の協力により、絵本の読み聞かせを実施。	
キッズプレイパーク 「フォレストアドベンチャー」	2/4(土)～ 4/2(日)の土日祝 *3/18(土)～毎日	3月:519人 (累計:718人)	専用のハーネスを着用し、本格的な木製アスレチックが楽しめるフォレストアドベンチャーを実施。	昨年度:816人 累計:1,147人
理科教室企画展 「バレンタインデー＆ホワイトデー」	1/21(土)～ 3/12(日)	期間中入園者数 3月:1,939人 (累計:7,705人)	キッシンググーラミィなどバレンタイン＆ホワイトデーにピッタリな熱帯魚を展示。	
理科教室企画展 「春爛漫　桜金魚・満開！」	3/18(土)～ 4/16(日)	期間中入園者数 3月:4,928人	春を呼ぶ桜色をした金魚たちを一堂に集めて特別展示を開催。	
ポップコーン振る舞い	3/5(日)～3/19(日)の日曜日	3日開催:600人	手作りポップコーンの振る舞いを各日先着200名を対象に実施。	

平成２８年度　国営アルプスあづみの公園（大町・松川地区）　イベント実施状況

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
4月				
SPRING FESTA 2016	4/23（土）～5/15（日）	期間中入園者数 （4月：4,378人）	新緑の美しい季節に、公園の重要な資源である「森」をテーマにしたイベントを開催。見通しがよく、下草のない芽吹きの時期の森で宝探しイベントを実施。加えて、丸太んピックやツリーイング等、「森」をテーマにしたアクティビティに加え、ハイパージャンパー、エアー遊具といったアトラクションを導入することで、GWの子どもの遊び場として、ファミリー層のニーズに応えたものとした。	昨年期間中入園者数 （4,186人）
森の宝探し「アルプスあづみの冒険の森」	4/23（土）～5/15（日）	4月：416人	大町・松川地区の春の魅力「新緑の森」を舞台にした宝探しイベント。クイズに答え、10個のキーワードを集めると宝箱のありかが明らかになる。森歩きに家族で楽しめる謎解きの要素を加えることで、木々の芽吹き、林床に咲く草花、ツツジの開花リレーなど、爽やかで美しい公園の春を体感していただいた。	昨年：323人 （昨年累計：1,778人）
吉田博　日本アルプス十二題　レプリカ展	4/23（土）～8/28（日）	期間中入園者数 （4月：4,378人）	山岳画家「吉田博」の生誕140年を記念し、日本アルプス十二題のレプリカを展示した。	昨年未実施
ハイパージャンパー	4/23（日）～11/27（日）の土日祝 ※GW（4/29～5/8）および夏休み（7/16～8/28）は毎日	4月：301人	まるで無重力ジャンプ。ハーネス、ゴムロープ、トランポリンで、自分の身体能力ではありえないほど高いジャンプを体験していただいた。	昨年：259人 （昨年累計：6,209人）
ゼロショック	4/29（金・祝）～5/8（日）	4月：125人	高さ4mからエアクッションに目がけて自由落下するアトラクションを設置した。	昨年未実施
大型エアー遊具 サスケチャレンジ	4/29（金・祝）～5/8（日）	4月：1,198人	全長12mの大型エアー遊具を3基設置し、外遊び空間を演出した。	
丸太んピック	4/29（金・祝）～5/1（日）	4月：356人	丸太を使用した5種目（丸太橋渡り、重さ当て、積み上げ等）を実施した。	昨年：348人
紙飛行機づくり	4/29（金・祝）	81人	紙飛行機をつくり、芝生広場で飛ばして遊ぶ体験を行った。	昨年未実施
紙皿ＵＦＯづくり	4/30（土）	196人	紙皿でＵＦＯをつくり、割箸の発射台から飛ばして遊ぶ体験を行った。	昨年未実施
アルクマ熱気球係留飛行体験	4/29（金・祝）～5/8（日）	4月：123人	熱気球をロープで係留して「高度約30m」まで上昇する熱気球体験。熱気球には長野県のＰＲキャラクター「アルクマ」をデザイン。日常生活では味わえない、木立の上を飛ぶ樹海散策を体験していただいた。	昨年：49人
全園開園プレイベント みんなでつくる木子のオブジェ	4/29（金・祝）～5/8（日）	期間中入園者数 （4月：4,378人）	来園者にマツボックリを拾ってもらい、芯材に張り付けていくことで公園のキャラクター「木子」のオブジェを制作した。	昨年未実施
5月				
SPRING FESTA 2016	4/23（土）～5/15（日）	期間中入園者数 （28,230人） （累計：32,608人）	新緑の美しい季節に、公園の重要な資源である「森」をテーマにしたイベントを開催。見通しがよく、下草のない芽吹きの時期の森で宝探しイベントを実施。加えて、丸太んピックやツリーイング等、「森」をテーマにしたアクティビティに加え、ハイパージャンパー、エアー遊具といったアトラクションを導入することで、GWの子どもの遊び場として、ファミリー層のニーズに応えたものとした。	昨年期間中入園者数 （28,236人） （累計：32,422人）
森の宝探し「アルプスあづみの冒険の森」	4/23（土）～5/15（日）	1,292人 （累計：1,709人） ＊23日間	大町・松川地区の春の魅力「新緑の森」を舞台にした宝探しイベント。クイズに答え、10個のキーワードを集めると宝箱のありかが明らかになる。森歩きに家族で楽しめる謎解きの要素を加えることで、木々の芽吹き、林床に咲く草花、ツツジの開花リレーなど、爽やかで美しい公園の春を体感していただいた。	昨年：1,445人 （昨年累計：1,778人） ＊30日間
吉田博　日本アルプス十二題　レプリカ展	4/23（土）～8/28（日）	期間中入園者数 （3,350人） （累計：3,788人）	山岳画家「吉田博」の生誕140年を記念し、日本アルプス十二題のレプリカを展示した。	昨年未実施
ハイパージャンパー	4/23（日）～11/27（日）の土日祝 ※GW（4/29～5/8）および夏休み（7/16～8/28）	878人 （累計：1,179人）	まるで無重力ジャンプ。ハーネス、ゴムロープ、トランポリンで、自分の身体能力ではありえないほど高いジャンプを体験していただいた。	昨年：849人 （昨年累計：1,108人）
ゼロショック	4/29（金・祝）～5/8（日）	797人 （累計：922人）	高さ4mからエアクッションに目がけて自由落下するアトラクションを設置した。	昨年未実施
大型エアー遊具 サスケチャレンジ	4/29（金・祝）～5/8（日）	3,746人 （累計：6,944人）	全長12mの大型エアー遊具を3基設置し、外遊び空間を演出した。	

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
アルクマ熱気球係留飛行体験	4/29(金・祝)～5/8(日)	251人 (累計:374人) ＊5/3～4強風のため中止	熱気球をロープで係留して「高度約30m」まで上昇する熱気球体験。熱気球には長野県のPRキャラクター「アルクマ」をデザイン。日常生活では味わえない、木立の上を飛ぶ樹海散策を体験していただいた。	昨年:471人 (昨年累計:520人)
全園開園プレイベント みんなでつくる木子のオブジェ	4/29(金・祝)～5/8(日)	期間中入園者数 (265人) (累計:295人)	来園者にマツボックリを拾ってもらい、芯材に張り付けていくことで公園のキャラクター「木子」のオブジェを制作した。	昨年未実施
紙ブーメランづくり	5/1(日)	219人	紙でブーメランをつくり、芝生広場で投げて遊ぶ体験を行った。	昨年未実施
ロープで木登り！ツリーイング	5/3(火・祝)・4(水・祝)	130人	小さなお子さんから大人まで、ロープを使って簡単に木登りが楽しめるツリーイング。緑豊かな公園を普段の目線から鳥になった気分で楽しめる木登りイベントを実施した。	昨年:136人
ピクニックフリーマーケット	5/3(火・祝)・4(水・祝)	100組 400名	市民交流ピクニックフリーマーケット開催。コンサート、各種ワークショップを合わせて実施し、リラックスしてピクニックを楽しめる空間を演出した。	
「仮面ライダーゴースト」キャラクターショー	5/5(木・祝)	2,600人	子どもたちに人気の「仮面ライダーゴースト」のキャラクターショーを実施した。	
ランニングバイクレース「アルプスあづみのカップ」	5/7(土)	79人	子どもたちに人気のランニングバイク(ペダルなし二輪車)のレースを開催した。	昨年:95人
バイクトライアル・パフォーマンス	5/7(土)	300人	シルク・ドゥ・ソレイユやマッスルミュージカルの舞台でも活躍した「有薗啓剛」と「守上大輔」の二人によるバイクトライアルパフォーマンスショーを開催した。	
山菜観察＆試食会	5/8(日)	28人	園内のタラの芽、コシアブラ、コゴミなどの山菜を観察。てんぷらなどに調理したものを試食した。	昨年:16人
全園開園プレイベント MTB試走会	5/22(日)	43人	地元MTB愛好者を招き、コースのチェックを兼ねた試走会を開催した。	昨年未実施
全園開園プレイベント 河畔探勝エリア先取りツアー	5/29(日)	23人	事前申込による河畔探勝エリアのガイドツアーを行った。	昨年未実施
6月				
吉田博　日本アルプス十二題　レプリカ展	4/23(土)～8/28(日)	期間中入園者数 (943人) (累計:4,731人)	山岳画家「吉田博」の生誕140年を記念し、日本アルプス十二題のレプリカを展示した。	昨年未実施
ハイパージャンパー	4/23(日)～11/27(日)の土日祝 ※GW(4/29～5/8)および夏休み(7/16～8/28)は毎日	352人 (累計:1,531人)	まるで無重力ジャンプ。ハーネス、ゴムロープ、トランポリンで、自分の身体能力ではありえないほど高いジャンプを体験していただいた。	昨年:309人 (昨年累計:1,417人)
ポピー&キッズパーク	6/4(土)～7/10(日)	期間中入園者数 (9,201人)	大町・松川地区で初となるシャーレーポピー花畑の開花にあわせて「花」をテーマとした各種体験プログラムを実施。花畑との相乗効果で話題づくりと集客を行った。 加えて、梅雨時期の子どもの遊び場として、休憩棟レストランにキッズスペースを設けるなど屋内遊びを充実させ、利用促進を図った。	昨年未実施
おもちゃの広場	6/4(土)～7/10(日)	460人	レストランにキッズスペースを設置し雨天でも公園を楽しんでいただいた。	昨年未実施
ポピー畑で缶バッジをつくろう	6/4(土)・5(日)	156人	ポピー畑を背景に写真を撮影し、その場で缶バッジを作成した。	昨年未実施
フラワーボトル教室	6/11(土)・12(日)	31人	摘みとった花をシリカゲルの中に埋め、ふたをして乾燥。ボトルの中に密封保存することで花の色や形を長期間楽しむことができるフラワーボトル教室を行った。	昨年未実施
押し花ポストカードづくり	6/18(土)・19(日)	60人	アイロンを使って摘みとった花で押し花をつくり、専用シートを使いポストカードにした。	昨年未実施
ゆるきゃら出迎え＆撮影会	6/18(土)	150人	公園のキャラクター木子に加え、おおまぴょん、リンリン・リン太が出発式のライダーを会場で出迎え。その後、来園者との撮影会を実施した。	昨年未実施
キッズMTB教室	6/18(土)・19(日)	26人	元アトランタオリンピック代表「小林可奈子」を講師に迎え、小中学生を対象としたMTB教室を開催した。	昨年未実施

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
MTBツアー	6/18(土)・19(日)	24人	ファミリー対象としたMTBツアーを開催。6/18のみゲストとしてFM長野エコーズ水曜日パーソナリティ「唐木さやか」と松本山雅FCスタジアムDJ「つつみ慶」がツアーに同行した。(その模様を夏休みまでの約1か月かけて番組内で紹介)。	昨年未実施
ランニングバイクレース「アルプスあづみのカップ」	6/18(土)	66人	キッズコースのこけら落としとして、子どもたちに人気のランニングバイク(ペダルなし二輪車)のレース(2歳・3歳・4歳・5〜6歳の部)を開催した。	昨年未実施
バイクトライアルパフォーマンス	6/18(土)	300人	シルク・ドゥ・ソレイユやマッスルミュージカルの舞台でも活躍した「有薗啓剛」と「守上大輔」の二人によるバイクトライアルパフォーマンスショーを開催した。	昨年未実施
河畔探勝エリア散策ツアー	6/18(土)・19(日)、25(土)・26(日)	79人 (森の散策体験に含む)	「青葉を巡る路」をテーマに、自然・文化・歴史・健康等の切り口から当該エリアの魅力を発信。6/18のみゲストとしてFM長野エコーズ水曜日パーソナリティ「唐木さやか」と松本山雅FCスタジアムDJ「つつみ慶」がツアーに同行した。(その模様を夏休みまでの約1か月かけて番組内で紹介)。	昨年未実施
クラフト体験「小枝の自転車」づくり	6/18(土)〜26(日)	144人 (創作体験に含む)	小枝を使って自転車のオブジェを作るクラフト体験。	昨年未実施
アルクマ気球で空から眺めるあづみの公園	6/18(土)	43人	全園開園を記念して、大町・松川地区開園の年に生まれた大町市・松川村の小学一年生を招待し、アルクマ熱気球に乗って空から公園全体を眺めていただいた。	昨年未実施
アルプホルン演奏	6/18(土)	150人	全園開園を祝し、アルプホルンの演奏と演奏体験を実施した。	昨年未実施
ロープで木登り！ ツリーイング	6/18(土)・19(日)	52人	小さなお子さんから大人まで、ロープを使って簡単に木登りが楽しめるツリーイング。緑豊かな公園を普段の目線から鳥になった気分で楽しめる木登りイベントを実施した。	昨年未実施
ふわふわ遊具 シンデレラキャッスル	6/18(土)・19(日)	900人	子どもたちに人気のフワフワ遊具を設置した。	昨年未実施
映画上映会 ロラックスおじさんの秘密の種	6/18(土)	100人	大草原の家多目的ホールにて映画上映会を行う。なお、本編上映前に大町・松川地区のこれまでの歩みをまとめたショートムービーを上映した。	昨年未実施
ポピー摘み取り体験	6/19(日)	120人	ポピーを摘み取り、花束にしてお持ち帰りいただいた。	昨年未実施
押し花ペンダントづくり	6/25(土)・26(日)	41人	押し花にした花びらを樹脂(レジン)でコーティングし、ペンダントをつくる。	昨年未実施
7月				
吉田博　日本アルプス十二題　レプリカ展	4/23(土)〜8/28(日)	期間中入園者数 (3,520人) (累計:9,779人)	山岳画家「吉田博」の生誕140年を記念し、日本アルプス十二題のレプリカを展示した。	昨年未実施
ハイパージャンパー	4/23(日)〜11/27(日)の土日祝 ※GW(4/29〜5/8)および夏休み(7/16〜8/28)は毎日	1,997人 (累計:4,478人)	まるで無重力ジャンプ。ハーネス、ゴムロープ、トランポリンで、自分の身体能力ではありえないほど高いジャンプを体験していただいた。	昨年:2,002人 (昨年累計:4,415人)
夏のアルプス大冒険 ずぶぬれ覚悟！サマースプラッシュ	7/16(土)〜8/28(日)	期間中入園者数 (34,356人) (累計:44,135人)	暑い夏に「ずぶぬれ覚悟！」をコンセプトとした水遊びを中心としたイベントを開催。気軽に体験できるものから、新たにオープンした自然体験ゾーンの豊かな自然を十二分に生かしたものまで幅広くそろえ、近隣及び観光利用のお客様のニーズに応えたものとした。	期間中入園者数 昨年:31,150人 (昨年累計:41,575人)
スプラッシュ・リバー	7/16(土)〜8/28(日)	13,981人 (累計:19,239人)	北アルプスの3,000m級の山々から流れ出る渓流・乳川で川遊び。夏でも冷たい水と澄んだ空気でアルプスの大自然を満喫した。	昨年:9,856人 (昨年累計:12,491人)
ツリーイング＆リバージップライン	8/13(土)・14(日)	156人	小さなお子さんから大人まで、ロープを使って簡単に木登りが楽しめるツリーイング。河畔での木登りと、簡易ジップラインで乳川を渡る体験を組み合わせたプログラム。	昨年:106人
スプラッシュ・ランド	7/16(土)〜8/28(日)	2,869人 (累計:3,759人)	アルプス大草原(大草原の家前)に大型の水遊びプールを設置。「ずぶぬれタイム」には、スプリンクラーを稼働させ、水しぶきが舞う水遊びの楽園を演出した。	昨年:2,906人 (昨年累計:4,194人)

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
ウォーターモンスターを倒せ！	7/16(土)～8/28(日)の土日祝日および8/12(金)・15(月)	340人 (累計:540人)	「ずぶぬれタイム」にアルプス大草原にポイをたくさんつけ、モンスターに扮したスタッフが登場。高性能の水鉄砲で子どもたちに襲い掛かる。子どもたちは協力して水鉄砲でモンスターのポイを狙う。	昨年:430人 (昨年累計:510人)
シャワーピクニック	7/16(土)～8/31(水)	481人 (累計:560人)	自然が創造した変化に富む渓流で、ザブザブ歩いたり、川の流れに身を任せたりのフィールドアスレチックを楽しんだ。	昨年:426人 (累計:581人)
キッズMTB教室	7/24(日)、8/28(日)	10人	元アトランタオリンピック代表「小林可奈子」を講師に迎え、小学生を対象としたＭＴＢ教室を開催した。	昨年未実施
ランニングバイクレース 「アルプスあづみのカップ」	8/13(土)	77人	子どもたちに人気のランニングバイク(ペダルなし二輪車)のレースを開催した。	昨年:67人
バイクトライアルパフォーマンス	8/13(土)	230人	マッスルミュージカルの舞台でも活躍した「守上大輔」によるバイクトライアルパフォーマンスショーを開催した。	昨年雨天中止
里山探検ウォーキング～わくわくサマーキャンプ～	8/20(土)・21(日)	21組　69人	公園でのウォーキング、宿泊。木崎湖でのカヌー体験等を通して参加者に地域の魅力を体感していただいた。	昨年:22組　65人
アルクマ熱気球係留体験	7/16(土)～8/31(水)、9/17(土)～19(月・祝)、22(木・祝)～25(日)、10月の日曜祝祭日	2,693人 (累計:3,788人)	熱気球をロープで固定し高度約30mまで上昇。約5分間の空中散歩を楽しんでいただいた。	昨年:3,823人 (累計:5,725人)
8月				
吉田博　日本アルプス十二題　レプリカ展	4/23(土)～8/28(日)	期間中入園者数 (3,520人) (累計:9,779人)	山岳画家「吉田博」の生誕140年を記念し、日本アルプス十二題のレプリカを展示した。	昨年未実施
ハイパージャンパー	4/23(日)～11/27(日)の土日祝 ※GW(4/29～5/8)および夏休み(7/16～8/28)	1,997人 (累計:4,478人)	まるで無重力ジャンプ。ハーネス、ゴムロープ、トランポリンで、自分の身体能力ではありえないほど高いジャンプを体験していただいた。	昨年:2,002人 (昨年累計:4,415人)
夏のアルプス大冒険 ずぶぬれ覚悟！サマースプラッシュ	7/16(土)～8/28(日)	期間中入園者数 (34,356人) (累計:44,135人)	暑い夏に「ずぶぬれ覚悟！」をコンセプトとした水遊びを中心としたイベントを開催。気軽に体験できるものから、新たにオープンした自然体験ゾーンの豊かな自然を十二分に生かしたものまで幅広くそろえ、近隣及び観光利用のお客様のニーズに応えたものとした。	期間中入園者数 昨年:31,150人 (昨年累計:41,575人)
スプラッシュ・リバー	7/16(土)～8/28(日)	13,981人 (累計:19,239人)	北アルプスの3,000m級の山々から流れ出る渓流・乳川で川遊び。夏でも冷たい水と澄んだ空気でアルプスの大自然を満喫した。	昨年:9,856人 (昨年累計:12,491人)
ツリーイング＆リバージップライン	8/13(土)・14(日)	156人	小さなお子さんから大人まで、ロープを使って簡単に木登りが楽しめるツリーイング。河畔での木登りと、簡易ジップラインで乳川を渡る体験を組み合わせたプログラム。	昨年:106人
スプラッシュ・ランド	7/16(土)～8/28(日)	2,869人 (累計:3,759人)	アルプス大草原(大草原の家前)に大型の水遊びプールを設置。「ずぶぬれタイム」には、スプリンクラーを稼働させ、水しぶきが舞う水遊びの楽園を演出した。	昨年:2,906人 (昨年累計:4,194人)
ウォーターモンスターを倒せ！	7/16(土)～8/28(日)の土日祝日および8/12(金)・15(月)	340人 (累計:540人)	「ずぶぬれタイム」にアルプス大草原にポイをたくさんつけ、モンスターに扮したスタッフが登場。高性能の水鉄砲で子どもたちに襲い掛かる。子どもたちは協力して水鉄砲でモンスターのポイを狙う。	昨年:430人 (昨年累計:510人)
シャワーピクニック	7/16(土)～8/31(水)	481人 (累計:560人)	自然が創造した変化に富む渓流で、ザブザブ歩いたり、川の流れに身を任せたりのフィールドアスレチックを楽しんだ。	昨年:426人 (累計:581人)
キッズMTB教室	7/24(日)、8/28(日)	10人	元アトランタオリンピック代表「小林可奈子」を講師に迎え、小学生を対象としたＭＴＢ教室を開催した。	昨年未実施
ランニングバイクレース 「アルプスあづみのカップ」	8/13(土)	77人	子どもたちに人気のランニングバイク(ペダルなし二輪車)のレースを開催した。	昨年:67人
バイクトライアルパフォーマンス	8/13(土)	230人	マッスルミュージカルの舞台でも活躍した「守上大輔」によるバイクトライアルパフォーマンスショーを開催した。	昨年雨天中止
里山探検ウォーキング～わくわくサマーキャンプ～	8/20(土)・21(日)	21組　69人	公園でのウォーキング、宿泊。木崎湖でのカヌー体験等を通して参加者に地域の魅力を体感していただいた。	昨年:22組　65人
アルクマ熱気球係留体験	7/16(土)～8/31(水)、9/17(土)～19(月・祝)、22(木・祝)～25(日)、10月の日曜祝祭日	2,693人 (累計:3,788人)	熱気球をロープで固定し高度約30mまで上昇。約5分間の空中散歩を楽しんでいただいた。	昨年:3,823人 (累計:5,725人)
9月				

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
ハイパージャンパー	4/23(日)～11/27(日)の土日祝 ※GW(4/29～5/8)および夏休み(7/16～8/28)は毎日	377人 (累計:4,855人)	まるで無重力ジャンプ。ハーネス、ゴムロープ、トランポリンで、自分の身体能力ではありえないほど高いジャンプを体験していただいた。	昨年:644人 (昨年累計:5,059人)
フィッシングガーデン	9月の土日祝日	182人	渓流ピクニック広場に管理釣り場を設置。一日入漁証を販売とあわせ釣り竿等のレンタルを行い、手ぶらで渓流釣りをお楽しみいただいた。なお、釣った魚はその場で炭火焼にし、味わっていただいた。	昨年:304人
北アルプス奉納太鼓 (持込みイベント)	9/10(土)・11(日)	381人	大北地域に縁のある世界的な音楽家である喜多郎氏の総合プロデュースのもと、大北地域の太鼓関係者が心を一つにし、「北アルプス奉納太鼓」と銘打って、北アルプスの山々や自然の恵みに感謝する奉納太鼓を演奏した。	前年未実施
ジャンプ&スライド	9/17(土)～19(月・祝)	89人	約4mの高さからエアクッションめがけて自由落下。さらに高さ約10mのスライダーからスライド&ジャンプ。2種類のスリルが味わえる体験アトラクションを設置した。 ※9/17中断、18中止、19実働1時間	前年未実施
ツリーイング	9/18(日)・19(月・祝)	雨天中止	小さなお子さんから大人まで、ロープを使って簡単に木登りが楽しめるツリーイング。緑豊かな公園を普段の目線から鳥になった気分で楽しめる木登りイベントを実施した。	昨年:127人
信濃大町「恋華めぐり」 (持込みイベント)	9/21(水)～10/10(月・祝)	(2,087人)	華道家「假屋崎省吾」氏に大町市の観光拠点となっている、塩の道ちょうじや、ラ・カスタ、国営アルプスあづみの公園において、メイン装花を制作いただき、現存する観光施設に付加価値を加え、来訪者の増を目指した。	前年未実施
コスモス畑で缶バッジをつくろう	9/24(土)・25(日)	112人	コスモス畑を背景に写真を撮影し、その場で缶バッジを作成した。	前年未実施
アルクマ熱気球係留体験	7/16(土)～8/31(水)、9/17(土)～19(月・祝)、22(木・祝)～25(日)、10月の日曜祝祭日	75人 (累計:3,863人)	熱気球をロープで固定し高度約30mまで上昇。約5分間の空中散歩を楽しんでいただいた。	昨年:1,055人 (累計:6,780人)
10月				
ハイパージャンパー	4/23(日)～11/27(日)の土日祝 ※GW(4/29～5/8)および夏休み(7/16～8/28)は毎日	572人 (累計:5,427人)	まるで無重力ジャンプ。ハーネス、ゴムロープ、トランポリンで、自分の身体能力ではありえないほど高いジャンプを体験していただいた。	昨年:550人 (昨年累計:5,609人)
河畔探勝ウォーキング	10/1(土)・2(日)、15(土)・16(日)	43人 (森の散策体験に含む)	河畔探勝エリアのウォーキングツアーを行った。	新規エリア
信濃大町「恋華めぐり」 (持込みイベント)	9/21(水)～10/10(月・祝)	(12,562人) (累計:14,649人)	華道家「假屋崎省吾」氏に大町市の観光拠点となっている、塩の道ちょうじや、ラ・カスタ、国営アルプスあづみの公園において、メイン装花を制作いただき、現存する観光施設に付加価値を加え、来訪者の増を目指した。	前年未実施
北アルプスフェア2016	10/1(土)・2(日)	(9,896人)	国営アルプスあづみの公園大町・松川地区において、周辺市町村と協力して「周辺住民参加・交流場所の提供」「地域農産品や加工品のPR・販売」「周辺地域への観光誘客」に係るイベントを開催した。	(昨年:11,837人)
北アルプス国際芸術祭プレイベント (持込みイベント)	10/1(土)・2(日)	(9,896人)	国営アルプスあ北アルプスのフトコロに抱かれた澄んだ空気や風。誰もが共有しうる空気感をアートを通じて際立たせ、インスタレーションやWSにより、誰もが関わり、遊べる「場と風景」を創出した。	前年未実施
消防フェスタおおまち2016 (持込みイベント)	10/2(日)	(7,657人)	市民の防災防火に対する意識向上と消防フェスタを通して市民が元気になる事を目的に各種イベントを開催した。	(昨年:8,069人)
ツリーイング@空中回廊	10/1(土)・2(日)	32人	小さなお子さんから大人まで、ロープを使って簡単に木登りが楽しめるツリーイング。会場を空中回廊脇に移し、空中回廊と同じ高さまで登る特別プログラムを実施した。	前年未実施
MTBファンライドツアー	10/1(土)・2(日)	9人	まったくのMTB初心者から楽しめるツアー。基礎のライディングスキルを身に着けながら、自転車での林間散歩を楽しんだ。	新規エリア
ボルダリング体験	10/8(土)～10(月・祝)	213人	ロープを使わない高さで楽しむロッククライミング。インストラクターの指導のもと、気軽にボルダリングを体験を実施した。	前年未実施

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
コスモス摘み取り体験	10/10(月・祝)	305人	台風によるコスモス倒伏のため、コスモスの種プレゼントに変更して実施した。	昨年:198人
押し花ペンダントづくり	10/15(土)・16(日)	40人	押し花にした花びらを樹脂(レジン)でコーティングし、ペンダントをつくった。	前年未実施
ランニングバイクレース「アルプスあづみのカップ」	10/29(土)	68人	子どもたちに人気のランニングバイク(ペダルなし二輪車)のレースを開催した。	新規エリア
バイクトライアルパフォーマンス	10/29(土)	214人	シルク・ドゥ・ソレイユや、マッスルミュージカルの舞台でも活躍した「有薗啓剛」と「守上大輔」によるバイクトライアルパフォーマンスショーを開催した。	新規エリア
リレーマラソン2016	10/30(日)	131チーム　1,020人	スポーツの秋に、仲間や家族と楽しめるスポーツイベントを開催。1チーム4人以上10人以内。1周1.5キロのコース計28周プラス195mを、タスキリレーしてチームで完走を目指すマラソン大会を開催した。	昨年:104チーム　791人
アルクマ熱気球係留体験	7/16(土)～8/31(水)、9/17(土)～19(月・祝)、22(木・祝)～25(日)、10月の日曜祝祭日	146人 (累計:4,009人)	熱気球をロープで固定し高度約30mまで上昇。約5分間の空中散歩を楽しんでいただいた。	昨年:505人 (累計:7,285人)
11月				
ハイパージャンパー	4/23(日)～11/27(日)の土日祝 ※GW(4/29～5/8)および夏休み(7/16～8/28)は毎日	357人 (累計:5,784人)	まるで無重力ジャンプ。ハーネス、ゴムロープ、トランポリンで、自分の身体能力ではありえないほど高いジャンプを体験していただいた。	昨年:600人 (昨年累計:6,209人)
紅葉たたきぞめ	11/5(土)・6(日)	10人	紅葉した葉っぱを使って布を染め上げた。	前年未実施
冬のウォーキング塾	11/12(土)、26(土)	49人	平成20年度より大町市・松川村と連携して実施している健康講座。運動による効果を活かした住民の健康づくりを行政だけでなく、地元の病院や国営公園が積極的にサポートする全10回(内公園は3回)の教室を開催。	昨年は7～12月に実施
ツインイルミネーション 光の森のページェント	11/19(土)～2017.1/9(月・祝)	夜間入園者数:3,431人	冬の風物詩ともなっているイルミネーションイベントを2地区同時開催。大町・松川地区は「秋」・「冬」をテーマに、装飾を施した。	昨年:7,894人 (夜間入園者数) ※11/7より開催
ファミリーコンサート	11/27(日)	40人	みんなで歌おう！親子で楽しめるコンサートを開催した。	昨年:200人 ※イルミネーションコンサートとして2回実施
12月				
ツインイルミネーション 光の森のページェント	11/19(土)～2017.1/9(月・祝)	夜間入園者数:12,242人 (累計:15,673人)	冬の風物詩ともなっているイルミネーションイベントを2地区同時開催。大町・松川地区は「秋」・「冬」をテーマに、装飾を施した。	昨年:11,775人 (夜間入園者数) (累計:19,669人) ※11/7より開催
イルミネーション点灯式	12/3(土)・4(日)、10(土)・11(日)、17(土)・18(日)、23(金・祝)	194人 (累計:423人)	大町市・松川村の幼稚園、保育園の園児及び保護者を招待して点灯式を実施した。	昨年:378人 (累計:614人)
魔法使いアキットのマジックショー	12/3(土)・4(日)	730人	イルミネーションの夜にあわせた不思議なマジックショーを実施。ショー終了後、園内でのグリーティングを実施した。	昨年:700人
イルミネーションコンサート	12/10(土)・11(日)、17(土)・18(日)	210人	イルミネーションの夜にあわせたコンサートを実施した。	昨年:230人
クリスマス・ステージ	12/23(金・祝)・24(土)・25(日)	520人	クリスマスの夜にあわせて日替わりでステージショーを実施した。	昨年:500人
冬のウォーキング塾	12/10(土)	20人	平成20年度より大町市・松川村と連携して実施している健康講座。運動による効果を活かした住民の健康づくりを行政だけでなく、地元の病院や国営公園が積極的にサポートする全10回(内公園は3回)の教室を開催。	昨年は7～12月に実施
1月				
ツインイルミネーション 光の森のページェント	11/19(土)～2017.1/9(月・祝)	夜間入園者数:2,828人 (累計:18,501人)	冬の風物詩ともなっているイルミネーションイベントを2地区同時開催。大町・松川地区は「秋」・「冬」をテーマに、装飾を施した。	昨年:3,719人 (夜間入園者数) (累計:23,388人) ※11/7より開催
新春！餅つき	1/2(月・祝)	132人	臼と杵を使った本格的な餅つき体験。つきたてお餅を食べて頂いた。	昨年:145人

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
冬の公園で遊ぼう！	1/21(土)～3/5(日) ※積雪等の状況により変動	1,294人 (延べ貸出数) ＊1/21より開始	雪多い立地環境を生かした雪遊びイベントを開催。小さなこどもでも安心してそり遊び等の雪遊びができる環境を提供するとともに、冬にしか体験できない自然散策や、アウトドア・アクティビティなど季節感のあるイベントを展開した。	昨年：1,063人 (延べ貸出数) ＊1/23より開始 (累計：3,321人)
雪中宝探し	1/21(土)・22(日)、28(土)・29(日)	253人	雪の中に埋められたカプセルを探していただき、カプセルに入っている番号に応じた記念品をプレゼントした。	昨年：308人
2月				
冬の公園で遊ぼう！	1/21(土)～3/5(日) ※積雪等の状況により変動	2,462人 (延べ貸出数) (累計：3,756人)	雪多い立地環境を生かした雪遊びイベントを開催。小さなこどもでも安心してそり遊び等の雪遊びができる環境を提供するとともに、冬にしか体験できない自然散策や、アウトドア・アクティビティなど季節感のあるイベントを展開した。	昨年：2,103人 (延べ貸出数) (累計：3,166人)
スノーラフティング	2/4(土)・5(日)、11(土)・12(日)	448人	スノーモービルにつながったラフティングボートに乗って、スピード感を味わっていただいた。	昨年：361人
バックカントリーそり	2/5(日)、19(日)	11人	スノーシューで雪の森を散策するとともに、森の中の斜面でそり遊びを楽しむ。遊んだあとは、森の体験舎で竹巻パンづくりの体験を行った。	初開催
ファットバイク体験ツアー	2/4(土)	6人	雪上でも走れる自転車「ファットバイク」の体験ツアーを実施した。	新規エリア
アイスデイ	2/11(土)・12(日)	(2,572人)	北アルプス山麓に位置する公園ならではの雪・氷のオブジェで冬を演出。新たな冬の風物詩としてPRした。	初開催
氷のすべり台「アイススライダー」	2/11(土)・12(日)、18(土)・19(日)	3,233人	長さ20mの氷のすべり台を作成し、冬の公園ならではの遊びを提供する。また、長さ5mの幼児用も併設し、小さなお子さまでも楽しんでいただいた。	初開催
アイスガーデン「氷柱花」	2/11(土)・12(日)	128人	レストラン前の円形広場内に氷の中に花を閉じ込めた「氷柱花」を並べ、雪と合わせて幻想的な空間を創出。冬の寒さを活かしたフォトスポットとして誘客を図った。	初開催
スノーマンズ・ワークショップ	2/11(土)・12(日)	249人	来園者に雪型を使って作成した雪の人形を、園内各所に飾っていただく来園者参加型の成長する展示を実施した。	初開催
雪中大運動会	2/11(土)・12(日)	321人	雪をテーマにした5種目の競技を楽しんでいただいた。	昨年：152人 ※雪不足のため、丸太んピックに変更して実施
豚汁の振舞い	2/11(土)	300人	300食限定で温かい豚汁の振舞を行った。	昨年：300人
温かいそばの振る舞い	2/12(日)	300人	300食限定で温かいおそばの振舞を行った。	昨年：300人
3月				
冬の公園で遊ぼう！	1/21(土)～3/5(日) ※積雪等の状況により変動	60人 (延べ貸出数) (累計：3,816人)	雪多い立地環境を生かした雪遊びイベントを開催。小さなこどもでも安心してそり遊び等の雪遊びができる環境を提供するとともに、冬にしか体験できない自然散策や、アウトドア・アクティビティなど季節感のあるイベントを展開した。	昨年：155人 (延べ貸出数) (累計：3,321人)
アニマルトラッキング「リフレッシュの森探検」	3/4(土)	1人 (森の散策体験に含む)	スノーシューを履き、普段入れない「リフレッシュの森・渓流エリア」での自然散策を行った。	新規エリア
スモアづくり	3/18(土)～20(月・祝)	685人	焼いたマシュマロとチョコレートをクラッカーで挟むキャンプの定番おやつ作り体験を実施した。	前年未実施
作って遊ぼう！紙ブーメラン＆紙皿フリスビー	3/18(土)～20(月・祝)、25(土)・26(日)	328人	紙ブーメランと紙皿フリスビーをつくり、芝生広場で投げて遊ぶ体験を行った。	昨年：144人 ※類似プログラムを3日間開催

平成29年度　国営アルプスあづみの公園（堀金・穂高地区）　イベント実施状況

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
4月				
マレットゴルフ体験	通年	4月：292人 (累計：292人)	1コース18ホールを設置し、道具等を無料で貸出し親子で楽しめるニュースポーツイベントを実施。	昨年度：579人
キッズプレイパーク	1/11（火）～ 4/2（日）		ボールプールをはじめクライミングウォール、フォレストアドベンチャーなどの屋内遊びを充実させたイベントを開催。	昨年度：2,112人 累計：14,150人
キッズプレイパーク 「フォレストアドベンチャー」	2/4（土）～ 4/2（日）の土日祝 *3/18(土)～毎日	4月：100人 (累計：718人)	専用のハーネスを着用し、本格的な木製アスレチックが楽しめるフォレストアドベンチャーを実施。	昨年度：105人 累計：1,252人
SPRING FESTA 2017	4/22（土）～5/21（日）	期間中入園者数 4月：11,045人	68品種22万本のチューリップをはじめ、初開催となる500万本のナノハナが楽しめる花修景や、期間中にはワークショップ・アクティビティイベント等様々なイベントを開催。	昨年度：9,420人
アルプスの風におよぐ 鯉のぼり	4/22（土）～5/21（日）	期間中入園者数 4月：11,045人	北アルプス常念岳を背景に、約300匹の鯉のぼりが泳ぐ演出を実施。	
フォレストアドベンチャー	4/22（土）～5/21（日） の土日祝	4月：148人	専用のハーネスを着用し、本格的な木製アスレチックが楽しめるフォレストアドベンチャーを実施。	昨年度：263人
ワークショップイベント	4/22（土）～5/21（日） の土日祝	4月：115人	自然素材を使ったワークショップを開催。【内容：①ハーブ石鹸・②万華鏡・③デコルテミラー・フォトフレーム、④ジェルキャンドル、⑤クレヨン】＊③～⑤は5/3～7の5日間開催。	
菜の花畑を巡る 健康ウォーキング教室	4/23（日）・30(日)	52人	春の菜の花畑を巡るウォーキング教室を開催。健康的に効率的なウォーキングを目指した歩き方のレクチャーを受け、起伏に富んだコースを約1時間かけて歩く。	
桜のアルプスあづみのセンチュリーライド（AACR）	4/23（日）	1452人	5月に加えて、サイクリングイベント桜のAACRを4月に初開催。HH地区とOM地区をエイドとして実施です。	
チューリップ&春の花畑ガイドツアー	4/29（土）～5/7（日） の土日祝日	4月：30人	公園で見ごろを迎える草花を、植物管理担当職員によるガイドツアーを実施。	昨年度：62人
理科教室企画展 「春爛漫　桜金魚・満開！」	3/18（土）～ 4/16（日）	期間中入園者数 4月：3,375人 (累計：8,303人)	春を呼ぶ桜色をした金魚たちを一堂に集めて特別展示を開催。	
あづみの学校理科教室 春のメダカコレクション	4/22（土）～5/21（日）	期間中入園者数 4月：11,045人	変わりメダカ（日本の改良品種）と世界の変わりメダカを展示。	
5月				
マレットゴルフ体験	通年	5月：866人 (累計：1,158人)	1コース18ホールを設置し、道具等を無料で貸出し親子で楽しめるニュースポーツイベントを実施。	昨年度累計：929人
SPRING FESTA 2017	4/22（土）～5/21（日）	期間中入園者数 5月：52,924人 (累計：63,969人)	68品種22万本のチューリップをはじめ、初開催となる500万本のナノハナが楽しめる花修景や、期間中にはワークショップ・アクティビティイベント等様々なイベントを開催。	昨年度同月：43,783人 (累計：53,203人 ：23日間)
アルプスの風におよぐ 鯉のぼり	4/22（土）～5/21（日）	期間中入園者数 5月：52,924人 (累計：63,969人)	北アルプス常念岳を背景に、約300匹の鯉のぼりが泳ぐ演出を実施。	
フォレストアドベンチャー	4/22（土）～5/21（日） の土日祝	5月：685人 (累計：833人)	専用のハーネスを着用し、本格的な木製アスレチックが楽しめるフォレストアドベンチャーを実施。	昨年度同月：707人 (累計：970人)
ワークショップイベント	4/22（土）～5/21（日） の土日祝	5月：995人 (累計：1,110人)	自然素材を使ったワークショップを開催。【内容：①ハーブ石鹸・②万華鏡・③デコルテミラー・フォトフレーム、④ジェルキャンドル、⑤クレヨン】＊③～⑤は5/3～7の5日間開催。	昨年度：573人
春の花畑ガイドツアー	4/29（祝・土）～5/7 （日） の土日祝日	5月：113人 (累計：143人)	公園で見ごろを迎える草花を、植物管理担当職員によるガイドツアーを実施。	昨年度同月：31人 (累計：93人)
ふれあい動物園	5/3（祝・水）～5/5（祝・金）	期間中入園者数 35,294人	アルパカやヤギ、ヒツジ、ミニブタ、ポニーなど子供たち人気の動物を一堂に集めたふれあい動物園を開催。	昨年度：32,182人
球根の掘り取り体験	5/14（日）	1,483人	花期が過ぎたチューリップの球根を掘り取るイベントを実施。	昨年度：935人
キッズラグビーパーク	5/20(土)・21（日）	260人	元日本代表の大西将太郎と冨岡耕児の2名をゲストに招き、信州大学ラグビー部の協力を得て、子供たちに楽しくラグビーに触れてもらう体験教室を開催。	昨年度：80人 (1日間)

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
松本山雅FC キッズサッカーパーク	5/27(土)	120人	松本市のJ2チーム、松本山雅FCのコーチ、スタッフ等による子供たちを対象としたサッカーイベントを開催。	昨年度:100人
第13回あづみの早春賦 音楽祭	5/4(祝・木)	当日入園者数 17,100人	園内各所にステージを設け、地元をはじめとしたアーティストや団体による音楽イベントを開催。	昨年度:14,018人
緑のアルプスあづみのセンチュリーライド(AACR)	5/21(日)	1,472人	4月に引き続き、5月にサイクリングイベント緑のAACRを開催。HH地区とOM地区をエイドとして実施。	
あづみの学校理科教室 春のメダカコレクション	4/22(土)～5/21(日)	期間中入園者数 5月:52,924人 (累計:63,969人)	変わりメダカ(日本の改良品種)と世界の変わりメダカを展示。	
理科教室企画展 農作業車ミニカーの展示	4/22(土)～6/4(日)	期間中入園者数 5月:52,924人 (累計:67,201人)	雪形の現れる春、田んぼや畑で活躍するの農作業車のミニカー約60台を展示。	
馬耕体験&実演	5/13(土)	雨天のため中止	昔ながらの馬を使った田んぼの耕作風景を体験と実演を交えて紹介する予定であったが、雨天中止。	昨年度:36人
さとやま乗馬体験	5/13(土)	雨天のため中止	菜の花が咲く棚田を巡る乗馬体験を馬2頭により開催する予定であったが、雨天中止。	
常念山麓ふれあいマルシェ	5/20(土)・21(日)	期間中入園者数 3,830人	ガイドセンター前広場(無料区側)を会場に地元の新鮮な農産物や加工品など地域の特産を販売する軽トラ市を開催した。	新規
6月				
マレットゴルフ体験	通年	6月:205人 (累計:1,363人)	1コース18ホールを設置し、道具等を無料で貸出し親子で楽しめるニュースポーツイベントを実施。	昨年度同月:190人 (累計:1,868人)
イマジネーション大開放! 『KIDS PLAYPARK』	6/3(土)～7/2(日)	期間中入園者数 8,609人	未就学児を含めた子供たちを持つ家族連れの集客を図り、閑散期の利用促進を実施する。段ボール迷路、ボールプール、クライミングウォール、積木で遊ぼう、屋内で子供たちがイマジネーションを働かせて思いっきり楽しめる遊びを開催。	
理科教室企画展 農作業車ミニカーの展示	4/22(土)～6/4(日)	期間中入園者数 6月:2,192人 (累計:69,393人)	雪形の現れる春、田んぼや畑で活躍するの農作業車のミニカー約60台を展示。	
理科教室特別展示 雨あめ降れふれ カエル展	6/3(土)～7/9(日)	期間中入園者数 8,609人	梅雨の時期に合わせ、雨降りが大好きなカエルたちを展示。また、かわいいカエルグッズもご覧になれる。	
安曇野市都市計画課「樹木観察会・初夏」	6/28(水)	13人	安曇野市都市計画課主催・募集の樹木観察会を実施した。(団体利用)	
7月				
マレットゴルフ体験	通年	7月:273人 (累計:1,636人)	1コース18ホールを設置し、道具等を無料で貸出し親子で楽しめるニュースポーツイベントを実施。	昨年度同月:347人 (累計:2,215人)
イマジネーション大開放! 『KIDS PLAYPARK』	6/3(土)～7/2(日)	期間中入園者数 7月:914人 (累計:9,523人)	未就学児を含めた子供たちを持つ家族連れの集客を図り、閑散期の利用促進を実施する。段ボール迷路、ボールプール、クライミングウォール、積木で遊ぼう、屋内で子供たちがイマジネーションを働かせて思いっきり楽しめる遊びを開催。	
理科教室特別展示 雨あめ降れふれ カエル展	6/3(土)～7/9(日)	期間中入園者数 7月:2,561人 (累計:11,170人)	梅雨の時期に合わせ、雨降りが大好きなカエルたちを展示。また、かわいいカエルグッズもご覧になれる。	
夏のアルプス大冒険 ウォーターアドベンチャー	7/15(土)～8/27(日)	期間中入園者数 7月:10,174人	「ウォーターアドベンチャー」「じゃぶじゃぶ池」「ニジマスのつかみ取り」をイベントを展開し、北アルプスを背景にした公園ならではのイベントを実施する。また夏の花修景として、里山文化ゾーンではソバやヒマワリ迷路を創出し、田園文化ゾーンではサンパチェンス水上花壇を設置する。	昨年度7月:11,751人
夏のアルプス大冒険 「ウォーターアドベンチャー」	7/15(土)～8/27(日)	7月:1,158人	段々に広がる池を使い、丸太などを用いた本格水上アスレチック体験を実施。今年は、ウッドトンネルとロープクライミングを新規実施。	昨年度7月:1,301人
夏のアルプス大冒険 「じゃぶじゃぶ池」	7/15(土)～8/27(日)	期間中入園者数 7月:10,174人	安心して子供たちに遊んでもらえる毎年恒例の「じゃぶじゃぶ池」を夏休み期間中に限り実施	昨年度7月:11,751人
夏のアルプス大冒険 「ニジマスのつかみ取り」	7/15(土)～8/27(日)の土日祝日& 8/10(木)～16(水)の毎日	7月:749人	池に放流したニジマスを手づかみで捕まえる体験を実施。捕まえた魚は炭火焼で食していただく。	昨年度7月:667人

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
泥りんピック	715(土)	23人	松本大学の学生と泥田で遊ぶレクリエーションを実施した。	昨年度:12人
8月				
マレットゴルフ体験	通年	8月:1,220人 (累計:2,856人)	1コース18ホールを設置し、道具等を無料で貸出し親子で楽しめるニュースポーツイベントを実施。	昨年度同月:347人 (累計:2,215人)
夏のアルプス大冒険 「ウォーターアドベンチャー」	7/15(土)～8/27(日)	期間中入園者数 8月:44,395人 (累計:54,569人)	「ウォーターアドベンチャー」「じゃぶじゃぶ池」「ニジマスのつかみ取り」をイベントを展開し、北アルプスを背景にした公園ならではのイベントを実施する。また夏の花修景として、里山文化ゾーンではソバやヒマワリ迷路を創出し、田園文化ゾーンではサンパチェンス水上花壇を設置する。	昨年度同月:43,109人 (累計:54,860人)
夏のアルプス大冒険 ウォーターアドベンチャー	7/15(土)～8/27(日)	8月:3,356人 (累計:4,514人)	段々に広がる池を使い、丸太などを用いた本格水上アスレチック体験を実施。今年は、ウッドトンネルとロープクライミングを新規実施。	昨年度同月:4,189人 (累計:5,490人)
夏のアルプス大冒険 じゃぶじゃぶ池	7/15(土)～8/27(日)	期間中参加者数 8月:2,142人 (累計:3,064人)	安心して子供たちに遊んでもらえる毎年恒例の「じゃぶじゃぶ池」を夏休み期間中に限り実施	昨年度同月:3,187人 (累計:4,386人)
夏のアルプス大冒険 ニジマスのつかみ取り	7/15(土)～8/27(日) の土日祝日& 8/10(木)～16(水)の 毎日	8月:2,132人 (累計:2,881人)	池に放流したニジマスを手づかみで捕まえる体験を実施。捕まえた魚は炭火焼で食していただく。	昨年度同月:2,171人 (累計:2,838人)
生き物ふれあい体験	7/15(土)～8/27(日) ＊8/1～6おもしろ発見 塾期間はお休み	期間中入園者数 8月:39,413人 (累計:49,587人)	アメリカザリガニ、カブトムシ、ドクターフィッシュなどとのふれあいコーナーを実施。	昨年度同月:37,360人 (累計:49,111人)
夏のアルプス大冒険 ジェルクラフト	8/11(祝・金)～13(日) & 19(土)&20(日)	321人	容器を選んでもらい、アートジェルを使用したオブジェを自由な発想で簡単に作って固定します。	新規
Summer Illumination	8/11(祝・金)～8/20 (日)	10,808人	昨年度と比べて期間を延長して、北アルプス、安曇野の自然をテーマにサマーイルミネーションを実施して、利用促進を図る。	昨年度 9,996人
Summer Illumination プラネタリウム& 星空観察会	8/11(祝・金)～8/13 (日)	プラネタリウム:689人 星空観察会:200人	イルミネーションに合わせて、星空観察会を国立展望台職員、双眼鏡メーカーのビクセンの協力で開催。	昨年度(5日間) プラネタリウム:888人 星空観察会:343人
お盆棚・麦舟展示	8/8(火)～16(水)	期間中入園者数 22,881人	社会科教室歳時記の展示として、安曇野地域に伝わる盆棚・麦舟を展示。初日には麦舟作りの実演を行った。	昨年度:28,945人
常念山麓ふれあいマルシェ・夏	8/11(祝・金)～13(日)	期間中入園者数 11,400人	カブトムシや桃などの農産物を持ち寄る軽トラ市を実施した。	新規
かかし作りイベント	8/26(土)・27(日)	1家族3人	かかしコンテスト応募者を対象に公園パートナーと一緒にかかしを製作する。	昨年:1家族3人
9月				
マレットゴルフ体験	通年	9月:328人 (累計:3,184人)	1コース18ホールを設置し、道具等を無料で貸出し親子で楽しめるニュースポーツイベントを実施。	昨年度同月:240人 (累計:3,527人)
秋 コスモスの花フェスタ	9/16(土)～10/15(日)	期間中入園者数 9月:9,712人	田園文化ゾーンでは、シーシェルなどの珍しい品種を中心に12品種35万本のコスモス、里山文化ゾーンでは200万本コスモスが園内を彩る。また、花の魅力を伝えられる各種イベントやプログラム等を展開して、家族等でも楽しめるような内容を充実する。	昨年度同月:9,234人
秋 コスモスの花フェスタ カヤック・ラフティング	9/16(土)～10/15(日) の土日祝日	9月:220人	池を使い、インストラクターによるレクチャーを受け本格的なミニ体験が楽しめるイベントを開催。	昨年度同月:41人
秋 コスモスの花フェスタ 秋のクラフトワークショップ	9月16日(土)～18日 (祝・月)、23日(祝・ 土)・24日(日)、10月7	9月:198人	安曇野産のハーブや材料等、自然素材を活用したワークショップイベントを実施。	昨年度同月:112人
秋 コスモスの花フェスタ フォレストアドベンチャー	9/17(土)～10/16(日) の土日祝日	9月:220人	専用のギアを装着し本格的なアスレチックが楽しめるイベントを開催。	昨年度:49人
秋 コスモスの花フェスタ 音で感じる絵本の世界	9月16日(土)、17日 (日)	190人	音楽と絵本のコラボレーションを実施。楽器作りのワークショップも実施。	新規
秋 コスモスの花フェスタ 池まつり	9/18(祝・月)	164人	毎年恒例となった池に放ったニジマスを、網を使って捕まえる「池まつり」を開催。	昨年度:52人 ＊雨天開催

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
秋 コスモスの花フェスタ コスモス畑を巡る 健康ウォーキング	9月23日(祝・土)、24日(日)	22人	健康的に効率的なウォーキングを目指した歩き方のレクチャーを受け、起伏に富んだコースを約1時間かけて歩きます。おにぎり1個分のカロリー消費を目標に歩きます。また、参加者には消費したカロリー分のお米をプレゼント。	新規
秋 コスモスの花フェスタ きのこのもぎ取り体験	9月23日(祝・土)、24日(日)	181人	菌床のきのこの観察をした後に、摘み取り体験をして、お持ち帰り頂きました。また、当日は「信州力(りき)」の着ぐるみも登場！	新規
交通安全ミニカー展示	9/2(土)～10/1(日)	期間中入園者数 19,009人	9月21日～30日の期間は、秋の全国交通安全運動が実施されます。これに因み、あづみの学校ギャラリーでは『交通安全ミニカー展示』を開催	秋新規
昭和のコスチュームで乗馬体験	9/16(土)、17(日)	17人 (17日は雨天中止)	里山風景を背景に戦後昭和の農業をイメージして、麦わら帽子などの貸出する乗馬体験を実施した。	昨年:　13人 (昨年も1日実施)
野草植栽イベント	9/30(土)	43人	県耕地整備課と共催で、圃場整備予定地より在来野草クララの株の園内への植栽を実施した。	新規
さとやま発展講座「オオルリシジミ物知りクイズ」	9/30(土)	23人	オオルリシジミ研究者を講師に招き、オオルリシジミ物知りクイズを実施した。	新規
10月				
マレットゴルフ体験	通年	10月:295人 (累計:3,479人)	1コース18ホールを設置し、道具等を無料で貸出し親子で楽しめるニュースポーツイベントを実施。	昨年度同月:434人 (累計:3,961人)
秋 コスモスの花フェスタ	9/16(土)～10/15(日)	期間中入園者数 10月:13,285人 (累計:24,244人)	田園文化ゾーンでは、シーシェルなどの珍しい品種を中心に12品種35万本のコスモス、里山文化ゾーンでは200万本コスモスが園内を彩る。また、花の魅力を伝えられる各種イベントやプログラム等を展開して、家族等でも楽しめるような内容を充実。	昨年度同月:12,599人 (累計:23,807人)
秋 コスモスの花フェスタ カヤック・ラフティング	9/16(土)～10/15(日)の土日祝日	10月:276人 (累計:554人)	池を使い、インストラクターによるレクチャーを受け本格的なミニ体験が楽しめるイベントを開催。	昨年度同月:204人 (累計:323人)
秋 コスモスの花フェスタ 秋のクラフトワークショップ	9月16日(土)～18日(祝・月)、23日(祝・土)・24日(日)、10月7日(土)～9日(月・祝)	10月:127人 (累計:325人)	安曇野産のハーブや材料等、自然素材を活用したワークショップイベントを実施。	昨年度累計:112人
秋 コスモスの花フェスタ フォレストアドベンチャー	9/17(土)～10/16(日)の土日祝日	10月:297人 (累計:517人)	専用のギアを装着し本格的なアスレチックが楽しめるイベントを開催。	昨年度同月:170人 (累計:258人)
アウトドアパーク　part1	9月30日(土)・10月1日(日)	期間中入園者数 7,197人	今年で5年目を迎えるアウトドアパーク。昨年好評であったアウトレットマーケットを拡大するとともにアクティビティイベントの充実を図った、アウトドアを思いっきり楽しめるイベントを開催。	昨年度:5,426人
秋 コスモスの花フェスタ ポニーの乗馬体験	9月30日(土)・10月1日(日)	10月:183人	子供たちに人気のポニーと馬の乗馬体験を実施。1周約300mのコースを1周。	昨年度:117人 ＊1日間は中止
アウトドアパーク　part2 ～ツリー フレンドシップ フェスティバル～	10月7日(土)～9日(祝・月)	期間中入園者数 5,676人	ツリーマスタークライミングアカデミーの全国大会を一般来園者参加型で開催。期間中は、全国会員から持ち寄られた様々なワークショップイベントをはじめ、会員の技量を競うデモンストレーション等を実施。	昨年度:2,945人
秋 コスモスの花フェスタ ふれあい動物園	10月7日(土)～9日(祝・月)	期間中入園者数 5,676人	毎回好評のふれあい動物園を開催。今回は新たに「ハリネズミ」「フクロモモンガ」など人気の動物が登場！	昨年度:7,197人 ※昨年度は無料入園日に2日間実施。
秋 コスモスの花フェスタ ワンちゃんのしつけ教室	10月14日(土)	41人	初心者向けの犬のしつけ教室を実施します。当日申込みですので、気楽に参加。	新規
秋 コスモスの花フェスタ パークヨガ	10月14日(土)	7人	原っぱで、パークヨガをお楽しみいただけます。青空と大自然のもと、深呼吸！ヨガのポーズは、どなたでも無理なく行いやすいもの。健康、美容、リラックス、体力づくり、リハビリ、ダイエット、運動不足解消、集中力アップ･･･など色々な効果あり！	新規
秋 コスモスの花フェスタ コスモスの摘みとり体験	10月15日(日)	80人	田園文化ゾーンのコスモス花壇内の摘みとり体験を実施。	昨年度:277人 ※2日間
消防車両ミニカー展示	10月14日(土)～11月19日(日)	期間中入園者数 10月:3,872人	みんなの街を火災から守る、消防車両や救急車のミニカーを展示を展示。	昨年度同月:10,496人 (昨年10/8～開始)
常念山麓ふれあいマルシェ	10/7(土)～10/9(祝・月)	5,676人 (期間中入園者数)	焼き芋・シイタケなど地元農産物を塚原区のみなさんが販売・実施した。	新規

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
正調安曇節を踊ろう	10/15(日)	14人 (自由観覧者数)	穂高文化協会踊りサークルの皆様に正調安曇節、穂高音頭他を披露いただいた。雨混じりの天気となったため、あづみの学校玄関ホールで実施した。	昨年度: 10/1入園者数1,914人
11月				
マレットゴルフ体験	通年	11月:272人 (累計:3,751人)	1コース18ホールを設置し、道具等を無料で貸出し親子で楽しめるニュースポーツイベントを実施。	昨年度累計:4,151人
TWIN ILLUMINATION 光の森のページェント 「七つの宝石の秘密」	11/11(土)～1/8(月・祝)	期間中入園者数 11月:14,186人 (夜間入園者数)	冬の風物詩ともなっているイルミネーションイベントを2地区同時開催。「7つの宝石の秘密」と題し、2地区を巡って光の森に輝く7つの宝石に秘められた「真実の宝物」の謎を解き明かす。	昨年度同月:9,773人 (昨年11/19～開始)
地元園児によるイルミネーション点灯式	11月11日(土)、12日(日)	628人	安曇野市内11園の保育園と連携し、期間中にイルミネーション点灯式に参加いただく。今年は開催初日と翌日に計11園の園児とその親子を招待して、点灯式ともに花火の演出を実施。	昨年度:597人
きのこ汁の振舞い	11月11日(土)	600人	イルミネーション開始を祝して、きのこ汁の振舞いを実施。11/11(土)は長野県きのこの日となっています。	新規
光と花火のショー	11月11日(土)・18日(土)・25日(土)・12月2日(土)・9日(土)・16日(土)・23日(土・祝)・24日(日)・30日(土)・1月6日(土)	6,984人 (3日間夜間入園者数)	段々に広がる池の上のイルミネーションとのコラボレーションとして、光り輝く夜空を彩る花火を実施。今年は宝石に合わせたテーマの花火を演出。	7,403人 (昨年度同月5回実施、夜間入園者数)
ジュエリーコンサート	①11月18日(土)②25日(土)・26日(日)③12月3日(日)	①200人、②450人	①ニュースリーシャープス・オーケストラ、②よつやほるもん、③安曇野国際音楽会のコンサートをにぎやかに実施。	昨年度:①150人、②550人
ライトアップジェルクラフト	11月18日(土)、19日(日)、1月6日(土)、7日(日)、8日(月・祝)	50人 (11月参加者数)	好きなパーツを組み合わせてオリジナルの作品を作って頂いた。またイルミネーションに合わせて、幻想的に光るキャンドルも作れます。	冬季新規
音で感じる絵本の世界	11月25日(土)・26日(日)	220人	秋に実施して大盛り上がりした「音で感じる絵本の世界」が冬に復活。ベースとパーカッションをバックに、新しい絵本の世界が広がりました。	冬季新規
消防車両ミニカー展示	10月14日(土)～11月19日(日)	期間中入園者数 11月:13,161人 (累計:17,033人)	みんなの街を火災から守る、消防車両や救急車のミニカーを展示を展示。	昨年度同月:4,161人 (累計:14,657人) (昨年10/8～11/13)
トロピカルクリスマス	11月11日(土)～1月8日(月・祝)	期間中入園者数 11月:14,186人 (夜間入園者数)	デンキウナギのクリスマスイルミネーションをはじめ、クリスマスシーズンに水族館等の展示で定番となっているサンタエビ、体の一部に電光が走るように見えるウコンハネガイ、体が光って見えるネオンテトラ等の熱帯魚を展示。	昨年度同月:9,773人 (昨年11/19～開始)
安曇野アートライン展	11月23日(木・祝)～12月24日(日)	期間中入園者数 11月:2,143人	安曇野アートライン推進協議会加盟の美術館、博物館18施設による作品や紹介パネルを一堂に展示し、各館所蔵の芸術作品の鑑賞及び各館の由来や歴史などの紹介を通して、アートの世界を体感できる展示会を実施する。合わせて、アートライン・スタンプラリーも同時開催。	昨年度同月:2,661人 (昨年11/19～開始)
常念山麓ふれあいマルシェ	11/3(祝・金)～11/5(日)	2,435人 (期間中入園者数)	焼き芋・リンゴ・渋柿など地元農産物を塚原区のみなさんが販売・実施した。	新規
プロジェクト・ワイルド「クマ講演会」	11/17(金)	51人	アメリカのプロジェクトワイルドスタッフを講師に招き、アメリカでのクマ保全活動について学んだ。	新規
12月				
マレットゴルフ体験	通年	12月:57人 (累計:3,808人)	1コース18ホールを設置し、道具等を無料で貸出し親子で楽しめるニュースポーツイベントを実施。	昨年度同月:135人 (累計:4,286)
TWIN ILLUMINATION 光の森のページェント 「七つの宝石の秘密」	11/11(土)～1/8(月・祝)	期間中入園者数 12月:32,643人(夜間) (累計:46,829人)	冬の風物詩ともなっているイルミネーションイベントを2地区同時開催。「7つの宝石の秘密」と題し、2地区を巡って光の森に輝く7つの宝石に秘められた「真実の宝物」の謎を解き明かす。	昨年度同月:39,354人 (累計:49,127)
光と花火のショー	12月2日(土)・9日(土)・16日(土)・23日(土・祝)・24日(日)・30日(土)・1月6日(土)	17,560人 (6日間夜間入園者数)	段々に広がる池の上のイルミネーションとのコラボレーションとして、光り輝く夜空を彩る花火を実施。今年は宝石に合わせたテーマの花火を演出。	17,871人 (昨年度同月5回実施、夜間入園者数)
ジュエリーコンサート	①11月18日(土)②25日(土)・26日(日)③12月3日(日)	③300人 (累計:950人)	①ニュースリーシャープス・オーケストラ、②よつやほるもん、③安曇野国際音楽会のコンサートをにぎやかに実施。	昨年度累計:700人 (3日間)

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
夜のお楽しみ工作教室	12月2日(土)、3日(日)、9日(土)、10日(日)、16日(土)、17日	294人	週替わりで、レジンのストラップづくり、キャンドルづくり、スノードームづくりの工作体験を3週にわたり実施。	昨年度:133人
プラネタリウムと星空観察会	12月16日(土)・17日(日)	プラネタリウム:179名 星空観察会:306名	安曇野の夜空に宝石のように輝く星空。屋内でのプラネタリウムと星空観察会を実施する。	昨年度:331名 (プラネタリウム)
子供たちへのクリスマスプレゼント	12月23日(土・祝)・24日(日)	ポン菓子の振る舞い:600名 人形劇:420名	クリスマスイブの週末に子供たちへのクリスマスプレゼント企画として、ポン菓子の振る舞いと人形劇(パペットシアター)を実施する。	昨年度: 900名(ポン菓子・3日間) 750名(人形劇・3日
年末カウントダウンイベント	12月31日(日)	200人 (参加者数)	毎年の恒例となっている信州プロレスによる煩悩を振り払う108つのプロレスチョップと、年またぎで地元松川村の響岳太鼓による迫力のカウントダウン演奏を実施する。また、21時よりガイドセンターにて公園マスコットのお出迎えも実施。また、甘酒のふるまいを実施。	昨年度:695人 (入園者数)
トロピカルクリスマス	11月11日(土)～1月8日(月・祝)	期間中入園者数 12月:32,643人(夜間) (累計:46,829人)	デンキウナギのクリスマスイルミネーションをはじめ、クリスマスシーズンに水族館等の展示で定番となっているサンタエビ、体の一部に電光が走るように見えるウコンハネガイ、体が光って見えるネオンテトラ等の熱帯魚を展示。	昨年度同月:39,354人 (累計:49,127)
安曇野アートライン展	11月23日(木・祝)～12月24日(日)	12月:8,193人 (累計:10,336人)	安曇野アートライン推進協議会加盟の美術館、博物館18施設による作品や紹介パネルを一堂に展示し、各館所蔵の芸術作品の鑑賞及び各館の由来や歴史などの紹介を通して、アートの世界を体感できる展示会を実施する。合わせて、アートライン・スタンプラリーも同時開催。	昨年度同月:5,807人 (昨年～12/18終了) (累計:8,468)
1月				
マレットゴルフ体験	通年	1月:62人 (累計:3,870人)	1コース18ホールを設置し、道具等を無料で貸出し親子で楽しめるニュースポーツイベントを実施	昨年度同月:89人 (累計:4,375)
TWIN ILLUMINATION 光の森のページェント 「七つの宝石の秘密」	11/11(土)～1/8(月・祝)	期間中入園者数 1月:7,217人(夜間) (累計:54,046人)	冬の風物詩ともなっているイルミネーションイベントを2地区同時開催。「7つの宝石の秘密」と題し、2地区を巡って光の森に輝く7つの宝石に秘められた「真実の宝物」の謎を解き明かす。	昨年度同月:8,087人 (累計:57,214)
新春！イルミでみんなで餅つき大会	1月2日(火)、3日(水)	餅つき:115人 振る舞い:295人	来園者の皆さんに餅つきに参加してもらい、ついてもらったできたてのお餅を振る舞い。	新規
光と花火のショー	12月2日(土)・9日(土)・16日(土)・23日(土・祝)・24日(日)・30日(土)・1月6日(土)	1,263人 (1月6日夜間入園者数)	段々に広がる池の上のイルミネーションとのコラボレーションとして、光り輝く夜空を彩る花火を実施。今年は宝石に合わせたテーマの花火を演出。	昨年度1月実施なし
ライトアップジェルクラフト	1月6日(土)、7日(日)、8日(月・祝)	1月:51人 (累計:101人)	好きなパーツを組み合わせてオリジナルの作品を作っていただく。またイルミネーションに合わせて、幻想的に光るキャンドルも作れます。	新規
インドアガーデン 「アイスチューリップの庭」	1月2日(火)～1月21日(日)	期間中入園者数 12,401人	1万2千本のアイスチューリップを屋内展示し、一足早い安曇野の春を演出。	昨年度:13,080人 (21日間)
アイスチューリップのプレゼント	1月21日(日)	576人	屋内展示をしていたアイスチューリップを1人3ポットまでプレゼント。	昨年度:300人
インドアガーデン 「ナノハナの庭」	1月27日(土)～2月18日(日)	期間中入園者数 1月:421人	昨年度より5000本多く、1万5千株のナノハナの黄色を展示。	昨年度同月:1,193人 (4日間)
キッズプレイパーク	1月20日(土)～4月8日(日)	期間中入園者数 1月:1,856人	ボールプールをはじめ積み木あそび、屋内ストレチックを配置し子供たちに冬場の遊び場を提供	昨年度同月:3,784人 (21日間)
トロピカルクリスマス	11月11日(土)～1月8日(月・祝)	期間中入園者数 1月:7,217人(夜間) (累計:54,046人)	デンキウナギのクリスマスイルミネーションをはじめ、クリスマスシーズンに水族館等の展示で定番となっているサンタエビ、体の一部に電光が走るように見えるウコンハネガイ、体が光って見えるネオンテトラ等の熱帯魚を展示。	昨年度同月:8,087人 (累計:57,214)
あづみの学校理科教室展示イベント 「干支の魚、フリソデエビ」	1月2日(火)～1月28日(日)	期間中入園者数 12,796人	戌年にちなみ、犬の"狆(チン)"の名前がついたお魚"チンアナゴ"を展示。また、お正月や成人式にちなみ、振袖のような大きなハサミ脚をもつ、鮮やかなエビを展示。	昨年度同月:14.392人
あづみの学校展示イベント 「独楽いろいろ」	1月2日(火)～1月28日(日)	期間中入園者数 12,796人	日本各地、そして世界に古くから伝わる様々な形の独楽160点余りを展示。	昨年度同月:14.392人
あづみの学校展示イベント 「ワンちゃん写真展」	1月2日(火)～1月28日(日)	期間中入園者数 12,796人	2013年から公園に来てくれたワンちゃんたち40頭の写真を展示。	新規
あづみの学校理科教室展示イベント 「バレンタイン＆ホワイトデー」	1月20日(土)～3月14日(水)	期間中入園者数 1月:1,856人	「ビターなキューピット　チョコレートグーラミィ」、「チュッチュするお魚　キッシンググーラミィ」等の熱帯魚の展示。	昨年度同月:2,310人
2月				

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
マレットゴルフ体験	通年	2月：0人 (累計：3,870人)	1コース18ホールを設置し、道具等を無料で貸出し親子で楽しめるニュースポーツイベントを実施	昨年度同月：49人 (累計：4,454人)
インドアガーデン 「ナノハナの庭」	1月27日（土）～2月18日（日）	期間中入園者数 2月：2,775人 (累計：3,196人)	昨年度より5000本多く、1万5千株のナノハナの黄色を展示。	昨年度同月：3,159人 (累計：4,352人)
ナノハナのプレゼント	2月18日（日）	379人	屋内展示をしていたナノハナをプレゼント。	
キッズプレイパーク	1月20日（土）～4月8日（日）	期間中入園者数 2月：3,509人 (累計：5,365人)	ボールプールをはじめ積み木あそび、屋内アスレチックを配置し子供たちに冬場の遊び場を提供。	昨年度同月：4,179人 (累計：7,963人)
あづみの学校理科教室展示イベント 「バレンタイン＆ホワイトデー」	1月20日（土）～3月14日（水）	期間中入園者数 2月：3,509人 (累計：5,365人)	「ビターなキューピット　チョコレートグーラミィ」、「チュッチュするお魚　キッシンググーラミィ」等の熱帯魚の展示。	昨年度同月：4,179人 (累計：7,682人)
消防車両ミニカー	2/3（土）～3/7（水）	期間中入園者数 3,447人	3月1日から3月7日の「春の交通安全予防運動」に合わせて、みんなの街を火災から守る、消防車両や救急車のミニカーを展示を展示。	昨年度同月：2,746人 (18日間)
環境教育指導者講習会 「グローイングアップ・ワイルド」	2月24日（土）	10人	幼児向け環境教育の指導者を養成のための講習会を開催した。	昨年：7人
3月				
マレットゴルフ体験	通年	3月：350人 (累計：4,220人)	1コース18ホールを設置し、道具等を無料で貸出し親子で楽しめるニュースポーツイベントを実施。	昨年度同月：327人 (累計：4,781人)
キッズプレイパーク	1月20日（土）～4月8日（日）	期間中入園者数 3月：8,419人 (累計：13,784人)	ボールプールをはじめ積み木あそび、屋内アスレチックを配置し子供たちに冬場の遊び場を提供。	昨年度同月：7,107人 (累計：14,076人)
フォレストアドベンチャー	1月20 日（土） ～3月 21日 （日の	3月：333人 (累計：559人)	ガイドセンター内に、専用のハーネスを着用し、本格的な木製アスレチックが楽しめるフォレストアドベンチャーを実施。	昨年度同月：419人 (累計：618人)
あづみの学校理科教室展示イベント 「バレンタイン＆ホワイトデー」	1月20日（土）～3月14日（水）	期間中入園者数 3月：2,321人 (累計：7,686人)	「ビターなキューピット　チョコレートグーラミィ」、「チュッチュするお魚　キッシンググーラミィ」等の熱帯魚の展示。	昨年度同月：1,939人 (累計：8,428人)
消防車両ミニカー	2/3（土）～3/7（水）	期間中入園者数 3月：1,267人 (累計：4,714人)	3月1日から3月7日の「春の交通安全予防運動」に合わせて、みんなの街を火災から守る、消防車両や救急車のミニカーを展示を展示。	昨年度同月：2,746人 (18日間)
絵本の広場	3/3（土）～4/8（日）	期間中入園者数 8,337人	日本・世界の絵本を300冊集め、ゆっくりと絵本が楽しめるイベントを開催。	昨年度同月：6,979人
お話しシアター (絵本の読み聞かせ)	3月3日（土）・17日（土）・31日（土）	240人(3日間)	子供たち向けに絵本の読み聞かせイベントを開催	昨年度：280人(4日間)
パペットシアター（人形劇）	3月4日（日）・18日（日）・4月1日（日）	560人(3日間)	3匹のコブタなど子供たちに人気の演目を上演	昨年度：210人
音で感じる絵本の世界	3月10日（土）・11（日）	250人	音楽に合わせて、絵本の世界を表現します。	冬季初実施
名人芸「コマ回し」	3月24日（土）・25（日）	540人	新規で名人芸のコマ回しを実施。	初実施
交通安全ミニカー展示	3/10（土）～4/15（日）	期間中入園者数 7,102人	春の全国交通安全運動」に合わせて、交通安全ミニカーの展示。	昨年度同月：5,951人
春爛漫　桜金魚　満開	3/17（土）～4/15（日）	期間中入園者数 5,931人	春にふさわしい桜色した可愛い金魚が勢ぞろい。	昨年度同月：4,928人

ｲベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
さとやま講座「野焼き見学会」	3月17日（土）	9人	オオルﾘシジミ保全作業として行う、サンクチャﾘの野焼きの様子を見学し、オオルﾘシジミの越冬の様子を観察する。集合後、サンクチャﾘの中も一部ご案内しした。	昨年:7人

平成29年度　国営アルプスあづみの公園（大町・松川地区）　イベント実施状況

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
4月				
SPRING FESTA 2017	4/22（土）～5/21（日）	期間中入園者数 (4月：5,496人)	新緑の美しい季節に、公園の重要な資源である「森」をテーマにしたイベントを開催。各種アクティビティを用意し、GWの子どもの遊び場として、ファミリー層のニーズに応えたものとするとともに、フリーマーケット等、春の暖かい日差しの中でのピクニックを提案した。	昨年期間中入園者数：4,378人 （昨年累計：32,608人）
森の宝探し「アルプスあづみの冒険の森」	4/22（土）～5/21（日）	4月：361人	大町・松川地区の春の魅力「新緑の森」を舞台にした宝探しイベント。クイズに答え、キーワードを集めると宝箱のありかが明らかになる。森歩きに家族で楽しめる謎解きの要素を加えることで、公園の春を体感していただいた。	昨年：416人 （昨年累計：1,709人）
ハイパージャンパー	4/22（土）～10/9（月・祝）の土日祝 ※GW・夏休み期間は毎日	4月：199人	ゴムロープ、トランポリンで、自分の身体能力ではありえないほど高いジャンプを体験できるアトラクション。	昨年：301人 （昨年累計：5,784人）
スカイダイバー	4/29（土）～5/7（日）	4月：117人	ウインチで釣り上げ、高いところから一気に急降下する空中ブランコ体験。	昨年未実施
サーキットチャレンジ	4/29（土）～5/7（日）	4月：1,382人	全長50m。アスレチックタイプのエアー遊具を3基設置し、外遊び空間を演出した。	昨年：1,198人 （昨年累計：6,944人）
ボルダリング体験	4/29（土）・30（日）	238人	インストラクターの指導のもと、ロープを使わない高さで楽しむロッククライミング「ボルダリング」を気軽に体験していただいた。	昨年未実施
丸太んピック	4/29（土）・30（日）	271人	丸太を使用した5種目（丸太橋渡り、重さ当て、積み上げ等）を実施した。	昨年：356人
「空のポスト」ワークショップ	4/29（土）～5/7（日）	4月：200人	北アルプス国際芸術祭2017「空の学校」GWスペシャル企画。絵付けしたプロペラを「空のポスト」に投函。北アルプス国際芸術祭期間中、作品の一部として展示される。	昨年未実施
5月				
SPRING FESTA 2017	4/22（土）～5/21（日）	期間中入園者数 (5月：35,640人) (累計：41,136人)	新緑の美しい季節に、公園の重要な資源である「森」をテーマにしたイベントを開催。各種アクティビティを用意し、GWの子どもの遊び場として、ファミリー層のニーズに応えたものとするとともに、フリーマーケット等、春の暖かい日差しの中でのピクニックを提案した。	昨年期間中入園者数：28,230人 （昨年累計：32,608人）
森の宝探し「アルプスあづみの冒険の森」	4/22（土）～5/21（日）	5月：1,577人 （累計：1,938人）	大町・松川地区の春の魅力「新緑の森」を舞台にした宝探しイベント。クイズに答え、キーワードを集めると宝箱のありかが明らかになる。森歩きに家族で楽しめる謎解きの要素を加えることで、公園の春を体感していただいた。	昨年度同月：1,292人 （昨年累計：1,709人）
ハイパージャンパー	4/22（土）～10/9（月・祝）の土日祝 ※GW・夏休み期間は毎日	5月：595人 （累計：794人）	ゴムロープ、トランポリンで、自分の身体能力ではありえないほど高いジャンプを体験できるアトラクション。	昨年度同月：878人 （昨年累計：5,784人）
スカイダイバー	4/29（土）～5/7（日）	5月：282人 （累計：399人）	ウインチで釣り上げ、高いところから一気に急降下する空中ブランコ体験。	昨年未実施
サーキットチャレンジ	4/29（土）～5/7（日）	5月：6,246人 （累計：7,628人）	全長50m。アスレチックタイプのエアー遊具を3基設置し、外遊び空間を演出した。	昨年度同月：5,746人 （昨年累計：6,944人）
ロープで木登り！ツリーイング	5/3（水・祝）・4（木・祝）	110人	小さなお子さんから大人まで、ロープを使って簡単に木登りが楽しめるツリーイング。緑豊かな公園を普段の目線から鳥になった気分で楽しめる木登りイベントを実施した。	昨年：130人
ピクニックフリーマーケット	5/3（水・祝）・4（木・祝）	5,200人	市民交流ピクニックフリーマーケット開催。コンサートと合わせて実施し、リラックスしてピクニックを楽しめる空間を演出した。	昨年：4,000人
それいけ！アンパンマンショー	5/5（金・祝）	3,100人	子どもたちに人気の「アンパンマン」のキャラクターショーを実施した。	昨年：2,600人
ランニングバイクレース「アルプスあづみのカップ」	5/6（土）	88人	子どもたちに人気のランニングバイク（ペダルなし二輪車）のレースを開催した。	昨年：75人
バイクトライアルパフォーマンス	5/6（土）	150人	シルク・ドゥ・ソレイユやマッスルミュージカルの舞台でも活躍した「有薗啓剛」と「守上大輔」の二人によるバイクトライアルパフォーマンスショーを開催した。	昨年：300人 （2回実施）
スラックライン体験	5/6（土）・7（日）	350人	日本スラックライン連盟認定講師の指導のもと、気軽にスラックラインを体験した。	昨年未実施

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
スラックラインパフォーマンス	5/6(土)・7(日)	900人	世界チャンピオン他、国内トップクラスのプロライダーによるスラックラインパフォーマンスを実施した。	昨年未実施
チューリップ球根プレゼント	5/7(日)	500人	入口広場にて展示していたチューリップを一人あたり3ポットプレゼントした。	昨年未実施
「空のポスト」ワークショップ	4/29(土)～5/7(日)	5月:700人 (累計:900人)	北アルプス国際芸術祭2017「空の学校」GWスペシャル企画。絵付けしたプロペラを「空のポスト」に投函。北アルプス国際芸術祭期間中、作品の一部として展示される。	昨年未実施
アルクマ熱気球係留飛行体験(持込み)	5/3(水・祝)～5/7(日)	448人 (累計:484人)	熱気球をロープで係留して「高度約30m」まで上昇する熱気球体験。熱気球には長野県のPRキャラクター「アルクマ」をデザイン。日常生活では味わえない、木立の上を飛ぶ樹海散策を体験していただいた。	昨年度同月:251人 (昨年累計:520人)
自転車安全スキル教室(持込み)	5/6(土)	22人	「操作技術」および「安全意識」の向上を目的とした乗車体験中心の教室を開催した。	昨年未実施
6月				
ハイパージャンパー	4/22(土)～10/9(月・祝)の土日祝 ※GW・夏休み期間は毎日	6月:272人 (累計:1,066人)	ゴムロープ、トランポリンで、自分の身体能力ではありえないほど高いジャンプを体験できるアトラクション。	昨年度同月:352人 (昨年累計:1,531人)
イマジネーション大開放 『青葉の森クラフトパーティー』	6/3(土)～7/2(日)	期間中入園者数 6月:6,762人	様々な手作り体験イベントを揃え「イマジネーション」をかき立てるイベントを開催。子どもから大人まで家族で楽しめる各種ワークショップなどで梅雨時期のにぎわいを創出する。また、休憩棟レストランと大草原の家におもちゃの広場を設置し、遊びを通して創造性を育むとともに、室内遊びを充実させ利用促進を図った。	新規
あづみのファクトリー 「謎の設計図」	6/3(土)～7/2(日)	6月:238人	園内を探索してパーツを集め、楽しく遊べるおもちゃを完成させる工作イベント。インフォメーションセンターで受付し、地図とメインパーツを渡す。レストラン、森の体験舎を経由して、大草原の家で完成させた。	新規
フラワーペンダントづくり	6/3(土)・4(日)	44人	お花を樹脂(レジン)でコーティングし、ペンダントをつくった。	昨年:41人
クラフトバザール	6/10(土)・11(日)	期間中入園者数 1,816人	入口広場にテントをはり露天市的な特設会場を設営。出展者を募り、各種クラフト体験イベントと作品の直売を行った。	新規
フラワーボトル教室	6/24(土)・25(日)	32人	生花をシリカゲルの中に埋め、ふたをして乾燥。ボトルの中に密封保存することで花の色や形を長期間楽しむことができるフラワーボトル教室を行った。	昨年:31人
おもちゃの広場	6/3(土)～7/2(日)	6月:670人	プラレールやままごとキッチン、大きな青いブロックなど、たくさんのおもちゃで室内遊びを充実させた。	昨年:460人
マウンテンバイク　キッズスクール(持込み)	6/3(土)～7/8(土)の毎週土曜日　全6回	6月:29人	プロのインストラクター2名がテーマに沿ってレクチャー。MTBはただの自転車ではなくスポーツ。MTBで思いっきり遊んで、楽しく体をうごかした。	新規
マウンテンバイク　レッスン付きファンライドツアー(持込み)	6/3(土)～7/8(土)の毎週土曜日　全6回	6月:1人	プロのインストラクターと一緒にMTBパークを散策。MTBの楽しい乗り方をレクチャーした。	新規
7月				
ハイパージャンパー	4/22(土)～10/9(月・祝)の土日祝 ※GW・夏休み期間は毎日	7月:583人 (累計:1,571人)	ゴムロープ、トランポリンで、自分の身体能力ではありえないほど高いジャンプを体験できるアトラクション。	昨年度同月:950人 (昨年累計2,481人)
イマジネーション大開放 『青葉の森クラフトパーティー』	6/3(土)～7/2(日)	期間中入園者数 7月:570人 (累計:7,332人)	様々な手作り体験イベントを揃え「イマジネーション」をかき立てるイベントを開催。子どもから大人まで家族で楽しめる各種ワークショップなどで梅雨時期のにぎわいを創出する。また、休憩棟レストランと大草原の家におもちゃの広場を設置し、遊びを通して創造性を育むとともに、室内遊びを充実させ利用促進を図った。	新規
あづみのファクトリー 「謎の設計図」	6/3(土)～7/2(日)	7月:32人 (累計:269人)	園内を探索してパーツを集め、楽しく遊べるおもちゃを完成させる工作イベント。インフォメーションセンターで受付し、地図とメインパーツを渡す。レストラン、森の体験舎を経由して、大草原の家で完成させた。	新規
おもちゃの広場	6/3(土)～7/2(日)	7月:30人 (累計:700人)	プラレールやままごとキッチン、大きな青いブロックなど、たくさんのおもちゃで室内遊びを充実させた。	昨年:100人 (累計:560人)

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
マウンテンバイク　キッズスクール (持込み)	6/3(土)～7/8(土)の毎週土曜日　全6回	7月:7人	プロのインストラクター2名がテーマに沿ってレクチャー。MTBはただの自転車ではなくスポーツ。MTBで思いっきり遊んで、楽しく体をうごかした。	新規
マウンテンバイク　レッスン付きファンライドツアー(持込み)	6/3(土)～7/8(土)の毎週土曜日　全6回	7月:0人	プロのインストラクターと一緒にMTBパークを散策。MTBの楽しい乗り方をレクチャーした。	新規
夏のアルプス大冒険 ずぶぬれ覚悟！サマースプラッシュ	7/15(土)～8/27(日)	期間中入園者数 7月:12,230人	暑い夏に「ずぶぬれ覚悟！」をコンセプトとした水遊びを中心としたイベントを開催。気軽に体験できるものから、自然体験ゾーンの豊かな自然を十二分に生かしたものまで幅広くそろえ、近隣及び観光利用のお客様のニーズに応えたものとした。また、夏休みの工作や自由研究に対応した体験プログラムを開催することで、夏休みの宿題対策としてもご利用いただけるものとした。	期間中入園者数 昨年:12,800人
スプラッシュ・リバー	7/15(土)～8/27(日)	7月:2,868人	北アルプスの3,000m級の山々から流れ出る渓流・乳川で川遊び。夏でも冷たい水と澄んだ空気でアルプスの大自然を満喫。	昨年:5,258人
リバーサイド・ツリーイング	7/16(日)・17(月・祝)	61人	小さなお子さんから大人まで、ロープを使って簡単に木登りが楽しめるツリーイング。乳川の畔で、まるで川に飛び込むような大迫力を演出した。	昨年:45人
スプラッシュ・ランド	7/15(土)～8/27(日)	7月:1,172人	アルプス大草原(大草原の家前)に大型の水遊びプールを設置。「ずぶぬれタイム」には、スプリンクラーを稼働させ、水しぶきが舞う水遊びの楽園を演出した。また、あわせてタープやパラソル等で大人が休憩できる空間も確保した。	昨年:980人
ウォーターモンスターを倒せ！	7/15(土)～8/27(日)の土日祝日	7月:140人	「ずぶぬれタイム」にモンスターが登場し、子どもたちに水をかける。子どもたちは協力して水鉄砲でモンスターを追い払った。	昨年:200人
シャワーピクニック (持込み)	7/15(土)～8/31(木)	7月:102人	自然が創造した変化に富む渓流で、ザブザブ歩いたり、川の流れに身を任せたりのフィールドアスレチックを楽しんだ。	昨年:79人
アート体験「気流岳」(持込み)	7/15(土)・16(日)	100人	アートプロジェクト気流部×岡嶌毅(日本の凧の会)の特別コラボ企画。凧作りと凧揚げ体験。北アルプス連峰を彷彿させる山形の大凧をみんなで揚げた。 【北アルプス国際芸術祭関連事業】	芸術祭
アート体験「ソラダマの大草原回遊」(持込み)	7/16(日)・17(月・祝)、29(土)、30(日)	120人	あづみの公園の空気(直径3.4m大バルーン)を大草原の広場でみんなで転がした。	芸術祭
アート体験「プロペラ絵付け最終ワークショップ」(持込み)	7/22(土)、23(日)	60人	気流部代表の森野晋次(芸術作家)が芸術祭最期に向けて、プロペラによるインスタレーション作品の最終形を参加者とともに作り上げた。	芸術祭
北アルプス奉納太鼓 (持込み)	7/29(土)・30(日)	334人	大北地域に縁のある世界的な音楽家である喜多郎氏の総合プロデュースのもと、大北地域の太鼓関係者が心を一つにし、「北アルプス奉納太鼓」と銘打って、北アルプスの山々や自然の恵みに感謝する奉納太鼓を演奏した。	昨年:381人
アルプスあづみのパークエンデューロ(持込み)	7/30(日)	33人	周回コースをつかって制限時間内に何周できるかを競う耐久レースを開催した。	新規
アルクマ熱気球係留体験(持込み)	7/16(日)・17(月・祝)、22(土)～8/28(日)	7月:507人 (累計:991人)	熱気球をロープで固定し高度約30mまで上昇。カラマツ林の高さを超えると眼下に北安曇の平が広がる。	昨年:703人 (累計:1,095人)
8月				
ハイパージャンパー	4/22(土)～10/9(月・祝)の土日祝 ※GW・夏休み期間は毎日	8月:1,724人 (累計:3,295人)	ゴムロープ、トランポリンで、自分の身体能力ではありえないほど高いジャンプを体験できるアトラクション。	昨年度同月:1,997人 (昨年累計4,478人)
夏のアルプス大冒険 ずぶぬれ覚悟！サマースプラッシュ	7/15(土)～8/27(日)	期間中入園者数 8月:28,761人 (累計:40,991人)	暑い夏に「ずぶぬれ覚悟！」をコンセプトとした水遊びを中心としたイベントを開催。気軽に体験できるものから、自然体験ゾーンの豊かな自然を十二分に生かしたものまで幅広くそろえ、近隣及び観光利用のお客様のニーズに応えたものとした。また、夏休みの工作や自由研究に対応した体験プログラムを開催することで、夏休みの宿題対策としてもご利用いただけるものとした。	期間中入園者数 昨年同月:34,356人 (昨年累計:47,156人)
スプラッシュ・リバー	7/15(土)～8/27(日)	8月:12,623人 (累計:15,491人)	北アルプスの3,000m級の山々から流れ出る渓流・乳川で川遊び。夏でも冷たい水と澄んだ空気でアルプスの大自然を満喫。	昨年同月:13,981人 (昨年累計:19,239人)

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
スプラッシュ・ランド	7/15(土)～8/27(日)	8月:2,535人 (累計:3,707人)	アルプス大草原(大草原の家前)に大型の水遊びプールを設置。「ずぶぬれタイム」には、スプリンクラーを稼働させ、水しぶきが舞う水遊びの楽園を演出した。また、あわせてタープやパラソル等で大人が休憩できる空間も確保した。	昨年同月:2,869人 (昨年累計:3,759人)
ウォーターモンスターを倒せ！	7/15(土)～8/27(日)の土日祝日	8月:350人 (累計:490人)	「ずぶぬれタイム」にモンスターが登場し、子どもたちに水をかける。子どもたちは協力して水鉄砲でモンスターを追い払った。	昨年同月:340人 (昨年累計:540人)
シャワーピクニック (持込み)	7/15(土)～8/31(木)	8月:479人 (累計:581人)	自然が創造した変化に富む渓流で、ザブザブ歩いたり、川の流れに身を任せたりのフィールドアスレチックを楽しんだ。	昨年同月:481人 (昨年累計:560人)
さわやか自然体験ツアーin安曇野 (持込み)	8/5(土)	53人	自然体験ツアーのガイドツアー及び、乳川河原で水生生物の観察、「ニジマスのつかみ取り＆塩焼き」「森の散策体験」「クラフト＆食体験」等を行った	一昨年に実施
ファットバイク体験	8/6(日)	152人	タイヤが通常のMTBの2倍以上の太さの自転車「ファットバイク」の体験イベントを実施した。	新規
ツリーイング＆リバージップライン	8/12(土)・13(日)	116人	小さなお子さんから大人まで、ロープを使って簡単に木登りが楽しめるツリーイング。河畔での木登りと、簡易ジップラインで乳川を渡る体験を組み合わせたプログラム。	昨年:156人
里山探検ウォーキング～わくわくサマーキャンプ～	8/19(土)・20(日)	18組　56名	公園及び松川村・大町市周辺を、ウォーキングを楽しみながら巡り、公園のフィールドに宿泊しながら、参加者に地域の魅力を体感していただいた。	昨年:21組　69人
ランニングバイクレース「アルプスあづみのカップ」	8/26(土)	84人	子どもたちに人気のランニングバイク(ペダルなし二輪車)のレースを開催した。	昨年:77人
バイクトライアルパフォーマンス	8/26(土)	252人	マッスルミュージカルの舞台でも活躍した「守上大輔」によるバイクトライアルパフォーマンスショーを開催した。	昨年:230人
自転車安全スキル教室	8/26(土)	31人	乗車体験を中心とした自転車教室を実施した。	昨年未実施
アドベンチャーライド	8/27(日)	40人	MTBに乗って「川遊び・乳川河原エリア」を冒険。乳川の河原で魚釣り、魚の塩焼きを楽しんだ。	新規
アルクマ熱気球係留体験(持込み)	7/16(日)・17(月・祝)、22(土)～8/28(日)	8月:1,449人 (累計:2,440人)	熱気球をロープで固定し高度約30mまで上昇。カラマツ林の高さを超えると眼下に北安曇の平が広がる。	昨年:2,693人 (累計:3,788人)
9月				
ハイパージャンパー	4/22(土)～10/9(月・祝)の土日祝 ※GW・夏休み期間は毎日	9月:483人 (累計:3,778人)	ゴムロープ、トランポリンで、自分の身体能力ではありえないほど高いジャンプを体験できるアトラクション。	昨年度同月:377人 (昨年累計4,855人)
秋晴の渓フィッシングガーデン	9/2(土)～24(日)	期間中入園者数 6,424人	公園の重要な資源である乳川を活かした本格的な渓流釣りを中心としたイベントを開催。各種アウトドア・アクティビティや、屋内でも楽しめるワークショップを開催して秋の公園を楽しんでいただいた。	昨年:7,083人 ※秋の森スポーツフェスタの前半(9月)
フィッシングガーデン	9/2(土)～24(日)の土日祝日　9日間	294人	渓流ピクニック広場に管理釣り場を設置。一日入漁証を販売とあわせ釣り竿等のレンタルを行い、手ぶらで渓流釣りをお楽しみいただいた。なお、釣った魚はその場で塩焼にし、味わっていただいた。	昨年:184人
フラワーペンダントづくり	9/9(土)・10(日)	44人	お花を樹脂(レジン)でコーティングし、ペンダントをつくる。	昨年:40人 ※10月に「押し花ペンダントづくり」を実施
ロープで木登り！ツリーイング	9/17(日)・18(月・祝) 9/30(土)、10/1(日)	9/30(土)　24人 ※9/17(日)・18(月・祝)は台風のため中止	小さなお子さんから大人まで、ロープを使って簡単に木登りが楽しめるツリーイング。緑豊かな公園を普段の目線から鳥になった気分で楽しめる木登りイベントを実施。	昨年:雨天中止
ボルダリング体験	9/23(土)・24(日)	166人	インストラクターの指導のもと、気軽にボルダリングを体験した。	昨年:213人 ※10月に3日間実施
北アルプスフェア	9/30(土)・10/1(日)	入園者数 9月:3,379人	国営アルプスあづみの公園大町・松川地区において、周辺市町村と協力して「周辺住民参加・交流場所の提供」「地域農産品や加工品のPR・販売」「周辺地域への観光誘客」に係るイベントを開催し、地域振興に資することを目的とする。 さらに、今回初めて実施する信州おやきサミットをはじめとして地域と一体となったイベントを実施し、賑わいを創出する。加えて、持ち込みイベントの消防フェスタ等を同時開催することにより誘客を図った。	昨年:2,239人(1日目) ※10月に実施

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
スポーツゲーム広場	9/30(土)・10/1(日)	9月:379人	ストラックアウトや、キックターゲットなど、スポーツ系ミニゲームを楽しめる広場を設置した。	新規
アルクマ熱気球係留体験(持込み)	9/30(土)・10/1(日)	強風のため中止	熱気球をロープで固定し高度約30mまで上昇。カラマツ林の高さを超えると眼下に北安曇の平が広がる。	昨年:15人 ※10月に実施
10月				
ハイパージャンパー	4/22(土)～10/9(月・祝)の土日祝 ※GW・夏休み期間は毎日	10月:271人 (累計:3,967人)	ゴムロープ、トランポリンで、自分の身体能力ではありえないほど高いジャンプを体験できるアトラクション。	昨年度同月:572人 (昨年累計5,427人) ※昨年11月末まで累計5,784人
ロープで木登り!ツリーイング	9/30(土)、10/1(日)	10/1(日)　45人 (2日間計　69人)	小さなお子さんから大人まで、ロープを使って簡単に木登りが楽しめるツリーイング。緑豊かな公園を普段の目線から鳥になった気分で楽しめる木登りイベントを実施。	昨年:25人 (2日間計　32人)
北アルプスフェア	9/30(土)・10/1(日)	入園者数 10月:8,679人 (累計:12,058人)	国営アルプスあづみの公園大町・松川地区において、周辺市町村と協力して「周辺住民参加・交流場所の提供」「地域農産品や加工品のPR・販売」「周辺地域への観光誘客」に係るイベントを開催し、地域振興に資することを目的とする。 さらに、今回初めて実施する信州おやきサミットをはじめとして地域と一体となったイベントを実施し、賑わいを創出する。加えて、持ち込みイベントの消防フェスタ等を同時開催することにより誘客を図った。	昨年:7,657人(2日目) (昨年累計:9,896人)
秋の森スポーツコレクション	9/30(土)～11/5(日)	期間中入園者数 10月:14,526人 (累計:17,905人)	スポーツの秋にランニングやMTBなど、各種スポーツイベントをそろえたイベントを開催。また、アルプス大草原、アルプス広場にセルフサービスで楽しめるスポーツグッツを設置し、秋空の下でスポーツを楽しんでいただいた。	新規
スポーツゲーム広場	9/30(土)・10/1(日)	10月:264人	ストラックアウトや、キックターゲットなど、スポーツ系ミニゲームを楽しめる広場を設置した。	新規
消防フェスタおおまち (持込み)	10/1(日)	8,679人	市民の防災意識向上を目的とした各種イベントを開催した。	昨年:7,657人
チャレンジスポーツコーナー	10/7(土)～11/5(日)	10月:264人	バドミントン、テニス、スカッシュそれぞれの要素を少しずつ取り入れた「クロスミントン」と、野球を原型として考案され変化球が簡単に投げられる「ウィッフルボール」の体験エリアを設置し、自由に楽しんでいただいた。	新規
森の健康ウォーキング	10/8(日)	28人	自然観察と合間に、歩いた時に疲労しやすい筋肉のストレッチや、生涯歩き続けるために必要な筋肉のエクササイズを行った。	新規
ランニング教室	10/8(日)	8人	効率のいい走り方のレクチャーを前半に、後半は不整地を走りバランス感覚や筋力の強化。また、マラソン大会が続く時期でもあり、疲労回復の期待が出来る、低速で走り身体の調節も行った。	新規
ランニングバイクレース 「アルプスあづみのカップ」	10/21(土)	67人	子どもたちに人気のランニングバイク(ペダルなし二輪車)のレースを開催した。	昨年:68人
バイクトライアルパフォーマンス	10/21(土)	137人	シルク・ドゥ・ソレイユやマッスルミュージカルの舞台でも活躍した「有薗啓剛」と「守上大輔」によるバイクトライアルパフォーマンスショーを開催した。	昨年:214人
自転車安全スキル教室	10/21(土)	17人	4歳から小学校3年生までの「自転車に乗れる」子どもを対象にした教室を実施。自転車の整備チェック、乗り方の基礎、実走プログラム、挨拶や礼儀なども学んだ。	新規
ファットバイク体験	10/21(土)	23人	タイヤが通常のMTBの2倍以上の太さの自転車「ファットバイク」の体験イベントを実施した。	新規
リレーマラソン	10/29(日)	55チーム 620人	スポーツの秋に、仲間や家族と楽しめるスポーツイベントを開催。1チーム4人以上10人以内。1周1.5キロのコース計28周プラス195mを、タスキリレーしてチームで完走を目指した。	昨年:131チーム　1,020人
アルクマ熱気球係留体験(持込み)	10月日曜祝祭日	10月:50人 (累計:2,558人)	熱気球をロープで固定し高度約30mまで上昇。カラマツ林の高さを超えると眼下に北安曇の平が広がる。	昨年:146人 (累計:4,045人)
11月				

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
秋の森スポーツコレクション	9/30(土)～11/5(日)	期間中入園者数 11月:1.993人 (累計:19,898人)	スポーツの秋にランニングやMTBなど、各種スポーツイベントをそろえたイベントを開催。また、アルプス大草原、アルプス広場にセルフサービスで楽しめるスポーツグッツを設置し、秋空の下でスポーツを楽しんでいただいた。	新規
チャレンジスポーツコーナー	10/7(土)～11/5(日)	11月:100人	バドミントン、テニス、スカッシュそれぞれの要素を少しずつ取り入れた「クロスミントン」と、野球を原型として考案され変化球が簡単に投げられる「ウィッフルボール」の体験エリアを設置し、自由に楽しんでいただいた。	新規
Twin Illumination 「光の森のページェント」 ～7つの宝石の秘密～	11/11(土)～2018/1/8 (月・祝)	夜間入園者数 11月:4,571人	冬の風物詩ともなっているイルミネーションイベントを2地区同時開催。「7つの宝石の秘密」と題し、2地区を巡って光の森に輝く7つの宝石に秘められた「真実の宝物」の謎を解き明かす。	昨年11月:3,431人 昨年累計:18,501人
イルミネーション点灯式	11/11(土)～12/10(日) の土日祝日	11月:362人	大町市・松川村の幼稚園、保育園の園児を招待して点灯式を実施。点灯式では、各園に点灯式の日時を伺い、○月○日は○○保育園による点灯式とし、保護者と共に参加いただいた。	昨年11月:229人 昨年累計:423人
はつらつウォーキング塾	9/23(土)、10/14(土)、 10/28(土)、11/11(土) ＊9月～1月に実施	11月:11人	平成20年度より大町市・松川村と連携して実施している健康講座。運動による効果を活かした住民の健康づくりを行政だけでなく、地元の病院や国営公園が積極的にサポートする全10回(内公園は4回)の教室を開催。	昨年は7～12月に実施 昨年11月:49人
オリエンテーリングサミット2017 inアルプスあづみの公園 (持込み)	11/25(土)・26(日)	1,226人	1日目に「全日本スプリントオリエンテーリング大会」、2日目に「クラブ7人リレー大会」を開催した。	新規
12月				
Twin Illumination 「光の森のページェント」 ～7つの宝石の秘密～	11/11(土)～2018/1/8 (月・祝)	夜間入園者数 12月:10,588人 (累計:15,159人)	冬の風物詩ともなっているイルミネーションイベントを2地区同時開催。「7つの宝石の秘密」と題し、2地区を巡って光の森に輝く7つの宝石に秘められた「真実の宝物」の謎を解き明かす。	昨年12月:12,242人 昨年累計:18,501人
イルミネーション点灯式	11/11(土)～12/10(日) の土日祝日	12月:157人 (累計:519人)	大町市・松川村の幼稚園、保育園の園児を招待して点灯式を実施。点灯式では、各園に点灯式の日時を伺い、○月○日は○○保育園による点灯式とし、保護者と共に参加いただいた。	昨年11月:194人 昨年累計:423人
クリスマス・ステージ	12/16(土)・17(日)、23 (土)・24(日)	580人	クリスマスの夜にあわせて日替わりでステージショーを開催した。	昨年:520人
1月				
Twin Illumination 「光の森のページェント」 ～7つの宝石の秘密～	11/11(土)～2018/1/8 (月・祝)	夜間入園者数 1月:2,724人 (累計:17,883人)	冬の風物詩ともなっているイルミネーションイベントを2地区同時開催。「7つの宝石の秘密」と題し、2地区を巡って光の森に輝く7つの宝石に秘められた「真実の宝物」の謎を解き明かす。	昨年1月:2,828人 昨年累計:18,501人
魔法使いアキットのマジックショー	1/6(土)～8(月・祝)	780人	イルミネーションの夜にあわせた不思議なマジックショーを開催。ショー終了後、園内でのグリーティングを実施した。	昨年:730人 (12月に2日間実施)
冬の公園で遊ぼう！	1/20(土)～3/4(日)	延べ貸出数 1月:637人 ＊1/27より開始	雪多い立地環境を生かした雪遊びイベントを開催。そりやスノーシュー、歩くスキーの貸し出しを行い、雪遊びを楽しんでいただくとともに、冬にしか体験できない自然散策や、アウトドア・アクティビティなど季節感のあるイベントを展開した。	延べ貸出数 昨年:1,294人 (累計:3,816人) ＊1/21より開始
雪中宝探し	1/20(土)・21(日)、27 (土)・28(日)	246人	雪の中に埋められたカプセルを探していただき、カプセルに入っている番号に応じた記念品をプレゼントした。 ※1/20・21は雪不足のため林間宝探しに変更して実施	昨年:253人
ファットバイク試乗会 (持込みイベント)	1/27(土)・28(日)	128人	輸入代理店主催によるファットバイクの試乗会を開催した。	新規
ファットバイク体験ツアー	1/27(土)・28(日)	42人	専門のインストラクターによる雪上でも走れる自転車「ファットバイク」の体験ツアーを実施した。	昨年:6人 (2月に実施)
2月				
冬の公園で遊ぼう！	1/20(土)～3/4(日)	延べ貸出数 2月:2,487人 (累計:3,119人) ＊1/27より開始 ＊2/24終了	雪多い立地環境を生かした雪遊びイベントを開催。そりやスノーシュー、歩くスキーの貸し出しを行い、雪遊びを楽しんでいただくとともに、冬にしか体験できない自然散策や、アウトドア・アクティビティなど季節感のあるイベントを展開した。	延べ貸出数 昨年:2,462人 (累計:3,816人) ＊1/21より開始

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
スポーツと遊びの森スノーシューウォーキング	1/20(土)、2/10(土)	2月:18人 (累計:18人) (森の散策体験に含む)	スノーシューを履き、「スポーツと遊びの森エリア」での自然散策を行った。	昨年:12人
アイスデイ	2/3(土)・4(日)、10(土)～12(月・祝)	期間中入園者数 (3,420人)	北アルプス山麓に位置する公園ならではの雪・氷のオブジェで冬を演出。新たな冬の風物詩としてPRした。	昨年期間中入園者数 (2,572人)
氷のすべり台「アイススライダー」	2/3(土)・4(日)、10(土)～12(月・祝)	5,028人	氷のすべり台を作成し、冬の公園ならではの遊びを提供した。	昨年:3,233人
アイスガーデン「氷柱花」	2/3(土)・4(日)、10(土)～12(月・祝)	1,710人	氷の中に花を閉じ込めた「氷柱花」を並べ、雪と合わせて幻想的な空間を創出。冬の寒さを活かしたフォトスポットとして誘客を図った。	昨年:128人
いっぱい作ろう！ミニ雪だるま	2/3(土)・4(日)、10(土)～12(月・祝)	342人	来園者がセルフサービスで雪型を使って作成する雪だるまを、園内各所に飾っていく参加型の成長する展示。	昨年:249人
雪中大運動会	2/3(土)・4(日)	245人	雪をテーマにした5種目の競技を楽しんでいただいた。	昨年:321人
温かいそばの振る舞い	2/4(日)	300人	300食限定で温かいおそばの振舞を行った。	昨年:300人
スノーラフティング	2/10(土)～12(月・祝)	257人 ＊2/11　半日中止 ＊2/12中止	スノーモービルにつながったラフティングボートに乗って、スピード感を味わっていただいた。	昨年:448人
豚汁の振舞い	2/11(日)	300人	300食限定で温かい豚汁の振舞を行う。	昨年:300人
スノーラン＆リレー	2/25(日)	雪不足のため中止	一面雪景色となった公園内の特設コースを周回し、ソロの部は1周3kmを4周回(計12km)、チームの部は1周1kmを12周回(計12km)するランニングイベントを開催する。	新規
3月				
冬の公園で遊ぼう！	1/20(土)～3/4(日)	延べ貸出数 3月:0人 (累計:3,119人) ＊1/27より開始 ＊2/24終了	雪多い立地環境を生かした雪遊びイベントを開催。そりやスノーシュー、歩くスキーの貸し出しを行い、雪遊びを楽しんでいただくとともに、冬にしか体験できない自然散策や、アウトドア・アクティビティなど季節感のあるイベントを展開した。 ※3月のそり貸出はセルフサービスで実施	延べ貸出数 昨年:60人 (累計:3,816人) ＊1/21より開始
カラフルわたあめ	3/3(土)・4(日)	173人	7色のカラーザラメの内、3色を使ってカラフルな綿あめをつくった。	新規

平成３０年度　国営アルプスあづみの公園（堀金・穂高地区）　イベント実施状況

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
4月				
マレットゴルフ体験	通年	4月：640人	1コース18ホールを設置し、道具等を無料で貸出し親子で楽しめるニュースポーツイベントを実施。	昨年度同月：292人
キッズプレイパーク	1月20日（土）～4月8日（日）	4月：2,826人 （累計：16,610人）	ボールプールをはじめ積み木あそび、屋内アスレチックを配置し子供たちに冬場の遊び場を提供。	昨年度同月（2日間）：1,011人 （累計：15,087人）
フォレストアドベンチャー	1月20日（土）～3月21日（日の土日、3月24日（土）～4月8日（日）の毎日	4月：140人 （累計：699人）	ガイドセンター内に、専用のハーネスを着用し、本格的な木製アスレチックが楽しめるフォレストアドベンチャーを実施。	昨年度同月：100人 （累計：718人）
絵本の広場	3/3（土）～4/8（日）	4月：2,826人 （累計：11,163人）	日本・世界の絵本を300冊集め、ゆっくりと絵本が楽しめるイベントを開催。	昨年度同月（2日間）：1,011人 （累計：7,990人）
1人芝居	4月7日（土）・8日（日）	150人(2日間)	新規で1人芝居（人形芝居&腹話術）を実施。	初実施
SPRING FESTA 2018 ～チューリップ・ナノハナまつり～	4/21（土）～5/20（日）	25,871人	チューリップはボリュームアップして95品種24万本となると同時に、里山文化ゾーンのナノハナは500万本の圧倒的なスケールで春の公園を演出。また、期間中にはフラワーイベント、体験イベント等様々なイベントを実施。	昨年度同月：11,045人
ジャイアントフラワーフォトスポット	4/21（土）～5/20（日）	25,871人	春の花に囲まれて、大きな花のアートと一緒に撮影できるフォトスポットを設置。	初実施
チューリップ2018選抜総選挙	4/21（土）～5/20（日）	期間中参加者数 4月：4,118人	園内に咲くチューリップの品種ごとによる人気投票を行い、チューリップの品種に関す話題づくりを提供します。ガイドセンター内に設置された投票ボードに、来園者が立候補した品種の中から選んでシールを貼ってもらいます。	初実施
p0p0のフラワーバルーンショー	4/21（土）,22（日）	741人(2日間)	国内外で各賞を受賞し、メディアでも多く取り上げられている、今話題の若手バルーンアーティスト「p0p0（ポポ）」が初登場。12：30には、風船を作って練り歩きながらプレゼントするグリーティングを先着50名に実施。	HH地区初実施
ジョイキャンドルづくり	4/21（土）,22（日）, 5/12（土）,13（日）	4月：75人	アートジェルを使用したオブジェを自由な発想で簡単に作ってもらいます。ガラス容器を選んでいただき、２０～３０分で固定することができます。	春季初実施
フラワーフェイスペイント	4/28（土）～30（月・振休）	231人(3日間)	来園者向けのフェイスペイント体験を実施します。講師がチューリップやナノハナの絵等を中心に来園者の顔に描きます。	初実施
スマホ、デジカメで撮ろう！お花のフォトジェニック	4/29（日・祝）,5/6（日）	4月：11人	スマホや簡単なデジカメを利用して、インスタ映えができる写真撮影教室を実施。ちょっとした撮影の工夫をすることで、すてきな写真を撮影することを学習	初実施
春の花畑ガイドツアー	4/14（土）,15（日）,21（土）,22（日）,28（土）～30（月・振休）	104人(7日間)	公園で見ごろを迎える草花を、植物管理担当職員によるガイドツアーを実施。	昨年度累計：143人 (6日間)
あづみのラフティング・カヤック体験	4/28（土）～5/20（日）の土日祝日 ＊4/28（土）～5/6（日）は毎日開催	4月(3日間)：334人	ライフジャケットを着用し、インストラクターによる講習を受け、本格的なラフティング・カヤックのミニ体験を実施。	昨年度同月(2日間)：168人
500万本の菜の花畑を巡る　健康ウォーキング教室	4/30（振休・月）,5/1（火）	19人(2日間)	里山文化ゾーンの春の菜の花畑を巡るウォーキング教室を開催。先生の指導により健康的に効率的なウォーキングを学習して、目指した歩き方のレクチャーを受け、起伏に富んだコースを約1時間かけて歩きます。	昨年度(2日間)：52人
交通安全ミニカー展示	3/10（土）～4/15（日）	4月：4,369人 （累計：11,471人）	春の全国交通安全運動」に合わせて、交通安全ミニカーの展示。	昨年度同月：5,951人 （累計：9,326人）
春爛漫　桜金魚　満開	3/17（土）～5/6（日）	4月：32,249人 （累計：38,180人）	春にふさわしい桜色した可愛い金魚が勢ぞろい。	昨年度同月：3,375人 （累計：8,303人）
春のメダカコレクション	4/21（土）～5/20（日）	25,871人	変わりメダカ（日本の改良品種）と世界のメダカを展示。	昨年度同月：12,287人
農作業車ミニカー展示	4/21（土）～6/10（日）	25,871人	雪形の現れる春、田んぼや畑で活躍するの農作業車のミニカーを展示。	昨年度同月：12,287人
5月				
マレットゴルフ体験	通年	5月：649人 （累計：1,289人）	1コース18ホールを設置し、道具等を無料で貸出し親子で楽しめるニュースポーツイベントを実施。	昨年度同月：866人 （累計：1,158人）
SPRING FESTA 2018 ～チューリップ・ナノハナまつり～	4/21（土）～5/20（日）	期間中入園者数 5月：51,402人 （累計：77,273人）	チューリップはボリュームアップして95品種24万本となると同時に、里山文化ゾーンのナノハナは500万本の圧倒的なスケールで春の公園を演出。また、期間中にはフラワーイベント、体験イベント等様々なイベントを実施。	昨年度同月：52,924人 （累計：63,969人）

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
ジャイアントフラワー フォトスポット	4/21(土)～5/20(日)	期間中入園者数 5月:51,402人 (累計:77,273人)	春の花に囲まれて、大きな花のアートと一緒に撮影できるフォトスポットを設置。	初実施
チューリップ2018選抜総選挙	4/21(土)～5/6(日) ※展示期間～5/20(日)	期間中参加者数 5月:2,636人 (累計:6,754人)	園内に咲くチューリップの品種ごとによる人気投票を行い、チューリップの品種に関す話題づくりを提供します。ガイドセンター内に設置された投票ボードに、来園者が立候補した品種の中から選んでシールを貼付。	初実施
ふれあい動物園	5/3(木・祝)～5/5(土・祝)	期間中入園者数 34,644人	キャットハウス、ミニブタ、フェレットなど子供たち人気の動物を一堂に集めたふれあい動物園を開催。	昨年度:35,294人
ワークショップイベント	5/3(木・祝)～5/5(土・祝)	296人	自然素材を使ったワークショップを開催。デコミラづくりー、フォトフレームづくり、ジェルキャンドルづくり、クレヨンづくりを実施。	昨年度累計:1,110人 ※昨年度は期間、実施内容ともに多い
松本山雅FC キッズサッカーパーク	5/19(土)	120人	松本市のJ2チーム、松本山雅FCのコーチ、スタッフ等による子供たちを対象としたサッカーイベントを開催。	昨年度:120人
球根の掘り取り体験	5/20(日)	2,734人	花期が過ぎたチューリップの球根を掘り取るイベントを実施。	昨年度:1,483人
ジョイキャンドルづくり	4/21(土),22(日), 5/12(土),13(日)	5月:27人 (累計:102人)	アートジェルを使用したオブジェを自由な発想で簡単に作ってもらいます。ガラス容器を選んでいただき、20～30分で固定。	春季初実施
スマホ、デジカメで撮ろう！お花のフォトジェニック	4/29(日・祝),5/6(日)	5月:13人 (累計:24人)	スマホや簡単なデジカメを利用して、インスタ映えができる写真撮影教室を実施。ちょっとした撮影の工夫をすることで、すてきな写真を撮影することを学習	初実施
春爛漫　桜金魚　満開	3/17(土)～5/6(日)	5月:41,412人 (累計:79,592人)	春にふさわしい桜色した可愛い金魚が勢ぞろい。	累計:8,303人 ※昨年度～4/15
春のメダカコレクション	4/21(土)～5/20(日)	5月:51,402人 (累計:77,273人)	変わりメダカ(日本の改良品種)と世界のメダカを展示。	昨年度同月:52,924人 (累計:63,969人)
農作業車ミニカー展示	4/21(土)～6/10(日)	期間中入園者数 5月:54,607人 (累計:80,478人)	雪形の現れる春、田んぼや畑で活躍するの農作業車のミニカーを展示。	昨年度同月:52,924人 (累計:67,201人)
第14回あづみの早春賦 音楽祭	5/4(金・祝)	当日入園者数 18,966人	園内各所にステージを設け、地元をはじめとしたアーティストや団体による音楽イベントを開催。	昨年度入園者数: 17,100人
緑のアルプスあづみのセンチュリーライド(AACR)	5/20(日)	2,348人	4月に引き続き、5月にサイクリングイベント緑のAACRを開催。HH地区とOM地区をエイドとして実施。今年度は、新たに穂高口スタートを実施。	昨年度:1,472人
里山講演会・さとやま楽校説明会	5月5日(土)	42人	里山保全についての講演会と今年度さとやま楽校の教室を運営する市民団体の方がパネリストを務め各教室の活動PRを実施。	新規
馬耕物語	5月6日(日)	25人	豊科郷土博物館学芸員による馬耕解説とぬかくどお小昼ふるまいを実施。	昨年度:雨天中止
常念山麓ふれあいマルシェ	5月19日(土)・5月20日(日)	5,243人 期間中入園者数	地元の新鮮な農産物、シイタケ榾木などを販売する軽トラ市を実施。	昨年度:期間中入園者3,830人
オオルリシジミ物語	5月27日(日)	31人	サンクチャリでのオオルリシジミ観察とクララの株数調査を実施する。	昨年度:18人
6月				
マレットゴルフ体験	通年	6月:161人 (累計:1,450人)	1コース18ホールを設置し、道具等を無料で貸出し親子で楽しめるニュースポーツイベントを実施。	昨年度同月:205人 (累計:1,363人)
キッズプレイパーク	6/2(土)～7/1(日)	期間中入園者数: 10,616人	閑散期の利用促進を実施する。ボールプール、積木で遊ぼう、段ボール迷路、新規でエアースライダーを設置して、屋内で子供たちが楽しめる空間づくりを実施。	昨年度:9,523人
農作業車ミニカー展示	4/21(土)～6/10(日)	期間中入園者数 6月:4,328人 (累計:84,806人)	雪形の現れる春、田んぼや畑で活躍するの農作業車のミニカーを展示。	昨年度同月:52,924人 (累計:67,201人)
理科教室特別展示 「あめあめふれふれカエル展」	6/2(土)～7/1(日)	期間中入園者数: 10,616人	梅雨の時期に合わせ、雨降りが大好きなカエルたちを展示。また、かわいいカエルグッズも合わせて展示。	昨年度:11,170人 ※今年度比、1週間長い
ふるさとさんぽ「堀金岩原区」	6/2(土)	10人	公園を出発し近隣の岩原区内を巡るガイドツアーを実施した。	新規
ふるさとさんぽ「牧区満願寺」	6/24(日)	11人	公園を出発し近隣の牧区内を巡るガイドツアーを実施した。	新規
7月				
マレットゴルフ体験	通年	7月:232人 (累計:1,682人)	1コース18ホールを設置し、道具等を無料で貸出し親子で楽しめるニュースポーツイベントを実施。	昨年度同月:273人 (累計:1,636人)

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
夏のアルプス大冒険	7/14（土）～8/26（日）	期間中入園者数： 7月：10,121人	「ウォーターアドベンチャー」「じゃぶじゃぶ池」「ニジマスのつかみ取り」をイベントを展開し、北アルプスを背景にした公園ならではのイベントを	昨年度同月：10,174人
夏のアルプス大冒険 「ウォーターアドベンチャー」	7/14（土）～16（月・祝）、 7/21（土）～8/26（日）	7月：1,294人	段々に広がる池を使い、丸太などを用いた本格水上アスレチック体験を実施。今年は、クレイパイプを新規実施。	昨年度同月：1,158人
夏のアルプス大冒険 「じゃぶじゃぶ池」	7/14（土）～8/26（日）	期間中入園者数： 7月：10,121人	安心して子供たちに遊んでもらえる毎年恒例の「じゃぶじゃぶ池」を夏休み期間に限り実施。	昨年度同月：10,174人
夏のアルプス大冒険 「ニジマスのつかみ取り」	7/14（土）～8/26（日）の土日祝日＆ 8/13（月）～16（木）の毎日	7月：694人	池に放流したニジマスを手づかみで捕まえる体験を実施。捕まえた魚は炭火焼で食していただく。	昨年度同月：749人
昆虫写真展	7/14（土）～8/26（日）	期間中入園者数： 7月：10,121人	夏に活動が活発となる昆虫の写真展を実施。	
泥リンピック	7/14（土）	9人	泥田を使って、フラッグ取り競争などレクリエーションを楽しみます。松本大学学生の実習を兼ねて学生にプログラム提供を行った。参加者は少人数であったものの、取材等風物詩として取り上げられた。	昨年度：23人
ちいさな発見inあづみの公園	7/28（土）	50人	夢プラン応募者である環境未来株式会社の社会貢献活動として、夏休み親子に顕微鏡を使った微生物、虫の自然観察を実施した。	新規
8月				
マレットゴルフ体験	通年	8月：1,103人 （累計：2,785人）	1コース18ホールを設置し、道具等を無料で貸出し親子で楽しめるニュースポーツイベントを実施。	昨年度同月：1,220人 （累計：2,856人）
夏のアルプス大冒険	7/14（土）～8/26（日）	期間中入園者数： 8月：45,138人 （累計：55,259人）	「ウォーターアドベンチャー」「じゃぶじゃぶ池」「ニジマスのつかみ取り」をイベントを展開し、北アルプスを背景にした公園ならではのイベントを実施する。また夏の花修景として、里山文化ゾーンでは総延長1,000mを超すヒマワリ迷路を制作し、田園文化ゾーンではサンパチェンス水上花壇を設置。	昨年度同月：44,395人 （累計：54,569人）
夏のアルプス大冒険 「ウォーターアドベンチャー」	7/14（土）～16（月・祝）、 7/21（土）～8/26（日）	8月：3,874人 （累計：5,168人）	段々に広がる池を使い、丸太などを用いた本格水上アスレチック体験を実施。今年は、クレイパイプを新規実施。	昨年度同月：3,356人 （累計：4,514人）
夏のアルプス大冒険 「じゃぶじゃぶ池」	7/14（土）～8/26（日）	期間中入園者数： 8月：45,138人 （累計：55,259人）	安心して子供たちに遊んでもらえる毎年恒例の「じゃぶじゃぶ池」を夏休み期間に限り実施。	昨年度同月：44,395人 （累計：54,569人）
夏のアルプス大冒険 「ニジマスのつかみ取り」	7/14（土）～8/26（日）の土日祝日＆8/13（月）～16（木）の毎日	8月：2,125人 （累計：2,819人）	池に放流したニジマスを手づかみで捕まえる体験を実施。捕まえた魚は炭火焼で食していただく。	昨年度同月：2,132人 （累計：2,881人）
昆虫写真展	7/14（土）～8/26（日）	期間中入園者数： 8月：45,138人 （累計：55,259人）	夏に活動が活発となる昆虫の写真展を実施。	
ジョイキャンドル	8/16（木）、17（金）	120人	容器を選んでもらい、オブジェを自由に選んでいただき、透明なキャンドルを作成。	夏新規
Summer Illumination	8/10（金）～8/19（日）	期間中入園者数： 11,203人	夏のアルプス、安曇野の風景をイメージした青と白を基調とした涼しげな装飾として、アルプスの水の恵み、流、満点の星空、森に息づく生き物たちを光やモニュメントにより表現。	昨年度入園者数： 10,808人
Summer Illumination 「電気ウナギのサマーイルミネーション」	8/10（金）～8/19（日）	期間中入園者数： 11,203人	電気ウナギが電気を起こすことを利用して、イルミネーションを点灯すると同時に、音で表現。	昨年度入園者数： 10,808人
Summer Illumination 「サマーナイトコンサート」	8/14（火）～8/15（水）	合計：470名 14日：250名 15日：220名	SATSUKIとギターデュオのイワチャンとムーチョによるジャジーでポップなアコースティックライブを2日間にわたって実施。	新規
お盆の風習盆棚・麦舟展示	8/10（金）～16（日）	20,892人 （期間中入園者数）	盆棚・麦舟など安曇野のお盆の風習を展示・解説した。	昨年度：22,881人
常念山麓ふれあいマルシェ・夏	8/10（金）・11（土）・12（日）	9,829人 （期間中入園者数）	地元野菜・果樹やクラフト製品を軽トラで持寄り販売する市を実施した。	昨年度：11,400人
「46億年・地球の道」in安曇野	8/18（土）	55人	安曇野市主催による地球の歴史と生物進化を解説する環境教育プログラムを実施した。	新規
森の遊び場・夏	8/18（土）	7人	園内の疎林を会場に薪割や焚火台を使って、子供から大人まで自由に過ごす遊び場を提供した。	昨年度：12人
abnさわやか自然ガイドツアー	8/19（日）	57人	公園の自然紹介と里山文化ゾーンの一角にシナノタンポポのタネ団子を撒く活動を行った。	新規
9月				
マレットゴルフ体験	通年	9月：384人 （累計：3,169人）	1コース18ホールを設置し、道具等を無料で貸出し親子で楽しめるニュースポーツイベントを実施。	昨年度同月：240人 （累計：3,527人）

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
秋・コスモスの花フェスタ	9/8（土）～10/14（日）	期間中入園者数 ：12,188人	田園文化ゾーンでは、シーシェルなどの珍しい品種を中心に12品種35万本のコスモス、里山文化ゾーンでは150万本コスモスが園内を彩る。また、花の魅力を伝えられる各種イベントやプログラム等を展開して、家族等でも楽しめるような内容を充実。	昨年度同月： 9,234人 (昨年9/16～)
ジャイアントフラワー設置	9月8日（土）～10月14日（日）	期間中入園者数 ：12,188人	大きな花のアートと一緒に撮影できるフォトスポットを設置します。	新規
フォトフレームスポット設置	9月8日（土）～10月14日（日）	期間中入園者数 ：12,188人	穂高口花壇の写真スポットに、フェイスブックの形をした四角いフレームを自分自身で持って、一緒に撮影してもらいます。	新規
子どもさかなつかみ取り大会	9月9日（日）	61人	夏の人気イベント「ニジマスのつかみ取り」の集大成イベントとして、池に放ったニジマスやイワナなどを、素手で捕獲。また、幼児用エリアも設けて、小さい子でも楽しめるイベント。	新規
カヤック・ラフティング体験	9月15日（土）～17日（月・祝）・22日（土）～24日（月・振休）・29日（土）～30日（日）	312人	池を使い、インストラクターによるレクチャーを受け本格的なミニ体験が楽しめるイベントを開催。	昨年度同月：220人
フラワーフェイスペイント	9月15日（祝・月）、16日（日）、17日（月・祝）	78人	顔や腕などに水性の絵の具でペイントしてもらいます。	秋新規
ジョイクラフト	9月15日（土）～17日（月・祝）	57人	アートジェルを使用したオブジェを自由な発想で簡単に作ってもらいます。ガラス容器を選んでいただき、20～30分で固定することができます。	秋新規
コスモス畑を巡る　ヘルシーウォーキング教室	9月17日（月・祝）	13人	コスモス畑を巡るウォーキング教室を開催。健康的に効率的なウォーキングを目指した歩き方のレクチャーを受け、起伏に富んだコースを約1時間かけて歩く。	昨年度：22人
きのこと和ナシの栽培・収穫を学ぼう！	9月22日（土）、23日（日）	336人	菌床のきのこの観察をした後に、栽培ビンからの体験をしてお持ち帰り頂きます。さらに、今年は安曇野のなしの紹介・プレゼントを実施します。当日は「信州力（りき）」の着ぐるみも登場！	昨年度：181人
アウトドアパーク　part1	9月29日（土）・30日（日）	入園者数：739人 （30日は雨天により中止）	今年で6年目を迎えるアウトドアパーク。昨年好評であったアウトレットマーケットをさらに拡大するとともにアクティビティイベントの充実を図った、アウトドアを思いっきり楽しめるイベントを開催。	昨年度：7,197人
ポニーの乗馬体験	9月29日（土）・30日（日）	2日間とも雨天により中止	子供たちに人気のポニーと馬の乗馬体験を実施。1周約300mのコースを1周します。	昨年度：183人
パークヨガ教室	9月29日（土）・30日（日）	7人 （30日は雨天により中止）	青空と大自然のもと、深呼吸！ヨガのポーズは、どなたでも無理なく行いやすいもの。健康、美容、リラックス、体力づくり、リハビリ、ダイエット、運動不足解消、集中力アップ・・・など色々な効果あり！	昨年度：7人
交通安全ミニカー展示	9/1（土）～9/30（日）	期間中入園者数 ：12,188人	9月21日～30日の期間は、秋の全国交通安全運動が実施されます。これに因み、あづみの学校ギャラリーでは『交通安全ミニカー展示』を開催	昨年度：19,009人
昭和のコスチュームで乗馬体験	9/15（土）・16（日）	34人	懐かしの風景エリアの芝生地で麦わら帽子と農作業服を着た馬主が引手となり乗馬体験を実施した。雨天のため15日（土）は中止となった。	昨年度：17人
森の遊び場・秋「山栗ひろい」	9/17（祝月）	13人	園内の疎林を会場に薪割や焚火台を使って、子供から大人まで自由に過ごす遊び場を提供する。今回は山栗ひろいの実施した。	昨年度：17人
そば粉でティータイム	9/24（祝月）	19人	そば粉のケーキ作りを行い、参加者みんなでケーキを食べながらお茶の時間を楽しんだ。	新規

平成３０年度　国営アルプスあづみの公園（大町・松川地区）　イベント実施状況

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
4月				
アルプスあづみのFUNトレイルフェスタ2018	4/8（日）	93人	健康増進を目指す一般市民などを対象に、初心者向けトレイルランニング体験型レースを開催。誰でも気軽に参加が出来るよう3歳から参加可能とした。また、市外や県外から公園へ来てもらうきっかけとなるようにした。	新規
桜のアルプスあづみのセンチュリーライド2018 （持込みイベント）	4/22（日）	2day 20人 1,429人（4/22）	国営公園などを拠点としたサイクリングイベントの開催を通じ、地域の観光振興や健康づくりへの貢献を目的とした。	1452人(4/23)
山菜観察＆試食会	4/22（日）	30人	園内のタラの芽、コシアブラ、コゴミなどの山菜を観察。てんぷらなどに調理したものを試食をした。	昨年:13人
SPRING FESTA 2018 家族で遊べ！新緑ピクニック	4/21（土）～5/20（日）	期間中入園者数 （4月：11,095人）	新緑の美しい季節に、公園の重要な資源である「森」をテーマにしたイベントを開催。見通しがよく、下草のない芽吹きの時期の森で宝探しイベントを実施。GWの子どもの遊び場として、ファミリー層のニーズに応えたものとなった。	期間中入園者数 （4月：5,496人）
森の宝探し 「アルプスあづみの冒険の森～木子と伝説の剣～」	4/21（土）～5/20（日）	634人 （4/21-4/30）	大町・松川地区の春の魅力「新緑の森」を舞台にした宝探しイベント。クイズに答え、10個のキーワードを集めると宝箱のありかが明らかになる。森歩きに家族で楽しめる謎解きの要素を加えることで、木々の芽吹き、林床に咲く草花、ツツジの開花リレーなど、爽やかで美しい公園の春を体感していただいた。	昨年:361人
VRアトラクション 「First Magic」	4/28（土）～5/6	269人 （4/28-4/30）	最新機器で仮想現実の世界へ。話題のVRを体験する。あづみの公園にVR 空間に登場。参加者は魔法使いになり、迫りくる影(シャドウマン) から公園を守る体験を実施した。	新規
パイレーツチャレンジ （大型エアー遊具）	4/28（土）～5/6	2126人 （4/28-4/30）	アスレチックタイプのエアー遊具を3基設置し、外遊び空間を演出した。	昨年:1382人（4月）
ランニングバイクレース 「アルプスあづみのカップ」	4/29（日）	97人	子どもたちに人気のランニングバイク（ペダルなし二輪車）のレースを開催した。	88人
バイクトライアルパフォーマンス	4/29（日）	160人	シルク・ドゥ・ソレイユやマッスルミュージカルの舞台でも活躍した「有薗啓剛」と「守上大輔」の二人によるバイクトライアルパフォーマンスショーを開催した。	昨年:150人
スラックライン体験	4/30（月・祝）	700人	日本スラックライン連盟認定講師の指導のもと、気軽にスラックラインを体験できるイベントを実施した。	昨年:350人 (5/6,5/7の2日間合計)
スラックラインパフォーマンス	4/30（月・祝）	300人	世界チャンピオン他、国内トップクラスのプロライダーによるスラックラインパフォーマンスイベントを実施した。	昨年:900人 (5/6,5/7の2日間合計)
アルクマ熱気球係留飛行 （持込みイベント）	4/29（日）・30（月・祝）	232人	熱気球をロープで係留して「高度約３０m」まで上昇する熱気球体験。熱気球には長野県のＰＲキャラクター「アルクマ」をデザイン。日常生活では味わえない、木立の上を飛ぶ樹海散策を体験していただいた。	昨年:36人 (4/30)
5月				
SPRING FESTA 2018 家族で遊べ！新緑ピクニック	4/21（土）～5/20（日）	期間中参加者数 5月：29,044人 (累計:40,139人)	新緑の美しい季節に、公園の重要な資源である「森」をテーマにしたイベントを開催。見通しがよく、下草のない芽吹きの時期の森で宝探しイベントを実施。GWの子どもの遊び場として、ファミリー層のニーズに応えたものとなった。	期間中入園者数 （5月：35,640人） （累計：41,136人）
森の宝探し 「アルプスあづみの冒険の森～木子と伝説の剣～」	4/21（土）～5/20（日）	5月:1,058人 (累計:1,692人)	大町・松川地区の春の魅力「新緑の森」を舞台にした宝探しイベント。クイズに答え、10個のキーワードを集めると宝箱のありかが明らかになる。森歩きに家族で楽しめる謎解きの要素を加えることで、木々の芽吹き、林床に咲く草花、ツツジの開花リレーなど、爽やかで美しい公園の春を体感していただいた。	昨年　5月：1,577人 （累計：1,938人）
VRアトラクション 「First Magic」	4/28（土）～5/6(日)	5月：335人 （累計：604人）	最新機器で仮想現実の世界へ。話題のVRを体験していただいた。あづみの公園にVR 空間に登場。参加者は魔法使いになり、迫りくる影(シャドウマン) から公園を守る。	新規
パイレーツチャレンジ （大型エアー遊具）	4/28（土）～5/6（日）	5月:3,533人 （累計：5,659人）	アスレチックタイプのエアー遊具を3基設置し、外遊び空間を演出した。	昨年　5月：6,246人 （累計：7,628人）
ロープで木登り！ツリーイング	5/3（木・祝）、4（金・祝）	99人	小さなお子さんから大人まで、ロープを使って簡単に木登りが楽しめるツリーイング。緑豊かな公園を普段の目線から鳥になった気分で楽しめる木登りイベントを実施した。	昨年：110人
ボルダリング体験	5/3（木・祝）、4（金・祝）	雨天のため中止	インストラクターの指導のもと、気軽にボルダリングを体験していただく予定であったが、雨天中止。	昨年未実施
ピクニックフリーマーケット	5/3（木・祝）、4（金・祝）	2,500人 （5/3は雨天中止）	市民交流ピクニックフリーマーケット開催。コンサートと合わせて実施し、リラックスしてピクニックを楽しめる空間を演出した。	昨年:5,200人
ピクニックコンサート	5/3（木・祝）、4（金・祝）	200人	市民交流コンサートを開催。フリーマーケットと合わせて実施し、リラックスしてピクニックを楽しめる空間を演出した。	昨年未実施

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
丸太んピック	5/5(土)・6(日)	536人	丸太を使用した5種目(丸太橋渡り、重さ当て、積み上げ等)を実施した。	昨年:271人
「仮面ライダー　ビルド」 キャラクターショー	5/5(土)	2,500人	子どもたちに人気の「仮面ライダー　ビルド」のキャラクターショーを実施した。	昨年:3,100人
「北アルプス山麓大凧プロジェクト2018 in あづみの公園」 自分だけの“アルプス凧” 作りワークショップ	5/5(土)	22人	アートプロジェクト気流部×岡嶌毅(日本の凧の会)の特別コラボ企画。大町産の和紙を使い、伝統的な和凧作りを体験。アルプスの山々を自由に描く絵付けから、オリジナル凧作りが本格的に学んだ。	昨年未実施
「北アルプス山麓大凧プロジェクト2018 in あづみの公園」 気流岳(大凧)をみんなで大空にあげよう！	5/5(土)	500人	アートプロジェクト気流部×岡嶌毅(日本の凧の会)の特別コラボ企画。アルプスの山をモデルにした大凧(高さ4.5m 幅5m)を参加者と共に引き、空へと揚げた。空中に聳える“気流岳”を、みんなで風の力を呼び込み出現させることができた。	昨年未実施
FATBIKE & MTB TEST RIDE (持込みイベント)	5/12(土)・13(日)	35人 (5/13は天候不良のためAMのみ)	輸入代理店主催によるファットバイクの試乗会を開催する。また、おのせてスタッフ・協力ライダーによる試乗前ワンポイントレッスンを随時実施した。	昨年未実施
ランニング教室	5/13(日)	雨天のため中止	『安曇野マラソン予備走会』起伏のある不整地を走って、走力をあげる予定であったが、雨天中止	昨年未実施
緑のアルプスあづみのセンチュリーライド2018 (持ち込みイベント)	5/20(日)	2,348人	国営公園などを拠点としたサイクリングイベントの開催を通じ、地域の観光振興や健康づくりへの貢献を目的として実施した。	昨年:1,472人
アルクマ熱気球係留飛行 (持込みイベント)	5/3(木・祝)～6(日)	436人 (累計:686人)	熱気球をロープで係留して「高度約30m」まで上昇する熱気球体験。熱気球には長野県のPRキャラクター「アルクマ」をデザイン。日常生活では味わえない、木立の上を飛ぶ樹海散策を体験していただいた。	昨年　448人 (累計:484人)
6月				
イマジネーション全開放! 『森のクラフトパーティー』	6/2(土)～7/1(日)	期間中入園者数 6月:6,650人	様々な手作り体験イベントを揃え「イマジネーション」をかき立てるイベントを開催。子どもから大人まで家族で楽しめる各種ワークショップなどで梅雨時期のにぎわいを創出した。また、休憩棟レストランと大草原の家におもちゃの広場を設置し、遊びを通して創造性を育むとともに、室内遊びを充実させ利用促進を図った。	期間中入園者数 6月:6,762人
森のクラフトラリー	6/2(土)～7/1(日)	196人	森を探索してパーツを集め、妖精を完成させるクラフトイベント。インフォメーションセンターで地図を受け取り、キツツキの道を経由して、森の体験舎で完成させた。	新規
フラワーペンダントづくり	6/2(土)・3(日)	42人	お花を樹脂(レジン)でコーティングし、ペンダントをつくった。	昨年:44人
あづみのクラフトマルシェ	6/9(土)・10(日)	期間中入園者数 1,320人	入口広場にテントをはり露天市的な特設会場を設営。出展者を募り、各種ワークショップと作品の直売を行った。	期間中入園者数 1,816人
レジンのきらきらヘアゴムづくり	6/16(土)・17(日)	46人	お花を樹脂(レジン)でコーティング。デコレーションして、キラキラかわいいヘアゴムを作った。	新規
フラワーボトル教室	6/23(土)・24(日)	36人	生花をシリカゲルの中に埋め、ふたをして乾燥。ボトルの中に密封保存することで花の色や形を長期間楽しむことができるフラワーボトル教室を行った。	昨年:32人
アロマワックスバー	6/30(土)・7/1(日)	35人	ドライフラワーなどで飾り付け、火を使わなくても香るキャンドル「アロマワックスバー」をつくった。	新規
おもちゃの広場	6/2(土)～7/1(日)	6月:661人	プラレールやままごとキッチンなど定番おもちゃに加え、大きな青いブロックや磁石でつながるブロックなど、イマジネーションをかき立てるたくさんのおもちゃで室内遊びを充実させた。	6月:670人
はたらくくるまであそうぼう！	6/2(土)～7/1(日)	6月:661人	トラクターやショベルカーなど、働く車のペダル式乗用玩具を使って、砂場のコースを走ることができた。	新規
MTBスクール(持込み)	6/2(土)・3(日)	・6/2(土) AM 8人、PM 4人 ・6/3(日) AM 1人、PM 3人	国営アルプスあづみの公園を使用し、スクールを開催することにより、安全にMTBを楽しんでいただいた。また、スキルアップする事で来場数を増やしMTBに携わる方々に国営アルプスあづみの公園の認知度を上げた。	新規
MTB試乗会(持込み)	6/2(土)・3(日)	・6/2(土) 18人 ・6/3(日) 35人	国営アルプスあづみの公園を使用し、試乗会を開催することにより、安全にMTBを楽しんでいただいた。また、スキルアップする事で来場数を増やしMTBに携わる方々に国営アルプスあづみの公園の認知度を上げた。	新規
7月				
イマジネーション全開放! 『森のクラフトパーティー』	6/2(土)～7/1(日)	期間中入園者数 7月: 508人 (累計:7,158人)	様々な手作り体験イベントを揃え「イマジネーション」をかき立てるイベントを開催。子どもから大人まで家族で楽しめる各種ワークショップなどで梅雨時期のにぎわいを創出した。また、休憩棟レストランと大草原の家におもちゃの広場を設置し、遊びを通して創造性を育むとともに、室内遊びを充実させ利用促進を図った。	期間中入園者数 7月:570人 (累計:7,332人)
森のクラフトラリー	6/2(土)～7/1(日)	19人 (累計:215人)	森を探索してパーツを集め、妖精を完成させるクラフトイベント。インフォメーションセンターで地図を受け取り、キツツキの道を経由して、森の体験舎で完成させた。	新規
アロマワックスバー	6/30(土)・7/1(日)	32人 (累計67人)	ドライフラワーなどで飾り付け、火を使わなくても香るキャンドル「アロマワックスバー」をつくった。	新規
おもちゃの広場	6/2(土)～7/1(日)	7月:50人 (累計:711人)	プラレールやままごとキッチンなど定番おもちゃに加え、大きな青いブロックや磁石でつながるブロックなど、イマジネーションをかき立てるたくさんのおもちゃで室内遊びを充実させた。	7月:30人 (累計:700人)

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
はたらくくるまであそぼう！	6/2（土）～7/1（日）	7月:50人 (累計：711人)	トラクターやショベルカーなど、働く車のペダル式乗用玩具を使って、砂場のコースを走ることができた。	新規
夏のアルプス大冒険 ずぶぬれ覚悟！サマースプラッシュ	7/14（土）～8/26（日）	期間中入園者数 7月：12,290人	暑い夏に「ずぶぬれ覚悟！」をコンセプトとした水遊びを中心としたイベントを開催。気軽に体験できるものから、自然体験ゾーンの豊かな自然を十二分に生かしたものまで幅広くそろえ、近隣及び観光利用のお客様のニーズに応えたものとした。また、夏休みの工作や自由研究に対応した体験プログラムを開催することで、夏休みの宿題対策としてもご利用いただけるものとした。	期間中入園者数 7月：12,230人
スプラッシュ・リバー	7/14（土）～8/26（日）	7月：6,747人	北アルプスの3,000m級の山々から流れ出る渓流・乳川で川遊び。夏でも冷たい水と澄んだ空気でアルプスの大自然を満喫していただいた。	昨年7月:2,868人
リバーサイド・ツリーイング	7/15（日）・16（月・祝）	15日：31人 16日：21人	小さなお子さんから大人まで、ロープを使って簡単に木登りが楽しめるツリーイング。乳川の畔で、まるで川に飛び込むような大迫力を演出した。	昨年:61人
わくわくプール	7/14（土）～7/29（日）	7月:911人	レンタル棟の前に幼児用の水遊びプールを設置し、子供が水遊びで楽しめるような空間を確保した。	スプラッシュランド 7月:1,172人
シャワーピクニック （持込み）	7/21（土）～9/2（日）	7月：55人	自然が創造した変化に富む渓流で、ザブザブ歩いたり、川の流れに身を任せたりのフィールドアスレチックを楽しんでいただいた。	昨年7月:102人
abn　夏だ！キャンプへGO！（持込）	7/21（土）・22（日）	73人	公園のフィールドに宿泊しながら、参加者に地域の魅力を体感していただいた。	新規
北アルプス奉納太鼓（持込）	7/27（金）	378人	アルプスの山々や自然に感謝をこめ、音楽家喜多郎氏と地元太鼓グループや一般参加者が、夜通し思い思いに大小様々な和太鼓を打ち鳴らすイベントを実施した。	昨年:334人
喜多郎コンサート（持込）	7/28（土）	556人	「古事記と宇宙」をテーマに、屋外の大スクリーンに映し出される宇宙映像と満天の星空の演出に、神秘的なシンセサイザーの音色が響いた。	新規
アルプスあづみのパークエンデューロ（持込）	7/29（日）	台風に伴う中止	公園内を半周、外周路を半周する1周約3.8kmの周回コースを3時間走りぬくエンデューロ競技を実施する予定だったが、雨天中止となった。	昨年：33人
アルクマ熱気球係留体験	7/15（日）・16（月・祝）、21（土）～8/27（月）	7月：578人	熱気球をロープで固定し高度約30mまで上昇。カラマツ林の高さを超えると眼下に北安曇の平が広がる。	昨年7月：507人 （累計:991人）
8月				
夏のアルプス大冒険 ずぶぬれ覚悟！サマースプラッシュ	7/14（土）～8/26（日）	期間中入園者数 8月：32,730人 （累計45,020人）	暑い夏に「ずぶぬれ覚悟！」をコンセプトとした水遊びを中心としたイベントを開催。気軽に体験できるものから、自然体験ゾーンの豊かな自然を十二分に生かしたものまで幅広くそろえ、近隣及び観光利用のお客様のニーズに応えたものとした。 また、夏休みの工作や自由研究に対応した体験プログラムを開催することで、夏休みの宿題対策としてもご利用いただけるものとした。	昨年：期間中入園者数 8月：28,761人 （累計：40,991人）
スプラッシュ・リバー	7/14（土）～8/26（日）	8月：17,857人 (累計：24,604人)	北アルプスの3,000m級の山々から流れ出る渓流・乳川で川遊び。夏でも冷たい水と澄んだ空気でアルプスの大自然を満喫していただいた。	昨年8月：12,623人 （累計：15,491人）
ツリーイング＆リバージップライン	8/11（土）・12（日）	122人	小さなお子さんから大人まで、ロープを使って簡単に木登りが楽しめるツリーイング。河畔での木登りと、簡易ジップラインで乳川を渡る体験を組み合わせたプログラムを開催した。	昨年：116人
スプラッシュランド	8/1(水）～8/26（日）	8月：2,674人	アルプス大草原（大草原の家前）に大型の水遊びプールを設置。「ずぶぬれタイム」には、スプリンクラーを稼働させ、水しぶきが舞う水遊びの楽園を演出した。また、あわせてタープやパラソル等で大人が休憩できる空間も確保した。	昨年8月：2,535人 （累計：3,707人）
シャワーピクニック （持込み）	7/21（土）～9/2（日）	8月：352人 （累計：407人）	自然が創造した変化に富む渓流で、ザブザブ歩いたり、川の流れに身を任せたりのフィールドアスレチックを楽しんでいただいた。	昨年8月：479人 （累計：581人）
みんなでシャボン玉パーティー！	8月10日（金）～8月12日（日）	240人	「シャボン玉タイム」に大量の泡を放出。こどもはもちろん、大人も楽しめるシャボン玉パーティーを開催した。	新規
アドベンチャーライド	8月26日（日）	33人	MTBに乗って「川遊び・乳川河原エリア」を冒険。乳川の河原で魚釣り、魚の塩焼きを楽しんでいただいた。	昨年：40人
ランニングバイクレース「アルプスあづみのカップ」	8月25日（土）	83人	子どもたちに人気のランニングバイク（ペダルなし二輪車）のレースを開催した。	昨年：84人
バイクトライアルパフォーマンス	8月25日（土）	260人	マッスルミュージカルの舞台でも活躍した「有薗啓剛」「守上大輔」によるバイクトライアルパフォーマンスショーを開催した。	昨年：252人
自転車安全スキル教室	8月25日（土）	10人	4歳から小学校3年生までの「自転車に乗れる」子どもを対象にした教室を実施した。自転車の整備チェック、乗り方の基礎、実走プログラム、挨拶や礼儀など。	昨年：31人
ジョイキャンドル	8/16（木）、8/17（金）	88人	アートジェルで素敵な夏休みの作品をつくった。	新規
ファットバイク体験（持込）	8/5（日）	中止	タイヤが通常のMTBの2倍以上の太さの自転車「ファットバイク」の体験イベントを実施する予定だったが、講師の都合により中止。	昨年：152人

イベント名	開催日	参加者人数 (期間中入園者数)	内容	備考
里山探検ウォーキング～わくわくサマーキャンプ～ (持込)	8/18(土)・19(日)	20組 67名	公園及び松川村・大町市周辺を、ウォーキングを楽しみながら巡り、公園のフィールドに宿泊しながら、参加者に地域の魅力を体感していただいた。	昨年:18組 56名
アルクマ熱気球係留体験	7/15(日)・16(月・祝)、21(土)～8/27(月)	8月1,729人 (累計:2,307人)	熱気球をロープで固定し高度約30mまで上昇。カラマツ林の高さを超えると眼下に北安曇の平が広がる。	昨年8月:1,449人 (累計:2,440人)
信州30K(持込)	8/25(土)	407人	フルマラソンへ向けて有効なトレーニングが大会1か月前の30km走。本番へ向けたシミュレーションと脚づくりの場を提供した。	新規
9月				
シャワーピクニック (持込み)	7/21(土)～9/2(日)	9月:32人	自然が創造した変化に富む渓流で、ザブザブ歩いたり、川の流れに身を任せたりのフィールドアスレチックを楽しんだ。	9月:未実施
秋の森スポーツ＆アートコレクション	9/8(土)～10/28(日)	期間中入園者数: 9月:9,082人	ランニングやMTB、公園の重要な資源である乳川を生かした渓流釣りイベント等、スポーツの秋にちなみスポーツ系のイベントを開催するのと合わせ、芸術の秋でもあるアート系のイベントも同時開催することで、より多くの利用者誘客を目的とした。	期間中入園者数 6,424人
チャレンジスポーツコーナー	9/8(土)～10/14(日)	9月:390人	バドミントン、テニス、スカッシュそれぞれの要素を少しずつ取り入れた「クロスミントン」と、野球を原型として考案され変化球が簡単に投げられる「ウィッフルボール」、味方同士でラリーを繰り返す「フレスコボール」(新規)の体験エリアを設置し、自由に楽しんでいただいた。	9月:379人
フィッシングガーデン	9/8(土)～24(月・祝)の土日祝日 8日間	全8回中止 (毎週末の雨による乳川の増水)	渓流ピクニック広場に管理釣り場を設置。一日入漁証を販売とあわせ釣り竿等のレンタルを行い、手ぶらで渓流釣りをお楽しみいただく予定だったが、毎週末の雨による乳川の増水でイベントの実施ができなかった。	昨年:294人
木子と秋の渓流小道	9/8(日)～10/8(月・祝)	9月:142人	渓流ピクニック広場までの道のりを、クイズ形式で巡り、クイズはクマに関する知識が楽しく学べるような内容で掲示した。	新規
ロープで木登り！ツリーイング	9/15(土)・16(日)	9/15(土)中止 9/16(日)15人	小さなお子さんから大人まで、ロープを使って簡単に木登りが楽しめるツリーイング。紅葉の公園を普段の目線から鳥になった気分で楽しめる木登りイベントを実施した。	9/30(土) 24人 ※9/17(日)・18(月・祝)は台風のため中止
スラックライン	9/15(土)	44人	地元のスラックラインチームとともに、気軽にスラックラインを体験した。	9月:未実施
北アルプス・気流部の家 「森の飾り付けワークショップ」	9/22(土)、9/23(日)	9/22(土)22人 9/23(日)28人	「そまびとの家」に期間限定で、来園者と共に新たな空間作品として作り上げた。本イベントは、北アルプス国際芸術祭のプレイベントとして実施した。参加者と共にワークショップで飾り付けを行い、期間中はそのアート作品を展示し、お客様に楽しんでいただいた。	新規
北アルプスフェア	9/29(土)・9/30(日)	入園者数: 3,709人	国営アルプスあづみの公園大町・松川地区において、周辺市町村と協力して「周辺住民参加・交流場所の提供」「地域農産品や加工品のPR・販売」「周辺地域への観光誘客」に係るイベントを開催し、地域振興に資することを目的とした。 さらに、今回初めて実施する「2018アカペラフェスIN信州」をはじめとして地域と一体となったイベントを実施し、賑わいを創出した。加えて、持ち込みイベントの消防フェスタ等を同時開催することにより誘客を図った。	入園者数 9月:3,379人
消防フェスタおおまち (持込み)	9/30(日)	入園者数: 2,903人	市民の防災意識向上を目的とした各種イベントを開催。	昨年:8,679人
アルクマ熱気球係留体験	9/16(日),9/17(月・祝),9/23(日),9/24(月・祝)	215人	熱気球をロープで固定し高度約30mまで上昇。カラマツ林の高さを超えると眼下に北安曇の平が広がる。	強風のため中止

別紙－16

体験プログラム一覧

■種数（単位：種）　　H30年9月末時点

地区	年度	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
堀金・穂高地区	H28年度	56	48	36	17	157
	H29年度	52	38	26	21	137
	H30年度	57	32			
大町・松川地区	H28年度	50	19	20	16	105
	H29年度	44	27	19	22	112
	H30年度	49	27			

■参加者数（単位：人）　　H30年9月末時点

地区	年度	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
堀金・穂高地区	H28年度	18,764	23,804	11,031	8,188	61,787
	H29年度	13,781	20,903	8,921	7,489	51,094
	H30年度	14,095	20,304			
大町・松川地区	H28年度	11,285	12,063	8,717	4,330	36,395
	H29年度	9,881	12,124	8,204	4,824	35,033
	H30年度	10,502	10,533			

平成28年度　体験プログラム一覧

【 堀金･穂高 地区 】

	No.	プログラム名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
芸術教室	1	キーホルダー	59	235	270	99	394	40	77	89	19	62	36	102	1,482
	2	コースター	27	65	36	88	317	37	82	20	22	32	42	61	829
	3	カスタネット	63	122	78	187	295	103	90	24	37	21	30	46	1,096
	4	ふしぎパズル	66	144	274	304	429	71	167	37	37	44	36	100	1,709
	5	木の実DEアート	34	68	32	12		53	64	13	16	40	19	32	383
	6	動くおもちゃ	136	242	71	56		82	100	48	51	58	60	43	947
	7	ぴっかぴか	99	130	36	120	91	103							579
	8	いろいろ飾り台	15	28	7	2					2				54
	9	きのこの駒打ち	31												31
	10	お花のクリアファイル	15	91				15							121
	11	鯉のぼり	93	186											279
	12	メッセージスタンド	68	128	10										206
	13	回転のぞき絵		1											1
	14	カブト＆クワガタ				225	852	20							1,097
	15	押し花うちわ				100	421								521
	16	小枝の工作昆虫標本				12	8								20
	17	野山の昆虫						1							1
	18	コスモスしおり						20	128	51					199
	19	自由工作								11					11
	20	木の実のリース								87	74				161
	21	パズルカレンダー								12	19	15			46
	22	松ぼっくクリスマス								33	91				124
	23	華やぎびな											28	37	65
	24	大人向けゴージャスリース												11	11
	25	働く車シリーズ												75	75
社会科教室	26	そば	100	142	93	174	493	153	151	124	85	83	28	111	1,737
	27	お小昼	60	83	60	116	115	92	147	133	44	53	58	88	1,049
	28	ショートガイド	882	2,000	1,255	1,455	1,912	748	1,085	506	260	855	542	669	12,169
	29	紙芝居	184	629	277	379	329	66	248	176	46	181	70	144	2,729
	30	桜餅	20												20
	31	味噌づくり	17												17
	32	お茶席		29	11	33	20	55	20						168
	33	草餅		22											22
	34	新･紙芝居「拾ヶ堰物語」			60										60
	35	七夕饅頭づくり				24									24

	No.	プログラム名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
社会科教室	36	七夕人形作り				9									9
	37	水鉄砲作り					45								45
	38	ぎっちょかご作り						5							5
	39	ぬかくど体験							60						60
	40	紙歩行器大会								64					64
	41	コキアのほうき								47					47
	42	三九郎ガイドツアー										5			5
	43	凍り餅作り										13			13
	44	藁細工講座										24	38		62
	45	節分豆まき										38			38
	46	やしょうま作り実演											30		30
	47	割りばし鉄砲作り											33		33
	48	黒豆ちらし寿司												25	25
	49	味噌作り												19	19
理科教室	50	ショートガイド(川の世界のみ)	1,046	401	316	238	180	31	172	51	28	93	56	50	2,662
	51	雪の上の動物たち	70	138	58	199	186	53	34	25	33	85	51	89	1,021
	52	わくわく自然観察会	5	8	11	10	34	12	8	23	21	5	7	5	149
	53	フィールドガイド	2			210	25	8	33	16	20			2	316
	54	面白発見塾「光と色の不思議な関係」					14								14
	55	面白発見塾「シャボン玉」					20								20
	56	面白発見塾「ＰＨしらべ」					22								22
	57	面白発見塾「顕微鏡」					13								13
	58	面白発見塾「遊ぶ食べる草」					6								6
	59	面白発見塾「昆虫かくれんぼ」					22								22
	60	秋の樹木観察会								16					16
	61	面白発見塾「ペットボトルと万華鏡」												12	12
	62	面白発見塾「種の秘密」												20	20
	63	面白発見塾「静電気で遊ぼう」												29	29
玄関	64	ショートガイド（ジオラマ等）	1,577	1,497	1,460	1,914	2,563	1,098	1,578	863	592	1,286	1,021	833	16,282
里山文化ゾーン	65	馬耕体験（プレ）		36											36
	66	田植え体験（プレ）		37											37
	67	安曇節踊実演・体験（オープン）			10										10
	68	農機具展ガイド（オープン）			385										385
	69	昔の農具実演体験（オープン）			20										20
	70	「そば畑ガイド」（オープン）			13										13
	71	「ウェストンガイド」（オープン）			50										50
	72	「シナノタンポポ植付（オープン）			18										18

	No.	プログラム名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
里山文化ゾーン	73	「やまこ飼育植栽」（オープン）			13										13
	74	「ふるさとガイド（オープン）			18										18
	75	泥リンピック」（オープン）			24	12									36
	76	「森のあそび場」（オープン）			13										13
	77	「畑作り体験」（オープン）			10										10
	78	花壇作り園芸教室（オープン）				2									2
	79	ウナギのつかみ取り（オープン）				39									39
	80	ベニバナ摘み・染物（オープン）				15									15
	81	ちょうちょう観察会（オープン）				6									6
	82	団体プログラム「abn自然ガイド」				52									52
	83	団体プログラム「里山文化ゾーンガイ」ド				5									5
	84	団体プログラム「ふるさと探訪公園ガイド」				84									84
	85	案山子コンクール					4								4
	86	早朝ちょうちょう観察会・夏					12								12
	87	昭和のコスチューム乗馬						13							13
	88	ちょうちょう観察会・秋　（雨天中止）													0
	89	森カフェ・秋「くり拾い」						9							9
	90	リンゴ積あげ競争							141						141
	91	どんぐりコマ大会							69						69
	92	ソバクレープ作り							73						73
	93	脱穀から精米までを体験							243						243
	94	稲わら縄跳び作り							12						12
	95	飯ごう炊飯体験							25						25
	96	棚田米つかみどり							255						255
	97	三九郎と繭玉焼き											70		70
	98	オオルリシジミ保全イベント												6	6
さとやま楽校	99	さとやま発展講座「里山を学ぼう」		3											3
	100	田んぼの教室「草取り体験」			7	7									14
	101	さとやま発展講座「やまこと里山」				22									22
	102	そばの教室「種蒔き」				4									4
	103	案内人の教室「ガイダンス」				12									12
	104	田んぼの教室「生き物調査」					8								8
	105	案内人の教室第2回					13								13
	106	やまこの教室「羽化と夜の里山観察」					20								20
	107	そばの教室第2回「花の観察」						3							3
	108	田んぼの教室「稲刈・はぜ掛け」						44							44
	109	やまこの教室「コサージュ作り」						18							18

	No.	プログラム名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
さとやま楽校	110	田んぼの教室「脱穀わらにお」							4						4
	111	そばの教室第3回「そば刈取り」							3						3
	112	そばの教室第4回「脱穀」							2						2
	113	さとやま発展講座「雑木林のゆくえ」							3						3
	114	田んぼの教室「ぬかくどふるまい」								7					7
	115	さとやま発展講座「子供と里山」								2					2
	116	やまこの教室「ランプシェード作り」								11					11
	117	そばの教室第5回「そば打ち」									2				2
	118	案内人の教室第6回「ワークショップ」									10				10
	119	さとやま発展講座第5回「炭の話」									2				2
	120	さとやま発展講座第6回「野焼きについて」												7	7
その他協働団体	121	ステンドグラス同好会	124	258	90	238	680	100	105	100	57	90	79	101	2,022
	122	クラフトゲート匠の杜木工	12	10	10	8	3	2	2	6	6	1	5	5	70
	123	クラフトゲート匠の杜機織	8	5	7	6	17	6	7	7	7	5	1		76
	124	クラフトゲート匠の杜座繰り		10	6		3	7	12	11	9				58
	125	クラフトゲート匠の杜ステンドグラス		6	10	15	13	7		3	6		3	3	66
	126	クラフトゲート匠の杜革				18	19	9	10	6	10	11	9	11	103
	127	切り文字プレート教室					23								23
	128	木工椅子作り教室					1								1
	129	織りセンターラグ					5								5
	130	糸紡ぎ					3								3
	131	八丁撚糸機実演					10	26							36
	132	工房ガイド					12								12
	133	しゃもじ作り								20					20
	134	座編み椅子作り								1					1
	135	座繰り体験								30					30
	136	織りミニ体験								29					29
	137	みのむしの会　正月飾り								40	228				268
その他	138	オオルリシジミの蛹を放そう！		42											42
	139	オオルリシジミ観察会		15											15
	140	GUW講習会							6						6
特別体験	141	カヤック・ラフティング体験	246	1,005				41	204						1,496
	142	桜色たい焼きづくり	126												126
	143	花畑ガイドツアー	62	31											93
	144	ジェルキャンドルづくり		217				52							269
	145	デコルテミラーづくり		113				21							134
	146	フォトフレームづくり		93				7							100

	No.	プログラム名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特別体験	147	クレヨンづくり		150				32							182
	148	ニジマスのつかみ取り				667	2,171								2,838
	149	デイキャンプイベント				72									72
	150	手作り望遠鏡教室					203								203
	151	星空観察会・プラネタリウム					1,201								1,201
	152	池まつり						52							52
	153	凧作り教室						12							12
	154	ポニーの乗馬体験							117						117
	155	万華鏡作り								11					11
	156	スノードーム									13				13
	157	キャンドル作り									57				57
	158	レジンストラップ									19				19

平成28年度　体験プログラム一覧

【 大町･松川 地区 】

	No.	プログラム名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
クラフト	1	石器づくり	98		20	598	110	226	71	40				91	1,254
	2	えんぴつたてづくり	33						28					51	112
	3	くるみのストラップ	43	250		109	221	9	59	6	15	4	29	13	758
	4	小枝のクラフト	15		41	105	380	76	103	33	89	7	15	5	869
	5	キーホルダーづくり	99	108		54	17	22	48	16	15		14	17	410
	6	葉っぱのしおり	19	15	35		104	37	12	26	6	4		5	263
	7	大人の布ぞうりづくり教室		5		1			1				1	1	9
	8	こいのぼりづくり	44												44
	9	森のケーキづくり	2		87	24		96	37	24		1		28	299
	10	木の実のストラップ	15	20		6			15	25			5	10	96
	11	かぶとづくり	11												11
	12	ウッディストラップ	10		5	3		19		21	2		3		63
	13	サンドアート	40	212	136	177	444	202	121	14	26	91	15	111	1,589
	14	草木染め織りタペストリー			7	28									35
	15	泳ぐ！こいのぼり	185	119											304
	16	森のフレーム	59	87	44	131	9	38	38	62			13		481
	17	森のバッジ		411											411
	18	ストーンアート		27		17									44
	19	森のリンリン		76			507								583
	20	母の日ブローチ		72											72
	21	小鳥のクラフト		24											24
	22	鳥のエサ台づくり		4											4
	23	エコバッグづくり		11	6	32				9					58
	24	葉っぱのタペストリー			10	10		11							31
	25	万華鏡づくり			29										29
	26	小枝の自転車づくり			144									42	186
	27	ギッチョカゴづくり			40										40
	28	麦の七夕飾り													0
	29	紙すき体験				8									8
	30	木の車づくり				32									32
	31	うちわづくり				15									15
	32	苔玉づくり				8									8
	33	バードコール				36									36
	34	思い出ボードづくり				35									35
	35	森のクラフト					333								333

	No.	プログラム名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
クラフト	36	竹の水鉄砲づくり					128								128
	37	でかぼっくりクラフト					193	12							205
	38	ペーパーウエイト					25								25
	39	ハロウィン工作							189						189
	40	裂き織りコースター							3	1			3	2	9
	41	あんぎんづくり							1						1
	42	花炭づくり							2	11		6	7	4	30
	43	箸づくり								11				7	18
	44	クリスマスツリーづくり								20	74				94
	45	ナイトクラフト　ミニリースづくり								267	182				449
	46	クリスマスケーキづくり									9				9
	47	クリスマスリースづくり									28				28
	48	ヒンメリ									5				5
	49	正月飾りづくり（輪締め）									16				16
	50	正月飾りづくり(輪飾り)									65				65
	51	ミニ門松づくり									102				102
	52	ナイトクラフト　ミニツリーづくり									599				599
	53	干支のクラフト酉づくり										106			106
	54	鍋敷きづくり										6			6
	55	ナイトクラフト　福だるまづくり										130			130
	56	そりづくり											36		36
	57	おひなさまづくり											54	2	56
	58	わら細工											9		9
	59	小枝のボールペンづくり												21	21
食体験	60	季節のどら焼き	239	143	81	112		74	115	107	42		73	60	1,046
	61	ピザ窯で焼く米粉ピザ	79	112				18	51	132		128	78	70	668
	62	竹巻パン	92	2,407	338	859	1,203	264	625	188		52	135	171	6,334
	63	灰焼きおやき	157	98	85			80	161	34	36		95	47	793
	64	五平餅	598	396	1	197	585	90	476	116	14	89	299	28	2,889
	65	米粉ピザ	34		145	210	208	226	140	18	97		30		1,108
	66	おやきづくり	66	327	88	92	201							21	795
	67	ロールパン		55					80						135
	68	釜飯づくり		40	12	34				62					148
	69	朴葉まきづくり			142										142
	70	赤飯まんじゅう			506			237		43	64	115		110	1,075
	71	七夕まんじゅう					192								192
	72	炭俵づくり						2							2

	No.	プログラム名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
食体験	73	ススキのコースターづくり						4							4
	74	ジャガ芋もち								41			52		93
	75	ナイト竹巻きパン								276	490	252			1,018
	76	お菓子の家づくり									7				7
	77	クリスマススペシャル竹巻パン									153				153
	78	ダッチオーブン体験												11	11
自然体験	79	森の散策体験	290	548	238	650	513	401	487	260	178	205	136	226	4,132
	80	ノルディックウォーク体験		24	12			3	1	27	9			2	78
	81	ネイチャーゲーム	7	9	13	14	16	15	19						93
	82	野鳥観察会		15										3	18
	83	河畔探勝エリア先取りツアー		23											23
	84	FWO		102		355	70				14				541
	85	河畔探勝エリア散策ツアー			79	39	9	14	69	13	9				232
	86	アニマルトラッキング					10								10
	87	リフレッシュの森・ノルディックウォーキング							19						19
	88	スノーシュー体験										148	111		259
	89	スポーツと遊びの森・スノーシューウォーキング										11	12		23
	90	歩くスキー													0
	91	アニマルトラッキングいきものの森探検											29		29
	92	アニマルトラッキングリフレッシュの森探検											13	1	14
その他	93	丸太んピック	681												681
	94	山菜観察＆試食会		28											28
	95	缶バッジをつくろう			156			112							268
	96	押し花ポストカードづくり			60										60
	97	押し花ペンダントづくり			41				40						81
	98	たたき染め				15				10					25
	99	コロコロアイスクリーム				70							65		135
	100	ペットボトルロケット					39								39
	101	フィッシングガーデン						182							182
	102	おしるこづくり								304	256	139			699
	103	スモアづくり									887	136			1,023
	104	新春！餅つき										132			132
	105	新春！わたあめ										65			65
	106	バックカントリーそり											11		11

平成29年度　体験プログラム一覧

【 堀金･穂高 地区 】

	No.	プログラム名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
芸術教室	1	木のキーホルダー	111	103	30	179	319	69	96	85	22	35	27	100	1,176
	2	木のコースター	15	56	22	122	171	19	37	33	26	38	28	63	630
	3	森のカスタネット	50	289	65	184	240	73	121	43	33	23	19	75	1,215
	4	ホーリーのふしぎパズル	51	149	36	166	372	47	91	55	34	26	22	106	1,155
	5	木の実DEアート	34	45	27	14		40	154	10	9	32	29	9	403
	6	動くおもちゃ	72	209	89	92		59	77	35	33	64	43	126	899
	7	木のぴっかぴか		56	127	369	67	113	18	1					751
	8	いろいろ飾り台	1		2					26	19	1			49
	9	タンクローリー	8	7										50	65
	10	ホイールローダー	24	6											30
	11	ちっちゃな鯉のぼり	86	104											190
	12	しいたけ駒打ち90	4												4
	13	しいたけ駒打ち45	21												21
	14	お花のランチョンマット	47	239	52	33									371
	15	カブト＆クワガタをつくろう				260									260
	16	押し花うちわ				159	486	12							657
	17	切株アート						28	45	10					83
	18	ハーバリウム								16			11	9	36
	19	自由工作								18					18
	20	缶バッチ								13					13
	21	木の実のリース								113	72				185
	22	木の実deイルミ									61				61
	23	wakuwakuクリスマス								50	35				85
	24	パズルdeカレンダー								13	23	8			44
	25	芸術ショートガイド	807	2,106	468	1,666	3,075	648	931	1,006	670	633	366	1,002	13,378
社会科教室	26	そば打ち	106	133	85	201	429	107	102	119	74	44	37	96	1,533
	27	そば打ち台数	33	43	29	56	124	33	31	36	24	12	14	29	464
	28	お小昼	70	74	87	75	92	67	104	57	52	74	70	85	907
	29	お茶席			50	35	35	80	21						221
	30	桜餅	43												43
	31	草餅		38											38
	32	味噌づくり												60	60
	33	七夕饅頭				19									19
	34	七夕人形				11									11
	35	ぬかくど体験	20			34									54

	No.	プログラム名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
社会科教室	36	水鉄砲					40								40
	37	ぎっちょかご						9							9
	38	紙ひこうきづくり								57					57
	39	どんぐりコマ													0
	40	コキアのほうき								43					43
	41	三九郎ツアー													0
	42	凍り餅づくり													0
	43	わら細工（ねこつぐら）													0
	44	割り箸鉄砲											50		50
	45	冬至かぼちゃ団子振舞									80				80
	46	七草粥の振舞													0
	47	紙芝居	242	614	246	520	562	241	515	313	244	81	226	279	4,083
	48	社会ショートガイド	748	1,260	1,061	1,338	1,618	859	789	702	479	661	381	724	10,620
理科教室	49	理科ショートガイド													0
	50	渓流～湧水の世界										60	35	78	173
	51	カウンターガイド	211	400	253	432	1,038	164	263	172	122	194	120	239	3,608
	52	雪の上の動物たち	97	108	101	119	268	61	90	74	70	60	43	57	1,148
	53	わくわく自然観察会	9	10	23	20	27	8	2	3			7	8	117
	54	おもしろ発見塾					162			13				48	223
	55	フィールドガイド	15	14	29	174	40	9	23		3				307
	56	化石展示ガイド								64					64
	57	折り紙で木の実をつくろう								50					50
	58	ドングリポット苗								3					3
玄関	59	観覧室	706	1,284	946	1,975	1,977	1,256	1,279		213	992	655	728	12,011
	60	ジオラマ・水槽ガイド	902	1,808	912	1,515	1,601	1,014	966	610	408	1,037	590	875	12,238
	61	玄関カウンターガイド	14	15	32	18	27		17	40		14		18	195
	62	野外ガイド							51						51
	63	クイズラリー	34	116	56	28	112	92	42	32		22	21	64	619
	64	双眼鏡貸出	5	3	3	3	8			1	1				24
その他協働団体	65	ステンドグラス	108	228	99	291	548	109	87	100	46	90	52	92	1,850
	66	正月飾り物づくり													0
	67	木工専科	7	5	8	7				9	9		5	5	55
	68	ステンドグラス講座	4	3	4	4					3		2	2	22
	69	革講座	11	8	9	9				8	7		3	8	63
	70	ペアでそば打ち									8				8
	71	年越しそば打ち									41				41

平成29年度　体験プログラム一覧

【 大町･松川 地区 】

	No.	プログラム名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
クラフト体験	1	石器づくり	56	77	58	482	76	96	32			30			907
	2	小枝のクラフト	33	1	24	174	373	130	7	44	34	13	14	19	866
	3	葉っぱのしおり	45	20	10	26	44	19	3	16	2	1	7	20	213
	4	キーホルダーづくり	34	2	30	14			7	48		12		7	154
	5	大人の布ぞうりづくり教室			1			4			2			5	12
	6	かぶとづくり	21												21
	7	森のケーキづくり	16	127	74	26		7	76	73		1	1	31	432
	8	サンドアート	109	130	39	223	415	53	241	92	16	83	34	117	1,552
	9	くるみのストラップ	7	399	11	97	183	8	41	16	6	5	14	16	803
	10	こいのぼりづくり	32												32
	11	草木染め織りタペストリー	2				6		1				4	1	14
	12	ウッディストラップ	10	5			28	10	9	1	8	1	14	37	123
	13	木の実のストラップ		2			31	42	7					9	91
	14	泳ぐ！こいのぼり	107	18											125
	15	森のフレーム	68	77	106	1		144	34	12	12	7	10	3	474
	16	森のバッジ		497											497
	17	小鳥のクラフト		5											5
	18	森の竹笛		38	48										86
	19	エコバッグづくり		5	5	16									26
	20	葉っぱのタペストリー			17										17
	21	ギッチョカゴづくり			3		2		2						7
	22	バードコール				8									8
	23	うちわづくり				6									6
	24	夢ひこうき				84									84
	25	苔玉づくり				9									9
	26	虹のＵＦＯ				22									22
	27	でかぼっくりクラフト				16	76	8							100
	28	ストーンアート				5	42								47
	29	竹の水鉄砲づくり					107								107
	30	森のクラフト					316								316
	31	森のリンリン					512								512
	32	思い出ボードづくり					32								32
	33	ペーパーウエイト					41								41
	34	木の車づくり						31							31
	35	森のトコトコ						70							70

	No.	プログラム名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
クラフト体験	36	たまごアート						11							11
	37	ススキのコースターづくり						4							4
	38	えんぴつたてづくり						18	14					53	85
	39	ハロウィン工作							116						116
	40	裂き織りコースター							1	13				3	17
	41	あんぎんづくり								3					3
	42	花炭づくり								7		2		1	10
	43	ヒンメリ								8	9				17
	44	ナイトクラフト　ミニツリーづくり								312	603				915
	45	クリスマスリースづくり									20				20
	46	正月飾りづくり（輪締め）									15				15
	47	正月飾りづくり(輪飾り)									30				30
	48	クリスマスケーキづくり									4				4
	49	光る！クリスマスクラフト									13				13
	50	ミニ門松づくり									75				75
	51	ナイトクラフト　スノーマンづくり									34	72			106
	52	干支のクラフト戌（いぬ）づくり										61			61
	53	鍋敷きづくり										5			5
	54	そりづくり											19		19
	55	わら細工											20		20
	56	明かりのクラフト											58		58
	57	小枝のボールペンづくり											2		2
	58	おひなさまづくり											39	6	45
	59	箸づくり												5	5
	60	ウッドバーニング												22	22
	61	たまごのクラフト												7	7
	62	小枝の自転車づくり												16	16
食体験	63	おやきづくり	192		257	123		242							814
	64	ピザ窯で焼く米粉ピザ	93						83	94	78	91	91	71	601
	65	季節のどら焼き	86	25	97	76		43	96	71	45	59	94	64	756
	66	竹巻パン	85	2,304	474	623	212	175	578	300	40	36	141	52	5,020
	67	灰焼きおやき	161	106	13				113	46	55	88	187	82	851
	68	五平餅	508	144	153	5	902	230	321	251	30	147	405	113	3,209
	69	赤飯まんじゅう		364				154		170		139		53	880
	70	米粉ピザ		250	293	315	318	181	142		17				1,516
	71	雲の蒸しパン			105	508	695	128	24	36			61	22	1,579
	72	朴葉まきづくり			103										103

	No.	プログラム名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
食体験	73	釜飯づくり			13				25						38
	74	七夕まんじゅう					117								117
	75	野菜のまきまきロール					77								77
	76	ナイト竹巻きパン								306	354	231			891
	77	X’mas蒸しパン									83				83
	78	お菓子の家づくり									13				13
	79	ダッチオーブン体験												18	18
	80	花まるパンケーキ												162	162
自然体験	81	森の散策体験	358	345	212	595	593	319	530	329	110	126	137	193	3,847
	82	ノルディックウォーク体験						18		3					21
	83	河畔探勝ウォーキング	5	41	9	25			8	23	3				114
	84	リフレッシュの森ウォーキング	9	4	7	4			3		1				28
	85	ネイチャーゲーム	7	9	17	20	23	33	38	19	3				169
	86	野鳥観察会	11							12				18	41
	87	FWO		138	128	400	129								795
	88	空の青’森の緑’草原の風を感じる自然散策			39	25									64
	89	アニマルトラッキング				5	16								21
	90	水生昆虫観察体験				123									123
	91	スノーシュー体験										102	39		141
	92	スポーツと遊びの森’スノーシューウォーキング											18		18
	93	歩くスキー体験										24			24
その他	94	アニマルトラッキング いきものの森探検											27		27
	95	アニマルトラッキング リフレッシュの森探検											5	1	6
	96	歩くスキー体験ツアー													0
	97	山菜観察会	13												13
	98	丸太んピック	271												271
	99	フラワーペンダントづくり			44			44							88
	100	カラマツローズの指輪づくり			19										19
	101	ヒンメリづくり				6									6
	102	コロコロアイスクリーム				66							80		146
	103	ペットボトルロケット				28									28
	104	魚つかみ取り					57								57
	105	魚釣り					40								40
	106	フィッシングガーデン						283							283
	107	おしるこづくり								224	908	209			1,341
	108	焼きりんご								248	186				434
	109	レジンの宝石ストラップ								16	34				50

	No.	プログラム名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
その他	110	目指せ！炭焼きの達人									16	17			33
	111	新春！餅つき										100			100
	112	新春！おしるこ										148			148
	113	レジンのキーホルダー											93		93
	114	カラフルわたあめ												173	173

平成30年度　体験プログラム一覧

【 堀金･穂高 地区 】 10月末時点

	No.	プログラム名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
芸術教室	1	木のキーホルダー	84	135	173	128	364	67	92						1,043
	2	木のコースター	37	60	41	112	159	36	122						567
	3	森のカスタネット	54	72	79	77	291	45	125						743
	4	ホーリーのふしぎパズル	79	165	287	169	368	86	92						1,246
	5	木の実DEアート	60	50	53	20	6	82	58						329
	6	動くおもちゃ	103	137	110	31		7	43						431
	7	木のぴっかぴか	12	132	229	96	107	49	66						691
	8	いろいろ飾り台		2		2									4
	9	ちっちゃな鯉のぼり	109	175											284
	10	しいたけ駒打ち90	7												7
	11	しいたけ駒打ち45	27												27
	12	カブトをつくろう				154	467								621
	13	クワガタをつくろう				83	306								389
	14	押し花うちわ				178	588								766
	15	ハーバリウム													0
	16	木の実のリース													0
	17	森のフレームアート													0
	18	芸術ショートガイド	931	1,845	1,687	1,788	3,429	898	1,128						11,706
社会科教室	19	そば打ち	115	113	83	183	433	131	105						1,163
	20	そば打ち台数	34	33	24	55	121	40	33						340
	21	お小昼	92	79	98	122	99	103	59						652
	22	お茶席			36	36	35	85	37						229
	23	桜餅	40												40
	24	草餅づくり			41										41
	25	味噌づくり													0
	26	七夕饅頭				25									25
	27	ぬかくど体験													0
	28	水鉄砲					69								69
	29	ぎっちょかご						4							4
	30	紙ひこうきづくり													0
	31	コキアのほうき													0
	32	三九郎ツアー													0
	33	凍り餅づくり													0
	34	わら細工（ねこつぐら）													0
	35	割り箸鉄砲													0

	No.	プログラム名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
社会科教室	36	冬至かぼちゃ団子振舞													0
	37	七草粥の振舞													0
	38	紙芝居	599	314	425	557	1,002	408	639						3,944
	39	社会ショートガイド	1,036	1,259	906	1,074	1,535	873	789						7,472
理科教室	40	理科ショートガイド													0
	41	渓流～湧水の世界													0
	42	カウンターガイド	494	336	334	369	588	354	453						2,928
	43	雪の上の動物たち	110	141	211	83	143	84	102						874
	44	わくわく自然観察会	5	28	12	10	12	7	7						81
	45	おもしろ発見塾					90								90
	46	フィールドガイド	5	12	27	27	2	39							112
玄関	47	観覧室	1,081	1,023	1,086	1,067	1,348	953	878						7,436
	48	ジオラマ・水槽ガイド	1,136	1,401	1,051	1,389	1,915	1,074	1,286						9,252
	49	玄関カウンターガイド	28	33	164			7							232
	50	野外ガイド		17											17
	51	クイズラリー	60	223	142	57	162	59	37						740
	52	双眼鏡貸出	1	4	1	2		2	1						11
その他協働団体	53	ステンドグラス	114	156	81	130	443	126	49						1,099
	54	正月飾り物づくり													0
	55	木工専科	4	8	12	9	11	8							52
	56	ステンドグラス講座	2		3	2		2							9
	57	革講座	4	10	6	3		10							33
	58	ペアでそば打ち													0
	59	年越しそば打ち													0

平成30年度　体験プログラム一覧

【 大町･松川 地区 】 10月末時点

	No.	プログラム名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
クラフト体験	1	えんぴつたてづくり	8												8
	2	サンドアート	230	273	150	97	522	101	264						1,637
	3	ウッディストラップ	5	19		24	118	5	18						189
	4	小枝のクラフト	28	26		106	412	26	19						617
	5	葉っぱのしおり	25		32	21	74	10	21						183
	6	かぶとづくり	23												23
	7	森のフレーム	73	174	67	75	137	87	89						702
	8	木の実のストラップ	9					3							12
	9	大人の布ぞうりづくり教室													0
	10	森のケーキづくり	1	35	97	18	42	71	22						286
	11	キーホルダーづくり	30			12	8	9	4						63
	12	草木染め織りタペストリー	7				12		7						26
	13	こいのぼりづくり	31	11											42
	14	泳ぐ！こいのぼり	155												155
	15	大北チューチュー		302											302
	16	森のバッジ		462											462
	17	くるみのストラップ		59	9	47	334	57	53						559
	18	小鳥のクラフト		13											13
	19	木の車づくり		35											35
	20	エコバッグづくり		18	13			30							61
	21	葉っぱのタペストリー			50			46							96
	22	ギッチョカゴづくり			10			7							17
	23	石器づくり			25	160									185
	24	森のパタパタ			7										7
	25	森のトコトコ			25										25
	26	夢ひこうき				14									14
	27	うちわづくり													0
	28	紙すき体験				11									11
	29	苔玉づくり				10									10
	30	バードコール				76									76
	31	ストーンアート				21									21
	32	アルプスの風車				159									159
	33	虹のＵＦＯ				8		34							42
	34	森のクラフト					240								240
	35	森のそよかぜ					97								97

	No.	プログラム名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
クラフト体験	36	竹の水鉄砲づくり					68								68
	37	でかぼっくりクラフト					111								111
	38	ペーパーウエイト					6								6
	39	思い出ボードづくり					31								31
	40	ススキのコースターづくり						3							3
	41	小枝の自転車づくり						20							20
	42	花炭づくり													0
	43	ヒンメリ													0
	44	ナイトクラフト　くるみＤＥにらめっこ													0
食体験	45	季節のどら焼き	174		89	124		92	125						604
	46	灰焼きおやき	101	73	13				87						274
	47	米粉ピザ	58	233	298	321	338	196	245						1,689
	48	竹巻パン	117	2,017	600	182	358	495	599						4,368
	49	蒸しパン	115	64	79	297	200	58							813
	50	五平餅	971	142	164	103	730	265	234						2,609
	51	ピザ窯で焼く米粉ピザ	34	84											118
	52	蒸しおやき	73												73
	53	おやきづくり		218	91			52							361
	54	朴葉まきづくり			146										146
	55	釜飯づくり			13				75						88
	56	野菜のまきまきロール				44	69								113
	57	ジャムづくり				46									46
	58	七夕まんじゅう					280								280
	59	赤飯まんじゅう					557	265							822
	60	ぬかくどおにぎり							40						40
	61	野鳥観察会	33												33
自然体験	62	森の散策体験	332	381	230	334	352	335	584						2,548
	63	ノルディックウォーク体験	16		2	2			2						22
	64	河畔探勝ウォーキング	2	17	18				11						48
	65	リフレッシュの森ウォーキング	7	6					5						18
	66	ネイチャーゲーム	7	9	48	7	97	19	7						194
	67	野鳥観察会	33												33
	68	FWO		5		339									344
	69	水生昆虫観察会				54	113								167
	70	アニマルトラッキング					3								3
	71	山の神遺跡学習と火起こし体験						38							38

	No.	プログラム名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
その他	72	山菜観察会	30												30
	73	丸太んピック		536											536
	74	森のクラフトラリー			196	19									215
	75	フラワーペンダント			42										42
	76	レジンのきらきらヘアゴムづくり			46				42						88
	77	アロマワックスバーづくり			35	32									67
	78	ペットボトルロケット				18									18
	79	コロコロアイスクリーム					86								86
	80	魚釣り					33								33
	81	フィッシングガーデン													0
	82	おしるこづくり													0
	83	マシュマロソフトクリーム													0

市民参加活動一覧

【 H28 】

[堀金・穂高 地区]

〇専門指導員

専門指導員登録者：57 名（H29.3 月末現在）　年間延活動者数：2,468 人

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
半日活動	33	44	33	41	29	37	29	66	32	31	41	28	444
1日活動	164	189	182	201	239	155	168	174	180	130	109	133	2,024
合計	197	233	215	242	268	192	197	240	212	161	150	161	2,468

〇協働活動団体

協働活動団体数：8 団体（H29.3 月現在）

・あづみのステンドグラス同好会　平成 28 年 4 月 1 日（金）～平成 29 年 3 月 31 日（金）
・みのむしの会　平成 28 年 11 月 26 日（土）～12 月 28 日（水）
・安曇野クラフトゲート匠の杜　平成 28 年 4 月 1 日（金）～平成 29 年 3 月 31 日（金）
・安曇野の自然と文化を考える会　平成 28 年 5 月 15 日（日）～10 月 16 日（日）
・岩原の自然と文化を考える会　平成 28 年 5 月 21 日、9 月 22 日（木・祝）
・NPO 法人信州そばアカデミー　平成 28 年 7 月 30 日（土）～12 月 3 日（土）
・NPO 法人安曇野ふるさとづくり応援団　平成 28 年 7 月 9 日（土）～12 月 10 日（土）
・NPO 法人わおん　平成 28 年 6 月 26 日（日）・9 月 24 日（土）

〇インターンシップ等

信州大学理学部　1 名（10 月の 10 日間）※博物館実習

[大町・松川 地区]

〇専門指導員

専門指導員登録者：36 名（H29.3 月末現在）　年間延活動者数：2,714 人

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
半日活動	46	46	68	108	45	46	96	50	20	19	52	10	606
1日活動	167	222	147	213	206	177	192	164	154	155	135	176	2,108
合計	213	268	215	311	251	223	288	214	174	174	187	186	2,714

〇インターンシップ等

岩手大学農学部　1 名（9 月の 5 日間）

【 H29 】

[堀金・穂高 地区]

○専門指導員

専門指導員登録者：55 名（H30.3 月末時点）　年間延活動者数：2,502 人

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
半日活動	56	34	44	41	29	27	34	46	41	34	51	21	458
1日活動	200	187	171	170	255	167	168	186	177	115	87	161	2,044
合計	256	221	215	211	284	194	202	232	218	149	138	182	2,502

○協働活動団体数

協働活動団体数：8 団体（H29.4 月現在）

・あづみのステンドグラス同好会　平成 29 年 4 月 1 日（土）～平成 30 年 3 月 31 日（土）
・みのむしの会　平成 29 年 11 月 25 日（土）～12 月 28 日（木）
・安曇野クラフトゲート匠の杜　平成 29 年 4 月 1 日（土）～平成 29 年 3 月 31 日（土）
・安曇野の自然と文化を考える会　平成 29 年 5 月 3 日（祝・水）～10 月 15 日（日）
・岩原の自然と文化を考える会　平成 29 年 5 月 20 日（土）～平成 30 年 2 月 12 日（振・月）
・NPO 法人信州そばアカデミー　平成 29 年 7 月 30 日（土）～12 月 3 日（土）
・NPO 法人安曇野ふるさとづくり応援団　平成 29 年 7 月 8 日（土）～12 月 9 日（土）
・NPO 法人わおん　平成 29 年 8 月 19 日（土）・9 月 18 日（祝・月）

[大町・松川 地区]

○専門指導員

専門指導員登録者：37 名（H29.3 月末現在）　年間延活動者数：2,511 人

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
半日活動	167	191	167	195	190	154	165	159	154	134	147	151	1,974
1日活動	57	46	55	57	47	63	76	27	19	27	34	29	537
合計	224	237	222	252	237	217	241	186	173	161	181	180	2,511

○インターンシップ等

長野県林業大学校　1 名（7 月の 5 日間）

広報・報道実績

【　H28　】

	平成 28 年度　報道件数					計
	テレビ	ラジオ	新聞	雑誌	その他	
4 月	10	5	52	3	6	76
5 月	6	42	4	2	6	60
6 月	6	61	1	3	6	77
7 月	1	43	4	4	11	63
8 月	10	44	3	2	6	65
9 月	4	41	2	0	7	54
10 月	3	42	4	2	9	60
11 月	6	42	6	6	4	64
12 月	11	53	8	1	8	81
1 月	10	53	6	2	2	73
2 月	5	42	0	3	7	57
3 月	2	44	7	2	4	59
計	74	512	97	30	76	789

【　H29　】

	平成 29 年度　報道件数					計
	テレビ	ラジオ	新聞	雑誌	その他	
4 月	5	9	60	2	7	83
5 月	5	8	52	3	5	73
6 月	5	8	55	3	9	80
7 月	4	5	45	2	11	67
8 月	24	15	57	0	7	103
9 月	3	7	61	0	7	78
10 月	4	8	42	1	8	63
11 月	12	10	48	5	4	79
12 月	16	12	77	2	5	112
1 月	13	5	58	0	5	81
2 月	5	7	44	2	5	63
3 月	5	6	59	2	8	80
計	101	100	658	22	81	962

【　H30　】9 月末時点

	平成 26 年度　報道件数					計
	テレビ	ラジオ	新聞	雑誌	その他	
4 月	12	11	55	2	6	86
5 月	16	12	58	4	4	94
6 月	3	5	47	5	7	67
7 月	5	6	43	1	5	60
8 月	13	6	60	0	6	85
9 月	3	9	42	1	6	61
10 月						
11 月						
12 月						
1 月						
2 月						
3 月						
計	52	49	305	13	34	453

■広報・報道件数のカウント方法

委託費による有料広告等についてはカウントできないが、委託費によらない自主事業等による有料広告等はカウントできるものとする。

・テレビ（NHK・民放）・ラジオ（AM、FM）の放送件数で、１番組につき１カウントとする。

・一般社団法人日本新聞協会加盟の新聞・大糸タイムス、販売や配布エリアが安曇野市、大町市域を超える範囲の雑誌・情報誌への紙面掲載件数で、新聞については１紙／回につき１カウントとし、雑誌・情報誌については、１冊／回につき１カウントとする。但しホームページ等インターネット記事掲載は除く。

・事件、事故等の報道件数は除く。

※ただし、別紙 10 に示す広報・報道実績は、複数の同一番組、同日の紙面掲載記事がカウントされている。

レンタルサーバー維持管理実績

■レンタルサーバー維持管理費用

【 H28 】 96,000 円（税抜）
月 8,000 円×12 か月

【 H29 】 96,000 円（税抜）
月 8,000 円×12 か月

【 H30 】 48,000 円（税抜） 9 月末現在
月 8,000 円×6 か月

開園時間延伸状況

【 堀金・穂高 地区 】※H30 年 9 月末時点で決定されている事項

エリア	期間		延伸理由	開園時間
田園文化ゾーン	平成 28 年	5 月 22 日（日）	ｱﾙﾌﾟｽあづみのｾﾝﾁｭﾘｰﾗｲﾄﾞの実施（持込ｲﾍﾞﾝﾄ）	5：30～9：30
ガイドセンター～あづみの学校周辺 あづみの学校	平成 28 年	8 月 10 日(水)～8 月 16 日(火)	夜間開園 （イルミネーション）	18：00～21：00
ガイドセンター～池周辺 あづみの学校	平成 28 年	11 月 19 日（土）～1 月 9 日（月）	夜間開園 （イルミネーション）	16：00～21：00
ガイドセンター～池周辺 あづみの学校	平成 28 年	12 月 31 日（土）	夜間開園 （カウントダウン）	18：00～25：00
ガイドセンター～池周辺 あづみの学校	平成 29 年	1 月 13 日（金）～1 月 29 日（日）の金・土・日	夜間開園 （イルミネーション延長）	16：00～21：00
田園文化ゾーン	平成 29 年	4 月 23 日（日） 5 月 21 日（日）	ｱﾙﾌﾟｽあづみのｾﾝﾁｭﾘｰﾗｲﾄﾞの実施（持込ｲﾍﾞﾝﾄ）	(4/23)6：30～9：30 (5/21)5：30～9：30
ガイドセンター～あづみの学校周辺 あづみの学校	平成 29 年	8 月 11 日(金)～8 月 20 日(日)	夜間開園 （イルミネーション）	18：00～21：00
ガイドセンター～池周辺 あづみの学校	平成 29 年	11 月 11 日（土）～1 月 9 日（月）	夜間開園 （イルミネーション）	16：00～21：00
ガイドセンター～池周辺 あづみの学校	平成 29 年	12 月 31 日（日）	夜間開園 （カウントダウン）	18：00～25：00
田園文化ゾーン	平成 30 年	4 月 22 日（日） 5 月 20 日（日）	ｱﾙﾌﾟｽあづみのｾﾝﾁｭﾘｰﾗｲﾄﾞの実施（持込ｲﾍﾞﾝﾄ）	(4/23)6：30～9：30 (5/21)5：30～9：30
ガイドセンター～あづみの学校周辺 あづみの学校	平成 30 年	8 月 10 日(金)～8 月 19 日(日)	夜間開園 （イルミネーション）	18：00～21：00
ガイドセンター～池周辺 あづみの学校	平成 30 年	11 月 3 日（土）～1 月 6 日（日）及び 1 月 12 日（土）～1 月 14 日（月）	夜間開園 （イルミネーション）	16：00～21：00

※休園日を開園日に変更した場合を含む

【 大町・松川 地区 】※H30 年 9 月末時点で決定されている事項

エリア	期間		延伸理由	開園時間
センターゾーン、林間ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝｿﾞｰﾝ	平成 28 年	5 月 22 日（日）	ｱﾙﾌﾟｽあづみのｾﾝﾁｭﾘｰﾗｲﾄﾞの実施（持込ｲﾍﾞﾝﾄ）	5：30～9：30
センターゾーン、林間ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝｿﾞｰﾝ	平成 28 年	8 月 20 日（土）～8 月 21 日（日）	里山探検ウォーキングの実施（持込ｲﾍﾞﾝﾄ）	18：00～翌 9：30
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ～ﾃﾞｲｷｬﾝﾌﾟ場第 1 駐車場	平成 28 年	9 月 10 日（土）～9 月 11 日（日）	北アルプス奉納太鼓実施（持込イベント）	18：00～翌 6：30
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ～森の体験舎区間	平成 28 年	11 月 19 日（土）～1 月 9 日（月）	夜間開園（イルミネーション）	16：00～21：00
センターゾーン、林間ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝｿﾞｰﾝ	平成 29 年	4 月 23 日（日）及び 5 月 21 日（日）	ｱﾙﾌﾟｽあづみのｾﾝﾁｭﾘｰﾗｲﾄﾞの実施（持込ｲﾍﾞﾝﾄ）	(4/23)6：30～9：30 (5/21)5：30～9：30
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ、第 1 駐車場	平成 29 年	7 月 29 日（土）～7 月 30 日（日）	北アルプス奉納太鼓実施（持込イベント）	18：00～翌 9：00
センターゾーン、林間ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝｿﾞｰﾝ	平成 29 年	8 月 19 日（土）～8 月 20 日（日）	里山探検ウォーキングの実施（持込ｲﾍﾞﾝﾄ）	18：00～翌 9：30
センターゾーン、林間ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝｿﾞｰﾝ	平成 29 年	11 月 25 日（土）～11 月 26 日（日）	ｵﾘｴﾝﾃｰﾘﾝｸﾞｻﾐｯﾄ 2017 の実施（持込イベント）	7:00～9：00
センターゾーン、林間ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝｿﾞｰﾝ	平成 30 年	4 月 22 日（日） 5 月 20 日（日）	ｱﾙﾌﾟｽあづみのｾﾝﾁｭﾘｰﾗｲﾄﾞの実施（持込ｲﾍﾞﾝﾄ）	(4/23)6：30～9：30 (5/21)5：30～9：30
センターゾーン、林間ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝｿﾞｰﾝ	平成 30 年	7 月 21 日（土）～7 月 22 日（日）	abn「夏だキャンプへＧＯ」の実施（持込ｲﾍﾞﾝﾄ）	18：00～翌 9：30
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ、第 1 駐車場	平成 30 年	7 月 27 日（金）～7 月 28 日（土）	北アルプス奉納太鼓実施（持込イベント）	18：00～翌 9：00
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ～大草原の家区間	平成 30 年	7 月 28 日（土）	喜多郎コンサート実施（持込イベント）	18：00～22：00
センターゾーン、林間ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝｿﾞｰﾝ	平成 30 年	8 月 18 日（土）～8 月 19 日（日）	里山探検ウォーキングの実施（持込ｲﾍﾞﾝﾄ）	18：00～翌 9：30
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ～森の体験舎区間	平成 30 年	11 月 3 日（土）～1 月 6 日（日）	夜間開園（イルミネーション）	16：00～21：00

※休園日を開園日に変更した場合を含む

混雑時の状況

【 堀金・穂高 地区 】

■ 入園者数・駐車台数

H28 年度				H29 年度			
月日	曜日	入園者数	車台数（概数）	月日	曜日	入園者数	車台数（概数）
5 月 3 日	火	12,030	4,000	5 月 3 日	水	10,498	3,500
5 月 4 日	水	15,114	5,000	5 月 4 日	木	17,100	5,700
5 月 5 日	木	5,122	1,700	5 月 5 日	金	8,031	4,500
8 月 14 日	日	5,016	1,700	8 月 14 日	月	5,003	1,700
12 月 24 日	土	5,224	1,700				
計		42,506	14,100	計		40,632	15,400

H30 年度(9/末現在)			
月日	曜日	入園者数	車台数（概数）
4 月 22 日	日	5,752	1,900
4 月 29 日	日	6,827	2,300
4 月 30 日	月	5,051	1,700
5 月 3 日	木	7,847	2,600
5 月 4 日	金	18,966	6,300
5 月 5 日	土	9,058	3,000
5 月 20 日	日	5,794	1,900
計		74,695	19,700

※入園者数が 5,000 人以上の日を抽出

【 大町・松川 地区 】

■ 入園者数・駐車台数

H28 年度				H29 年度			
月日	曜日	入園者数	車台数（概数）	月日	曜日	入園者数	車台数（概数）
5 月 3 日	火	9,512	3,200	5 月 3 日	水	9,358	3,100
5 月 4 日	水	6,145	2,000	5 月 4 日	木	11,392	3,800
5 月 5 日	木	5,208	1,700	5 月 5 日	金	6,236	2,100
10 月 2 日	日	7,657	3,100	10 月 1 日	日	8,679	2,900
計		31,653	10,000	計		35,665	11,900

H30 年度(9/末現在)			
月日	曜日	入園者数	車台数（概数）
5 月 4 日	金	11,816	3,900
5 月 5 日	土	7,516	2,500
計		19,332	6,400

※入園者数が 5,000 人以上の日を抽出

別紙－22

提供施設一覧（建築物）

【堀金・穂高地区】

番号	用途	施設の種類	単位	数量	面積(㎡)
1	案内施設	ガイドセンター	棟	1	583
2	案内施設	須砂渡口	棟	1	60
3	案内施設	穂高口	棟	1	
4	管理・作業施設	予備水槽室	棟	1	30
5	管理事務所	公園センター	棟	1	920
6	車庫・倉庫	倉庫	棟	2	21
7	機械・ポンプ室	受水槽室	棟	1	96
8	機械・ポンプ室	プロパン庫	棟	2	10
9	体験学習施設	あづみの学校	棟	1	2,951
10	レストハウス	須砂渡口	棟	1	97
11	レストハウス	展望テラス	棟	1	325
12	レストハウス	水辺の休憩所	棟	1	138
13	レストハウス	野の休憩所	棟	1	303
14	レストハウス	烏川休憩所	棟	1	
15	レストラン	レストラン	棟	1	278
16	四阿	四阿（段々花畑）	棟	1	15
17	四阿	四阿（準幹線園路橋）	棟	1	19
18	四阿	四阿（池）	棟	1	20
19	四阿	四阿（野原）	棟	1	20
20	便所	公園センター	箇所	2	64
21	便所	ガイドセンター	箇所	1	57
22	便所	あづみの学校	箇所	2	118
23	便所	須砂渡口	箇所	2	76
24	便所	展望テラス	箇所	1	44
25	便所	水辺の休憩所	箇所	1	49
26	便所	野の休憩所	箇所	1	49
27	便所	親水広場	箇所	1	19
28	便所	疎林広場	箇所	1	19
29	便所	穂高口	箇所	1	
30	便所	烏川休憩所	箇所	1	
31	便所	レストラン	箇所	3	26

【大町･松川地区】

番号	用途	施設の種類	単位	数量	面積(㎡)
1	案内施設	インフォメーションセンター	棟	1	82
2	管理事務所	インフォメーションセンター	棟	1	416
3	車庫･倉庫	車庫棟	棟	1	192
4	車庫･倉庫	レンタル棟	棟	1	536
5	機械･ポンプ室	受水槽室	棟	1	214
6	レストハウス	休憩棟	棟	1	555
7	レストハウス	休憩所	棟	1	22
8	四阿	四阿（あづみの苑地）	棟	1	9
9	体験学習施設	インフォメーションセンター展示	室	3	483
10	体験学習施設	炊事棟	棟	1	110
11	体験学習施設	森の体験舎	棟	1	846
12	体験学習施設	そまびとの家	棟	1	37
13	体験学習施設	大草原の家	棟	1	938
14	体験学習施設	森のゲート	棟	1	228
15	売店	インフォメーションセンター	箇所	1	50
16	便所	インフォメーションセンター	箇所	3	156
17	便所	レンタル棟	箇所	1	5
18	便所	休憩棟	箇所	1	32
19	便所	駐車場	箇所	1	95
20	便所	デイキャンプ場	箇所	1	89
21	便所	入口広場	箇所	1	88
22	便所	大草原の家	箇所	2	45
23	便所	森の体験舎	箇所	1	38
24	便所	森のゲート	箇所	1	27
25	便所	アルプス広場	箇所	1	98
26	便所	渓流ピクニック広場	箇所	1	22

提供物品一覧（機械器具等）

【 堀金・穂高 地区 】(1/4)

番号	品目	規格	単位	数量
車輌（月別使用実績報告書提出機器）				
1	軽貨物自動車	４WD（KT-1504）	台	1
2	軽自動車	660cc 4×4G 2人乗り	台	1
3	小型トラック	2400cc 4WD 7人乗	台	1
4	原動機付自転車	ホンダジャイロアップ	台	1
5	原動機付自転車	ホンダスマートDIOデラックス	台	1
6	原動機付自転車	ヤマハ パッソル	台	1
その他				
7	草刈機	2ブレードカッターデッキ付き	台	1
8	自動券売機		基	8
9	受信装置	基地局	台	2
10	無線受信装置	移動局	台	1
11	映像音響装置		式	1
12	発電機	2,800W	台	1
13	発電機	6,000W	台	1
14	消防ポンプ	巻込スターター 15kW	台	1
15	給水管	巻込スターター 15kW	本	1
16	消防用ホース		本	3
17	パトロールレコーダー		個	1
18	水中ポンプ		台	1
19	エンジンチェンソー		台	2
20	刈払機		台	4
21	会議用椅子		脚	110
22	椅子		脚	20
23	テーブル	角型 ガイドセンター 授乳室	個	1
24	長椅子	多目的ホール	脚	40
25	テーブル	センターテーブル ガイドセンター 運転手室	個	2
26	テーブル	ミーティング用 ガイドセンター 乗務員室	脚	2
27	雑台	作業台 テーマ展示館	個	7
28	ホワイトボード	管理センター	個	1
29	スクリーン	テーマ展示館	個	1
30	雑台	講演台 管理センター	個	1
31	パネル・ローテーション	クロス ガイドセンター 救護室	個	1
32	パネルスクリーン	自立式 ガイドセンター 授乳室	個	1
33	パネルスクリーン	全面パネル式2連	個	8
34	パネルスクリーン	クロスパネル　ポール　ベース付き	個	10
35	ワゴン	机用3段　救護室	個	2
36	書棚		個	2
37	ロッカー	3人用	個	10

【 堀金・穂高 地区 】(2/4)

番号	品目	規格	単位	数量
38	ロッカー	両開用	個	10
39	棚	キッチンケース	個	2
40	カタログスタンド	パンフレット用	個	7
41	ベッド	ベビーベッド	個	1
42	幼児用遊具	キッズコーナーセット	個	1
43	遊具	移動型フワフワドーム	式	1
44	棚	薬品戸棚	個	1
45	ベッド	病院用ベッド	個	2
46	マットレス		個	2
47	診察台	上肢台	個	1
48	雑箱	担架収納箱	個	2
49	机	診察机	個	1
50	台車	回診車	個	1
51	掛け軸	「和敬静寂」	本	1
52	風炉釜	唐銅鬼面風呂	個	1
53	敷板	真塗 小板	個	1
54	屏風	炉風炉兼型用	枚	1
55	花入	本宗全庵	個	1
56	水指	一重口 赤絵	個	1
57	濃茶入	古瀬戸	個	1
58	莨盆	田楽型	個	1
59	水次	仁清 高台寺絵	個	1
60	掛け軸	「瑞雲」	本	1
61	炉用電熱器	600W	個	1
62	水指	染付 いも頭	個	1
63	棗		個	1
64	茶碗	黒楽茶碗	個	1
65	茶碗	萩茶碗	個	1
66	炉釜	利休好 万代	個	1
67	自転車	電動式（充電器5台含む）	台	3
68	公園内散水用散水車	ホース・ホースジョイント付	個	4
69	パンフレットラック	5段 W1,130×H1,000×D275	個	11
70	パンフレットラック	4段収納 W600×H1,520×D600	個	2
71	パンフレットラック	3段引出 W500×H1,800×D395	個	3
72	ロッカー	10人用	台	2
73	ロッカー	8人用	台	2
74	パウチ		台	1
75	キルビメーター		個	1
76	ブラニメーター		個	1
77	車椅子		個	20
78	シルバーカー		個	15
79	ベビーカー	公園名入り	個	30

【 堀金・穂高 地区 】(3/4)

番号	品目	規格	単位	数量
80	ベビーカーラック		個	2
81	ゴミ箱		個	4
82	スモーキングスタンド		個	10
83	ガラスケース		台	2
84	傘袋装着機	ダストボックス一体型	台	1
85	傘袋装着機		台	1
86	ダストボックス		個	8
87	リサイクルボックス		個	3
88	ダストボックス	紙おむつ用	個	2
89	カラーボード		個	2
90	カラーボード案内板		個	5
91	スクリーン		個	1
92	電子天秤		個	1
93	台車		個	2
94	冷凍冷蔵庫	535 リットル 2 ドア型	台	3
95	ドライバー	充電式インパクトドライバー	個	1
96	ドライバードリル	充電式ドライバードリル	個	2
97	ドライバードリル	充電式ドライバードリル ケース付き	個	2
98	リヤカー	W920×H750×D1,280	台	3
99	脚立	アルミ製 1.98m（脚立時）、4.15m（梯子時）	個	8
100	梯子	2 連 5.58m（最小）、10m（最大）	個	3
101	掃除機	9 リットル 1,050W	個	2
102	掃除機	背負式 2 リットル	個	2
103	広報宣伝用機材（大）		個	5
104	CD・MD ポータブルラジカセ		個	1
105	デジタルカメラ		個	1
106	デジタルビデオカメラ	アクセサリーキット付き	個	2
107	ビデオデッキ		台	2
108	ワイヤレスマイクロホン	タイピン型	個	1
109	ワイヤレスマイクロホン	ハンド型	個	2
110	PA システム		個	2
111	データプロジェクター		台	3
112	業務用携帯無線機	アンテナ・ストラップ・マイク付き	個	8
113	高圧洗浄器	水道直結給水	個	3
114	充電式ブロワ		台	2
115	切断機	原石切断機	台	1
116	糸鋸	発砲スチロール兼用型	個	2
117	コンロ	ガスコンロ バックガードなし	台	1
118	コンロ	鋳物三重ガスコンロ	台	1
119	ハードカットダイヤモンド	ダイヤ部刃厚 1.0mm	台	1
120	流し台	ステンレス 一層シンク	個	1
121	流し台	角丸シンク	個	1

【 堀金・穂高 地区 】(4/4)

番号	品目	規格	単位	数量
122	広報宣伝用機材（小）		体	1
123	臼	5 升	個	1
124	電気オーブン		台	2
125	氷蓄冷式冷水器		台	1
126	水質計	センサープローブ一体型	個	1
127	ドライスーツ		着	1
128	ウェットスーツ（上）	長袖上衣	着	1
129	ウェットスーツ（下）	チョッキ付きズボン	個	1
130	レギュレター		個	2
131	メタリコンタンク	12 リットル	個	4
132	エアーポンプ		台	1
133	乾燥機付洗濯機	ビート式	台	1

提供物品一覧（機械器具等）

【 大町・松川 地区 】(1/2)

番号	品目	規格	単位	数量
車輌（月別使用実績報告書提出機器）				
1	軽自動車	660cc 4WD 2人乗（KT-2002）	台	1
2	軽自動車	660cc 4×4G 2人乗り	台	1
3	小型トラック	2400cc 4WD 7人乗	台	1
4	原動機付自転車	ジャイロXスタンダード	台	1
5	原動機付自転車	ホンダ トゥデイ	台	1
6	原動機付自転車	ヤマハ ジョグ	台	1
その他				
7	除雪機	W=900	台	1
8	自転車	電動式（充電器5台含む）	台	2
9	自転車	マウンテンバイク	台	10
10	自動券売機		基	4
11	自動券売機	窓口券売機	基	1
12	受信装置	基地局	台	4
13	無線受信装置	移動局	台	1
14	ゴミ箱		個	8
15	スモーキングスタンド		個	5
16	平机		個	1
17	脇机		個	2
18	片袖机		個	10
19	ミーティングテーブル		個	2
20	椅子		脚	30
21	テーブル		個	2
22	会議用テーブル		個	22
23	会議用テーブル	パネル付き	個	15
24	会議用椅子		脚	68
25	台車（椅子用）		台	2
26	コインロッカー	6人用	個	5
27	コインロッカー	8人用	個	2
28	ロッカー	3人用	個	12
29	両開書庫		個	14
30	耐火金庫		個	2
31	硬貨計算機		個	1
32	硬貨選別収納機		個	1
33	卓上紙幣計算機		個	1
34	シュレッダー	電動	個	1
35	月行事予定板	壁掛け式 1,800×900	個	1
36	月行事予定板	壁掛け式 1,200×600	個	4
37	ホワイトボード	壁掛け式	個	2

【 大町・松川 地区 】(2/2)

番号	品目	規格	単位	数量
38	ホワイトボード	キャスター付き	個	3
39	パーティション	W900×H1,500	個	8
40	パーティションスタンド	ベルトインタイプ	個	10
41	テント	2間×3間 4方横幕付	個	6
42	脚立	アルミ製 全長4,250	個	3
43	一輪車		台	3
44	リヤカー	アルミ製 折り畳み	台	5
45	台車		台	3
46	薬品戸棚	救護室 W880×H1,790×D400	個	1
47	血圧計	救護室	個	1
48	診療ベッド	救護室 W900×D2,100	個	1
49	ファイバーマットレス	救護室	枚	1
50	上肢台	救護室 上下可動式 最大H850	個	1
51	患者用椅子	救護室 丸椅子	個	2
52	担架	2つ折 アルミ製 耐荷重100kg	個	2
53	担架格納庫		個	2
54	診察机	救護室	個	1
55	椅子	救護室	脚	1
56	ワゴン	救護室 キャスター付き	個	1
57	脱衣カゴ	救護室 キャスター付き	個	1
58	回診台	救護室	個	1
59	車椅子		台	15
60	シルバーカー		台	10
61	ベビーカー	公園名入り	台	25
62	発電機	定格出力2.5KVA	個	1
63	インパクトドライバー	充電式	個	2
64	スライドマルノコ	卓上スライド式	個	1
65	ベルトジスクサンダ		個	1
66	トリマ		個	2
67	洗濯機	全自動	個	1
68	冷蔵庫	冷凍庫付 300リットル以上	個	1
69	冷蔵庫	冷凍庫付 450リットル以上	個	2
70	電子レンジ	オーブン付	個	2
71	メガホン	ショルダー型 音声約400m	個	5
72	ポータブルアンプ	持ち運び用 一体型	個	1
73	スピーカー（スタンド付）	同上アンプ対応スピーカー	対	1
74	テーブル	W1,200×H720×D750	個	20
75	テーブル（6個はH・H地区）	W1,700×H720×D500	個	11
76	テーブル	W800×H720×D800 折り畳み式	個	9
77	椅子	W430×H750×D435	脚	102
78	椅子	W560×H925×D630 折り畳み式	脚	36

提供物品一覧（魚類）

綱	目	科	属	種	展示数	分別
硬骨魚	サケ	サケ	イワナ	ニッコウイワナ	42	養殖
			サケ	ヤマメ	57	養殖
				ニジマス	26	養殖
				信州サーモン	6	養殖
				ヒメマス	6	養殖
			コレゴヌス	シナノユキマス	15	養殖
	コイ	コイ	コイ	コイ	1	天然
			オイカワ	オイカワ	10	天然
			ウグイ	ウグイ	106	天然
			アブラハヤ	アブラハヤ	4	天然
			タモロコ	タモロコ	3	天然
			カマツカ	カマツカ	3	天然
			モツゴ	モツゴ	3	天然
				シナイモツゴ	6	天然
			フナ	ギンブナ	8	天然
			フナ	ゲンゴロウブナ	2	天然
			アブラボテ	ヤリタナゴ	1	天然
			バラタナゴ	タイリクバラタナゴ	5	天然
		ドジョウ	ドジョウ	ドジョウ	2	天然
			シマドジョウ	シマドジョウ	2	天然
	キュウリウオ	アユ	アユ	アユ	2	養殖
	カサゴ	カジカ	カジカ	カジカ	5	天然
	ウナギ	ウナギ	ウナギ	ウナギ	1	天然
	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	カワヤツメ	スナヤツメ	6	天然
両生	有尾	サンショウウオ	サンショウウオ	クロサンショウウオ	1	天然
		イモリ	イモリ	ニホンイモリ	3	天然
	無尾	ヒキガエル	ヒキガエル	アズマヒキガエル	2	天然
		アマガエル	アマガエル	ニホンアマガエル （黄色色素欠乏による青色）	1	天然
		アカガエル	アカガエル	ニホンアカガエル	3	天然
		アオガエル	アオガエル	モリアオガエル	1	天然
				シュレーゲルアオガエル	1	天然
甲殻	十脚	サワガニ	サワガニ	サワガニ	4	天然
		テナガエビ	スジエビ	スジエビ	5	天然
		ヌカエビ	ヌマエビ	ヌカエビ	8	天然
		アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	10	天然
				アメリカザリガニ (色彩変異による青色)	1	天然
昆虫	鞘翅	ゲンゴロウ	シャープゲンゴロウモドキ	シャープゲンゴロウモドキ	2	天然
4 綱	8 目	16 科	27 属	31 種※	364	

※　アメリカザリガニについては、色彩変異のものも同種として扱う。

リース物品一覧

平成 30 年 10 月現在

種類	数
複合機	2
プリンター	3
デスクトップＰＣ	30
ノートＰＣ	1
ネットワークサーバー	1
軽ワゴン	1
硬貨選別機	1
シュレッダー	1
除雪機	2

残存物品一覧

番号	品目	規格	単位	数量	取得年月日
1	片袖机	OKAMURA DS12XE-M51	個	2	2004.03.27
2	パンフレットケース	UCHIDA α150型 1-357-7015	個	2	2004.03.30
3	ホワイトボード	UCHIDA 6-191-4000NB-36型HWA/NR	個	1	2004.03.30
4	キッチンケース	LION OK-36W	個	1	2004.03.30
5	片袖机	OKAMURA DS12XE-MB51	個	2	2004.03.27
6	ホワイトボード	UCHIDA 6-191-4000NB-36型 HWA/NR	個	1	2004.03.30
7	片袖机	OKAMURA DS12XE-MB51	個	6	2004.03.27
8	パンフレットケース	UCHIDA α150型1501-357-7015	個	2	2004.03.30
9	ホワイトボード	UCHIDA 6-191-4000NB-36型 HWA/NR	個	1	2004.03.30
10	キッチンケース	LION OK-36W	個	1	2004.03.30
11	ホワイトボード	UCHIDA 6-191-4000NB-36型 HWA/NR	個	1	2004.03.30
12	片袖机	OKAMURA DS12XE-MB51	個	1	2004.03.30
13	パンフレットケース	UCHIDA α150型 1-357-7015	個	1	2004.03.30
14	片袖机　臨時職員	OKAMURA DS12XE-M	個	2	2004.03.27
15	椅子　課長	OKAMURA CX95GR-FM	個	3	2004.03.27
16	パンフレットケース	UCHIDA α150型 1-357-7015	個	1	2004.03.31
17	オフィスボード	UCHIDA 6-191-4000NB-36型 HWA/NR	個	1	2004.03.31
18	図面庫	UCHIDA 1-874-5000	台	2	2004.03.31
19	カウンター	UCHIDA ハイカウンターIF-15 6-353-145	個	1	2004.03.31
20	カウンター	UCHIDA ハイカウンターST-15 6-353-152	個	1	2004.03.31
21	カウンター	UCHIDA ハイカウンターST-15 6-353-155	個	1	2004.03.31
22	カウンター	UCHIDA ハイカウンターST-12 6-353-152	個	1	2004.03.31
23	パーティション	KOKUYO SN-SP183	個	2	2004.03.31
24	両袖机　所長	KOKUYO MG-7DDCT34	個	1	2004.03.31
25	椅子　所長	KOKUYO CR-G301KG06	個	1	2004.03.31
26	ロッカー	KOKUYO MG-5L P1C	個	1	2004.03.27
27	キッチンケース	LION OK-36W	個	1	2004.03.27
28	書庫　所長	KOKUYO MG-310GBT32	個	1	2004.03.31
29	応接セット3点	UCHIDA RS-16N	セット	1	2004.03.31
30	耐火金庫	KOKUYO HS-282KF-1NN	個	1	2004.03.27
31	耐火金庫	KOKUYO HS-151F32N	個	1	2004.03.27
32	キッチンケース	LION OK-36W	個	1	2004.03.27
33	テレビ	東芝 29Z28	台	1	2004.03.30
34	テレビ	東芝 29Z28	台	1	2004.03.30
35	冷蔵庫	日立 RS31SSV	台	1	2004.03.30
36	冷蔵庫	日立 RS31SSV	台	1	2004.03.30
37	HDD内臓DVDビデオ	ソニー RDR-HX8	個	1	2004.03.30
38	冷蔵庫	日立 RS31SSV	台	1	2004.03.30
39	冷蔵庫	日立 RS31SSV	台	1	2004.03.30
40	冷蔵庫	日立 RS31SSV	台	1	2004.03.30
41	スライドマルノコ	マキタ LS0713FL	個	1	2004.03.29
42	行事予定表	トヨセット	個	2	2004.03.31
43	会議テーブル	オカムラ L21BC-W	台	1	2004.03.30

番号	品目	規格	単位	数量	取得年月日
44	演台	コクヨ WA-171RN	個	1	2004.03.30
45	金庫	コクヨ HS-232KF1	個	1	2004.03.30
46	土壌硬度計	山中式標準型	個	1	2004.03.30
47	大型検土枝	分割携帯式(長谷川式)	個	1	2004.03.30
48	簡易現場透水試験機	長谷川式	個	1	2004.03.30
49	道祖神		個	1	2004.10.29
50	フィールドスコープ		個	2	2005.03.18
51	テント	3M×6M(DX60)	個	3	2005.03.31
52	コインロッカー	ライオン RC-101AG	個	3	2005.03.31
53	長靴用ロッカー		個	2	2005.03.31
54	臼・杵	小林木工所	個	1	2006.03.31
55	パネルスクリーン	コクヨ SN-SG182HN62N	個	1	2006.03.31
56	傘立て	コクヨ US-G181N	個	1	2006.03.31
57	掃除機(乾・湿両用)	日立 CV-PF40WD	個	1	2006.06.30
58	デジタルカメラ	DMC-FZ50	個	1	2007.03.25
59	物置	稲葉 KMX-157E	個	1	2007.08.03
60	椅子	OKAMURA CX45GR-FM	個	1	2009.03.31
61	プロジェクター	EMP-1715	個	1	2009.03.31
62	書画カメラ	ELMO P30S	個	1	2009.03.31
63	テレビ	PANASONIC TH-L32X1	台	1	2009.03.28
64	HDD搭載ハイビジョンBDレコーダー	PANASONIC DMR-BW750	台	1	2009.03.28
65	HDD ビデオカメラ	TM300	個	1	2009.03.28
66	エンジン付ブロアー	EBZ5100	個	2	2010.04.05
67	イラストレーター	CS4	個	1	2009.05.20
68	フォトショップ	CS4	個	1	2009.05.20
69	エンジン付ブロアー	EBZ4800-4	個	2	2009.08.20
70	掃除用具入れ	SW-610S	個	5	2009.10.27
71	スキー陳列台	D-6000A	台	1	2010.03.30
72	ブーツ陳列台	D-8600A	台	1	2010.03.30
73	プールすべり台	ウチダ UA-F W1,400×D2,300×H400	台	1	2012.07.13
74	脚立	ピカ HM-C420 H4,275×W1,060×D255	台	1	2018.03.09

貸与車両の使用状況・維持管理状況

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　28　年　4　月分 [自　1　日 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

調査職員　　印　　作成者氏名　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	774.0	22	33.5	0	77.4	無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	1,017.0	26	60.5	0	84.0	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	689.0	25	67.5	0	57.4	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	463.0	24	54.5	15000	18.5	有	タイヤ交換・スパークプラグ清掃
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	384.0	25	44.5	11500	13.0	有	タイヤ交換・オイル交換
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	54.0	7	11.5	0	1.8	無	

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　28　年　5　月分 [自　1　日 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

調査職員　　印　　作成者氏名　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	852.0	24	35.0	2,160	85.2	有	タイヤ交換
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	693.0	23	41.5	2,160	57.3	有	タイヤ交換
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	938.0	23	61.5	2,160	78.2	有	タイヤ交換
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	398.0	27	54.0	0	15.9	無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	492.0	25	54.0	0	16.7	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	81.0	8	7.5	0	2.7	無	

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　28　年　6　月分 [自　1　日 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

調査職員　　印　　作成者氏名　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	770.0	23	42.5	0	77.0	無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	760.0	25	48.5	0	62.8	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	705.0	23	42.0	0	58.8	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	422.0	24	51.0	0	16.9	無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	720.0	26	76.0	0	24.4	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	63.0	9	12.0	0	2.1	無	

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　28　年　7　月分 [自　1　日 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

調査職員　　印　　作成者氏名　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	949.0	23	34.0	0	94.9	無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	862.0	29	56.5	0	71.2	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	576.0	21	36.5	0	48.0	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	594.0	29	66.0	0	23.8	無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	1,012.0	28	89.5	0	34.3	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	96.0	6	3.5	0	3.1	無	

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　28　年　8　月分 [自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

調査職員　　印　　作成者氏名　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	539.0	20	22.8	0	53.9	無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	958.0	28	57.0	0	79.2	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	479.0	26	40.5	0	39.9	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	646.0	30	71.5	0	25.8	無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	1,037.0	28	90.0	18400	35.2	有	タイヤ交換・エレメント清掃
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	265.0	12	11.5	33170	8.7	有	タイヤ交換・オイル交換

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　28　年　9　月分 [自　1　日 / 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

調査職員　　印　　作成者氏名　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	485.0	21	26.8	0	48.5	無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	254.0	12	21.0	0	21.0	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	550.0	23	67.0	28640	45.8	有	タイヤパンク交換
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	561.0	24	54.5	0	22.4	無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	945.0	26	79.0	13900	32.0	有	ミラー交換外
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	105.0	7	12.0	0	3.4	無	

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　28　年　10　月分 [自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

調査職員　　印　　作成者氏名　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	737.0	19	28.0	0	73.7	無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	348.0	13	19.5	0	28.7	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	428.0	23	61.5	0	35.6	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	576.0	26	63.0	0	23.0	無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	903.0	25	78.0	0	30.6	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	61.0	5	3.5	0	2.0	無	

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　28　年　11　月分 [自　1　日 / 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

調査職員　　印　　作成者氏名　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	731.0	20	33.5	0	73.1	無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	794.0	25	54.5	44000	65.6	有	タイヤ購入外
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	538.0	25	42.0	0	44.8	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	491.0	25	56.5	0	19.6	無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	904.0	26	78.5	0	30.6	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	0.0	0	0.0	4000	0.0	有	パンク修理

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　28　年　12　月分 [自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

調査職員　　印　　作成者氏名　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	631.0	18	26.0	2,000	63.1	有	タイヤ交換
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	717.0	26	45.2	0	59.2	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	352.0	22	29.0	0	29.3	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	450.0	26	58.5	13000	18.0	有	タイヤ交換外
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	916.0	28	89.0	13000	31.0	有	タイヤ交換外
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	0.0	0	0.0	0	0.0	無	

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　29　年　1　月分 [自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

調査職員　　印　　作成者氏名　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	652.0	25	32.5	0	65.2	無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	285.0	19	22.3	2000	23.6	有	タイヤ交換
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	335.0	22	37.0	0	27.9	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	253.0	19	36.5	0	10.1	無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	783.0	26	72.5	0	26.5	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	0.0	0	0.0	0	0.0	無	

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　29　年　2　月分 [自　1　日 / 至　28　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

調査職員　　印　　作成者氏名　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	781.0	24	40.5	0	78.1	無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	373.0	11	18.5	0	30.8	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	344.0	19	35.5	0	28.7	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	375.0	19	50.0	11500	15.0	有	パンク修理外
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	649.0	23	66.0	0	22.0	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	0.0	0	0.0	0	0.0	無	

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　29　年　3　月分 [自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

調査職員　　印　　作成者氏名　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	726.0	25	43.0	0	72.6	無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	30.0	1	0.5	0	2.5	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	344.0	24	29.5	0	28.7	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	427.0	23	53.5	14700	17.1	有	バッテリー交換
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	929.0	27	92.5	0	31.5	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	23.0	1	0.5	0	0.8	無	

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　29　年　4　月分 [自　1　日 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

調査職員　　印　　作成者氏名　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	831.0	18	29.5	0	83.1	無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	623.0	21	34.5	0	51.5	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	436.0	28	77.5	0	36.3	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	543.0	24	61.5	0	21.7	無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	925.0	26	89.5	0	31.4	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	0.0	0	0.0	0	0.0	無	
三菱グランディス	松本300 と 4483	連絡用務	81.0	6	6.5	0	9.0	無	

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　29　年　5　月分 [自　1　日 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

調査職員　　印　　作成者氏名　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4483	連絡用務	416.0	23	25.5	0	46.2	無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	1,034.0	26	66.5	56572	85.5	有	修理・部品代
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	598.0	25	71.5	0	49.8	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	548.0	27	67.5	1660	21.9	有	パーキングロック
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	847.0	25	88.5	0	28.7	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	84.0	10	6.0	0	2.8	無	

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　29　年　6　月分 [自　1　日 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

調査職員　　印　　作成者氏名　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4483	連絡用務	656.0	22	34.0	2,000	72.9	有	タイヤ交換
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	937.0	26	54.5	2,000	77.4	有	タイヤ交換
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	541.0	27	67.0	2,000	45.1	有	タイヤ交換
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	697.0	24	67.5	0	27.9	無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	556.0	15	51.5	0	18.8	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	0.0	0	0.0	4,500	0.0	有	ﾊﾞﾝｸ・ﾅﾝﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ修理

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　29　年　7　月分 [自　1　日 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

調査職員　　印　　作成者氏名　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4483	連絡用務	412.0	18	21.5	0	45.8	無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	836.0	29	52.0	0	69.1	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	662.0	28	64.0	0	55.2	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	336.0	16	36.5	24,680	13.4	有	タイヤ交換外
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	1,122.0	29	123.5	51,390	38.0	有	バッテリー・タイヤ交換外
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	60.0	5	4.0	0	2.0	無	

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　29　年　8　月分 [自　1　日 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

調査職員　　印　　作成者氏名　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4483	連絡用務	298.0	20	16.5	0	33.1	無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	933.0	30	49.5	0	77.1	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	499.0	30	49.5	0	41.6	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	237.0	11	26.0	0	9.5	無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	1,322.0	30	138.0	0	44.8	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	181.0	9	6.5	0	5.9	無	

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　29　年　9　月分 [自　1　日 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

調査職員　　印　　作成者氏名　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4483	連絡用務	318.0	17	18.0	0	35.3	無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	757.0	26	53.3	0	62.6	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	519.0	26	57.5	0	43.3	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	776.0	25	84.5	55,100	31.0	有	バッテリー交換外
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	555.0	18	62.9	15,300	18.8	有	タイヤ交換外
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	89.0	6	5.5	5,700	2.9	有	チューブ交換

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　29　年　10　月分 [自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

調査職員　　印　　作成者氏名　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4483	連絡用務	693.0	17	24.5	0	77.0	無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	848.0	30	54.3	0	70.1	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	535.0	27	40.0	0	44.6	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	426.0	12	53.0	0	17.0	無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	268.0	11	33.5	10,000	9.1	有	タイヤ修理
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	402.0	14	52.5	0	13.2	無	

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　29　年　11　月分 [自　1　日 / 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

調査職員　　印　　作成者氏名　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4483	連絡用務	580.0	24	27.5	0	64.4	無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	144.0	9	12.0	0	11.9	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	371.0	26	36.0	0	30.9	無	11/10返納
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	625.0	25	83.0	43,315	25.0	有	ｴﾝｼﾞﾝ始動不良外修繕
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	468.0	18	64.5	8,650	15.9	有	ヒューズ配線修理外修繕
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	402.0	0	0.0	0	13.2	無	
ﾀﾞｲﾊﾂﾊｲｾﾞｯﾄ	松本480 せ 9089	連絡用務	307.0	15	30.0	0	16.7	無	11/10貸与

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　29　年　12　月分 [自　1　日 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

調査職員　　印　　作成者氏名　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4483	連絡用務	698.0	24	32.5	2,000	78.0	有	タイヤ交換
ﾀﾞｲﾊﾂﾊｲｾﾞｯﾄ	松本480 せ 9089	連絡用務	637.0	28	34.5	2,000	35.0	有	タイヤ交換
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	571.0	26	59.5	2,000	48.0	有	タイヤ交換
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	490.0	27	67.0	14,000	20.0	有	タイヤ交換
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	645.0	28	76.0	29,330	22.0	有	タイヤ交換外修繕
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	402.0	0	0.0	0	0.0	無	

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　30　年　1　月分 [自　1　日 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

調査職員　　印　　作成者氏名　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4483	連絡用務	794.0	24	44.0	0	88.2	無	
ﾀﾞｲﾊﾂﾊｲｾﾞｯﾄ	松本480 せ 9089	連絡用務	397.0	19	38.0	0	21.6	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	293.0	23	33.5	0	24.4	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	201.0	19	45.0	0	8.0	無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	572.0	23	79.0	0	19.4	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	116.0	4	19.0	0	3.8	無	

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　30　年　2　月分 [自　1　日 至　28　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

調査職員　　印　　作成者氏名　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4483	連絡用務	428.0	24	31.0	0	47.6	無	
ﾀﾞｲﾊﾂﾊｲｾﾞｯﾄ	松本480 せ 9089	連絡用務	474.0	19	29.5	0	25.8	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	455.0	20	28.0	0	37.9	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	471.0	24	68.0	19,630	18.8	有	ﾊﾟﾈﾙｻﾌﾞ ﾌﾛﾝﾄﾌﾞﾚｰｷ交
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	444.0	20	69.3	3,500	15.1	有	ﾊﾞｯﾃﾘｰ充電
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	0.0	0	0.0	0	0.0	無	

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　30　年　3　月分 [自　1　日 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

調査職員　　印　　作成者氏名　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4483	連絡用務	1,103.0	26	44.0	0	122.6	無	
ﾀﾞｲﾊﾂﾊｲｾﾞｯﾄ	松本480 せ 9089	連絡用務	714.0	26	66.0	0	38.8	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	588.0	25	56.0	0	49.0	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	823.0	27	105.0	0	32.9	無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	241.0	11	37.0	20,800	8.2	有	ﾀｲﾔ交換
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	31.0	3	2.0	0	1.0	無	

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　30　年　4　月分 [自　1　日 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

調査職員　　印　　作成者氏名　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4483	連絡用務	859.0	26	53.8	0	95.4	無	
ﾀﾞｲﾊﾂﾊｲｾﾞｯﾄ	松本480 せ 9089	連絡用務	867.0	28	83.0	0	47.1	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	777.0	28	87.0	0	64.8	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	739.0	24	88.5	0	29.6	無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	401.0	13	48.0	0	13.6	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	43.0	2	5.0	0	1.4	無	

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　30　年　5　月分 [自　1　日 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

調査職員　　印　　作成者氏名　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4483	連絡用務	790.0	27	51.5	2,000	87.8	有	ﾀｲﾔ交換
ﾀﾞｲﾊﾂﾊｲｾﾞｯﾄ	松本480 せ 9089	連絡用務	628.0	26	53.5	2,000	34.1	有	ﾀｲﾔ交換
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	786.0	30	83.0	2,000	65.5	有	ﾀｲﾔ交換
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	585.0	27	67.0	14,500	23.4	有	ﾀｲﾔ交換外
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	781.0	25	87.0	17,444	26.5	有	ﾀｲﾔ交換外
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	101.0	4	4.5	0	3.3	無	

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　30　年　6　月分 [自　1　日 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

調査職員　　印　　作成者氏名　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4483	連絡用務	549.0	25	33.8	0	61.0	無	
ﾀﾞｲﾊﾂﾊｲｾﾞｯﾄ	松本480 せ 9089	連絡用務	795.0	26	54.5	0	43.2	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	689.0	27	56.8	0	57.4	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	542.0	26	60.5	0	21.7	無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	817.0	26	105.5	1,500	27.7	有	エンジンオイル交換
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	95.0	5	5.0	0	3.1	無	

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　30　年　7　月分 [自　1　日 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

調査職員　　印　　作成者氏名　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4483	連絡用務	700.0	27	47.5	0	77.8	無	
ﾀﾞｲﾊﾂﾊｲｾﾞｯﾄ	松本480 せ 9089	連絡用務	524.0	27	51.5	0	28.5	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	965.0	31	70.5	0	80.4	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	518.0	23	61.0	0	20.7	無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	803.0	24	114.5	0	27.2	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	151.0	14	17.5	0	5.0	無	

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　30　年　8　月分 [自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

調査職員　　印　　作成者氏名　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4483	連絡用務	643.0	31	40.5	0	71.4	無	
ﾀﾞｲﾊﾂﾊｲｾﾞｯﾄ	松本480 せ 9089	連絡用務	563.0	25	39.0	0	30.6	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	474.0	31	66.0	0	39.5	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	678.0	30	78.0	10,580	27.1	有	ﾌﾛﾝﾄﾀｲﾔ交換
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	889.0	27	105.5	0	30.1	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	130.0	15	16.0	0	4.3	無	

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　30　年　9　月分 [自　1　日 / 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

調査職員　　印　　作成者氏名　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4483	連絡用務	491.0	26	34.5	0	54.6	無	
ﾀﾞｲﾊﾂﾊｲｾﾞｯﾄ	松本480 せ 9089	連絡用務	481.0	26	45.5	0	26.1	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	672.0	30	73.5	0	56.0	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	539.0	25	63.0	0	21.6	無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	778.0	24	87.0	14,714	26.4	有	ｴﾝｼﾞﾝｵｲﾙ ｼｬﾌﾄ修理他
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	100.0	12	8.5	0	3.3	無	

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　28　年　4　月分 [自　1　日 / 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

作成者氏名　　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
三菱グランディス	松本300 と 4483	連絡用務	792.0	18	29.5	0	88.0	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	714.0	22	44.0	0	59.5	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	78.0	18	9.5	0	3.1	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	526.0	25	37.5	0	17.2	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	91.0	13	11.5	0	3.0	無	

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　28　年　5　月分 [自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

作成者氏名　　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
三菱グランディス	松本300 と 4483	連絡用務	479.0	16	21.5	0	53.2	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	661.0	25	41.5	0	55.1	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	618.0	27	43.0	0	24.7	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	165.0	16	36.0	0	5.4	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	46.0	17	8.5	0	1.5	無	

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　28　年　6　月分 [自　1　日 / 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

作成者氏名　　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4483	連絡用務	581.0	19	30.0	0	64.6	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	731.0	24	38.0	0	60.9	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	568.0	24	46.0	0	22.7	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	306.0	23	23.0	0	10.0	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	246.0	17	18.5	0	8.0	無	

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　28　年　7　月分 [自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

作成者氏名　　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4483	連絡用務	661.0	18	29.5	0	73.4	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	758.0	25	41.5	0	63.2	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	460.0	21	37.5	0	18.4	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	353.0	24	30.0	0	11.6	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	371.0	19	24.0	0	12.1	無	

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　28　年　8　月分 [自　1　日 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

作成者氏名　　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4483	連絡用務	468.0	15	16.0	0	52.0	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	986.0	28	59.5	0	82.2	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	426.0	18	30.5	0	17.0	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	542.0	28	29.0	0	17.8	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	533.0	24	34.0	0	17.4	無	

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　28　年　9　月分 [自　1　日 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

作成者氏名　　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4483	連絡用務	792.0	13	25.0	0	88.0	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	715.0	20	39.5	0	59.6	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	388.0	20	28.0	34020	15.5	有	ﾌﾗｸﾞ交換、ｴﾝｼﾞﾝｵｲﾙ交
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	234.0	15	16.0	0	7.7	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	403.0	18	24.0	0	13.1	無	

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　28　年　10　月分 [自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

作成者氏名　　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4483	連絡用務	537.0	14	24.5	0	59.7	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	659.0	21	46.0	0	54.9	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	360.0	21	28.0	0	14.4	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	198.0	11	13.5	0	6.5	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	363.0	17	21.0	0	11.8	無	

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　28　年　11　月分 [自　1　日 / 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

作成者氏名　　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4483	連絡用務	605.0	18	20.0	0	67.2	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	605.0	17	31.5	0	50.4	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	316.0	22	21.5	0	12.6	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	91.0	19	14.5	0	3.0	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	364.0	22	24.5	0	11.9	無	

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　28　年　12　月分 [自　1　日 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

作成者氏名　　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4483	連絡用務	519.0	15	21.0	0	57.7	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	640.0	22	38.5	13,889	53.3	有	タイヤ購入外
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	373.0	20	23.0	0	14.9	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	36.0	10	10.0	0	1.2	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	400.0	21	27.0	0	13.0	無	

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　29　年　1　月分 [自　1　日 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

作成者氏名　　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4483	連絡用務	456.0	9	20.0	0	50.7	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	757.0	25	48.5	0	63.1	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	145.0	21	15.0	39950	5.8	有	タイヤ交換・オイル交換
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	11.0	4	2.5	21100	0.4	有	タイヤ交換・オイル交換
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	137.0	9	9.5	19600	4.5	有	タイヤ交換

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　29　年　2　月分 [自　1　日 至　28　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

作成者氏名　　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4483	連絡用務	395.0	13	17.0	0	43.9	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	568.0	23	45.5	0	47.3	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	66.0	20	11.5	0	2.6	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	0.0	0	0.0	0	0.0	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	0.0	0	0.0	3000	0.0	有	点検

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　29　年　3　月分 [自　1　日 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

作成者氏名　　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4483	連絡用務	967.0	14	21.0	0	107.0	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	665.0	24	46.0	1,075	55.4	有	ワイパーゴム
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	123.0	20	13.0	0	4.9	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	37.0	5	5.0	0	1.2	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	0.0	0	0.0	0	0.0	無	

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　29　年　4　月分 [自　1　日 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

作成者氏名　　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4483	連絡用務	602.0	11	23.0	0	66.9	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	529.0	20	33.0	0	44.1	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	242.0	21	20.5	0	49.2	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	111.0	10	21.0	0	3.6	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	182.0	12	15.0	0	5.9	無	

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　29　年　5　月分 [自　1　日 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

作成者氏名　　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	728.0	17	30.5	0	80.9	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	608.0	21	34.0	0	50.7	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	344.0	22	26.5	0	13.8	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	148.0	9	19.0	0	4.9	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	391.0	20	28.5	0	12.7	無	

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　29　年　6　月分 [自　1　日 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

作成者氏名　　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	624.0	14	31.5	0		無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	782.0	24	45.0	0		無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	379.0	20	27.5	0		無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	51.0	9	5.0	0		無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	376.0	20	29.5	0		無	

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　29　年　7　月分 [自　1　日 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

作成者氏名　　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	684.0	15	29.5	0	76.0	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	727.0	24	48.0	0	60.6	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	424.0	21	32.0	26,185	17.0	有	エレメントクリーナー・エンジンオイル外
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	409.0	20	33.0	15,970	13.4	有	エレメントクリーナー・エンジンオイル外
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	459.0	22	32.5	0	15.0	無	

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　29　年　8　月分 [自　1　日 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

作成者氏名　　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	946.0	15	30.5	0	105.1	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	641.0	24	39.5	0	53.4	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	501.0	23	37.0	0	20.0	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	427.0	21	24.5	5,160	14.0	有	修繕
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	408.0	20	32.0	0	13.3	無	

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　29　年　9　月分 [自　1　日 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

作成者氏名　　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	494.0	17	26.0	41,667	54.9	有	点検修理
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	710.0	24	48.0	0	59.2	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	310.0	18	24.0	0	12.4	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	226.0	18	20.5	0	7.4	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	50.0	4	5.5	0	1.6	無	

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　29　年　10　月分 [自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

作成者氏名　　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	1,205.0	17	45.5	0	133.9	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	878.0	23	47.5	0	73.2	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	290.0	20	25.0	0	11.6	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	177.0	13	17.5	0	5.8	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	38.0	3	2.5	0	1.2	無	

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　29　年　11　月分 [自　1　日 / 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

作成者氏名　　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	1,144.0	16	35.5	0	127.1	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	758.0	24	63.0	0	63.2	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	317.0	19	26.0	0	12.7	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	35.0	4	4.5	0	1.1	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	24.0	2	2.5	0	0.8	無	
ﾀﾞｲﾊﾂﾊｲｾﾞｯﾄ	松本480 せ 9090	連絡用務	601.0	17	43.5	0	32.7	無	11/10貸与

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　29　年　12　月分 [自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

作成者氏名　　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	918.0	20	36.5	0	102.0	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	827.0	26	67.0	18,167	68.9	有	タイヤ交換・パンク修理
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	234.0	22	21.0	0	9.4	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	3.0	1	1.0	0	0.1	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	11.0	1	1.5	0	0.4	無	
ﾀﾞｲﾊﾂﾊｲｾﾞｯﾄ	松本480 せ 9090	連絡用務	883.0	24	46.5	0	48.0	無	

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　30　年　1　月分 [自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

作成者氏名　　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	706.0	13	32.0	40,556	78.4	有	ｽﾀｯﾄﾞﾚｽﾀｲﾔ購入交換
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	727.0	25	45.5	0	60.6	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	113.0	17	12.0	0	4.5	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	0.0	0	0.0	0	0.0	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	1.0	1	0.5	0	0.0	無	
ﾀﾞｲﾊﾂﾊｲｾﾞｯﾄ	松本480 せ 9090	連絡用務	368.0	21	43.0	0	20.0	無	

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　30　年　2　月分 [自　1　日 至　28　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

作成者氏名　　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	323.0	8	12.0	0	35.9	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	517.0	19	45.5	0	43.1	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	80.0	18	12.0	0	3.2	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	0.0	0	0.0	0	0.0	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	0.0	0	0.0	0	0.0	無	
ﾀﾞｲﾊﾂﾊｲｾﾞｯﾄ	松本480 せ 9090	連絡用務	473.0	14	20.5	0	25.7	無	

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　30　年　3　月分 [自　1　日 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

作成者氏名　　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	563.0	11	22.5	0	62.6	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	885.0	26	61.0	0	73.8	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	141.0	20	16.5	0	5.6	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	12.0	1	1.5	0	0.4	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	38.0	3	4.5	0	1.2	無	
ﾀﾞｲﾊﾂﾊｲｾﾞｯﾄ	松本480 せ 9090	連絡用務	566.0	24	46.5	0	30.8	無	

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　30　年　4　月分 [自　1　日 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

作成者氏名　　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	523.0	12	0.4	0	58.1	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	698.0	24	0.7	0	58.2	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	263.0	18	0.4	14,780	10.5	有	整備点検
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	131.0	10	0.2	0	4.3	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	351.0	22	0.6	0	11.4	無	
ﾀﾞｲﾊﾂﾊｲｾﾞｯﾄ	松本480 せ 9090	連絡用務	1,014.0	28	1.4	0	55.1	無	

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　30　年　5　月分 [自　1　日 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

作成者氏名　　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	1,196.0	13	34.0	0	132.9	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	807.0	28	55.5	0	67.3	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	356.0	22	28.0	0	14.2	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	196.0	9	15.5	0	6.4	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	281.0	18	28.0	0	9.2	無	
ﾀﾞｲﾊﾂﾊｲｾﾞｯﾄ	松本480 せ 9090	連絡用務	813.0	26	64.0	0	44.2	無	

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　30　年　6　月分 [自　1　日 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

作成者氏名　　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	414.0	12	17.5	0	46.0	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	716.0	26	64.0	0	59.7	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	329.0	21	27.5	0	13.2	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	183.0	9	11.0	14,580	6.0	有	整備点検
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	367.0	21	37.0	10,980	12.0	有	整備点検
ﾀﾞｲﾊﾂﾊｲｾﾞｯﾄ	松本480 せ 9090	連絡用務	875.0	27	63.5	0	47.6	無	

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　30　年　7　月分 [自　1　日 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

作成者氏名　　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	610.0	14	22.5	0	67.8	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	1,032.0	27	83.5	0	86.0	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	392.0	20	30.0	0	15.7	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	444.0	25	36.5	0	14.6	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	368.0	20	35.0	0	12.0	無	
ﾀﾞｲﾊﾂﾊｲｾﾞｯﾄ	松本480 せ 9090	連絡用務	1,026.0	29	89.0	0	55.8	無	

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　30　年　8　月分 [自　1　日 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

作成者氏名　　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	515.0	16	21.0	0	57.2	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	962.0	26	75.5	0	80.2	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	418.0	21	32.5	0	16.7	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	483.0	10	22.0	0	15.8	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	449.0	23	46.5	13,400	14.6	有	ﾀｲﾔ購入 ｻｲﾄﾞｽﾀﾝﾄﾞ交換
ﾀﾞｲﾊﾂﾊｲｾﾞｯﾄ	松本480 せ 9090	連絡用務	966.0	31	101.0	0	52.5	無	

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　30　年　9　月分 [自　1　日 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

作成者氏名　　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況 運転日数	稼動状況 運転時間	維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	151.0	7	7.5	0	16.8	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	643.0	24	42.5	15,000	53.6	有	ﾌﾛﾝﾄｶﾞﾗｽ修理
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	306.0	18	26.5	0	12.2	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	183.0	16	19.5	0	6.0	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	352.0	19	40.5	0	11.5	無	
ﾀﾞｲﾊﾂﾊｲｾﾞｯﾄ	松本480 せ 9090	連絡用務	999.0	28	82.0	0	54.3	無	

リース車両の使用状況

【 H28 】　スズキ エブリイ　1台

月	距離(km)	日数
4 月	1,389	27
5 月	573	24
6 月	734	26
7 月	768	30
8 月	1,445	30
9 月	865	28
10 月	664	26
11 月	1,227	26
12 月	766	27
1 月	401	26
2 月	445	24
3 月	835	27
計	10,112	321

【 H29 】　スズキ エブリイ　1台

月	距離（km）	日数
4月	748	26
5月	1,002	28
6月	746	26
7月	866	28
8月	1,006	31
9月	766	27
10月	932	27
11月	1,114	27
12月	948	29
1月	630	26
2月	873	24
3月	1,194	27
計	10,825	326

【 H30 】　スズキ エブリイ　1台　　9月末現在

月	距離（km）	日数
4月	993	28
5月	1,103	30
6月	771	21
7月	1,069	30
8月	1,166	31
9月	937	28
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		
計	6,039	168

別紙－28

危機管理対応実績・報告①＜事故対応等＞

【 H28 】

［堀金・穂高地区］ 5件

	事故	事件	病気（急性症状）	病気（既往症悪化）	車両事故	その他	計
4月							0
5月							0
6月			1				1
7月	1						1
8月							0
9月					1		1
10月							0
11月							0
12月	1						1
1月							0
2月							0
3月					1		1
計	2	0	1	0	2	0	5

［大町・松川地区］ 2件

	事故	事件	病気（急性症状）	病気（既往症悪化）	車両事故	その他	計
4月							0
5月	1						1
6月							0
7月	1						1
8月							0
9月							0
10月							0
11月							0
12月							0
1月							0
2月							0
3月							0
計	2	0	0	0	0	0	2

【 H29 】

[堀金・穂高地区]　3件

	事故	事件	病気 (急性症状)	病気 (既往症悪化)	車両事故	その他	計
4月	1						1
5月							0
6月							0
7月	1						1
8月							0
9月							0
10月							0
11月	1						1
12月							0
1月							0
2月							0
3月							0
計	3	0	0	0	0	0	3

[大町・松川地区]　3件

	事故	事件	病気 (急性症状)	病気 (既往症悪化)	車両事故	その他	計
4月							0
5月							0
6月							0
7月							0
8月							0
9月							0
10月	1						1
11月							0
12月	1						1
1月	1						1
2月							0
3月							0
計	3	0	0	0	0	0	3

【 H30 】8月末時点

[堀金・穂高地区]　2件

	事故	事件	病気 (急性症状)	病気 (既往症悪化)	車両事故	その他	計
4月							0
5月	1				1		2
6月							0
7月							0
8月							0
9月							0
10月							0
11月							0
12月							0
1月							0
2月							0
3月							0
計	1	0	0	0	1	0	2

[大町・松川地区]　1件

	事故	事件	病気 (急性症状)	病気 (既往症悪化)	車両事故	その他	計
4月							0
5月							0
6月							0
7月			1				1
8月							0
9月							0
10月							0
11月							0
12月							0
1月							0
2月							0
3月							0
計	0	0	1	0	0	0	1

園内事故報告一覧（H28年度）

●事故

発生日時	分類	種類	被害の程度	発生場所	被害者の属性		
					分類	年齢	性別
平成28年5月21日（土）	事故	負傷	左手首骨折の疑い	大町・松川地区 林間アスレチック	お客様	6	男
平成28年7月2日（土）	事故	負傷	左背中の打撲	堀金・穂高地区 段々原っぱ北側ハンモック広場	お客様	35	男
平成28年7月23日（土）	事故	負傷	右肩脱臼の疑い	大町・松川地区 スポーツと遊びの森エリア ボタリングコース	お客様	58	女
平成28年12月10日（土）	事故	負傷	右手首の骨折	展望テラス 2階デッキ部	お客様	24	女

●車両事故

発生日時	分類	種類	被害の程度	発生場所	被害者の属性		
					分類	年齢	性別
平成28年9月14日（水）	車両事故	施設等破損	車両同士の接触	安曇野市堀川烏川 市道	-	-	-
平成29年3月2日（木）	車両事故	施設等破損	車両同士の接触	安曇野市堀金烏川 市道	-	-	-

●事件

発生日時	分類	種類	被害の程度	発生場所	被害者の属性		
					分類	年齢	性別

●病気（急性症状）

発生日時	分類	種類	被害の程度	発生場所	被害者の属性		
					分類	年齢	性別
平成28年6月18日（土）	病気（急性症状）	発症	熱中症の疑い	堀金・穂高地区 堀金口ゲート	お客様	65	男

●その他

発生日時	分類	種類	被害の程度	発生場所	被害者の属性		
					分類	年齢	性別

園内事故報告一覧（H29年度）

●事故

発生日時	分類	種類	被害の程度	発生場所	被害者の属性		
					分類	年齢	性別
平成29年4月16日（日）	事故	負傷	額部の骨にひび	堀金・穂高地区 竜の広場	お客様	7	男
平成29年7月7日（金）	事故	負傷	右ひじの骨折	堀金・穂高地区 野原	お客様	8	女
平成29年10月1日（日）	事故	負傷	右足首骨折の疑い	大町・松川地区 MTBｴﾘｱ	お客様	75	男
平成29年11月26日（日）	事故	負傷	右足首の骨折	堀金・穂高地区 マシュマロドーム	お客様	12	女
平成29年12月14日（木）	事故	負傷	額の打撲	大町・松川地区 林間レクリエーションゾーン内 アルプス大草原	お客様	55	男
平成30年1月28日（日）	事故	負傷	額に擦過傷	大町・松川地区 駐車場	お客様	2	女

●車両事故

発生日時	分類	種類	被害の程度	発生場所	被害者の属性		
					分類	年齢	性別

●事件

発生日時	分類	種類	被害の程度	発生場所	被害者の属性		
					分類	年齢	性別

●病気（急性症状）

発生日時	分類	種類	被害の程度	発生場所	被害者の属性		
					分類	年齢	性別

●その他

発生日時	分類	種類	被害の程度	発生場所	被害者の属性		
					分類	年齢	性別

園内事故報告一覧（H30年度）

H30年9月末

●事故

発生日時	分類	種類	被害の程度	発生場所	被害者の属性		
					分類	年齢	性別
平成30年5月6日（日）	事故	負傷	肋骨4本骨折、肺損傷	堀金・穂高地区 里山文化ゾーン　岩原口付近	お客様	71	男

●車両事故

発生日時	分類	種類	被害の程度	発生場所	被害者の属性		
					分類	年齢	性別
平成30年5月30日（水）	車両事故	施設等破損	車両同士の接触	安曇野市堀金烏川 県道	-	-	-

●事件

発生日時	分類	種類	被害の程度	発生場所	被害者の属性		
					分類	年齢	性別

●病気（急性症状）

発生日時	分類	種類	被害の程度	発生場所	被害者の属性		
					分類	年齢	性別
平成30年7月22日（日）	病気（急性症状）	発症	熱中症の疑い	大町・松川地区 休憩棟レストラン内キッズスペース	お客様	1	男

●その他

発生日時	分類	種類	被害の程度	発生場所	被害者の属性		
					分類	年齢	性別

別紙－29

危機管理対応実績・報告②＜自然災害＞

【H28】

［堀金・穂高地区］

災害発生日時	災害種別	地震震度	災害件名	入園/利用規制	施設の営業時間の変更等の概要
8 月 2 日	落雷		落雷による電気系統の基盤の故障	無	無

［大町・松川地区］

災害発生日時	災害種別	地震震度	災害件名	入園/利用規制	施設の営業時間の変更等の概要
4 月 18 日	倒木		倒木によるフェンス損傷	無	無
7 月 31 日	倒木		倒木によるフェンス損傷	無	無
10 月 6 日	倒木		倒木による電線切断	無	無

【H29】

［堀金・穂高地区］

災害発生日時	災害種別	地震震度	災害件名	入園/利用規制	施設の営業時間の変更等の概要
3 月 1 日	倒木		倒木によるフェンス損傷	無	無
3 月 22 日	降雪		松の木の枝折れ	無	無
3 月 22 日	倒木		倒木によるメッシュフェンス及び電気柵の破損	無	無

［大町・松川地区］

災害発生日時	災害種別	地震震度	災害件名	入園/利用規制	施設の営業時間の変更等の概要
6 月 16 日	倒木		倒木によるフェンス損傷	無	無
3 月 1 日	倒木		倒木によるフェンス損傷	無	無

【H30】9 月末現在

［堀金・穂高地区］

実績なし

［大町・松川地区］

実績なし

別紙－30

危機管理対応実績・報告③＜野生動物＞

［堀金・穂高地区］

	H28	H29	H30
4月	1	－	－
5月	－	－	－
6月	－	－	1
7月	－	－	－
8月	－	－	5
9月	－	－	－
10月	－	－	－
11月	－	－	－
12月	－	－	－
1月	－	－	－
2月	－	－	－
3月	－	－	－
計	1	－	－

［大町・松川地区］

	H28	H29	H30
4月	－	－	－
5月	－	－	－
6月	1	－	5
7月	－	－	6
8月	－	－	5
9月	－	－	1
10月	－	－	－
11月	－	－	－
12月	－	－	－
1月	－	－	－
2月	－	－	－
3月	－	－	－
計	1	－	－

野生動物対応報告一覧（H28年度）

対応発生年月日	概要	
	対応箇所	対応状況
平成28年4月10日	堀金・穂高地区 須砂渡口付近	親子連れが須砂渡口付近でサルに遭遇。悲鳴を聞いて駆け付けた職員が追い払いを実施。
平成28年6月7日	大町・松川地区 森の体験舎東方面	草刈り作業中の業者より、クマの目撃情報が入り、職員により個体確認（体長約1m程）、追い出しを実施。

野生動物対応報告一覧（H29年度）

対応発生年月日	概要	
	対応箇所	対応状況
		報告なし

野生動物対応報告一覧（H30年度）

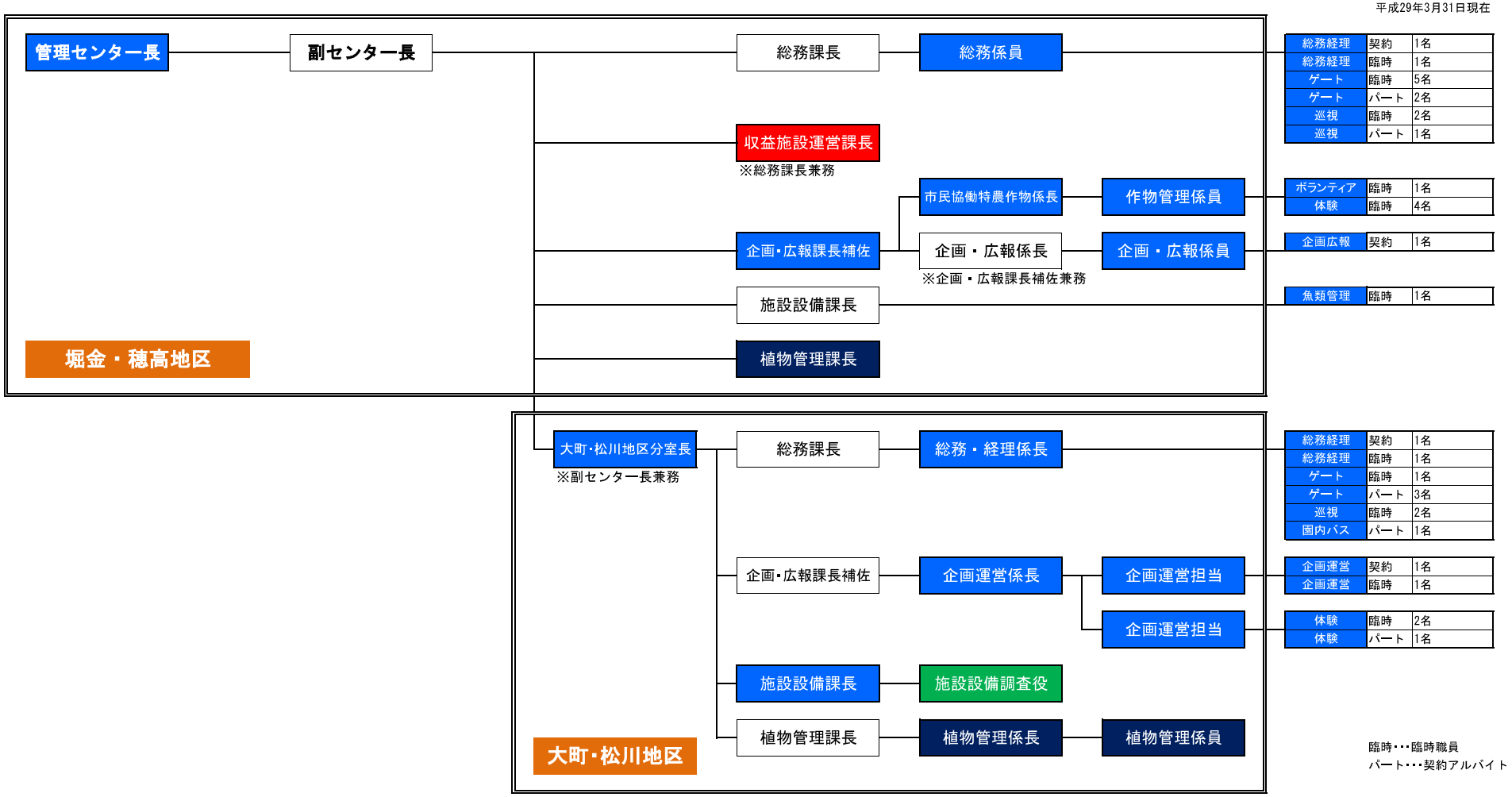
平成30年9月末現在

対応発生年月日	概要	
	対応箇所	対応状況
平成30年6月8日	大町・松川地区 外周道路北側保全ゾーン	テレビ局カメラマンが小クマを目撃。保全ゾーンでの目撃であったため、閉園なし。 大町・松川地区は警戒期間に移行して管理体制を強化。 捕獲檻設置を指示し、6/14に保全ｿﾞｰﾝ内に3箇所設置。
平成30年6月10日	大町・松川地区 MTBエリア内	来園者（小6女子）がクマと思われる動物を目撃。来園者の避難誘導を行い、MTBエリアを閉園。 管理ｾﾝﾀｰ職員による現地捜査では発見できず。 調査会社による進入経路、痕跡等現地調査、ｾﾝｻｰｶﾒﾗの設置(10台）を実施。 調査結果を受け、管理ｾﾝﾀｰによる外周柵下側の金網設置、樹木の伐採を実施。
平成30年6月11日	堀金・穂高地区 岩原口付近	ｼﾙﾊﾞｰ人材ｾﾝﾀｰ職員が目撃。 公園は休園日であったため、現地確認、調査を行い、管理体制を強化（警戒期間に移行）。
平成30年6月17日	大町・松川地区 MTBエリア内	ＭＴＢスタッフが目撃。管理ｾﾝﾀｰ職員による追い出しを実施したがｻｻ藪に逃げ込んだため追い出しを断念。 6/18に調査会社が捕獲檻を4箇所設置。 ﾎﾟﾀﾘﾝｸﾞｺｰｽ、管理園路沿いの刈り込み、電気柵沿いの追加伐採を実施。
平成30年6月21日	大町・松川地区 MTBエリア内	小クマを捕獲（6/22放獣）。 捕獲檻を閉鎖、ｾﾝｻｰｶﾒﾗは継続設置。3日間MTBエリアを閉園。
平成30年6月29日	大町・松川地区 MTBエリア内	調査会社がｾﾝｻｰｶﾒﾗの画像確認により確認。 MTBエリアを閉園。侵入経路の確認、HP・入口へMTBﾊﾟｰｸ閉園の表示を実施。 調査会社が捕獲檻の設定、現地調査を実施。
平成30年7月26日	大町・松川地区 渓流ﾚｸ横溝堰付近	ｸﾏｼｽﾃﾑ＆ｼｽﾃﾑﾒｰﾙにて確認。渓流ﾋﾟｸﾆｯｸ広場周辺ｴﾘｱを規制し、来園者の規制をｹﾞｰﾄで案内。 渓流ﾚｸ沿いの電気柵門扉の施錠、来園者誘導、巡視の強化を実施。 河畔広場（ｽﾌﾟﾗｯｼｭﾘﾊﾞｰ）への通路誘導、警備の強化を実施。
平成30年7月27日	大町・松川地区 渓流ﾚｸ大洞堰堤下付近	ｸﾏｼｽﾃﾑ＆ｼｽﾃﾑﾒｰﾙにて確認。渓流ﾚｸｿﾞｰﾝ全体を規制。 下流へのクマ追い払い、電気柵門扉の全面施錠、来園者への規制案内を実施。
	大町・松川地区 渓流ﾚｸ渓流ﾋﾟｸﾆｯｸ広場付近へ移動	追い払いの際に管理ｾﾝﾀｰ職員が目撃。 河畔広場（ｽﾌﾟﾗｯｼｭﾘﾊﾞｰ）のみ解放、渓流ﾋﾟｸﾆｯｸ広場は安全のため終日閉園。 電気柵門扉（A,Cのみ解放）、その他の門扉は施錠を実施。 来園者への規制案内、ｽﾌﾟﾗｯｼｭﾘﾊﾞｰへの通路誘導、警備の強化を実施。
平成30年7月28日	大町・松川地区 渓流ﾚｸ大洞堰堤下付近	ｼｽﾃﾑﾒｰﾙ（ｸﾏｼｽﾃﾑでは反応無し）にて確認。 河畔広場（ｽﾌﾟﾗｯｼｭﾘﾊﾞｰ）のみ解放、渓流ﾋﾟｸﾆｯｸ広場は安全のため終日閉園。 電気柵門扉（A,Cのみ解放）、その他の門扉は施錠、来園者への規制案内を実施。 ｽﾌﾟﾗｯｼｭﾘﾊﾞｰへの通路誘導、警備の強化を実施。
	大町・松川地区 彩りの森	ｸﾏｼｽﾃﾑで彩りの森への侵入を確認。 来園者を森の体験舎、大草原の家に誘導し、室外に出ないよう誘導、大草原の家から南側を規制。 電気柵門扉を解放し、職員による追い出しを実施。 GPSの発信を60分から5分間隔に変更。
	大町・松川地区 保全ｿﾞｰﾝ	ｸﾏｼｽﾃﾑで保全ゾーンへの移動を確認。 河畔広場（ｽﾌﾟﾗｯｼｭﾘﾊﾞｰ）のみ解放、渓流ﾋﾟｸﾆｯｸ広場は安全のため終日閉園。 電気柵門扉を施錠（A,Cのみ解放、その他の門扉は施錠）。 来園者への規制案内、ｽﾌﾟﾗｯｼｭﾘﾊﾞｰへの通路誘導、警備の強化を実施。
平成30年7月29日	大町・松川地区 基地局３（大草原）	ｼｽﾃﾑﾒｰﾙにて確認（ｸﾏｼｽﾃﾑでは反応無し）。 河畔広場（ｽﾌﾟﾗｯｼｭﾘﾊﾞｰ）のみ解放、渓流ﾋﾟｸﾆｯｸ広場は安全のため終日閉園。 電気柵門扉（A,Cのみ解放）、その他の門扉は施錠。 来園者への規制案内、ｽﾌﾟﾗｯｼｭﾘﾊﾞｰへの通路誘導、警備の強化を実施。
平成30年7月30日	大町・松川地区 基地局3（大草原）	ｼｽﾃﾑﾒｰﾙ（ｸﾏｼｽﾃﾑでは反応無し）にて確認。 河畔広場（ｽﾌﾟﾗｯｼｭﾘﾊﾞｰ）のみ解放、渓流ﾋﾟｸﾆｯｸ広場は安全のため終日閉園。 電気柵門扉（A,Cのみ解放）、その他の門扉は施錠。 来園者への規制案内、ｽﾌﾟﾗｯｼｭﾘﾊﾞｰへの通路誘導、警備の強化を実施。
平成30年7月31日	大町・松川地区 基地局２（駐車場）	ｼｽﾃﾑﾒｰﾙにて確認（ｸﾏｼｽﾃﾑでは座標値のみ）。 河畔広場（ｽﾌﾟﾗｯｼｭﾘﾊﾞｰ）のみ解放、渓流ﾋﾟｸﾆｯｸ広場は安全のため終日閉園。 電気柵門扉（A,Cのみ解放）、その他の門扉は施錠。 来園者への規制案内、ｽﾌﾟﾗｯｼｭﾘﾊﾞｰへの通路誘導、警備の強化を実施。
平成30年8月1日	大町・松川地区 基地局３（大草原）	ｼｽﾃﾑﾒｰﾙ、ｼｽﾃﾑ位置情報により確認。 8/1～ｸﾏ目撃情報により渓流ﾋﾟｸﾆｯｸ広場を閉園とＨＰに掲載（8/7より開園）。 ｸﾏｼｽﾃﾑにより重点確認を行う。
	大町・松川地区 基地局３（大草原）	ｼｽﾃﾑ位置情報により確認。 大草原の家から南側を規制。来園者を森の体験舎、大草原の家に誘導し、室外に出ないよう誘導。 電気柵門扉Ｅを開放し、職員による追い出しを実施（彩りの森ではクマ目視できず、乳川対岸河畔探勝エリアへ移動をＧＰＳで確認）。ｸﾏｼｽﾃﾑにより重点確認を実施。
平成30年8月2日	大町・松川地区 基地局１（公園入口）	ｼｽﾃﾑ位置情報により確認。ｸﾏｼｽﾃﾑによる重点確認を実施。 園外の乳川下流への移動を確認。
平成30年8月5日	堀金・穂高地区 烏川吊橋下流右岸	来園者が目撃。河川区域内であったため、巡視強化により規制は行わなかった。 巡視の強化、職員現地確認、爆竹による追い払いの実施。
平成30年8月6日	堀金・穂高地区 烏川吊橋上流左岸ﾄﾞｯｸﾞﾗﾝ付近	来園者が目撃。河川区域内であったため、巡視強化により規制は行わなかった。 巡視の強化（1時間毎）、職員現地確認、爆竹による追い払いの実施。
平成30年8月7日	堀金・穂高地区 烏川渓流連絡橋下流付近	巡視員が目撃。河川区域内であったため、巡視強化により規制は行わなかった。 巡視の強化（1時間毎）、職員現地確認、爆竹による追い払いの実施。
平成30年8月10日	堀金・穂高地区 竜の広場付近	巡視員が目撃。追い払いの間、左岸側への部分規制を実施。竜の広場から上流側へ追い払いを実施。 巡視の強化（2時間毎）、職員現地確認、爆竹による追い払いの実施。
平成30年8月11日	堀金・穂高地区 竜の広場付近	巡視員が目撃。石切り跡の小道を閉園。捕獲檻を2箇所設置。 8/11よりｸﾏ目撃情報により、石切り跡の小道を閉園とHPに掲載（8/21より開園）。
平成30年8月17日	大町・松川地区 渓流レクゾーン	センター職員が目撃。渓流ﾋﾟｸﾆｯｸ広場を閉園。巡視の強化を実施。 8/17より、ｸﾏ目撃情報により渓流ﾋﾟｸﾆｯｸ広場を閉園とHPに掲載（8/20より渓流ﾋﾟｸﾆｯｸ広場開園）。
平成30年8月19日	大町・松川地区 MTBエリア内	来園者が目撃。公園入口、MT.入口にクマ目撃情報により閉園と表示。 利用者がいるため、監視員をｽｷﾙｱｯﾌﾟｴﾘｱに配置しｽｷﾙｱｯﾌﾟｴﾘｱのみを解放。 巡視、施設点検を実施。
平成30年8月20日	大町・松川地区 MTBエリア内	センター職員が目撃。8/20より、ｸﾏ目撃情報によりMTｴﾘｱを閉園とHPに掲載。 調査会社よる現地調査(8/21)、捕獲檻を４箇所設置。門扉鍵穴及び排水管の隙間を塞ぐ。 8/22に捕獲、8/23に放獣。8/24よりMTBｴﾘｱ開園、8/23よりMTBｴﾘｱの開園を公表。
平成30年9月3日	大町・松川地区 MTBエリア内	調査会社がｾﾝｻｰｶﾒﾗの画像確認により確認。職員による現地確認、爆竹による追い払いの実施。 ｸﾏｼｽﾃﾑにより重点確認。 管理ｾﾝﾀｰで監視ｶﾒﾗﾃﾞｰﾀ回収実施したがクマは確認できなかった。（9/5、9/7、9/8、9/13、9/16）

職員・臨時職員・アルバイト等の園内配置

H28 アルプスあづみの公園管理センター　組織図

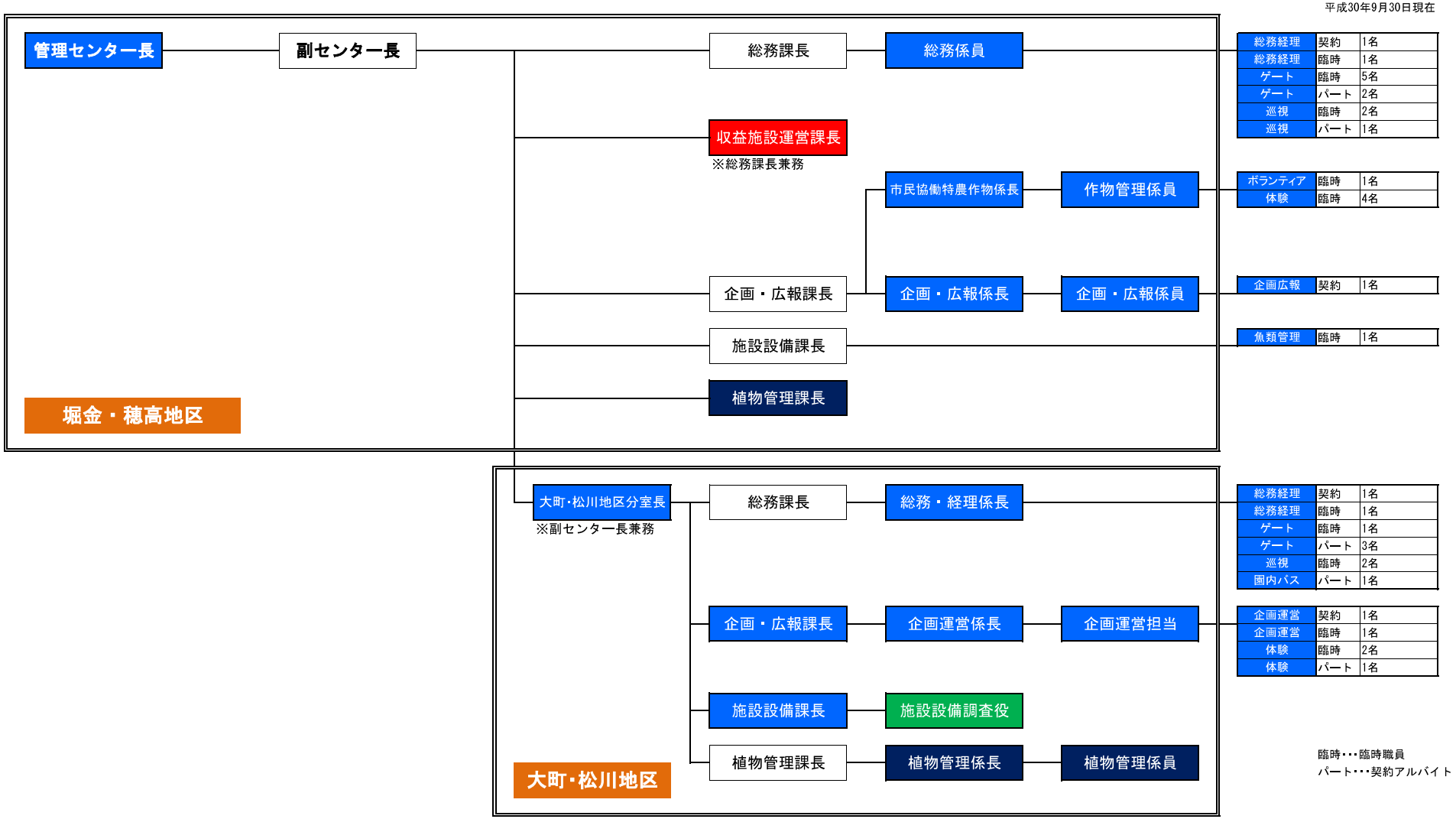
平成29年3月31日現在



別紙P322

H29･H30 アルプスあづみの公園管理センター　組織図

平成30年9月30日現在



別紙P323

統括責任者による外部会議への出席

【 H28 】

管理センター長が関わる会議など

名称	実施日	内容	会費
(1) 定例会	毎月第2水曜日	国、管理センターの連絡会議	
(2) 国営アルプスあづみの公園連絡協議会	8月2日	国、長野県地方事務所、安曇野市、大町市、松川村の関係機関相互の連絡会議	
(3) パークコミュニティー会議	6月2日 2月27日	国、長野県安曇野事務所、安曇野市、市、安曇野市観光協会等地域振興を目的とした連絡会議	
(4) 長野県観光機構総会	6月20日	長野県観光協会主催の会議	
(5) 安曇野市観光協会総会	5月24日	安曇野市観光協会主催の会議	
(6) 各種協議会 早春賦音楽祭実行委員会	4月28日 7月7日 12月19日 2月2日 3月7日	国、周辺自治体と実行員会を背吊して行う、イベント、観光推進等の会議	
(7) 里山探検ウォーキング実行委員会	3月8日 8月4日 12月8日	国、周辺自治体と実行員会を背吊して行う、イベント、観光推進等の会議	
(8) 北アルプスフェスタ実行委員会	6月3日 9月23日 12月8日	国、周辺自治体と実行員会を背吊して行う、イベント、観光推進等の会議	
(9) アートライン協議会	5月18日	国、周辺自治体と実行員会を背吊して行う、イベント、観光推進等の会議	
(10) 日本アルプス観光連盟等	4月28日	国、周辺自治体と実行員会を背吊して行う、イベント、観光推進等の会議	
(11) アルプスあづみのセンチュリーライド実行委員会	5月12日 7月12日	県内自転車関係団体と実行員会を背吊して行う、イベント、観光推進等の会議	
(12) 信州薪能実行委員会	6月1日 7月28日 11月22日	安曇野市、地元各種団体を背吊して行う、イベントの会議	

【 H29 】

管理センター長が関わる会議など

名称	実施日	内容	会費
(13) 定例会	毎月第 2 水曜日	国、管理センターの連絡会議	
(14) 国営アルプスあづみの公園連絡協議会	8 月 28 日	国、長野県地方事務所、安曇野市、大町市、松川村の関係機関相互の連絡会議	
(15) パークコミュニティー会議	6 月 27 日 2 月 27 日	国、長野県安曇野事務所、安曇野市、市、安曇野市観光協会等地域振興を目的とした連絡会議	
(16) 長野県観光機構総会	6 月 23 日	長野県観光協会主催の会議	
(17) 安曇野市観光協会総会	5 月 30 日	安曇野市観光協会主催の会議	
(18) 各種協議会 早春賦音楽祭実行委員会	4 月 27 日 7 月 4 日 12 月 1 日 1 月 23 日 3 月 1 日	国、周辺自治体と実行員会を背吊して行う、イベント、観光推進等の会議	
(19) 里山探検ウォーキング実行委員会	8 月 1 日 12 月 14 日 3 月 15 日	国、周辺自治体と実行員会を背吊して行う、イベント、観光推進等の会議	
(20) 北アルプスフェスタ実行委員会	6 月 27 日 9 月 26 日 12 月 14 日	国、周辺自治体と実行員会を背吊して行う、イベント、観光推進等の会議	
(21) アートライン協議会	5 月 19 日	国、周辺自治体と実行員会を背吊して行う、イベント、観光推進等の会議	
(22) 日本アルプス観光連盟等	4 月 28 日	国、周辺自治体と実行員会を背吊して行う、イベント、観光推進等の会議	
(23) アルプスあづみのセンチュリーライド実行委員会	5 月 8 日 6 月 6 日 11 月 10 日 3 月 22 日	県内自転車関係団体と実行員会を背吊して行う、イベント、観光推進等の会議	
(24) 信州薪能実行委員会	4 月 19 日 6 月 8 日 8 月 3 日 2 月 28 日	安曇野市、地元各種団体を背吊して行う、イベントの会議	

【 H30 】

管理センター長が関わる会議など

名称	実施日	内容	会費
(25)定例会	毎月第2水曜日	国、管理センターの連絡会議	
(26)国営アルプスあづみの公園連絡協議会	年１回 （未定）	国、長野県地方事務所、安曇野市、大町市、松川村の関係機関相互の連絡会議	
(27)パークコミュニティー会議	6月25日 （以降未定）	国、長野県安曇野事務所、安曇野市、市、安曇野市観光協会等地域振興を目的とした連絡会議	
(28)長野県観光機構総会	5月8日	長野県観光協会主催の会議	
(29)安曇野市観光協会総会	5月30日	安曇野市観光協会主催の会議	
(30)各種協議会 早春賦音楽祭実行委員会	4月20日 7月4日 （以降未定）	国、周辺自治体と実行員会を背吊して行う、イベント、観光推進等の会議	
(31)里山探検ウォーキング実行委員会	7月25日 （以降未定）	国、周辺自治体と実行員会を背吊して行う、イベント、観光推進等の会議	
(32)北アルプスフェスタ実行委員会	5月24日 9月21日 （以降未定）	国、周辺自治体と実行員会を背吊して行う、イベント、観光推進等の会議	
(33)アートライン協議会	5月23日	国、周辺自治体と実行員会を背吊して行う、イベント、観光推進等の会議	
(34)日本アルプス観光連盟等	5月1日	国、周辺自治体と実行員会を背吊して行う、イベント、観光推進等の会議	
(35)アルプスあづみのセンチュリーライド実行委員会	5月10日 6月20日 10月3日	県内自転車関係団体と実行員会を背吊して行う、イベント、観光推進等の会議	
(36)信州薪能実行委員会	4月25日 6月6日 8月2日	安曇野市、地元各種団体を背吊して行う、イベントの会議	

別紙ー33

苦情、要望等対応処理

【H28】

【堀金・穂高地区】

期間	件数
4月	11 件
5月	17 件
6月	13 件
7月	15 件
8月	38 件
9月	8 件
10月	3 件
11月	14 件
12月	31 件
1月	11 件
2月	3 件
3月	3 件
合計	167 件

【大町・松川地区】

期間	件数
4月	9 件
5月	14 件
6月	4 件
7月	12 件
8月	34 件
9月	9 件
10月	11 件
11月	7 件
12月	13 件
1月	8 件
2月	5 件
3月	7 件
合計	133 件

【H29】

【堀金・穂高地区】

期間	件数
4月	11 件
5月	15 件
6月	4 件
7月	11 件
8月	24 件
9月	18 件
10月	10 件
11月	37 件
12月	32 件
1月	23 件
2月	5 件
3月	11 件
合計	201 件

【大町・松川地区】

期間	件数
4月	6 件
5月	16 件
6月	9 件
7月	18 件
8月	25 件
9月	10 件
10月	7 件
11月	16 件
12月	11 件
1月	4 件
2月	3 件
3月	12 件
合計	137 件

【H30】　9月末時点

【堀金・穂高地区】

期間	件数
4月	15 件
5月	15 件
6月	9 件
7月	18 件
8月	44 件
9月	8 件
10月	件
11月	件
12月	件
1月	件
2月	件
3月	件
合計	109 件

【大町・松川地区】

期間	件数
4月	11 件
5月	6 件
6月	11 件
7月	4 件
8月	11 件
9月	1 件
10月	件
11月	件
12月	件
1月	件
2月	件
3月	件
合計	44 件

平成28年度 ご意見集計表（4月分） 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理	2				2					0	2	0	0	0	2	2	0	0	0	2
施設管理					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
清掃					0		2			2	0	2	0	0	2	0	2	0	0	2
行催事					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スタッフ					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用サービス					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収益施設	1				1					0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1
運営管理	2		6		8		3	3		6	2	3	9	0	14	2	3	9	0	14
その他					0		1			1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1
計	5	0	6	0	11	0	6	3	0	9	5	6	9	0	20	5	6	9	0	20

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P328

平成28年度 ご意見集計表(5月分) 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理	2	1			3					0	2	1	0	0	3	4	1	0	0	5
施設管理					0	2				2	2	0	0	0	2	2	0	0	0	2
清掃					0	1				1	1	0	0	0	1	1	2	0	0	3
行催事					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スタッフ			1		1					0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1
利用サービス					0	1				1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1
収益施設					0					0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
運営管理	3	1	7		11	3	2	3		8	6	3	10	0	19	8	6	19	0	33
その他				2	2	1		1		2	1	0	1	2	4	1	1	1	2	5
計	5	2	8	2	17	8	2	4	0	14	13	4	12	2	31	18	10	5	2	51

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P329

平成28年度 ご意見集計表(6月分) 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理			1		1					0	0	0	1	0	1	4	1	1	0	6
施設管理	1		1		2	1				1	2	0	1	0	3	4	0	1	0	5
清掃					0					0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	3
行催事			1		1					0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1
スタッフ					0					0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
利用サービス					0					0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
収益施設		1	1		2					0	0	1	1	0	2	1	1	1	0	3
運営管理	1		4		5	2				2	3	0	4	0	7	11	6	23	0	40
その他	1			1	2	1				1	2	0	0	1	3	3	1	1	3	8
計	3	1	8	1	13	4	0	0	0	4	7	1	8	1	17	25	11	29	3	68

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P330

平成28年度 ご意見集計表(7月分) 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理					0					0	0	0	0	0	0	4	1	1	0	6
施設管理			2		2	2				2	2	0	2	0	4	6	0	3	0	9
清掃		2			2					0	0	2	0	0	2	1	4	0	0	5
行催事		1			1					0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	2
スタッフ		1	1		2					0	0	1	1	0	2	0	1	2	0	3
利用サービス					0					0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
収益施設					0	1	1	1		3	1	1	1	0	3	2	2	2	0	6
運営管理	2		6		8	1	3	3		7	3	3	9	0	15	14	9	32	0	55
その他					0					0	0	0	0	0	0	3	1	1	3	8
計	2	4	9	0	15	4	4	4	0	12	6	8	13	0	27	31	19	42	3	95

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P331

平成28年度 ご意見集計表(8月分) 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理	1				1					0	1	0	0	0	1	5	1	1	0	7
施設管理			1		1	3		1		4	3	0	2	0	5	9	0	5	0	14
清掃					0					0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	5
行催事	2		9		11	2				2	4	0	9	0	13	4	1	10	0	15
スタッフ		2			2		1	2		3	0	3	2	0	5	0	4	4	0	8
利用サービス					0					0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
収益施設					0		4			4	0	4	0	0	4	2	6	2	0	10
運営管理	3	4	10		17	10		9	1	20	13	4	19	1	37	27	13	51	1	92
その他	4	1		1	6				1	1	4	1	0	2	7	7	2	1	5	15
計	10	7	20	1	38	15	5	12	2	34	25	12	32	3	72	56	31	74	6	167

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

平成28年度 ご意見集計表(9月分) 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理		1			1					0	0	1	0	0	1	5	2	1	0	8
施設管理					0	1				1	1	0	0	0	1	10	0	5	0	15
清掃					0	1				1	1	0	0	0	1	2	4	0	0	6
行催事			1		1					0	0	0	1	0	1	4	1	11	0	16
スタッフ					0					0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	8
利用サービス					0					0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
収益施設					0	3		1		4	3	0	1	0	4	5	6	3	0	14
運営管理			3		3	1		2		3	1	0	5	0	6	28	13	56	1	98
その他	2	1			3					0	2	1	0	0	3	9	3	1	5	18
計	2	2	4	0	8	6	0	3	0	9	8	2	7	0	17	64	33	81	6	184

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P333

平成28年度 ご意見集計表（10月分） 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理					0	1				1	1	0	0	0	1	6	2	1	0	9
施設管理					0	1				1	1	0	0	0	1	11	0	5	0	16
清掃					0					0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	6
行催事			1		1					0	0	0	1	0	1	4	1	12	0	17
スタッフ					0			1		1	0	0	1	0	1	0	4	5	0	9
利用サービス					0					0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
収益施設	1				1		1			1	1	1	0	0	2	6	7	3	0	16
運営管理	1				1		2	4		6	1	2	4	0	7	29	15	60	1	105
その他					0			1		1	0	0	1	0	1	9	3	2	5	19
計	2	0	1	0	3	2	3	6	0	11	4	3	7	0	14	68	36	88	6	198

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P334

平成28年度 ご意見集計表（11月分） 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理					0					0	0	0	0	0	0	6	2	1	0	9
施設管理	2				2	2				2	4	0	0	0	4	15	0	5	0	20
清掃					0					0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	6
行催事		2	9		11					0	0	2	9	0	11	4	3	19	0	26
スタッフ					0					0	0	0	0	0	0	0	4	5	0	9
利用サービス					0	1				1	1	0	0	0	1	2	0	0	0	2
収益施設					0	1				1	1	0	0	0	1	7	7	3	0	17
運営管理					0	2				2	2	0	0	0	2	31	15	62	1	109
その他				1	1		1			1	0	1	0	1	2	9	4	2	6	21
計	2	2	9	1	14	6	1	0	0	7	8	3	9	1	21	76	39	97	7	219

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

平成28年度 ご意見集計表（12月分） 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理	1				1					0	1	0	0	0	1	7	2	1	0	10
施設管理	1	1	1		3	1		1		2	2	1	2	0	5	17	2	7	0	26
清掃					0					0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	6
行催事	3	2	15		20	1		1		2	4	2	16	0	22	7	6	35	0	48
スタッフ		1			1			1		1	0	1	1	0	2	0	5	6	0	11
利用サービス					0					0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
収益施設					0	1				1	1	0	0	0	1	8	7	3	0	18
運営管理	1	2	3		6	3		4		7	4	2	7	0	13	35	17	69	1	122
その他					0					0	0	0	0	0	0	9	4	2	6	21
計	6	6	19	0	31	6	0	7	0	13	12	6	26	0	44	87	47	123	7	264

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P336

平成28年度 ご意見集計表(1月分) 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理					0					0	0	0	0	0	0	7	2	1	0	10
施設管理					0	1				1	1	0	0	0	1	17	1	8	0	26
清掃					0					0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	6
行催事		1	6		7	1		1		2	1	1	7	0	9	8	7	42	0	57
スタッフ					0					0	0	0	0	0	0	0	5	6	0	11
利用サービス					0					0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
収益施設		1			1			1		1	0	1	1	0	2	8	8	4	0	20
運営管理	1		1		2	1	1	1		3	2	1	2	0	5	37	18	71	1	127
その他	1				1				1	1	1	0	0	1	2	10	4	3	6	23
計	2	2	7	0	11	3	1	3	1	8	5	3	10	1	19	91	49	135	7	282

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P337

平成28年度 ご意見集計表(2月分) 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理					0					0	0	0	0	0	0	7	2	1	0	10
施設管理					0					0	0	0	0	0	0	17	1	8	0	26
清掃					0					0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	6
行催事					0					0	0	0	0	0	0	8	7	42	0	57
スタッフ					0		1			1	0	1	0	0	1	0	6	6	0	12
利用サービス					0					0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
収益施設					0			2		2	0	0	2	0	2	8	8	6	0	22
運営管理			1		1	1		1		2	1	0	2	0	3	38	18	73	1	130
その他		1	1		2					0	0	1	1	0	2	10	5	4	6	25
計	0	1	2	0	3	1	1	3	0	5	1	2	5	0	8	92	51	140	7	290

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P338

平成28年度 ご意見集計表（3月分） 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理					0					0	0	0	0	0	0	7	2	1	0	10
施設管理	1				1	1				1	2	0	0	0	2	19	1	8	0	28
清掃					0					0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	6
行催事					0					0	0	0	0	0	0	8	7	42	0	57
スタッフ					0					0	0	0	0	0	0	0	6	6	0	12
利用サービス					0					0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
収益施設					0			3		3	0	0	3	0	3	8	8	9	0	25
運営管理	2				2	3				3	5	0	0	0	5	43	18	73	1	135
その他					0					0	0	0	0	0	0	10	5	4	6	25
計	3	0	0	0	3	4	0	3	0	7	7	0	3	0	10	99	51	143	7	300

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P339

平成29年度 ご意見集計表(4月分) 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設管理			1		1			1		1	0	0	2	0	2	0	0	2	0	2
清掃					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
行催事					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スタッフ		1			1		1	1		2	0	2	1	0	3	0	2	1	0	3
利用サービス					0	1				1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1
収益施設	1				1		1			1	1	1	0	0	2	1	1	0	0	2
運営管理	1		3		4	1				1	2	0	3	0	5	2	0	3	0	5
その他	2			2	4					0	2	0	0	2	4	2	0	0	2	4
計	4	1	4	2	11	2	2	2	0	6	6	3	6	2	17	6	3	6	2	17

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P340

平成29年度 ご意見集計表(5月分) 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理			1		1					0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1
施設管理					0	3				3	3	0	0	0	3	3	0	2	0	5
清掃					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
行催事	1	1			2			2		2	1	1	2	0	4	1	1	2	0	4
スタッフ					0			2		2	0	0	2	0	2	0	2	3	0	5
利用サービス					0	2				2	2	0	0	0	2	3	0	0	0	3
収益施設					0			1		1	0	0	1	0	1	1	1	1	0	3
運営管理	1	1	7		9	3		3		6	4	1	10	0	15	6	1	13	0	20
その他	3				3					0	3	0	0	0	3	5	0	0	2	7
計	5	2	8	0	15	8	0	8	0	16	13	2	16	0	31	19	5	22	2	48

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P341

平成29年度 ご意見集計表(6月分) 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理	2				2					0	2	0	0	0	2	2	0	1	0	3
施設管理					0	1				1	1	0	0	0	1	4	0	2	0	6
清掃					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
行催事	1				1			1		1	1	0	1	0	2	2	1	3	0	6
スタッフ					0					0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	5
利用サービス					0	4				4	4	0	0	0	4	7	0	0	0	7
収益施設					0	1				1	1	0	0	0	1	2	1	1	0	4
運営管理			1		1	2				2	2	0	1	0	3	8	1	14	0	23
その他					0					0	0	0	0	0	0	5	0	0	2	7
計	3	0	1	0	4	8	0	1	0	9	11	0	2	0	13	30	5	24	2	61

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P342

平成29年度 ご意見集計表(7月分) 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理	1		1		2	1				1	2	0	1	0	3	4	0	2	0	6
施設管理	1		1		2	2			1	3	3	0	1	1	5	7	0	3	1	11
清掃					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
行催事	2		1		3	1				1	3	0	1	0	4	5	1	4	0	10
スタッフ		1			1			1		1	0	1	1	0	2	0	3	4	0	7
利用サービス					0					0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	7
収益施設	1				1	2	1			3	3	1	0	0	4	5	2	1	0	8
運営管理	1				1	3		5		8	4	0	5	0	9	12	1	19	0	32
その他				1	1	1				1	1	0	0	1	2	6	0	0	3	9
計	6	1	3	1	11	10	1	6	1	18	16	2	9	2	29	46	7	33	4	90

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P343

平成29年度 ご意見集計表(8月分) 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理	1	1	1		3					0	1	1	1	0	3	5	1	3	0	9
施設管理					0	4	1			5	4	1	0	0	5	11	1	3	1	16
清掃					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
行催事	1	1	5		7	1		1	1	3	2	1	6	1	10	7	2	10	1	20
スタッフ					0	1				1	1	0	0	0	1	1	3	4	0	8
利用サービス					0	2	2			4	2	2	0	0	4	9	2	0	0	11
収益施設		1			1	1	1	1		3	1	2	1	0	4	6	4	2	0	12
運営管理	2		10		12	1		5		6	3	0	15	0	18	15	1	34	0	50
その他		1			1	1	1		1	3	1	2	0	1	4	7	2	0	4	13
計	4	4	16	0	24	11	5	7	2	25	15	9	23	2	49	61	16	56	6	139

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P344

平成29年度 ご意見集計表(9月分) 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理		1			1					0	0	1	0	0	1	5	2	3	0	10
施設管理	3				3	1				1	4	0	0	0	4	15	1	3	1	20
清掃		1			1					0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1
行催事	2	2	1		5			1		1	2	2	2	0	6	9	4	12	1	26
スタッフ					0		1			1	0	1	0	0	1	1	4	4	0	9
利用サービス					0					0	0	0	0	0	0	9	2	0	0	11
収益施設					0	1				1	1	0	0	0	1	7	4	2	0	13
運営管理	3		5		8	1		3	1	5	4	0	8	1	13	19	1	42	1	63
その他					0			1		1	0	0	1	0	1	7	2	1	4	14
計	8	4	6	0	18	3	1	5	1	10	11	5	11	1	28	72	21	67	7	167

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P345

平成29年度 ご意見集計表(10月分) 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理		1		1	2					0	0	1	0	1	2	5	3	3	1	12
施設管理	1		1		2			1		1	1	0	2	0	3	16	1	5	1	23
清掃					0					0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
行催事					0			2		2	0	0	2	0	2	9	4	14	1	28
スタッフ		1			1					0	0	1	0	0	1	1	5	4	0	10
利用サービス					0	1				1	1	0	0	0	1	10	2	0	0	12
収益施設					0	1				1	1	0	0	0	1	8	4	2	0	14
運営管理		1	4		5			2		2	0	1	6	0	7	19	2	48	1	70
その他					0					0	0	0	0	0	0	7	2	1	4	14
計	1	3	5	1	10	2	0	5	0	7	3	3	10	1	17	75	24	77	8	184

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

平成29年度 ご意見集計表(11月分) 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理					0					0	0	0	0	0	0	5	3	3	1	12
施設管理	2				2					0	2	0	0	0	2	18	1	5	1	25
清掃		1			1					0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	2
行催事	1	1	17		19			4	1	5	1	1	21	1	24	10	5	35	2	52
スタッフ		3			3		2			2	0	5	0	0	5	1	10	4	0	15
利用サービス	4	1			5					0	4	1	0	0	5	14	3	0	0	17
収益施設					0	3			1	4	3	0	0	1	4	11	4	2	1	18
運営管理			3		3	2	1			3	2	1	3	0	6	21	3	51	1	76
その他	3	1			4	2				2	5	1	0	0	6	12	3	1	4	20
計	10	7	20	0	37	7	3	4	2	16	17	10	24	2	53	92	34	101	10	237

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

○夜間開園時の道路の案内看板の見えやすさ

平成29年度 ご意見集計表(12月分) 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理					0					0	0	0	0	0	0	5	3	3	1	12
施設管理					0	1				1	1	0	0	0	1	19	1	5	1	26
清掃		1			1					0	0	1	0	0	1	0	3	0	0	3
行催事	3	2	16	1	22	2		1		3	5	2	17	1	25	15	7	52	3	77
スタッフ			1		1					0	0	0	1	0	1	1	10	5	0	16
利用サービス	4	2	1		7	1				1	5	2	1	0	8	19	5	1	0	25
収益施設					0	3		1		4	3	0	1	0	4	14	4	3	1	22
運営管理					0		1	1		2	0	1	1	0	2	21	4	52	1	78
その他				1	1					0	0	0	0	1	1	12	3	1	5	21
計	7	5	18	2	32	7	1	3	0	11	14	6	21	2	43	106	40	122	12	280

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

平成29年度 ご意見集計表(1月分) 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理			2		2					0	0	0	2	0	2	5	3	5	1	14
施設管理		2	1		3	1		1		2	1	2	2	0	5	20	3	7	1	31
清掃					0					0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3
行催事	2	1	11		14					0	2	1	11	0	14	17	8	63	3	91
スタッフ					0					0	0	0	0	0	0	1	10	5	0	16
利用サービス	1	2			3					0	1	2	0	0	3	20	7	1	0	28
収益施設					0	1				1	1	0	0	0	1	15	4	3	1	23
運営管理					0		1			1	0	1	0	0	1	21	5	52	1	79
その他				1	1					0	0	0	0	1	1	12	3	1	6	22
計	3	5	14	1	23	2	1	1	0	4	5	6	15	1	27	111	46	137	13	307

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P349

平成29年度 ご意見集計表(2月分) 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理					0					0	0	0	0	0	0	5	3	5	1	14
施設管理		1			1					0	0	1	0	0	1	20	4	7	1	32
清掃					0		1			1	0	1	0	0	1	0	4	0	0	4
行催事					0					0	0	0	0	0	0	17	8	63	3	91
スタッフ			1		1					0	0	0	1	0	1	1	10	6	0	17
利用サービス	2				2	1				1	3	0	0	0	3	23	7	1	0	31
収益施設					0					0	0	0	0	0	0	15	4	3	1	23
運営管理	1				1	1				1	2	0	0	0	2	23	5	52	1	81
その他					0					0	0	0	0	0	0	12	3	1	6	22
計	3	1	1	0	5	2	1	0	0	3	5	2	1	0	8	116	48	138	13	315

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P350

平成29年度 ご意見集計表(3月分) 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理					0					0	0	0	0	0	0	5	3	5	1	14
施設管理	3				3	1				1	4	0	0	0	4	24	4	7	1	36
清掃					0		1			1	0	1	0	0	1	0	5	0	0	5
行催事					0	2				2	2	0	0	0	2	19	8	63	3	93
スタッフ					0					0	0	0	0	0	0	1	10	6	0	17
利用サービス	1		1		2	1				1	2	0	1	0	3	25	7	2	0	34
収益施設		1			1	1				1	1	1	0	0	2	16	5	3	1	25
運営管理	1		2		3	4		1		5	5	0	3	0	8	28	5	55	1	89
その他	1	1			2	1				1	2	1	0	0	3	14	4	1	6	25
計	6	2	3	0	11	10	1	1	0	12	16	3	4	0	23	132	51	142	13	338

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P351

平成30年度 ご意見集計表(4月分) 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理				1	1					0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1
施設管理				1	1	1				1	1	0	0	1	2	1	0	0	1	2
清掃					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
行催事		1	1		2	1		1		2	1	1	2	0	4	1	1	2	0	4
スタッフ			1		1					0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1
利用サービス	2	1			3					0	2	1	0	0	3	2	1	0	0	3
収益施設		1			1		1			1	0	2	0	0	2	0	2	0	0	2
運営管理	2		2		4	3		2		5	5	0	4	0	9	5	0	4	0	9
その他		2			2			2		2	0	2	2	0	4	0	2	2	0	4
計	4	5	4	2	15	5	1	5	0	11	9	6	9	2	26	9	6	9	2	26

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P352

平成30年度 ご意見集計表(5月分) 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
施設管理	2	2			4			1		1	2	2	1	0	5	3	2	1	1	7
清掃					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
行催事		2	1		3					0	0	2	1	0	3	1	3	3	0	7
スタッフ		1			1					0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	2
利用サービス	2	1	1		4	1				1	3	1	1	0	5	5	2	1	0	8
収益施設					0					0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
運営管理		1	1		2	3		1		4	3	1	2	0	6	8	1	6	0	15
その他	1				1					0	1	0	0	0	1	1	2	2	0	5
計	5	7	3	0	15	4	0	2	0	6	9	7	5	0	21	18	13	14	2	47

■その他

センター単独で対処困難なご意見など
・第2駐車場から里山文化ゾーンへの案内板(仮設ではなく常設)

平成30年度 ご意見集計表(6月分) 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理		1			1					0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	2
施設管理	1		1		2					0	1	0	1	0	2	4	2	2	1	9
清掃					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
行催事					0	3		2		5	3	0	2	0	5	4	3	5	0	12
スタッフ					0					0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
利用サービス		1			1	1				1	1	1	0	0	2	6	3	1	0	10
収益施設					0	2				2	2	0	0	0	2	2	2	0	0	4
運営管理	1	1	3		5	3				3	4	1	3	0	8	12	2	9	0	23
その他					0					0	0	0	0	0	0	1	2	2	0	5
計	2	3	4	0	9	9	0	2	0	11	11	3	6	0	20	29	16	20	2	67

■その他

センター単独で対処困難なご意見など
・

別紙P354

平成30年度 ご意見集計表(7月分) 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望・提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望・提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望・提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望・提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理					0					0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
施設管理	2				2					0	2	0	0	0	2	6	2	2	1	11
清掃					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
行催事	3		3		6					0	3	0	3	0	6	7	3	8	0	18
スタッフ		1			1					0	0	1	0	0	1	0	2	1	0	3
利用サービス	1				1					0	1	0	0	0	1	7	3	1	0	11
収益施設					0	1				1	1	0	0	0	1	3	2	0	0	5
運営管理	3		4		7	2		1		3	5	0	5	0	10	17	2	14	0	33
その他				1	1					0	0	0	0	1	1	1	2	2	1	6
計	9	1	7	1	18	3	0	1	0	4	12	1	8	1	22	41	17	28	3	89

■その他

センター単独で対処困難なご意見など
・

平成30年度 ご意見集計表(8月分) 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望・提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望・提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望・提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望・提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理	1		1		2					0	1	0	1	0	2	1	1	1	1	4
施設管理	3		1		4	1		1		2	4	0	2	0	6	10	2	4	1	17
清掃		1			1					0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1
行催事	9		7		16					0	9	0	7	0	16	16	3	15	0	34
スタッフ					0					0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	3
利用サービス	4	1	4		9	1				1	5	1	4	0	10	12	4	5	0	21
収益施設					0		2	1		3	0	2	1	0	3	3	4	1	0	8
運営管理	2		9		11	1		3		4	3	0	12	0	15	20	2	26	0	48
その他				1	1			1		1	0	0	1	1	2	1	2	3	2	8
計	19	2	22	1	44	3	2	6	0	11	22	4	28	1	55	63	21	56	4	144

■その他

センター単独で対処困難なご意見など
・

別紙P356

平成30年度 ご意見集計表(9月分) 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望・提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望・提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望・提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望・提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理	1				1					0	1	0	0	0	1	2	1	1	1	5
施設管理			1		1					0	0	0	1	0	1	10	2	5	1	18
清掃					0					0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
行催事		1			1					0	0	1	0	0	1	16	4	15	0	35
スタッフ					0					0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	3
利用サービス	2				2	1				1	3	0	0	0	3	15	4	5	0	24
収益施設					0					0	0	0	0	0	0	3	4	1	0	8
運営管理			3		3					0	0	0	3	0	3	20	2	29	0	51
その他					0					0	0	0	0	0	0	1	2	3	2	8
計	3	1	4	0	8	1	0	0	0	1	4	1	4	0	9	67	22	60	4	153

■その他

センター単独で対処困難なご意見など
・

別紙－34

紙媒体（種類、発行部数）

【H28】

種類	発行部数	備考
公園リーフレット	45,000	堀金・穂高地区
	45,000	大町・松川地区
	40,000	堀金・穂高地区園内マップA3
年間イベント	30,000	
スプリングフェスタ	180,000	
スプリングフェスタ（新聞折り込み）	371,130	
夏のアルプス大冒険	170,000	
秋チラシ	130,000	
北アルプスフェア	65,000	
北アルプスフェア（新聞折り込み）	220,000	
アウトドアパーク	269,500	
光の森のページェント	180,000	
光の森のページェント（新聞折り込み）	333,000	
冬チラシ	86,000	

【H29】

種類	発行部数	備考
公園リーフレット	30,000	堀金･穂高地区
	35,000	大町･松川地区
	30,000	堀金･穂高地区園内マップA3
年間イベント	12,000	
スプリングフェスタ	180,000	
スプリングフェスタ（新聞折り込み）	321,000	
6月イベント	40,000	
夏のアルプス大冒険	165,000	
秋チラシ	130,000	
北アルプスフェア	65,000	
北アルプスフェア（新聞折り込み）	220,000	
アウトドアパーク（新聞折り込み）	314,000	
光の森のページェント	180,000	
光の森のページェント（新聞折り込み）	315,000	
冬チラシ	85,000	
絵本の広場	40,000	

【H30】 9月末現在

種類	発行部数	備考
公園リーフレット	30,000	堀金･穂高地区
	40,000	大町･松川地区
	60,000	堀金･穂高地区園内マップA3
年間イベント	10,000	
スプリングフェスタ	160,000	
スプリングフェスタ（新聞折り込み）	285,000	
6月イベント	40,000	
夏のアルプス大冒険	160,000	
秋チラシ	160,000	
北アルプスフェア	0	秋チラシ･アウトドアパークに掲載
アウトドアパーク（新聞折り込み）	317,000	

記者投げ込み実績

【H28】

日付	内容	
	堀金・穂高地区	大町・松川地区
4 月 6 日	交通安全運動・桜餅づくり	アルプスあづみのカップ募集
4 月 13 日	スプリングフェスタ 2016	
4 月 20 日	チューリップ見頃	木子とまぼろしの村
4 月 27 日	農作業ミニカー・馬耕体験	みんなでつくろう！まつぼっくりの木子
5 月 11 日	松本山雅・チューリップ掘り取り	小鳥のクラフト
5 月 18 日	オオルリシジミ	河畔探勝先取りツアー
5 月 25 日	キッズプレイパーク	全園開園記念「アルプスあづみのカップ」
6 月 1 日	全園開園	キッズ MTB 教室
6 月 8 日	フワフワ遊具・ポン菓子	ポピー見頃です
6 月 15 日	ソバ畑見頃	空から眺めるあづみの公園
6 月 22 日	泥リンピック・森の遊び場	ハートの黒部ダムカレー
6 月 29 日	田んぼの教室	紙すき体験
7 月 6 日	ウォーターアドベンチャー＆デイキャンプ	シャワーピクニック
7 月 13 日	ニジマスつかみ取り＆泥リンピック	スプラッシュリバー
7 月 20 日	かかし作り＆おもしろ発見塾	キッズ MTB 教室
7 月 27 日	サマーイルミネーション	乳川がったぼうず体験
8 月 3 日	赤・白 300 万本のそば畑	ペットボトルロケット
8 月 10 日	穂高古墳発掘調査	リバージップライ
8 月 17 日	ぎっちょかご＆稲刈りとはぜ掛け	里山探検ウォーキング
8 月 24 日	白そば見頃です	河畔探勝ツアー
8 月 31 日	キッズラグビーパーク	フィッシングガーデン
9 月 7 日	乗馬体験・森カフェ	リレーマラソン参加者募集
9 月 14 日	コスモス見頃・デイキャンプ・ミニカー展示	ジャンプ＆スライド
9 月 21 日	アウトドアパーク	MTB ファンライドツアー
9 月 28 日	初開催！里山収穫祭	北アルプスフェア
10 月 5 日	コスモス摘み取り体験	ボルダリング
10 月 12 日	消防車両ミニカー展示＆さとやま発展講座	リフレッシュの森・ノルディックウォーキング
10 月 19 日	あづみの学校秋祭り&新米炊き出し体験	アルプスあづみのカップ
10 月 26 日	光の森のページェント　内覧会	
11 月 2 日	トロピカルクリスマス＆アートライン展	紅葉たたき染め
11 月 9 日	オープニングコンサート	釜飯＆箸づくり体験
11 月 16 日	Night ワークショップ	イルミネーション
11 月 25 日	プラネタリウム&星空観察会	ファミリーコンサート
11 月 30 日	大しめ縄づくり&木の実リースづくり	マジックショー
12 月 7 日	人形劇&ポン菓子の振る舞い	コンサート
12 月 14 日	カウントダウンイベント&イルミ開催期間延長	クリスマス・ステージ
12 月 21 日	インドアガーデン	お正月プログラム
12 月 28 日	新春特別展示	氷柱花ライトアップ
1 月 11 日	アイスチューリッププレゼント＆キッズプレイパーク	鍋敷きづくり
1 月 18 日	節分豆まき&やしょうまづくり	ファットバイク体験ツアー

日付	内容	
	堀金･穂高地区	大町･松川地区
1 月 18 日	公園ボランティア募集	
1 月 25 日	ナノハナの庭	バックカントリーそり
2 月 1 日	フォレストアドベンチャー＆ポップコーン振る舞い	アニマルトラッキング
2 月 8 日	三九郎&割り箸鉄砲&わら細工講座	アイスデイ
2 月 15 日	華やぎびなづくり＆ナノハナプレゼント	歩くスキー体験ツアー
2 月 22 日	絵本の広場＆消防車両ミニカー展示	ダッチオーブン体験
3 月 1 日	ちらし寿司作り&お雛様展示	野鳥観察会
3 月 8 日	おもしろ発見塾	米粉ピザ
3 月 15 日	焼き･オオルリシジミ保全&桜金魚展示	春休みイベント
3 月 22 日	働く車&交通安全ミニカー展示	あづみのカップ
3 月 29 日	桜餅づくり&わくわく自然観察会	山菜観察＆試食会

【H29】

日付	内容	
	堀金･穂高地区	大町･松川地区
4 月 5 日	さとやま楽校説明会	自転車安全スキル教室
4 月 12 日	Spring Festa 2017	木子と逆襲の盗賊団
4 月 19 日	ナノハナ健康ウォーキング･ウォーキングマップ配布･開花情報(桜･チューリップ･ナノハナ)	スカイダイバー
4 月 26 日	開花情報(チューリップ･ナノハナ)･こどもの日イベント(オオルリシジミ&ふれあい動物園)	スラックライン
5 月 2 日	ナノハナ見頃　お茶点て･馬耕･乗馬体験	空のポスト
5 月 10 日	キッズラグビーパーク･軽トラ市常念山麓ふれあいマルシェ	リフレッシュの森ウォーキング
5 月 17 日	松本山雅 FC サッカーパーク･農作業用車ミニカー展示	MTB キッズトライアルデイ
5 月 24 日	KIDS PLAY PARK	フラワーペンダント
5 月 31 日	リナリア見頃･カエル展	クラフトバザール
6 月 7 日	田んぼの教室･わくわく自然観察会	カラマツローズの指輪
6 月 14 日	農休み展示と振る舞い･お花ランチョンマット	フラワーボトル教室
6 月 21 日	七夕饅頭&人形づくり･七夕飾り･段ボール迷路	ヒンメリづくり
6 月 28 日	安曇野展･農作業体験	空の学校
7 月 5 日	夏のアルプス大冒険(WA･ニジマス)	モンスター募集
7 月 12 日	泥リンピック･生き物ふれあい体験	スプラッシュ･リバー
7 月 19 日	サンパチェンス見頃･おもしろ発見塾	アニマルトラッキング
7 月 26 日	信州旬菜御膳･田んぼの草刈り&やまこの羽化観察会	芸術祭ファイナルプログラム
8 月 2 日	サマーイルミネーション	リバージップライン
8 月 9 日	かかしコンテスト･森カフェ	おやきコンテスト
8 月 17 日	ウォーターアドベンチャー･昆虫写真展	アドベンチャーライド
8 月 23 日	白ソバ･ケイトウ見頃	ギッチョカゴづくり
8 月 30 日	音で感じる絵本の世界	フィッシングガーデン
9 月 6 日	秋コスモスの花フェスタ･コスモス(里山文化ゾーン)見頃	リレーマラソン
9 月 13 日	健康ウォーキング＆きのこもぎ取り体験	敬老の日布ぞうり
9 月 20 日	Outdoor Park1.2	北アルプスフェア
9 月 27 日	ふれあい動物園＆ちょうちょう観察会	ランニング･ウォーキング
10 月 4 日	500 万人達成	
10 月 4 日	秋の収穫祭＆コスモス見頃	チャレンジスポーツコーナー
10 月 11 日	ワンちゃんのしつけ教室＆パークヨガ	アルプスあづみのカップ
10 月 18 日	クマ講演会＆消防車両ミニカー展示	ファットバイク体験
10 月 25 日	あづみの学校　秋祭り	ハロウィン工作
11 月 1 日	光の森のページェント　内覧会	
11 月 8 日	イルミネーション点灯式･ニュースリーシャープスオーケストラ	イルミネーション点灯式
11 月 15 日	よつやほるもんライブ･音で感じる絵本の世界	レジンの宝石ストラップ
11 月 22 日	トロピカルクリスマス･光と花火のショー	お菓子の家づくり

日付	内容	
	堀金･穂高地区	大町･松川地区
11 月 29 日	あづみの国際音楽会･アートライン展	クリスマスリースづくり
12 月 6 日	ポインセチアツリー･プラネタリウム＆星空観察会	炭焼の達人
12 月 13 日	ペアでそば打ち･ポン菓子＆人形劇	正月飾り
12 月 20 日	年越しそば打ち･カウントダウンイベント	ミニ門松
12 月 27 日	アイスチューリップの庭･新春特別展示	干支のクラフト
1 月 10 日	キッズプレイパーク･凍り餅づくり	冬の公園で遊ぼう！
1 月 17 日	ハーバリウムづくり･安曇野物知り教室	ファットバイク試乗会
1 月 24 日	ナノハナの庭･昔の節分	アイスデイ
1 月 31 日	バレンタイン特別展示･消防車両ミニカー展示	アニマルトラッキング
2 月 7 日	早春の花･わりばし鉄砲作り･三九郎と繭玉焼き	スノーラン＆リレー
2 月 14 日	ナノハナプレゼント･小さなかごひな	レジンのキーホルダー
2 月 21 日	絵本の広場	カラフルわたあめ
2 月 28 日	ネコヤナギ見頃･ひな人形の展示･黒豆ちらし寿司作り	ダッチオーブン体験
3 月 7 日	音で感じる絵本の世界･やしょうま作り実演	野鳥観察会
3 月 14 日	野焼き体験･おもしろ発見塾	トレイルランニング
3 月 21 日	こまのサーカス･タンクローリー作り･野草を食べよう	あづみのカップ
3 月 28 日	人形芝居･桜金魚展示	キクザキイチゲ
3 月 28 日	入園料改訂	

【H30】 10 月中旬時点

日付	内容	
	堀金･穂高地区	大町･松川地区
4 月 4 日	Spring Festa 2018～チューリップ･ナノハナまつり～	スプリングフェスタ
4 月 11 日	愛犬イベント、チューリップ状況、フラワーバルーンショー	山菜観察＆試食会
4 月 18 日	開花情報(チューリップ･ナノハナ･カタクリ･オキナグサ)、お茶点て体験	スイセン花畑
4 月 25 日	180425 HH ふれあい動物園(無料入園日) オオルリシジミ、ナノハナイベント	気流岳 2018
5 月 2 日	ナノハナ メダカ ナノハナ御膳	木子と伝説の剣
5 月 9 日	球根掘り取り キッズサッカー ふれあいマルシェ	ファットバイク試乗会
5 月 16 日	やまこの教室 オオルリシジミ物語 働くクルマ	森の散策体験 (ツツジの花)
5 月 23 日	キッズプレイパーク	MTB スクール
5 月 30 日	カエル展 草餅づくり	あづみのクラフトマルシェ
6 月 6 日	お茶席 わくわく自然観察会	森のクラフトラリー
6 月 13 日	シャーレーポピー さとやまさんぽ	フラワーボトル教室
6 月 20 日	あづみの学校 歳時記イベント 農休み	アロマワックスバー
6 月 27 日	七夕イベント	リレーマラソン
7 月 4 日	泥リンピック ほか 夏イベント	2018 アカペラフェス in 信州
7 月 11 日	夏のアルプス大冒険	スプラッシュ･リバー
7 月 18 日	生きものふれあい教室ほか	アルプスの風車
7 月 25 日	サンパチェンス やまこ羽化観察会 面白発見塾	パークエンデューロ 2018
8 月 1 日	ヒマワリ ふれあいマルシェ	リバージップライン
8 月 8 日	サマーイルミネーション	アドベンチャーライド
8 月 22 日	ジニア ぎっちょかごづくり	フィッシングガーデン
8 月 29 日	子どもさかなつかみ取り大会 紅白餅ふるまい	気流部の家
9 月 5 日	コスモスの花フェスタ 穂高口花畑	スラックライン
9 月 12 日	きのこのもぎ取り体験 稲狩りはぜかけ ミニカー展示	森の健康ウォーキング
9 月 19 日	キバナコスモス アウトドアパーク1	コスモス花畑･北アルプスフェア
9 月 26 日	アウトドアパーク part2 ふれあい動物園 アルクマエア遊具	2018 アカペラフェス in 信州
10 月 3 日	愛犬イベント 収穫祭	北アルプスアースデイマルシェ
10 月 10 日	コスモス摘み取り 秋まつり	ファットバイク体験
10 月 17 日	ふれあいマルシェ さとやまさんぽ	

公園利用者に無償で貸与している物品一覧

■各入口所有数（H30 年 9 月末現在）

【 堀金・穂高 地区 】

（台）

入　　口	乳母車	シルバーカー	車椅子
ガイドセンター	23	7	16
穂高口ゲート	5	5	2
堀金口ゲート	2	0	2

※岩原口、須砂渡口にはなし

【 大町・松川 地区 】

（台）

入　　口	乳母車	シルバーカー	車椅子
インフォメーションセンター	25	10	15

巡視計画書

・国営アルプスあづみの公園　巡視計画書　堀金・穂高地区、大町・松川地区

国営アルプスあづみの公園

巡　視　計　画　書

堀　金　・　穂　高　地　区

大　町　・　松　川　地　区

【共通】

H28-31 国営アルプスあづみの公園運営管理業務

アルプスあづみの公園マネジメント共同体

2016 年 6 月

国営アルプスあづみの公園　巡視計画書

第１条　園内巡視の目的

H28-31 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務個別仕様書【本業務全体のマネジメント及び企画立案業務】第３編利用サービス等第３章園内巡視に基づき、公園利用者の安全利用の確保、公園利用者への利用サービス及び公園施設の点検確認を効果的かつ能率的に行うため、定期的に園内巡視を実施すること、また、災害事故等不慮の事態に備え、緊急の処置を取ることを目的とする。

第２条　園内巡視の体制及び要領

１．園内巡視は原則１日２名以上の体制とする。但し閑散日についてはこの限りではない。

２．巡視員は以下の要領で巡視業務を行う。

(1)通常巡視においては、主要巡視ルート(別紙１～４)により１日４回園内巡視を行う。なお、天候、利用状況、園内での作業、野生生物の発生状況等その他の状況に応じ、公園利用者の安全性確保を優先した園内巡視を行う。

(2)巡視員は、公園利用者に対して不快感を与えないよう常に親切丁寧な対応を行う。

(3)巡視員は、「セイフティーノート」を携帯し、日々の安全に関する情報を記録する。

(4)巡視員は、小規模な修理用具の他、「救急セット」や「セイフティーバッグ」を携帯し、公園利用者の応急手当や緊急対応、利用指導を行う。

(5)巡視員は、都市公園法第 11 条、第 12 条及び都市公園法施行令第 18 条、第 19 条並びに 国営アルプスあづみの公園行為の禁止等に関する取扱要領に定める違反行為、迷惑行為を発見した場合には適切な指導を行う。

第３条　緊急時の連絡体制

異常が発生した場合及び不測の事態が発生した場合の連絡体制は「緊急連絡網」(別紙６）のとおりとする。

第４条　巡視事項

１．通常巡視においては、次の事項について点検確認、利用指導及び作業を行う。

(1)公園の開園、閉園時における駐車場や建物、トイレ、休憩所等施設の解錠、施錠。

(2)園内における公園利用者及び車両への案内・誘導・整理及び利用指導。

(3)公園利用者の危険箇所への立入り及び危険な行為に対する制止及び安全指導。

(4)迷子、負傷者、病人等の発見又は連絡を受けた場合の緊急連絡体制に基づく速やかかつ適切な処置と報告。

(5)事件、事故又は災害等が発生した場合の適切な処置と報告。

(6)園内不審物の有無の確認。

(7)拾得物を発見した場合の速やかな報告及び拾得物預かり証の作成。

(8)植物、施設及び清掃状況等の点検及び異常発見時の報告。

①樹木、芝生、草花等の生育状況及び流水等の修景施設の異常の有無。

②園路、路側、側溝、法面、排水枡、橋梁、階段、建物その他構造物等の異常の有無。

③門扉、案内標識、ベンチ等休憩施設、便所、灰皿、水のみ場、遊具施設等の異常の有無。

④電気、放送、給排水設備等の異常の有無。

⑤清掃の状況。

⑥災害・事故・野生生物の発生等不測の事態発生の有無。

⑦蛇、蜂等公園利用者に危険性、不快感を与える動物の駆除

⑧遊具の異常の有無（別紙７、８の点検表による）

(9)緊急車両の誘導（救急車、消防車、パトカー等)。

(10)迷子や近隣の行方不明者等に関する警察からの協力要請があった場合、その要請に対応した園内巡視と報告及び関係者への連絡。

(11)公園内及び公園周辺における大型野生生物（クマ・サル）の生息状況の確認及び出没状況の把握（出没期の 7～9 月は重点的に実施)。

(12)公園内及び公園境界周辺における猛禽類の営巣状況の確認。

(13) 公園内におけるハチの巣の営巣状況の確認及び点検

（危機管理マニュアル内のハチ対応マニュアルに準じて実施）

２．繁忙日巡視においては、適切な人員配置を行い、公園利用者及び車両への案内・誘導・整理及び利用指導等の巡視を随時行う。

３．異常時巡視においては、園内で災害が発生した場合又はその恐れがある場合、大型野生生物の侵入情報があった場合は、次の事項について巡視を行う。

(1)園内の被害状況。

(2)利用障害等の状況。

(3)大型野生動物の動向。

４．囲障巡視は、（別紙 11）により公園外周柵の点検を、月１回以上、電気柵の点検を週 1 回以上行う。

第５条　巡視業務日報の記録

巡視員は巡視実施後、巡視の結果を毎日巡視業務日報（別紙９、10）に記録し、業務終了後すみやかに管理センター事務所に提出、報告するものとする。

第６条　調査職員等への報告

総括責任者は、前条により巡視時に異常が認められた場合は調査職員等に速やかに報告し、指示を受けるものとする。

第７条　その他（守秘義務等）

１．巡視員は、巡視計画書及び国営アルプスあづみの公園堀金・穂高地区及び大町・松川地区における運営状況及びその他事項について、第３者（機関・退職者を含む）に他言することを禁止する。

２．巡視員は、巡視業務では指示系統を遵守し、相談なく逸脱した行為及び指導を禁止する。

３．巡視員は、入園中の請負業者に対する直接指導を禁止する（管理センター事務所に連絡すること)。

園内巡視順路【堀金・穂高地区】

園内巡視A（通常巡視）

園内巡視B（通常巡視：建物内重視）

園内巡視C（繁忙日巡視）

別紙P371

巡視ルート図　（開園前及び閉園後）

別紙P372

巡視ルート図　（開園前及び閉園後）

別紙P373

巡回　Aコース(① 開園前及び ② 閉園前のバイク使用)　【大町・松川地区】

インフォメーションセンター～駐車場～レンタル棟～デイキャンプ場～休憩棟～入口広場～森の体験舎～そまびとの家～森のゲート～アルプス広場～渓流レクリエーション広場～大草原の家～河畔広場～あづみの苑地～インフォメーションセンター

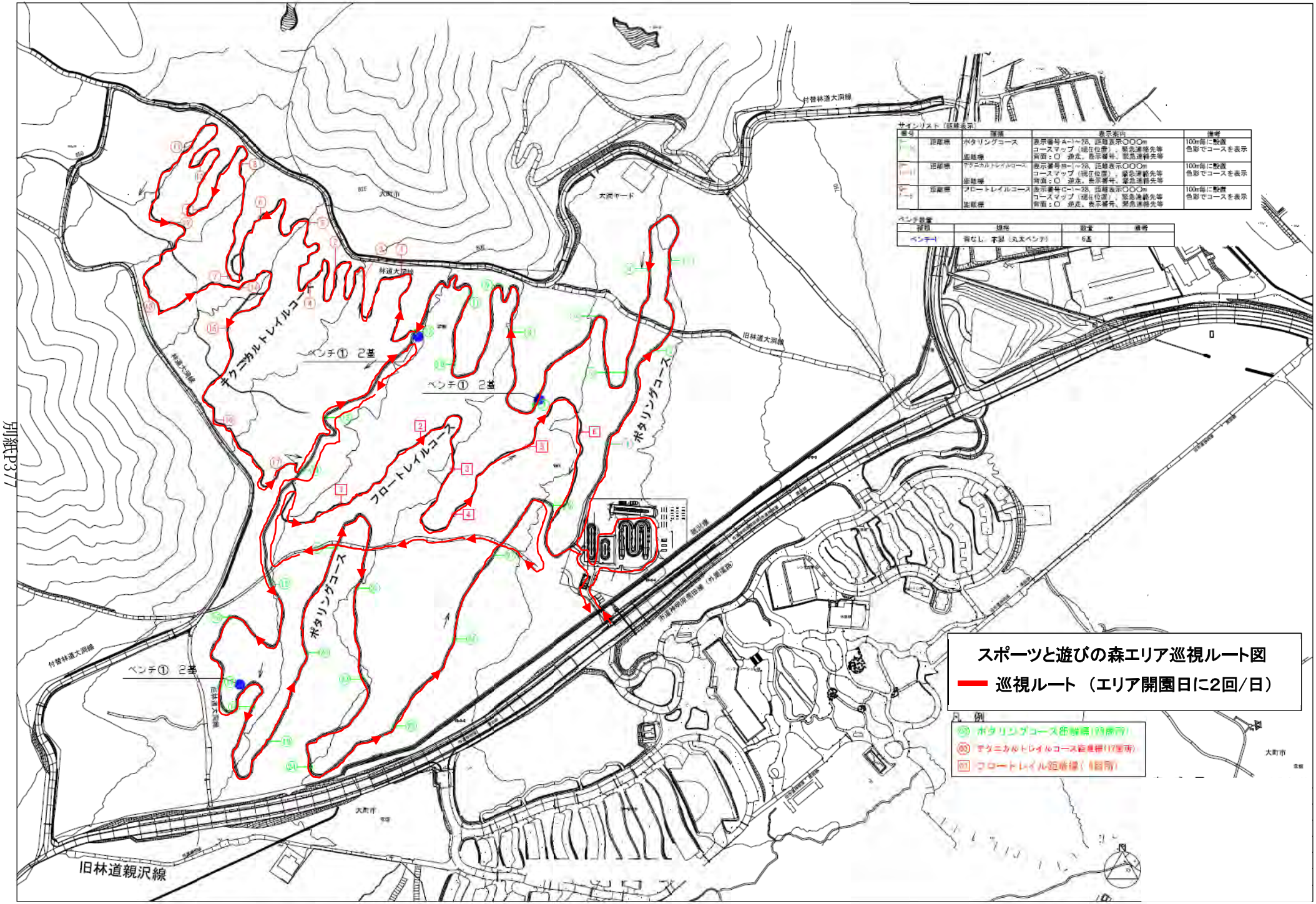
別紙P374

巡回Ｂコース（バイク使用及び徒歩）【大町・松川地区】

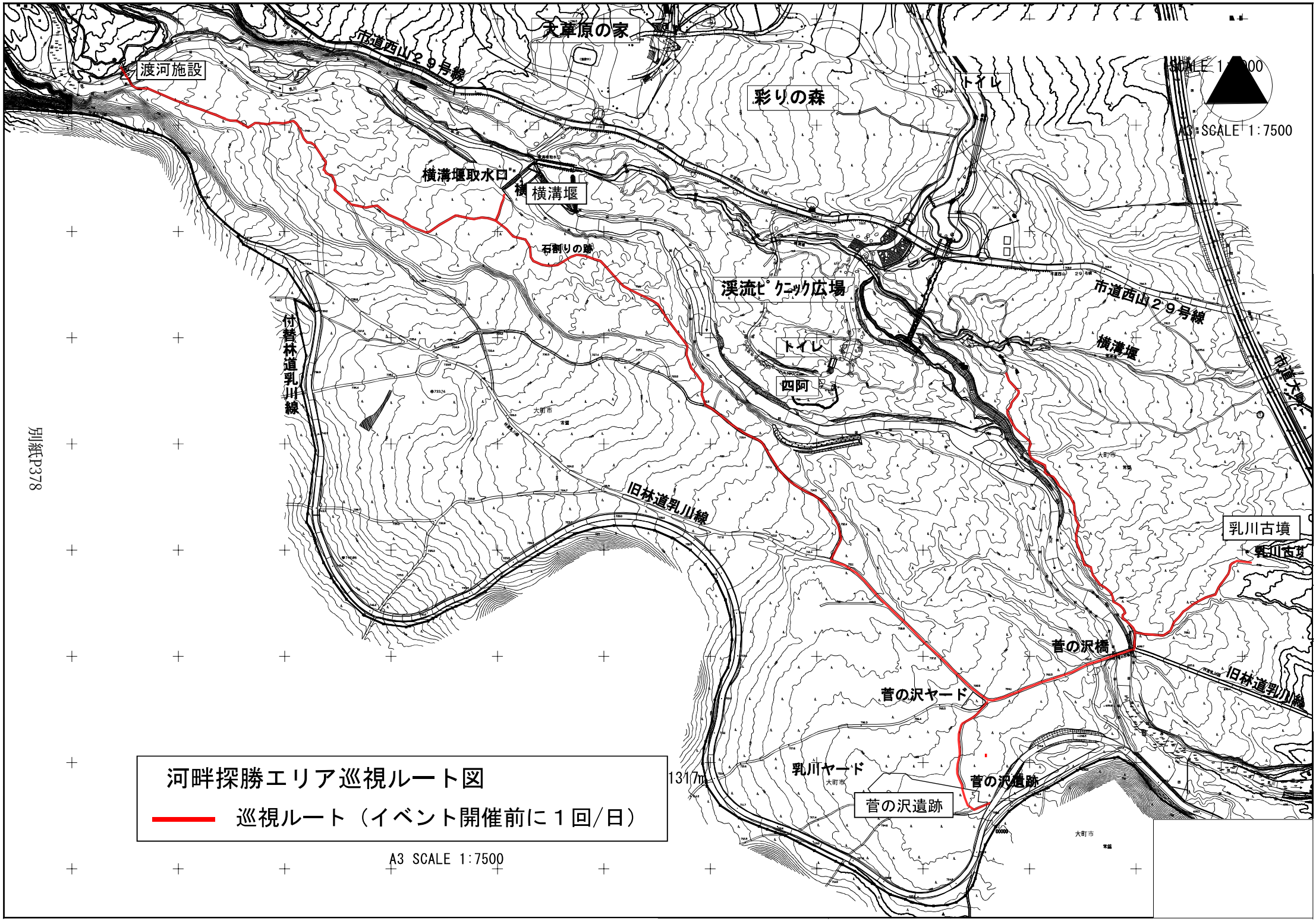
別紙P375

巡回Ｃコース（開園中徒歩）【大町・松川地区】

別紙P376


スポーツと遊びの森エリア巡視ルート図
巡視ルート （エリア開園日に2回/日）
凡 例
ポタリングコース距離標(19箇所)
テクニカルトレイルコース距離標(17箇所)
フロートレイル距離標(4箇所)
サインリスト（距離表示）
ベンチ数量
テクニカルトレイルコース
フロートレイルコース
ポタリングコース
ベンチ① 2基
旧林道親沢線
付替林道大洞線
旧林道大洞線
大町市

別紙P377



河畔探勝エリア巡視ルート図

巡視ルート（イベント開催前に１回/日）

A3 SCALE 1:7500

別紙P378

クマ早朝巡回コース（バイク使用及び徒歩）【大町・松川地区】

別紙P379

平成26年4月1日

H25-27国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務　緊急連絡網

アルプスあづみの公園マネジメント共同体

国土交通省

関東地方整備局 建政部 都市整備課

TEL:048-600-1907　FAX:048-600-1922

国営アルプスあづみの公園事務所

TEL:0263-83-8671　FAX:0263-83-8675

①工務課長	携帯
②調査設計課長	携帯
③総務課長	携帯
④事務所長	携帯

アルプスあづみの公園マネジメント共同体

(一財)公園財団

TEL:03-6674-1188　FAX:03-6674-1190

①事業推進部長	携帯
②総合管理部長	携帯
③総合管理GL	携帯
④事業推進GL	携帯

大北農業協同組合

TEL:0261-22-1840　FAX:0261-23-4831

①総務部長	携帯
②営農部長	携帯

JR東日本コンサルタンツ(株)

TEL:03-5371-3443　FAX:03-3373-5817

①環境部長	携帯
②企画部担当部長	携帯

アルプスあづみの公園管理センター

国営アルプスあづみの公園

堀金・穂高地区管理センター

TEL:0263-71-5511　FAX:0263-71-5512　衛星:870-776710233

大町・松川地区管理センター

TEL:0261-21-1212　FAX:0261-21-1214　衛星:870-776710234

①総括責任者【管理センター長】	携帯
②植物管理業務責任者【副管理センター長】	携帯
③大町・松川地区分室長	携帯
④施設維持管理業務責任者【施設設備管理課長】	携帯
⑤収益施設等管理運営業務責任者【収益施設運営課長】	携帯

発見者

関係企業(協力会社)

【植栽管理等支援企業】

奥原造園

TEL:0263-92-2371　FAX:0263-92-6146

【収益事業支援企業】

㈱ミドリコネクト

TEL:042-519-3239　FAX:042-519-3259

委託先

【清掃業務】

安曇野シルバー人材センター

TEL:0263-72-5800　FAX:0263-73-6484

北アルプス広域シルバー人材センター

TEL:0261-22-2445　FAX:0261-23-5033

土地改良区、組合等

烏川土地改良区	0263-72-2949
高瀬川右岸土地改良区	0261-22-0520
北安中部漁協協同組合	0261-22-7107
横溝堰水利組合　組合長	0261-22-5302

庁舎・園内施設機械警備

セコム上信越㈱ 松本支社	0263-35-7718
綜合警備保障㈱ 松本支店	0263-28-4130

※ ①②③:連絡の優先順位を示す。

→ :一次連絡

→ :二次連絡

関係協力機関

【長野県】

②建政部 都市計画課 TEL:026-232-0111 FAX:026-252-7315

【長野県 建設事務所】

①安曇野建設事務所

総務課 TEL:0263-72-8880 FAX:0263-72-8882

①大町建設事務所

総務課 TEL:0261-23-6530 FAX:0261-23-6532

【警 察】 TEL:110

安曇野警察署	0263-72-0110
大町警察署	0261-22-0110

【消 防】 TEL:119

豊科消防署	0263-72-3145
大町消防署	0261-22-0119

【病 院】

安曇野赤十字病院	0263-72-3170
大町市立大町総合病院	0261-22-0415

【保健所】

松本保健福祉事務所	0263-47-7800
大町保健福祉事務所	0261-22-5111

【鉄 道】

JR豊科駅	0263-72-2137
JR信濃大町駅	0261-22-0113

【バ ス】(あづみの周遊バス)

南安タクシー(有)	0263-72-2855

【電 気】

中部電力㈱ 松本営業所	0263-34-3755
中部電力㈱ 大町ｻｰﾋﾞｽｽﾃｰｼｮﾝ	0261-23-5927

【水 道】

安曇野市 豊科総合支所	0263-72-3111
大町市役所 水道課	0261-22-0810

【ガ ス】

武重商会㈱ 松本支店	0263-27-6700
武重商会㈱ 大町営業所	0261-22-2097

レクリエーション遊具点検表（堀金・穂高地区）

施設設備管理課長	担当者	点検実施者

平成　　年　　月　　日（　　）　天候

大玉

点検項目	内　容	点検結果	備考、措置等	対応
大玉状態、収納柵、周辺状況	大玉：表面の傷、破損、汚れ具合、空気量 収納柵：パイプの破損、接合部、ネットのはずれ・破れ 周辺：石・枝等の障害物、地面の陥没	異常あり 異常なし		

ディスクゴルフ

点検項目	内　容	点検結果	備考、措置等	対応
ゴール、ディスク、コース状況	ゴール：パイプのゆがみ、チェーン外れ、固定状態 ディスク：数量、設置場所の状態 コース：石・枝等の障害物、地面の陥没、雑草の繁茂	異常あり 異常なし		

ミニサッカー

点検項目	内　容	点検結果	備考、措置等	対応
ゴールポスト、ボール、周辺状況	ゴールポスト：フレームの変形・破損、ネットの破れ ボール：空気状態、傷・破れ、個数 周辺状況：石・枝等の障害物、地面の陥没、雑草の繁茂	異常あり 異常なし		

サイバーホイール

点検項目	内　容	点検結果	備考、措置等	対応
サイバーホイール状態、遊び場状況	サイバーホイール：表面の傷、破損、汚れ具合、空気量 遊び場：石・枝等の障害物、地面の陥没、ロープ柵の倒壊・ゆるみ	異常あり 異常なし		

マシュマロドーム

点検項目	内　容	点検結果	備考、措置等	対応
本体状態、看板、安全地帯状況	本体：ふくらみ状況、表面の傷・破れ・汚れ、送風機異常 看板：倒壊、破損、汚れ 安全地帯：石・枝等の障害物、地面の凹凸、芝の張り出し	異常あり 異常なし		

ハンモック

点検項目	内　容	点検結果	備考、措置等	対応
ロープ、ネット、接合部材、設置場所状況	ハンモック：破損、摩耗、ゆるみ、接合部の外れ・欠落、地面との間隔 設置場所：石・枝等の障害物、地面の陥没、雑草の繁茂	異常あり 異常なし		

子どもの森（アスレチック）

点検項目	内　容	点検結果	備考、措置等	対応
木材目割れ、ささくれ、腐朽、接合部材、設置場所状況	木材：目割れ、ささくれ、腐朽、破損、摩耗、汚れ 金属類の状況：摩耗、サビ、溶接部等 ネット・ロープ等：破損、摩耗、接合部の外れ・欠落 設置場所：石・枝等の障害物、地面の陥没、雑草の繁茂	異常あり 異常なし		

冒険の森（シートモッコ、ハンモック、ロープ渡り、スラッグライン、スライダー、丸太渡り、ブランコ）

点検項目	内　容	点検結果	備考、措置等	対応
木材目割れ、ささくれ、腐朽、接合部材、設置場所状況	木材：目割れ、ささくれ、腐朽、破損、摩耗、汚れ 金属類の状況：摩耗、サビ、溶接部等 ネット・ロープ等：破損、摩耗、接合部の外れ・欠落 設置場所：石・枝等の障害物、地面の陥没、雑草の繁茂	異常あり 異常なし		

マレットゴルフ

点検項目	内　容	点検結果	備考、措置等	対応
貸出用具、コース	貸出用具：数はそろっているか、クラブの破損、ボールの破損 コース：石・枝等の障害物、地面の陥没、雑草の繁茂、コースネットの破損	異常あり 異常なし		

ボールプール

点検項目	内　容	点検結果	備考、措置等	対応
外枠、プール内、ボールの状態	外枠のずれ・破損、ボール数量、つぶれたボールの有無、床マットの捲れ、汚れ、異物	異常あり 異常なし		

施設設備管理課長	担当者

【 遊具日常点検表 】

平成　　年　　月　　日（　　）　　点検者＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

【記入要領】

異常無 空欄: 健全であり、修繕の必要がない →使用可

異常有 B: 部分的に異常があり、部分修繕が必要 → 使用可

異常有 C: 重要な箇所に部分的な異常があり、部分修繕が必要 → 使用禁止

異常有 D: 主要部材・部品に異常があり、大規模な修繕又は更新が必要 → 使用禁止

No.	遊具名	点検項目(異常有のみ記入)									異常部の有無	使用禁止や異常個所の措置
		ボルト・ナット	木材目割れ ささくれ等	ワイヤー・チェーン等	特殊金具類の状況	ネット・ロープ等	木材の腐朽等	溶接状況	塗装状況	その他の状態等		
大草原の家ネット遊具												
1	ネット遊具										有 ・ 無	
2	ボールプール										有 ・ 無	
3	吹き抜けネット										有 ・ 無	
4	塔状遊具A										有 ・ 無	
5	塔状遊具B										有 ・ 無	
くもの巣遊具												
1	くもの巣										有 ・ 無	
2	吊り橋										有 ・ 無	
3	らせん階段										有 ・ 無	
空中回廊												
1	ラビットイヤー										有 ・ 無	
2	鳥の歌声									メーカ撤去中	~~有 ・ 無~~	音が出ないため、調査中
3	テレイドスコープ										有 ・ 無	
4	光と緑のトンネル										有 ・ 無	
5	動物の足跡										有 ・ 無	
6	百葉箱										有 ・ 無	
7	パラボラ										有 ・ 無	
林間コンビネーション遊具												
1	展望デッキ										有 ・ 無	
2	らせん階段										有 ・ 無	
3	張出しデッキ										有 ・ 無	
4	スロープ										有 ・ 無	
5	ユニバーサルデッキ										有 ・ 無	
6	クライムロード										有 ・ 無	
7	吊り橋										有 ・ 無	
8	チューブスライダー										有 ・ 無	
9	ネットわたり										有 ・ 無	
10	ウッドクライミング										有 ・ 無	
11	ロープクライミング										有 ・ 無	
12	V字吊り橋										有 ・ 無	
13	ビックウェーブロード										有 ・ 無	
14	ターザンジャンプ										有 ・ 無	
15	V字ブリッジ										有 ・ 無	
16	ワイドウェーブスライダー										有 ・ 無	
17	パイプトンネル										有 ・ 無	
18	ロープウォール										有 ・ 無	
19	ロープフロア										有 ・ 無	
20	ウンテイ										有 ・ 無	
21	ツイストパイプ										有 ・ 無	
22	Uパイプブリッジ										有 ・ 無	
23	ロクボク										有 ・ 無	
24	ウォールクライム										有 ・ 無	
25	トンネル										有 ・ 無	
26	Uパイプウォール										有 ・ 無	
27	ネットブリッジ										有 ・ 無	
28	平均台わたり										有 ・ 無	
29	タラップ										有 ・ 無	
30	ロープ渡り										有 ・ 無	
31	階段										有 ・ 無	
32	ロープウェイ										有 ・ 無	
33	ロックブロック										有 ・ 無	
その他 レクリエーション遊具												
1	サイバーホイール	・サイバーホイール:表面の傷、破損、汚れ具合、空気量 ・芝生斜面:石・枝等の障害物、地面の陥没、ロープ柵の破損・ゆるみ									有 ・ 無	

備考:

※ボルトの緩み、丸太の軋み、歪みの点検は随時行なう。軽易で可能なものは巡視員が応急修繕を行う。異常発見時は担当職員に急報する。

アルプスあづみの公園管理センター

課　長	課　長	担　当

堀金・穂高地区

平成２９年度　　巡 視 日 報

平成　　年　　月　　日（　　）天候	気 温	9時　　℃	１２時 ℃	１５時 ℃

巡視担当者		巡視担当者		巡視担当者	

ルート No.	時　間	備　考（異常なしは「ー」と記載）	ルート No.	時　間	備　考（異常なしは「ー」と記載）	ルート No.	時　間	備　考（異常なしは「ー」と記載）
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	

野生動物	群･名称･別	備　考	野生動物	群･名称･別	備　考	野生動物	群･名称･別	備　考
サル･クマ･他		開園前 AM PM	サル･クマ･他		開園前 AM PM	サル･クマ･他		開園前 AM PM
サル･クマ･他		開園前 AM PM	サル･クマ･他		開園前 AM PM	サル･クマ･他		開園前 AM PM
サル･クマ･他		開園前 AM PM	サル･クマ･他		開園前 AM PM	サル･クマ･他		開園前 AM PM
サル･クマ･他		開園前 AM PM	サル･クマ･他		開園前 AM PM	サル･クマ･他		開園前 AM PM
サル･クマ･他		開園前 AM PM	サル･クマ･他		開園前 AM PM	サル･クマ･他		開園前 AM PM
サル･クマ･他		開園前 AM PM	サル･クマ･他		開園前 AM PM	サル･クマ･他		開園前 AM PM
サル･クマ･他		開園前 AM PM	サル･クマ･他		開園前 AM PM	サル･クマ･他		開園前 AM PM

門扉等の開閉			その他　特記事項		
場　所	開錠時間	施錠時間	電気柵電源部点検　　異常なし　　異常あり（　　）		
第1駐車場入口	：	：			
第2駐車場入口	：	：			
第3.4駐車場入口	：	：			
管理センター入口	：	：	水質検査（塩素）　　：　　℃　　mg/		
中央口	：	：	残留車両	第1駐車場	
穂高口	：	：		第2駐車場	
堀金口	：	：		第3駐車場	
	：	：		第4駐車場	

※電気柵・外柵点検は特記事項にて報告

巡視コース　①	巡視コース　②	巡視コース　③
展望テラス～	第１駐車場～	水辺の休憩所～
池周辺～	第２駐車場～	池の周り～
水辺の休憩所～	疎林広場～	段々原っぱ～
段々原っぱ～	須砂度口ゲート～	野の休憩所～
野の休憩所～	森の庭～	野川沿い～
調整池～	眺望の橋～	野原～
野原～	須砂度口四阿～	調整池～
河畔の広場～	林緑部園路～	河畔の広場～
林緑部遠路～	段々花畑～	林緑部園路～
段々花畑～	野原～	段々花畑～
須砂度西～	河畔の広場～	須砂度口ゲート～
須砂度口ゲート～	調整池～	森の小川沿い～
森の庭	野の休憩所～	テーマ展示館周り～
	野川～	第１駐車場～
	段々原っぱ～	第２駐車場
	水辺の休憩所～	
	池の周り～	
	展望テラス～	
	テーマ展示館周り	

アルプスあづみの公園管理センター

分室長	課長	調査役	係長

大町・松川地区

平成２８年度　巡視日報

平成　年　月　日（　）天候	気温	9時　℃	12時　℃	15時　℃

巡視担当者		巡視担当者		巡視担当者	

ルート No.	時間	備考（異常なしは「ー」と記載）	ルート No.	時間	備考（異常なしは「ー」と記載）	ルート No.	時間	備考（異常なしは「ー」と記載）
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	

野生動物	群・名称・別	備考	野生動物	群・名称・別	備考	野生動物	群・名称・別	備考
サル・クマ・他		開園前 AM PM	サル・クマ・他		開園前 AM PM	サル・クマ・他		開園前 AM PM
サル・クマ・他		開園前 AM PM	サル・クマ・他		開園前 AM PM	サル・クマ・他		開園前 AM PM
サル・クマ・他		開園前 AM PM	サル・クマ・他		開園前 AM PM	サル・クマ・他		開園前 AM PM
サル・クマ・他		開園前 AM PM	サル・クマ・他		開園前 AM PM	サル・クマ・他		開園前 AM PM
サル・クマ・他		開園前 AM PM	サル・クマ・他		開園前 AM PM	サル・クマ・他		開園前 AM PM
サル・クマ・他		開園前 AM PM	サル・クマ・他		開園前 AM PM	サル・クマ・他		開園前 AM PM
サル・クマ・他		開園前 AM PM	サル・クマ・他		開園前 AM PM	サル・クマ・他		開園前 AM PM

門扉等の開閉		
場所	開錠時間	閉錠時間
駐車場入口	:	:
駐車場入口（ﾃﾞｲｷｬﾝﾌﾟ場）	:	:
駐車場入口（ﾃﾞｲｷｬﾝﾌﾟ場）	:	:
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ入口	:	:

その他　特記事項		
クマ朝巡視情報　□有　□特になし		
電気柵電源部点検　A・B・MTB　異常なし　異常あり（　）		
残留車両	第一駐車場	
	ﾃﾞｲｷｬﾝﾌﾟ場	

※電気柵、外柵点検は特記事項にて報告

アルプスあづみの公園管理センター

分室長	課長

大町・松川地区

平成26年度　巡視日報

平成 26 年　月　日（　）天候	気温	9時　℃	12時　℃	15時　℃

巡視担当者		巡視担当者		巡視担当者	

ルート No.	時間	備考（異常なしは「ー」と記載）	ルート No.	時間	備考（異常なしは「ー」と記載）	ルート No.	時間	備考（異常なしは「ー」と記載）
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	

野生動物	群・名称・別	備考	野生動物	群・名称・別	備考	野生動物	群・名称・別	備考
サル・クマ・他		開園前 AM PM	サル・クマ・他		開園前 AM PM	サル・クマ・他		開園前 AM PM
サル・クマ・他		開園前 AM PM	サル・クマ・他		開園前 AM PM	サル・クマ・他		開園前 AM PM
サル・クマ・他		開園前 AM PM	サル・クマ・他		開園前 AM PM	サル・クマ・他		開園前 AM PM
サル・クマ・他		開園前 AM PM	サル・クマ・他		開園前 AM PM	サル・クマ・他		開園前 AM PM
サル・クマ・他		開園前 AM PM	サル・クマ・他		開園前 AM PM	サル・クマ・他		開園前 AM PM
サル・クマ・他		開園前 AM PM	サル・クマ・他		開園前 AM PM	サル・クマ・他		開園前 AM PM
サル・クマ・他		開園前 AM PM	サル・クマ・他		開園前 AM PM	サル・クマ・他		開園前 AM PM

門扉等の開閉		
場所	開錠時間	閉錠時間
駐車場入口	:	:
駐車場入口（ﾃﾞｲｷｬﾝﾌﾟ場）	:	:
駐車場入口（ﾃﾞｲｷｬﾝﾌﾟ場）	:	:
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ入口	:	:

その他　特記事項		
クマ朝巡視情報　□有　□特になし		
残留車両	第一駐車場	
	ﾃﾞｲｷｬﾝﾌﾟ場	

建物・工作物に係る修繕履歴（修繕箇所、費用等）

修繕履歴（平成28年度）

【 堀金･穂高 地区 】

工種	種別	細目	実施日	実施場所	対象箇所	作業内容	金額（円）
建物管理	建物維持修繕	管理棟修繕	5月1日	あづみの学校	多目的ホール	天井に点検口設置	80,000
			6/7、9	あづみの学校	排煙装置	理科教室排煙窓オペレーター修繕	105,000
			7/11、1/23	あづみの学校 穂高口ゲート	自動ドア	寺岡自動ドア保守点検業務7台（年2回）	119,000
			7/4、1/23	ガイドセンター、管理センター	自動ドア	ナブコ自動ドア保守点検業務自動ドア9台（年2回）	145,000
		便所修繕	4月1日	あづみの学校	便器	女子トイレ便座ダンパー修繕	9,160
			6月26日	穂高口	自動手洗い	子供用手洗い自動水栓電磁弁の取替え	10,500
			10月6日	展望テラス	便器	女子トイレ便座ダンパー及び本体カバーの修繕	11,690
		その他維持修繕	2月24日	あづみの学校	階段	屋外水槽バックヤードバックヤード内通行用足場板の更新	55,000
	建物設備維持修繕	空調設備維持修繕	5/18,10/12	あづみの学校、ガイドセンター、管理センター	空調設備	定期点検年2回の、冷温水発生機冷暖房切替点検作業	717,000
			5/16,10/31	あづみの学校、ガイドセンター、管理センター	空調設備	空調設備フィルター清掃作業	250,000
			8月25日	あづみの学校	空調設備	パートナー室のエアコン基板の取替え	83,200
			11月7日	ガイドセンター横レストラン側	空調設備	アイシン製ＧＨＰエアコン定期点検	125,800
			11月7日	あづみの学校	空調設備	ｻﾝﾖｰ製GHPエアコン定期点検	219,800
			12月21日	あづみの学校	空調設備	空冷ヒートポンプ式空調設備の計装点検･調査	92,000
			12月15日	ガイドセンター横レストラン側	空調設備	アイシン製ＧＨＰエアコン室外機の基板の取替え	221,000
			2月28日	あづみの学校	空調設備	そば部屋空調設備パッケージ式エアコン室外機ファンの取替え	95,000
			3月3日	あづみの学校	空調設備	床暖房用温水発生機ボイラー等の点検･整備･清掃	126,000
		消防設備維持修繕	4/16、20	あづみの学校･ガイドセンター	消防設備	非常灯バッテリー１３個、誘導灯ランプ４４本更新作業	467,950
			8月	ガイドセンター	ガス感知器	授乳室ガス漏れ警報器修繕	12,900
			10月4日	あづみの学校	消防設備	ガス漏れ警報器及び中継器修繕	133,500
			3月27日	ガイドセンター横レストラン側	ガスメーター	円滑に空調室外機点検が行えるようガスメーターの移設を行う。	27,700
		設備その他維持修繕	6月7日	ガイドセンター	ＣＣＴＶ設備	事務室監視カメラ用モニター交換	166,000
			7月14日	あづみの学校	魚類飼育設備	理科教室（個水槽）個水槽ＮＯ3のガス漏れ調査及び修繕	22,000
			7月27日	あづみの学校	空調設備	地下タンク危険物地下貯蔵タンクの漏洩検査	70,000
			8月5日	あづみの学校	魚類飼育設備	屋外水槽（山地里山水槽）への給水用ボールバルブの取替	13,500
			8月19日	ガイドセンター	照明設備	ｶﾞｲﾄﾞセンター内天井に設置してある照明器具の点検	47,350
			9月9日	あづみの学校	魚類飼育設備	屋外水槽地下ピット理科教室湧水水槽用の熱交換器の漏水修繕	11,921
			10月20日	あづみの学校	給水設備	そば部屋冷水機の漏水修繕	9,250
			12月10日	ガイドセンター	照明器具	インフォメーションコーナー照明器具の安定器の取替	88,500
			2月14日	あづみの学校	映像装置	観覧室2階の映写装置ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰの修繕	98,900
			2月23日	あづみの学校	照明設備	多目的ホールの高所な天井に設置してある照明ランプの交換	62,700
			2月28日	あづみの学校	映像装置	映写装置プロジェクター用ランプ交換	115,000
			3月1日	あづみの学校	魚類飼育設備	地下ピットブロアーポンプ（ＮＯ.1）のオーバーホール	171,800
			3月3日	あづみの学校	換気設備	理科教室換気扇の取替	17,500
工作物管理	工作物維持修繕	園路広場修繕	4/13,5/17	段々花畑	展示	鯉のぼり設置･撤去作業　GW期間２本の松の木の高木にワイヤーを取付鯉のぼりを設置･撤去する作業	275,521
			4月25日	段々花畑付近･河畔の広場付近	園路	劣化したアスファルト舗装の修繕	191,000
			5月2日	ﾏｼｭﾏﾛﾄﾞｰﾑ周辺	看板	経年劣化した看板フレームの取替え修繕	170,000
			8/12、13	里山文化ゾーン	柵	水車小屋周囲に四ツ目垣による柵を設置する	142,561
			8/12、13	里山文化ゾーン	日除け、駐輪場	利用者の日陰対策として仮設日よけを設置。及び堀金口と岩原口に駐輪所を設置	256,200
		遊具維持修繕	4月22日	冒険の森	遊具	冒険の森遊具スライダーワイヤー滑車修繕	243,000
			4月22日	冒険の森	遊具	冒険の森遊具スライダーワイヤーロープ･吊下げ部取付	109,000
			7/11、8/8、8/24	段々池	だんだん池	水遊び場の水質検査7月2回8月2回（計4回実施）	44,000
			9月26日	河畔の広場	遊具	ﾏｼｭﾏﾛﾄﾞｰﾑの定期点検	240,000
			9月26日	冒険の森	遊具	子供の森･冒険の森遊具の定期点検	97,700
		その他維持修繕	4月22日	段々花畑	階段	丸太の枕木階段が経年劣化のため修繕	262,000
			6/6、9	あづみの学校	机	理科教室実習台の補強･修繕	140,000
			6月27日	田園文化ゾーン車両通用門	門扉	門扉の蝶番の修繕	38,000

工種	種別	細目	実施日	実施場所	対象箇所	作業内容	金額（円）
	設備維持修繕	電気設備維持修繕	8月9日	ガイドセンター付近	外灯	故障したアプローチライトの修繕	66,000
			9/20、10/13	段々花畑	仮設電源	イベントで使用する仮設電源の設置	84,000
			11月30日	第一駐車場	外灯	外灯用ランプの取替え	37,000
			12月27日	第一駐車場	外灯分電盤	分電盤内の故障した電磁接触器の取替え修繕	100,000
		水道設備維持修繕	4月1日	野の休憩所	水道メーター	上水道量水器の取替え	70,500
			4月～3月	受水槽	受水槽給水設備	受水槽給水設備・滅菌器点検 4月～3月(毎月1回×12月)	144,000
			5月31日	受水槽	受水槽給水設備	交換用フイルターエレメント外1点	46,100
			9月23日	受水槽	受水槽給水設備	制御盤ランプの取替え	6,400
			5月24日	受水槽	受水槽給水設備	滅菌機循環ポンプの取替え	260,000
			5月11日	展望テラス	給水設備	給水配管のフランジパッキンの取替え	6,000
			6月22日	園内各所	給水設備	園内各所の故障した電子式水道メーターの取替え	265,000
			6月22日	野の休憩所付近四阿横、段々池横四阿	水飲み場	水飲み水栓を手動式から半自動自閉立水栓に取替	16,000
			10月26日	受水槽	受水槽給水設備	井戸流量計の取替え	275,000
			9月9日	受水槽	受水槽給水設備	受水槽給水用ボールタップの取替え	36,080
			1月24日	受水槽	受水槽給水設備	井戸ポンプ稼働・停止等を制御するタイマーの設置	65,000
		電話設備維持修繕	8/2、7、9	管理センター	電話交換機	落雷により故障した電話交換機の修繕	1,512,000
	設備維持その他修繕	設備維持その他修繕	9月8日	あづみの学校	映像装置	プロジェクター用ランプ交換	115,000
			12月1日	あづみの学校	映像装置	プロジェクター用ランプ交換	135,400
			12月10日	ガイドセンター入口付近	支柱ワイヤー	樹木間固定用ワイヤー一部撤去作業	11,000
合計							9,461,083

修繕履歴（平成28年度）

【 大町・松川 地区 】

工種	種別	細目	実施日	実施場所	対象箇所	作業内容	金額（円）
建物管理	建物維持修繕	管理棟修繕	6月15日	休憩棟	デッキ手摺	休憩所デッキ手摺の塗装作業	110,000
			7月12日 1月17日	インフォメーションセンター・休憩棟・レンタル棟・森の体験舎・大草原の家・森のゲート	自動扉	自動ドア装置保守点検25台　年2回点検	412,000
			8月27日	大草原の家	デッキ手床	デッキの根太の部分修繕作業	100,000
			10月3日	大草原の家	扉	大草原の家広間引戸レール固定作業	8,000
			3月14日	インフォメーションセンター	自動扉	インフォメーションセンター多目的室自動ドアカギ4箇所修繕	60,000
		車庫・倉庫修繕					
		便所修繕	5月23日	インフォメーションセンター	便所	インフォメーションセンター暖房便座2カ所交換及びコントール用基盤2カ所修繕	89,000
			12月5日	駐車場・入口広場・デイキャンプ場及び炊事棟・各トイレ・水飲み場・MTB場	便所	冬季閉鎖トイレ　自動手洗い、混合栓分解水抜き及び蛇口の取り外し作業・便器内凍結防止用不凍液給水作業・水飲み場	231,500
			7月30日	駐車場	便所	大便器フラッシュバルブ用ピストンバルブ3個交換	16,174
		その他維持修繕					
	建物設備維持修繕	空調設備維持修繕	6月20日	休憩棟、インフォメーションセンター	空調設備・給湯設備	休憩棟空調設備点検作業、給湯器漏水箇所銅管溶接修繕、電気室排気ファンモーターベルト交換	63,680
			6月6日	インフォメーションセンター・休憩棟・森の体験舎・大草原の家	空調設備	インフォメーションセンター、休憩棟、森の体験舎大草原の家エアコンフィルター21基26枚清掃	68,880
			10月24日	休憩棟・森の体験舎・大草原の家・森のゲート	空調設備	森の体験舎・大草原の家・森のゲート窓、結露防止ヒーター清掃	219,800
			7月27日	森のゲート・ディキャンプ場	空調設備	森のゲート・ディキャンプ場　ｶﾞｽ集合装置交換作業	108,361
			12月5日	休憩棟・炊事棟	空調設備	休憩棟・炊事棟ｶﾞｽﾒｰﾀｰ交換作業	219,400
			2月27日	インフォメーションセンター・森の体験舎・大草原の家・森のゲート・レンタル棟・休憩棟	空調設備	空調設備保守点検作業 空冷式パッケージ空調機3基・バスマルチパッケージ空気調和器1基・空冷式パッケージ空調機1基ルームエアコン1基・空冷式パッケージ空調機1基・蓄熱ユニット1基・・空冷式パッケージヒートポンプ式空調機1基・ガスマルチパッケージ空気調機2基・ガスマルチパッケージ空気調機3基	667,000
			10月24日	大草原の家 インフォメーションセンター	空調設備	大草原の家休憩スペース広間及びインフォメーションセンター多目的ホール空調設備熱交換器フィルター洗浄定期作業	115,000
			12月27日	大草原の家	空調設備	大草原の家 空調用集中制御液晶タッチパネル修繕	75,000
		消防設備維持修繕	6月3日	大草原の家・森のゲート	消防設備	設置後10年経過した、大草原の家・森のゲートの消火器11本取替え	40,538
			4月20日	レンタル棟	火災報知機設備	更新時期を経過した、レンタル棟の非常灯誘導バッテリー3個取替え	19,200
		その他維持修繕	1月11日	インフォメーションセンター	展示装置	森の美術館プロジェクター修繕 劣化部品の交換	399,000
			2月10日	インフォメーションセンター	展示装置	プロジェクター交換作業(OM)　既設プロジェクターの配置交換作業	105,000
工作物管理	工作物維持修繕	園路広場修繕	4月1日	大園路	園路	アスファルト園路修繕作業	275,000
			4月2日	センター前、体験舎前、大草原の家前	サイン	トレイン停留所3基製作設置作業	220,000
			4月5日	休憩棟～空中回廊間	園路	空中回廊側園路脇の砕石埋め土作業	223,000
			4月5日	細園路	園路	木材チップ敷き均し等作業	93,853
			4月9日	いろどりの森歩道	園路	園路砕石舗装作業いろどりの森歩道　砕石撤去後65㎡T=10㎝25mm以下	107,000
			5月3日	デイキャンプ場入口	柵	囲障ﾒｯｼｭフェンス補修作業	80,961
			5月3日	インフォメーションセンター前	サイン	インフォメーションセンター看板製作設置作業	55,000
			5月12日	休憩棟	ベンチ	休憩棟内キッズコーナー用ベンチ設置	93,150
			6月1日	インフォメーションセンター前	ベンチ・サイン	ベンチ5基・インフォメーション前階段手摺・看板柱・トリーミングキューブ塗装等塗装作業	270,000
			6月7日	MTB、センター前、休憩棟	犬つなぎ	新規ドッグパーキング3基製作作業	100,000
			7月2日	MTB	MTBコース	スポーツと遊びの森エリア整備作業	84,000
			7月2日	MTB	MTBコース	スポーツと遊びの森エリアコース造り作業	259,631
			7月9日	MTB	MTBコース	MTBコース面整備作業	277,400
			8月1日	リフレッシュの森	園路	石材舗装補修作業	81,240
			8月1日	MTB	MTBコース	MTBコース土砂表土浸食修繕作業（その1）	274,500
			8月29日	ディキャンプ場テントサイト	広場	ディキャンプ場　砂補充敷き均し作業	22,425
			9月13日	MTB	MTBコース	MTBコース土砂表土浸食修繕作業（その2）	95,000
			9月20日	MTB	MTBコース	MTBコース土砂表土浸食修繕作業（その3）	249,400

工種	種別	細目	実施日	実施場所	対象箇所	作業内容	金額（円）
			9月26日	大草原の家前	広場	大草原の家前広場砂の搬入敷均し作業	59,651
			10月2日	園路沿い	ベンチ	園内ベンチ17基　部分塗装作業	200,000
			11月2日	園路沿い	ベンチ	園内ベンチ14基　全面塗装作業	245,000
		遊具維持修繕	9月12日	大草原の家	遊具	大草原の家ﾈｯﾄ遊具定期点検1式	220,000
			9月27日	アルプス広場･空中回廊	遊具	林間アスレチック遊具･くもの巣遊具等定期点検1式	260,000
			2月19日	大草原の家	遊具	大草原の家 ﾈｯﾄ遊具修繕用安全カバー取替え	26,000
			4月13日	大草原の家	遊具	林間アスレチック遊具ロープクライミング基礎部修繕	90,000
			8月28日	大草原の家	遊具	ボールプール用ボール補充作業	75,600
			7月2日	アルプス大草原	仮設物	夏休み期間、水遊び場仮設プール設置 12m×6m×0.3m	450,000
		その他維持修繕	10月17日	インフォメーションセンター下階段･空中回廊	階段手摺	森の体験舎、大草原の家デッキ修繕	250000
			4月5日	あづみの苑地	丸太階段、枕木花壇	あづみの苑地木製階段修繕作業、花壇枕木修繕作業	270000
			8月18日	駐車場ﾄｲﾚ前	枕木花壇	駐車場ﾄｲﾚ前の枕木資材２５本ひき割り加工加工	143000
			9月13日	駐車場ﾄｲﾚ前	枕木花壇	駐車場ﾄｲﾚ前の枕木花壇の腐朽箇所50mの取替え作業	178000
	設備維持修繕	電気設備維持修繕					
		水道設備維持修繕	4月～3月	上水受水槽　井戸	受水槽設備	受水槽給水設備点検４月～３月　年１２回	285,000
			5月6日	駐車場･入口広場･キャンプ場･炊事棟･林間広場	受水槽設備	受水槽水消毒用二次滅菌機修繕	38,000
			8月29日	上水受水槽　井戸	給水設備	ＭＴＢセンター給水管水圧調整作業	25,000
			7月1日	Ｂ駐車場	給水設備	仮設シャワー用給排水配管接続撤去作業	110,000
			7月5日	Ｂ駐車場	給水設備	仮設シャワー用給湯器ガス配管接続撤去作業	10,000
			9月24日	上水受水槽　井戸	受水槽設備	受水槽用塩素剤外フイルター交換	49,400
		水循環設備維持修繕	5月3日	れき原花壇	散水設備	花畑用散水設備スプリンクラー修繕1	187,000
			6月2日	れき原花壇	散水設備	花畑用散水設備スプリンクラー修繕2	44,961
		放送設備維持修繕					
		電話設備維持修繕	3月6日	インフォメーションセンター	電話交換設備	内線電話増設によるデーター変換作業	70,000
		汚水処理設備維持修繕					
		展示設備維持修繕	4月28日	インフォメーションセンター･大草原の家･森のゲート	展示装置	展示装置保守点検	82,000
			8月30日	インフォメーションセンター	展示装置	展示装置UPS交換修繕	82,000
			4月1日	インフォメーションセンター	展示装置	展示装置プロジェクターランプユニット交換	120,000
		その他維持修繕					
合計							9,559,705

修繕履歴（平成29年度）

【 堀金･穂高 地区 】

工種	種別	細目	実施日	実施場所	対象箇所	作業内容	金額（円）
建物管理	建物維持修繕	管理棟修繕	2月17日	ガイドセンター	自動ﾄﾞｱ	ガイドセンター（ナブコ）自動センサー取替	40,000
			7/10、1/15	ガイドセンター、管理センター	自動ﾄﾞｱ	ナブコ自動ﾄﾞｱ保守点検業務自動ﾄﾞｱ9台（年2回）	145,000
			7/10、1/15	あづみの学校 穂高口ゲート	自動ﾄﾞｱ	寺岡自動ﾄﾞｱ保守点検業務7台（年2回）	119,000
	建物設備維持修繕	空調設備維持修繕	6月6日	あづみの学校	空調設備	あづみの学校GHPｴｱｺﾝ室外機の熱交換器･冷却水ポンプの交換修繕	360,000
			9月28日	穂高口	空調設備	穂高口ボイラー設備の点検作業	46,140
			2月22日	あづみの学校	空調設備	多目的ホールのインバーター1台取替え修繕	185,000
			5/17、10/13	あづみの学校	空調設備	年2回の、冷温水発生機冷暖房切替点検作業	717,000
			11月27日	あづみの学校	空調設備	ｻﾝﾖｰ製GHPエアコン定期点検	219,800
			11月27日	ガイドセンター横レストラン側	空調設備	アイシン製ＧＨＰエアコン定期点検	130,800
			5/15、10/10	あづみの学校、ガイドセンター、管理センター	空調設備	空調設備フィルター清掃作業	250,000
		消防設備修繕	9月26日	あづみの学校	ガス感知器	地下ピット内のガス漏れ検知器取替え	20,500
			5月30日	あづみの学校	ガス感知器	ﾄｲﾚ内設置用のガス漏れ検知器取替え	9,630
		建物設備その他修繕	4月19日	ガイドセンター	公衆無線LAN	来園者の利便性を図るためWIFIフリースポット構築	270,000
			4月24日	あづみの学校	映像装置	観覧室3階ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰの修理	319,000
			5月30日	あづみの学校	魚類飼育設備	水槽用ブロアポンプNO2のVベルト交換	16,000
			6月7日	あづみの学校	魚類飼育設備	予備水槽循環式クーラー1台の取替	340,000
			6月7日	あづみの学校	魚類飼育設備	水槽管理用吸気ファンのVベルトの交換を行う	15,600
			10月6日	あづみの学校	映像装置	映像設備の修繕	220,000
			7月25日	あづみの学校	地下タンク	危険物地下貯蔵タンクの漏洩検査	70,000
			8月5日	あづみの学校	地下タンク	危険物地下貯蔵タンクの漏洩箇所の修繕	142,420
			12月22日	水辺のトイレ	多目的ﾄｲﾚ	非常呼出装置の取替え修繕	275,000
			12月12日	あづみの学校	映像装置	映像機器の電源ユニットの修繕	148,000
			2月27日	あづみの学校	照明	ＨＦ蛍光灯の交換	15,600
			3月1日	あづみの学校	給湯器	電気湯沸かし器の修繕	73,500
			3月5日	あづみの学校	昇降機	車いす式階段昇降機･介護リフの修繕	56,200
工作物管理	工作物維持修繕	園路広場修繕	4月28日	穂高口付近	臨時駐車場	臨時駐車場区画線作業	274,704
			3月5日	竜の広場	ﾄｲﾚ横	新規BBQエリアにｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞのサイト設置	555,500
			4月3日	水辺の休憩所	デッキ	バーベキューエリア洗い場デッキ修繕	89,000
			3月10日	ﾄﾞｯｸﾗﾝ･里山文化ゾーン	看板	ドッグラン･ウォーキング看板の製作	125,900
			3月10日	穂高口芝生広場	看板	ﾏﾚｯﾄｺﾞﾙﾌ･ドッグラン等の看板製作	75,000
			4月1日	野原	野原	ｻｲﾊﾞｰﾎｲｰﾙ･大玉外周飛散防止の丸太柵の取替	165,000
		遊具維持修繕	7/7（2回）、7/13、8/17	段々池	だんだん池	水遊び場の水質検査7月2回8月2回（計4回実施）	44,000
			4月26日	野原	遊具	サイバーホイール大型2個更新	207,800
			9月25日	河畔の広場	遊具	ﾏｼｭﾏﾛﾄﾞｰﾑの定期点検	240,000
			9月25日	冒険の森	遊具	子供の森･冒険の森遊具の定期点検	165,400
			5月23日	冒険の森	遊具	冒険の森遊具周囲にチップ敷設	258,300
		工作物維持	4月5日	段々花畑	イベント	鯉のぼり設置･撤去作業　GW期間2本の松の木の高木にワイヤーを取付鯉のぼりを設置･撤去する作業	275,521
	設備維持修繕	電気設備維持修繕	9月5日	第一駐車場	外灯分電盤	分電盤内の故障した電磁接触器の取替え修繕	120,000
			9月25日	段々花畑	芝生地	イベントで使用する仮設電源の設置	110,500
			9月15日	あづみの学校	映像装置	プロジェクター用ランプ交換	115,000

工種	種別	細目	実施日	実施場所	対象箇所	作業内容	金額（円）
		水道設備維持修繕	4月3日	水辺のトイレ	水辺のトイレ裏	既設BBQコーナーシンクの給排水配管の修繕	19,000
			3月21日	受水槽	受水槽給水設備	加圧給水ユニットの点検	38,000
			4月～3月	受水槽	受水槽給水設備	受水槽給水設備・滅菌器点検 4月～3月(毎月1回×12月)	144,000
			6月1日	受水槽	受水槽給水設備	フイルターエレメント外1点	36,000
			7月19日	受水槽	分電盤	制御盤内のランプの取替え	5,000
			7月11日	水辺のトイレ	水辺のトイレ裏	BBQコーナーにシンク追加設置	93,373
			6月9日	野の休憩所	井水ﾒｰﾀｰ（Mf）	井水（MF）メーターの取替え	152,250
			11月28日	受水槽	受水槽給水設備	井水流量計（ＭＰ）の取替え修繕	275,000
			2月7日	竜の広場	トイレ付近	新規BBQエリア開設にあたりシンク移設及び給排水埋設作業	218,500
		放送設備維持修繕	3月1日	展望テラス・穂高口	放送制御盤	落雷の被害を受けた基板の取替え修繕	470,000
		電話設備維持修繕	7月17日	管理センター	電話交換機	電話回線の点検・調査・修繕	114,000
		設備維持その他修繕	3月7日	あづみの学校	映像装置	プロジェクター用ランプ交換	230,000
合計							8,820,938

修繕履歴（平成29年度）

【 大町･松川 地区 】

工種	種別	細目	実施日	実施場所	対象箇所	作業内容	金額（円）
建物管理	建物維持修繕	管理棟修繕	4月1日	大草原の家	デッキ	デッキの根太の部分修繕作業	120,371
			4月20日	大草原の家	デッキ	デッキの根太の部分修繕作業	72,000
			7月1日 1月14日	インフォメーションセンター･休憩棟･レンタル棟･森の体験舎･大草原の家･森のゲート	自動扉	自動ドア装置保守点検２５台　年2回点検	412,000
			4月9日	森の体験舎	扉	森の体験者建物扉及び建具修繕作業	94,000
			7月2日	森の体験舎大炉	周囲ネット	森の体験舎大屋根下サル除けネット設置作業	270,000
			7月13日	インフォメーションセンター	自動扉	インフォメーションセンター休憩所ガラス修繕作業	88,000
			7月20日	大草原の家	床マット	大草原の家広間用敷きマット189枚更新	116,764
			9月10日	大草原の家、休憩棟	デッキ手摺	大草原の家デッキ及び休憩棟樋修繕	77,000
			3月10日	大草原の家	デッキ	デッキの根太の部分修繕作業	155,000
		車庫･倉庫修繕					
		便所修繕	11月26日	駐車場･入口広場･デイキャンプ場及び炊事棟･各トイレ･水飲み場･ＭＴＢ	便所	冬季閉鎖トイレ　自動手洗い、混合栓分解水抜き及び蛇口の取り外し作業･便器内凍結防止用不凍液給水作業･水飲み場	220,000
		その他維持修繕	4月2日	炭焼小屋	小屋	炭焼小屋釜小屋側基礎補強作業	225,000
			5月2日	炭焼小屋	小屋	炭焼小屋前室側基礎補強作業	132,000
			5月26日	炭焼小屋	小屋	炭焼き小屋　屋根葺き作業	136,000
			4月1日	インフォメーションセンター	公衆無線LAN	来園者の利便性を図るためWIFIフリースポット構築	270,000
			7月2日	インフォメーションセンター	照明	インフォメーションセンター照明設備修繕作業	35,000
	建物設備維持修繕	空調設備維持修繕	4月1日	インフォメーションセンター	空調設備	空調設備圧縮機№1修繕	270,000
			3月1日	インフォメーションセンター	空調設備	空調設備圧縮機№2修繕	270,000
			6月6日	インフォメーションセンター･休憩棟･森の体験舎･大草原の家	空調設備	インフォメーションセンター、休憩棟、森の体験舎大草原の家エアコンフィルター２１基２６枚清掃	69,047
			1月8日	インフォメーションセンター･休憩棟･森の体験舎･大草原の家	空調設備	エアコンフイルター清掃	50,700
			1月20日	休憩棟･森の体験舎･大草原の家･森のゲート	空調設備	森の体験舎･大草原の家･森のゲート窓、結露防止ヒーター清掃	180,000
			4月1日	休憩棟･森の体験舎･大草原の家	空調設備	建物ガス供給設備の安全弁が交換期限を過ぎているため、交換作業	79,000
			11月10日	休憩棟･森の体験舎･大草原の家	空調設備	建物ガス設備各供給用調整器交換作業	276,000
			10月25日	インフォメーションセンター･森の体験舎･大草原の家･森のゲート･レンタル棟･休憩棟	空調設備	空調設備保守点検作業 空冷式パッケージ空調機３基･バスマルチパッケージ空気調和器１基･空冷式パッケージ空調機１基ルームエアコン１基･空冷式パッケージ空調機１基･蓄熱ユニット１基･･空冷式パッケージヒートポンプ式空調機１基･ガスマルチパッケージ空気調機２基･ガスマルチパッケージ空気調機３基	667,000
			1月5日	大草原の家 インフォメーションセンター	空調設備	大草原の家休憩スペース広間及びインフォメーションセンター多目的ホール空調設備熱交換器フィルター洗浄定期作業	115,000
			1月5日	休憩棟	空調設備	休憩棟空調設備部品交換作業	63,000
		消防設備維持修繕					
		その他維持修繕					
工作物管理	工作物維持修繕	園路広場修繕	4月1日	第一駐車場トイレ横	マンホール	駐車場トイレ横マンホール修繕	70,000
			4月26日	あづみの苑池	園路	園路砕石敷き均し作業	78,000
			5月21日	大草原の家前	広場	大草原の家前洗い砂運搬敷き均し作業	84,874
			4月1日	デイキャンプ場入口	園路	デイキャンプ場トイレ前歩道陥没修繕外作業	277,674
			5月30日	休憩棟	サイン	休憩棟看板製作設置作業	56,000
			4月20日	ＭＴＢ	ロープ柵	ＭＴＢコース横、水路周りロープ柵設置作業	150,000
			4月2日	ＭＴＢ	ＭＴＢコース	ＭＴＢコース整備作業	180,600
			6月4日	ＭＴＢ	ＭＴＢコース	ＭＴＢコース敷き砂搬入作業	8,400
			7月2日	ＭＴＢ	ＭＴＢコース	MTBコース砂入れ敷均し修繕	261,000
			7月23日	ＭＴＢ	ＭＴＢコース	MTBパンプトラックコース雨水対策作業1	139,000
			9月1日	ＭＴＢ	ＭＴＢコース	ＭＴＢパンプトラックコース雨水対策作業2	268,000
			4月17日	園路沿い	ベンチ	園内ベンチ17基　部分塗装作業	232,000

工種	種別	細目	実施日	実施場所	対象箇所	作業内容	金額（円）
		遊具維持修繕	8月14日	大草原の家	遊具	大草原の家ネット遊具定期点検1式	267,000
			9月1日	アルプス広場･空中回廊	遊具	林間アスレチック遊具･くもの巣遊具等定期点検1式	260,000
			4月2日	アルプス広場	遊具	サイバーホイール2基更新	207,800
			4月20日	大草原の家	遊具	ボールプール用ボール補充作業	42,000
			7月2日	アルプス大草原	仮設物	夏休み期間、水遊び場仮設プール設置 12m×6m×0.3m	450,000
			1月14日	デイキャンプ場	遊具	アイススライダー土台設置作業	396,000
		その他維持修繕	4月5日	空中回廊	サイン	空中回廊動物の足跡塗装作業	76,000
			5月10日	農業用水路	農業用水路	砥沢堰　用水路漏水応急修繕	50,000
			8月1日	電気柵下部	柵	防獣ネット張り作業(OM)	48,000
			8月25日	各喫煙所	灰皿	スタンド灰皿修繕作業作業	45,000
	設備維持修繕	電気設備維持修繕	6月4日	炭焼き小屋	電気配線	炭焼き小屋 電源100Ｖ引き込み作業	170,000
			7月10日	大草原の家前	電気配線	大草原の家仮設更衣室電源引き込み作業	30,325
		水道設備維持修繕	4月～3月	上水受水槽　井戸	受水槽設備	受水槽給水設備点検４月～３月　年１２回	285,000
			6月1日	上水受水槽　井戸	給水設備	落雷による給水設備臨時点検及び応急復旧作業	130,000
			7月6日	Ｂ駐車場	給水設備	仮設シャワー用給排水配管接続撤去作業	108,000
			7月12日	Ｂ駐車場	給水設備	仮設シャワー用給湯器ガス配管接続撤去作業	8,000
			6月15日	上水受水槽　井戸	受水槽設備	受水槽用塩素剤外フイルター交換	36,000
			7月2日	河畔広場	給水設備	河畔広場仮設トイレ用給水配管設置作業	115,000
		水循環設備維持修繕	7月15日	れき原花壇	散水設備	花畑用散水設備修繕	51,500
		放送設備維持修繕					
		電話設備維持修繕					
		汚水処理設備維持修繕					
		展示設備維持修繕	9月10日	インフォメーションセンター	展示装置	展示装置プロジェクターランプユニット交換	120,000
		その他維持修繕					
合計							9,164,055

修繕履歴（平成30年度）

【 堀金・穂高 地区 】

工種	種別	細目	実施日	実施場所	対象箇所	作業内容	金額（円）
建物管理	建物維持修繕	管理棟修繕	7月2日	ガイドセンター、管理センター	自動ドア	ナブコ自動ドア保守点検業務自動ドア9台（年2回）	145,000
			8月2日	あづみの学校 穂高口ゲート	自動ドア	寺岡自動ドア保守点検業務7台（年2回）	119,000
			4月19日	野の休憩所	屋根	野の休憩所屋根外修繕	55,000
			9月1日	あづみの学校	椅子	あづみの学校観覧室座席留め金具修繕	16,500
		便所修繕	4月1日	ガイドセンター、野の休憩所	便器	ガイドセンター内便器の修繕及び野の休憩所女子フラッシュバルブ交換	13,500
			4月18日	懐かしの風景エリア	便所	バイオトイレ点検修理	95,000
			5月1日	ガイドセンター	便器	女子大便器のフラッシュバルブ交換	8,500
			6月12日	穂高口	便器	穂高口子供用小便器の自動洗浄弁の修繕	28,000
	建物設備維持修繕	空調設備維持修繕	10月9日	穂高口	空調設備	穂高口ボイラー設備の点検作業	46,140
			4/5、10/15	あづみの学校	空調設備	年2回の、冷温水発生機冷暖房切替点検作業	717,000
			11月5日	あづみの学校	空調設備	ｻﾝﾖｰ製GHPエアコン定期点検	219,800
			10月30日	ガイドセンター横レストラン側	空調設備	アイシン製ＧＨＰエアコン定期点検	125,800
			4月1日	あづみの学校、ガイドセンター、管理センター	空調設備	各空調設備フィルター清掃作業	250,000
			6月1日	ガイドセンター、レストラン	空調設備	ガイドセンター横ＧＨＰ用ガスメーター取替作業	89,800
			9月7日	あづみの学校	空調設備	そば部屋エアコン修繕	98,000
			10月5日	ガイドセンター、レストラン	空調設備	ガイドセンター、レストラン供給のガスメーター取替作業	156,000
		消防設備修繕					
		建物設備その他修繕	6月4日	あづみの学校	魚類飼育設備	ﾌﾞﾛﾜｰNO.1Vベルト・チャッキ弁交換、ブロワーポンプ用グリス購入	43,500
			7月2日	あづみの学校	地下タンク	危険物地下貯蔵タンクの漏洩検査	70,000
			10月29日	ガイドセンター	照明	ガイドセンター内照明安定器取替作業	146,000
			6月22日	あづみの学校	照明	照明器具取替	37,000
			10月28日	あづみの学校	照明	シームレスラインランプ、蛍光灯、ハロゲンランプ、メタルハライドランプ交換	149,650
工作物管理	工作物維持修繕	園路広場修繕	5月10日	里山文化ゾーン	側溝	グレーチングキャップ取付	14,951
			4月5日	竜の広場	トイレ横	BBQエリア看板製作設置	11,500
			4月19日	マレットゴルフ場	看板	マレットゴルフ・ホール看板支柱取替え	95,000
			4月5日	マレットゴルフ場	柵	マレットゴルフ・ホール周囲ネット設置	12,732
			6月9日	里山文化ゾーン	日除け	パーゴラ仮設日よけ資材設置作業	63,264
		遊具維持修繕	7月1日	段々池	だんだん池	水遊び場の水質検査7月2回8月2回（計4回実施）	44,000
			9月25日	河畔の広場	遊具	ﾏｼｭﾏﾛﾄﾞｰﾑの定期点検	240,000
			9月3日	冒険の森	遊具	子供の森・冒険の森遊具の定期点検	165,400
			4月1日	野原	遊具	サイバーホイール大型3個更新	312,000
			7月6日	だんだん池	遊具	だんだん池すべり台ＦＲＰ部分修繕	20,000
			7月13日	だんだん池	遊具	だんだん池水遊び用プール器具設置作業	9,932
		工作物維持	4月1日	段々花畑	展示	鯉のぼり設置・撤去作業　ＧＷ期間２本の松の木の高木にワイヤーを取付鯉のぼりを設置・撤去する作業	275,521
			4月1日	穂高口	犬係留	ドッグパーキング3基製作	114,000
	設備維持修繕	電気設備維持修繕	11月1日	第一駐車場	外灯	管理センター前外灯安定器取替作業	19,351
			9月20日	段々花畑	分電盤	野の休憩所前、仮設電源の設置作業	110,500
		水道設備維持修繕	5月7日	受水槽	受水槽給水設備	加圧給水ユニットの点検	38,000
			4月～10月	受水槽	受水槽給水設備	受水槽給水設備・滅菌器点検12回　(4月～11月)	96,000
			6月20日	受水槽	受水槽給水設備	フイルターエレメント外1点	42,700
			7月2日	トイレ	量水器	故障した電子式水道メーター6カ所の更新取換作業	848,000

工種	種別	細目	実施日	実施場所	対象箇所	作業内容	金額（円）
			7月6日	水辺のトイレ	給水設備	BBQコーナーシンク給水管修繕	12,000
		放送設備維持修繕					
		電話設備維持修繕	8月21日	管理センター	電話ＰＨＳ	内線用携帯ＰＨＳ更新	66,000
		設備維持その他修繕	5月7日	竜の広場	汚水設備	汚水マンホールポンプ点検調査	32,500
合計							5,272,541

修繕履歴（平成30年度）

【 大町･松川 地区 】

工種	種別	細目	実施日	実施場所	対象箇所	作業内容	金額（円）
建物管理	建物維持修繕	管理棟修繕	4月1日	大草原の家	床　デッキ	デッキの根太の部分修繕	250,000
			5月13日	大草原の家	床　デッキ	大草原の家デッキ修繕及び体験舎照明下地取付作業	272,000
			7月1日	インフォメーションセンター･休憩棟･レンタル棟･森の体験舎･大草原の家･森のゲート	自動扉	自動ドア装置保守点検２５台　１回目	206,000
			10月30日	森の体験舎	床　デッキ	デッキの根太の部分修繕	64,000
			4月20日	森の体験舎大炉	周囲ネット	森の体験舎サル除けネット吊りパイプ補修作業	47,000
			5月20日	大草原の家、体験舎	床、階段	森の体験舎･大草原の家施設点検業務	275,000
			5月20日	森の体験舎	照明	森の体験舎照明設備改修作業	264,400
			5月30日	大草原の家、体験舎	床、階段	森の体験舎･大草原の家施設点検業務報告書作成	96,871
			6月3日	森の体験舎	照明	森の体験舎照明設備改修追加作業	156,240
		車庫･倉庫修繕	4月1日	河畔広場、体験舎	四阿、壁	四阿塗装外作及び体験舎壁羽目板修繕	85,000
		便所修繕	4月1日	アルプス広場トイレ	不凍栓	アルプス広場トイレ凍結防止用不凍栓等交換	157,000
		その他維持修繕	7月～8月	仮設トイレ	仮設物	河畔広場トイレ及び更衣室夏期レンタル	203,250
			10月29日	インフォメーションセンター	壁装飾	展示室森の美術館壁面ロウ造形補修	160,000
	建物設備維持修繕	空調設備維持修繕	9月2日	インフォメーションセンター･休憩棟･森の体験舎･大草原の家	空調設備	インフォメーションセンター、休憩棟、森の体験舎大草原の家エアコンフィルター２１基２６枚清掃	61,000
			7月8日	インフォメーションセンター･休憩棟･森の体験舎･大草原の家	空調設備	エアコンフイルター清掃	54,000
			4月1日	大草原の家 インフォメーションセンター	空調設備	大草原の家休憩スペース広間及びインフォメーションセンター多目的ホール空調設備熱交換器フィルター洗浄定期作業	166,800
			9月2日	森の体験舎	空調設備	休憩棟空調設備故障部品交換作業	21,600
		消防設備維持修繕	6月8日	森の体験舎	消防設備	森の体験舎外消火器１０型７本更新	37,510
			6月9日	森の体験舎、大草原の家	消防設備	プロパン貯蔵所用消火器２０型２本更新	31,113
			9月11日	休憩棟	消防設備	休憩棟テラス火災感知器2個取替え作業	64,500
			10月31日	管理センター横、駐車場	消防設備	屋外用消防ホース5本更新	90,176
		その他維持修繕					
工作物管理	工作物維持修繕	園路広場修繕	4月4日	ＭＴＢ	ＭＴＢコース	ＭＴＢコース準備整備作業	195,825
			7月7日	ＭＴＢ	ＭＴＢコース	ＭＴＢコース整備作業	17,850
			4月1日	ＭＴＢ	ＭＴＢコース	MTBコース走行路盤修繕作業	269,000
			7月31日	ＭＴＢ	ＭＴＢコース	ＭＴＢ周囲防獣対策用材料取付	252,933
			4月18日	ＭＴＢ、自然体験ゾーン	ＭＴＢ、細園路	MTBフロートレイルコース及び細園路チップ整備作業	271,000
			4月2日	ＭＴＢ	ＭＴＢコース	MTB路面整備作業	7,900
			4月20日	森の体験舎、デイキャンプ場	園路	大炉床、キャンプ場アスファルト合材アスファルト舗装修繕作業	50,000
			4月6日	ＭＴＢ	ＭＴＢコース	パンプトラック及びポタリング走行路盤修繕作業	270,000
			9月21日	ＭＴＢ	ＭＴＢコース	フロートレイルコース修繕作業	99,000
			7月1日	ＭＴＢ	ＭＴＢコース	ポターリングコース園路土砂移設作業	47,000
			4月1日	園路沿い	ベンチ、テーブル	テーブル･ベンチ塗装作業	220,000
			4月1日	園路沿い	サイン	案内看板脚部塗装作業	160,000
			5月25日	ＭＴＢ周囲	柵	防獣ネット張り作業	168,000
			4月1日	林間アスレチック	広場	遊具周囲クッション用チップ敷均し作業	137,000
		遊具維持修繕	8月19日	大草原の家	遊具	大草原の家ネット遊具定期点検1式	271,000
			8月5日	アルプス広場･空中回廊	遊具	林間アスレチック遊具･くもの巣遊具等定期点検1式	260,000
			4月2日	アルプス広場	遊具	サイバーホイール2基更新	208,000
			4月8日	大草原の家	遊具	ボールプール用ボール補充作業	58,800
			6月1日	アルプス大草原	仮設物	夏休み期間、水遊び場プールレンタル 12m×6m×0.3m	450,000
			8月19日	アルプス大草原	遊具	大草原の家 ﾈｯﾄ遊具アイテムマット2個更新	128,000
		その他維持修繕	4月1日	ＭＴＢ、センター前、休憩棟	犬つなぎ	新規ドッグパーキング1基製作作業	41,000

工種	種別	細目	実施日	実施場所	対象箇所	作業内容	金額（円）
			4月1日	アルプス広場、インフォメーションセンター、休憩棟	水飲み場	水飲み場及びタイル目地等修繕	210,000
			5月12日	ドングリの小道、大草原の家	柵	土止め柵及び大草原の家手摺交換修繕外作業	208,000
			5月13日	休憩棟、大草原の家	犬つなぎ	ドッグパーキング2基修繕作業	30,000
			8月1日	駐車場トイレ前	枕木花壇	入口前花壇（南側）枕木修繕作業	160,000
			9月1日	駐車場トイレ前	枕木花壇	入口前花壇（北側）枕木修繕作業	165,000
			7月30日	ＭＴＢ	雨水排水	MTBコース内水路補修作業	150,000
	設備維持修繕	電気設備維持修繕					
		水道設備維持修繕	4月～10月	上水受水槽　井戸	受水槽設備	受水槽給水設備点検4月～10月	166,250
			7月1日	Ｂ駐車場	給水設備	仮設シャワー用給排水配管接続撤去作業	10,965
			7月1日	Ｂ駐車場	給水設備	仮設シャワー用給湯器ガス配管接続撤去作業	55,000
			6月10日	上水受水槽　井戸	受水槽設備	受水槽用塩素剤外フイルター交換	42,700
			7月1日	河畔広場	給水設備	河畔広場仮設トイレ用給水配管設置作業	46,000
		水循環設備維持修繕	8月19日	れき原花壇	散水設備	レキ原花畑スプリンクラー散水設備修繕	41,000
		放送設備維持修繕					
		電話設備維持修繕					
		汚水処理設備維持修繕					
		展示設備維持修繕	10月29日	インフォメーションセンター	展示装置	展示施設映像音響機器点検整備作業	275000
		その他維持修繕	4月10日	デイキャンプ場	管理ゲート	駐車場ゲート設備カードリーダー修繕作業	70,000
合計							7,975,683

清掃場所、箇所、内容、方法及び頻度等

■清掃内容、方法、頻度等【 H30 】

［ 堀金・穂高 地区 ］

清掃箇所	実施頻度	備考
公園管理センター、ガイドセンター、あづみの学校、須砂渡口、展望テラス、水辺の休憩所、野の休憩所、穂高口、吊橋前広場休憩所、堀金口、岩原口、四阿、水車小屋	1 回以上/日	但し、巡回中に汚れを発見した場合は、適宜清掃を行う。
ガイドセンター、あづみの学校、穂高口、堀金口	1 回/年	床面シートの定期清掃（ワックス清掃）屋根及び雨樋に堆積した落葉等の除去を行う。
管理センター、ガイドセンター、あづみの学校、須砂渡口、展望テラス、水辺の休憩所、野の休憩所、穂高口、吊橋前広場休憩所、堀金口、岩原口の各トイレ、親水広場トイレ棟、竜の広場トイレ棟、バイオトイレ	1 回以上/日	但し、巡回中に汚れを発見した場合は、適宜清掃を行う。 定期清掃の実施頻度等は年 1 回とし、トイレ内清掃及び屋根、雨樋に堆積した落葉等の除去を行う。
駐車場・主要幹線園路・細園路の路面・排水溝等、水飲み場、池、デッキ等	適宜	園路上の落葉の収集、排水溝の落葉の収集ゴミ・動物のフンの除去清掃を行う。
遊具、ベンチ等	1 回/日	遊具、ベンチ等の拭き掃除を行う。
親水池	9 回/年	川砂の除去及び藻の除去を行う。
展望テラス周辺	2 回/年	落葉や藻の除去を行う。
あづみの学校魚類飼育設備清掃	3 月～12 月:1 回/月 1 月～2 月:実施なし	水が汚れた場合水換えを行うとともに、水槽の壁面清掃を行う。
駐車場・主要幹線園路、細園路・デッキ等	適宜	冬季間の除雪作業を行う。

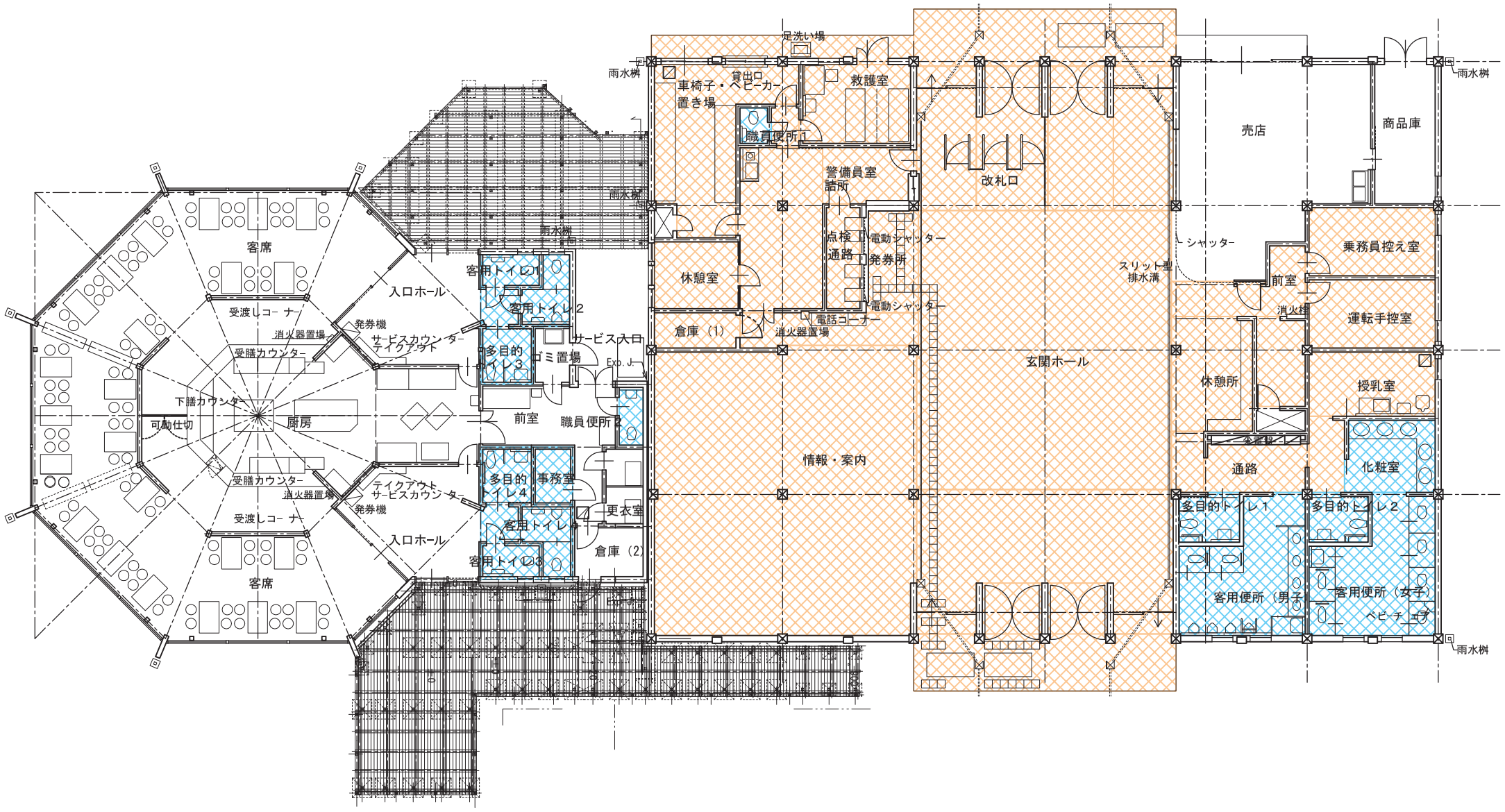
［ 大町・松川 地区 ］

清掃箇所	実施頻度	備考
インフォメーションセンター、休憩棟、レンタル棟、炊事棟、そまびとの家、森の体験舎、大草原の家、森のゲート、休憩所、四阿、ＭＴＢセンター、避難小屋	１回以上/日	但し、巡回中に汚れを発見した場合は、適宜清掃を行う。 避難小屋については、イベント使用前に１回清掃を行う。また、積雪時の屋根の雪は早めに雪下ろしを行う。
インフォメーションセンター、休憩棟、レンタル棟、森の体験舎、大草原の家、森のゲート、ＭＴＢセンター、避難小屋	１回/年	床面シートの定期清掃（ワックス清掃） 屋根及び雨樋に堆積した落葉等の除去を行う。
インフォメーションセンター、駐車場、入口広場、休憩棟、レンタル棟、ディキャンプ場、森の体験舎、大草原の家、森のゲート、彩の森、渓流ピクニック広場、ＭＴＢセンターの各トイレ、バイオトイレ	１回以上/日	但し、巡回中に汚れを発見した場合は、適宜清掃を行う。 定期清掃の実施頻度等は年１回とし、トイレ内清掃及び屋根、雨樋に堆積した落葉等の除去を行う。バイオトイレについては、イベント使用前後に各１回清掃を行う。
駐車場･主要幹線園路･細園路の路面･排水溝等、水飲み場、池、デッキ等	適宜	園路上の落葉の収集、排水溝の落葉の収集ゴミ･動物のフンの除去清掃を行う。
遊具、ベンチ等	１回/日	遊具、ベンチ等の拭き掃除を行う。
あづみの苑池　流れ池	２回/年	落葉や藻の除去を行う。
主要幹線園路、細園路･デッキ等	適宜	冬季間の除雪作業を行う。

凡例

：建物清掃

：トイレ清掃



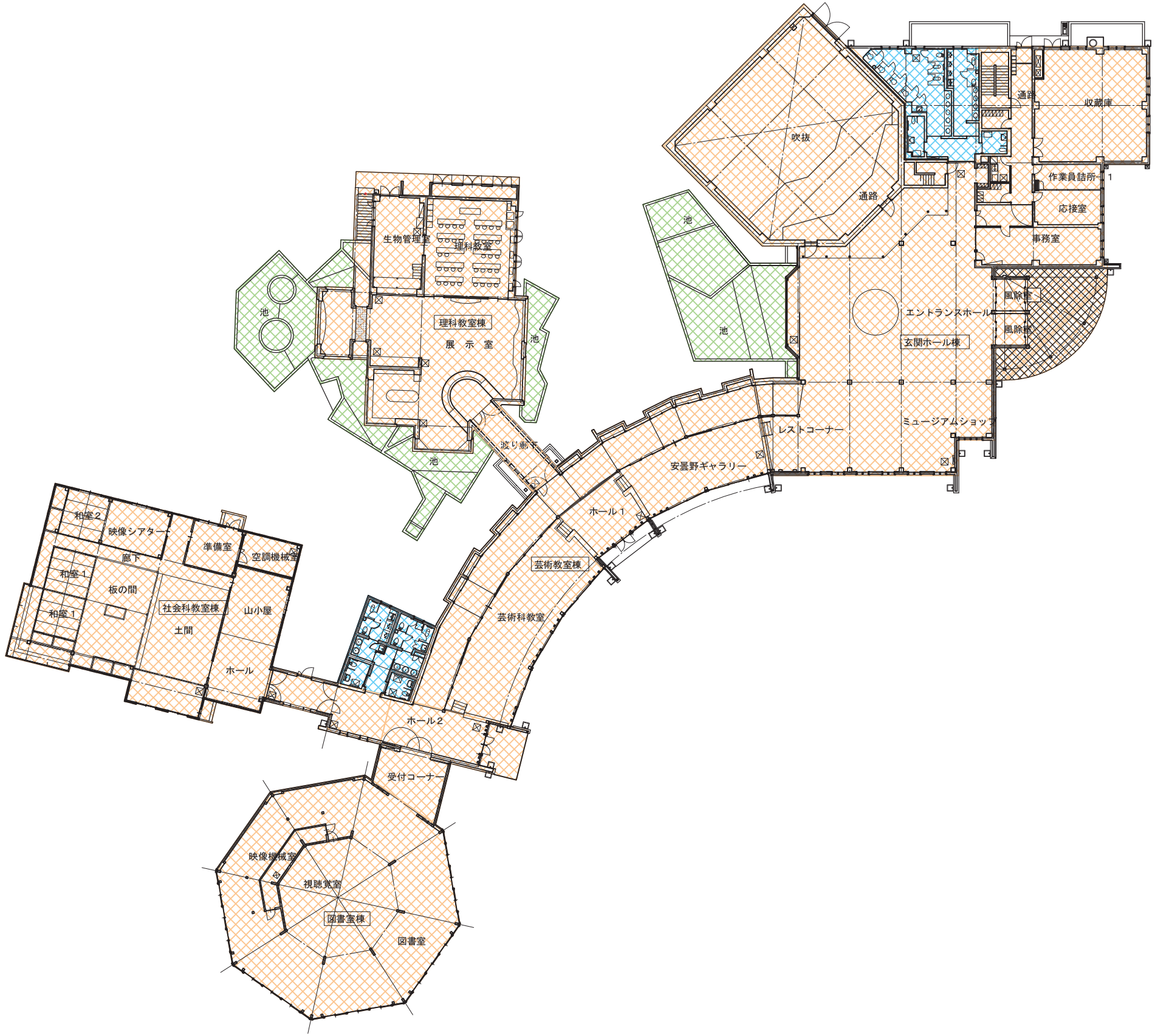
堀金・穂高地区　ガイドセンター清掃区分図

0 1 2 4 6 8 10m

別紙P402

凡例

- ：建物清掃
- ：トイレ清掃
- ：水槽清掃



堀金・穂高地区　あづみの学校清掃区分図

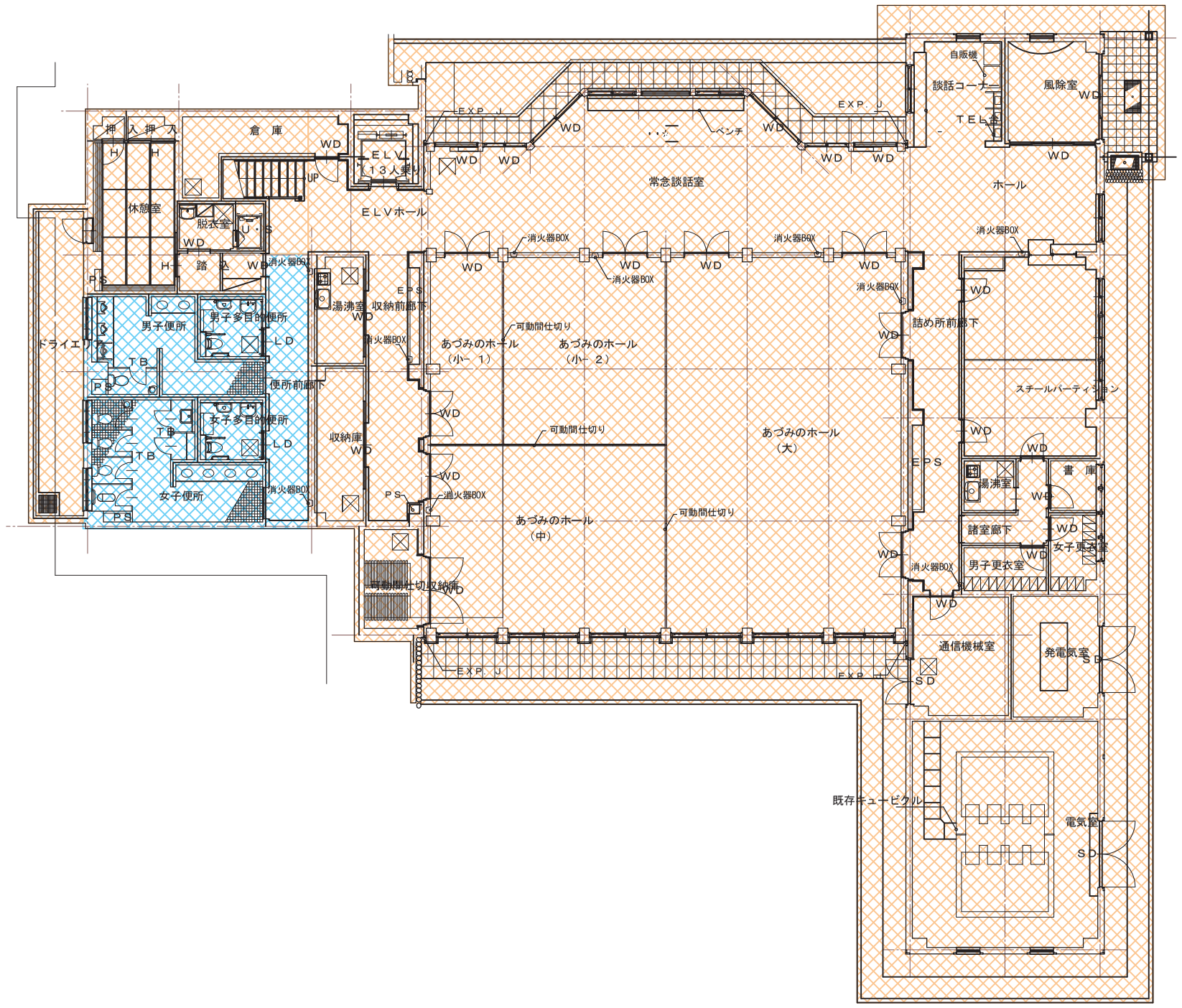
0 2 4 8 12 16 20m

別紙P403

凡例

：建物清掃

：トイレ清掃



堀金・穂高地区　公園管理事務所１階清掃区分図

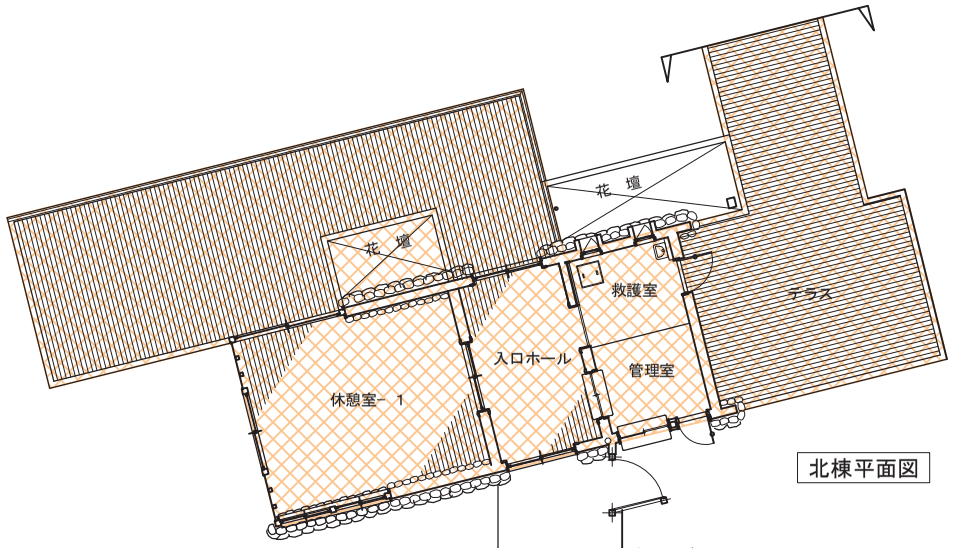
0 1 2 4 6 8 10m

別紙P404

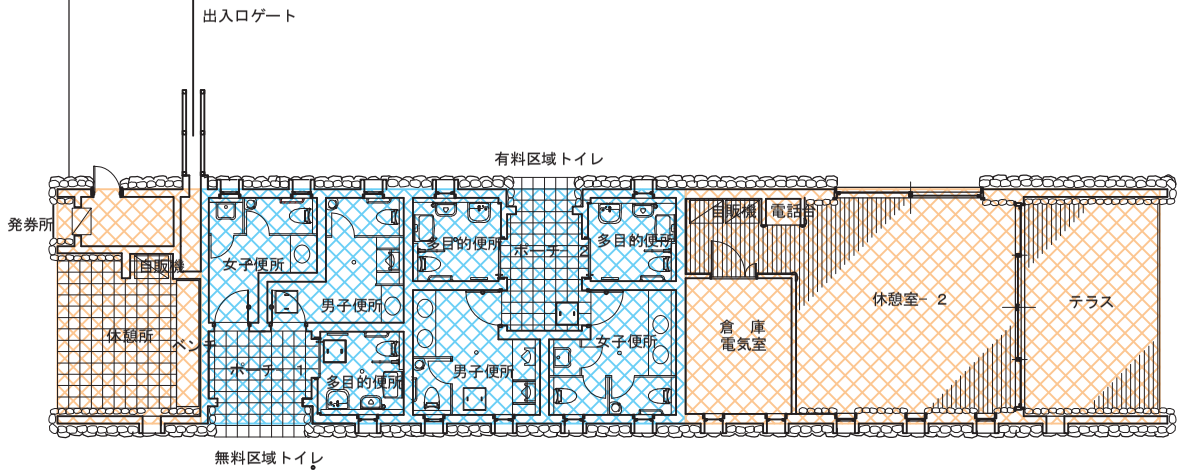
凡例

：建物清掃

：トイレ清掃



北棟平面図



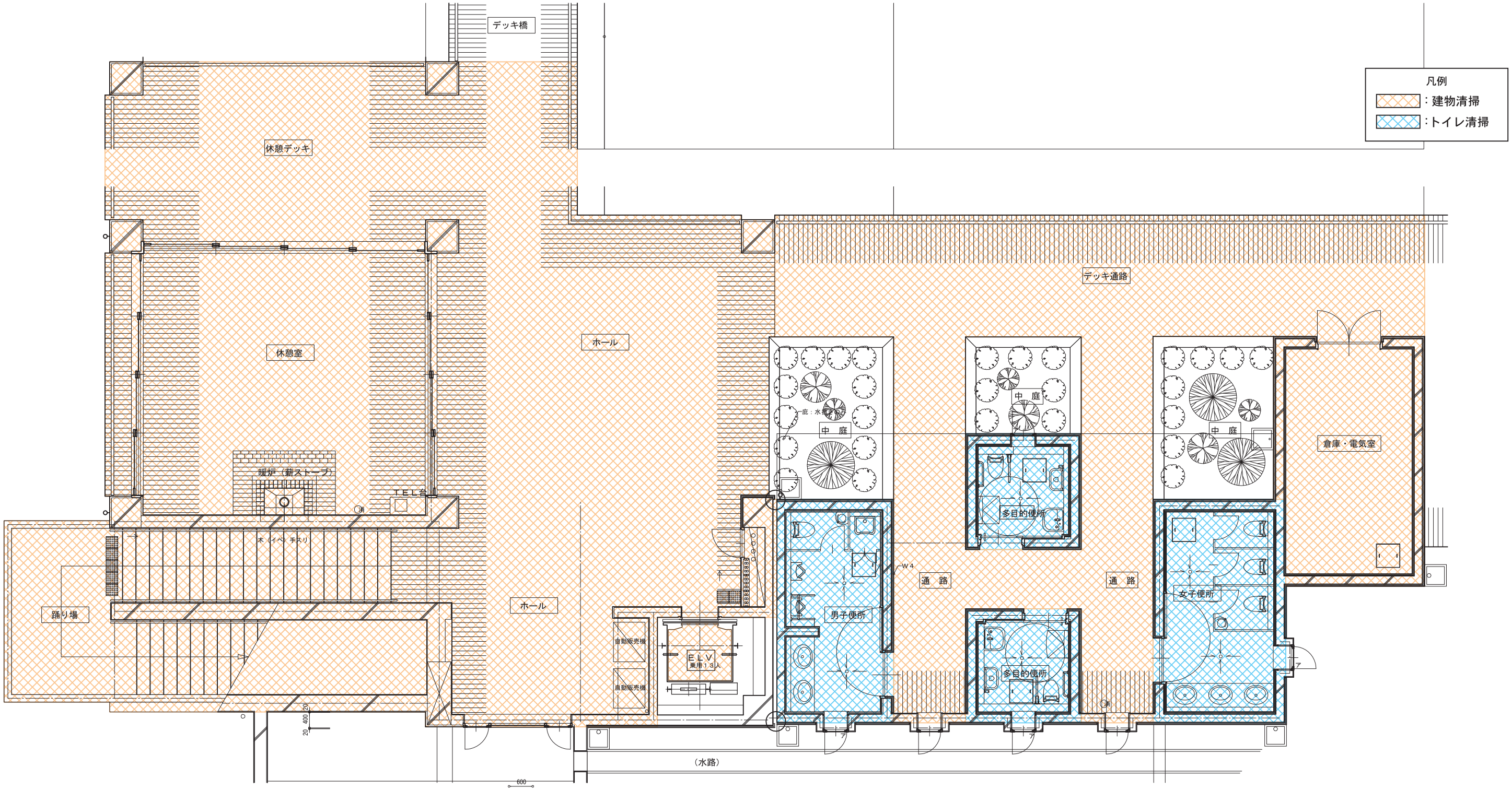
南棟平面図

堀金・穂高地区　須砂渡口清掃区分図

0 1 2 4 6 8 10m

HIKIP405

別紙P406

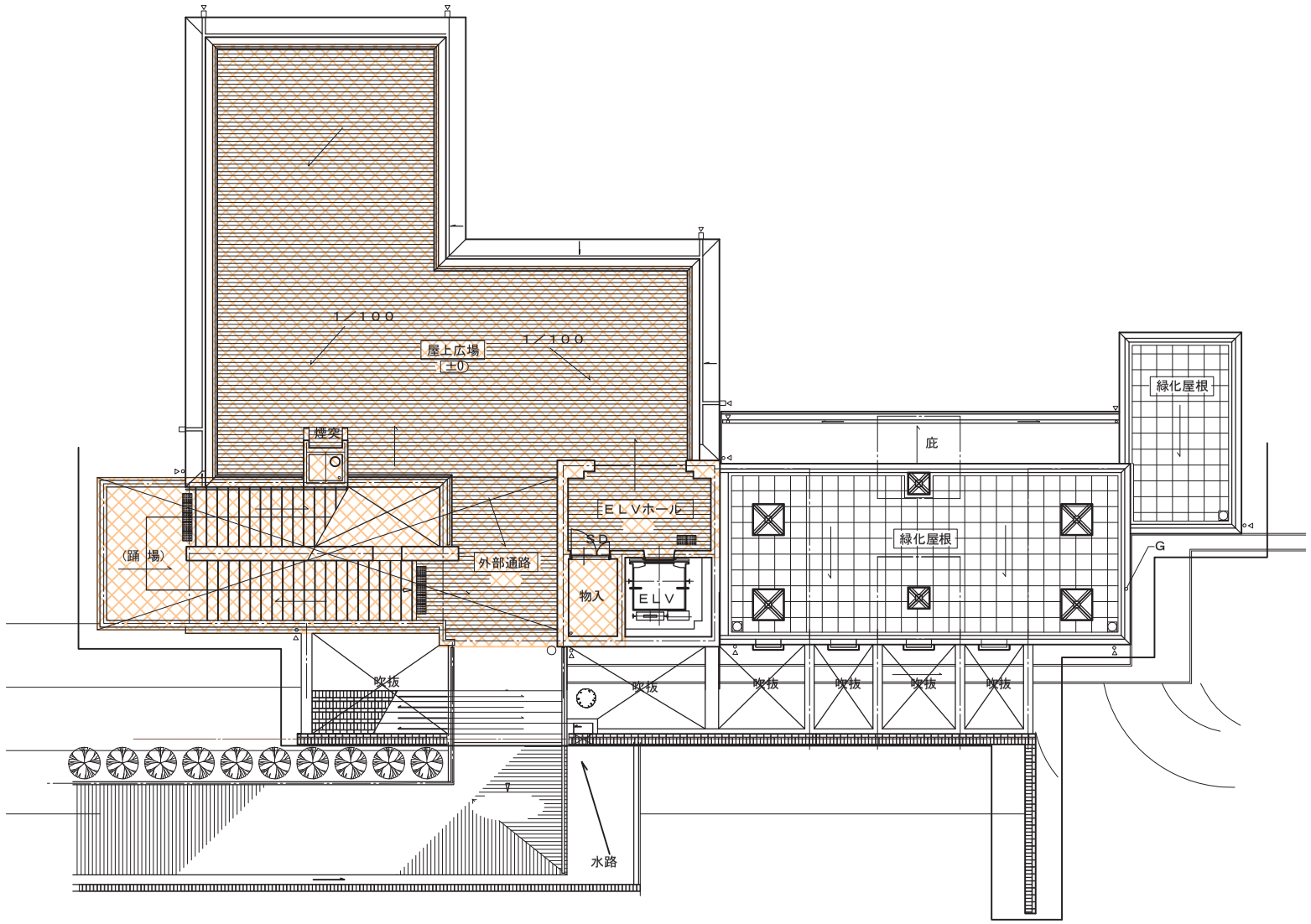


堀金・穂高地区　展望テラス1階清掃区分図

0 0.5 1 2 3 4 5m

凡例

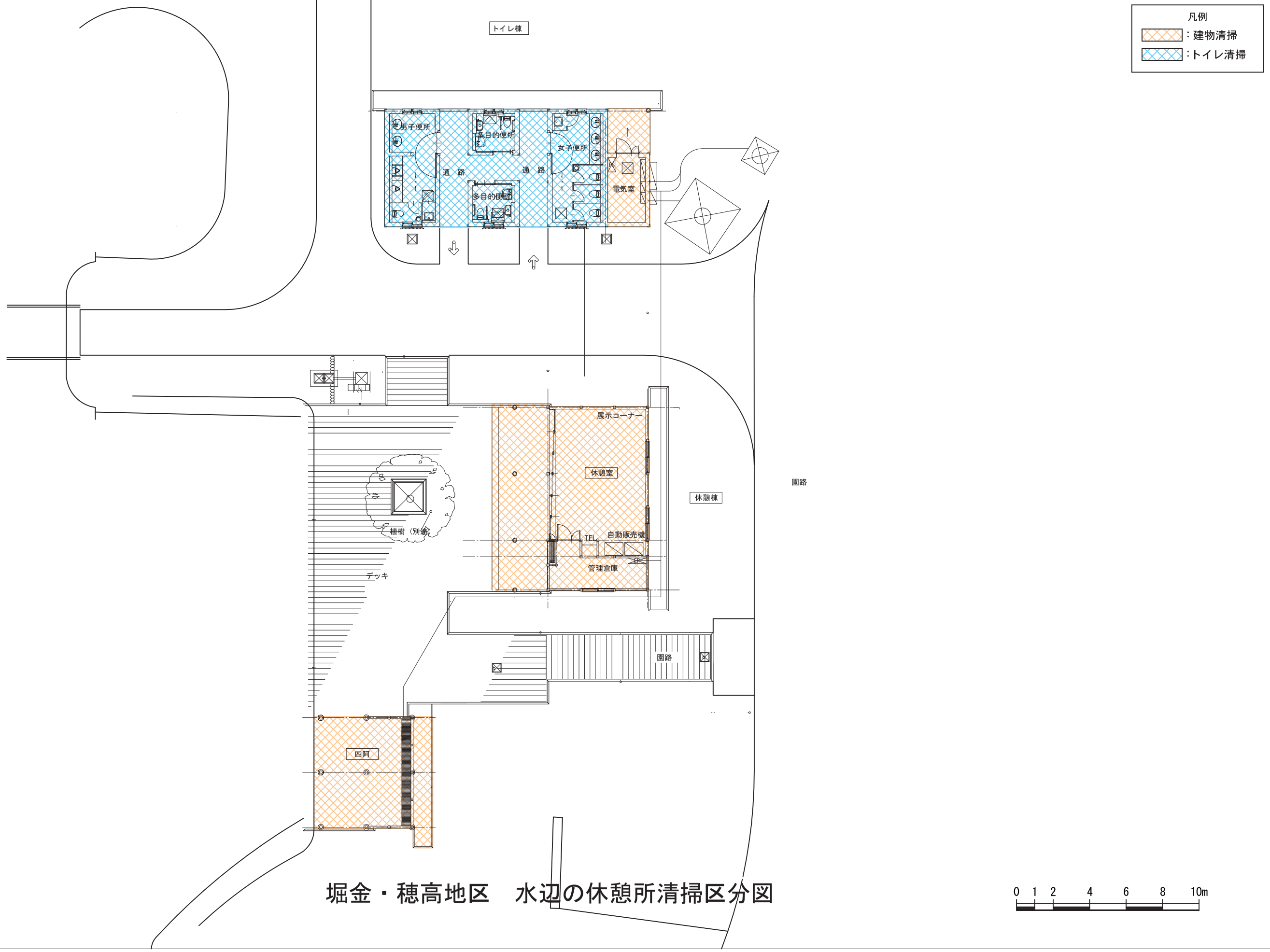
：建物清掃



堀金・穂高地区　展望テラス２階清掃区分図

0 1 2 4 6 8 10m

別紙P407



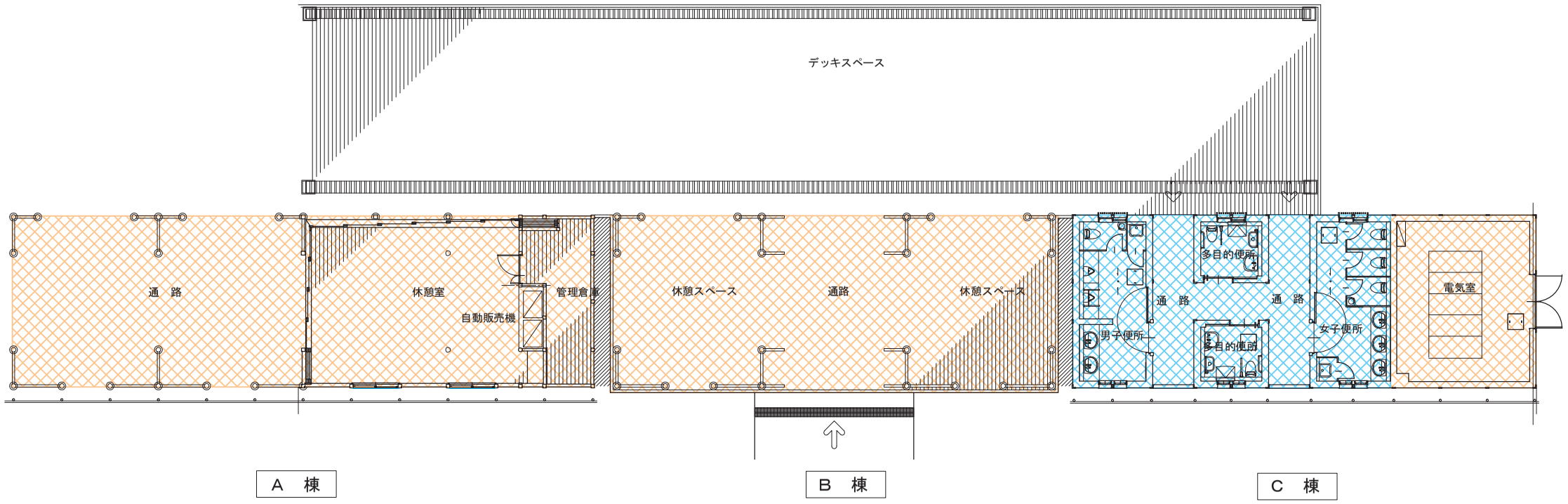
堀金・穂高地区　水辺の休憩所清掃区分図

別紙P408

凡例

：建物清掃

：トイレ清掃



堀金・穂高地区　野の休憩所清掃区分図

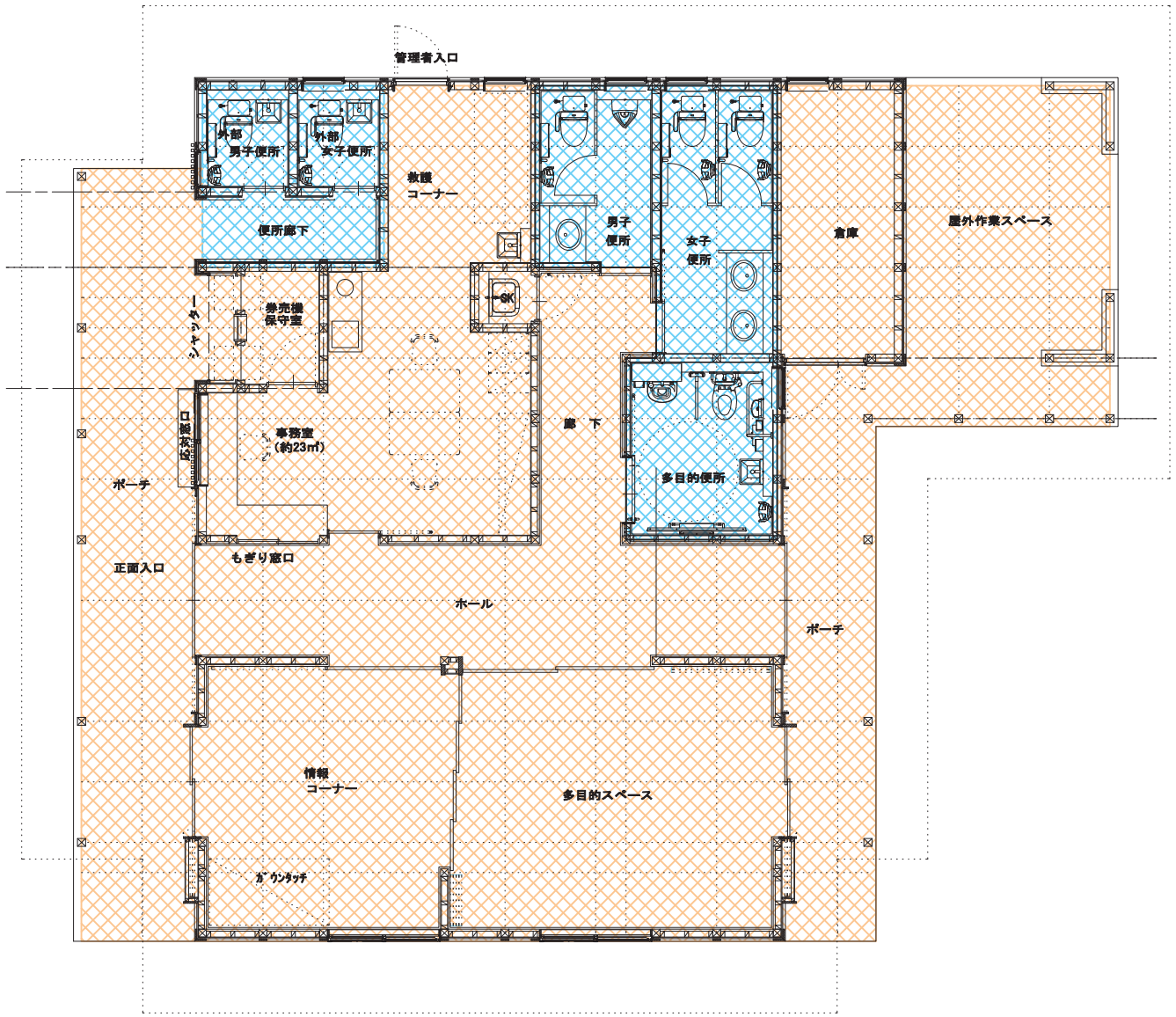
0 1 2 4 6 8 10m

別紙P40-409

凡例

：建物清掃

：トイレ清掃



堀金・穂高地区　里山文化ゾーン管理棟清掃区分図

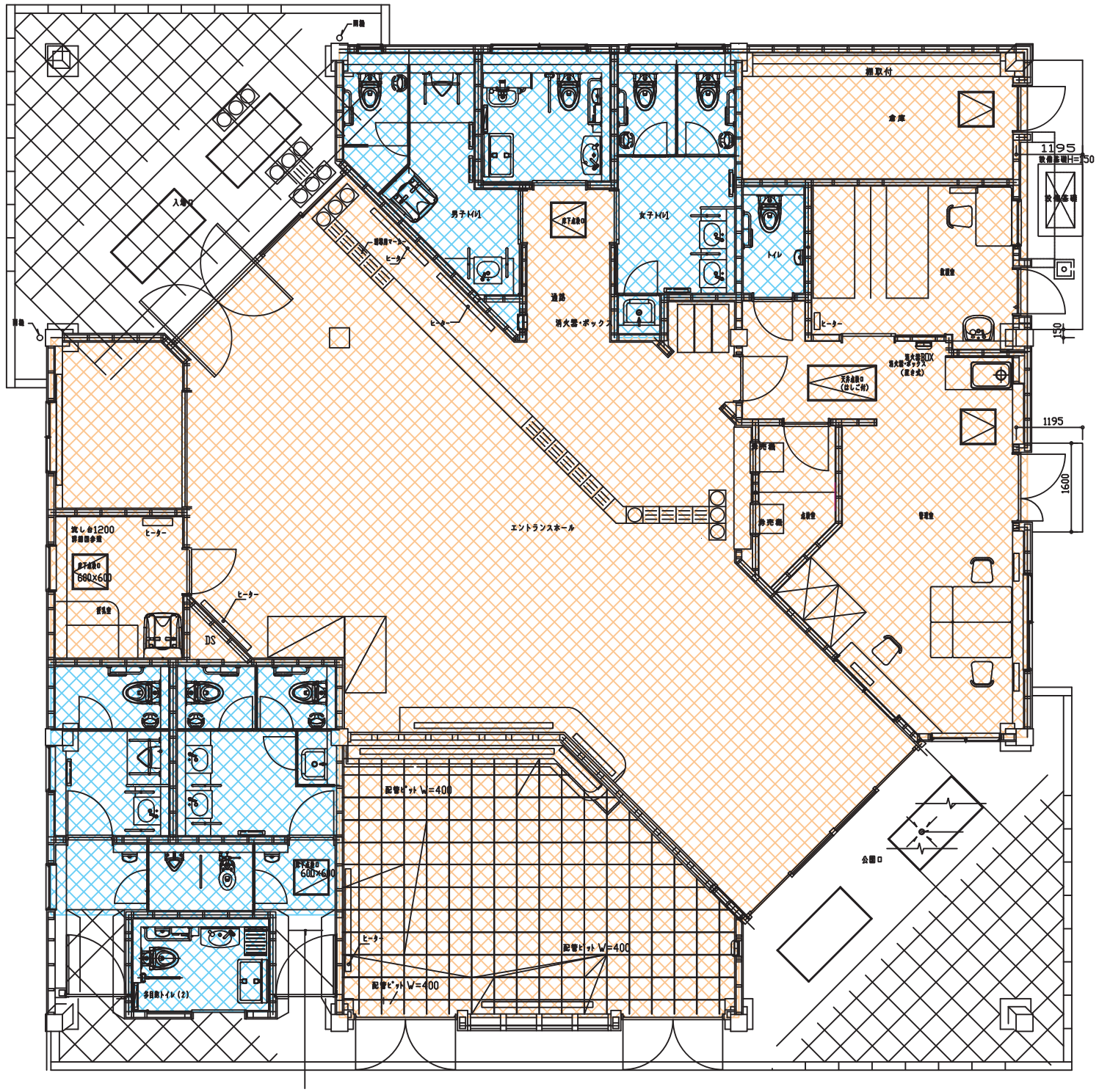
0 0.5 1 2 3 4 5m

別紙P410

凡例

：建物清掃

：トイレ清掃



別紙P411

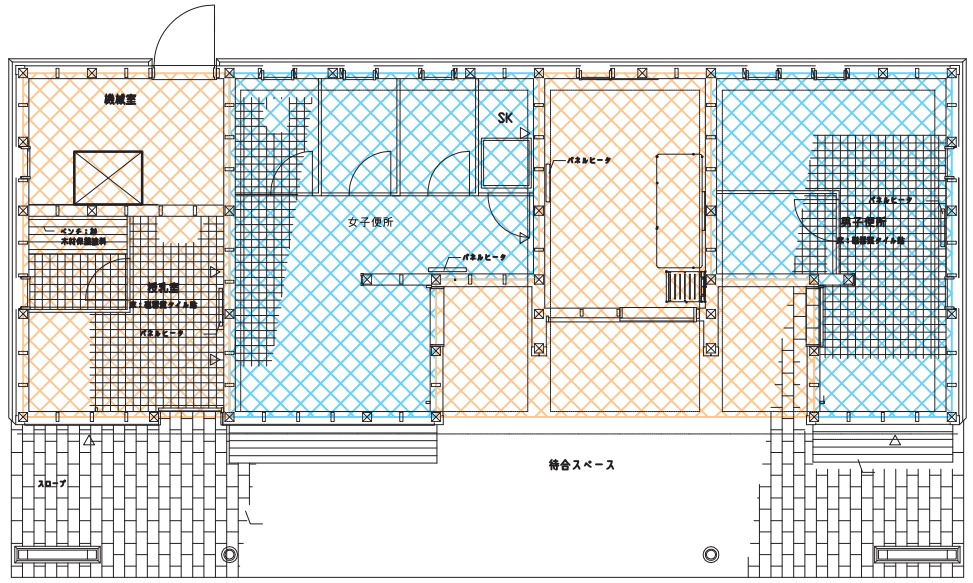
堀金・穂高地区　穂高口清掃区分図

0 0.5 1 2 3 4 5m

凡例

：建物清掃

：トイレ清掃



堀金・穂高地区　烏川休憩所清掃区分図

0 0.5 1 2 3 4 5m

別紙P412

大町・松川地区　インフォメーションセンター清掃区分図

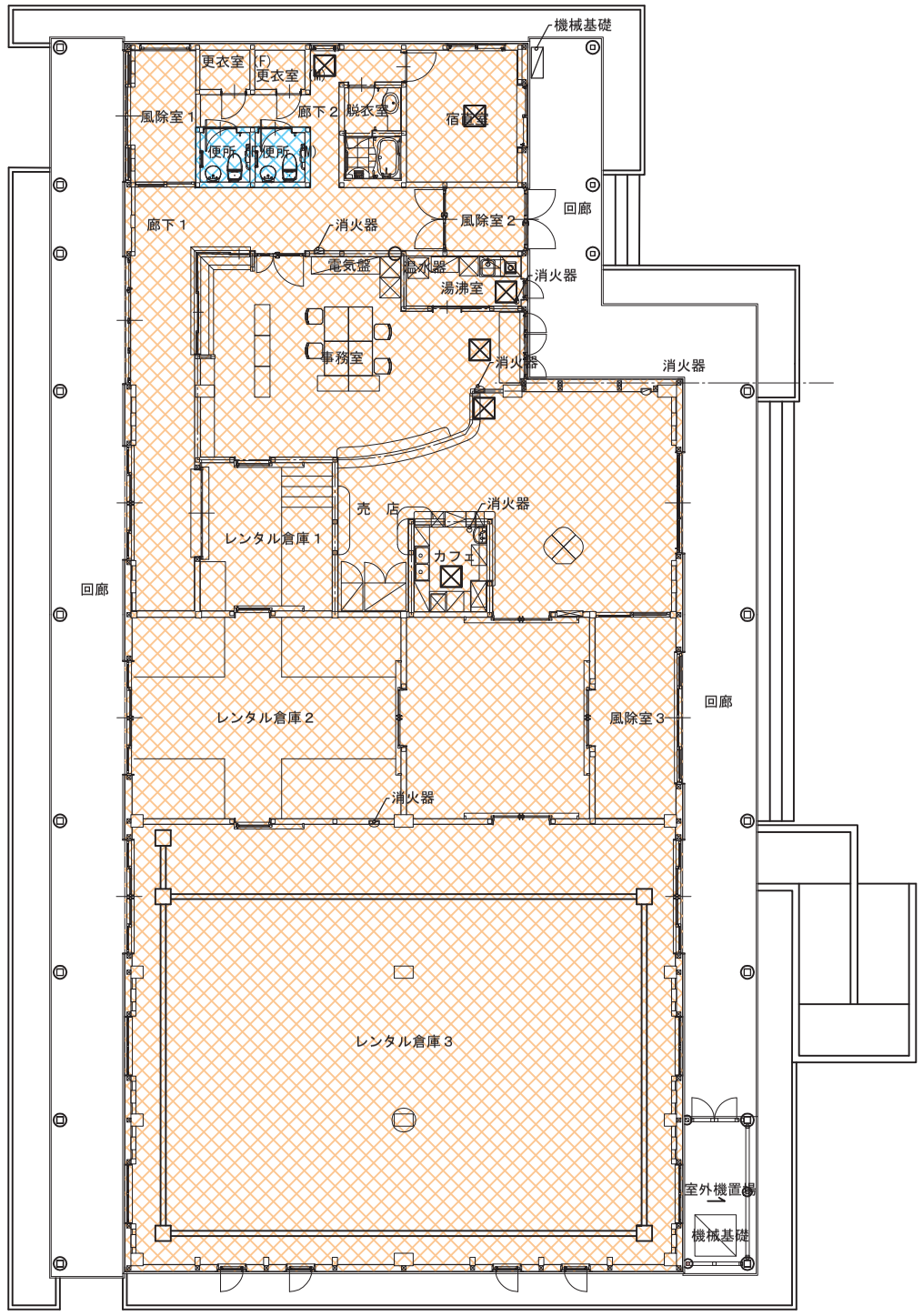
0 1.5 3 6 9 12 15m

別紙P413

凡例

：建物清掃

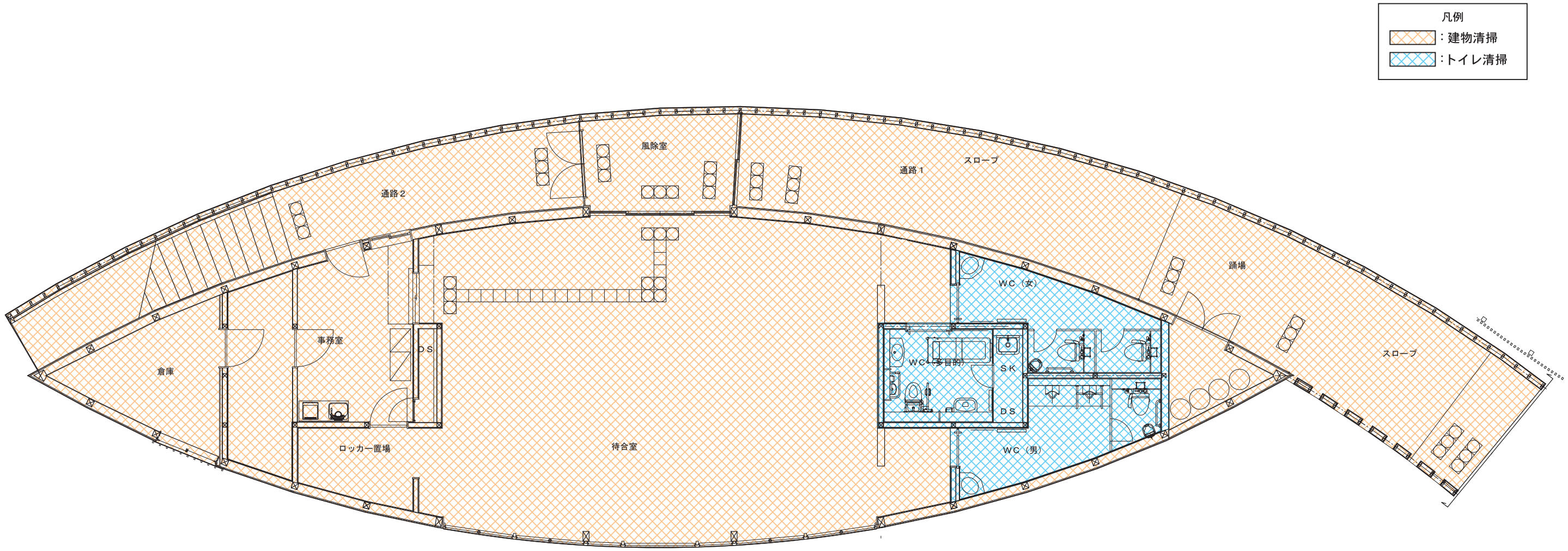
：トイレ清掃



大町・松川地区　レンタル棟清掃区分図

0　1　2　4　6　8　10m

別紙P414



大町・松川地区　森のゲート清掃区分図

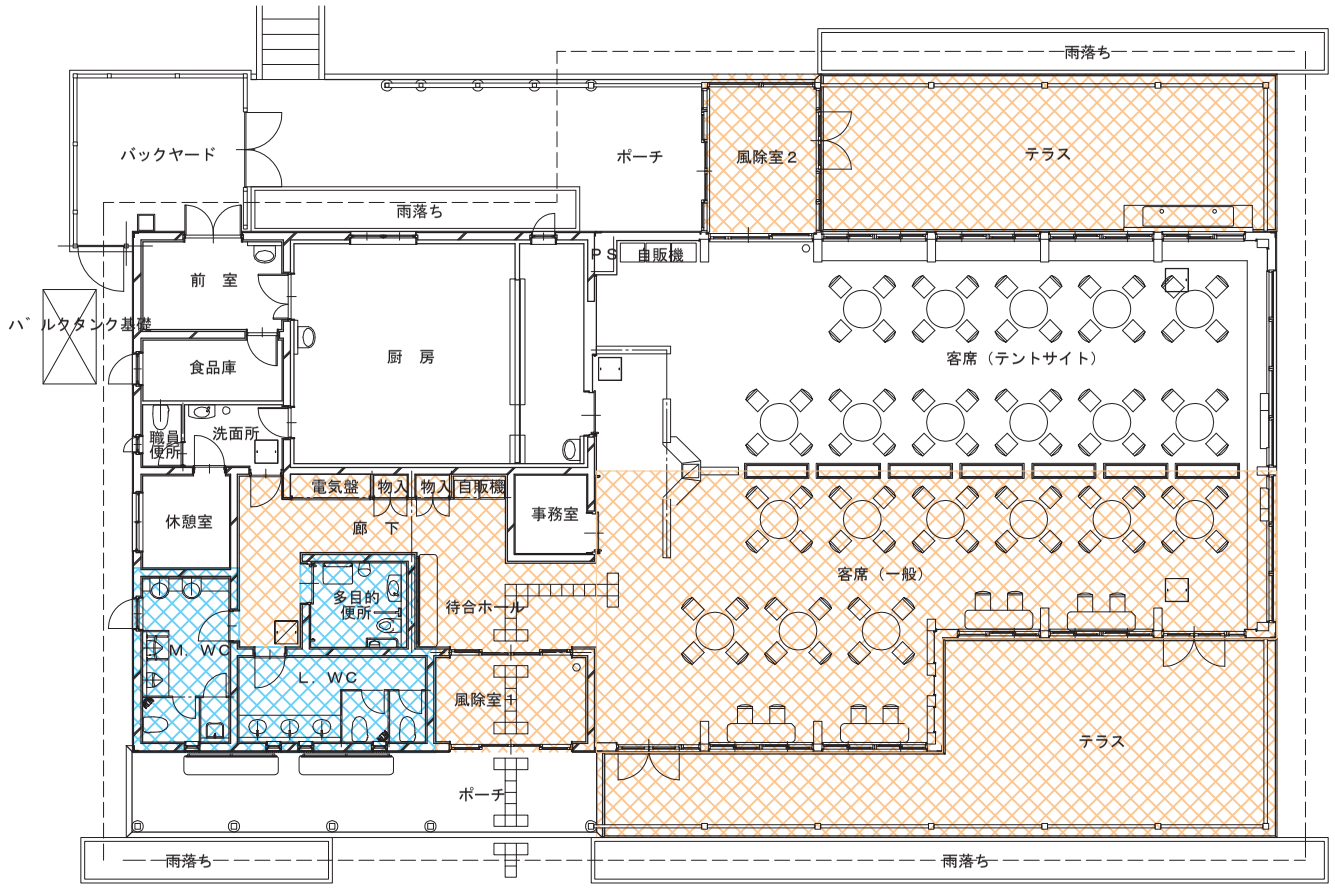
0 0.5 1 2 3 4 5m

別紙P415

凡例

：建物清掃

：トイレ清掃



大町・松川地区　休憩・レストラン棟清掃区分図

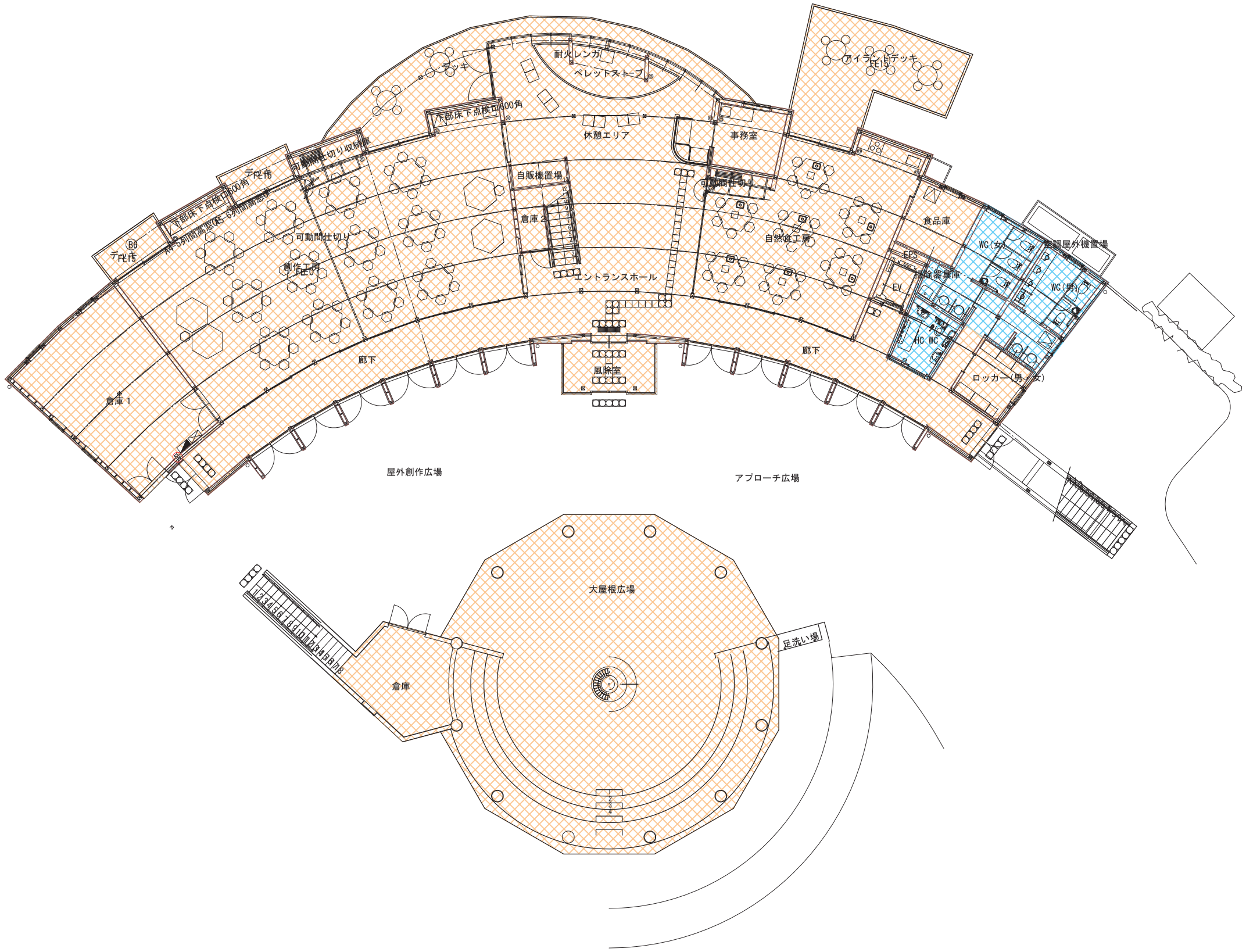
0 1 2 4 6 8 10m

別紙P46

凡例

：建物清掃

：トイレ清掃



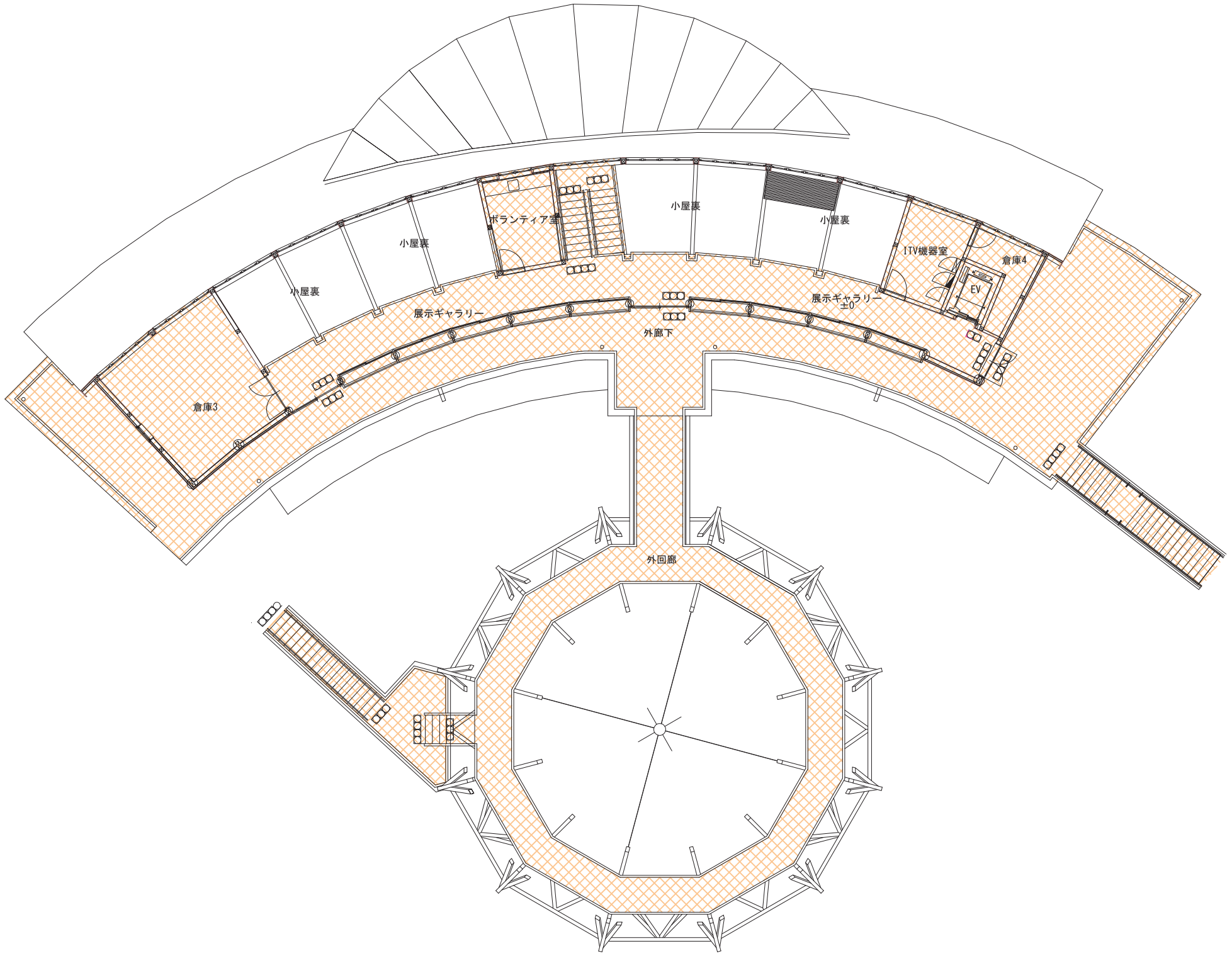
大町・松川地区　森の体験舎１階清掃区分図

0 1 2 4 6 8 10m

別紙P417

凡例

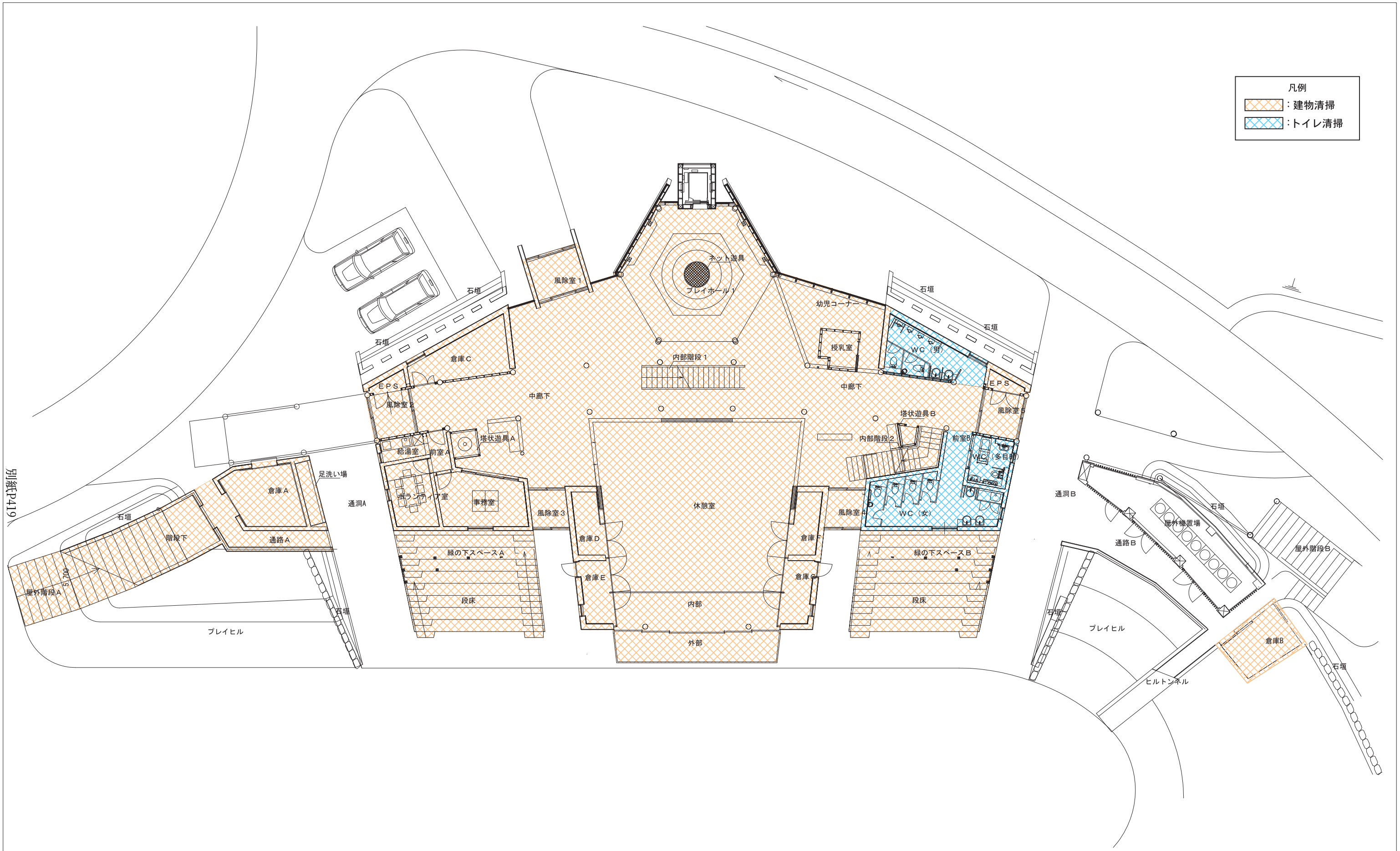
：建物清掃



別紙P418

大町・松川地区　森の体験舎２階清掃区分図

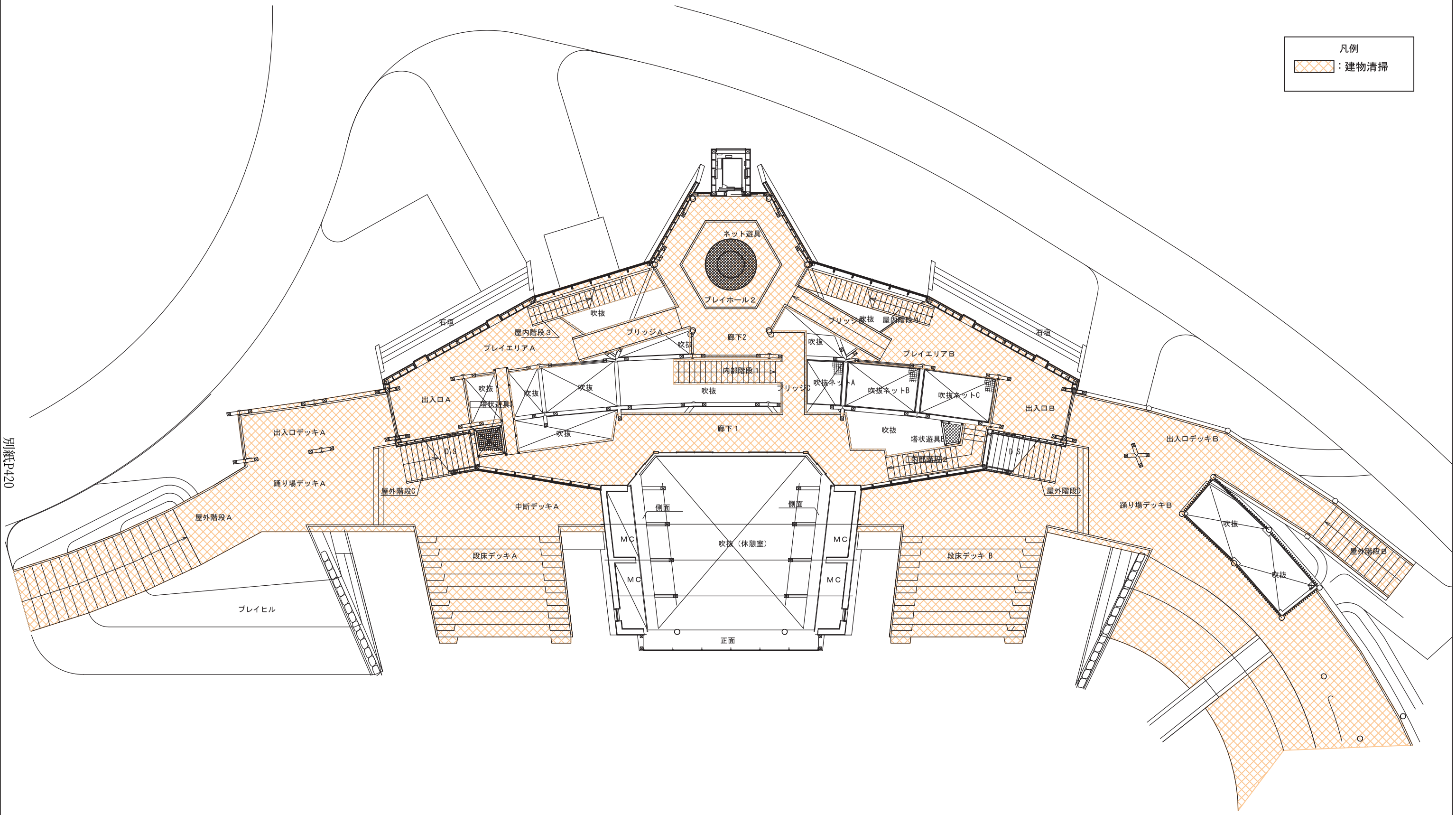
0 1 2 4 6 8 10m



別紙P419

大町・松川地区　大草原の家１階清掃区分図

0 1 2 4 6 8 10m



別紙EP420

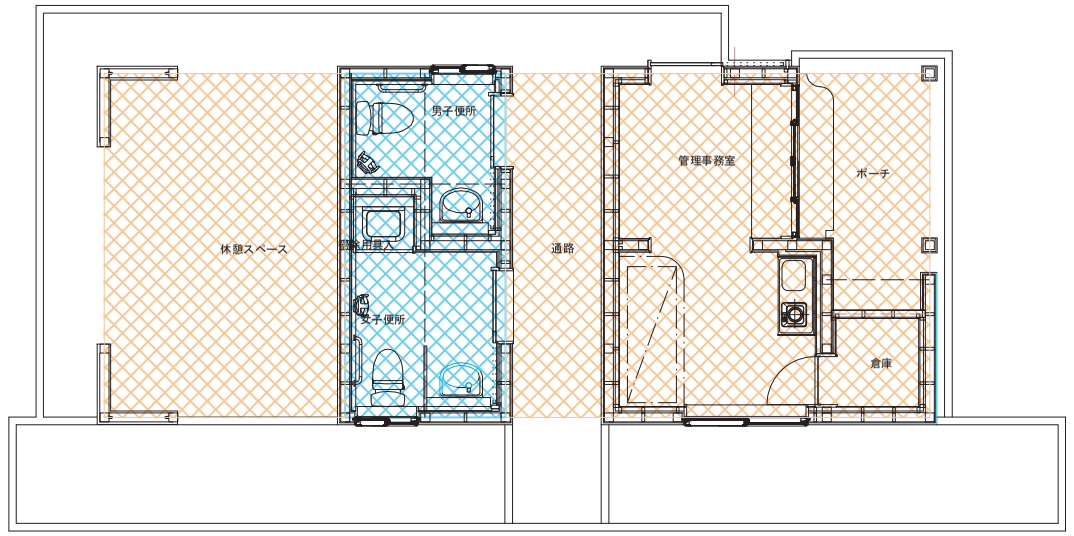
大町・松川地区　大草原の家２階清掃区分図

0 1 2 4 6 8 10m

凡例

：建物清掃

：トイレ清掃



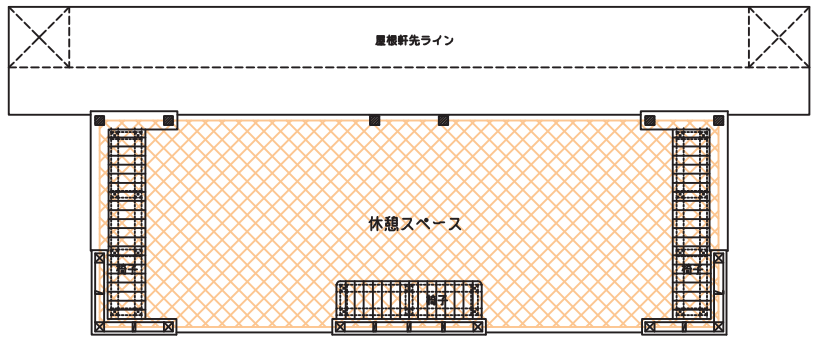
別紙P421

大町・松川地区 スポーツと遊びの森エリア管理棟清掃区分図

0 0.5 1 2 3 4 5m

凡例

：建物清掃



大町・松川地区 渓流ピクニック広場休憩棟清掃区分図

0 0.5 1 2 3 4 5m

別紙P422

産業廃棄物（排出量、経費）

【 H28 】

内容	月	堀金・穂高地区		大町・松川地区	
		数量	金額	数量	金額
可燃ごみ	4 月	314Kg	9,106 円	209Kg	6,061 円
	5 月	396Kg	11,484 円	264Kg	7,656 円
	6 月	246Kg	7,134 円	164Kg	4,756 円
	7 月	547Kg	15,863 円	146Kg	4,380 円
	8 月	675Kg	19,575 円	395Kg	11,850 円
	9 月	290Kg	8,410 円	266Kg	7,974 円
	10 月	275Kg	7,975 円	263Kg	7,890 円
	11 月	288Kg	8,352 円	165Kg	4,950 円
	12 月	344Kg	9,976 円	176Kg	5,280 円
	1 月	248Kg	7,192 円	150Kg	4,500 円
	2 月	390Kg	11,310 円	96Kg	2,880 円
	3 月	260Kg	7,540 円	128Kg	3,840 円
計		4,273Kg	123,917 円	2,422Kg	72,017 円

混合廃棄物	1,630Kg	244,500 円	12m^3	120,000 円
有機性汚泥廃棄物＋清掃				
廃棄蛍光管				

【 H29 】

内容	月	堀金・穂高地区		大町・松川地区	
		数量	金額	数量	金額
可燃ごみ	4 月	738Kg	21,402 円	240Kg	7,200 円
	5 月	1,150Kg	33,350 円	349Kg	10,470 円
	6 月	540Kg	15,660 円	228Kg	6,840 円
	7 月	275Kg	7,975 円	221Kg	6,630 円
	8 月	539Kg	15,631 円	577Kg	17,310 円
	9 月	353Kg	10,237 円	250Kg	7,500 円
	10 月	419Kg	12,151 円	261Kg	7,830 円
	11 月	240Kg	6,960 円	118Kg	3,540 円
	12 月	297Kg	8,613 円	234Kg	7,020 円
	1 月	322Kg	9,338 円	113Kg	3,390 円
	2 月	189Kg	5,481 円	167Kg	5,010 円
	3 月	237Kg	6,873 円	127Kg	3,810 円
計		5,299Kg	153,671 円	2,885Kg	86,550 円

混合廃棄物	6,020Kg	903,000 円	9m^3	90,000 円
有機性汚泥廃棄物＋清掃			0.5m^3	18,800 円
廃棄蛍光管	53Kg	15,900 円		

【 H30 】 H30 年 9 月末現在

内容	月	堀金･穂高地区		大町･松川地区	
		数量	金額	数量	金額
可燃ごみ	4 月	300Kg	9,000 円	297Kg	8,910 円
	5 月	330Kg	9,900 円	329Kg	9,870 円
	6 月	250Kg	7,500 円	226Kg	6,780 円
	7 月	260Kg	7,800 円	260Kg	7,800 円
	8 月	550Kg	16,500 円	511Kg	15,330 円
	9 月	230Kg	6,900 円	228Kg	6,840 円
	10 月				
	11 月				
	12 月				
	1 月				
	2 月				
	3 月				
計		1,920Kg	57,600 円	1,851Kg	55,530 円

混合廃棄物	4m³	45,000 円	4m³	40,000 円
有機性汚泥廃棄物＋清掃				
廃棄蛍光管				

別紙－41

除雪出動実施実績（日数、時間）

【 H28 】

			11月	12月	1月	2月	3月	計
堀金・穂高地区	出動日数（日）		1	0	4	0	0	5
	稼働時間（h）	除雪トラック	1:30	0:00	27:30	0:00	0:00	29:00
		人力除雪	7:00	0:00	66:30	0:00	0:00	73:30
大町・松川地区	出動日数（日）		0	0	7	4	0	11
	稼働時間（h）	駐車場	0:00	0:00	21:50	12:40	0:00	34:30
		園路	0:00	0:00	15:20	7:20	0:00	22:40

【H29】

			11月	12月	1月	2月	3月	計
堀金・穂高地区	出動日数（日）		0	0	2	1	2	5
	稼働時間（h）	除雪トラック	0:00	0:00	12:00	6:30	9:00	27:30
		人力除雪	0:00	0:00	12:00	8:00	10:00	30:00
大町・松川地区	出動日数（日）		0	3	2	6	3	14
	稼働時間（h）	駐車場	―	―	―	―	―	―
		園路	0:00	4:50	7:10	1:40	8:30	22:10

H29年度の駐車場の除雪は、管理センター職員が除雪車のレンタルにより実施。
そのため稼働時間の記載なし。

薬剤、肥料、土壌改良材リスト

【 H28 】

[堀金・穂高 地区]

	種 別	作業回数	施工数量	施工箇所等	摘要(肥料名等)
低木	肥料	1 回	1,500 ㎡	低木植栽地	ちから 1 号
高木	肥料	1 回	200 本	植栽高木	まるやま 1 号
花畑	肥料	1 回	59,000 ㎡	里山文化ゾーン	被覆配合ハイコントロール
草花	肥料	適宜	―	プランター、ハンギング	液肥
草花	薬剤	1 回	4,000 ㎡	段々原っぱ花壇	トリフミン マネージ乳剤

[大町・松川 地区]

	種 別	作業回数	施工数量	施工箇所等	摘要(肥料名等)
芝生	肥料	1 回	40,000 ㎡	園内芝生地	レオユーキ M
芝生	目土	1 回	40,000 ㎡	園内芝生地	洗い砂
花畑	肥料	1 回	2,500 ㎡	レキ原の花畑	IB 化成 10:10:10
花畑	土壌改良	1 回	2,500 ㎡	レキ原の花畑	培養土
花畑	土壌改良	1 回	2,500 ㎡	レキ原の花畑	牛糞堆肥
花壇	土壌改良	適宜	―	プランター	培養土

【 H29 】

[堀金・穂高 地区]

	種 別	作業回数	施工数量	施工箇所等	摘要(肥料名等)
芝生	肥料	1 回	10,500 ㎡	芝地	化成肥料 8:8:8
花畑	肥料	1 回	59,000 ㎡	里山文化ゾーン	被覆配合ハイコントロール
花畑	除草剤	1 回	16,000 ㎡	里山文化ゾーン	ゴーゴーサン乳剤
草花	肥料	適宜	―	プランター、ハンギング	液肥
草花	薬剤	2 回	8,000 ㎡	段々原っぱ花壇	トリフミン マネージ乳剤
花壇	肥料	1 回	2,500 ㎡	見晴らしの丘花壇	被覆配合ハイコントロール

[大町・松川 地区]

	種 別	作業回数	施工数量	施工箇所等	摘要（肥料名等）
芝生	肥料	1 回	40,000 ㎡	芝地	化成肥料 8：8：8
芝生	目土	1 回	5,300 ㎡	芝地	洗い砂
花畑	肥料	2 回	5,000 ㎡	レキ原の花畑	バーク堆肥
花畑	土壌改良	1 回	2,500 ㎡	レキ原の花畑	パーライト
花壇	肥料	1 回	120 ㎡	ロータリー花壇	バーク堆肥

【 H30 】

[堀金・穂高 地区] ※9/30 現在

	種 別	作業回数	施工数量	施工箇所等	摘要（肥料名等）
花畑	肥料	1 回	59,000 ㎡	里山文化ゾーン	被覆配合ハイコントロール
花畑	除草剤	1 回	23,000 ㎡	里山文化ゾーン	ゴーゴーサン乳剤 バスタ液剤
草花	肥料	適宜	―	プランター、ハンギング	液肥
草花	薬剤	2 回	8,000 ㎡	段々原っぱ花壇	トリフミン マネージ乳剤
花壇	肥料	1 回	2,500 ㎡	見晴らしの丘花壇	被覆配合ハイコントロール

[大町・松川 地区] ※9/30 現在

	種 別	作業回数	施工数量	施工箇所等	摘要（肥料名等）
花畑	肥料	1 回	2,500 ㎡	レキ原の花畑	バーク堆肥
花畑	土壌改良材	1 回	2,500 ㎡	レキ原の花畑	パーライト
花畑	薬剤	2 回	5,000 ㎡	レキ原の花畑	トリフミン マネージ乳剤
草花	土壌改良	1 回	1 ㎡	あづみの苑地	軽石砂 鹿沼土
花壇	肥料	適宜	―	プランター、ハンギング	液肥

農薬散布（位置、数量、時期、頻度等）

【 H28 】

[堀金・穂高 地区]

	種 別	作業回数	施工数量	施工箇所等	摘要 （薬剤名等）
草花	薬剤散布･機械	1 回	4,000m^2	段々原っぱ花壇	トリフミン水和剤 マネージ乳剤

[大町・松川 地区]

	種 別	作業回数	施工数量	施工箇所等	摘要 （薬剤名等）
実績なし					

【 H29 】

[堀金・穂高 地区]

	種 別	作業回数	施工数量	施工箇所等	摘要 （薬剤名等）
花畑	薬剤散布･機械	1 回	16,000 ㎡	里山文化ゾーン	ゴーゴーサン乳剤
草花	薬剤散布･機械	2 回	8,000 ㎡	段々原っぱ花壇	トリフミン水和剤 マネージ乳剤

[大町・松川 地区]

	種 別	作業回数	施工数量	施工箇所等	摘要 （薬剤名等）
実績なし					

【 H30 】

[堀金・穂高 地区]

	種 別	作業回数	施工数量	施工箇所等	摘要 (薬剤名等)
花畑	薬剤散布･機械	1 回	23,000 ㎡	里山文化ゾーン	ゴーゴーサン乳剤 バスタ液剤
草花	薬剤散布･機械	2 回	8,000 ㎡	段々原っぱ花壇	トリフミン水和剤 マネージ乳剤

[大町・松川 地区]

	種 別	作業回数	施工数量	施工箇所等	摘要 (薬剤名等)
花畑	薬剤散布･機械	2 回	5,000 ㎡	レキ原の花畑	トリフミン水和剤 マネージ乳剤

樹幹注入

【H28】
■樹幹注入実績
堀金・穂高地区
＜実施本数、回数＞
実績なし
大町・松川地区
＜実施本数、回数＞
実績なし

【H29】
■樹幹注入実績
堀金・穂高地区
＜実施本数、回数＞
実績なし
大町・松川地区
＜実施本数、回数＞
実績なし

【H30】
■樹幹注入実績
堀金・穂高地区
＜実施本数、回数＞
実績なし
大町・松川地区
＜実施本数、回数＞
実績なし

※H25 年度に実施済であり、薬剤効果が 7 年間継続する為、委託期間中に追加での樹幹注入は行っていない。以下に H25 年度の実績を記載する。

【H25】
■樹幹注入実績
堀金・穂高地区
＜実施本数、回数＞
実績本数：189 本/年　回数：1 回/年
大町・松川地区
＜実施本数、回数＞
実績本数：246 本/年　回数：1 回/年

植物性廃棄物の取扱（発生・処理・活用量等）

【 H28 】

［ 堀金・穂高 地区 ］

発生物の内容	発生量	処分量	処理方法	処理量	活用方法	再利用量
芝、草、除草等、植替（刈取）草花等	335 ㎥	335 ㎥	管理ヤードストック	335 ㎥	－	－
剪定枝、伐採木等	81 ㎥	65 ㎥	管理ヤードストック	65 ㎥	－	－

［ 大町・松川 地区 ］

発生物の内容	発生量	処分量	処理方法	処理量	活用方法	再利用量
芝、草、除草等、植替（刈取）草花等	307 ㎥	307 ㎥	管理ヤードストック	307 ㎥	－	－
剪定枝、伐採木等	74 ㎥	74 ㎥	管理ストックヤード	74 ㎥	－	－
剪定枝、伐採木等	80 ㎥	80 ㎥	チップ化処理	80 ㎥	現地敷均し	80 ㎥

【 H29 】

[堀金・穂高 地区]

発生物の内容	発生量	処分量	処理方法	処理量	活用方法	再利用量
芝、草、除草等、植替（刈取）草花等	397 ㎥	397 ㎥	管理ヤードストック	397 ㎥	-	-
剪定枝、伐採木等	108 ㎥	108 ㎥	管理ストックヤード	108 ㎥	-	-

[大町・松川 地区]

発生物の内容	発生量	処分量	処理方法	処理量	活用方法	再利用量
芝、草、除草等、植替（刈取）草花等	207 ㎥	207 ㎥	管理ストックヤード	207 ㎥	―	―
剪定枝、伐採木等	46 ㎥	46 ㎥	管理ストックヤード	46 ㎥	-	-
剪定枝、伐採木等	75 ㎥	75 ㎥	チップ化処理	75 ㎥	現地敷均し	75 ㎥

【 H30 】

[堀金・穂高 地区]※9/30　現在

発生物の内容	発生量	処分量	処理方法	処理量	活用方法	再利用量
芝、草、除草等、植替（刈取）草花等	306 ㎥	306 ㎥	管理ヤードストック	306 ㎥	-	-
剪定枝、伐採木等	26 ㎥	26 ㎥	管理ヤードストック	26 ㎥	-	-

[大町・松川 地区]※8/30　現在

発生物の内容	発生量	処分量	処理方法	処理量	活用方法	再利用量
芝、草、除草等、植替（刈取）草花等	101 ㎥	101 ㎥	管理ヤードストック	101 ㎥	-	-
剪定枝、伐採木等	24 ㎥	24 ㎥	管理ヤードストック	24 ㎥	-	-
剪定枝、伐採木等	15 ㎥	15 ㎥	チップ化処理	15 ㎥	現地敷均し	15 ㎥

収益施設利用者数、売り上げ等

■　収益施設利用者数(1/3)

＜レストラン・売店利用客数＞

【H28 堀金・穂高地区】(単位:個)

月	レストラン	売店
	あづみの	烏川
4月	1,734	897
5月	4,146	5,588
6月	1,256	1,098
7月	2,354	1,966
8月	7,149	6,673
9月	1,466	1,377
10月	1,746	1,272
11月	1,988	1,207
12月	2,524	2,691
1月	1,367	689
2月	376	225
3月	873	176
合計	26,979	23,859

【H28 大町・松川地区】(単位:個)

月	レストラン	売店
	休憩棟レストラン	インフォメーション
4月	840	42
5月	3,712	2,971
6月	1,032	1,172
7月	3,124	1,531
8月	7,055	7,755
9月	1,051	910
10月	1,483	1,148
11月	1,033	756
12月	2,338	231
1月	550	282
2月	698	54
3月	520	63
合計	23,436	16,915

■　収益施設利用者数(2/3)

＜レストラン・売店利用客数＞

【H29 堀金･穂高地区】(単位：個)

月	レストラン	売店
	あづみの	烏川
4月	1,332	736
5月	4,561	4,198
6月	1,184	650
7月	1,595	1,097
8月	5,719	4,137
9月	1,714	1,571
10月	1,208	899
11月	1,555	748
12月	2,150	2,019
1月	1,147	558
2月	352	93
3月	1,081	206
合計	23,598	16,912

【H29 大町･松川地区】(単位：個)

月	レストラン	売店
	休憩棟レストラン	インフォメーション
4月	857	85
5月	3,080	475
6月	899	1,348
7月	2,153	1,270
8月	5,361	6,038
9月	1,326	1,183
10月	1,320	918
11月	1,126	415
12月	863	201
1月	955	341
2月	840	356
3月	656	73
合計	19,436	12,703

■　収益施設利用者数(3/3)

＜レストラン・売店利用客数＞

【H30 堀金･穂高地区】(単位：個) 9 月末時点

月	レストラン	売店
	あづみの	烏川
4月	2,187	438
5月	4,988	3,182
6月	1,262	757
7月	1,490	1,359
8月	5,831	2,083
9月	1,514	988
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		
合計	17,272	8,807

【H30 大町･松川地区】(単位：個) 9 月末時点

月	レストラン	売店
	休憩棟レストラン	インフォメーション
4月	1,319	206
5月	2,491	384
6月	814	1,118
7月	2,423	1,714
8月	5,630	5,072
9月	1,159	1,514
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		
合計	13,836	10,008

■　収益施設修繕履歴(1/3)

【 H28 】

施設区分		年間修繕回数（平均）	年間修繕金額（平均）	主な修繕	備考
レストラン（あづみの）					
	国修繕	0回	0円	-	-
	テナント修繕	0回	0円	-	-
レストラン（休憩棟レストラン）					
	国修繕	回	0円	-	-
	テナント修繕	1回	2,921円	エアコンフィルター清掃	-
売店（烏川）					
	国修繕	0回	0円	-	-
	テナント修繕	0回	0円	-	-
売店（インフォメーション）					
	国修繕	0回	0円	-	-
	テナント修繕	0回	0円	-	-

■　収益施設修繕履歴(2/3)

【 H29 】

施設区分		年間修繕回数（平均）	年間修繕金額（平均）	主な修繕	備考
レストラン（あづみの）					
	国修繕	0回	0円	-	-
	テナント修繕	0回	0円	-	-
レストラン（休憩棟レストラン）					
	国修繕	0回	0円	-	-
	テナント修繕	1回	2,754円	エアコンフィルター清掃	-
売店（烏川）					
	国修繕	0回	0円	-	-
	テナント修繕	0回	0円	-	-
売店（インフォメーション）					
	国修繕	0回	0円	-	-
	テナント修繕	1回	3,564円	エアコンフィルター清掃	-

■　収益施設修繕履歴(3/3)

【 H30 】10 月末時点

施設区分		年間修繕回数（平均）	年間修繕金額（平均）	主な修繕	備考
レストラン（あづみの）					
	国修繕	0回	0円	-	-
	テナント修繕	0回	0円	-	-
レストラン（休憩棟レストラン）					
	国修繕	0回	0円	-	-
	テナント修繕	0回	0円	-	-
売店（烏川）					
	国修繕	0回	0円	-	-
	テナント修繕	0回	0円	-	-
売店（インフォメーション）					
	国修繕	0回	0円	-	-
	テナント修繕	0回	0円	-	-

■　事故等報告件数

【 H28 】

項　目	事故等原因	内　容	件　数
なし	-	-	0
合　計			0件

【 H29 】

項　目	事故等原因	内　容	件　数
なし	-	-	0
合　計			0件

【 H30 】

項　目	事故等原因	内　容	件　数
なし	-	-	0
合　計			0件

■　施設資産一覧(1/3)

施設名	区分	詳細	数量等	公簿記載
レストラン				
レストラン　(あづみの)				
	躯体	建物躯体	一式	国
	設備	空調設備		
		エアコン	一式	国
		換気設備	一式	国
		給排水設備	一式	国
		電気設備	一式	国
		ガス設備	一式	国
		厨房機器		
		冷蔵庫、フライヤー等	一式	テナント
		シンク、調理台等	一式	テナント
	内装	テーブルセット	一式	テナント
		各種什器類	一式	テナント
		食器類	一式	テナント
		営業機材		
		店舗看板等	一式	テナント
		レジスター、メニュー版等	一式	テナント
		その他内装設備等	一式	テナント

■　施設資産一覧(2/3)

施設名		区分	詳細	数量等	公簿記載
	レストラン　(休憩棟レストラン)				
		躯体	建物躯体	一式	国
		設備	空調設備		
			エアコン	一式	国
			換気設備	一式	国
			給排水設備	一式	国
			電気設備	一式	国
			ガス設備	一式	国
			厨房機器		
			冷蔵庫、フライヤー等	一式	テナント
			シンク、調理台等	一式	テナント
		内装	テーブルセット	一式	テナント
			各種什器類	一式	テナント
			食器類	一式	テナント
			営業機材		
			店舗看板等	一式	テナント
			レジスター、メニュー版等	一式	テナント
			その他内装設備等	一式	テナント

■　施設資産一覧(3/3)

売店					
	①売店（烏川）				
		躯体	建物躯体	一式	国
		設備	空調設備	一式	国
			エアコン	一式	国
			換気設備	一式	国
			給排水設備	一式	国
			電気設備	一式	国
		内装	各種什器	一式	テナント
			営業機材	一式	テナント
			その他内装設備	一式	テナント
	②売店（インフォメーション）				
		躯体	建物躯体	一式	国
		設備	空調設備	一式	国
			エアコン	一式	国
			換気設備	一式	国
			給排水設備	一式	国
			電気設備	一式	国
		内装	各種什器	一式	テナント
			営業機材	一式	テナント
			その他内装設備	一式	テナント

■　収益施設売上額(1/3)

【H28 堀金・穂高地区】　　単位：円（税込み）

月	レストラン	売店	臨時売店	臨時売店
	あづみの	烏川 (ガイドセンター)	園内	穂高ゲート
4月	1,056,880	210,980	0	0
5月	2,456,110	1,328,210	2,475,829	582,823
6月	772,090	372,138	0	0
7月	1,437,010	475,880	0	0
8月	4,361,560	1,481,732	0	0
9月	899,850	307,206	0	0
10月	1,079,680	282,486	0	0
11月	1,030,140	290,964	0	0
12月	1,352,220	956,032	1,187,300	0
1月	815,360	254,152	139,530	0
2月	226,340	81,328	0	0
3月	526,330	63,878	0	0
合計	16,013,570	6,104,986	3,802,659	582,823

【H28 大町・松川地区】　　単位：円（税込み）

月	レストラン		売店	臨時売店
	休憩棟レストラン	BBQ 関連	インフォメーション	大草原、レストラン前等
4月	495,550	27,500	13,148	0
5月	2,109,850	41,100	445,428	1,323,823
6月	608,580	36,500	167,118	0
7月	1,797,595	122,140	220,488	0
8月	4,041,894	862,792	1,108,700	0
9月	598,670	28,600	220,414	0
10月	856,010	23,400	276,852	0
11月	575,850	32,000	190,688	0
12月	1,297,350	0	77,040	372,700
1月	348,590	0	76,100	0
2月	415,800	0	13,920	0
3月	316,060	0	16,050	0
合計	13,461,799	1,174,032	2,825,946	1,696,523

■　収益施設売上額(2/3)

【H29 堀金・穂高地区】　　単位：円（税込み）

月	レストラン	売店	臨時売店
	あづみの	烏川 (ガイドセンター)	園内
4月	826,860	173,160	0
5月	2,710,860	982,556	3,740,160
6月	725,360	161,863	0
7月	987,540	273,344	0
8月	3,409,740	920,440	2,644,937
9月	1,016,890	347,124	0
10月	716,910	199,714	358,000
11月	792,370	179,840	0
12月	1,098,040	707,260	1,289,200
1月	668,590	203,300	0
2月	204,600	18,580	0
3月	630,490	75,300	0
合計	13,788,250	4,242,481	8,032,297

【H29 大町・松川地区】　　単位：円（税込み）

月	レストラン		売店	臨時売店
	休憩棟レストラン	BBQ 関連	インフォメーション	大草原、レストラン前等
4月	446,730	15,500	24,900	0
5月	1,714,720	94,800	70,040	1,921,150
6月	503,680	56,000	189,840	0
7月	1,213,690	167,400	183,010	0
8月	3,091,570	653,066	875,560	631,929
9月	746,960	102,700	283,944	0
10月	754,536	215,100	221,742	168,000
11月	606,830	32,000	104,630	0
12月	464,040	0	66,810	260,000
1月	514,640	0	86,400	0
2月	453,420	0	89,728	0
3月	355,820	0	18,728	0
合計	10,866,636	1,336,566	2,215,332	2,981,079

■　収益施設売上額(3/3)

【H30 堀金・穂高地区】9 月末時点　単位：円（税込み）

月	レストラン	売店	臨時売店
	あづみの	烏川 (ガイドセンター)	園内
4月	1,329,440	67,920	0
5月	2,907,720	493,340	3,384,000
6月	748,760	117,390	0
7月	864,270	238,780	0
8月	3,388,990	368,630	1,927,000
9月	882,350	173,980	0
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			
合計	10,121,530	1,460,040	5,311,000

【H30 大町・松川地区】9 月末時点　単位：円（税込み）

月	レストラン		売店	臨時売店
	休憩棟レストラン	BBQ 関連	インフォメーション	大草原、レストラン前等
4月	686,700	62,500	60,600	0
5月	1,322,860	82,100	57,000	1,372,000
6月	439,810	0	157,440	0
7月	1,313,770	260,600	246,760	0
8月	3,046,150	463,800	739,410	741,800
9月	628,170	279,100	228,660	0
10月				
11月				
12月				
1月				
2月				
3月				
合計	7,437,460	1,148,100	1,489,870	2,113,800

収益施設従業員数一覧

【堀金・穂高地区】

施設区分		面積（m2）	従業員数（人）			備　考
施設区分	施設名/内訳		通常期	繁忙期	閑散期	
レストラン	①あづみの	278	2	2～5	1	
売店	①売店（烏川）	64	-	2	-	繁忙期のみ営業

【大町・松川地区】

施設区分		面積（m2）	従業員数（人）			備　考
施設区分	施設名/内訳		通常期	繁忙期	閑散期	
レストラン	①休憩棟レストラン	延床：193 外構：20	2	2～5	1	
売店	②インフォメーション	50	2	1	-	5～11 月の土日祝日に営業

臨時物販施設等一覧

【 H28 】

開設期間	地区	内容
平成 28 年 4 月 29 日～平成 28 年 5 月 15 日 （主に土日祝日）	堀金・穂高地区 大町・松川地区	繁忙日に伴う飲食売店
平成 28 年 7 月 16 日～平成 28 年 8 月 28 日	堀金・穂高地区	里山文化ゾーン開園に伴う書籍の販売
平成 28 年 7 月 16 日～平成 28 年 8 月 28 日	堀金・穂高地区 大町・松川地区	繁忙日に伴う飲食売店
平成 28 年 10 月 1 日～平成 28 年 10 月 31 日 （主に土日祝日）	堀金・穂高地区 大町・松川地区	繁忙日に伴う飲食売店
平成 28 年 11 月 19 日～平成 29 年 1 月 29 日	堀金・穂高地区 大町・松川地区	イルミネーションイベント実施に伴う飲食売店
平成 28 年 11 月 19 日～平成 29 年 1 月 29 日	堀金・穂高地区	イルミネーションイベント実施に伴うフォトサービス
平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日	堀金・穂高地区	自動販売機（16 台）
	大町・松川地区	自動販売機（10 台）

※臨時物販施設には自動販売機を含みます。

【 H29 】

開設期間	地区	内容
平成 29 年 4 月 29 日～平成 28 年 5 月 14 日 （土日祝日）	堀金・穂高地区 大町・松川地区	繁忙日に伴う飲食売店
平成 29 年 5 月 20 日～平成 29 年 5 月 21 日 平成 29 年 8 月 11 日～平成 29 年 8 月 13 日 平成 29 年 10 月 7 日～平成 29 年 10 月 9 日 平成 29 年 11 月 3 日～平成 29 年 11 月 5 日	堀金・穂高地区	地域住民と連携して「常念山麓ふれあいマルシェ」開催
平成 29 年 6 月 10 日～平成 29 年 6 月 11 日	大町・松川地区	「青葉の森クラフトパーティー」のクラフトバザールとしてワークショップと展示販売
平成 29 年 7 月 15 日～平成 29 年 8 月 27 日	堀金・穂高地区 大町・松川地区	繁忙日に伴う飲食物販売店
平成 29 年 7 月 29 日～平成 29 年 7 月 30 日	大町・松川地区	「北アルプス奉納太鼓」実施に伴う飲食物販売店
平成 29 年 9 月 30 日～平成 29 年 10 月 1 日	堀金・穂高地区	「Outdoor Park」実施に伴う飲食物販売店
平成 29 年 9 月 30 日～平成 29 年 11 月 5 日 （主に土日祝日）	堀金・穂高地区 大町・松川地区	繁忙日に伴う飲食売店
平成 29 年 11 月 11 日～平成 30 年 1 月 8 日	堀金・穂高地区 大町・松川地区	イルミネーションイベント実施に伴う飲食売店
平成 29 年 11 月 11 日～平成 30 年 1 月 8 日	堀金・穂高地区	イルミネーションイベント実施に伴うフォトサービス
平成 29 年 11 月 25 日～平成 29 年 11 月 26 日	大町・松川地区	オリエンテーリングイベント実施に伴う飲食売店
平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日	堀金・穂高地区	自動販売機（16 台）
	大町・松川地区	自動販売機（10 台）

※臨時物販施設には自動販売機を含みます。

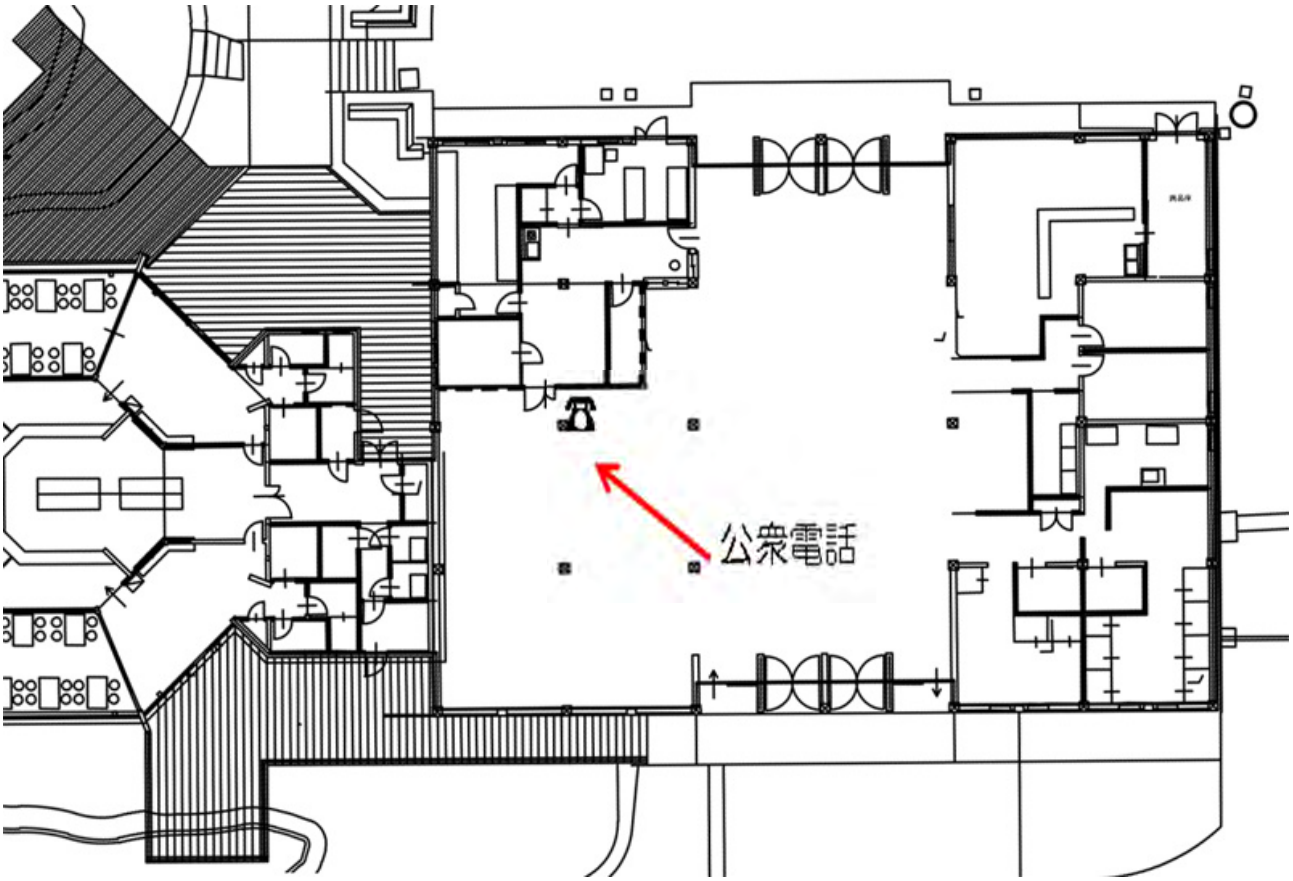
【 H30 】 ※H30 年 9 月末現在

開設期間	地区	内容
平成 30 年 4 月 28 日～平成 30 年 5 月 20 日 （土日祝日）	堀金・穂高地区 大町・松川地区	繁忙日に伴う飲食売店 フリーマーケット（5/3～4 大町・松川地区のみ）
平成 30 年 5 月 19 日～平成 30 年 5 月 20 日 平成 30 年 8 月 10 日～平成 30 年 8 月 12 日 平成 30 年 10 月 6 日～平成 30 年 10 月 8 日 平成 30 年 11 月 3 日～平成 30 年 11 月 4 日	堀金・穂高地区	地域住民と連携して「常念山麓ふれあいマルシェ」開催（10～11 月は予定）
平成 30 年 7 月 14 日～平成 30 年 8 月 26 日	堀金・穂高地区 大町・松川地区	繁忙日に伴う飲食売店
平成 30 年 7 月 29 日～平成 30 年 7 月 30 日	大町・松川地区	「北アルプス奉納太鼓」実施に伴う飲食物販売店
平成 30 年 9 月 15 日～平成 30 年 10 月 14 日 （土日祝日）	堀金・穂高地区 大町・松川地区	繁忙日に伴う飲食物販売店
平成 30 年 9 月 29 日～平成 30 年 9 月 30 日	堀金・穂高地区	「Outdoor Park」実施に伴う飲食物販売店 （9 月 30 日は台風接近に伴い中止）
平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日 （予定）	堀金・穂高地区	自動販売機（16 台）
	大町・松川地区	自動販売機（10 台）

※臨時物販施設には自動販売機を含みます。

公衆電話

【 堀金・穂高 地区 】



国営アルプスあづみの公園［堀金・穂高地区］　公衆電話位置図

【 大町・松川 地区 】

公衆電話は設置していない。

業務評定

【概要】

公園名	国営アルプスあづみの公園
所在地	（堀金・穂高地区）長野県安曇野市 （大町・松川地区）長野県大町市、北安曇郡松川村
事業者	○○○○
履行期間	自；平成○○年○○月○○日　　至；平成○○年○○月○○日
評価対象	平成○○年度

【目標達成状況】

設定した目標指標と目標値		達成状況	備考
①入園者数	年間○○万人		
②満足度	○○%		
③○○	○○		

【運行状況】

評価内容		
評価ランク		優　・　良　・　可
特記事項	特に評価すべき事項	
	改善が望まれる事項	
	今後の課題等	
備　考		

（提出様式１－１）

競争参加資格確認申請書

平成　　年　　月　　日

支出負担行為担当官
関 東 地 方 整 備 局 長 殿

住　　所
商号又は名称
代 表 者 氏 名　　印
（担　当　者）
所属部署
氏　　名
電話番号
FAX番号
E-mail

（共同企業体の場合は、以下のように記入すること。）
住　　所　共同体事務所の所在地
商号又は名称 H31-35 国営アルプスあづみの公園
運営維持管理業務◇◇・○○共同体
代表者氏名　　印

平成31年●月●日付けで入札公告のありました「H31-35国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務」に係わる競争に参加する資格について、関係書類を添えて申請します。

なお、添付書類の内容については、事実と相違ないことを誓約します。

（提出様式１－２）
○企業の業務実績

担当する分担業務：○○業務				
会社名：○○○○（株）				
業務名	発注者	受注形態	業務概要	履行期間
○○○○○○○○○○業務 内容種別　1）　2）	○○県	・単独 ・共同企業体 （・代表者・代表者以外）	公園種別、○○施設（園地管理面積約○㎡）、展示面積、業務内容等を記載。	平成○年○月 ～ 平成○年○月
内容種別　1）　2）				
企業の延べ業務年数				○ヶ月
１級造園施工管理技士保有者数（植物管理業務のみ記入） 平成３１年４月１日時点　○名				

注1：業務概要欄には業務の具体的内容が分かるよう記述する。
注2：面積、植栽地の存在が分かる資料（施工図面、空中写真、地形図等）を添付する。図面等で植栽地の存在が証明できない場合は、図面等と照合できる現地写真を添付する。
注3：実績として記載した業務に係る契約書の写し及び業務計画書等の写しを提出する。
注4：複数の業務を記載する場合は行を追加して記入する。
注5：記載する業務件数による評価は行わない。
注6：内容種別欄は実施要項3．2．の「表7　企業の業務実績等に関する要件」の1）～2）のいずれか該当するものを選び○を記入する。
注7：実施要項3．2．の「表7　企業の業務実績等に関する要件」の注意事項に沿って記載する。
注8：参加する法人の会社概要がわかる公表資料（会社紹介パンフレット、HP等）を別途提出する。

（提出様式１－３）
○総括（業務）責任者の業務実績

担当する分担業務：○○業務

ふりがな
氏名

生年月日　　年　　月　　日

会社名・所属・役職

○○会社・○○部・○○部長

保有資格（植物管理業務責任者は、1級造園施工管理技士を必ず記入すること）
・1級造園施工管理技士（登録番号：　　）　（取得年月日：　年　月　日）

業務名	発注者	受注形態	業務概要	期間	総括責任者の経験期間	業務責任者の経験期間	業務経験の期間
○○○○○○○○○○業務 内容種別 1）2）3）4）	○○	・単独 ・共同企業体 （・代表者・代表者以外）	公園種別、○○施設（園地管理面積約○㎡）、展示面積、業務内容等を記載。	平成○年○月 ～ 平成○年○月	平成○年○月 ～ 平成○年○月	平成○年○月 ～ 平成○年○月	平成○年○月 ～ 平成○年○月
○○○○○○○○○○業務 内容種別 1）2）3）4）	○○	・単独 ・共同企業体 （・代表者・代表者以外）	公園種別、○○施設（園地管理面積約○㎡）、展示面積、業務内容等を記載。	平成○年○月 ～ 平成○年○月	平成○年○月 ～ 平成○年○月	平成○年○月 ～ 平成○年○月	○月 ～ 平成○年○月
総括責任者の延べ経験年数					○年○ヶ月		
業務責任者の延べ経験年数						○年○ヶ月	
業務経験　の延べ経験年数							○年○ヶ月

注1：業務概要欄には業務の具体的内容が分かるよう記述する。
注2：面積、植栽地の存在が分かる資料（施工図面、空中写真、地形図等）を添付すること。図面等で植栽地の存在が証明できない場合は、図面等と照合できる現地写真を添付する。
注3：実績として記載した業務に係る契約書の写し及び業務計画書等を提出する。
注4：経験年数が複数件にまたがる場合は行を追加して記入する。
注5：企画書の提出時に雇用関係が無い場合は、業務開始時までに雇用される念書（任意様式）及び業務経験証明書（様式１－８）を添付する。
注6：内容種別欄は実施要項３．３．「表８　配置予定者の業務実績等に関する要件」の1）～4）のいずれか該当するものを選び○を記入する。
注7：実施要項３．３．配置予定者の業務実績等に関する要件の実施体制に沿って記載する。
柱8：実施要項３．３．に定める業務を分割し複数の業務責任者を配置できない。配置した場合には、特定しない。ただし、実施要項に定める範囲において兼務は可能とする。

(提出様式１－４)守秘性に関する要件

○守秘義務に関し、下記の処置が講じられているか記載する。

イ. 社内規則等(守秘義務に関する規程及びその罰則規定が明示されているものに限る)制定について

ロ. 守秘義務に関する研修、講習等の定期的な実施について

注1: 守秘義務に関する規程及びその罰則規定を定めた社内の規則等(該当ページのみ)を添付することとし、該当部分に下線を引くこと。

共同体の場合は、各構成員それぞれの提出様式１－４を作成し、かつ各構成員それぞれの守秘義務に関する規程及びその罰則を定めた社内の規則等(該当ページのみ)を添付することとし、該当部分に下線を引くこと。

（提出様式１－５－１）業務実施体制

［実施要項で定める業務責任者］

実施要項3.3.に定める業務責任者	具体的な業務内容	雇用形態				資格、能力、実務経験年数等（業務内容に対する適切性について記載）	１週間の予定勤務時間								備考
		常勤	非常勤	委託	その他（具体的に）		月	火	水	木	金	土	日	計	
総括責任者		○	－	－			8	8	8	8	8	0	0	40	代表企業 ○○会社 関東　太郎
施設・設備維持管理業務責任者															○○会社 ○○　○○
植物管理業務責任者															○○会社 ○○　○○
収益施設等管理運営業務責任者															○○会社 ○○　○○

※ 組織図（業務実施のための管理機構）を添付する（任意様式）。
※ 総括責任者および業務責任者が資格要件の条件を満たさない場合は特定しない。
※ 備考欄には、所属企業名および配置予定者の氏名を記載する。共同体の場合は、各構成員の所属企業名および配置予定者の氏名を記載する。
※ 実施要項　３．３．に定める業務を分割し複数の業務責任者を配置できない。配置した場合には、特定しない。ただし、実施要項に定める範囲において兼務は可能とする。
※ ［実施要項以外で提案する業務責任者の下に配置し、責任者を補佐する者］を配置する場合には、別紙に記入すること。
※ 総括責任者及び総括責任者以外の業務責任者は、原則、実施期間中専任（注）とする。なお、病気・死亡等の事情によりやむを得ず総括責任者又は総括責任者以外の業務責任者を変更する場合は、上記に掲げる基準を満たし、かつ、当初の者と同等以上の者を配置するものとし、予め関東地方整備局の承諾を得るものとする。

（注：専任とは、他の工事及び業務等に係る職務を兼務せず、常時継続的に当該業務に係る職務にのみ従事していることをいう。ただし、契約の締結後、業務開始するまでの期間（準備期間）は専任を要しない。）

別紙P456

（別紙）

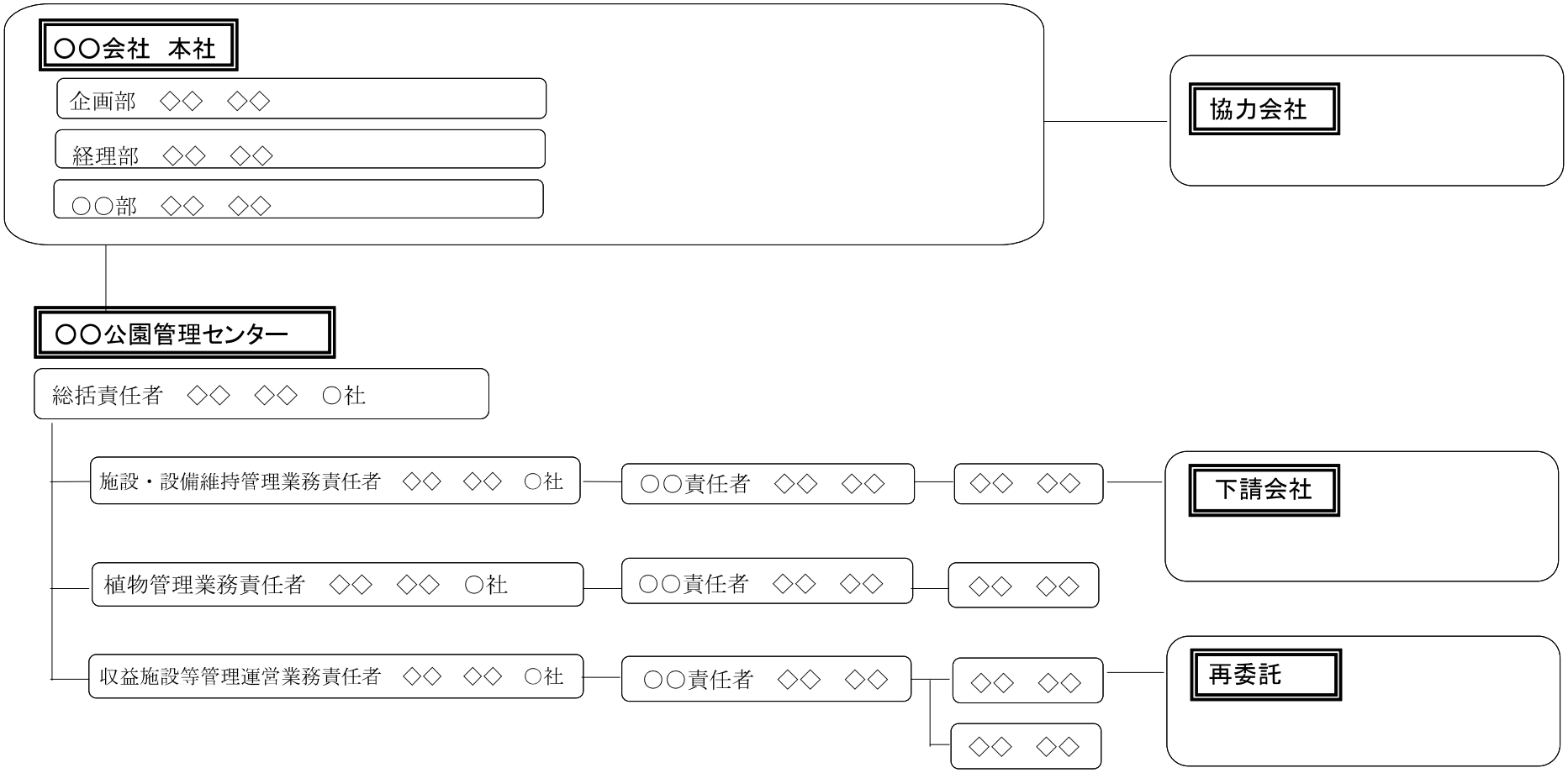
［実施要項以外で提案する業務責任者の下に配置し、責任者を補佐する者］

業務責任者の下に配置し、責任者を補佐する者	具体的な業務内容	雇用形態				資格、能力、実務経験年数等（業務内容に対する適切性について記載）	１週間の予定勤務時間								備考
		常勤	非常勤	委託	その他（具体的に）		月	火	水	木	金	土	日	計	
△△業務責任者の下		○	－	－											○○会社 ○○　○○
○○係長							8	8	8	8	8	0	0	40	
□□業務責任者の下							月	火	水	木	金	土	日	計	○○会社 ○○　○○
○○リーダー															
							月	火	水	木	金	土	日	計	○○会社 ○○　○○
							月	火	水	木	金	土	日	計	○○会社 ○○　○○

※［実施要項で定める業務責任者］の下に配置するのか責任区分を明確にすること。
※［実施要項で定める業務責任者］と併せた組織図（業務実施のための管理機構）を添付する（任意様式）。
※ 災害、繁忙期等の緊急時を含み、現地を支援する本社等の体制（責任体制、現地体制）を記載する。
※ 配置予定人員の枠が足りなければ、追加して記入する。
※ 備考欄には、所属企業名および配置予定者の氏名を記載する。共同体の場合は、各構成員の所属企業名および配置予定者の氏名を記載する。（氏名が未確定の場合は、氏名について、記載しなくてもよい）
※ 業務責任者の下に配置し、業務責任者を補佐する者を変更する場合は、当該業務に精通した者を配置するものとし、予め関東地方整備局の承諾を得るものとする。

別紙P457

業務実施体制　組織図（業務実施のための管理機構）　（作成例）



注１：共同体の場合は、責任者の氏名の後に構成企業名を記載すること。

別紙P458

（提出様式１－５－２）業務実施における対応方針

・迅速かつ円滑な意志決定及び臨機の対応が可能となる体制

※上記について、組織面、費用面の対応等を具体的に記載すること。

※A4版１枚以内にまとめる（図表含む。）。
※文字寸法は10.5ﾎﾟｲﾝﾄ以上。
※白黒片面印刷で提出すること。

（提出様式１－５－３）

○申請した総括責任者以外で同一企業に在籍する総括責任者（代替総括責任者）の業務実績

ふりがな 氏名 生年月日　　年　　月　　日	
会社名・所属・役職 ○○会社・○○部・○○部長	
保有資格 ・技術士（建設部門：都市及び地方計画） （登録番号：　　）　（取得年月日：　年　月　日）	

業務名	発注者	受注形態	業務概要	期間	総括責任者の経験期間	業務責任者の経験期間	業務経験の期間
○○○○○○○○○○業務 内容種別　1）2）3）4）5）	○○	・単独 ・共同企業体（・代表者・代表者以外）	公園種別、○○施設（園地管理面積約○㎡）、展示面積、業務内容等を記載。	平成○年○月～平成○年○月	平成○年○月～平成○年○月	平成○年○月～平成○年○月	平成○年○月～平成○年○月
○○○○○○○○○○業務 内容種別　1）2）3）4）5）	○○	・単独 ・共同企業体（・代表者・代表者以外）	公園種別、○○施設（園地管理面積約○㎡）、展示面積、業務内容等を記載。	平成○年○月～平成○年○月	平成○年○月～平成○年○月	平成○年○月～平成○年○月	○月～平成○年○月
総括責任者の延べ経験年数					○年○ヶ月		
業務責任者の延べ経験年数						○年○ヶ月	
業務経験　の延べ経験年数							○年○ヶ月

注1：業務概要欄には業務の具体的内容が分かるよう記述する。

注2：面積、植栽地の存在が分かる資料（施工図面、空中写真、地形図等）を添付すること。図面等で植栽地の存在が証明できない場合は、図面等と照合できる現地写真を添付する。

注3：実績として記載した業務に係る契約書の写し及び業務計画書等を提出する。

注4：経験年数が複数件にまたがる場合は行を追加して記入する。

注5：内容種別欄は実施要項３．３．「表８　配置予定者の業務実績等に関する要件」の1）～5）のいずれか該当するものを選び○を記入する。

注6：実施要項３．３．配置予定者の業務実績等に関する要件の実施体制に沿って記載する。

(提出様式１－６)実施方針

※A4版２枚以内にまとめる(図表含む。)。
※文字寸法は10.5ﾎﾟｲﾝﾄ以上。
※別紙年間業務計画を添付する。それ以外の添付資料は認めない。
※白黒片面印刷で提出すること。

（別紙）

年間業務計画（作成例）

工　種	種別	実施頻度	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
植物管理	芝生管理	●回／年												
	低木管理	●回／年												
	高木管理	●回／年												
	草花管理	●回／年												
●●●●														
●●●●														
●●●●														
●●●●														

別紙P462

（提出様式1－7）再委託又は、下請負の予定（協力企業の名称等）

企　業　名		代表者名	
所　在　地			
再委託する理由及び具体的内容			
分担業務内容			

企　業　名		代表者名	
所　在　地			
再委託する理由及び具体的内容			
分担業務内容			

企　業　名		代表者名	
所　在　地			
再委託する理由及び具体的内容			
分担業務内容			

注１：再委託又は、下請負（予定含む）がある場合に記入する。

注２：原則として、小規模な業務※を除き、記載された以外の業務を再委託又は下請負する場合には、金額および必要性等について協議が必要となる。
※　小規模な業務とは、基本的に契約金額が100万円未満の業務等

注３：再委託又は、下請負の枠が足りなければ、追加して記入すること。

注４：組織図（業務実施のための管理機構）に記入すること。

念書（例）（申請書類提出時に当該法人と雇用関係が無い場合）

支出負担行為担当官
関東地方整備局長　様

念書（例）

株式会社○○○○と関東太郎は、現在雇用関係に無いが、下記の場合において雇用契約を締結するものとする。

記

国土交通省関東地方整備局で、平成31年●月●日付けで入札公告のあった「H31-35国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務」と契約締結した場合。

平成３１年○月○日

住所
電話番号
会社名　株式会社○○○○
代表者　代表取締役社長△△　△△　印

住所

氏名　　関東　太郎　印

（提出様式1－8）業務経験証明書

氏名（ふりがな）	関東　太郎 （　　年　　月　　日生）
会社名	□□□□株式会社
業務実績	○○業務の○○責任者として従事。
従事期間	年　　月　　日 ～ 年　　月　　日
備考	

上記の通りであることを証明します。

平成３１年○月○日

住　所

電話番号
会社名　　□□□□株式会社

代表者　　役職名　　氏名　　印

（提出様式１－９－１）

平成　　年　　月　　日

収益施設運営実績書

国土交通省　関東地方整備局　　殿

（申請者）社　名
代表者　　印
所在地
TEL(FAX)

下記収益施設等について運営実績書を提出します。

記

（記入例）

	国営アルプスあづみの公園 収益施設名	収益施設運営実績（※１）		収益施設運営予定（※２）	
		企業としての実績	配置予定者としての実績	申請者（共同体構成員を含む）	申請者以外の者（再委託・下請け等）
１	飲食施設	◎ （(株)○○）	◎ （○○太郎）	○ （(株)○○）	
２	物販施設	○ （(株)○○）		○ （(株)○○）	
３	自動販売機	○ （(株)○○）		○ （(株)○○）	

（提出様式１－９－１）の注意事項

※１　収益施設運営実績について、実施要項３．２．企業の業務実績に関する要件、及び３．３．配置予定者の業務実績に関する要件の「⑤収益施設等運営業務」で申請している収益施設に「◎」を記入し、その他実績を有する収益実績は「○」を記入する（共同体の場合は、代表企業又は構成員の実績でも可。その場合「◎」、「○」のあとに実績のある者を具体的に記入する。（例「○（(株)○○）」、「◎（○○太郎）」）

又、「◎」、「○」を記入した施設の全ての施設について（提出様式１－９－３）に記入すること。

※２　収益施設運営予定について、国営アルプスあづみの公園において、申請者または申請者以外の者で行うのかいずれかに「○」を記入する。なお、収益施設運営実績の申請者と収益施設運営予定の申請者が必ずしも同一箇所でなくてもよい。（共同体の場合は、代表企業又は構成員の実績でも可。その場合「○」のあとに実績のある者を具体的に記入する。（例「○（(株)○○）」、「○（○○太郎）」）。申請者以外の者が未定の場合は、「○」のあとに「未定」と記載すること。（例「○（未定）」）

又、申請者以外の者によって実施し、予定している企業等がある場合は、（提出様式１－７）に記載すること。

※３　「H31-35国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務」に入札参加しようとする者は、公園施設と連携して収益施設を運営することから、国営アルプスあづみの公園収益施設等管理運営規定書（以下、「規定書」という。）の事項を確認の上、収益施設運営実績書を提出しなければならない。

また、「H31-35国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務」の受託者は、収益施設について都市公園法第５条の申請を行い、許可を受け所定の使用料を国へ支払なければならない。

※４　共同体として参加する者が提出する場合は、H31-35国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務について、代表企業を申請者とする。

（提出様式１－９－２）

会社の概要

（１）以下について記入するものとする。

①社名　（　　）
②業種（主・副）　（　　・　　）
③設立　（　　年　　月　）
④資本金　（　　円　）
⑤従業員数　（　　人　）
⑥株式　（　　上場　・　非上場　）
⑦株主数　（　　人　）
⑧営業範囲　（東京都・関東甲信地方・全国　）
⑨年商　（　　円　）

（２）下記の最新資料を添付するものとする。

①会社概要書等
②登記簿謄本
③財務諸表（過去3ケ年分）

※　提出様式１－９－１で記載している全ての収益施設の施設等運営者について記載すること。（収益施設運営実績、収益施設運営予定を含む）
※　財務諸表については、決算報告に使用された「貸借対照表」「損益計算書」「営業報告書」「利益の処分又は損失の処理に関する議案」等（過去３ケ年分）を提出するものとする。
※　申請者以外の者については、上記（２）②、③は提出しなくてもよい。ただし、落札者決定された場合は、業務計画書提出時までに提出するものとする。
※　申請者以外の者が未定の場合は、上記（１）①社名に「未定」と記載すること。ただし、落札者決定された場合は、本様式と上記（２）①～③を業務計画書提出時までに提出するものとする。

（提出様式１－９－３）

○○施設運営実績

項　　目	内　　容
・施設名 ・所在地 ・開設年	（記入例） ・○○○○　　○○店 ・東京都○○市○○１－２－３ ・平成○年○月
・業態 ・取扱品目 ・主な客層	（記入例） ・フルサービス和食レストラン ・郷土料理 ・家族連れ、観光客
・構造 ・規模	（記入例） ・構　　造　　RC構造 ・延床面積　　401.88㎡ ・客席面積　　300㎡ ・席　　数　　100席 ・厨房面積　　50㎡ ・駐 車 場　　平面駐車場　普通車20台
・売上高	記入例） ・120,000千円／年（過去３ヶ年の平均）
・従業員数	（記入例） ・社員３人、補員５人

※　提出様式１－９－１の収益施設運営実績の◎及び○と記載した箇所についてそれぞれ１件以上記載すること。企業及び配置予定者の業務実績が同じ収益施設で異なる施設（別の施設）の場合は、それぞれ記載すること。　又、施設等により物理的条件より記載が難しい場合であっても実施している概要がわかる内容を記載すること。

※　売上高は、過去３ヶ年の平均とし、実績がないものは、過去２年又は１年でもよい。又１年に満たない場合は、予定金額でもよい。

※　実績を証明する登記簿又は契約書等の写しと、自由様式で施設概要がわかる資料又は写真等を２～３枚添付すること。

なお、自由様式は、Ａ４版２枚までとし、文字サイズは１０．５ポイント以上とする。

（提出様式１－１０）

（第１面）

平成　　年　　月　　日

支出負担行為担当官
関東地方整備局長
○○　○　殿

（郵便番号　　）
入札参加事業者　住　　所

電話番号（　　）　　－

商　　号
又は名称

氏　　名　　㊞

（法人にあっては、代表者氏名）

法定代理人
氏　　名　　㊞

入 札 参 加 事 業 者 等 確 認 書

この書面の記載事項は、事実に相違ありません。

（留意事項）

１　この書面及び提出書類は、競争の導入による公共サービスの改革に関する法律第１０条各号に規定されている欠格事由該当性の審査に必要であり、この書面及び提出書類に記載されている個人情報については、欠格事由該当性の審査のため、必要な範囲において利用し又は警察庁等関係行政機関に対し提供します。

２　この書面とともに、第８面の一覧表に示す書類の提出をお願いします。

３．提出した様式のデータおよび電磁的記録媒体（第８面※８参照）をCD－Rで提出願います。

（第２面）

1　入札参加事業者

個人・法人の別	□　個　　人	□　法　　人

ア　入札参加事業者が個人の場合

フリガナ	生年月日（性別）	本籍
氏名		住所
フリガナ		事業活動の内容
商号又は屋号		
	（　）	

イ　入札参加事業者が法人の場合

フリガナ	主たる事務所の所在地
商号又は名称	代表者の氏名
事業活動の内容	

（記載上の注意）

1　「個人・法人の別」は、該当するものに〇印を付けて下さい。

2　「商号又は屋号」は、商号登記をしているときはその商号を、商号登記していないときは屋号等の名称のうち１個を記載して下さい。

2　法定代理人

フリガナ	生年月日（性別）	本籍
氏名		住所
	（　）	
	（　）	

（記載上の注意）

1　「法定代理人」は、

①　入札参加事業者（法人の場合は、当該法人の役員）

②　入札参加事業者の親会社等（法人の場合は、当該法人の役員）

が、法第１０条第６号に規定する「営業に関し成年者と同一の行為能力を有しない未成年者」である場合に、当該未成年者の法定代理人を記載して下さい。

2　記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、第２面の次に添付して下さい。

３　役　員　等

フ　リ　ガ　ナ	生年月日（性別）	本　　籍
氏　　名	役職名又は名称	住　　所
	（　　）	
	（　　）	
	（　　）	
	（　　）	
	（　　）	
	（　　）	
	（　　）	
	（　　）	

（記載上の注意）

1　入札参加事業者が法人の場合に記載して下さい。

2　「役員等」とは、役員（理事、取締役、執行役、業務を執行する社員、監事、監査役又はこれらに準ずる者）及び相談役、顧問等名称のいかんを問わず、役員と同等以上の支配力を有する者をいい、その全てを記載して下さい。

3　記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、第３面の次に添付して下さい。

4　主要株主・主要出資者

発行済株式の総数		出資総額	

ア　主要株主・主要出資者が個人の場合

フリガナ 氏　　名	生年月日（性別）	本　　籍 住　　所 所有株式数又は出資金額	割　　合
	（　　）		
	（　　）		
	（　　）		
	（　　）		
	（　　）		
	（　　）		
	（　　）		

（第５面）

イ　主要株主・主要出資者が法人の場合

フ リ ガ ナ	フ リ ガ ナ	主 た る 事 務 所 の 所 在 地	
商号又は名称	代表者氏名	所有株式数又は出資金額	割　　合

（記載上の注意）

1　主要株主とは、発行済株式の総数の１００分の５以上の株式を所有する株主をいいます。

2　主要出資者とは、出資総額の１００分の５以上の額に相当する出資をしている者をいいます。

3　割合は、「所有株式数（出資金額）／発行済株式の総数（出資総額）×１００」とします。

4　法第１０条第９号の親会社等に該当する場合は、第６面の「５親会社等」欄に記載して下さい。

5　記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、個人の場合は第４面の次に、法人の場合は第５面の次にそれぞれ添付して下さい。

5　親会社等

ア　施行令第３条第１項第１号に該当する場合

○　個人の場合

フリガナ	生年月日（性別）	本　　籍		
氏　　名		住　　所		
		議決権の総数	所有する議決権の数	割　　合
	（　　）			

○　法人の場合

フリガナ	フリガナ	主たる事務所の所在地		
商号又は名称	代表者氏名	議決権の総数	所有する議決権の数	割　　合

イ　施行令第３条第１項第２号に該当する場合

フリガナ	フリガナ	主たる事務所の所在地
商号又は名称	代表者氏名	その役員に占める自己の役員等の割合

ウ　施行令第３条第１項第３号に該当する場合

フリガナ	フリガナ	主たる事務所の所在地
商号又は名称	代表者氏名	その代表権を有する役員の地位を占める自己の役員等の氏名

（記載上の注意）

1　「親会社等」には、入札参加事業者と次の関係（特定支配関係）にある者（施行令第３条第１項第１号から第３号まで）を記載して下さい。

①　その株主（株主総会において決議をすることができる事項の全部につき議決権を行使することができない株主を除く。）又は総出資者の議決権の過半数を有していること。（第１号）

②　その役員（理事、取締役、執行役、業務を執行する社員又はこれらに準ずる者をいう。）に占める自己の役員又は職員（過去２年間に役員又は職員であった者を含む。以下同じ。）の割合が２分の１を超えていること。（第２号）

③　その代表権を有する役員の地位を自己又はその役員若しくは職員が占めていること。（第３号）

2　親会社等に該当するものがある場合は、その該当する欄に記載して下さい。

3　その役員に占める自己の役員等の割合は、「入札参加事業者における自己の役員等の数／入札参加事業者の役員の数×１００」とします。

6　親会社等の役員等

法人の商号又は名称		
フリガナ	生年月日（性別）	本　　籍
氏　　名	役職名又は名称	住　　所

	（　　）	
	（　　）	
	（　　）	
	（　　）	

	（　　）	
	（　　）	
	（　　）	
	（　　）	

（記載上の注意）

1　親会社等が法人の場合は、当該法人の役員等（第３面でいう「役員等」に同じ。）を全て記載して下さい。

2　記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、第７面の次に添付して下さい。

7　提出書類

この書面のほか、下表に示す提出書類のうち、該当するものを提出して下さい。なお、提出する
書類については、チェック欄に〇印を付けて下さい。

提　出　書　類　一　覧　表	ﾁｪｯｸ
1　住民票の写し（外国人の場合は外国人登録原票の写し）※1【落札者決定後】	
①　入札参加事業者（個人）	
②　入札参加事業者（個人）の法定代理人※2	
③　入札参加事業者（法人）の役員	
④　入札参加事業者（法人）の役員の法定代理人	
⑤　入札参加事業者（法人）の役員と同等以上の支配力を有する者※3	
⑥　入札参加事業者（法人）の親会社等※4（個人）	
⑦　入札参加事業者（法人）の親会社等（個人）の法定代理人	
⑧　入札参加事業者（法人）の親会社等（法人）の役員	
⑨　入札参加事業者（法人）の親会社等（法人）の役員の法定代理人	
⑩　入札参加事業者（法人）の親会社等（法人）の役員と同等以上の支配力を有する者	
2　登記事項証明書（履歴事項全部証明書）※5	
⑪　入札参加事業者（法人）	
⑫　入札参加事業者（法人）の親会社等（法人）	
3　戸籍抄本※6	
⑬　入札参加事業者（個人）	
⑭　入札参加事業者（法人）の役員	
⑮　入札参加事業者（法人）の親会社等（個人）	
⑯　入札参加事業者（法人）の親会社等（法人）の役員	
4　未成年者登記簿の謄本※7	
⑰　入札参加事業者（個人）	
⑱　入札参加事業者（法人）の役員	
⑲　入札参加事業者（法人）の親会社等（個人）	
⑳　入札参加事業者（法人）の親会社等（法人）の役員	
5　誓約書　[別添]	
㉑　入札参加事業者（個人）	
㉒　入札参加事業者（法人）	
6　電磁的記録媒体※8	

※１　住民票の写しは、本籍地の記載のあるものとし、外国人登録原票の写しは、その者が外国人で外国人登録をしている場合に提出して下さい。また、いずれも発行後６ヶ月以内のものを提出して下さい。

※２　法定代理人とは、その者が営業に関し成年者と同一の行為能力を有しない未成年者の場合の当該未成年者の法定代理人をいいます。

※３　役員と同等以上の支配力を有する者とは、正規の役員ではないが、相談役、顧問等名称のいかんを問わず、役員と同等以上の支配力を有する者をいいます。

※４　親会社等とは、入札参加事業者と施行令第３条第１項各号のいずれかに該当する関係（特定支配関係）を有する者とします。

※５　登記事項証明書（履歴事項全部証明書）は、発行後６ヶ月以内のものを提出して下さい。

※６　戸籍抄本は、その者が営業に関し成年者と同一の行為能力を有しない未成年者の場合及びその者が未成年者で婚姻により成年に達したものとみなななされている場合（民法第７５３条）に提出して下さい。

※７　未成年者登記簿の謄本は、その者が未成年者であって、営業に関し成年者と同一の行為能力を有する場合（婚姻により成年に達したものとみなされている場合を除く。）に提出して下さい。

※８　電磁的記録媒体の作成要領

意見聴取に必要な電磁的記録は、氏名カナ、氏名漢字、生年月日、性別とし、これらをＣ　Ｓ　Ｖ　形式（ 例えば、エクセル、アクセス等）により、電磁的記録媒体（ ＣＤ－Ｒ）に以下の要領で記録する。

①　電磁的記録媒体に記載すべき対象者は、第２面～第７面に記載された全ての者とする。

②　氏名カナは、半角で記録し、姓と名の間を半角で１マス空ける。

③　氏名漢字は、全角で記録し、姓と名の間を全角で１　マス空ける。なお、常用漢字でない等の理由により、漢字が記録不可能な場合は、当該漢字に代えて平仮名を記録する。

④　生年月日のうち、年、月及び日については、半角の２　桁で記録する。元号については、明治の場合は「M」、大正の場合は「T」、昭和の場合は「S」、平成の場合は「H」と半角で記録する。

⑤　性別については、男性の場合は「M」、女性の場合は「F」と半角で記録する。

⑥　氏名カナ、氏名漢字、元号、年、月、日及び性別は、それぞれセル毎で区切る。

⑦　記載例（データ上の記載）

昭和３　８　年７　月１　４　日生まれの公共太郎（ 男性）の場合は、

氏名カナ(半角)	氏名漢字(漢字)	元号(半角)	年	月	日	性別
ｺｳｷｮｳ ﾀﾛｳ	公共　太郎	S	38	7	14	M

[別添]

支出負担行為担当官
関東地方整備局長
○○　○　殿

平成　　年　　月　　日
住　　所
商号又は名称
代表者氏名　　㊞

誓約書

平成３１年●月●日付けで公告のありました「H31-35国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務」の入札に参加するにあたり、下記のとおり誓約します。

記

1 競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成18年法律第51号）第15条において準用する第10条各号に該当する者でないこと。

2 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。

3 他の入札参加者又は所属する共同体以外の共同体の構成員との間に以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。

１)資本関係

以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし、子会社又は子会社の一方が更生会社又は更生手続が存続中の会社である場合は除く。

①親会社と子会社の関係にある場合

②親会社を同じくする子会社同士の関係にある場合

２)人的関係

以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし②については、会社の一方が更生会社又は更生手続が存続中の会社である場合は除く。

①一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている場合

②一方の会社の役員が、他方の会社の管財人を現に兼ねている場合

4 国営アルプスあづみの公園事務所で平成30年度に実施の「H30あづみの公園運営維持管理手法改善検討業務」の受託者でないこと。

5 国営アルプスあづみの公園事務所で平成30年度に実施の「H30国営アルプスあづみの公園運営維持管理履行確認業務」の受託者でないこと。

6 国営アルプスあづみの公園事務所で平成30年度に実施の「H30国営アルプスあづみの公園利用満足度調査業務」の受託者でないこと。

7 業務の一部について再委託等を行わせる場合、暴力団又は暴力団関係者を再委託先としないこと。又、再委託先等が暴力団又は暴力団関係者と知りながらそれを容認して再委託契約を継続させないこと。

8 申請書類の内容については事実と相違ないこと。

上記誓約に相違があった場合は、入札参加の取消し、契約解除等の措置又は処分も甘受し、一切の意義を申し立てないことを併せて誓約します。

以上

申請書類における留意事項について

１．提出部数は１部とし、通しの頁数を次の例ように頁右下に記載するものとする。
（例　1／10，2／10･･･9／10，10／10）。

２．提出様式１－２「企業の業務実績」
①記載した業務に係る契約書の写し及び業務計画書等を必ず添付すること。
②単体および共同体の担当する分担業務については、「本業務全体の計画立案及びマネジメント業務」、「企画運営管理業務」、「施設・設備維持管理業務」「植物管理業務」、「収益施設等運営業務」とし、さらに細かく業務を分担する場合には「施設・設備維持管理業務のうち、施設管理」などの記載とし、独自に「総合運営管理業務（例）」など独自の名称は作らないこと。
③本業務全体の計画立案及びマネジメント業務の実績については、説明書１．（２）１）で記載しているとおり、必ず「本公園の運営維持管理全般について目標及び業務計画を策定し、多岐にわたる業務について総合的な調整を行い、適切な進捗管理を実施」した会社とし、その内容について契約書で記載されていない場合は、その内容が確認できる業務の仕様書等も添付すること。
④共同体の場合は、本業務全体の計画立案及びマネジメント業務を担当する企業を代表企業とすること。

３．提出様式１－３「総括（業務）責任者等の業務実績」
①記載した業務に係る契約書の写し及び業務計画書等を必ず添付すること。
②「本業務全体のマネジメント及び企画立案業務」、「施設・設備維持管理業務」、「植物管理業務」、「収益施設等運営業務」の業務責任者においては、業務を分割し複数の業務責任者を配置できないものとする。なお、複数　配置した場合には、特定しない。
ただし、実施要領に定めた範囲において兼務は可能とする。
③共同体の場合は、本業務全体の計画立案及びマネジメント業務を担当する総括責任者を代表企業の社員（予定を含む）とすること。また、「所属・役職」の欄に会社名を記載すること。

４．提出様式１－４「守秘性に関する要件」
①守秘義務に関する規定を定めた社内の規則等（該当ページのみ）を添付すること。また、共同体の場合は、構成員毎に様式１－４の提出及び守秘義務に関する規定を定めた社内の規則等（該当ページのみ）を添付すること。該当部分に下線を引くこと。

５．提出様式１－５－１「業務実施体制」
①共同体の場合は、備考欄に所属企業名および職務、配置予定者の氏名を記載すること。
②組織図（業務実施のための体制図）を添付すること。その際に担当する分担業務を記載すること。
③実施要項３．３．表８に定める業務を分割し複数の業務責任者を配置できないものとする。なお、複数配置した場合には、特定しない。

６．提出様式１－５－２「業務実施における対応方針」
Ａ４版片面１枚以内で、文字寸法は１０．５ポイント以上とすること。
図表等を入れる場合は、コピー等により判読不可能とならない文字の大きさ９ポイント程度までとし、判読できない場合は、図表等を評価しない場合がある。白黒片面印刷で提出すること。

７．提出様式１－６「実施方針」
Ａ４版片面２枚以内で、文字寸法は１０．５ポイント以上とすること。
図表等を入れる場合は、コピー等により判読不可能とならない文字の大きさ９ポイント程度までとし、判読できない場合は、図表等を評価しない場合がある。白黒片面印刷で提出すること。

８．提出様式１－１０「入札参加事業者等確認書」
　落札者は、住民票の写し（外国人の場合は外国人登録原票の写し）について、落札決定日から２週間以内に提出すること。
　様式のデータおよび電磁的記録媒体（第８面参照）をCD－Rで提出すること。

（提出様式２－１）

企画書

業務の名称　　H31-35国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務

履行期限　　平成　　年　　月　　日

標記業務について、企画書を提出します。

平成　　年　　月　　日

支出負担行為担当官
関東地方整備局長
下保　修　殿

提出者）住　　所
電話番号
会 社 名
代 表 者 役職名　　氏　　名　　印

作成者）担当部署
氏　　名
電 話 番 号
Ｆ Ａ Ｘ
Ｅ－mail

（共同企業体の場合は、以下のように記入すること。）
住　所　:共同体事務所の所在地
電話番号:共同体事務所の電話番号
ＦＡＸ　:共同体事務所のＦＡＸ番号
会社名　:○○○○業務
△△･○○共同体
代表者　:△△㈱　役職名　　氏名　印

注）紙入札方式による場合は代表者印を押印してください。

（提出様式２－２―１）

１）目標とする公園利用者数の確保に関する提案

基本的な考え方・方針
　○○○を基本的な方針として、○○○

地区別の有料区域の公園利用者数【数値目標】　（単位：万人）

年目	地区名	1年目（２～３月）	2年目	3年目	4年目	5年目（４～12月）
年間公園利用者数	堀金・穂高地区					
	大町・松川地区					
合計						

１．企画提案項目：○○○の活用
・具体的な企画提案：○○○を活用し、・・・・実施します。
・期待される効果：○○○を活用することにより、・・・・が期待されます。

２．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

３．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

４．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

５．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

※各企画提案項目には１から５までの通し番号を付けること。
※目標とする数値を各年度設定の上、その公園利用者数確保に向けて、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２―１２の改善提案も行うこと。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２－２）

２）利用満足度の確保に関する提案

基本的な考え方・方針

○○○を基本的な方針として、○○○

公園利用者の満足度（公園「満足」と「まあまあ満足」の回答比率）

【数値目標】　（単位：％）

年目	地区名	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目（４～12月）
年間公園利用者の満足度	堀金･穂高地区					
	大町･松川地区					

１．企画提案項目：○○○の活用

・具体的な企画提案：○○○を活用し、・・・・実施します。

・期待される効果：○○○を活用することにより、・・・・が期待されます。

２．企画提案項目：

・具体的な企画提案：

・期待される効果：

３．企画提案項目：

・具体的な企画提案：

・期待される効果：

４．企画提案項目：

・具体的な企画提案：

・期待される効果：

５．企画提案項目：

・具体的な企画提案：

・期待される効果：

※各企画提案項目には１から５までの通し番号を付けること。

※目標とする数値を設定の上、その満足度数の確保に向けて、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。

※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２－１２の改善提案も行うこと。

※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２－３）

３）地域特性を活かした植物管理に関する提案

基本的な考え方・方針
　○○○を基本的な方針として、○○○

公園利用者の満足度（植物管理「満足」と「まあまあ満足」の回答比率）
【数値目標】　（単位：％）

年目	地区名	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目（４～12月）
年間公園利用者の満足度	堀金･穂高地区					

１．企画提案項目：○○○の活用
・具体的な企画提案：○○○を活用し、・・・・実施します。
・期待される効果：○○○を活用することにより、・・・・が期待されます。

２．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

３．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

４．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

５．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

※各企画提案項目には１から５までの通し番号を付けること。
※本公園の「植物管理」利用者満足度の目標を設定の上、それらの実施、達成に向けて、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２－１２の改善提案も行うこと。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２－４）

４）公園特性及び資源、施設を活かした運営管理に関する提案
基本的な考え方・方針 ○○○を基本的な方針として、○○○ **１．企画提案項目：○○○の活用** ・具体的な企画提案：○○○を活用し、・・・・実施します。 ・期待される効果：○○○を活用することにより、・・・・が期待されます。 **２．企画提案項目：** ・具体的な企画提案： ・期待される効果： **３．企画提案項目：** ・具体的な企画提案： ・期待される効果： **４．企画提案項目：** ・具体的な企画提案： ・期待される効果： **５．企画提案項目：** ・具体的な企画提案： ・期待される効果：

※各企画提案項目には１から５までの通し番号を付けること。

※企画提案項目の１．～５．に、本公園の設置目的を踏まえ、2地区分散型公園としての機能を発揮させるための維持管理方法について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。

※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２－１２の改善提案も行うこと。

※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２－５）

５）多様な利用プログラムの提供に関する提案

基本的な考え方・方針

○○○を基本的な方針として、○○○

体験プログラムの開催種数【数値目標】　（単位：種類）

年目	地区名	1年目（２～３月）	2年目	3年目	4年目	5年目（４～12月）
体験プログラム開催種数	堀金･穂高地区					
	大町･松川地区					
合計						

１．企画提案項目：○○○の実施

・具体的な企画提案：○○○において、・・・・○○○を実施します。

・期待される効果：○○○を実施することにより、・・が期待されます。

２．企画提案項目：

・具体的な企画提案：

・期待される効果：

３．企画提案項目：

・具体的な企画提案：

期待される効果：

４．企画提案項目：

・具体的な企画提案：

・期待される効果：

５．企画提案項目：

・具体的な企画提案：

・期待される効果：

※各企画提案項目には１から５までの通し番号を付けること。

※本公園の体験プログラムの開催種類及び延べ参加人数の目標を設定の上、企画提案項目の１．～２．にそれらの実施、達成に向けて、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。

※企画提案項目３．～５．に、多くの公園利用者が参加、体験、交流できる多様なイベン

ト、展示等の行催事の実施について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。

※自主事業の自主イベントの企画提案については「（提出様式２－２－１０）自主事業に関する提案」に記述するものとし、本様式では委託費で行う行催事（材料代等実費を公園利用者から徴収すること等ができるものを含む）のみを記載すること。

※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２－１２の改善提案も行うこと。

※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２－６）

６）情報受発信に関する提案

基本的な考え方・方針
　○○○を基本的な方針として、○○○

マスコミ報道件数【数値目標】　（単位：件）

年目	１年目（２～３月）	２年目	３年目	４年目	５年目（４～12月）
年間マスコミ報道件数	○○	○○	○○	○○	○○

１．企画提案項目：○○○の活用
・具体的な企画提案：○○○を活用し、・・・・実施します。
・期待される効果：○○○を活用することにより、・・・・が期待されます。

２．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

３．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

４．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

５．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果

※各企画提案項目には１から５までの通し番号を付けること。
※マスコミ報道件数やホームページアクセス件数の目標を設定の上、それら実施、達成に向けて、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２－１２の改善提案も行うこと。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２－７）

７）地域との連携活動・市民との協働活動に関する提案
基本的な考え方・方針 ○○○を基本的な方針として、○○○ **１．企画提案項目：○○○と連携** ・具体的な企画提案：○○○と連携し、・・・・実施します。 ・期待される効果：○○○と連携することにより、・・・・が期待されます。 **２．企画提案項目：** ・具体的な企画提案： ・期待される効果： **３．企画提案項目：** ・具体的な企画提案： ・期待される効果： **４．企画提案項目：** ・具体的な企画提案： ・期待される効果： **５．企画提案項目：** ・具体的な企画提案： ・期待される効果

※各企画提案項目には１から５までの通し番号を付けること。

※企画提案項目１．～２．に、周辺自治体や学校、地域住民等関係機関や関係者との連携体制、協力体制の構築に向けて、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。

※企画提案項目３．～５．に、ボランティアやＮＰＯ団体との連携方策及びボランティア活動の充実・継続に向けて、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。

※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２－１２の改善提案も行うこと。

※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２－８）

８）公園利用者等の安全を確保する管理手法に関する提案
基本的な考え方・方針 ○○○を基本的な方針として、○○○ **１．企画提案項目：○○○の活用** ・具体的な企画提案：○○○を活用し、・・・・実施します。 ・期待される効果：○○○を活用することにより、・・・・が期待されます。 **２．企画提案項目：** ・具体的な企画提案： ・期待される効果： **３．企画提案項目：** ・具体的な企画提案： ・期待される効果： **４．企画提案項目：** ・具体的な企画提案： ・期待される効果： **５．企画提案項目：** ・具体的な企画提案： ・期待される効果：

※各企画提案項目には１から５までの通し番号を付けること。
※企画提案項目１．～２．に、公園利用者の安全・安心を確保する施設管理および運営管理について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目３．～４．に、既存地形や本公園の特性を踏まえた上で、ハード面、ソフト面でのユニバーサルデザイン対応について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目５．に、公園スタッフに関する事故を未然に防ぐ取組について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２－１２の改善提案も行うこと。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２－９）

９）緊急時及び非常時の対応に関する提案
基本的な考え方・方針 ○○○を基本的な方針として、○○○ **１．企画提案項目：○○○の実施** ・具体的な企画提案：○○○について、・・・・実施します。 ・期待される効果：○○○をすることにより、・・・・の防止が期待されます。 **２．企画提案項目：** ・具体的な企画提案： ・期待される効果： **３．企画提案項目：** ・具体的な企画提案： ・期待される効果： **４．企画提案項目：** ・具体的な企画提案： ・期待される効果： **５．企画提案項目：** ・具体的な企画提案： ・期待される効果：

※各企画提案項目には１から５までの通し番号を付けること。
※企画提案項目１．～２．に、緊急事態を想定し、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目３．～４．に、トラブル時や緊急時に円滑に対応し、かつ被害を拡大させないための体制、対策について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目５．に、繁忙期において、混乱回避のための体制構築を含めた対応策について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２－１２の改善提案も行うこと。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２－１０）

１０）自主事業に関する提案
基本的な考え方・方針 　○○○を基本的な方針として、○○○ **１．企画提案項目：○○○の実施** ・具体的な企画提案：○○○において、・・・・○○○を実施します。 ・期待される効果：○○○を実施することにより、・・が期待されます。 **２．企画提案項目：** ・具体的な企画提案： ・期待される効果： **３．企画提案項目：** ・具体的な企画提案： ・期待される効果： **４．企画提案項目：** ・具体的な企画提案： ・期待される効果： **５．企画提案項目：** ・具体的な企画提案： ・期待される効果：

※各企画提案項目には１から５までの通し番号を付けること。
※公園の目的・魅力の向上の観点について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２－１２の改善提案も行うこと。
※自主事業：事業者の独立採算により行う事業をいう。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２－１１）

１１）収益施設の運営に関する提案
基本的な考え方・方針 ○○○を基本的な方針として、○○○ **１．企画提案項目：○○○の活用** ・具体的な企画提案：○○○を活用し、・・・・実施します。 ・期待される効果：○○○を活用することにより、・・・・が見込まれます。 **２．企画提案項目：** ・具体的な企画提案： ・期待される効果： **３．企画提案項目：** ・具体的な企画提案： ・期待される効果： **４．企画提案項目：** ・具体的な企画提案： ・期待される効果： **５．企画提案項目：** ・具体的な企画提案： ・期待される効果：

※各企画提案項目には１から５までの通し番号を付けること。
※企画提案項目１．～３．に飲食施設における公園利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目４．～５．に物販施設における公園利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２－１２の改善提案も行うこと。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―１２）

１２）各業務の最低水準（現行基準）として示された仕様書に対する、改善提案
基本的な考え方・方針 　○○○を基本的な方針として、○○○ **１．改善提案項目：○○○工** ・設計数量：○○ｍ２ ・変更数量：○○ｍ２ ・変更可能な理由：○○○を導入し、・・○○の質が向上（○○を削減）します。 ・期待される効果：○○○を導入することにより、・・・の削減が見込まれます。 **２．改善提案項目：** ・設計数量： ・変更数量： ・変更可能な理由： ・期待される効果： **３．改善提案項目：** ・設計数量： ・変更数量： ・変更可能な理由： ・期待される効果： **４．改善提案項目：** ・設計数量： ・変更数量： ・変更可能な理由： ・期待される効果： **５．改善提案項目：** ・設計数量： ・変更数量： ・変更可能な理由： ・期待される効果

※各改善提案項目には通し番号を付けること。

※改善提案による質の維持向上又は経費の削減（あるいはその両方）に関する提案について、実現性のある改善提案および期待される効果を具体的に記述する。

※設計数量が変更となる場合には、数量総括表に変更数量を記述して提出すること。

※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―１３）

１３）ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する指摘について適合状況

ワーク・ライフ・バランス関連認定制度の認定の有無	あり なし （どちらか一方を記入すること） ※下記のいずれかの認定を受けている場合に「あり」と記載する。

1．女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定等（えるぼし認定企業）		
	□	えるぼし認定企業であり、認定段階が3（全認定基準5つ〇）
	□	えるぼし認定企業であり、認定段階が2（全認定基準4つ〇）
	□	えるぼし認定企業であり、認定段階が1（全認定基準2つ〇）
	□	女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定届を提出している。 ※行動計画策定義務がない事業主（常時雇用する労働者の人数が300人以下のもの）に限る。（計画期間が満了していない行動計画を策定している場合のみ）
2．次世代育成支援対策推進法に基づく認定		
	□	プラチナくるみん（特例）認定企業
	□	くるみん認定企業
3．若者雇用推進法に基づく認定		
	□	若者雇用促進法に基づく認定（ユースエール認定）企業

※１～３の項目について、該当するもの全てをチェック欄を「■」とすること。
※それぞれ、該当することを証明する書類（（認定通知書の写し・一般事業主行動計画策定・変更届（都道府県労働局の受領印付）の写し）を添付すること。

【別添】

企画書の提案に関する注意事項等

１．各企画提案および改善提案について、着眼点が他と比較して優れており、具体性、実現性があり、当該公園において適切かつ効果的なものであるか等の妥当性について総合的な観点から評価する。

２．各企画提案および改善提案の頁数は、説明図表を含めＡ４版２頁以内とする。
上記頁数を超えた場合、加点評価対象は２頁目までに記載されている内容とし、３頁目以降に記載した内容は加点評価対象としない。ただし、３頁目以降に記載した内容（履行不可と判断されたものを除く。）についても特定された場合は、履行義務は負うものとする。

３．各企画提案の項目数は最大５項目までとし、記載の順に１から５までの通し番号を付けること。
　加点評価対象は番号１から５の企画提案項目までとし、これを超えた企画提案項目は加点評価対象としない。また、通し番号の記載がない企画提案項目についても加点評価対象としない。ただし、超過した企画提案項目又は通し番号の記載がない企画提案項目（履行不可と判断されたものを除く。）についても特定された場合は、履行義務は負うものとする。

４．改善提案は、記載の順に１から通し番号を付けること。
　通し番号の記載がない改善提案項目については加点評価対象としない。ただし、通し番号の記載がない改善提案項目（履行不可と判断されたものを除く。）についても特定された場合は、履行義務は負うものとする。
　頁数は、上記２．によるものとする。

５．１つの企画提案項目は１つの着目対象（○○対策、等）に限って設定すること。
　複数の着目対象に対する企画提案項目を記載した場合には、当該企画提案項目を加点評価対象としない場合がある。ただし、当該企画提案項目（履行不可と判断されたものを除く。）についても特定された場合は、履行義務は負うものとする。

６．１つの企画提案項目に対する具体的な企画提案は、業務の特性及び現場条件等を考慮のうえ、企画提案項目とした着目対象に関して効果を発現させるための実施方法（効果を高めるために付帯して行うものを含む。）を具体的に記載する。
　曖昧な表現及び「仕様書に基づき履行」等の簡易な表現はしないこと。

７．以下に示すような企画提案項目は、標準案と同程度であり効果が期待できないものとし、加点評価しない。

①仕様書及び関係法令を遵守した標準的な内容

８．以下に示すような企画提案項目は、実施を認めないもの（履行不可）とする。

①関係法令に違反するもの

②入園料、使用料等の増減を変更させるもの

③開園日時を変更させるもの(主催イベントなど仕様書で明示してあるものは除く)

９．文字寸法は１０．５ポイント以上とする。図表等を入れる場合は、コピー等により判読不可能とならない文字の大きさ９ポイント程度までとし、判読できない場合は、図表等を評価しない場合がある。

10．白黒片面印刷で提出するものとする。

11．企画書の提出部数は１部とし、通しの頁数を以下の例のように頁右下に記載するものとする。（例　1／10，2／10･･･9／10，10／10）。

12．企画書に個別法人および個別グループ等が特定できる記載内容（法人名、個人名など）がある場合は、その記載された頁に該当する実施要項表９に示す「区分」は加点評価対象としない。ただし、当該区分（履行不可と判断されたものを除く。）についても特定された場合は、履行義務は負うものとする。

（例）　▲▲会社　→　当法人
■■財団　→　当法人
◇◇共同体　→　当法人
□□グループ　→　関連グループ　等
※固有の名称は用いないこと。

13．各企画提案および改善提案を作成する上で、同様な内容を記述する場合は、該当箇所に「（再掲）」と記載すること。ただし、加点対象とするが、実施要項表９に示す「区分」によって評価が異なる場合がある。

14．（提出様式２－２－１、２、４、５、１１）の数値目標２年目、３年目の記入については、１年目の例示と同様な欄を設けて記入すること。（四半期など）

国営アルプスあづみの公園
収益施設運営計画書・自主事業施設運営計画書

提　　出　　様　　式

国土交通省　関東地方整備局

【企画書提出時に提出すること】
（様式３－１）

平成　　年　　月　　日

収益施設運営計画書

国土交通省　関東地方整備局　　殿

（申込者）社　名

代表者　　印

所在地

TEL(FAX)

下記施設について、国営アルプスあづみの公園収益施設運営計画書を提出します。

記

（１）所 在 地　(堀金・穂高地区)　長野県安曇野市堀金烏川 33-4
(大町・松川地区)　長野県大町市常盤 7791-4
（２）対象施設　飲食施設（２箇所)、物販施設（３箇所)、自動販売機
※飲食・物販施設については全て裁量施設とし、本公園の開園日時内で運営日時等を設定できる。

＊共同体として参加する者が提出する場合は、H31-35 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務について、業務全体の計画立案及びマネジメント業務をする者とする。

（様式３－２）

収益施設運営計画

（１）運営施設全体の運営計画
・基本的な考え方
・取組方策
・混雑期、閑散期に対応した運営方針

※運営施設全体の運営計画について、基本的な考え方及び取り組み方策を具体的に記述すること。
　また、混雑期、閑散期に対応した運営方針も具体的に記述すること。

※図表を含みＡ４版２枚までとし、文字サイズは１０．５ポイント以上とする。

（２）収益施設の運営に関する提案
１．企画提案項目：〇〇〇の設定 ・具体的な企画提案：〇〇〇を設定し、・・・・実施します。 ・期待される効果：〇〇〇を設定する事により、・・・・が見込まれます。 ２．企画提案項目： ・具体的な企画提案： ・期待される効果： ３．企画提案項目： ・具体的な企画提案： ・期待される効果： ４．企画提案項目： ・具体的な企画提案： ・期待される効果： ５．企画提案項目： ・具体的な企画提案： ・期待される効果：

※各企画提案項目には１から２までの通し番号を付けること。

※企画提案項目１．～３．に、**飲食施設**における公園利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。

※企画提案項目４．～５．に、**物販施設**における公園利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。

※文字寸法は１０．５ポイント以上とする。図表等を入れる場合は、コピー等により判読不可能とならない文字の大きさ９ポイント程度までとする。白黒片面印刷で提出するものとする。

※本様式に記述した企画提案については、企画書提出様式２－２－１１と同様な内容とする。

（様式３－４－１）

（３－１）飲食施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービス
運営期間、運営時間
料金設定
主なサービス

※収益施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービスを具体的に記述すること。
※様式は、図表を含みＡ４版２枚までとし、文字サイズは１０．５ポイント以上とする。
※仕様書に示す期間・時間・料金を超える提案は不可とする。
※飲食施設については全て裁量施設とし、公園の開園時間内で、運営時間を設定できるものとする。

（様式３－４－２）

（３－２）物販施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービス
運営期間、運営時間
料金設定
主なサービス

※収益施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービスを具体的に記述すること。
※様式は、図表を含みＡ４版２枚までとし、文字サイズは１０．５ポイント以上とする。
※仕様書に示す期間・時間・料金を超える提案は不可とする。
※物販施設については全て裁量施設とし、公園の開園日時内で運営日時等を設定できるものとする。

（様式３－４－３）

（３－３）自動販売機の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービス
運営期間、運営時間
料金設定
主なサービス

※収益施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービスを具体的に記述すること。
※様式は、図表を含みＡ４版２枚までとし、文字サイズは１０．５ポイント以上とする。
※仕様書に示す期間・時間、料金を超える提案は不可とする。

（様式３－５）

平成　　年　　月　　日

自主事業施設運営計画書

国土交通省　関東地方整備局　　殿

（申込者）社　名

代表者　　印

所在地

TEL(FAX)

下記施設について、H31-35 国営アルプスあづみの公園自主事業施設運営計画書を提出します。

記

（１）所 在 地　(堀金・穂高地区)　長野県安曇野市堀金烏川 33-4
　　(大町・松川地区)　長野県大町市常盤 7791-4
（２）対象施設

＊共同体として参加する者が提出する場合は、H31-35 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務について、業務全体の計画立案及びマネジメント業務をする者とする。

（様式３－６－１）

自主事業施設運営計画

（１）自主事業施設運営施設全体の運営計画
・基本的な考え方
・取組方策
・繁忙期、閑散期に対応した運営方針

※自主事業施設全体の運営計画について、基本的な考え方及び取り組み方策を具体的に記述すること。
　また、繁忙期、閑散期に対応した運営方針も具体的に記述すること。

※図表を含みＡ４版２枚までとし、文字サイズは１０．５ポイント以上とする。

（様式３－７）

（２）自主事業施設の運営に関する提案
１．企画提案項目：〇〇〇の設定 ・具体的な企画提案：〇〇〇を設定し、・・・・実施します。 ・期待される効果：〇〇〇を設定する事により、・・・・が見込まれます。 ２．企画提案項目： ・具体的な企画提案：。 ・期待される効果： ３．企画提案項目： ・具体的な企画提案： ・期待される効果： ４．企画提案項目： ・具体的な企画提案： ・期待される効果： ５．企画提案項目： ・具体的な企画提案： ・期待される効果

※各企画提案項目には１から５までの通し番号を付けること。

※企画提案項目１．～２．**自主事業施設**における公園利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。

※文字寸法は１０．５ポイント以上とする。図表等を入れる場合は、コピー等により判読不可能とならない文字の大きさ９ポイント程度までとする。白黒片面印刷で提出するものとする。

※本様式に記述した企画提案については、企画書提出様式２－２－１０と同様な内容とする。

（様式３－８）

（３）自主事業施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービス
運営期間、運営時間
料金設定
主なサービス

※自主事業施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービスを具体的に記述すること。
※様式は、図表を含みＡ４版２枚までとし、文字サイズは１０．５ポイント以上とする。
※仕様書に示す期間・時間、料金を超える提案は不可とする。

（様式３－９）

収入及び支出の見込み

○自主事業の実施における収入及び支出の見込みについて、具体的に記載すること。

※１　需要予測及びそれに基づく収入想定について、その概要を明示し、さらに下表の書式を用いて記載すること。

※２　提案する事業実施方針を踏まえた支出想定とすること。

※３　収支計画を上回る収益となった場合の収益の活用方策について記載すること。

※４　本事業に付随するその他の収益活動を提案する場合には、その内容・金額等について記載すること。

【収入記載書式】　単位：千円

収入項目	金額/10 年※1	根拠等
収益施設運営収入		
その他収入※2		
合計		

※1 様式３－１０ 収支計画書と整合をとること。
※2「その他収入」は必要に応じ欄を追加して記載すること。

【支出記載書式】　単位：千円

支出項目		金額/10 年※1	根拠等
設備投資費	建設費		
	内装費		
	その他		
	小計		
人件費			
光熱水費	電気		
	ガス		
	水道		
	その他		
	小計		
保険料			
土地・施設使用料			
その他支出※2			
合計			

※1 様式３－１０ 収支計画書と整合をとること。
※2 「その他支出」は必要に応じ欄を追加して記載すること。

（様式３－１０）

収 支 計 画 書

（1）売上高

金額（単位：千円）

区　分	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度	H36年度	H37年度	H38年度	H39年度	H40年度	合計	備　考
公園施設（自主事業施設）												0	
												0	
合計　（A）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

（2）売上原価

金額（単位：千円）

区　分	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度	H36年度	H37年度	H38年度	H39年度	H40年度	合計	備　考
公園施設（自主事業施設）												0	
												0	
合計　（B）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

（3）売上総利益

金額（単位：千円）

	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度	H36年度	H37年度	H38年度	H39年度	H40年度	合計	備　考
（C）＝（A）－（B）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

（4）販売費及び一般管理費その他費用

金額（単位：千円）

区　分	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度	H36年度	H37年度	H38年度	H39年度	H40年度	合計	備　考
人件費												0	
自主事業施設・設備管理費												0	
維持管理費 （除草・清掃費）												0	
通信費												0	
修繕費												0	
光熱水費												0	
イベント催事費												0	
広告宣伝費												0	
支払保険料												0	
固定資産税												0	
減価償却費												0	
土地・施設使用料												0	
その他費用												0	
												0	
支払利息												0	
												0	
原状復旧費												0	
												0	
合計（D）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

（5）損益

金額（単位：千円）

	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度	H36年度	H37年度	H38年度	H39年度	H40年度	合計	備　考
（C）－（D）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

*該当しない項目がある場合には、削除せず空欄のままとしてください。
*新たな項目が必要な場合は、適宜追加してください。

資金調達・償還計画

○自主事業の実施における資金調達・償還計画について具体的に記載すること。
※１　資金調達計画、外部調達計画の概要について、下表の書式を用いて記載すること。
※２　劣後ローン等による調達をする場合はそれぞれ明示すること。
※３　予備的資金の確保の考え方について明示すること。

【資金調達計画】

調達総額	(合計) ア＋イ＋ウ	千円
内訳	出資金(計)　…ア	千円
	外部調達(計) …イ	千円
	その他(計) ※1 …ウ	千円

※1 その他の調達がある場合には、下表に準じて記載すること。

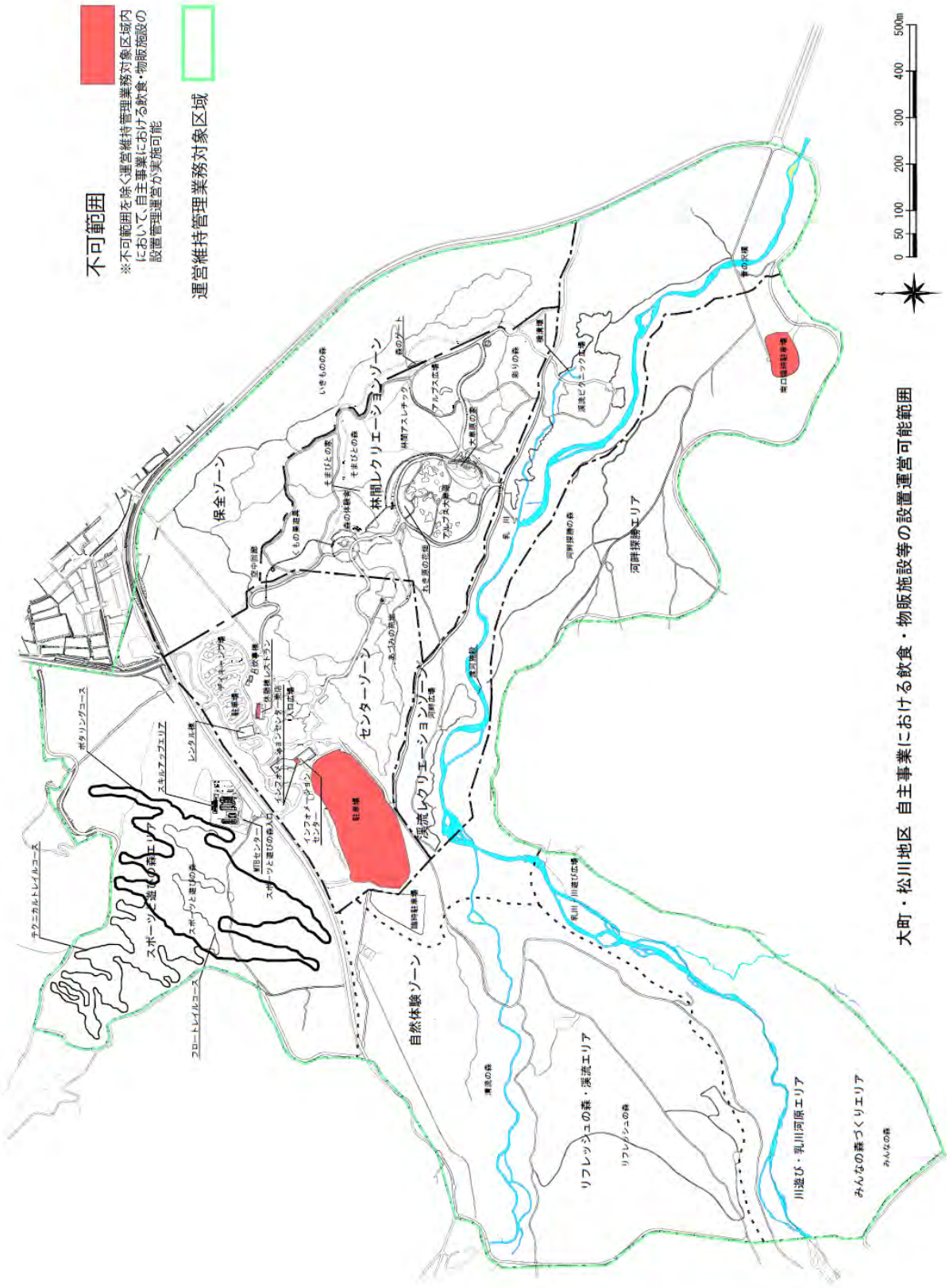
【外部調達計画の概要】

金融機関等の名称	調達予定金額	条件 （実行予定時期・返済方法・金利等）	備考 （優先ローン・劣後ローンの別、優先順位など）
	千円		
	千円		
	千円		
	千円		
外部調達(計)…イ	千円		

自主事業施設の設置場所

○自主事業施設の設置場所について図示すること。
（堀金・穂高地区）

（大町・松川地区）



大町・松川地区 自主事業における飲食・物販施設等の設置運営可能範囲